

岐阜県吉城郡宮川村

宮ノ前遺跡  
発掘調査報告書

国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

1998年3月

岐 阜 県  
宮川村教育委員会

岐阜県吉城郡宮川村

宮ノ前遺跡  
発掘調査報告書

岐阜県  
宮川村教育委員会



## 序 文

宮川村では、伝統を守り、教養を身につけ、文化の高い村をつくることを村民憲章に掲げて、村民一体となって、よりよい文化を創るために努力をいたしております。

近年の埋蔵文化財に対する関心は、国民的関心事といってよいほどの高まりを見せております。宮川村におきましても、貴重な発掘調査の成果が、新聞やテレビなどで報道され、考古学の研究者はもとより、広く一般の方々にも注目されるようになりました。

こうした耳目を奪う「発見」は、飛騨地域のみならず、日本列島の黎明期を知る上でも、貴重な資料であるといっても過言ではありません。

そのなかで、平成元年度にはじまりました宮ノ前遺跡の発掘調査では、旧石器時代から歴史時代に至る各時代の遺物が多く出土し、広く注目される遺跡となりました。このため、断続的とはいえ7年間にわたる大調査となった次第であります。

また、本遺跡は低湿地遺跡を含むことから、旧石器時代の加工痕のある木片や、縄文時代の櫛や建築材などの木製遺物も出土しております。加えて、昆虫や種子類などの化石も同時に出土し、自然科学分野の先生方の分析から、旧石器時代・縄文時代にかけての環境を知ることができました。

これら膨大な資料を、平成8年度から平成9年度にかけて、報告書にまとめ、ここに「宮ノ前遺跡発掘調査報告書」を刊行するに至りました。

この間、岐阜県教育委員会・岐阜県土木部をはじめとする各位から、暖かいご理解と、多大なるご協力をいただきました。また、自然科学分野の先生方からは、貴重な報告を寄せていただき、総合的な学術報告書となりました。関係各位に対しまして、厚くお礼を申し上げる次第であります。

これらの資料が「飛騨みやがわ考古民俗館」に展示され、大いに活用されるとともに、今後の考古学研究がさらに進むことを念じ、序文にかえさせていただきます。

平成9年3月

宮川村村長 石腰 保昭





# 例 言

1. 本書は、岐阜県古城郡宮川村大字西忍に所在する宮ノ前遺跡の、国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、岐阜県教育委員会指導部文化課の指導により、宮川村教育委員会が実施したものである。
3. 発掘調査は、平成元年7月24日から平成7年8月31日まで断続的に実施し、整理作業は、平成8年度から平成9年度にかけて実施した。
4. 調査は、調査団と事務局で行い、事務局は、宮川村教育委員会が担当した。
5. 本書の執筆分担は、次のとおりである。

河野 典夫（宮川村埋蔵文化財調査室主任調査員）

第2章第2節、第3章第1節、第5章第1節、同第4節第3項

立田 佳美（宮川村埋蔵文化財調査室調査員）

第4章、第5章第3節、同第5節

小島 功（宮川村教育委員会主事）

第1章、第2章、第3章、第5章第2節、同第4節第1・2項

山田 昌久（東京都立大学人文学部考古学研究室助教授）

第5章第6節

中村 俊夫（名古屋大学年代測定センター助教授）

第6章第1節

鬼頭 剛（愛知県埋蔵文化財センター）

第6章第2節

鈴木 三男（東北大学理学部教授）

第6章第4節

吉井 亮一（富山県立立山博物館学芸員）

第6章第5節

森 勇一（愛知県立明和高校教諭）

第6章第3節

早川 正一（南山大学文学部人類学科教授）

第7章

林 直樹（岐阜県立加茂高等学校教諭）

第7章

6. 第1章から第5章第5節までの図版の作成は、立田佳美・河野典夫が分担した。
7. 縄文土器・土製品・石器・石製品の実測およびトレース、拓本は、河野典夫・

立田佳美・佐藤晴美・佐藤美保子・谷畑千春・東百合子・森下美千代・山小瀬弘子が行なった。

また、小型剥片石器類の実測およびトレースを株式会社アルカに委託した。

8. 須恵器・土師器・陶器類は、玉川文化財研究所の河合英夫氏に、鑑定と実測を依頼した。第5章第2節は鑑定結果に基づいて執筆担当が文章化したもので、事実誤認等の責務は、調査団がこれを負う。
9. 木製品の実測図およびトレース、図版の作成は、東京都立大学人文学部考古学研究室助教授の山田昌久氏に依頼した。
10. 昆虫遺体の写真は、愛知県立明和高校教諭の森 勇一氏に撮影を依頼した。
11. 図版12の下：前田地点中央部自然木検出状態の写真は、国府町文化財保護センター専門調査員の岩花秀明氏に撮影を依頼した。
12. 樹幹類の断面組織の写真は、東北大学理学部教授の鈴木三男氏に撮影を依頼した。
13. 遺物写真の撮影は、有限会社フォトナオイへ委託した。
14. 本書に記載した遺跡付近地形図は、国土地理院2万5千分の1地形図（白木峰・有峰湖・飛騨古川・船津）を複製したものである。
15. 本遺跡の資料は、宮川村教育委員会が保管する。
16. 本調査および本書の作成にあたっては、多くの研究者の方々から貴重なご助言やご協力をいただいた。記して深甚なる謝意を表すものである（敬称略、五十音順）。

安蒜 政雄・(故)石原哲彌・岩花 秀明・大野 政雄・岡村 道雄  
梶原 洋・角張 淳一・久保谷浩二・小島 俊彰・小林 達雄  
齋藤 基生・上嶋 善治・鈴木 忠司・田中 彰・堤 隆  
寺門 隆治・土肥 孝・戸沢 充則・戸田 哲也・久田 正弘  
藤田富士夫・本田 秀生・麻柄 一志・松沢 亜生・南 久和  
森 浩一・吉朝 則富・山本 正敏・吉田 英敏・渡 辺 誠



## 凡 例

1. 本書に記載する遺構の実測図は、次の縮尺を基準とした。  
礫群…1/15、土坑…1/20、住居址…1/40、  
炉址…1/20、かまど…1/20、セクション…1/100
2. 本書に記載する遺物の実測図は、次の縮尺を基準とした。  
縄文土器…1/3、須恵器・土師器・陶器類…1/3、  
土製品…2/3、石器…2/3、1/3（一部4/5、  
1/2、1/4、1/6）、石製品…1/3、2/3、  
木製品…1/1、2/3、1/2、1/3、1/5
3. 石器の計測値一覧表は、地点ごとに記載した。
4. 宮ノ前地点の遺物の注記は、「89ミ」とし、続けて遺物取り上げ台帳の番号を付した。  
たとえば、89・ミ・124とあるのは、宮ノ前地点の124番目に取り上げた遺物であることを示す。本書では、台帳をもとに出土区と層位を記載した。
5. 前田地点・うづか地点・センター地点の遺物の注記は、地点の頭文字をアルファベットの大字に略し、出土区と層位をそのまま注記した。地点を示すアルファベットは、前田地点を「MM」、うづか地点を「MU」、センター地点を「MC」とした。
6. 第5章第6節から第6章第5節までに扱われている資料および事象はすべて、前田地点から検出あるいは確認されたものである。





# 目 次

序 文	I
例 言	III
凡 例	V
第 1 章 遺跡の環境	
第 1 節 宮川村の環境	1
第 2 節 宮ノ前遺跡周辺の環境	4
第 2 章 調査の経緯と経過	
第 1 節 調査に至るまで	6
第 2 節 調査の概要	11
第 3 章 層 序	
第 1 節 基本層序	23
第 2 節 各層の分布	30
第 4 章 遺 構	
第 1 節 検出された遺構	32
第 5 章 人工遺物	
第 1 節 縄文土器	43
第 2 節 須恵器・土師器・陶器類	87
第 3 節 土製品	91
第 4 節 石 器	96
第 5 節 石製品	322
第 6 節 宮ノ前遺跡出土の木質遺物	337
第 6 章 自然科学的分析	
第 1 節 岐阜県吉城郡宮川村宮ノ前遺跡から採取された植物質試料の加速器 <sup>14</sup> C年代	351
第 2 節 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡の堆積物からわかる埋積過程と古地理・古環境	357
第 3 節 宮ノ前遺跡から産出した昆虫化石と古環境	363
第 4 節 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡出土木材の樹種	379
第 5 節 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡で検出された種実遺体の概要	399
第 7 章 総括	419

## 付 表 目 次

第 1 表	宮ノ前地点土製円板一覧表 .....	94
第 2 表	前田地点土製円板一覧表 .....	94
第 3 表	うづか地点土製円板一覧表 .....	94
第 4 表	センター地点土製円板一覧表 .....	94
第 5 表	宮ノ前地点土偶一覧表 .....	94
第 6 表	宮ノ前地点土錘一覧表 .....	94
第 7 表	前田地点土錘一覧表 .....	94
第 8 表	センター地点土錘一覧表 .....	95
第 9 表	前田地点下層（旧石器）石器組成表 .....	155
第 10 表	前田地点下層（縄文）石器組成表 .....	156
第 11 表	各地点上層出土石器組成表 .....	157
第 12 表	前田地点下層（旧石器）ナイフ形石器一覧表 .....	158
第 13 表	うづか地点ナイフ形石器一覧表 .....	158
第 14 表	センター地点ナイフ形石器一覧表 .....	158
第 15 表	前田地点下層（旧石器）角錐状石器一覧表 .....	158
第 16 表	前田地点下層（旧石器）細石刃一覧表 .....	158
第 17 表	宮ノ前地点細石刃一覧表 .....	159
第 18 表	前田地点下層（旧石器）尖頭器一覧表 .....	159
第 19 表	前田地点下層（旧石器）先刃搔器一覧表 .....	159
第 20 表	前田地点下層（旧石器）円形搔器一覧表 .....	160
第 21 表	前田地点下層（旧石器）削器一覧表 .....	160
第 22 表	うづか地点削器一覧表 .....	161
第 23 表	前田地点下層（旧石器）使用痕剥片一覧表 .....	162
第 24 表	前田地点下層（旧石器）磨石一覧表 .....	163
第 25 表	前田地点下層（旧石器）凹石一覧表 .....	163
第 26 表	前田地点下層（旧石器）台石一覧表 .....	164
第 27 表	前田地点下層（旧石器）敲石一覧表 .....	164
第 28 表	前田地点下層（旧石器）錐器一覧表 .....	164
第 29 表	前田地点下層（旧石器）彫器一覧表 .....	164
第 30 表	前田地点下層（旧石器）礫器一覧表 .....	164
第 31 表	前田地点下層（旧石器）楔形石器一覧表 .....	165
第 32 表	前田地点下層（旧石器）細石刃核一覧表 .....	165
第 33 表	前田地点下層（旧石器）細石刃関連資料一覧表 .....	166



第 34 表	前田地点下層（縄文）打製石斧一覧表	166
第 35 表	前田地点下層（縄文）磨石一覧表	166
第 36 表	前田地点下層（縄文）凹石一覧表	168
第 37 表	前田地点下層（縄文）敲石一覧表	168
第 38 表	前田地点下層（縄文）台石一覧表	169
第 39 表	前田地点下層（縄文）石鏃一覧表	169
第 40 表	前田地点下層（縄文）有舌尖頭器一覧表	170
第 41 表	前田地点下層（縄文）尖頭器一覧表	170
第 42 表	前田地点下層（縄文）先刃搔器一覧表	170
第 43 表	前田地点下層（縄文）スクレイパーⅠ類一覧表	170
第 44 表	前田地点下層（縄文）スクレイパーⅡ類一覧表	171
第 45 表	前田地点下層（縄文）スクレイパーⅢ類一覧表	171
第 46 表	前田地点下層（縄文）鏃状削器一覧表	172
第 47 表	前田地点下層（縄文）石錐一覧表	172
第 48 表	前田地点下層（縄文）磨製石斧一覧表	172
第 49 表	前田地点下層（縄文）砥石一覧表	173
第 50 表	前田地点下層（縄文）擦切石器一覧表	173
第 51 表	前田地点下層（縄文）礫石錐一覧表	173
第 52 表	前田地点下層（縄文）礫器一覧表	173
第 53 表	前田地点下層（縄文）楔形石器一覧表	174
第 54 表	前田地点下層（縄文）異形部分磨製石器一覧表	174
第 55 表	宮ノ前地点打製石斧一覧表	174
第 56 表	前田地点上層打製石斧一覧表	179
第 57 表	うづか地点打製石斧一覧表	198
第 58 表	センター地点打製石斧一覧表	199
第 59 表	前田地点上層環状石斧一覧表	202
第 60 表	宮ノ前地点横刃形石器一覧表	202
第 61 表	前田地点上層横刃形石器一覧表	204
第 62 表	うづか地点横刃形石器一覧表	208
第 63 表	センター地点横刃形石器一覧表	208
第 64 表	宮ノ前地点磨石一覧表	210
第 65 表	前田地点上層磨石一覧表	210
第 66 表	うづか地点磨石一覧表	221
第 67 表	センター地点磨石一覧表	221
第 68 表	宮ノ前地点凹石一覧表	223

第 69 表	前田地点上層凹石一覧表	223
第 70 表	うづか地点凹石一覧表	234
第 71 表	センター地点凹石一覧表	235
第 72 表	宮ノ前地点敲石一覧表	236
第 73 表	前田地点上層敲石一覧表	236
第 74 表	うづか地点敲石一覧表	244
第 75 表	センター地点敲石一覧表	244
第 76 表	前田地点上層皿状凹石一覧表	245
第 77 表	宮ノ前地点有縁石皿一覧表	245
第 78 表	前田地点上層有縁石皿一覧表	245
第 79 表	うづか地点有縁石皿一覧表	245
第 80 表	センター地点有縁石皿一覧表	245
第 81 表	宮ノ前地点台石一覧表	245
第 82 表	前田地点上層台石一覧表	246
第 83 表	うづか地点台石一覧表	249
第 84 表	センター地点台石一覧表	249
第 85 表	宮ノ前地点石鏃一覧表	250
第 86 表	前田地点上層石鏃一覧表	251
第 87 表	うづか地点石鏃一覧表	255
第 88 表	センター地点石鏃一覧表	257
第 89 表	宮ノ前地点石槍一覧表	257
第 90 表	前田地点上層石槍一覧表	257
第 91 表	宮ノ前地点石匙一覧表	258
第 92 表	前田地点上層石匙一覧表	258
第 93 表	うづか地点石匙一覧表	258
第 94 表	センター地点石匙一覧表	258
第 95 表	宮ノ前地点筥状石器一覧表	258
第 96 表	前田地点上層筥状石器一覧表	258
第 97 表	宮ノ前地点スクレイパー I 類一覧表	259
第 98 表	前田地点上層スクレイパー I 類一覧表	260
第 99 表	うづか地点スクレイパー I 類一覧表	262
第100表	センター地点スクレイパー I 類一覧表	263
第101表	宮ノ前地点スクレイパー II 類一覧表	264
第102表	前田地点上層スクレイパー II 類一覧表	264
第103表	うづか地点スクレイパー II 類一覧表	270

第104表	センター地点スクレイパーⅡ類一覧表	271
第105表	宮ノ前地点スクレイパーⅢ類一覧表	272
第106表	前田地点上層スクレイパーⅢ類一覧表	275
第107表	うづか地点スクレイパーⅢ類一覧表	282
第108表	センター地点スクレイパーⅢ類一覧表	283
第109表	宮ノ前地点石錐一覧表	284
第110表	前田地点上層石錐一覧表	284
第111表	うづか地点石錐一覧表	286
第112表	センター地点石錐一覧表	288
第113表	宮ノ前地点磨製石斧一覧表	288
第114表	前田地点上層磨製石斧一覧表	289
第115表	うづか地点磨製石斧一覧表	293
第116表	センター地点磨製石斧一覧表	294
第117表	宮ノ前地点砥石一覧表	294
第118表	前田地点上層砥石一覧表	294
第119表	センター地点砥石一覧表	295
第120表	宮ノ前地点据置砥石一覧表	295
第121表	前田地点上層据置砥石一覧表	295
第122表	センター地点据置砥石一覧表	296
第123表	宮ノ前地点擦切石器一覧表	296
第124表	前田地点上層擦切石器一覧表	296
第125表	センター地点擦切石器一覧表	297
第126表	宮ノ前地点礫石錘一覧表	297
第127表	前田地点上層礫石錘一覧表	297
第128表	うづか地点礫石錘一覧表	301
第129表	センター地点礫石錘一覧表	302
第130表	前田地点上層切目石錘一覧表	302
第131表	宮ノ前地点有溝石錘一覧表	303
第132表	前田地点上層有溝石錘一覧表	303
第133表	宮ノ前地点楔形石器一覧表	303
第134表	前田地点上層楔形石器一覧表	307
第135表	うづか地点楔形石器一覧表	318
第136表	センター地点楔形石器一覧表	320
第137表	前田地点上層異形石器一覧表	321
第138表	宮ノ前地点石棒一覧表	331

第139表	前田地点石棒一覧表	331
第140表	うづか地点石棒一覧表	332
第141表	センター地点石棒一覧表	332
第142表	宮ノ前地点石剣・石刀一覧表	332
第143表	前田地点石剣・石刀一覧表	332
第144表	うづか地点石剣・石刀一覧表	333
第145表	宮ノ前地点石冠一覧表	333
第146表	前田地点石冠一覧表	333
第147表	うづか地点石冠一覧表	334
第148表	前田地点御物石器一覧表	334
第149表	前田地点独鈷石一覧表	334
第150表	前田地点珞状耳飾一覧表	334
第151表	うづか地点珞状耳飾一覧表	334
第152表	前田地点玉類一覧表	334
第153表	前田地点名称不明石製品一覧表	334
第154表	宮ノ前地点その他の石製品一覧表	335
第155表	前田地点その他の石製品一覧表	335
第6章 第1節		
第1表	岐阜県宮川村宮ノ前遺跡から採取された考古遺物の <sup>14</sup> C年代測定結果	351
第2表	タンデトロンAMSと放射能測定による <sup>14</sup> C測定と比較	354
第6章 第3節		
第1表	岐阜県宮川村宮ノ前遺跡から産出した昆虫化石	364
第2表	種レベルまで同定された昆虫化石の現在における分布	370
第3表	昆虫および植物化石からみた宮ノ前遺跡における古環境	372
第6章 第4節		
第1表	岐阜県宮川村宮ノ前遺跡出土木材の樹種組成	388
第2表	宮ノ前遺跡縄文時代中期の加工木の樹種	388
第6章 第5節		
第1表	宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 旧石器時代、細石刃包含層：第17層	403
第2表	宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 縄文時代早期、沢式土器包含層：第12層	403
第3表	宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 縄文時代中期、湧水ポット	404
第4表	宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 縄文時代中期、土坑	405
第5表	宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成	412

## 挿 図 目 次

第 1 図	宮ノ前遺跡付近地形図	2
第 2 図	宮ノ前遺跡地点区分図	7
第 3 図	宮ノ前地点・前田地点グリッド配置図	12
第 4 図	宮ノ前地点・前田地点調査区域図	13
第 5 図	うづか地点・センター地点グリッド配置図	16
第 6 図	うづか地点・センター地点調査区域図	17
第 7 図	セクション図 1	25
第 8 図	セクション図 2	26
第 9 図	セクション図 3	27
第 10 図	前田地点第 1 号礫群実測図	33
第 11 図	前田地点第 2 号礫群実測図	34
第 12 図	前田地点集石炉実測図	35
第 13 図	前田地点第 2 号土坑実測図	36
第 14 図	前田地点杭列配置図	36
第 15 図	うづか地点第 1 号住居址実測図	38
第 16 図	うづか地点第 1 号住居址かまど実測図	39
第 17 図	センター地点第 2 号住居址・炉址実測図	40
第 18 図	遺構出土縄文土器拓影および実測図	41
第 19 図	縄文土器拓影 1 I 期第 1・2 群土器	44
第 20 図	縄文土器拓影および実測図 2 I 期第 3 群土器(1)	45
第 21 図	縄文土器拓影 3 I 期第 3 群土器(2)	46
第 22 図	縄文土器拓影 4 II 期第 1 群土器(1)	50
第 23 図	縄文土器拓影 5 II 期第 1 群土器(2)	51
第 24 図	縄文土器拓影 6 II 期第 2・3 群土器	52
第 25 図	縄文土器拓影 7 II 期第 3 群土器	53
第 26 図	縄文土器拓影 8 II 期第 3～5 群土器	54
第 27 図	縄文土器拓影および実測図 9 II 期第 5 群土器	55
第 28 図	縄文土器拓影 10 II 期第 6・7 群土器	56
第 29 図	縄文土器拓影 11 II 期第 8 群土器	57
第 30 図	縄文土器拓影 12 III 期第 1 群土器	58
第 31 図	縄文土器拓影 13 III 期第 2 群土器	59
第 32 図	縄文土器拓影 14 III 期第 2～4 群土器	60
第 33 図	縄文土器拓影 15 IV 期第 1・2 群土器	61

第 34 図	縄文土器拓影16	IV期第 3 群土器	62
第 35 図	縄文土器拓影17	IV期第 4 ~ 6 群土器	65
第 36 図	縄文土器拓影18	IV期第 5・7 群土器	66
第 37 図	縄文土器拓影および実測図19	IV期第 8 群土器	67
第 38 図	縄文土器拓影20	V期第 1 ~ 3 群土器、VI期第 1 群土器	68
第 39 図	縄文土器拓影および実測図21	VI期第 2 群土器、VII期第 1 群土器	69
第 40 図	縄文土器拓影および実測図22	VII期第 2 群土器	70
第 41 図	縄文土器拓影23	VII期第 3 群土器(1)	71
第 42 図	縄文土器拓影24	VII期第 3 群土器(2)	72
第 43 図	縄文土器拓影および実測図25	VII期第 4 ~ 6 群土器	73
第 44 図	縄文土器拓影および実測図26	VII期第 7 群土器	74
第 45 図	縄文土器拓影27	VIII期第 1 群土器	77
第 46 図	縄文土器拓影28	VIII期第 1・2 群土器	78
第 47 図	縄文土器拓影29	VIII期第 3 群土器、IX期第 1 群土器	79
第 48 図	縄文土器拓影30	X期第 1・2 群土器	80
第 49 図	縄文土器拓影31	X期第 2・3 群土器	83
第 50 図	縄文土器拓影32	XI期第 1 群土器、XII期第 1 群土器	84
第 51 図	縄文土器拓影および実測図32	XIII期第 1・2 群土器	85
第 52 図	須恵器・灰釉陶器・山茶碗・陶器類実測図		88
第 53 図	須恵器・土師器実測図		89
第 54 図	土偶・土製円板実測図		92
第 55 図	土錘実測図		93
第 56 図	ナイフ形石器実測図		97
第 57 図	細石刃実測図		98
第 58 図	細石刃関連資料実測図(1)		100
第 59 図	細石刃関連資料実測図(2)		101
第 60 図	尖頭器実測図		102
第 61 図	先刃搔器実測図(1)		104
第 62 図	先刃搔器実測図(2)		105
第 63 図	円形搔器実測図		106
第 64 図	削器実測図(1)		107
第 65 図	削器実測図(2)		108
第 66 図	削器実測図(3)		109
第 67 図	使用痕剥片および細部調整剥片実測図		110
第 68 図	角錐状石器・錐器・彫器・楔形石器実測図		113

第 69 図	磨石・凹石・敲石実測図	114
第 70 図	礫器実測図	115
第 71 図	母岩別接合資料 No.1 実測図(1)	116
第 72 図	母岩別接合資料 No.1 実測図(2)	117
第 73 図	母岩別接合資料 No.2 実測図(1)	118
第 74 図	母岩別接合資料 No.2 実測図(2)	119
第 75 図	母岩別接合資料 No.2 実測図(3)	120
第 76 図	磨石・凹石・敲石実測図	122
第 77 図	台石実測図	123
第 78 図	石鏃・有舌尖頭器・尖頭器実測図	124
第 79 図	先刃搔器・スクレイパー I 類実測図	126
第 80 図	スクレイパー III 類・鏃状削器・石錐・楔形石器・異形部分磨製石器実測図	127
第 81 図	磨製石斧実測図	128
第 82 図	砥石・擦切石器・礫石錘・打製石斧実測図	129
第 83 図	礫器実測図	130
第 84 図	打製石斧実測図	133
第 85 図	打製石斧・環状石斧実測図	134
第 86 図	横刃形石器実測図	135
第 87 図	磨石実測図	136
第 88 図	凹石・皿状凹石実測図	138
第 89 図	敲石実測図	139
第 90 図	有縁石皿実測図	140
第 91 図	台石実測図	141
第 92 図	石鏃・石槍実測図	142
第 93 図	石匙・篋状石器実測図	144
第 94 図	スクレイパー I 類実測図	145
第 95 図	スクレイパー II・III 類実測図	146
第 96 図	石錐実測図	147
第 97 図	磨製石斧実測図	149
第 98 図	砥石・擦切石器実測図	150
第 99 図	据置砥石実測図	151
第100図	礫石錘・切目石錘・有溝石錘実測図	152
第101図	楔形石器・異形石器実測図	153
第102図	石棒実測図(1)	323
第103図	石棒実測図(2)	324

第104図	石剣・石刀実測図	325
第105図	石冠実測図	327
第106図	石冠・御物石器・独鈷石実測図	328
第107図	塊状耳飾・玉類・名称不明石製品・その他の石製品実測図	329
第5章 第6節		
第1図	木質遺物実測図(1)	341
第2図	木質遺物実測図(2)	342
第3図	木質遺物実測図(3)	343
第4図	木質遺物実測図(4)	344
第6章 第1節		
第1図	宮ノ前遺跡の遺構・遺物試料の <sup>14</sup> C年代値	356
第6章 第2節		
第1図	宮ノ前遺跡調査区北壁セクション図	358
第2図	宮ノ前遺跡(5層)の礫径分布	359
第3図	宮ノ前遺跡(5層)の礫の形状分類	359
第4図	宮ノ前遺跡(5層)の礫の円磨度	360
第5図	宮ノ前遺跡(5層)、礫の衝撃痕跡の有無	360
第6図	宮ノ前遺跡(5層)における個数百分率で表した礫種組成	360
第7図	宮川流域の段丘面と模式断面図	361
第6章 第3節		
第1図	宮ノ前遺跡における昆虫組成	365
第2図	宮ノ前遺跡における古環境の変遷	368



# 図 版 目 次

## 第5章 第6節

1. 木質遺物 1 .....	345
2. 木質遺物 2 .....	346
3. 木質遺物 3 .....	347
4. 木質遺物 4 .....	348
5. 木質遺物 5 .....	349
6. 木質遺物 6 .....	350

## 第6章 第3節

1. 産出した昆虫化石 1 .....	375
2. 産出した昆虫化石 2 .....	376
3. 産出した昆虫化石 3 .....	377

## 第6章 第4節

1. 出土木材の顕微鏡写真 1 .....	391
2. 出土木材の顕微鏡写真 2 .....	392
3. 出土木材の顕微鏡写真 3 .....	393
4. 出土木材の顕微鏡写真 4 .....	394
5. 出土木材の顕微鏡写真 5 .....	395
6. 出土木材の顕微鏡写真 6 .....	396
7. 出土木材の顕微鏡写真 7 .....	397
8. 出土木材の顕微鏡写真 8 .....	398

## 本編

1. 上 遺跡遠景 (南より)	
下 うづか地点調査前状態 (東より)	
2. 上 センター地点調査前状態 (北より)	
下 うづか地点作業風景	
3. 上 センター地点作業風景	
下 宮ノ前地点作業風景	
4. 上 前田地点作業風景	
下 うづか地点南壁セクション (北より)	
5. 上 センター地点北壁セクション (南より)	
下 宮ノ前地点西壁セクション (北より)	
6. 上 前田地点東壁セクション (西より)	
下 前田地点C 6 東壁噴砂検出状態 (西より)	

7. 上 前田地点第1号礫群完掘状態（北より）  
下 前田地点第2号礫群完掘状態（南より）
8. 上 前田地点集石炉完掘状態（南より）  
下 前田地点集石炉断面（東より）
9. 上 前田地点第2号土坑断面（南より）  
下 前田地点杭列検出状態（西より）
10. 上 前田地点杭列検出状態（南より）  
下 前田地点配石検出状態（南より）
11. 上 前田地点湧水ポット土層堆積状態  
下 前田地点湧水ポット木製品出土状態（南より）
12. 上 前田地点中央部自然木検出状態（北より）  
下 前田地点中央部自然木検出状態（上空より）
13. 上 うづか地点第1号住居址完掘状態（北より）  
下 うづか地点第1号住居址かまど断面（北より）
14. 上 センター地点第2号住居址完掘状態（南より）  
下 センター地点第2号住居址炉址完掘状態（南より）

# 第1章 遺跡の環境

## 第1節 宮川村の環境

### 1. 地理的環境と歴史的環境（第1図）

岐阜県の最北端に位置する宮川村は、北側を富山県婦負郡細入村と接し、東側は岐阜県吉城郡神岡町、西側は同河合村、南側は同古川町とそれぞれ接している。村の中央に神通川の支流である宮川が、ほぼ南から北へと流れている。この宮川で形成されたV字型の峡谷は深く、南から順に小谷・森安谷・菅沼谷・打保谷・大谷・戸谷・洞谷などの支谷が東や西から合流している。

これら支谷は、断層脈に起因するものが多く、大規模な活断層として有名な跡津川断層をはじめ、これに平行あるいは直交・射交する水無断層・杉原断層・茂住谷断層・菅沼断層・打保断層・ニコイ断層・無雁断層などの枝断層が走っている。

マグニチュード7.0と推定される1858年の安政大地震は、跡津川断層の活動に起因するものである。断層の活動周期は、約1100年程度であるという<sup>1)</sup>。

また、村の北西側には、宮川と平行して流れる万波川があり、宮川へ注ぐ支谷とともに、白木峰（1602m）・小白木峰（1436m）・漆山岳（1393m）・流葉山（1423m）・高山（1337m）・蕎麦角山（1222m）・ソノボ山（1193m）などの山地を源流としている。

宮川に面する箇所は急峻な斜面が多いが、標高が高くなるにしたがってなだらかな山並みとなり、万波高原やニコイ高原などの高原地帯が広がっている。宮川に沿って小規模の河岸段丘が点在しているが、現在の集落の多くは、こうした河岸段丘の上に形成されている。

本村の地目の90%以上が山林である。このような限られた土地では、遺跡の分布も限られ、現在の集落と同様、河岸段丘上に点在している。

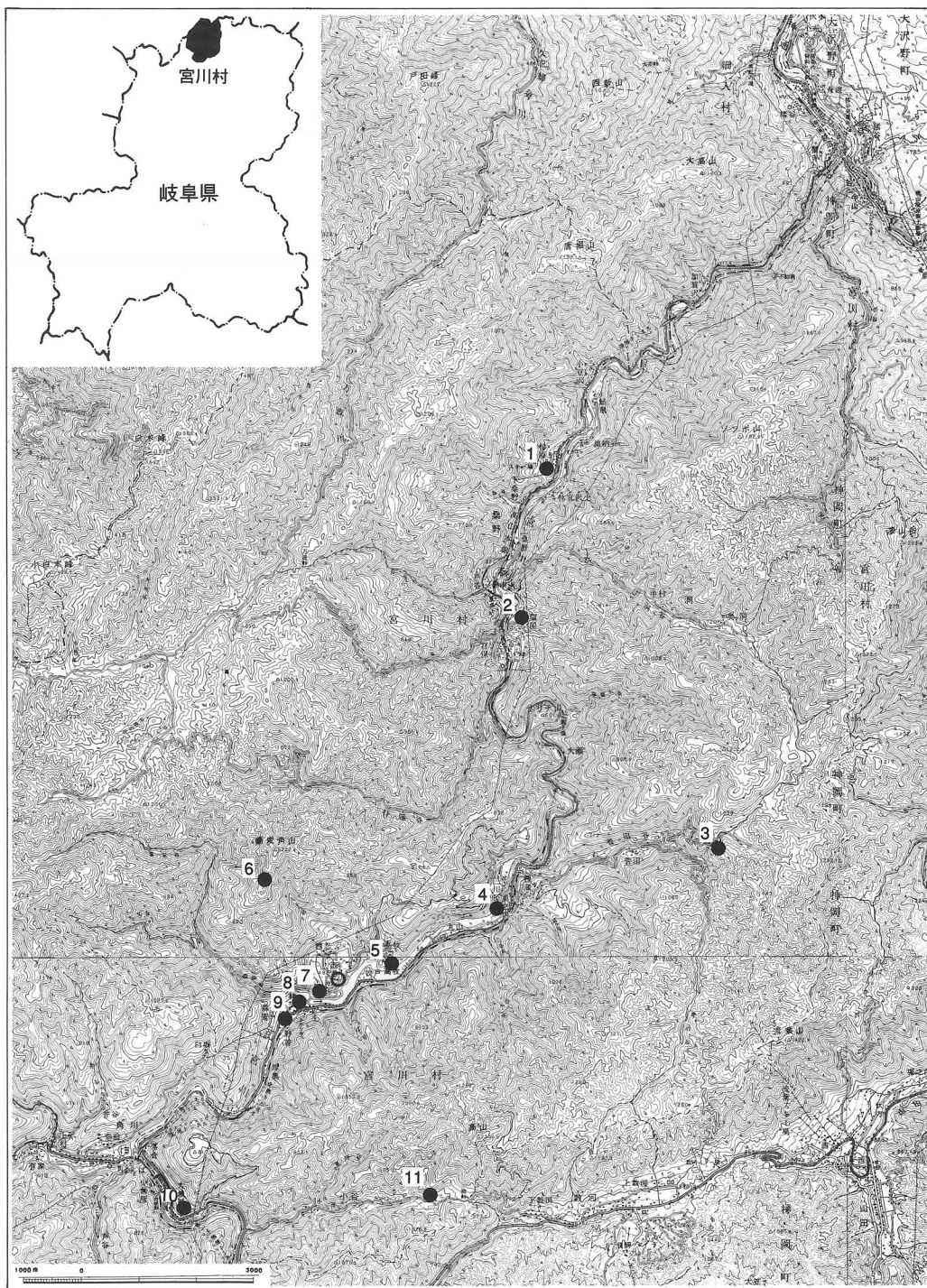
縄文時代の遺跡については大無雁・野首・西忍・牧戸・三川原・打保・塩屋・杉原など発達した段丘上のテラスに集中しているが、小谷・菅沼などの谷間にも小規模な遺跡が点在している。

『宮川村誌』によると、村の年平均気温は11.3℃、降水量は2000mm未満であり、より内陸にあって標高の高い地域と比較すると温かな地方であるといえる。しかしながら、降雪量は飛騨地域のなかでも多く、1年間の積雪累計は10mを超える豪雪地帯である。

宮川村の大地を構成する岩石は、日本列島最古の部類に位置付けられる飛騨変成岩類と中生代に形成されたとされる船津型花崗岩類が主体をなしている。前者は、黒鉛・亜鉛・鉛などの鉱床が付随している。明治から戦前にかけて杉原・洞・打保・菅沼・小谷では、黒鉛鉱山が営まれ、村北部の加賀沢地区では、太平洋戦争中に亜鉛・鉛・モリブデンなどの生産が行われていた。

黒鉛は、縄文時代にも利用され、村内からも粘土状黒鉛を焼成して作られた早期の押型土器や、黒鉛塊を使って器壁に塗布された後・晩期の土器などが出土している。

その他、特殊な岩石として塩屋地区に黒雲母流紋岩質溶結凝灰岩（俗称「塩屋石」）が分布している。この溶結凝灰岩には、柱状節理を呈すものが含まれているため、同地区内に所在する塩



第1図 宮ノ前遺跡 (○印) 付近地形図 (付：周辺遺跡分布)

- 1：杉原瑞穂遺跡、2：塩屋金清神社遺跡、2：ニコイ岩陰遺跡
- 4：宮ノ上遺跡、5：高牧嶋遺跡、6：忍城跡、7：稲葉遺跡
- 8：家ノ下遺跡、9：堂ノ前遺跡、10：岩野遺跡、11：牛首遺跡

屋金清神社遺跡では、石棒などの石製品が多量に制作されている。同石材製品は、飛騨地域や富山県内の各地から発見されている。

宮川村内で発見される石器は、一部の剥片石器類や磨製石斧を除き、ほとんどが宮川河川転石を利用したものである。河原には、吉城郡にも広く分布する濃飛流紋岩類や中生代に堆積した手取層の砂岩・頁岩、主に乗鞍火山帯から噴出したと考えられる安山岩類などの転石が認められ、小型剥片石器材料としては、丹生川方面に分布する古生層に伴うチャートや国府町に産出する玉髓などがみられる。

宮川河川にみられない石材では、硬玉・蛇紋岩・硬質頁岩・珪質頁岩（または珪質凝灰岩：俗称「鉄石英」）・輝石安山岩・瑪瑙など北陸方面に産出するものや飛騨南部の下呂町に産出する湯ヶ峰流紋岩（俗称「下呂石」）、飛騨北東部の高原川流域に分布するややガラス質の濃飛流紋岩類、信州方面の黒曜石などが持ち込まれている。

## 2. 宮川村の考古学史

宮川村の考古学的な研究史の先駆的なものとしては、明治20年代の『東京人類学雑誌』に掲載された岡巖<sup>2)</sup>、吉見芳孝・神田孝平<sup>3)</sup>、田中正太郎<sup>4)</sup>らによる村内遺跡の出土遺物についての記述があげられよう。その後、昭和になると赤木清<sup>5)</sup>、林魁一<sup>6)</sup>、早川莊作<sup>7)</sup>、土田吉左衛門<sup>8)</sup>らによって、宮川村内出土の遺物について断片的な資料紹介が行なわれている。

そうしたなかで、特筆すべきものに、昭和14年の『ひだびと』に掲載された八幡一郎<sup>9)</sup>の一文がある。内容については、昭和13年夏から秋にかけて、縄文中期の北陸文化領域の決定を行なうため、宮川村（旧坂下村）の杉原から河合村の角川の踏査を実施し、今後、宮川を含む神通川全流域を大観する研究を行なう旨と在地研究者の支援を訴えるものであった。宮川流域の本格的な考古学的研究の進展となるはずであったが、戦争によって研究調査の中断を余儀なくされ、期待される論文も遂に完成することはなかった。

宮川村の遺跡について、昭和10年の飛騨考古土俗学会による『飛騨石器時代遺蹟地名表』では11ヶ所があげられている。戦後、昭和37年『岐阜県遺蹟目録』、昭和41年『全国遺蹟地図 岐阜県』が刊行されるに至って13ヶ所が認識されるようになった。

宮川下流域の本格的な考古学的研究は、昭和48年、南山大学の小林知生ら<sup>10)</sup>によって行なわれたニコイ岩陰遺跡などの発掘調査をはじめとし、吉村陸志<sup>11)</sup>による分布調査など昭和40年代後半に盛んとなった。また、当時中学生であった寺門隆治の稲葉遺跡採集品<sup>12)</sup>中にナイフ形石器が発見され、宮川流域では初の旧石器時代遺跡であると確認された。

こうした調査研究を踏まえ、昭和51年に刊行された『岐阜県遺蹟地図』では、周知の遺跡として27ヶ所が登録されている。

## 第2節 宮ノ前遺跡周辺の環境

宮ノ前遺跡は、宮川村の中央よりやや南に位置する大字西忍に所在する。西忍地区は、西に蕎麦角山が聳え、東に宮川が流れる河岸段丘上の集落である。段丘のほぼ中央には、牛山と呼ばれる独立丘陵が位置している。現在では、この丘陵の頂上の大部分が削られ、宮川スポーツ公園となっている。その牛山の東には、蕎麦角山を水源とする八ヶ谷による扇状地形が形成されている。西忍段丘の南部には、ほぼ南北方向に跡津川断層が縦走している。観音寺と集中する民家との間には高低差がみられ、これが跡津川断層によって形成された断層崖である。

さらに現在では、圃場整備によってその面影を留めていないものの、牛山の西、断層崖の背後には「あわらが池」と呼ばれる沼沢地が存在していた。

宮ノ前遺跡は、段丘東の端部に鎮座する神明神社に由来する字名からの名称であるが、遺跡の範囲は、字宮ノ前・うづか・前田・堂ノ軒まで広がるものである。

昭和10年の『飛騨石器時代遺蹟地名表』には西忍地区の遺跡として、縄文土器・石鏃・打製石斧・磨製石斧・石皿・石棒・石冠の出土が示されている。

その後、昭和51年に『岐阜県遺跡地図』が刊行され、西忍地区の遺跡として、宮ノ前遺跡・西忍遺跡・稲葉遺跡・上ノ山遺跡の名称があげられている。ただし、遺跡名および所在地字名の混乱や明らかな地点間違いがみられ、西忍遺跡という名称は、宮ノ前遺跡もしくは稲葉遺跡に付けられた異名である。

このため、平成2年の『改訂版 岐阜県遺跡地図』では、西忍遺跡の名称が削除され、古くからの名称である宮ノ前遺跡について、宮ノ前・前田・うづか・堂ノ軒の範囲が示されている。

『宮川村誌』では、西忍地区を本村随一の遺跡地として評しており、寺門隆治氏によって採集された旧石器時代から縄文時代の遺物を中心に紹介されている。

西忍地区には、旧石器時代から中近世までの各時期の遺物が散布しており、「あわらが池」を中心にして南西の段丘上に位置する稲葉遺跡、西の山麓の小段丘に位置する上ノ山遺跡、断層崖を挟んだ東南に宮ノ前遺跡が存在している。また、遺跡としては確認されていないが、北の山裾に所在する字奥八池から異形石棒や打製石斧が、蕎麦角山山腹の字たこ付近から石鏃が採集されている。

さらに、村内では唯一の古墳時代の須恵器がみられ、奈良～平安時代にかけての遺物も多く散布している。村内のうちで歴史時代の遺物が最も多く散布している地域である。

蕎麦角山の山麓には、中世山城である忍城（志野比城）跡が存在している。また、下館跡については、地元で「親方屋敷」として伝承されているものの可能性があるが、遺構の詳細や性格については不明である。

このような環境のなか、西忍段丘上の遺跡のなかで最も広い面積をもつ宮ノ前遺跡は、今回の調査によって旧石器時代から縄文時代を中心に、弥生・古墳時代、奈良～平安時代・中近世に及ぶ各時期の遺物が出土した。

註

- 1) 『地学雑誌』62-85 「岐阜県宮川村野首における跡津川断層のトレンチ調査」  
跡津川断層トレンチ発掘調査団 1989
- 2) 『東京人類学雑誌』3-21 「飛驒の石器」 岡 巖 1887
- 3) 『東京人類学雑誌』4-33 「飛驒の石器」 吉見芳孝・神田孝平 1888
- 4) 『東京人類学雑誌』9-94 「鹽谷の石棒」 田中正太郎 1894
- 5) 『ひだびと』5-10 「吉城郡坂下村打保出土の石冠と枕石」 赤木 清 1937
- 6) 『ひだびと』8-7 「吉城郡塩屋出土の土製品」 早川莊作 1940
- 7) 『ひだびと』9-3 「飛驒塩屋発見の土偶」 林 魁一 1941
- 8) 『飛驒春秋』2-8 「打保出土の石棒について」 土田吉左衛門 1957
- 9) 『ひだびと』7-1 「今年のプラン」 八幡一郎 1939
- 10) 『びぞん通信』22 「奥飛驒宮川村ニコイ岩陰遺跡調査報告」 小林知生・早川正一 1973
- 11) 『びぞん通信』22 「中沢上遺跡出土遺物について」ほか 吉村陸志 1973
- 12) 『びぞん通信』34 「奥飛驒宮川村稲葉の旧石器」 土田吉左衛門・早川正一・寺門隆治  
1975

## 第2章 調査の経緯と経過

### 第1節 調査に至るまで

#### 1. 調査の概観（第2図）

宮川村における国道360号線バイパス新設改良工事の計画が具体化するなか、平成元年3月3日西忍地区の路線計画協議会が開催され、路線策定についての計画案が提示された。

同年6月10日には、岐阜県教育委員会を通じ、岐阜県土木部から、工事計画地内における埋蔵文化財の有無に関する協議書が提出された。宮川村教育委員会では、村誌編纂室等の調査によって確認されていた高牧嶋遺跡 21624-00042、宮ノ前遺跡 21624-00045、家ノ下遺跡 21624-00047 野首宮ノ尾遺跡 21624-00048、稲葉遺跡 21624-06193、堂ノ前遺跡 21624-06496の埋蔵文化財包蔵地6ヶ所を報告した。

これを受けた岐阜県土木部は、試掘調査および本調査を岐阜県教育委員会に依頼し、宮川村教育委員会が、直営事業として調査業務を受託することとなった。

宮川村教育委員会では、以前より村内の考古学調査に携わってきた南山大学文学部人類学科の早川正一教授に調査を依頼した。平成元年6月19日には、宮ノ前遺跡の発掘届を提出。同年7月24日から8月14日にかけて用地取得の終了した西忍字宮ノ前620番地、621番地、622番地に限って現地調査を実施した。

また、これと並行して計画地内における周知の埋蔵文化財包蔵地の試掘調査を実施した。これにより、宮ノ前遺跡・家ノ下遺跡・堂ノ前遺跡の遺物包含層を確認し、緊急調査を実施する必要がある旨を岐阜県教育委員会へ報告した。

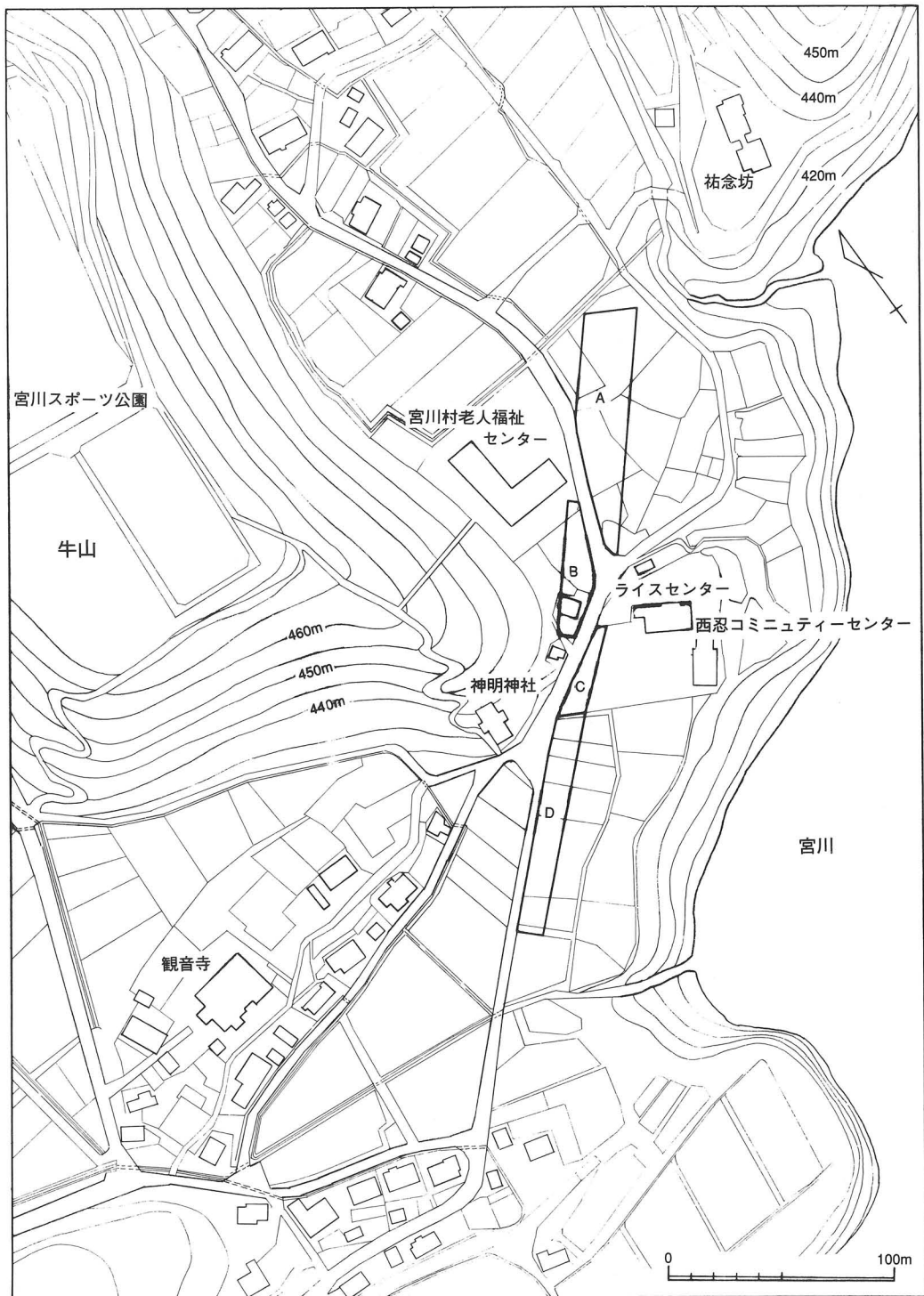
なお、高牧嶋遺跡・野首宮ノ尾遺跡・稲葉遺跡については、路線予定地内での遺物の包含層および遺構等は認められず、遺跡主体部から外れるものと判断し、慎重工事とした。

平成元年10月11日、岐阜県教育委員会より岐阜県土木部へ平成2年度および平成3年度以降の実施予定の開発計画について照会があった。これを受けて宮川村教育委員会と古川土木事務所との間で、国道360号線新設改良工事予定路線内に所在する埋蔵文化財の取り扱いについての協議が行われた。平成2年度には、宮ノ前遺跡と堂ノ前遺跡の緊急調査を、平成3年度には、家ノ下遺跡の緊急調査を実施することを決定し、これに係る調査計画書および積算書を岐阜県教育委員会へ提出した。

しかしながら、平成2年4月より宮ノ前遺跡の調査を開始したものの、用地買収計画等の変更により、平成2年7月からは、家ノ下遺跡の調査を実施することとなった。その後、数回の協議の結果、平成7年8月までの間に、工事計画区内に所在する宮ノ前遺跡・家ノ下遺跡・堂ノ前遺跡について発掘調査を実施することになったが、宮ノ前遺跡については、用地買収および工期の都合により、順次計画が変更され、断続的な調査を余儀なくされた。

宮ノ前遺跡は、3遺跡のなかで最も面積が広く、工事計画区内の対象面積が約5,000㎡に達し、





第2図 宮ノ前遺跡地点区分図 (A:うづか地点、B:センター地点、C:宮ノ前地点、D:前田地点)

大字西忍字宮ノ前をはじめ、字うづか、字前田、字堂ノ軒に広がる。このため、字宮ノ前を宮ノ前地点、字うづかをうづか地点、字前田を前田地点とし、字うづかから字宮ノ前にまたがる西忍老人福祉センター付近をセンター地点と呼び、それぞれの地点で調査を実施した。なお、字堂ノ軒については、今回の国道360号新設改良工事計画予定地外に所在する。

平成元年7月から8月には、宮ノ前地点の現地調査を実施した。平成2年4月から5月および11月・平成3年4月から7月・平成4年4月から5月には、うづか地点を調査した。平成2年9月から11月・平成5年4月から平成6年12月に前田地点の調査を実施し、平成3年4月から7月・平成4年4月から5月・平成7年4月から8月にセンター地点の現地調査を行なった。

平成元年度から平成7年度までの間、国道360号線新設改良工事予定地内で、緊急調査が必要と判断され、実際に現地調査が実施されたのは、宮ノ前地点190㎡、うづか地点1,584㎡、前田地点1,152㎡、センター地点560㎡の合計3,486㎡である。

## 2. 年度毎の経緯と経過

宮ノ前遺跡における年度毎の経緯と経過の概要については、次のとおりである。

### 平成元年度

平成元年6月26日、大字西忍字宮ノ前620番地、621番地、622番地の発掘調査届を提出。

同年7月24日、岐阜県知事と宮川村長との間で「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」が締結され、同年7月24日、宮ノ前地点の現地調査を開始。同年8月10日現地調査終了。

同年9月8日、古川警察署長あて埋蔵文化財発見届を提出。同年9月18日、岐阜県教育委員会より埋蔵文化財認定。平成2年3月31日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書提出。

### 平成2年度

平成2年4月10日、岐阜県知事と宮川村長の間において「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」が締結され、同年4月16日、宮ノ前遺跡の地形測量を開始。同年5月7日、うづか地点の現地調査開始。

同年5月19日、平成2年度国道360号新設改良工事予定地内の埋蔵文化財発掘調査業務の委託契約の変更について協議。同年6月2日、うづか地点の現地調査を一時中断し、家ノ下遺跡の現地調査を実施。

同年9月6日、用地買収の済んだ字前田618番地の3、字うづか226番地の発掘調査届提出。同年9月28日、前田地点の一部区域の現地調査を開始。同年11月1日うづか地点の一部区域の現地調査開始。

平成3年3月1日、埋蔵文化財発掘調査計画の変更に関する協議。同年3月31日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書を提出。同年4月8日、埋蔵文化財発見届提出。同月19日、埋蔵文化財認定。

### 平成3年度

平成3年4月1日、岐阜県知事と宮川村長の間で「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」が締結され、前年度に引き続き、うづか地点の現地調査を継続実施。これに並行してセンター地点の現地調査を開始。同年7月23日、うづか地点およびセンター地点の現地調査を一時中断、堂ノ前遺跡の現地調査を開始。

同年7月7日、うづか地点現地説明会、同年8月3日、センター地点の現地説明会を実施。

同年12月10日、埋蔵文化財発掘調査計画の変更に関する協議。これに基づき、平成4年1月31日国道360号線新設改良工事に係る宮川村内埋蔵文化財発掘調査計画書提出。

同年3月31日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書を提出。

#### 平成4年度

平成4年4月1日、岐阜県知事と宮川村長の間で、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」が締結され、前年度に引き続き、うづか地点およびセンター地点の現地調査を継続実施。同年5月31日、うづか地点およびセンター地点の現地調査終了。

平成5年3月31日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書を提出。

#### 平成5年度

平成5年5月10日、大字西忍字前田605番地の1、同608番地の1、同609番地の1、同612番地の1、同613番地の1、同614番地の1、同615番地の1、同617番地の1における発掘調査届を提出。

同年6月23日、岐阜県知事と宮川村長の間で、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」を締結。同年同月、前田地点の現地調査開始。

同年10月、縄文時代草創期および旧石器時代の遺物包含層を確認。同年12月5日、前田地点の現地説明会を実施。

平成6年3月31日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書を提出。

#### 平成6年度

平成6年4月11日、平成6年度以降の国道360号線新設改良工事に係る宮川村内遺跡発掘調査計画書および積算書を提出。

同年7月22日、岐阜県知事と宮川村長の間で、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」を締結。平成5年度に引き続き前田地点の現地調査を実施。

同年11月21日、現地説明会を実施。同年12月27日、前田地点の現地調査終了。

同年3月31日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書を提出。同日、国道360号線バイパス改修工事に伴う発掘調査概要報告書を刊行。

#### 平成7年度

平成7年7月10日、岐阜県知事と宮川村長の間で、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」を締結。用地買収の済んだセンター地点の残り区域、大字西忍字宮

ノ前232番地の2、同233番地の2を対象に現地調査を実施。

同年4月13日、古川警察署長あてに、平成3年度から平成6年度に実施した宮ノ前遺跡発掘調査の埋蔵文化財発見届を提出。同月19日、埋蔵文化財認定。

同年8月31日、センター地点の現地調査終了。

平成8年3月29日、「国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づく完了報告書を提出。

なお、宮ノ前遺跡の出土遺物の整理作業については、洗浄・注記・分類等、現場作業と並行して、順次実施した。また、計測値一覧表作成・土器復元・拓本・図化等の作業は、主に平成8年度および9年度に実施し、報告書の文章および編集作業を平成9年度に実施した。

平成9年度の報告書作成は、河野典夫を中心に、小島功、立田佳美、佐藤晴美、佐藤美保子、谷畑千春、東百合子、森下美千代、山小瀬弘子によって行なった。

## 第2節 調査の概要

### 1. 宮ノ前地点（第3・4図）

#### 1-1) 調査団の編成

宮ノ前地点の調査団は、以下のとおり組織した。なお、役職名については、平成元年度当時のものである。

調査団長	道下 則明	宮川村長		
調査副団長	野村 恢司	宮川村教育委員会教育長		
調査指導	岐阜県教育委員会指導部文化課			
調査担当	早川 正一	南山大学文学部人類学科教授		
調査補助	板倉 礼子	大瀧 史佳	加賀貴巳子	加藤 晴彦
	加藤 有希	金岡 由花	佐藤 嘉子	杉浦 雅子
	苗村 明美	中野 智章	服部 珠美	山田 恭子
				(以上南山大学学生)
作業員	大下規久臣	熊崎 良雄	坂本アヤ子	清水栄津良
	清水 弥一	田頭マキノ	谷口 顯久	中切 彦助
	中谷 恵三	中谷 伸次	(故)野村 茂	山口 勝美
事務局				
事務局長	若田 静壽	宮川村教育委員会事務局長		
庶務	山越 智代	宮川村教育委員会主事補		

#### 1-2) 調査の方法と経過

宮ノ前遺跡のうち大字西忍字宮ノ前を宮ノ前地点と呼ぶことは、前述のとおりである。字宮ノ前の調査該当地は、620番地・621番地・622番地であり、調査前の現況は、西忍コミュニティーセンター（旧西忍小学校）のグラウンドである。現地調査は、平成元年7月24日から同年8月10日に実施した。

平成元年7月24日、調査対象区の南北方向に20×2mのトレンチを設定し、これを1区から10区とした。1～10区の土層確認を行いながら、順次掘り下げていった。

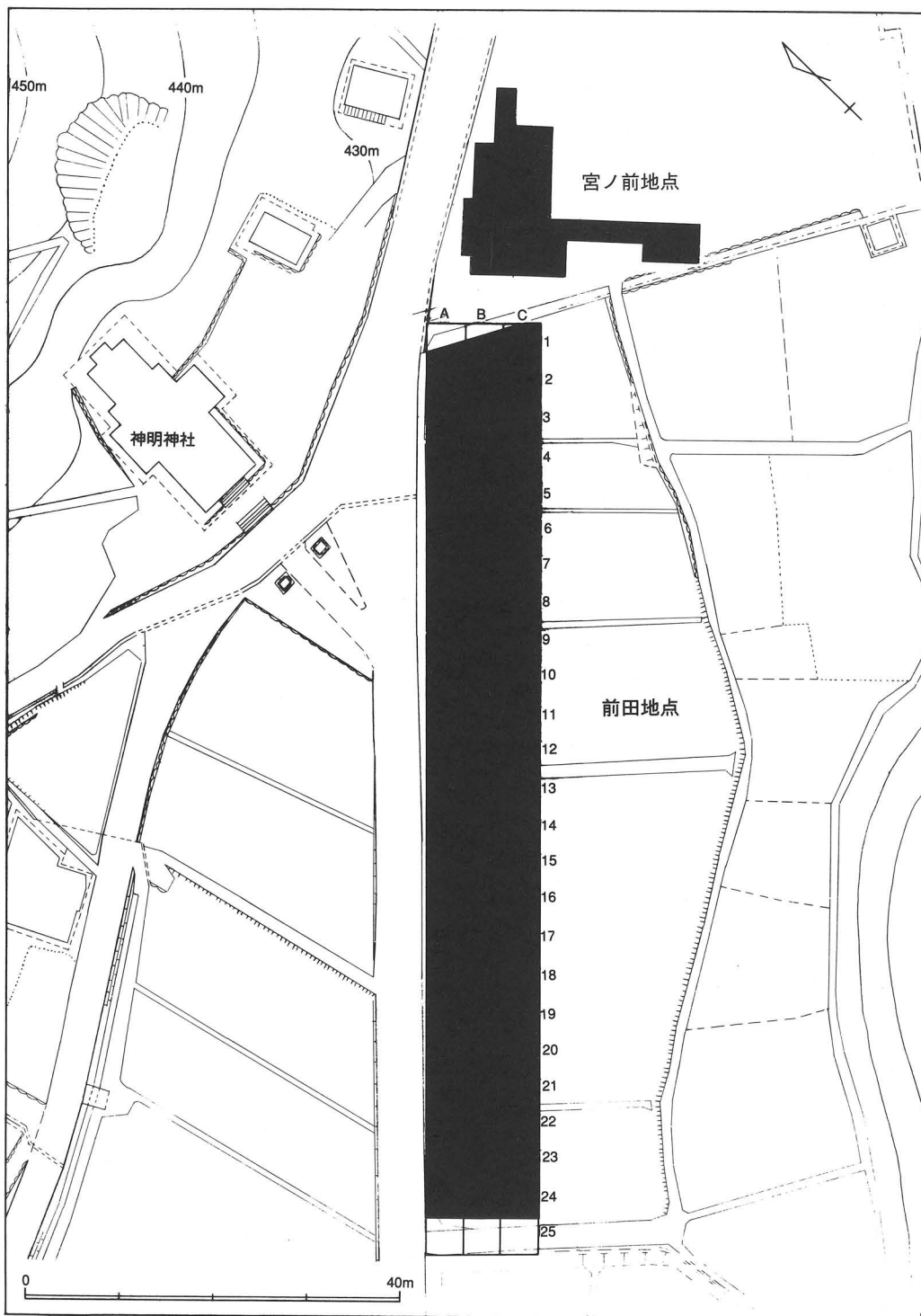
これにより、宮ノ前地点の基本層序が確認され、第1層（黄褐色表土層）、第2層（黒色旧表土層）、第3層（旧水田土層）、第4層（黄褐色砂礫層）、第5層（砂礫または粘土の互層）として遺物を取り上げた。

第4層の黄褐色砂礫層には、縄文時代を中心に弥生時代までの遺物が包含されていることが確認された。第1層から第3層までを耕作や盛土等による人為攪乱層、第5層を基盤層と判断した。

なお、第4層より出土した遺物は、ローリングを受けたものが多いことから、別地点からの流失による二次的な堆積層と想定した。また、遺構は検出されなかった。

これに続き、同月29日から8月1日にかけて、東西方向に直交する20×2mのトレンチを設定





第4図 宮ノ前地点・前田地点調査区域図

し、11区から20区とし、包含層の分布状況を確認した。

8月3日から6日には、2本の直交するトレンチを基準に、南北方向へ14×2m、東西方向へ6×2mのトレンチを設け、それぞれ、21～27区、28～30区とした。さらに同月7日および8日には、南北方向へ6×2mと4×2mのトレンチを追加し、それぞれ、22～24拡張区、51・52区とした。

同月9日および10日には、南北方向へ16×2mのトレンチを2列設け、31・32・34～38区、41～48区として調査を実施した。これにより、同地点の最終的な調査面積は、合計190m<sup>2</sup>となった。

## 2. うづか地点（第5・6図）

### 2-1) うづか地点調査団の編成

うづか地点の調査団は、以下のとおり組織した。

なお、同地点の調査が平成2年度から平成4年度にまたがることから、役職名は当時のものを記した。また、調査期間中に異動のあった者については、在職期間を括弧内に記した。

作業員・整理作業員については、参加年度にかかわらず五十音順に記載した。

調査団長	道下 則明	宮川村長
調査副団長	野村 恢司	宮川村教育委員会教育長
調査指導	岐阜県教育委員会指導部文化課	
	早川 正一	南山大学文学部人類学科教授
調査主任	林 直樹	宮川村埋蔵文化財発掘調査室主任
調査員	大熊 茂弘	宮川村埋蔵文化財発掘調査室（平成2・3年度）
補助調査員	立田 佳美	宮川村埋蔵文化財発掘調査室
調査補助	秋山 妙子（大阪大学学生） 肘井 仁美（明治大学学生）	
作業員	井尻 利男	内田 輝雄 大下規久臣 熊崎 良雄
	坂本アヤ子	清水栄津良 新家 健吉 田頭マキノ
	谷口 顯久	中切 彦助 中谷 菊枝 中谷 伸次
	(故)野村 茂	畠中 裕子 山口 勝美
整理作業員	荒谷 恵子	上崎 恵子 川合美穂子 佐藤 孝子
	佐藤美保子	田頭 桂子 寺門 秋江 野道 尚子
事務局		
事務局長	若田 静壽	宮川村教育委員会事務局長（平成2年度）
	幅 雅久	宮川村教育委員会事務局長（平成3年度）
	森下 真次	宮川村教育委員会事務局長（平成4年度）
庶務	山越 智代	宮川村教育委員会主事補（平成2年度）
	平田 治美	宮川村教育委員会主事（平成3・4年度）

### 2-2) 調査の方法と経過

宮ノ前遺跡のうち大字西忍字うづかをうづか地点と呼ぶことは、前述のとおりである。うづか



地点の現地調査は、平成2年4月から5月および11月、平成3年4月から7月、平成4年4月から5月に実施した。大字西忍字うづか226番地・同229番地の1・同229番地の2・同230番地の1までの1,584㎡を調査した。なお、調査前の現況は、畑地であった。

平成2年4月16日から21日には、うづか地点のトラバース測量を実施。同年同月23日から26日に平板測量を実施した。道路建設予定方向に沿う南北方向にグリッドを設定し、A～Yまでのアルファベットを付し、宮川本流に向かう東西方向の区画を1～14までに区切り、それぞれの交点でグリッドを呼称する。4×4mのグリッドを1単位とした。

同年5月7日から、東西方向へ20×2mのトレンチを設定し、基本層序および遺物の包含状況・遺構検出面等の確認を行なった。この結果から、調査が必要な区域を、D7～8、E6～8、F4～8、G～I4～9、J・K5～9、L～M5～10、O5～11、P6～11、Q6～12、R7～12、S8～12、T9～12、J・V10～13、W11～13、X12・13の各区と決定した。

同年6月2日には、用地取得の関係で、一時うづか地点の調査を中断し、家ノ下遺跡の現地調査を開始した。同年11月1日、うづか地点の調査を再開。同12月、積雪のため調査を中断。

平成3年4月1日より、調査を再開。同年6月18日、歴史時代の住居址1軒を検出。同21日、縄文時代前期の集石炉1基を検出。

同年7月7日、うづか地点の現地説明会を実施。同23日、用地取得の関係で、うづか地点の調査を一時中断し、堂ノ前遺跡の現地調査を実施。

平成4年4月1日、うづか地点の調査を再開。縄文時代の遺物包含層中より旧石器時代の所産と考えられる硬質頁岩製の石刃が出土。下層確認のためテストピットを設定し、掘り下げたが、旧石器時代の包含層を確認することはできなかった。同年5月31日、うづか地点の現地調査を終了した。

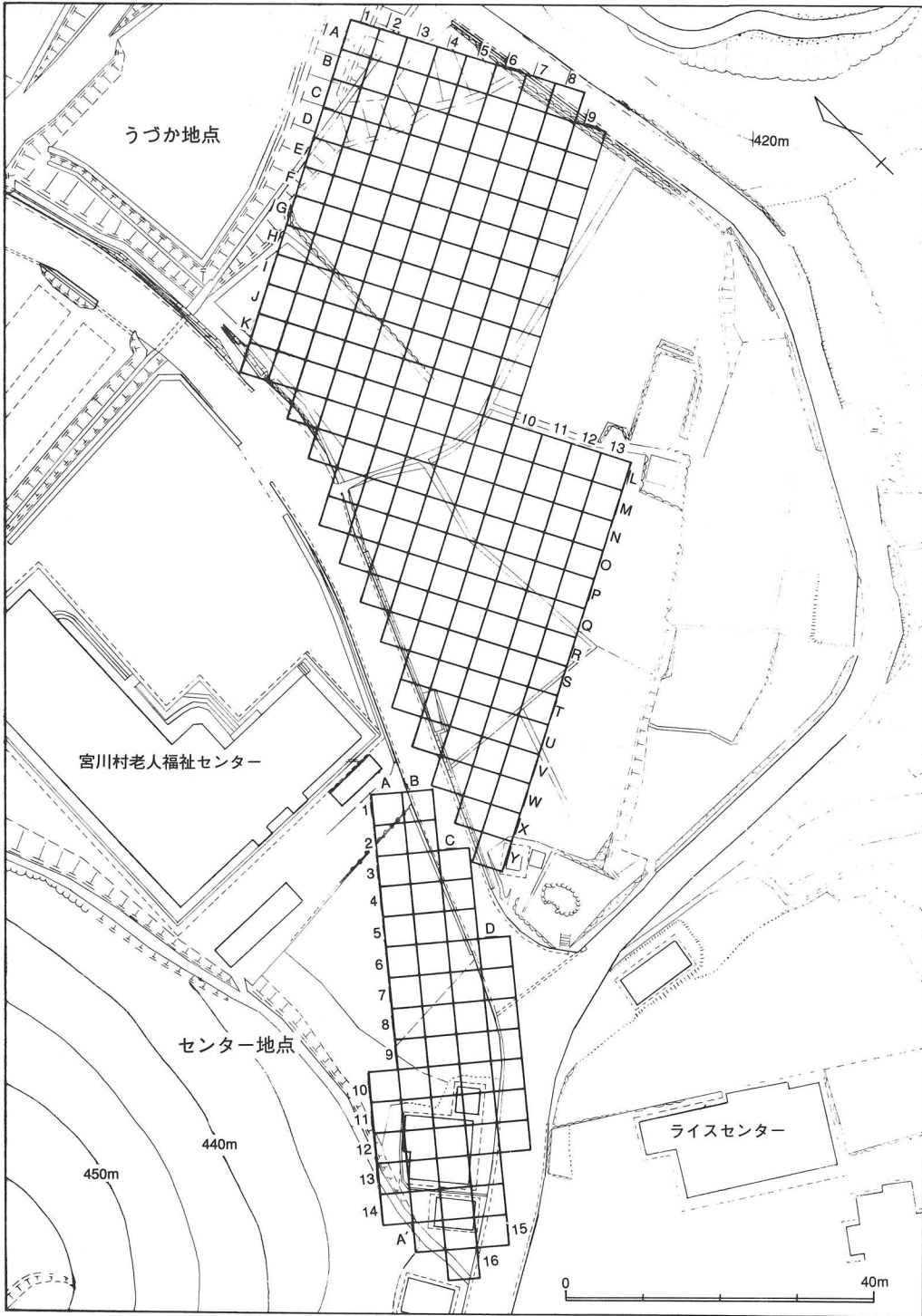
### 3. 前田地点（第3・4図）

#### 3-1) 調査団の編成

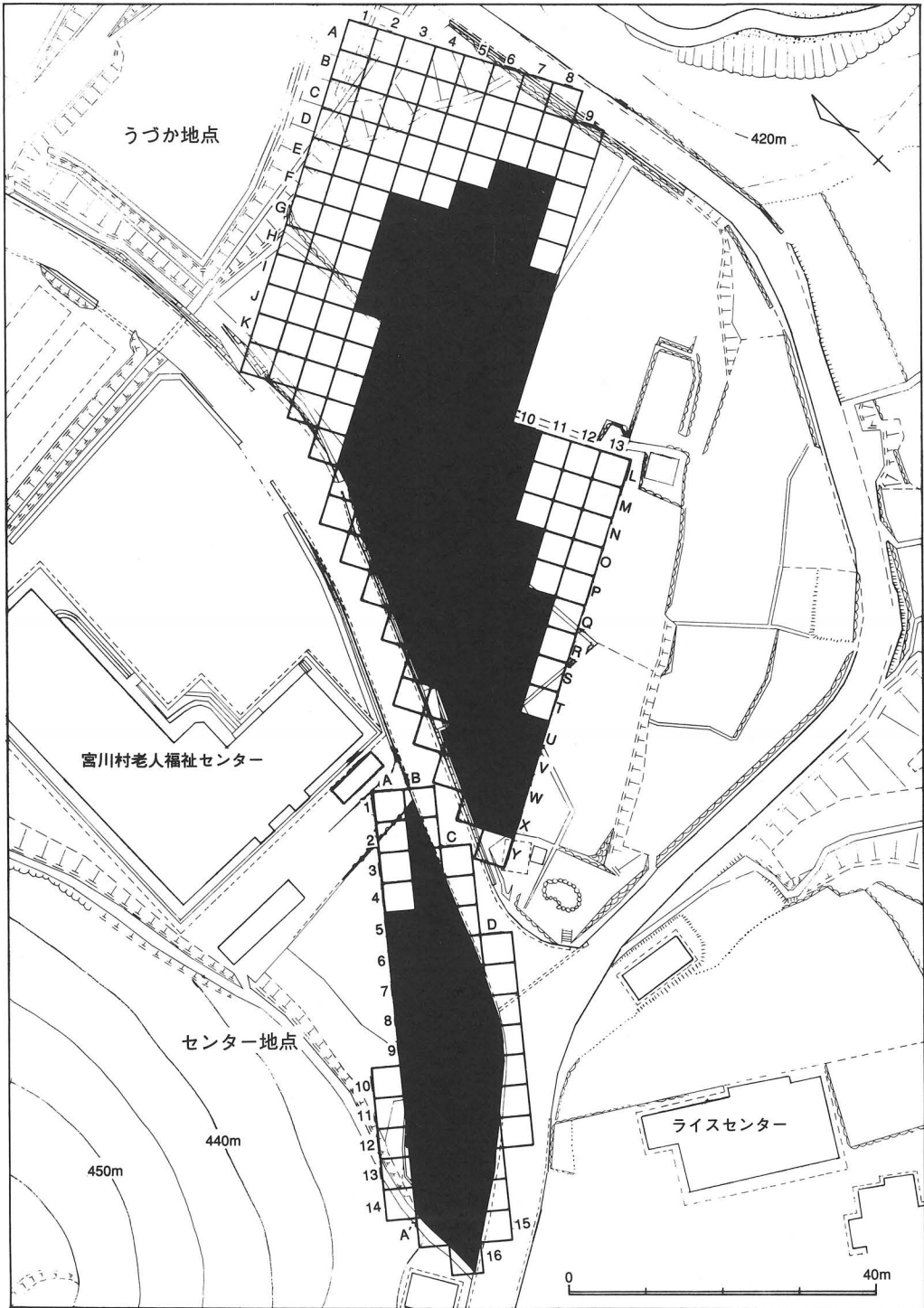
前田地点の調査団は、以下のとおり組織した。

同地点の調査が、平成2年度および平成5年度から平成6年度まで断続して行なわれたことから役職名は、当時のものを記した。また、調査期間中に異動のあった者については、在職期間を括弧内に記した。作業員・整理作業員は、参加した年度にかかわらず五十音順に記載した。

調査団長	道下 則明	宮川村長
調査副団長	野村 恢司	宮川村教育委員会教育長（平成2年度）
	谷口 徹	宮川村教育委員会教育長（平成5・6年度）
調査指導	岐阜県教育委員会指導部文化課	
	早川 正一	南山大学文学部人類学科教授
調査主任	林 直樹	宮川村埋蔵文化財発掘調査室主任
調査員	大熊 茂弘	宮川村埋蔵文化財発掘調査室（平成2年度）
	小島 功	宮川村教育委員会主事



第5図 うづか地点・センター地点グリッド配置図



第6図 うづか地点・センター地点調査区域図

補助調査員	立田 佳美	宮川村埋蔵文化財発掘調査室		
調査補助	秋山 妙子 (大阪大学学生)	岩田 崇 (静岡大学学生)		
	肘井 仁美	谷 美沙子	田原 和美	辻本絵美子
	(以上明治大学学生) 増子 誠 三島美奈子 (以上奈良大学学生)			
	大泰司 統	宿野 隆史	堀内 大介 (以上富山大学学生)	
	水橋 公恵 (広島大学学生)			
作業員	新谷キヨ子	井尻 利男	和泉 静江	大石さい子
	大石 由三	大上ヨシ子	大下キヨ子	大下 公久
	蒲 義次	川合いさ枝	上町ヨシ子	坂本アヤ子
	櫻井 昌則	佐藤 エキ	新家 建吉	田頭マキノ
	立田 サヨ	立田 隆資	谷口 顕久	谷畑 通造
	寺門 政雄	中瀬 千秋	中谷 菊枝	中谷 伸次
	中畑 亀繁	西田ハル子	松井由香里	畠中 裕子
	溝端 末雄	宮前 正樹	山口 勝美	山森みさを
整理作業員	荒谷 恵子	上崎 恵子	川合美穂子	佐藤 孝子
	佐藤美保子	清水 文代	田頭 桂子	谷向香保子
	寺門 秋江	野道 尚子	吉田 典子	
事務局				
事務局長	若田 静壽	宮川村教育委員会事務局長 (平成2年度)		
	森下 真次	宮川村教育委員会事務局長 (平成5年度)		
	石 腰 豊	宮川村教育委員会係長 (平成6年度)		
庶務	山越 智代	宮川村教育委員会主事補 (平成2年度)		
	平田 治美	宮川村教育委員会主事 (平成5年度)		
	小 島 功	宮川村教育委員会主事		
	岡田 和子	宮川村教育委員会臨時職員 (平成6年度)		

### 3-2) 調査の方法と経過

宮ノ前遺跡のうち大字西忍字前田を前田地点と呼ぶことは、前述のとおりである。前田地点の現地調査は、平成2年9月から11月に144㎡の調査を実施し、平成5年6月から平成6年12月には、残りの1,008㎡の調査を実施した。なお、調査前の現況は、水田および畑地であった。

前田地点の調査対象区は、事前の試掘調査によって、大字西忍字前田605番地の1・同608番地の1・同609番地の1・同612番地の1、同613番地の1・同614番地の1・同615番地の1・同617番地の1・同618番地の3に広がると確認された。

調査は、4×4mのグリッドを1単位として行ない、遺跡の東西方向に1～24の24列、南北方向にA～Cの3列を設定した。グリッドはそれぞれの交点で呼称する。

平成2年9月28日、調査を開始。A1～3区、B1～3区、C1～3区までの144㎡の調査区を開始

するにあたり、A2区に4×0.8mのサブトレンチを設定し、基本層序の確認を行なった。

これによって、当初の前田地点の基本層序を、第1a層：ミョウガ畑耕作土層、第1b層：旧水田耕作土層、第2層：黄褐色砂礫層、第3a層：青灰色粘土層、第3b層：砂層、第3c層：花崗岩角礫層とした。

この段階では、第3a～3c層を基盤層と認識した。また、第2層については、砂礫からなり、包含される縄文土器の型式に幅がみられたので、前述の宮ノ前地点と同様に二次堆積によるものと判断した。

ただし、第3a層上面において、直径40cm程度の円形プランが確認され、遺構面の存在する可能性が高かったため、このことを注意をしながらグリッド調査に移行した。

同年10月17日、A1区・B1区・C2区にかけて、幅1.2～1.7m、深さ0.3～0.6m程度の小川の跡とみられる痕跡を確認した。堆積土の下部には、オニグルミやトチ、流木などの植物遺体が混入しており、これらとともに土器片・有溝石錘が出土した。

また、確認された円形プランの遺構は、壁面に木杵を廻らした、オニグルミの貯蔵穴であることが判明した。これに加えて木杵を有しない皿状のオニグルミ貯蔵穴も検出され、この区域が小川を中心に水場として利用されていたことが明らかになった。

同年11月5日、すでに検出されていた遺構の実測を完了し、平成2年度の調査を終了した。

平成5年6月23日、中断していた前田地点の現地調査を再開した。平成2年度に続く、A～C4～24区の1,008㎡について調査を開始した。

平成2年度の続きであるA～A4・5区の調査を開始し、平成2年度の調査を参考に粘土層上面における遺構確認を実施した。

A～C9～24区については、任意で1×1mのテストピット数ヶ所を設定し土層の分布状況確認を行った。この区域も平成2年度の調査とほぼ同様の土層堆積状況であったが、第3a層に相当すると考えられる粘土層中より押型文土器片が、第3b層に相当する砂層から剥片が出土し、第3層についても遺物包含層である可能性が強くなった。このため9～24区の南北方向に0.8×64mのサブトレンチを設け、基本層序の再確認を実施した。

これによって、南側に向かって縄文時代の遺物包含層である黄褐色砂礫層が厚く堆積し、部分的に分層が可能であること、また、この上位に縄文時代晩期末葉と古墳時代から奈良・平安時代の遺物包含層が堆積していることが判明した。ただし、平面調査では、これらの水成堆積土層が場所によって厚い部分と希薄あるいは途切れる部分があり、微妙な土質を確実に分層することができず、その把握は困難であった。

9～11列では、遺構検出面の青灰色粘土層が検出された。また、13～20列のトレンチでは、青灰色粘土層を挟んで、上位に黒褐色粘土層が堆積し、下位に暗紫褐色粘土層が堆積していることが確認できた。この時点では、黒褐色粘土層から堆積年代を特定する遺物が出土しなかったものの、暗紫褐色粘土層中からは、沢式土器の破片が出土し、縄文時代早期の遺物包含層であることが明らかとなった。

同年10月12日、9列において、早期および早期以前の包含層を確認するため東西方向に0.8×12mのサブトレンチを設けたところ、青灰色粘土層以下に、灰褐色少粒砂層・暗紫褐色粘土層・灰褐色砂礫層・青灰色細粒砂層の堆積が認められた。このうち、灰褐色少粒砂層より細久保系押型文土器片が出土し、さらに、灰褐色砂礫層からは先刃搔器、青灰色細粒砂層からはチャート製の不定型剥片数点が出土した。

このことを受けて、9列および10列を中心に広げたところ、同年11月10日には、灰褐色砂礫層から隆起線文土器片が、同月19日には、青灰色細粒砂層から円筒型（角柱状）細石刃核が出土した。また、両包含層中では、近接するグリッドでの剥片の接合が確認され、これらの石器群が、ブロックを形成していることから、二次堆積によらない包含層と判断した。

青灰色細粒砂層には有機質がラミネーション混入しており、トウヒ属の毬果をはじめ樹幹遺体や昆虫遺体および加工痕のある木片が出土した。同年11月29日、ここまでの成果をまとめ、記者発表を行ない、同年12月5日、現地説明会を行なった。

12～20列にかけては、黄褐色砂礫層下位に配石遺構を確認したが、その後の調査で、配石が設置された下位に、断層活動に伴って形成されたと考えられる小規模の断層角窪地が存在することが確認された。この断層角窪地を中心に配石が設置され、湿地・水場を利用した作業場施設であると判断した。断層角窪地の南端の壁は、基盤層が、迫り上がることによって形成されており、B22区付近では、この迫り上がった基盤層に土壌状のプランが確認された。

配石遺構を検出した後、再び前述の南北方向のサブトレンチを掘り下げ、下層の堆積状況および遺物包含状況を確認した。その結果、9列で確認された隆起線文土器の包含層は、13・14列付近で途切れ、細石刃核の包含層についても12列付近で途切れることが確認された。12～18列付近では、隆起線文土器包含層と細石刃核包含層の間に分層可能な青灰色シルト層が確認された。このシルト層には、隆起線文とは異なる土器片をはじめ、先刃搔器や円形搔器・尖頭器に伴って、青灰色細粒砂層のものとは異なる削片系の細石刃関連資料が包含されていることが判明した。

また、縄文時代遺物包含層である黄褐色砂礫土層が厚く堆積している部分については、原地形であった断層角窪地に添って、跡津川断層背後の「あわらが池」からの土砂流失物が堆積したものと推定された。断層角窪地自体を埋める堆積土は、植物遺体や昆虫遺体を含む黒色系統の粘土層と青灰色の粘土層とが互層となって、レンズ状の堆積をしていることが確認された。これらの堆積土から、草創期後半から早期の各時期の遺物が出土した。

平成6年8月30日、前述の細石刃核を包含する青灰色細粒砂層の下位には、部分的に残存する灰褐色砂層が認められ、小型ナイフ形石器が出土した。これによって、最終的な前田地点の遺物包含層は18層を数え、旧石器時代から縄文時代各期に至る資料が得られた。

同年10月26日には、B22区付近の土壌状プランを精査した結果、自然の湧水点であると判明した。ここから、縄文時代中期を上限とする土器片などの遺物とともに多数の植物遺体や大型品を含む加工材が検出された。また、この湧水点からは、遺存状態が良好な昆虫遺体も多数発見された。

植物遺体や昆虫遺体は、細石刃核が出土した青灰色細粒砂層や、断層角窪地に堆積した黒色系統の粘土層のいくつかにも多く含まれていた。これらの遺体から、森林相や昆虫相の相互的な推移を推定することが可能となり、旧石器時代・縄文時代草創期から早期・中期にかけての自然環境変化を示す重要な資料となった。

同年11月21日、この段階までの調査結果と、最終的に決定した基本層序をもとに、再び記者発表と現地説明会を行なった。同年12月27日、遺構および土層等の図面作成をすべて完了し、同地点の現地調査を終了した。

#### 4. センター地点の調査（第5・6図）

##### 4-1) 調査団の編成

センター地点の調査団の編成は、以下のとおりである。

なお、同地点の調査が、平成3年度から平成4年度、および平成7年度にまたがることから、役職名は、当時のものを記した。また、調査期間中に異動のあった者は、在職期間を括弧内に記した。作業員・整理作業員は、参加した年度にかかわらず、五十音順に記載した。

調査団長	道下 則明	宮川村長			
調査副団長	野村 恢司	宮川村教育委員会教育長（平成3・4年度）			
	谷口 徹	宮川村教育委員会教育長（平成7年度）			
調査指導	岐阜県教育委員会指導部文化課				
	早川 正一	南山大学文学部人類学科教授			
調査主任	林 直樹	宮川村埋蔵文化財発掘調査室主任			
調査員	大熊 茂弘	宮川村埋蔵文化財発掘調査室（平成3年度）			
	小島 功	宮川村教育委員会主事			
補助調査員	立田 佳美	宮川村埋蔵文化財発掘調査室			
調査補助	肘井 仁美	（明治大学学生）	増子 誠	（奈良大学学生）	
作業員	和泉 静江	大石さい子	大石 由三	大下キヨ子	
	大下 公久	大下 與吉	坂本アヤ子	櫻井 昌則	
	佐藤 勇治	新家 健吉	田頭マキノ	立田 隆資	
	谷口 顯久	谷畑 通造	寺門 政雄	中瀬 千秋	
	中谷 菊枝	中谷 伸次	島中 裕子	丸山 裕子	
	山口 勝美	山森みさを			
整理作業員	荒谷 恵子	上崎 恵子	川合美穂子	佐藤 孝子	
	佐藤美保子	清水 文代	田頭 桂子	寺門 秋江	
	野道 尚子	林 妙子	溝端進太郎	吉田 典子	
事務局					
事務局長	幅 雅久	宮川村教育委員会事務局長（平成3年度）			
	森下 真次	宮川村教育委員会事務局長（平成4年度）			

	石 腰 豊	宮川村教育委員会係長（平成7年度）
庶 務	平田 治美	宮川村教育委員会主事補（平成4年度）
	小 島 功	宮川村教育委員会主事
	道 上 圭	宮川村教育委員会主事（平成7年度）

#### 4-2) 調査の方法と経過

宮ノ前遺跡のうち、西忍老人福祉センター付近の発掘区をセンター地点と呼ぶことは、前述した。うづか地点とは、村道で区分され、大字西忍字うづか231番地の2・同231番地の3・大字西忍字宮ノ前232番地の2・同233番地の2・同233番地の3が調査対象区である。なお、調査前の現況は畑地および宅地であった。

現地調査は、平成3年4月から7月、平成4年4月から5月の間、うづか地点と並行して実施し、一部は平成7年4月から8月に実施した。調査面積は、平成3年度から平成4年度が176㎡、平成7年度が384㎡の合計560㎡である。

平成3年4月1日、うづか地点と並行する形で、センター地点の現地調査を開始。

調査の方法は、4×4mのグリッドを1単位として、遺跡の南北方向にA'・A～Dの5列と東西方向に1～16の16列を設定した。グリッドは、それぞれの交点で呼称する。なお、A'として設定したグリッドについては、進捗状況から調査の必要がないものと判断し、調査を実施しなかった。平成2年度から4年度の調査では、大字西忍字うづか231番地の2・同231番地の3・字宮ノ前233番地の3について調査を実施し、平成7年度には、残りの字宮ノ前232番地の2・同233番地の2の現地調査を実施した。

平成3年7月23日、堂ノ前遺跡の現地調査を開始したが、センター地点では、住居址とみられるプランが確認されていたので、約1週間調査を継続した。同年7月30日、縄文時代の住居址を検出。遺構図面を作成したのち平成3年度の調査を終了。同年8月3日、現地説明会を実施。

平成4年4月1日、センター地点の調査を再開。同年5月31日、同地点の平成4年度調査を終了。

平成7年4月1日、残りの調査区の調査を再開。同年6月12日、集石遺構2基を検出。同年8月23日検出した遺構および土層等の作図を終えた。次いで、同地点の表土下の旧耕作土中よりナイフ形石器が2点採集されていたことから、2×2mのテストピットを設けて下層の確認を実施した。基盤層と考えられる花崗岩角礫層までを掘り下げたが、旧石器時代の遺物包含層は認められなかった。

このため、同年8月31日、平成7年度の現地調査を終了した。これによって、国道360号線新設改良工事に伴う宮ノ前遺跡の現地調査は、すべて完了した。



## 第3章 層 序

### 第1節 基本層序

宮ノ前遺跡の層序は、各地点によって堆積の原因が多少異なるため、地点ごとの基本層序とした。各地点の基本層序については、以下のとおりである。

#### 1. 宮ノ前地点の基本層序（第7図）

宮ノ前地点の層序は、大きく盛土・耕作土などの攪乱層と縄文時代各期の遺物を多量に包含する水成堆積土の二つに分かれる。前者は、近世以降の人為的攪乱、後者は、自然水成堆積物によって形成されている。図示したセクションは、東北方向1区から10区の東壁および東西方向3区・11区から19区までの南壁である。

第1層：黄褐色表土層 西忍集落センターのグラウンド盛土である。無遺物。

第2層：黒色旧表土層 畑地の耕作土および盛土である。遺物の包含は少ない。層厚は8～60cm。

第3層：黒色旧水田土層 水田耕作土。縄文時代から近代初頭までの遺物を含む。下部にいたるにつれ、相対的に古い遺物が出土しているものの耕作による攪乱層である。層厚は、25～130cm。

第4層：黄褐色砂礫層 黄褐色を呈する砂礫層。小礫が混入し、縄文時代の遺物が多量に含まれる。弥生時代前期の遺物も若干含まれる。下部には、押型文土器など早期の遺物が多く含まれるものの、早期の文化層として確定するには、部分的過ぎた。層厚は、50cm前後。

#### 2. うづか地点の基本層序（第7図）

うづか地点は、他の地点と比較し、微高地となっていた。遺物包含層は、黒褐色を呈する腐食堆積土層である。部分的に残る自然流水路の堆積土を除いて水成堆積土層の遺物包含は認められない。図示したセクションは、南北方向E8からI8区の東壁である。

第1a層：黒褐色表土 ミヨウガを中心とした畑地の耕作土。縄文時代から古代の遺物が多く含まれる。

第1b層：砂礫を含む黒褐色土層 H8区にみられる自然流水路の堆積土。黒褐色土に砂利を混入する。包含される遺物の上限は、奈良・平安時代の須恵器類である。

第2層：黒褐色土層 黒褐色を呈する遺物包含層。うづか地点の南北に広がるが、調査区の東では、ミヨウガの根による攪乱が進んでいる。縄文時代前期の遺物包含層。

第3層：砂を含む褐色土層。下部になるほど砂が多く混じる。うづか地点の南端に広がる。遺物の明瞭な包含は認められない。P7区では、第3層の上面に細部調整石刃が1点出土していることから旧石器時代の包含層である可能性もある。

第4層：地山層 無遺物層である。まばらに小角礫を含んでいる砂またはシルト層。下部では旧河川の河床礫と想定し得る円礫層を確認した。

### 3. 前田地点の基本層序（第8・9図）

前田地点の層序は、水成堆積に由来する遺物包含層が多く、跡津川断層の活動に伴って背後に位置する「あわらが池」の流失物が堆積したものと推定される。また、同地点のやや南よりに検出された断層角窪地の埋土には、比較的良好な状態の包含層を含んでいる。

前田地点の文化層は、18におよぶが、大きく分けて次のとおりに区分される。

〈表土・耕作土〉 現況の畑地や水田の耕作土。中近世以降の遺物を含んでいる。第1・2層。

〈古墳時代～古代包含層〉 古墳時代から平安時代までの遺物包含層。第3層。

〈縄文時代晩期末葉包含層〉 縄文時代晩期末の遺物を包含する。第4層。

〈縄文時代前期～晩期前半包含層〉 縄文時代前期から晩期前半の包含層については、水成堆積による砂質土層であり、同地点の広い範囲にみられる。基本的には早期から晩期前半までの土器が混ざる状態であるが、部分的に純粋な包含層として把握できる箇所を含んでいるため、第5層から第8層までの層位番号を付した。

〈縄文時代草創期～早期包含層〉 第9層から第18層までの包含層を前田地点下層と呼ぶことは前述したとおりである。このうち、第9層から12層までが縄文時代早期包含層、第13層から第15層までが縄文時代草創期包含層である。第16層からは、縄文時代草創期初頭ないし旧石器時代最終末として位置付けられる遺物が包含している。旧石器時代的要素が含まれ、報告書執筆上便宜的に旧石器時代の包含層として扱った。また、第16層より出土した遺物のうち、石器については旧石器の項で扱い、土器については、縄文土器の項で扱った。

〈旧石器時代包含層〉 下層と呼ぶ文化層のうち第16層から第18層までを旧石器時代包含層として扱う。第16層は、削片系細石刃核および神子柴型尖頭器を指標とする。第17層は、円筒型（角柱状）細石刃核を指標とし、第18層は小型ナイフ形石器を指標とする層である。

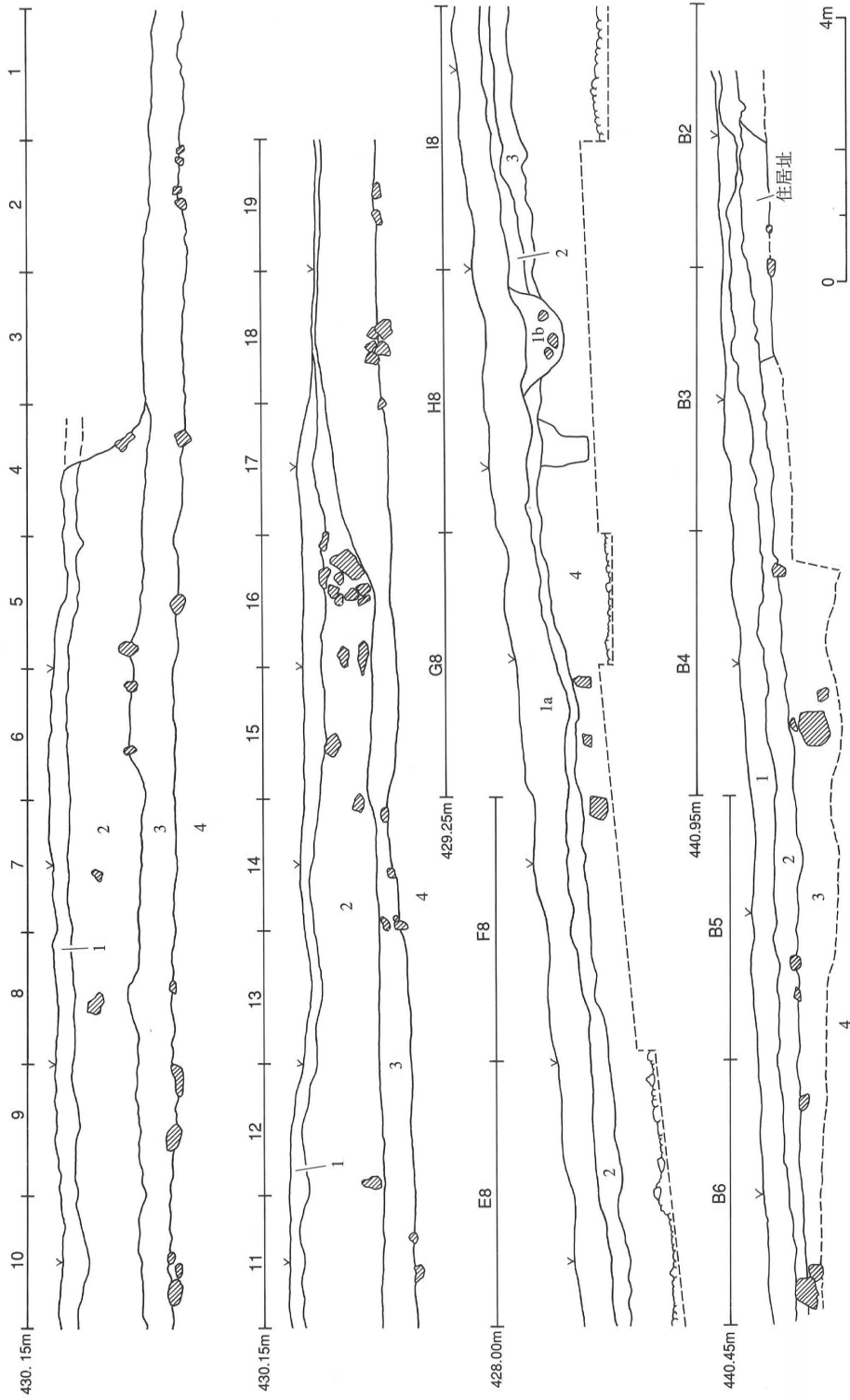
図示したセクションは南北方向A12からA19までの西壁と東西方向A9からC9までの北壁のものである。それぞれの文化層は、場所によって堆積の厚さに差があり、場合によっては途切れてしまう。このため、各地点同様の統一したスケールでは、全層を図示することが不可能であり、第8図では、上記に準じた大まかな分層にとどめた。第9図において代表する部分を拡大し、層位番号を示した。なお、南北方向のセクションでは、A14からA18区にかけて断層角窪地の西端部が現れている。前田地点の18層におよぶ文化層のそれぞれの内容は、次のとおり。

**第1層：**表土層 場所によって土質や色調が異なる。現況の水田や畑地の耕作土・盛土。層厚は、25～55cm。

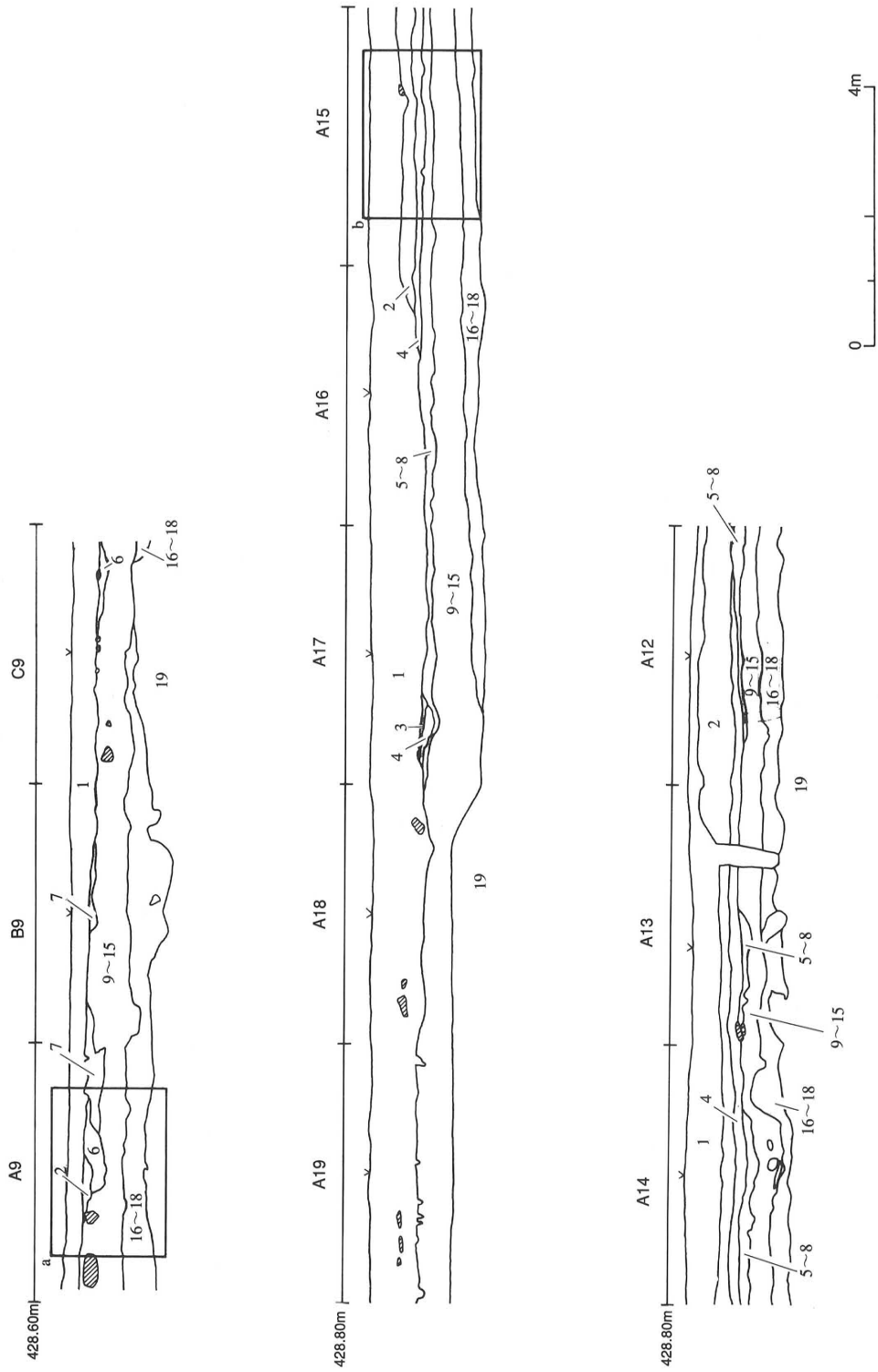
**第2層：**黒褐色土層 旧水田土にあたる。中世および近世・近代初頭の遺物を包含する。層厚は、30～55cm。

**第3層：**青灰褐色粘土層 第1層および第2層の耕作によって失われ、部分的に残る。古墳時代から平安時代の遺物を包含する。B17・18区を中心に遺存する。層厚は4～10cm。

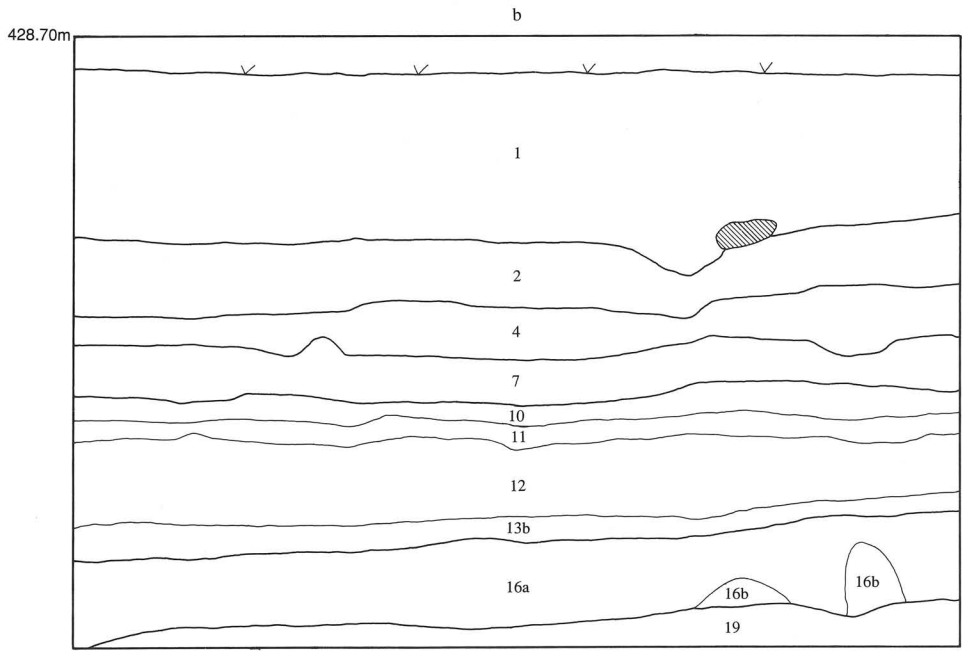
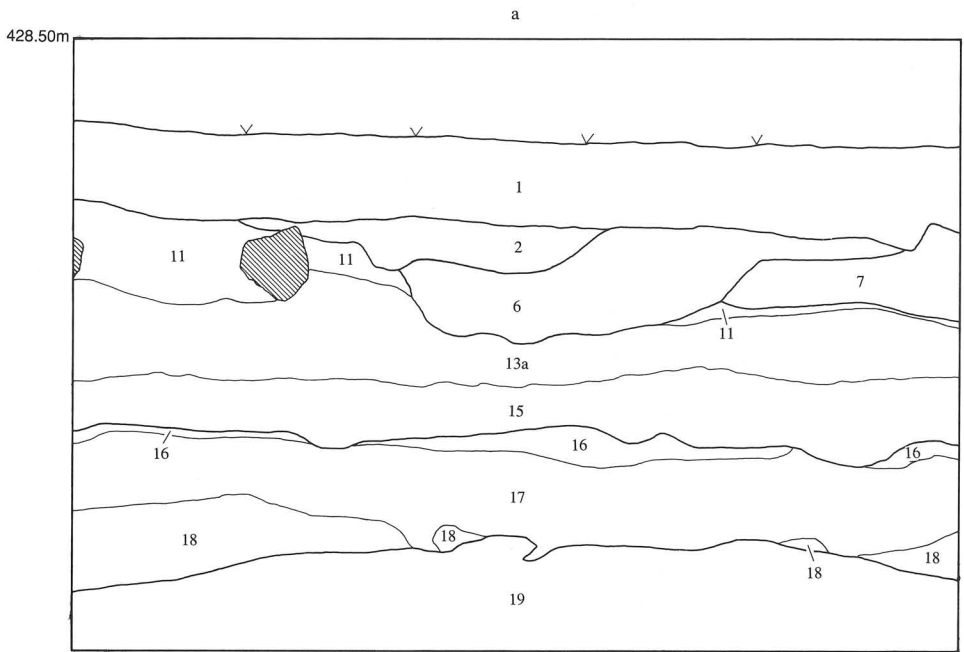
**第4層：**黒色土層 やや粘質を帯びる黒色土層。縄文時代晩期の遺物を包含する。大洞C2式並行の浅鉢の完形個体や漆塗りの櫛が出土している。12列から16列まで分布が認められた。包含



第7図 セクション図1 (1・2列：宮ノ前地点、3列：うづか地点、4列：センター地点)



第8図 セクション2 (前田地点)



第9図 セクション図3 (前田地点拡大)

する遺物量は少ない。層厚は、8cm～20cm。

**第5層：**黄褐色砂礫層 極めて部分的に残る。井口・八日市新保・御経塚式に比定される土器を包含する。

**第6層：**茶褐色砂礫層 鉄分によって茶褐色を呈する砂質土層。今回の緊急調査では、9列・10列付近で部分的に検出されたに過ぎないが、国庫補助事業による周辺地域の範囲確認調査によって、同地点の東に分布していることが確認されている。周辺の確認区では、後期後半の土器を大量に含む。確認区に近い9列付近での層厚は、10cm前後である。

**第7層：**灰褐色砂礫層 断層角窪地および湧水点を中心とした部分に残存する有機質を含む砂礫層。ただし、湧水点の覆土は、湧水に起因する攪拌を受け淘汰を受けている。中期の土器を上限とする遺物包含層である。植物遺体や昆虫遺体が多く包含し、加工材などの木製品が出土している。また、この層の上面からは、配石遺構が検出されている。湧水点以外の区域では20～30cm前後の堆積が認められる。

**第8層：**暗褐色細粒砂層 同地点の南側に確認された包含層。残存は、極めて部分的でB22区を中心にみられる。堆積は2～3cmとごく薄い。諸磯C式並行の完形個体が出土している。

**第9層：**黒褐色粘土層 黒褐色を呈する粘土層。断層角窪地に沿って分布するが、厚さ2～3cmの薄い包含層である。早期終末の東海系貝殻条痕文土器の各形式を包含する。

**第10層：**青灰褐色粘土層 青灰褐色を呈する粘土層。密接施文の押型文土器を包含する。層厚は、10～20cm。

**第11層：**灰褐色少粒砂層 密接施文・带状施文の押型文土器を包含する。層厚は、20～33cm。

**第12層：**暗紫褐色粘土層 暗紫褐色を呈する土層。木片や昆虫遺体を多量に含む。黒鉛混入の带状施文の押型文土器を包含する。主に角窪地を中心に堆積するが、その他の区域にも広く認められる。角窪地以外の堆積は、極めて薄い。C11区では、集石炉が検出されている。角窪地周辺では10～25cmの堆積がみられるが、その他の区域では、2～3cm程度の堆積である。

**第13 a 層：**黄褐色少粒砂層 黄褐色を呈する少粒砂層。9列付近に最も厚く堆積する。表裏縄文土器を少量包含する。押型文土器の包含は認められない。層厚は、10～30cm。

**第13 b 層：**暗青灰褐色粘土層 木片を含む粘土層。表裏縄文土器とごく少量の爪形文土器を包含する。押型文土器の包含は認められない。角窪地周辺に堆積している。第13 a 層と時期差はないものと考えられるが、よりプライマリーな包含層と考えられる。層厚は、6～15cm。

**第14層：**灰褐色砂層 部分的に残る。石鏃1点のみ出土。年代決定資料となる遺物は出土していないが、前後の包含層より草創期の堆積層と考えられる。層厚は7～19cm。

**第15層：**灰褐色砂礫層 灰褐色を呈する砂礫層。かなり大型の礫を含む。水成由来の流失物であると考えられる。隆起線文土器を包含する。層厚は、25cm～50cm。

**第16 a 層：**青灰褐色シルト層 細石刃関連資料を始め尖頭器・先刃搔器など旧石器的な石器群と土器を包含する。B13・14区付近において礫群遺構2基が検出されている。旧石器時代最終末ないし縄文時代草創期初頭の包含層と考えられる。層厚は、12～25cm。

第16b層：灰褐色細粒砂層 第16層中に厚さ10～20cm程度のブロックとして存在する。土器を包含する。第16a層との時期差はないものと考えられる。

第17層：青灰色細粒砂層 青灰色を呈する砂層。細石刃関連資料を包含する。土器の包含は認められない。木片や毬果など植物遺体のラミネーション混入がみられ、そのなかには昆虫遺体も含まれる。層厚は、22～56cm。

第18層：灰褐色砂層 灰褐色を呈する砂層。部分的に残存する。小型のナイフ形石器を包含する。遺物の包含量については、第17層に比較して少ない。7層厚は20～27cm。

第19層：地山層 砂・シルト・粘土の水平堆積の互層となり、基盤には円礫層が現れる。いずれの層からも遺物は検出されず、地山層と判断した。なお、第18層との堺は、不整合となるため文化層と地山層との区分は容易である。

#### 4. センター地点の基本層序（第7図）

センター地点では、縄文時代の住居址が検出されたものの包含層の大半は、耕作による人的攪乱が進んでいる。住居址形成以前の包含層についても、背後の牛山からの崩落した角礫によって攪乱されている。

第1層：暗褐色表土 畑地の耕作土。黒みの強い茶褐色を呈する。細かな礫を含み多少粘質を帯びる。遺物がほとんど出土しないことから、客土と考えられる。

第2層：黒褐色土層 多量の縄文時代遺物と少量の歴史時代遺物が含まれる。客土以前の耕作土であると考えられ、人為的な攪乱が進んだ土層。

第3層：茶褐色土層 大型の船津型花崗岩類角礫を含む茶褐色土層。背後の牛山より崩落したものと推定される。上部に縄文時代遺物を若干含む。

第4層：地山層 船津型花崗岩類の角礫および風化土からなる。

## 第2節 各層の分布

各地点ごとの土層については、堆積由来によって表土・耕作土等の人的な攪乱層と腐食土で形成される遺物包含層、水成堆積による遺物包含層の三つに大別される。

表土・耕作土などの人的攪乱層は、宮ノ前地点第1層から第3層、前田地点第1・2層、うづか地点第1層、センター地点第1・2層がこれにあたる。

地点によって調査前の現況が異なるため、表土の性格も異なっている。前田地点第1層・うづか地点第1b層は、現況の畑地および水田の耕作土である。宮ノ前地点第1層は、グランド盛土であり、同第2層がグランド整備前の畑地の耕作土である。センター地点第1層については客土であり、同第2層が客土以前の耕作土である。これらには、近・現代の遺物を混入する。

宮ノ前地点および前田地点では、現況または現況直前の耕作土の下に水田耕作土と考えられる土層が分布している。宮ノ前地点第3層と前田地点第2層がこれに該当する。この層からは、中・近世から近代初頭の遺物が少量出土している。また前田地点では、この層の上面に神明神社の旧参道と考えられる石畳が検出された。昭和初期頃まで使用されていたものと伝えられている。

腐植土で形成された遺物包含層としては、前田地点の第4層（縄文時代晩期末葉）とうづか地点の第2層（縄文時代前期）がある。前田地点の第9層（縄文時代早期末葉）、第12層（縄文時代早期前半）、第13b層（縄文時代草創期後半）は、粘土に腐食質の混じるもので、湿地性の堆積環境による成因と推定できよう。

水成堆積による遺物包含層では、宮ノ前地点の第4層（縄文時代早期から晩期末葉・弥生時代前期）と前田地点の第3層（古墳時代から平安時代）、第5～8層（縄文時代前期から晩期後葉）第10・11層（縄文時代早期後半）、第13b層（縄文時代草創期後半）、第14層（縄文時代草創期）、第15層（縄文時代草創期前半）第16層（縄文時代草創期初頭または旧石器時代最終末）、第17層（旧石器時代細石刃文化期）、第18層（旧石器時代ナイフ形石器文化期）である。水成堆積による包含層では、砂礫・砂・シルト・粘土の順で遺物の上下混入の度合いが少ないものと判断されるが、前田地点第15層のように大きな礫を混入する砂礫層中の剥片が接合することなどから部分的に水成攪乱を免れた箇所も含んでいる可能性がある。水成堆積による遺物包含層の分布は、宮ノ前地点と前田地点に限られ、うづか地点・センター地点では、同様な分布状況を示していない。

これらの各地点における遺物包含層の対応関係については、もっとも多くの分層が可能であった前田地点を基準として考察したい。表土および耕作土の各地点の状況は、先に述べたとおりである。古墳時代から平安時代の遺物を包含する第3層と縄文時代晩期末の遺物包含層第4層については、他地点では、明確に対応する包含層は認められない。ただし、うづか地点第1b層の自然流水路堆積土や同地点で検出された平安時代住居址が前田地点第3層に相当すると考えられる。

縄文時代前期から晩期までの水成堆積土である前田地点第5層から第8層については、遺物の上下混入がある程度みられることは、前述したとおりである。このことから、宮ノ前地点第4層



の砂礫層が、前田地点第5層から第8層までにほぼ対応するものと考えられる。縄文時代前期から晩期にかけての砂礫層は、前田地点に比べて宮ノ前地点のほうが、より遺物の上下混入が及んでいるものと考えられる。これは、宮ノ前地点が断層活動によって起こった「あわらが池」からの出水の影響を直接的に受けことによると考えられる。断層活動に伴う出水は、断層崖の脇から宮川河岸に抜ける「蛇抜け」と呼ばれる谷状地形に沿って流れたと考えられ、宮ノ前地点は「蛇抜け」の端部に位置している。

前田地点で部分的に分層できた第8層については、出土した土器からうづか地点第2層に相当すると考えられるが、堆積層の性格については、まったく異なるものである。

前田地点の第9層から第18層までの縄文時代早期以前の遺物包含層では、他の地点に対応する層位は検出されなかった。

旧石器時代遺物包含層は、他の地点では検出されなかったが、うづか地点やセンター地点では明らかな旧石器時代遺物が縄文時代の包含層より出土している。

なお、センター地点の第3層は、牛山からの崩落土と考えられ、縄文時代の遺物を含むものの二次的な堆積層である可能性が高い。この層に縄文時代中期の住居址が掘り込まれていることから成因時期は、縄文時代中期以前であると考えられる。

また、センター地点から出土したナイフ形石器は、前田地点包含層出土のものに比較して編年的に古いものと考えられる。前田地点の基盤層の検出状況やセンター地点の層序などから考えても別地点からの流れこみとするのが妥当な単独の出土例である。

## 第4章 遺 構

### 第1節 検出された遺構

今回の発掘調査では、宮ノ前地点を除く、各地点で遺構が検出されている。

前田地点では、第16層から2基の礫群、第12層から集石炉1基が検出されたほか、別地点からは木枠を伴う土坑が検出された。また、断層角窪地を中心として、杭列が検出されたほか、大型の建築材が出土した湧水ポットや、水場の利用に関係すると考えられる配石が検出されている。

うづか地点から平安時代の住居址が1基、センター地点から縄文中期の住居址1基がそれぞれ検出されている。

ここでは、地点毎に記載する。

#### 1. 前田地点

##### 1-1) 第1号礫群 (第10図、図版7上)

〈位置と確認〉 B13区に位置する。第16層を掘り進める段階で検出された。

〈規模〉 礫は、ほぼ2.1×1.1mの範囲に分布する。礫の大きさは、5cm前後の揃ったもので明らかな焼成は認められない。ほぼ平面的な広がりを見せ、掘り込みは確認できない。

##### 1-2) 第2号礫群 (第11図、図版7下)

〈位置と確認〉 B11区に位置する。確認状況は、第1号礫群と同様である。

〈規模〉 礫は、ほぼ2×1.5mの範囲に分布する。礫の大きさは、5cm程度のものと、20cm前後のものがある。大きな礫には、使用痕の残る台石が含まれている。

##### 1-3) 集石炉 (第12図、図版8)

〈位置と確認〉 B11区に位置する。第12層を掘り進める段階で検出された。

〈規模〉 掘り込みは不明瞭で、土坑の規模はわからない。礫は、ほぼ1.7×0.6mの範囲に分布し、これらの礫を取り囲むように3.4×1.0mの範囲にカーボンが堆積している。カーボンの厚さは、最大4cmに達する。

〈出土遺物〉 II期第1群土器をはじめとする土器が出土している (第18図10~13)。

##### 1-4) 第1号土坑

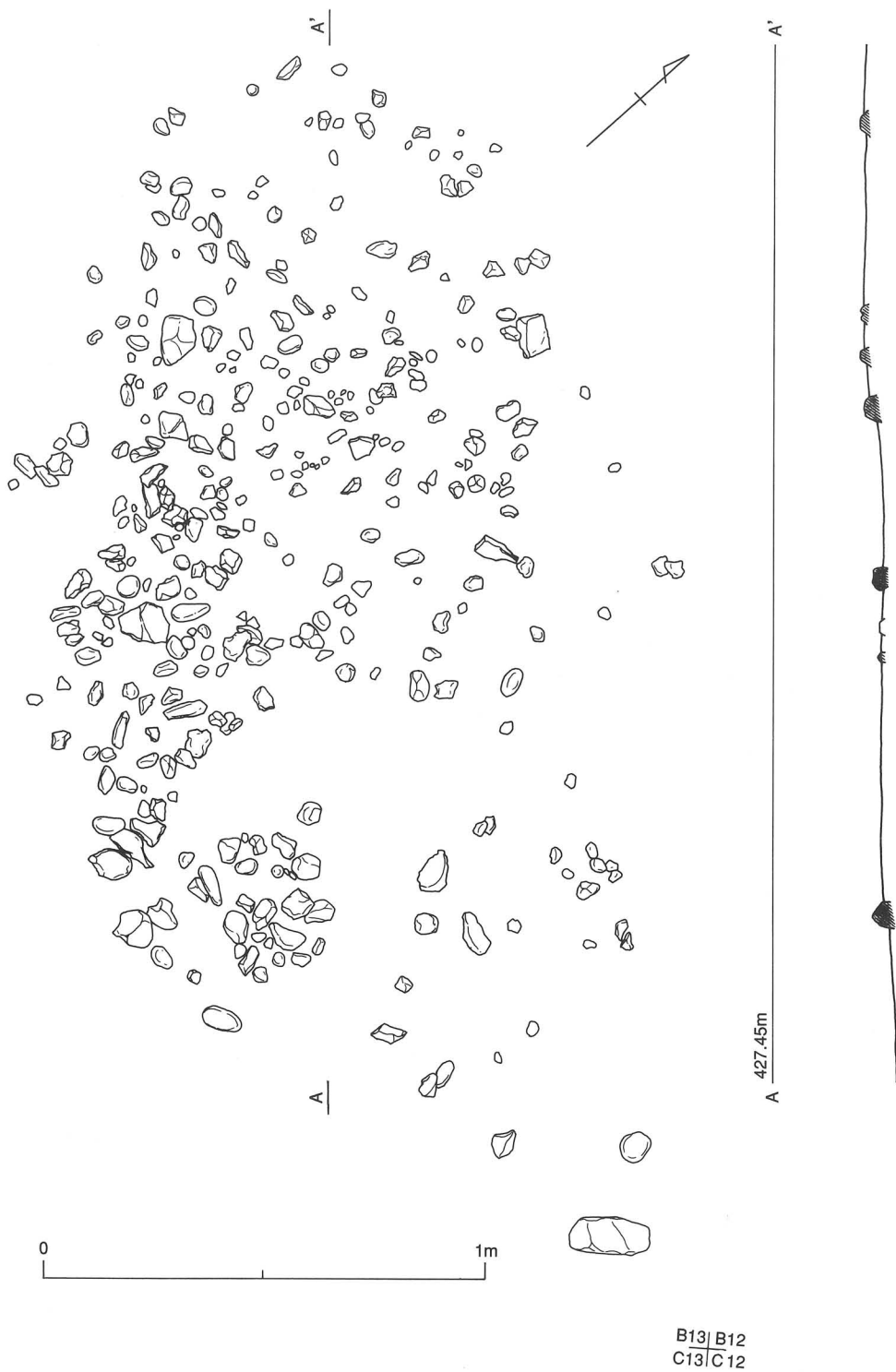
〈位置と確認〉 B2区に位置する。第7層を掘り進める段階で、プランを検出した。

〈規模・構造〉 直径2.3m程度のやや不定形な円形で、断面は皿状を呈す。確認面から最も深い部分までは、約0.4mある。

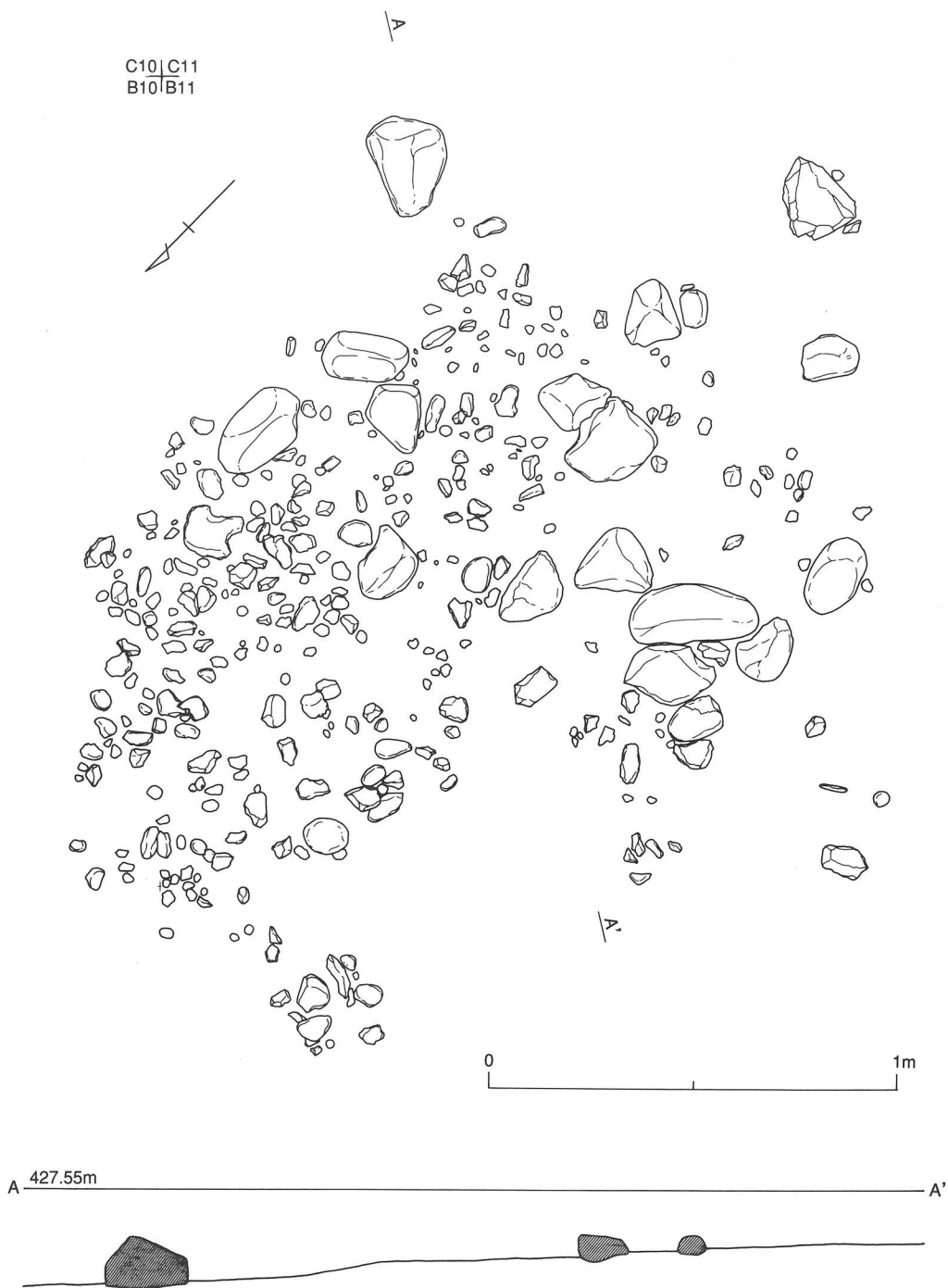
〈出土遺物〉 出土した土器片は断片的なものであったが、縄文時代中期後半に属するものとみられる。また、覆土からクルミが出土しており、水場付近に設置されたクルミの貯蔵穴と考えられる。このクルミについては、第6章第4節で報告する。

##### 1-5) 第2号土坑 (第13図、図版9上)

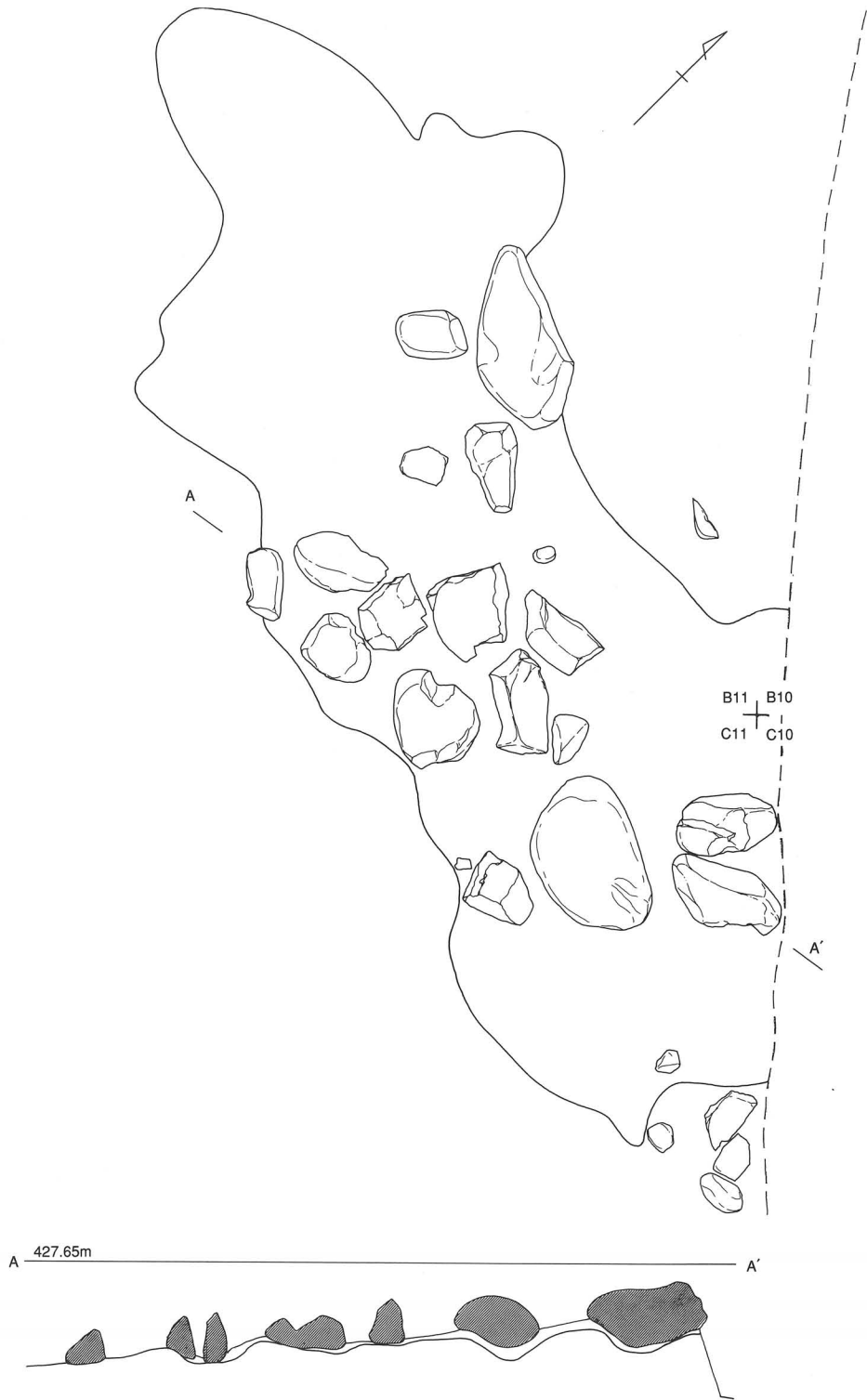
〈位置と確認〉 B2区に位置する。第7層を掘り進める段階で、木枠の上部を確認した。



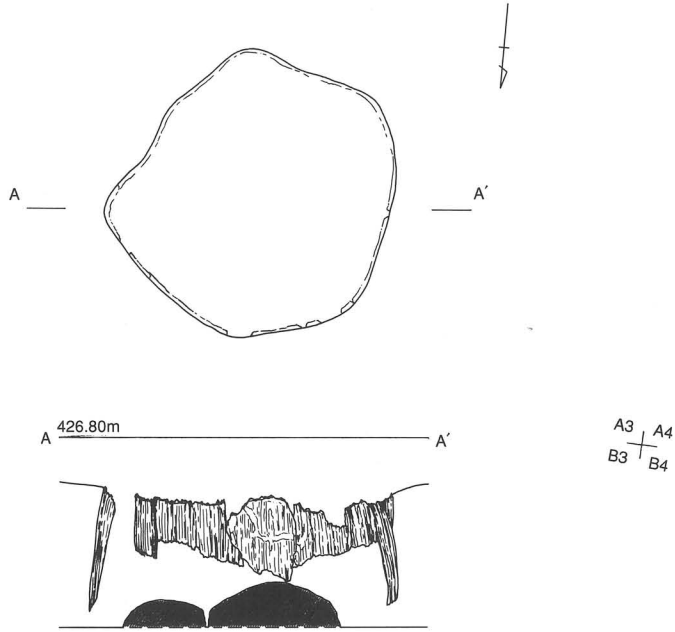
第10図 前田地点第1号礫群実測図



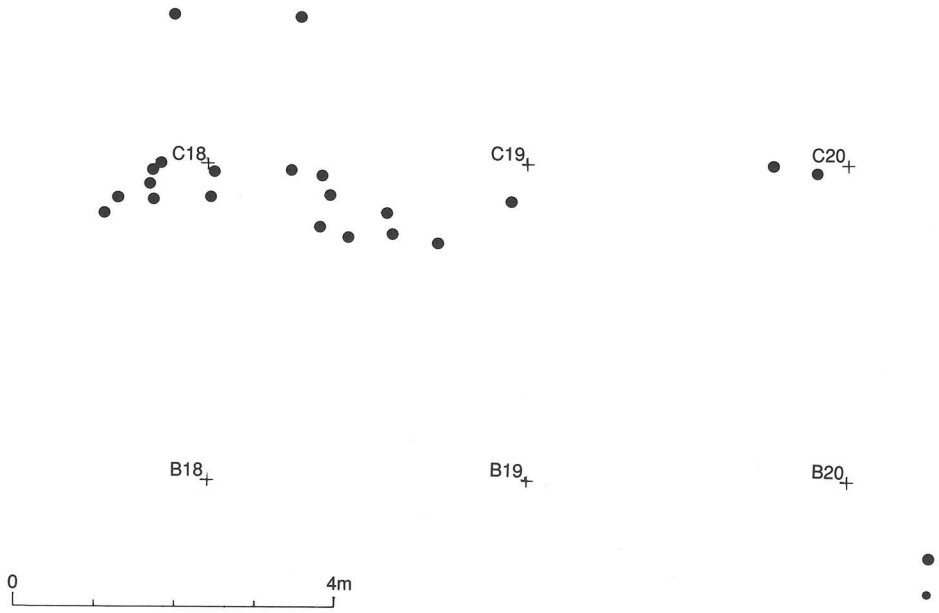
第11图 前田地点第2号礫群实测图



第12図 前田地点集石炉実測図



第13图 前田地点第2号土坑实测图



第14图 前田地点坑列配置图

〈規模・構造〉 土坑は、0.7m程度の円形で、明確ではないが、深さは0.4m程度とみられる。木枠は、長さ30cm、幅20cm程度の加工材を組み合わせたものである。

〈出土遺物〉 時期を決定する資料は出土していないが、内部からクルミが出土している。水場付近に設置されたクルミの貯蔵穴と考えられる。なお、クルミは、第6章第4節で報告する。

#### 1-6) 杭列 (第14図、図版9下・10上)

〈位置と確認〉 B18・19区を中心に位置し、この周辺にも散在する。第12層を掘り下げる段階で検出された。杭は、合計21点が検出されたが、B18・19区では、杭に方向性が認められる。

〈規模〉 杭の集中しているB18・19区では、並びの延長が約5mに達し、これに対する幅は、0.6~0.8m程度である。

〈出土遺物〉 検出された杭は、第5章第6節で扱い、杭の年代測定値は、第6章第1節で扱う。湿地あるいは水場に関連するものと考えられるが、その性格については不明である。

#### 1-7) 配石 (図版10下)

〈位置と確認〉 第7層を掘り進める段階で、B・C13~15区と、A~C18~21区から検出した。配石には、10~60cm程度の礫が用いられている。礫の配置には、特に規則性はないが、B19区では30cm程度の礫が、やや密集して置かれている。

〈出土遺物〉 配石の間から、Ⅵ期縄文中期中葉からⅦ期中期後葉の土器片が出土している。

また、配石には、台石・磨石などの石器がみられ、川原石利用の石核や大型剥片が散在している。このことから、石器類の加工や堅果類の処理などを行なう作業スペースといった性格が想定される。

#### 1-8) 湧水ポット (図版11)

〈位置と確認〉 調査区南端では、第7層の直下に基盤層が現われる。基盤層の上面を検出した時点で、B21・22区にまたがって、自然の湧水ポットが検出された。

〈規模〉 開口部は、ほぼ南北方向に長く、長さ4m、幅2.5m程度の大きさで、深さは約1.5mである。また、湧水ポットの東・西の端部は、浅いテラス状で、自然の湧水点を利用するため、人為的に削られた可能性がある。

〈覆土〉 覆土は、細粒成分が流され、淘汰を受けている。粗粒成分が残り、木片や種実遺体等の充填物が混在している状況から、湧水によるポットであると判断される。

人工遺物では、大型の建築部材の一部 (第5章第6節第1図1) や加工材 (第3図1~6)、第Ⅵ期縄文中期中葉からⅦ期中期後葉の土器片 (第18図1~6) が出土している。

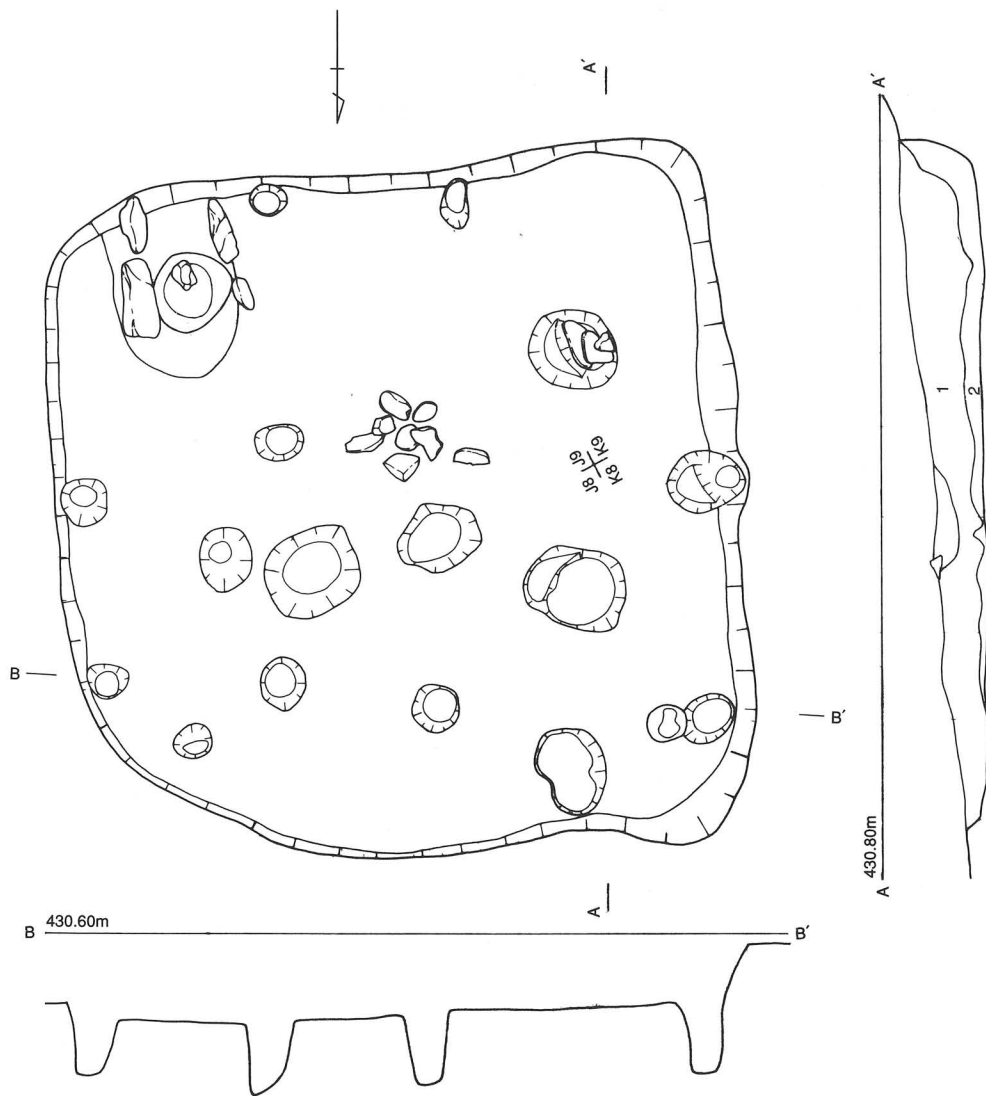
このほか、堅果類 (第6章第5節参照) や昆虫類 (第6章第3節参照) が多量に出土している。

年代決定資料は乏しいが、そのなかで部材の年代測定値は、中期後半の年代を示している (第6章第1節参照)。

## 2. うづか地点

### 2-1) 第1号住居址 (第15・16図、図版13)

〈位置と確認〉 第2層を掘り下げた後に、地山層への掘り込みが認められた。J・K8・9区に位置



第15図 うづか地点第1号住居址実測図

する。なお、住居外の南側に、溝が掘られているが、これは、雨水が住居に流れ込むのを防ぐために掘られたものと考えられる。

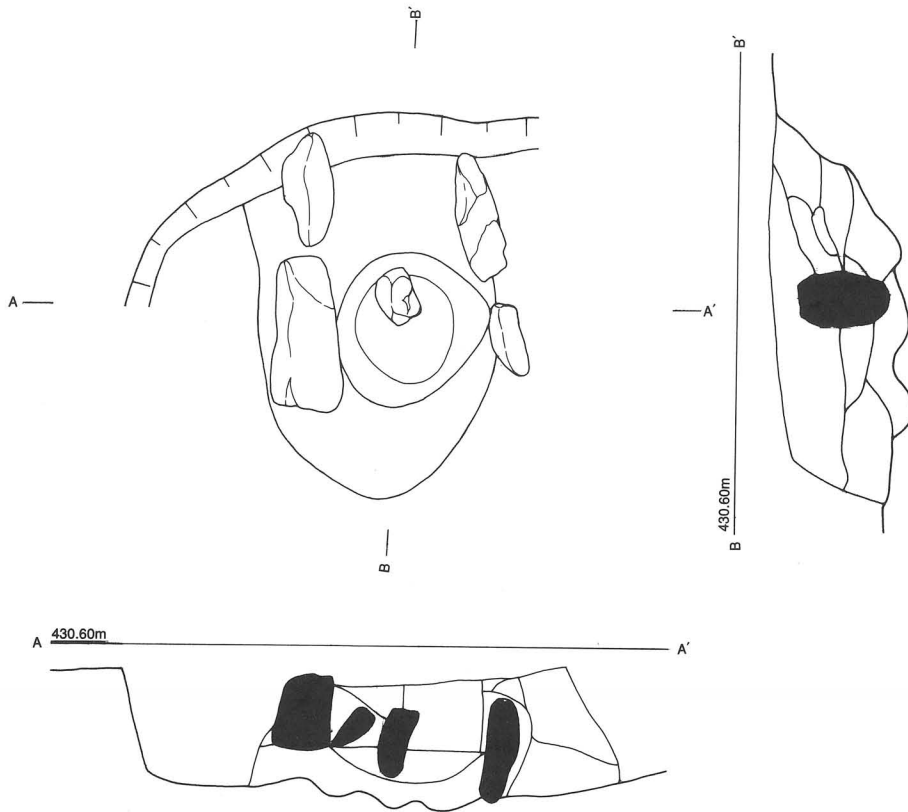
〈平面形・規模〉 平面形は、隅丸の方形である。規模は、一辺が約3.8mである。

〈覆土〉 覆土は、2層に区分できる。1層：黒褐色土、2層：黄褐色土である。

〈床面・壁〉 地山層をそのまま床面としている。床面は平坦である。壁は、かまど側が高く約40cmで、反対側が約10cmである。

〈柱穴〉 柱穴規模の掘り込みが17個ある。しかし、この配列から支柱穴の配置を想定することは、困難である。





第16図 うづか地点第1号住居址かまど実測図

〈かまど〉 南壁の南西コーナー寄りから、石組みのかまどが検出されている。中央に支脚を置き、袖石は左右に2個ずつ立てられている。支脚周辺の床面は、赤く焼けている。

また、袖石は、粘土をブロック状に含む黒褐色土で根固めされている。

〈出土遺物〉 覆土から、井ヶ谷78号窯式期並行の有台盤が2点（第52図17・18）と、黒笹14号窯式期並行の灰釉陶器皿が1点（同19）出土している。

### 3. センター地点

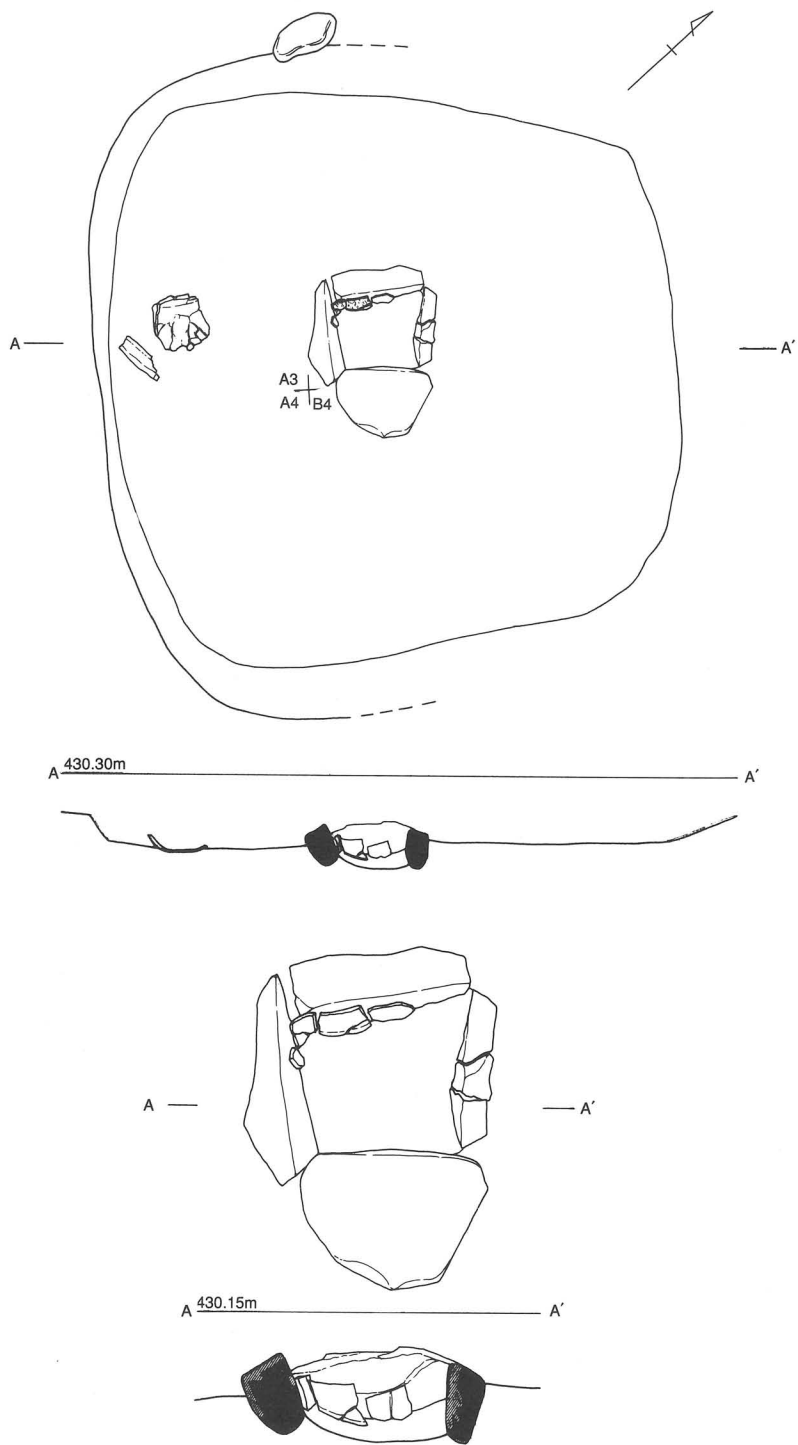
#### 3-1) 第2号住居址（第17図、図版14）

〈位置と確認〉 A・B3・4区に位置する。第2層を掘り下げた後、第3層上面に掘り込まれているプランを確認した。

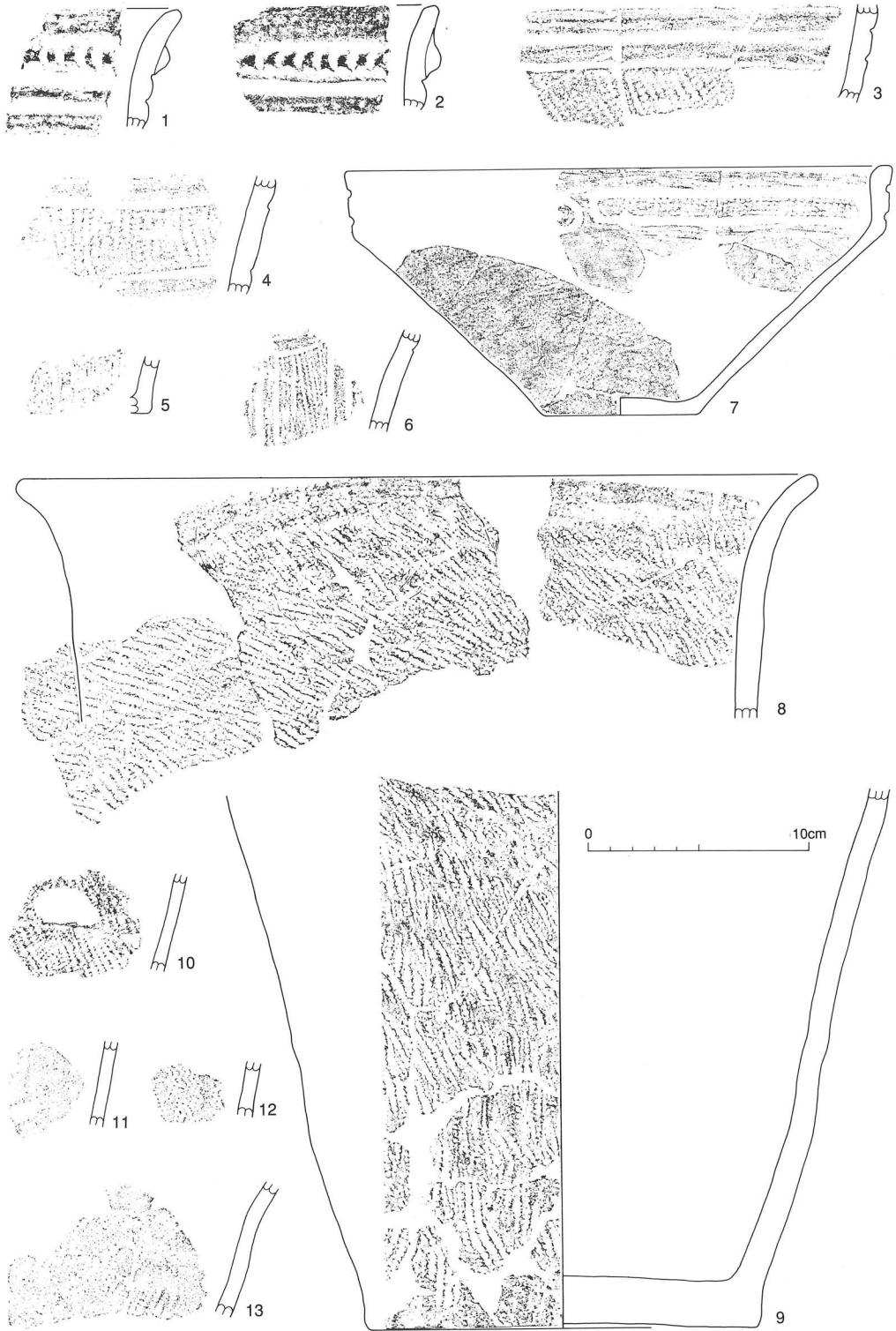
〈平面形・規模〉 一辺が、3.5m程度の隅丸方形のプランである。

〈床面・壁〉 ほぼ半周で壁が確認できたが、残りは掘り込みが浅いため、検出できなかった。検出できた壁の高さは、最大でも15cm程度である。地山面をそのまま床面として、特にしまりは認められなかった。

〈柱穴〉 検出できなかった。



第17図 センター地点第2号住居址・炉址実測図



第18図 遺構出土縄文土器拓影および実測図

〈炉址〉 住居址のほぼ中央から炉址が検出された。4つの花崗岩角礫を用いた石囲い炉で、一辺の長さは、60cm程度である。

〈出土遺物〉 炉址内（第18図8）と床面直上（同7・9）から、第Ⅶ期中期後葉の土器が出土している。

#### 4. まとめ

今回の発掘調査では、各時期の遺構が検出されている。第1・2号礫群は、旧石器時代終末から草創期のものとみられ、集石炉は、検出状況から早期前半のものとみられる。

また、センター地点の第2号住居址と、前田地点の断層角窪地周辺の各遺構は、縄文中期中葉から後葉のものである。このほか、うづか地点の第1号住居址は、出土遺物から9世紀前半のものとみられる。

次章で述べるが、宮ノ前遺跡から出土した縄文土器の主体は、中期後葉から後期のものが占める。同時期の遺物出土量と比較して、遺構の絶対数が少ない。今回の調査範囲の周辺、特に遺物量の多かった宮ノ前・前田の両地点周辺に、新たな遺構の存在が想定される。

# 第5章 人工遺物

## 第1節 縄文土器

### 1. 出土縄文土器の分類

今回の発掘調査で出土した縄文土器は、縄文時代のほぼ全般にわたるものであった。ここでは次の13期に区分した。

I期	縄水草創期	VIII期	縄文後期前葉
II期	縄文早期前半	IX期	縄文後期中葉
III期	縄文早期後半	X期	縄文後期後葉
IV期	縄文前期後葉	XI期	縄文晩期前葉
V期	縄文中期前葉	XII期	縄文晩期中葉
VI期	縄文中期中葉	XIII期	縄文晩期後葉
VII期	縄文中期後葉		

これらは、器形・文様構成等の形態的特徴から、さらに細分できる。原則的には、絶対量で多数を占める深鉢を中心に記述する。1群1型式としたが、型式間の区分が困難であったり、資料の乏しい場合は、この限りではない。

I～III期に属す土器群は、出土層位からIV期以降のものと区分できたが、これに続く各期の土器群に関しては、層位的な区分は不可能であった。なおこの報告では4つの地点を扱うが、地点ごとに出土土器の様相に特徴があり、このことについては後で述べる。

本節では、グリッドから出土した資料を提示したが、遺構から出土したものについては、挿図番号を記した。

本遺跡から出土した土器の主体を占めるのは、遺跡の置かれている地理的位置から、北陸地方に分布の中心を置く土器群である。このことから本節では、これらの土器群に主眼を置いた記述となる。また各期の区分も、現在北陸地方で行われている区分に従った。

### 2. I期 縄水草創期に属す土器群

隆起線文系土器・爪形文土器・表裏縄文土器と、これらに伴うとみられる土器群である。該当期の土器は、前田地点から出土したものである。

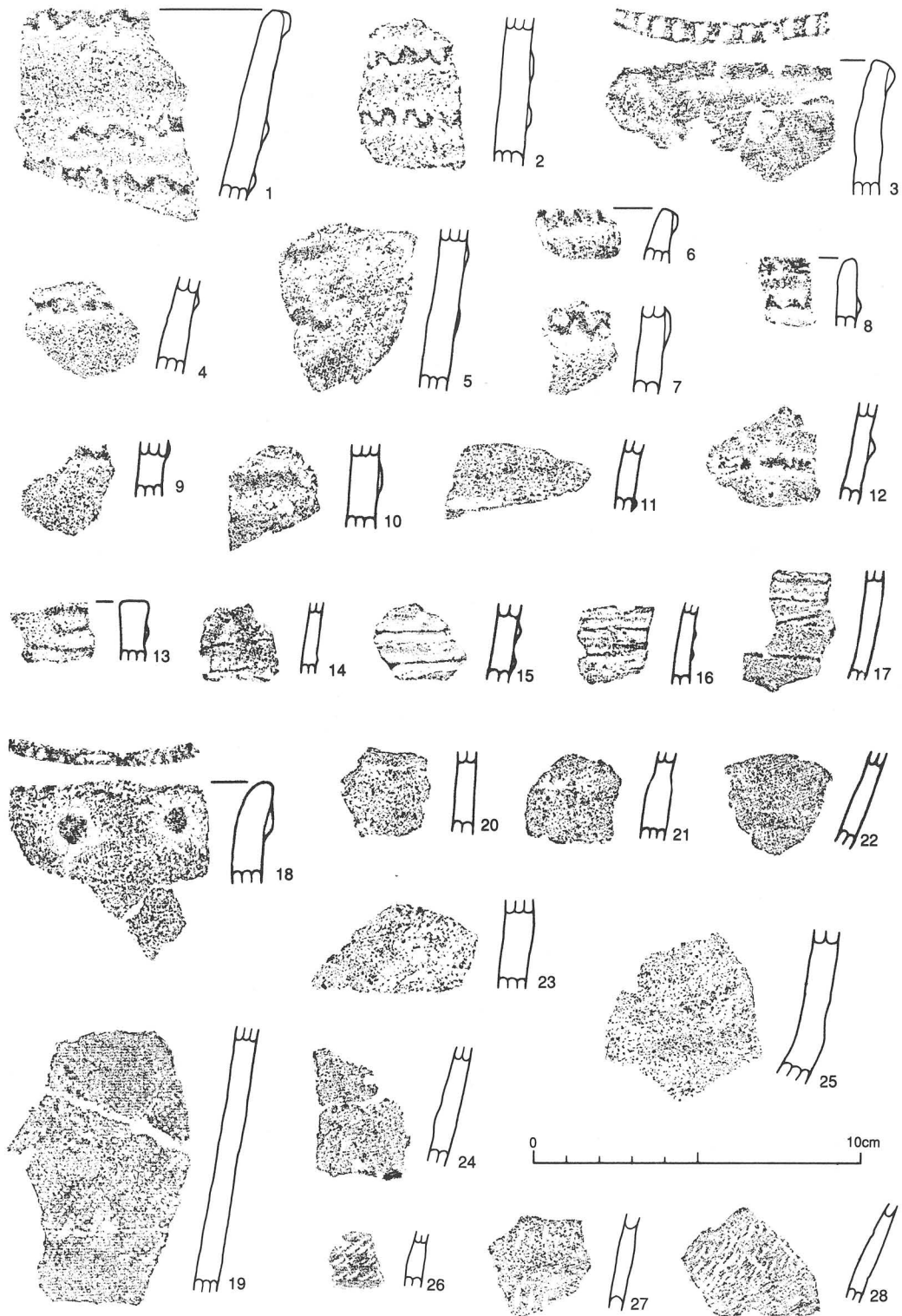
#### 2-1) 第1群土器(第19図1～25)

隆起線文土器と、出土状況からこれに伴うとみられる土器群で、一部を除き、前田地点の第15・16層から出土している。

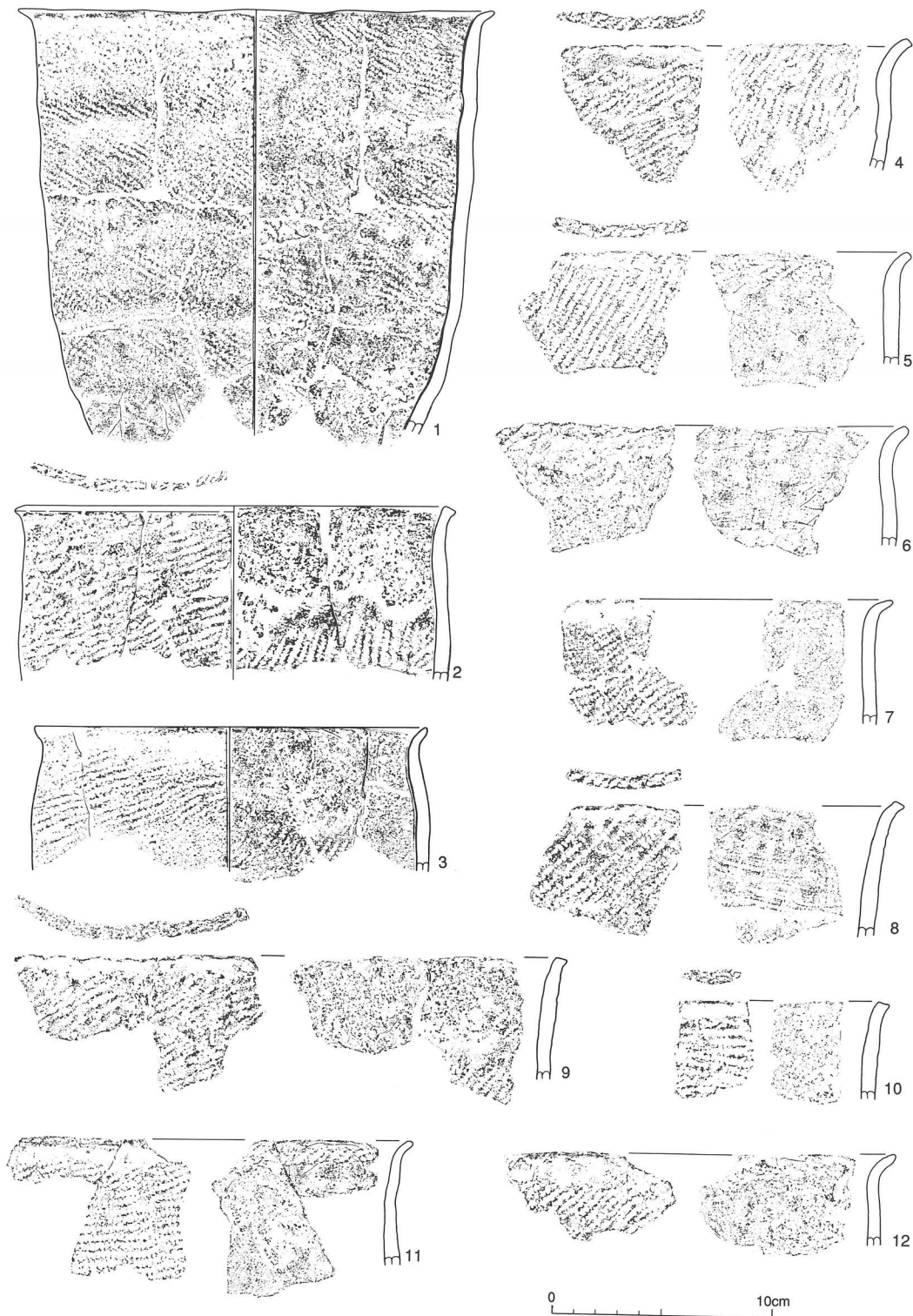
a類(同1～13) 幅5mm前後の隆起線文土器である。隆起線は口縁部と並行に貼付されている。上下からの交互刺突で波状を呈す事例が多い。

器厚は、8mm前後でやや厚手である。

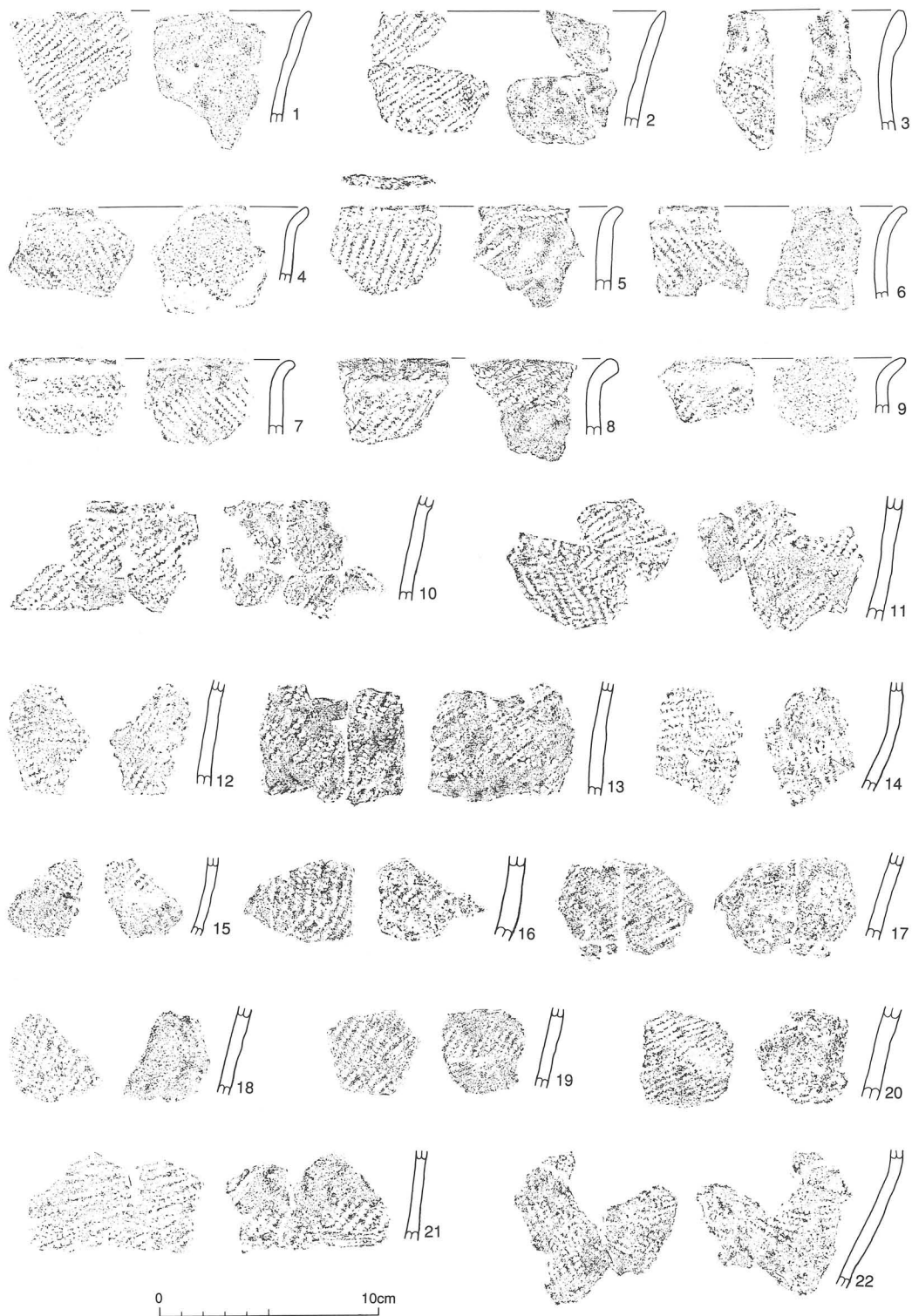
b類(同14～17) 微隆起線文土器であるが、資料が断片的であるため、a類との関係は不明



第19図 縄文土器拓影1 I期第1群土器：1～25、第2群土器：26～28



第20図 縄文土器拓影および美測図2 I期第3群土器(1)



第21図 縄文土器拓影3 I期第3群土器(2)



である。器厚は、5 mm前後である。

c類（同18） 豆粒文土器が1点出土している。

d類（同19～25） 第15・16層から出土した、縄文（同19）・無文（同20～25）土器である。

#### 2-2) 第2群土器（第19図26～28）

爪形文土器で、前田地点から出土している。出土層位は、すべて第13層である。出土点数は3点で、器厚は5 mm前後である。

#### 2-3) 第3群土器（第20・21図）

表裏縄文土器で、第13層から器形が推定できる資料を含め、まとまった量が出土している。

器形は、胴部が直線的な立ち上がりをみせ、口唇部直下で強く外反する。縄文は内外面ともに施文されるが、口唇部に施文される場合もある。

器厚は6 mm前後で、胎土中には砂粒が目立つ。焼成は良好とはいえず脆い。色調は、黒褐色系のものが多い。

### 3. II期 縄文早期前半に属す土器群

押型文土器と、これに伴うとみられる土器群である。第1群土器は沢式に比定でき、第2～8群土器は樋沢式から細久保式に比定できるものとみられる。

#### 3-1) 第1群土器（第22・23図）

胎土に黒鉛が含まれる、沢式土器である。施文具と施文方法から、次の4類に区分する。

a類（第22図・第23図1～35） 直線的に立ち上がる胴部で、口縁部は外反する。上半部には数条の山形文を、水平方向に帯状に施文する。その下部にはこれと直交する方向に、山形文をやはり帯状に施文する。

器厚は5～7 mm前後で、胎土に多量の黒鉛を含むので青褐色の色調である。また胎土は脆く、表面が摩耗している例が多い。

b類（第23図36・37） 縦方向のみの、山形文帯状施文とみられる。a類の胴部資料に、このb類のものが含まれている可能性がある。

c類（同38） 文様が不鮮明であるが、格子目文とみられるものである。

d類（同39・40） 胎土に黒鉛は含まれるが、無文の土器である。

#### 3-2) 第2群土器（第24図1～22）

帯状に施文される押型文土器であるが、胎土に黒鉛が含まれていないものを扱う。文様と施文方法から、次の6類に区分する。

a類（同1～4） 山形文が横位に帯状施文される類。

b類（同5～8） 楕円文が横位に帯状施文される類。

c類（同9～18） 格子目文が横位に帯状施文される類。

d類（同19・20） 山形文が横位と縦位に、直交するかたちで帯状施文される類。同19では、口唇部と内面にも同様の施文がある。

e類（同21） 楕円文が横位と縦位に、直交するかたちで帯状施文される類。

f 類 (同22) 格子目文が横位と縦位に、直交するかたちで帯状施文される類。

3-3) 第3群土器 (第24図23~32、第25図、第26図1~12)

押型文が、横位に密接施文される類。器厚が薄く、胎土に植物繊維を含まないことから、第4群土器と区別した。

a 類 (第24図23~32) 山形文が横位に密接施文される類。

b 類 (第25図) 楕円文が横位に密接施文される類。文様間に若干の無文部を残す場合もある。楕円粒は小振りで、比較的整っている。

器厚は概ね薄く、5~7mm程度である。

c 類 (第26図1~9) 格子目文が横位に密接施文される類。

d 類 (同10~12) いわゆる柵状文が横位に密接施文される類。

3-4) 第4群土器 (第26図13~16)

押型文が、縦位に密接施文される類。第2群土器と同様に器厚が薄く、胎土に植物繊維を含まない。次の2類に区分する。

a 類 (同13・14) 山形文が縦位に密接施文される類。内面には同様の原体で、横位の山形文が施されている。

b 類 (同15・16) 格子目文が縦位に密接施文される類。

3-5) 第5群土器 (第26図17~28、第27図)

横位に密接施文される土器群であるが、器厚が概して厚いことと、胎土に植物繊維を含むことから、第2群土器とは区分される。

a 類 (第26図17~28) 山形文が横位に密接施文される類。器厚は8~10mmと厚く、胎土に植物繊維を含む。波状口縁を呈する場合もあり、山形は大振りのものが多い。

b 類 (第27図1~18) 楕円文が横位に密接施文される類。同10・11の口唇部直下には、斜め方向に沈線文が施されている。

c 類 (同19~23) 山形文と楕円文が、交互に密接施文されている類。

同19は、口縁部にかけて直線的に外反する器形で、胎土にはやはり植物繊維を含んでいる。

3-6) 第6群土器 (第28図1~28)

縦位に密接施文される土器群である。同じ縦位の密接施文である第3群土器とは、本群の土器の器厚が概して厚く、胎土に植物繊維を含んでいることから区分した。

a 類 (同1・2) 山形文が縦位に密接施文される類。

b 類 (同3~27) 楕円文が縦位に密接施文される類。

c 類 (同28) 山形文と楕円文が、縦位に密接施文される類。

3-7) 第7群土器 (第28図29・30)

楕円文が、横位と縦位に直交するかたちで、施文されているもの。

3-8) 第8群土器 (第29図)

第2~7群の押型文土器に伴うとみられる土器群である。次の3類に区分する。

- a類（同1～12） 縄文の施文されている類。
- b類（同13～26） 撚糸文の施文されている類。
- c類（同27～35） 無文土器の類。

#### 4. III期 縄文早期後半に属す土器群

条痕文系土器群と、これに後続する土器群である。

##### 4-1) 第1群土器（第30図）

茅山下層式に比定できる土器群である。

胴部に屈曲部をもち、口縁部は垂直に立ち上がるか、わずかに外反する。幅の広い沈線文の間に、連続して刺突文を施す。

胎土には植物繊維が含まれ、器厚は10mm程度と厚手である。

なお同22は、沈線で三角形の区画が描かれ、先行する型式に属す可能性が高いとみられる。

##### 4-2) 第2群土器（第31図、第32図1～8）

柏畑式に比定できる土器群である。

第1群土器にみられた胴部の屈曲が消え、連続爪形文による文様構成は単純化する。

胎土にはやはり植物繊維が含まれ、器厚は8mm程度である。

##### 4-3) 第3群土器（第32図9～15）

第1・2群土器に伴うとみられる、縄文施文の土器である。胎土に植物繊維を含み、内面には器面調整の条痕文が認められる。

##### 4-4) 第4群土器（第32図16～20）

第2群土器に後続する、早期末葉の土器群である。資料内容が乏しいことから、第4群土器として一括で扱う。

a類（同17・18） 上ノ山式に比定できる。同17は隆帯上に、上下から交互に刺突を加えている。胎土に植物繊維を含み、内外面ともに条痕文が認められる。

b類（同16） 入海I式に比定できる土器で、断面三角形の隆帯上に刺突が施されている。

c類（同19・20） 石山式に比定できる土器である。連続して爪形文を施す土器で、器厚は5mm前後と薄く、胎土には少量の植物繊維が含まれている。

#### 5. IV期 縄文前期後葉に属す土器群

次の8群に区分する。なお今回の発掘調査で対象となった範囲から、縄文前期前葉から中葉に属す土器群は、出土していない。

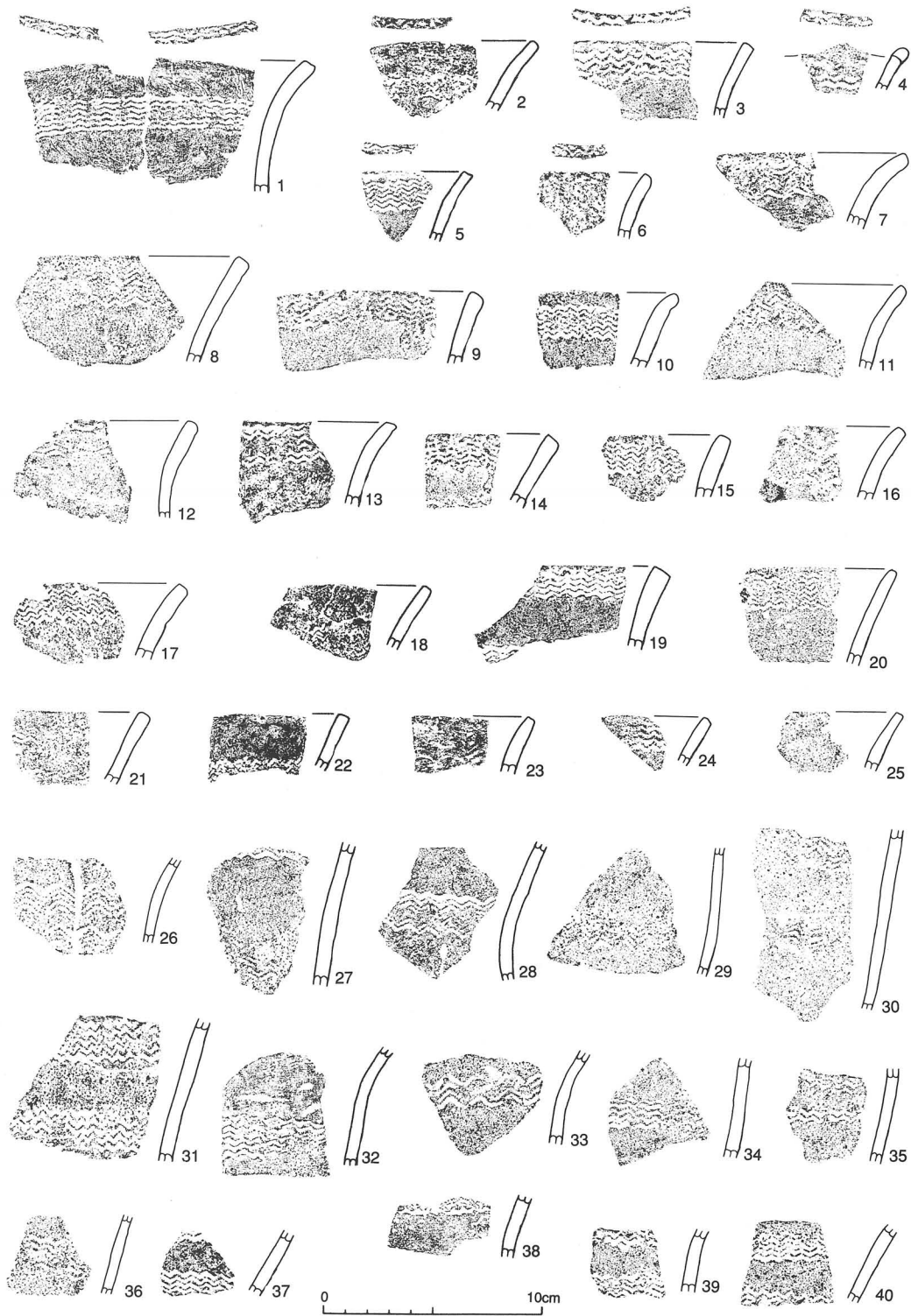
##### 5-1) 第1群土器（第33図1～4）

断片的な資料であるが、北白川下層IIb式に比定できるとみられる土器群である。

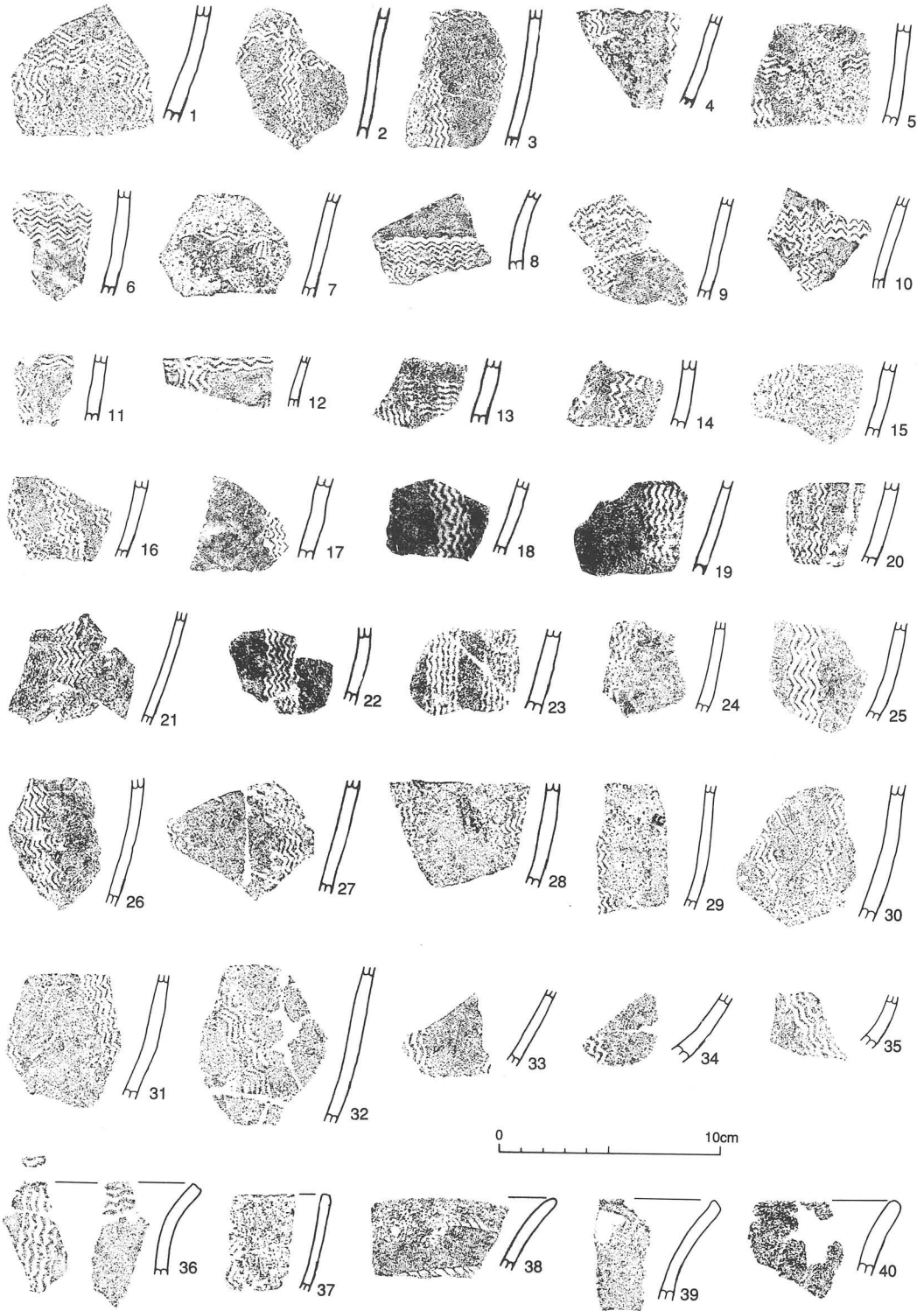
##### 5-2) 第2群土器（第33図5～31）

北白川下層IIc式に比定できる土器群である。

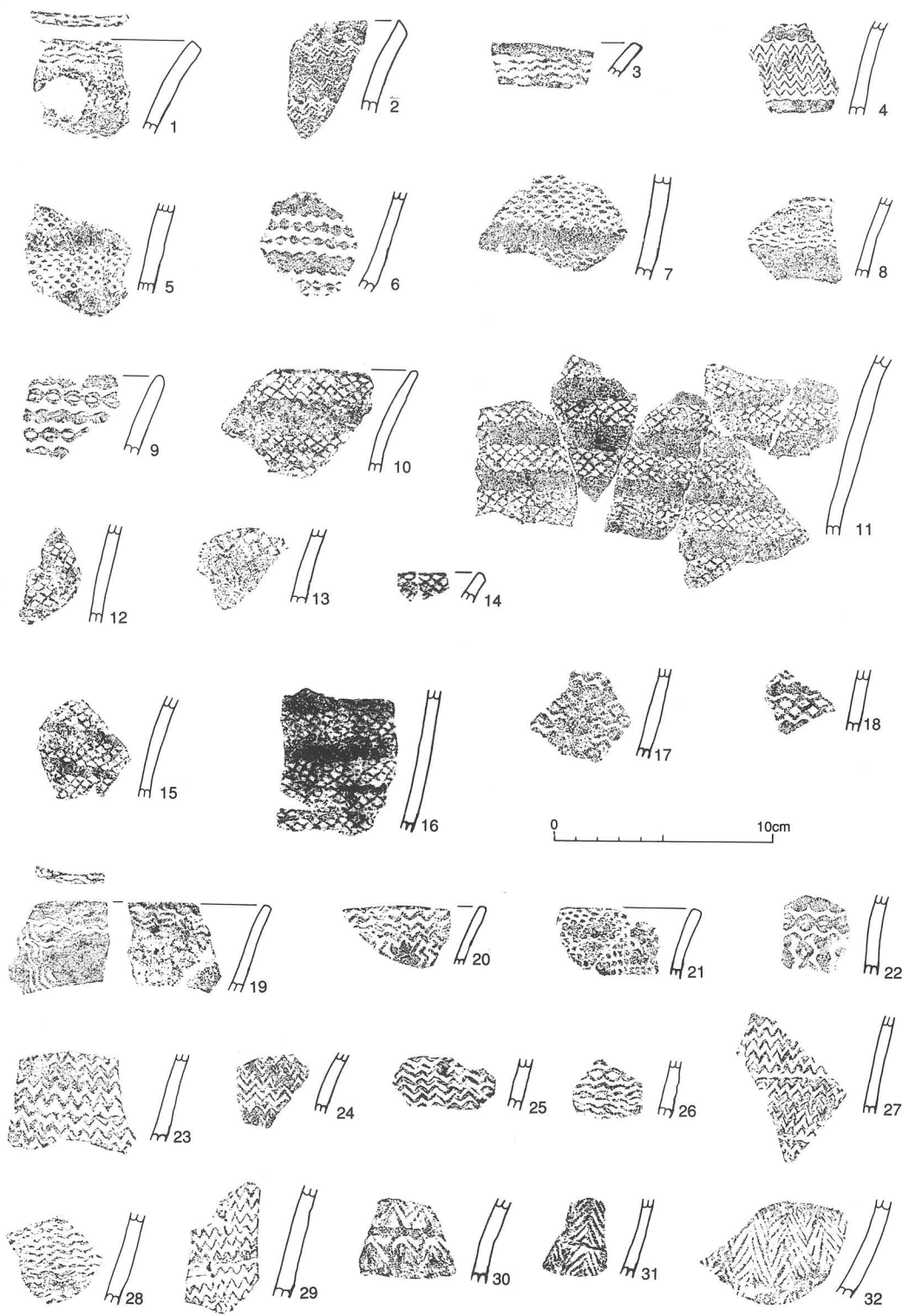
口縁部を中心とする部位に突帯文を貼付する土器で、キャリパー状に内湾する口縁部をもつ。口縁部は平縁の場合が多いが、波状口縁の場合もある。



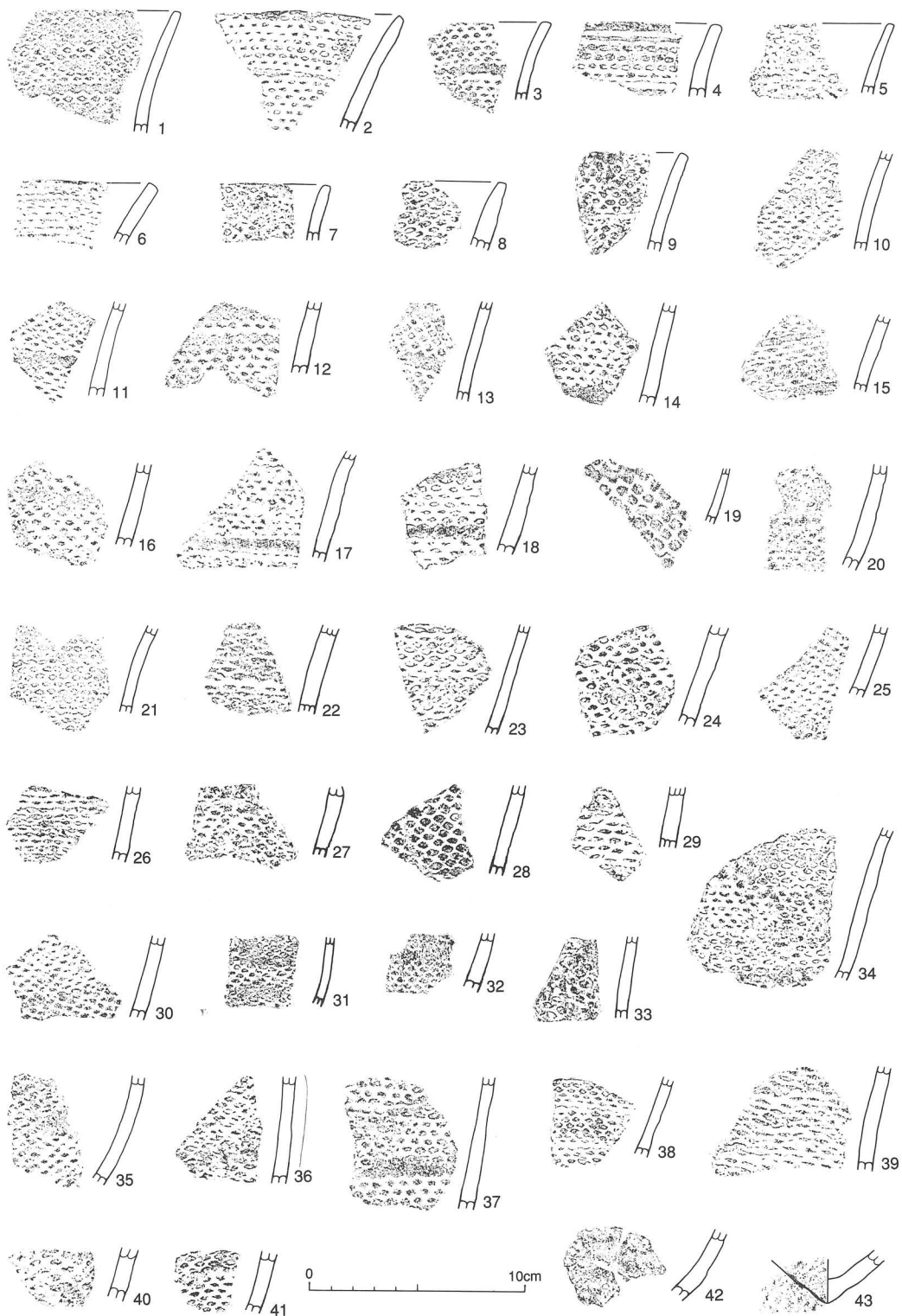
第22図 縄文土器拓影4 II期第1群土器(1)



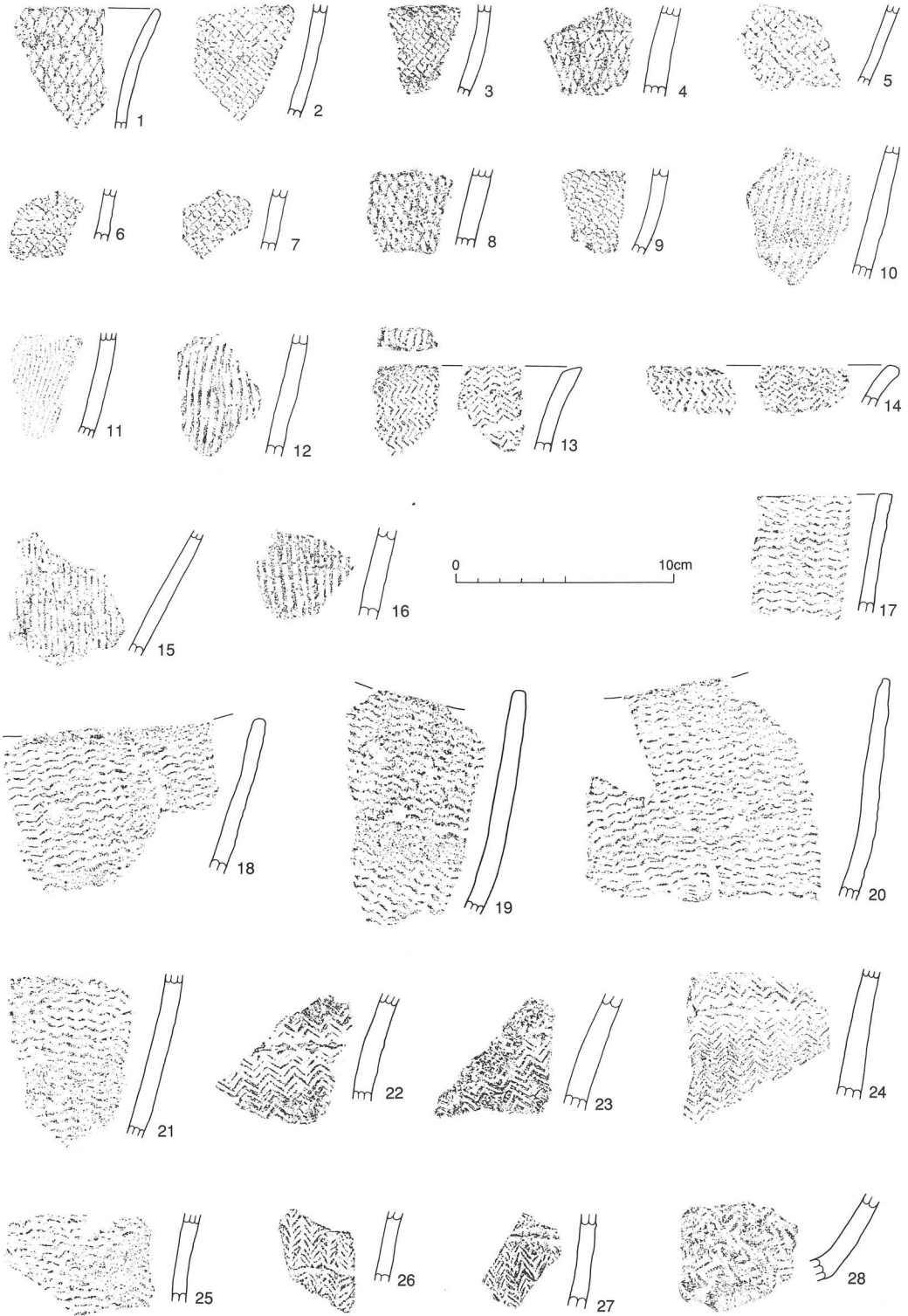
第23図 縄文土器拓影5 II期第1群土器(2)



第24図 縄文土器拓影6 II期第2群土器：1～22、第3群土器23～32

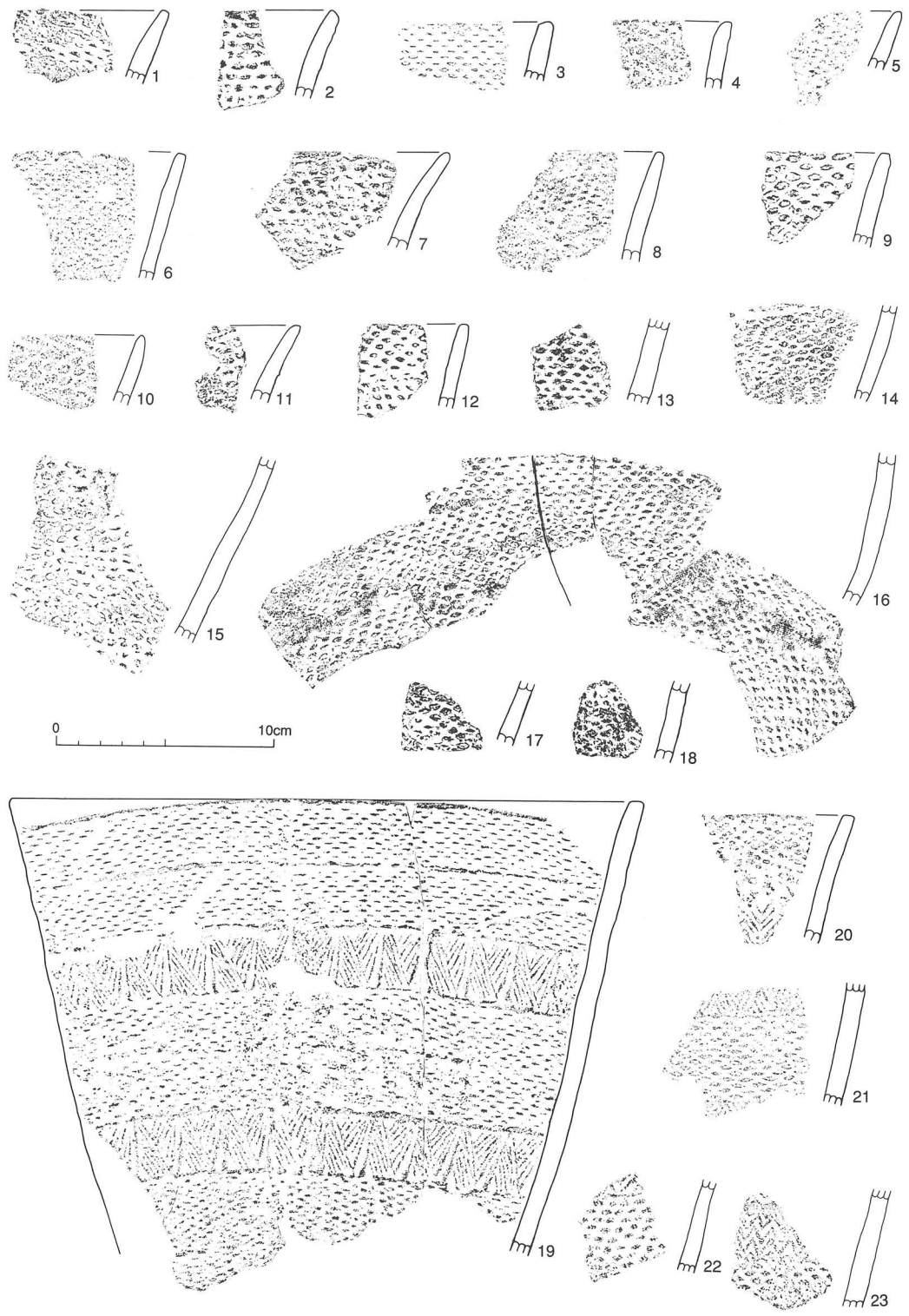


第25図 縄文土器拓影 7 II期第3群土器

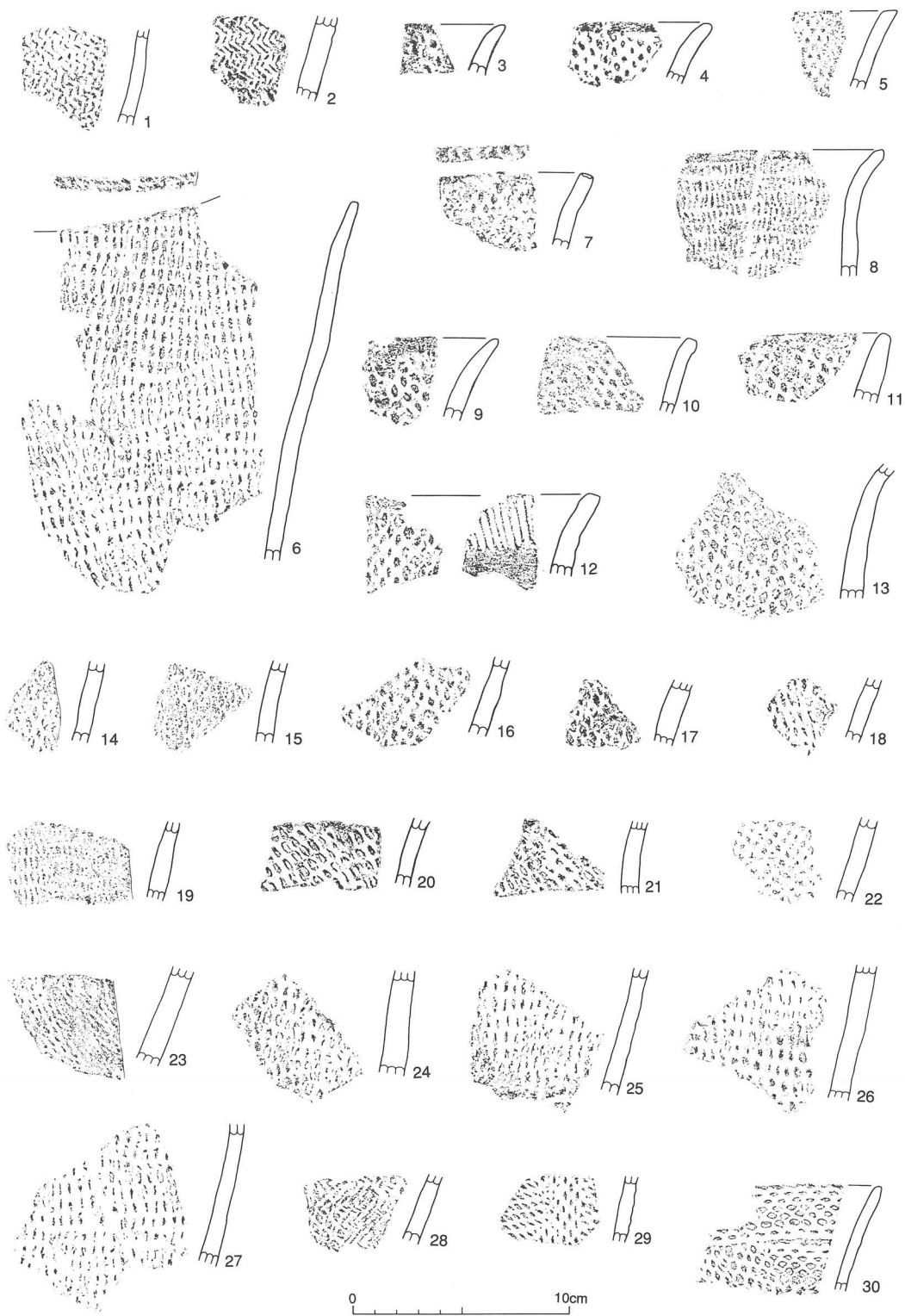


第26図 縄文土器拓影8 II期第3群土器：1～12、第4群土器：13～16、第5群土器：17～28

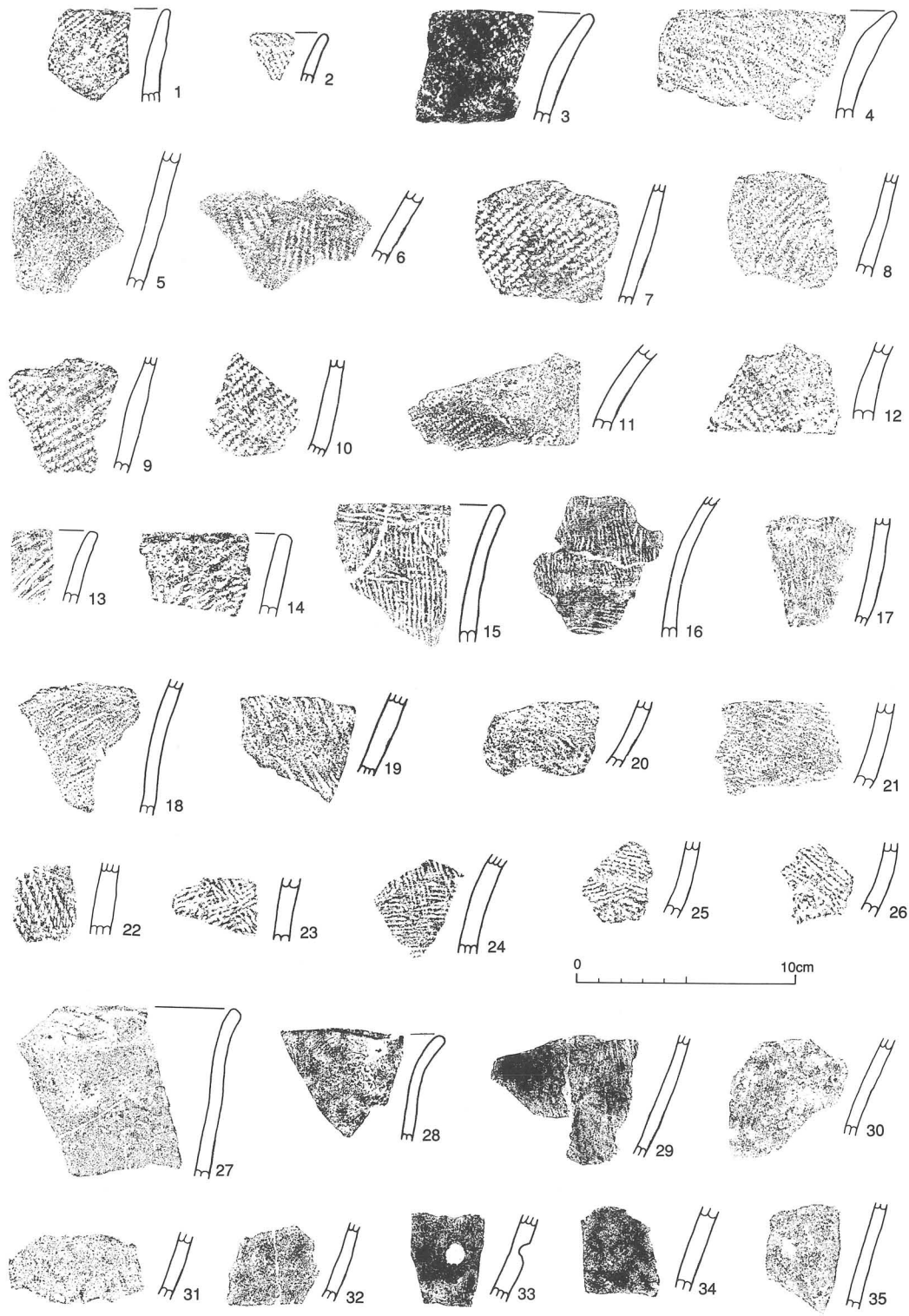




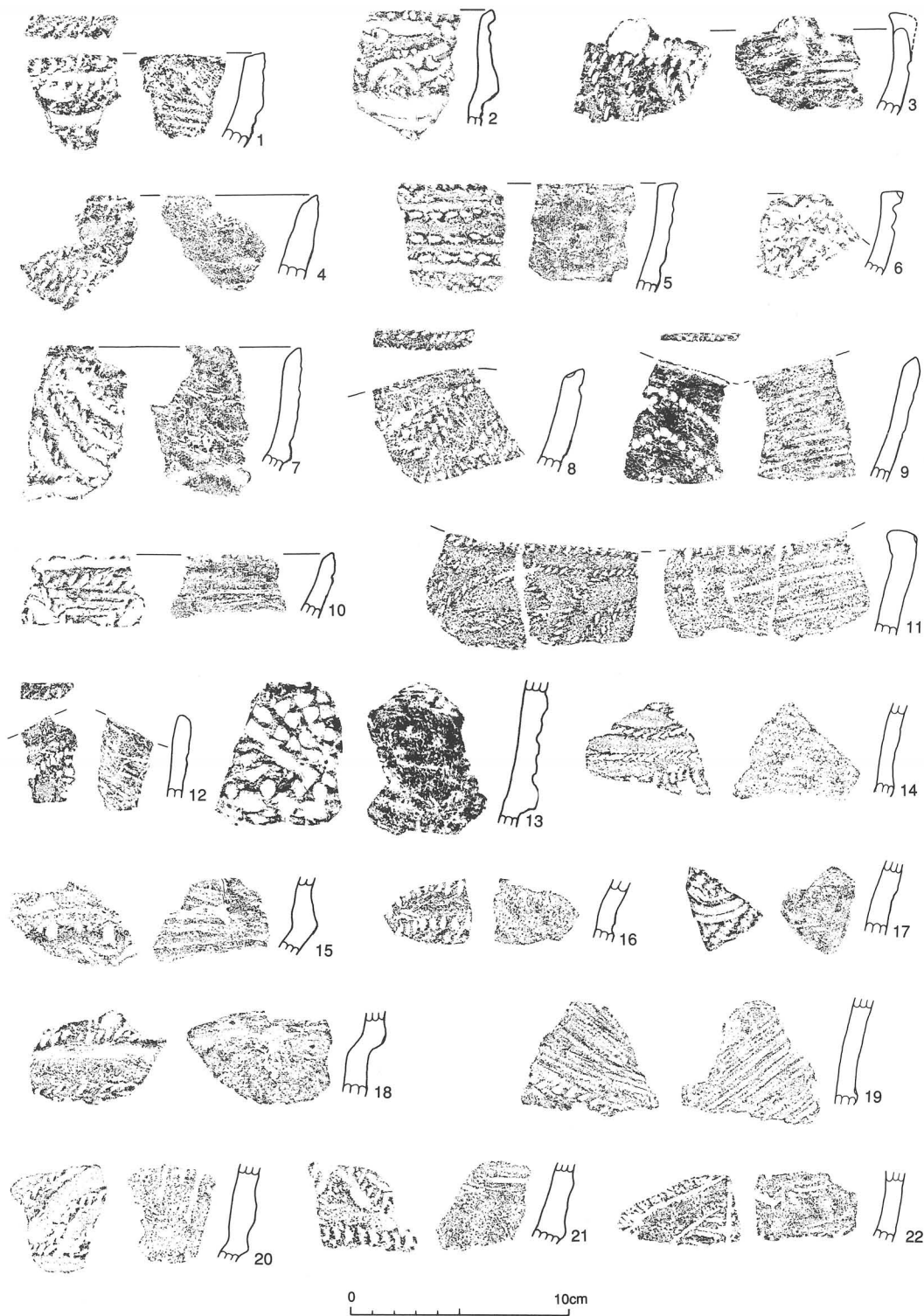
第27図 縄文土器拓影および実測図9 II期第5群土器



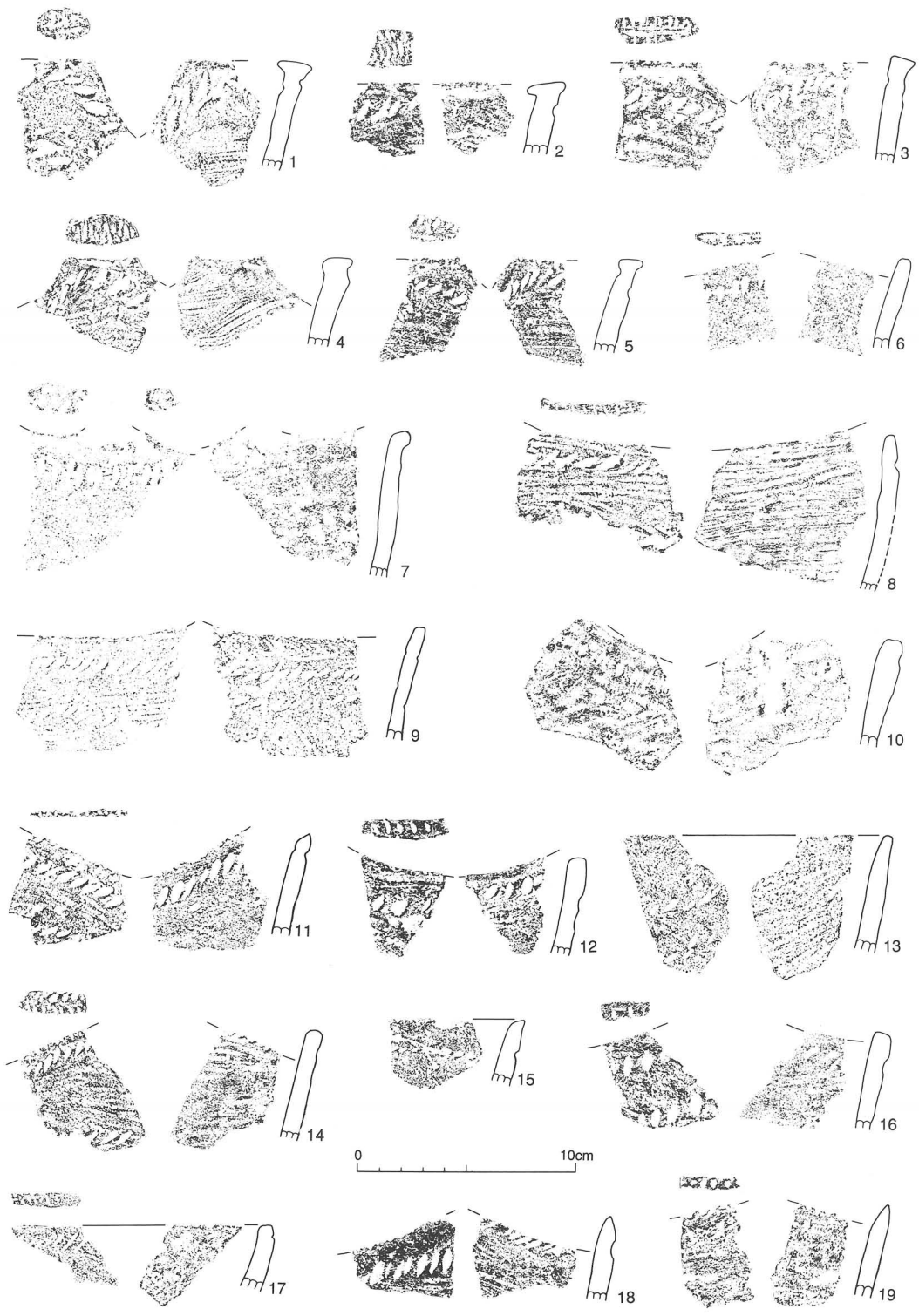
第28圖 繩文土器拓影10 II期第6群土器：1~28、第7群土器：29·30



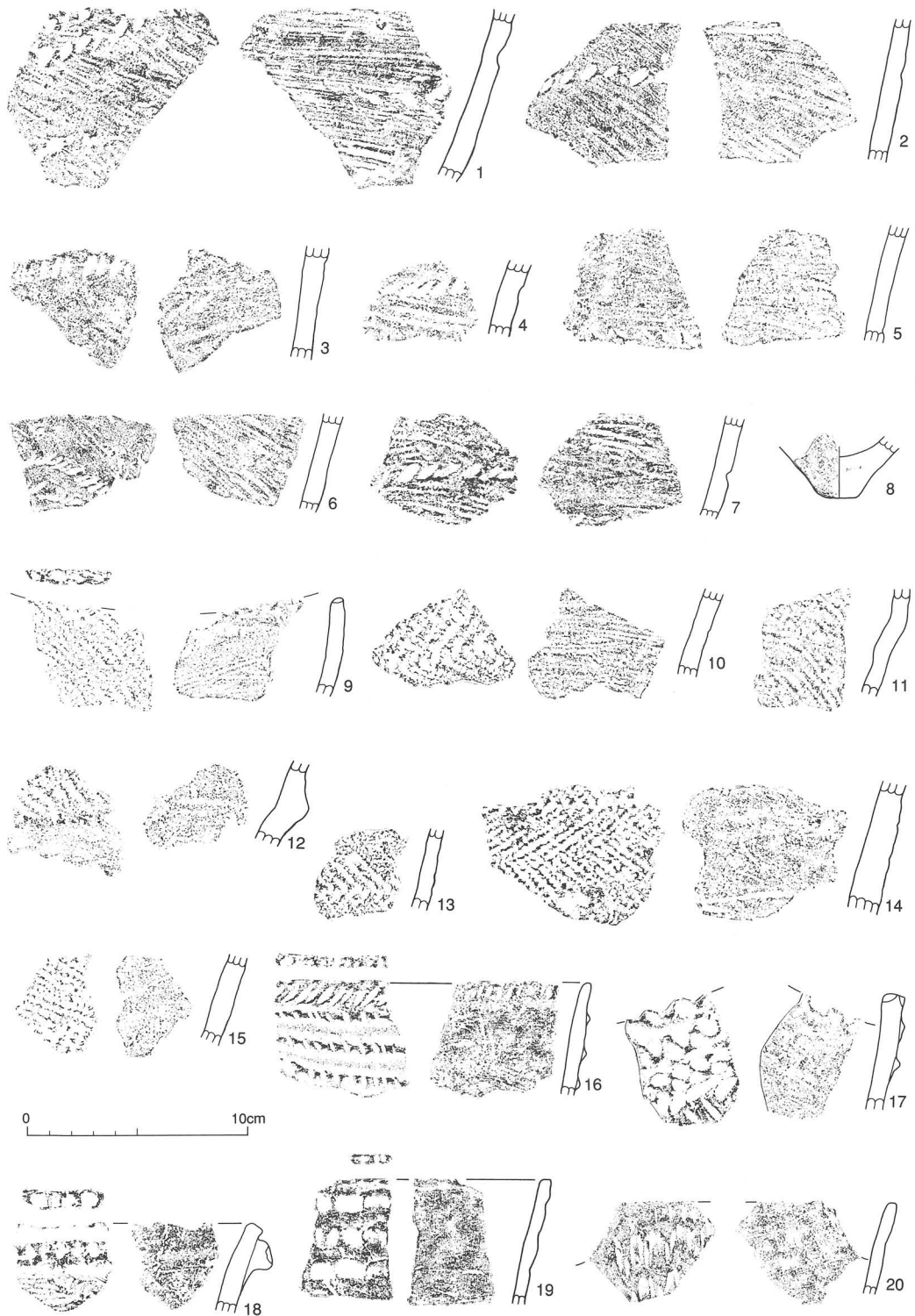
第29図 縄文土器拓影11 II期第8群土器



第30図 縄文土器拓影12 III期第1群土器



第31圖 繩文土器拓影13 III期第2群土器



第32図 縄文土器拓影14 III期第2群土器：1～8、第3群土器：9～15、第4群土器：16～20



第33図 縄文土器拓影15 IV期第1群土器：1～4、第2群土器：5～31



第34图 绳文土器拓影16 IV期第3群土器



水平方向に貼付される突帯文を基本に、多様に貼付される突帯文で文様構成をする。突帯上には、縄文の施文される場合が圧倒的に多いが、同24・25には押し引き状刺突文が施されている。

#### 5-3) 第3群土器(第34図)

北白川下層Ⅲ式に比定できるか、これと並行関係にあるとみられる土器群である。

a類(同1~3) 第2群土器と同様に口縁部に突帯文を貼付するが、前者の口縁部がキャリパー状の口縁部なのに対して、直線的に外反することから区分した。

b類(同4~13) 膨らみのある胴部をもち、頸部で一旦括れる。そして口縁部はやや内湾気味に開く器形である。

突帯文で文様構成するが、突帯上に幅の狭い施文具で施される連続爪形文が特徴的である。器厚は5mm前後と薄手で、焼成は良好である。

c類(同14~23) b類と同様の器形であるが、突帯上に縄文が施文されていることから区分した。口縁部内面を肥厚させ、文様を施す例がb類にもある。

#### 5-4) 第4群土器(第35図1~10)

諸磯b式に比定される土器群で、内湾するキャリパー状の口縁部をもつ。平行沈線文で文様構成され、地文に縄文が施されている場合が多い。

#### 5-5) 第5群土器(第35図16~29、第36図1~16)

諸磯c式に比定される土器群で、口縁部にはキャリパー状に内湾するものと、直線的に外反するものがある。

集合沈線文と各種の貼り付け文を特徴とする。第35図16~20に代表される古段階と、第36図7~15の結節状浮線文に代表される新段階に区分が可能である。

#### 5-6) 第6群土器(第35図11~15)

第4・5群土器に伴う、縁孔土器である。

#### 5-7) 第7群土器(第36図17~25)

結節状浮線文を特徴とする土器群で、鍋屋町式に比定できる。

第5群土器の地文である集合沈線文を欠いている。同21・25には印刻が施されている。

#### 5-8) 第8群土器(第37図)

十三菩提式と並行関係にあるとみられる土器群で、同1に代表されるキャリパー状の口縁部のものと、同11に代表される直線的に開く口縁部のものがある。

波状の浮線文を特徴とするが、多くの場合は浮線上を押圧することで波状の効果を出している。波状口縁の波頂部を除き、文様構成は単純である。

### 6. V期 縄文中期前葉に属す土器群

次の3群に大別できる。この前段階と比べ、出土遺物が大幅に減少する。またこの時期を境に、北陸地方で成立した土器群が、この地方へ波及し始める。

#### 6-1) 第1群土器(第38図10~15)

新崎式に比定できる土器群である。竹管状の施文具による平行沈線文、口縁部の連続爪形文、

無文帯への刻み目が特徴である。

#### 6-2) 第2群土器(第38図1~5)

船元I式の範疇で捉えられる土器群で、次の2類に区分できる。

a類(同1・2) 船元I式B類に相当するとみられる。キャリパー形の口縁部をもち、この口縁部に幅の広い爪形文を伴う隆帯を廻らせる。

b類(同3~5) やはりキャリパー形の口縁部をもつが、円形の刺突文が施され、口縁部内面を肥厚させていないことから、船元I式A類に相当するとみられる。

#### 6-3) 第3群土器(第38図6~9)

五領ヶ台式と並行する土器群で、キャリパー形の口縁部をもつ。連続爪形文を特徴とする。

### 7. VI期 縄文中期中葉に属す土器群

V期にみられた遺物量の減少傾向は、このVI期にも引き続きみられる。

#### 7-1) 第1群土器(第38図16~24)

連続刺突文を伴う幅の広い隆帯と、竹管状の施文具による平行沈線が特徴で、古府式に比定できる。

#### 7-2) 第2群土器(第39図13~23)

VI期に相当するとみられる粗製土器である。

口縁部は、直線的に外反する場合が多い。幅の広い平行沈線で文様構成する。半割した竹管状施文具の先端を用いた連続刺突文や爪形文も特徴的で、V期まで遡るものも含まれる。地文には縄文のほか、櫛歯状の施文具による集合沈線の場合もある。

### 8. VII期 縄文中期後葉に属す土器群

VII期は、宮ノ前遺跡において遺物量が最も多い時期で、この時期に該当する遺構も検出されている。北陸地方の影響下にある土器群が主体で、曾利式あるいは唐草文系の土器も出土している。期の土器群は、次の7群に区分する。

#### 8-1) 第1群土器(第39図1~12)

VII期第1群土器に続くとみられる土器で、古串田新式に比定できる。

ほぼ垂直に立ち上がる胴部で、頸部から口縁部にかけては内湾気味に立ち上がる。文様帯は頸部から上に構成される。

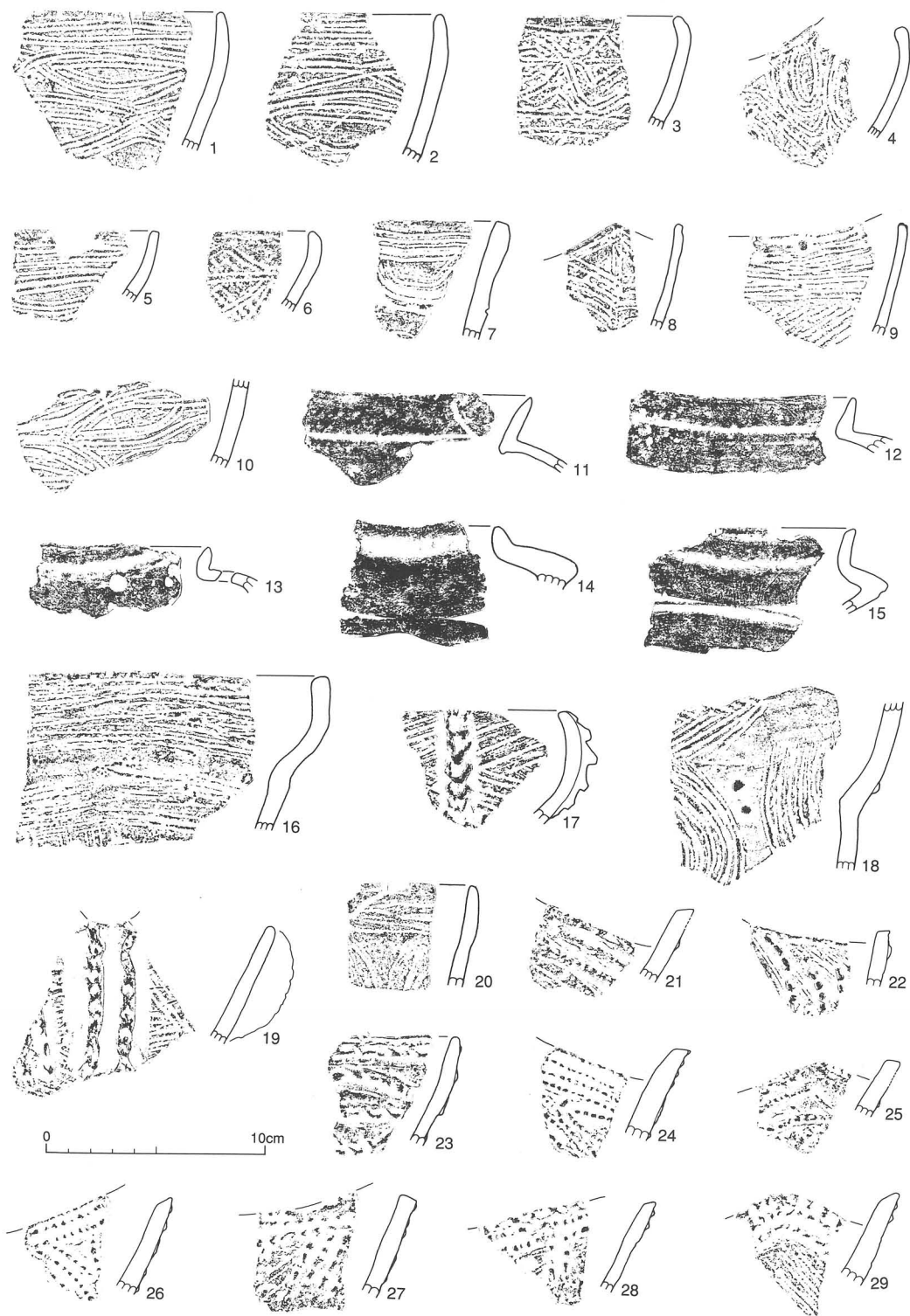
貝殻腹縁による連続刺突文の施された隆帯と、棒状施文具による沈線文で文様構成する。隆帯は区画文的に用いられ、区画内は隆帯と同様に施文されている。

#### 8-2) 第2群土器(第40図)

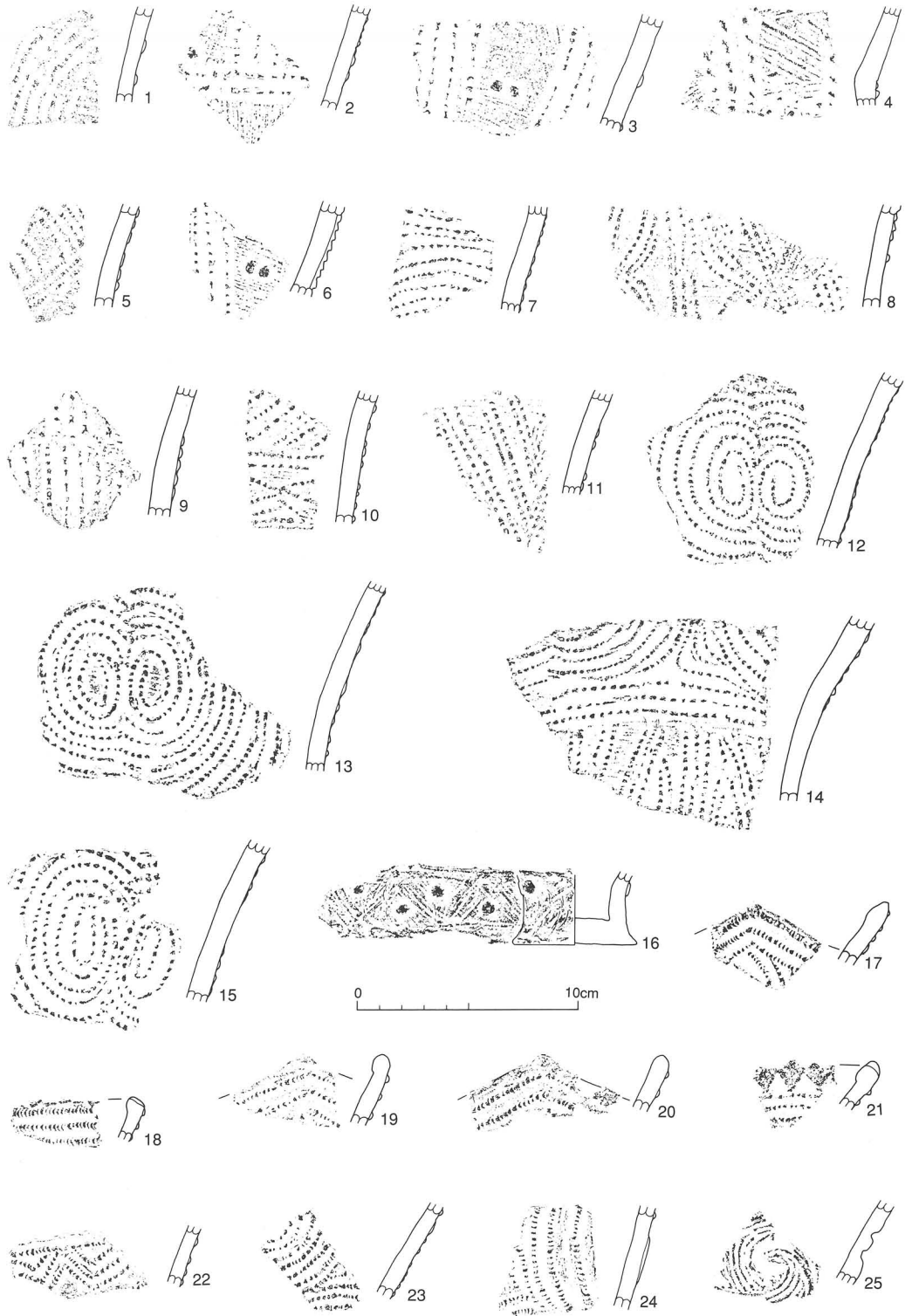
串田新式に相当する土器群である。次の2類に区分するが、このうちa類は串田新I式に、b類は同II式に相当するとみられる。

a類(同1~16) VI期第2群土器の主要な施文方法である貝殻腹縁による連続刺突文は依然として残るが、文様構成は大きく異なり、いわゆる工字状文を特徴とする。

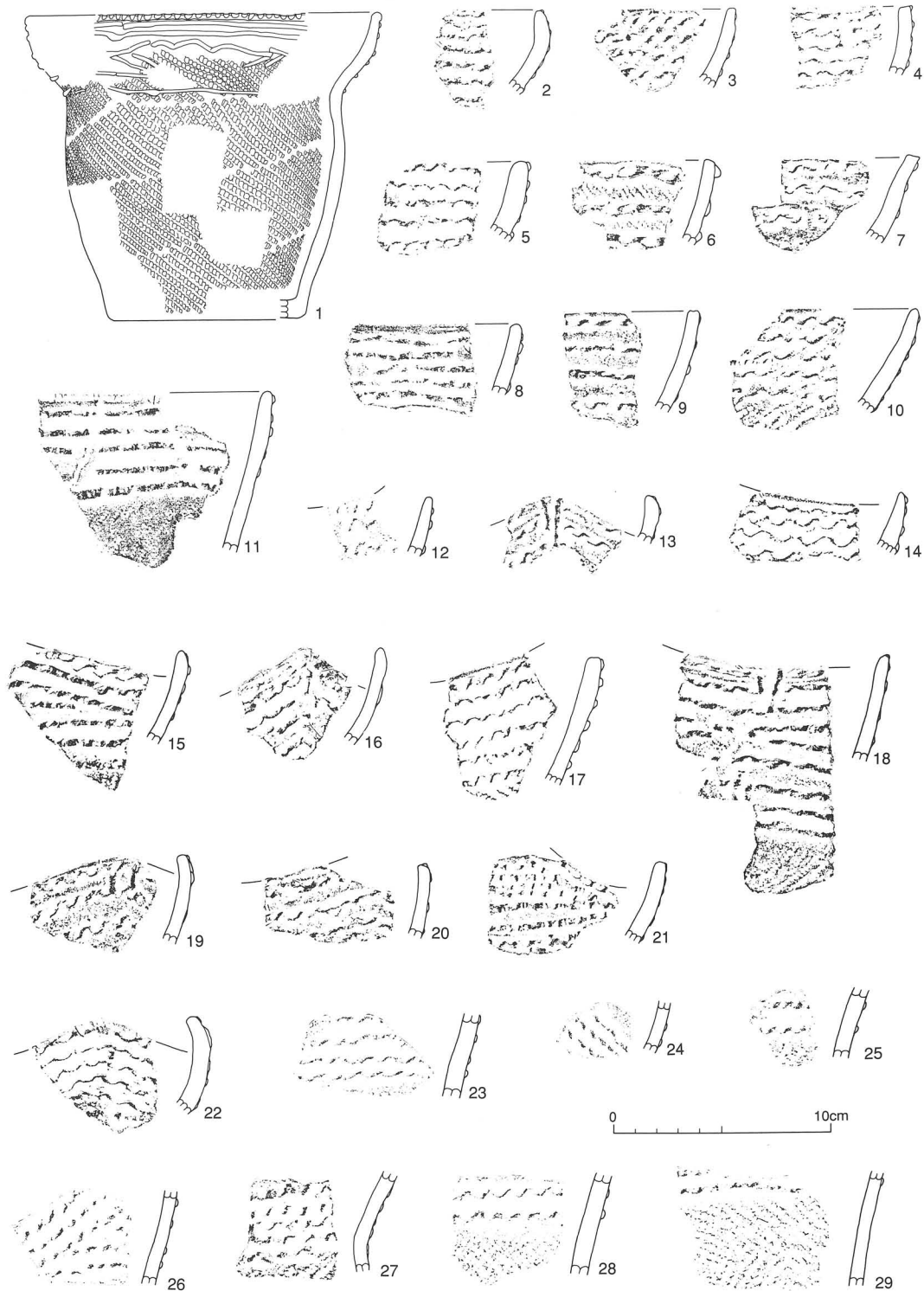
口縁部は外反し、端部に近い程厚みを増す。同12は鉢、同13~16は台付き鉢とみられる。



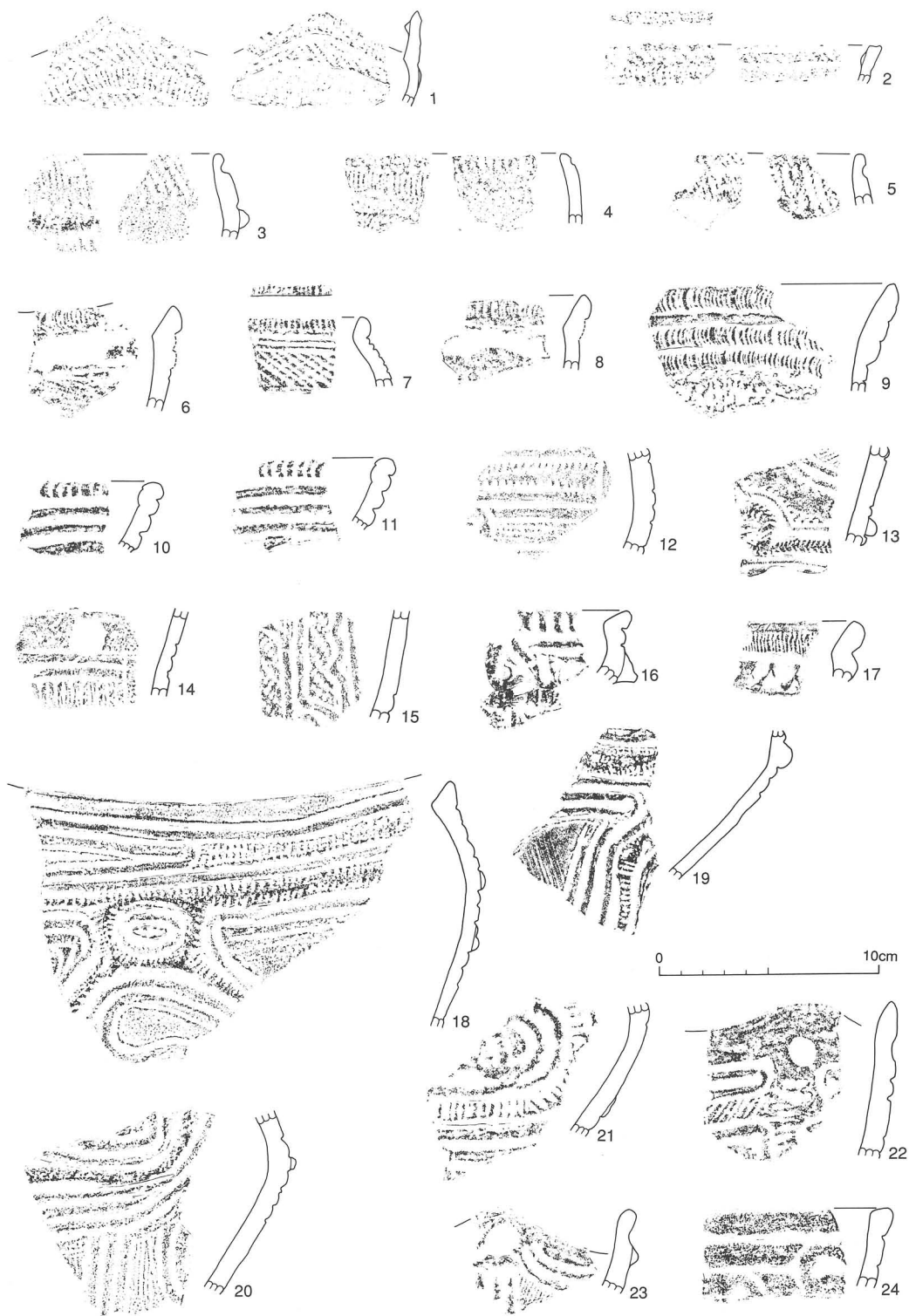
第35図 縄文土器拓影17 IV期第4群土器1~10、第5群土器：16~29、第6群土器：11~15



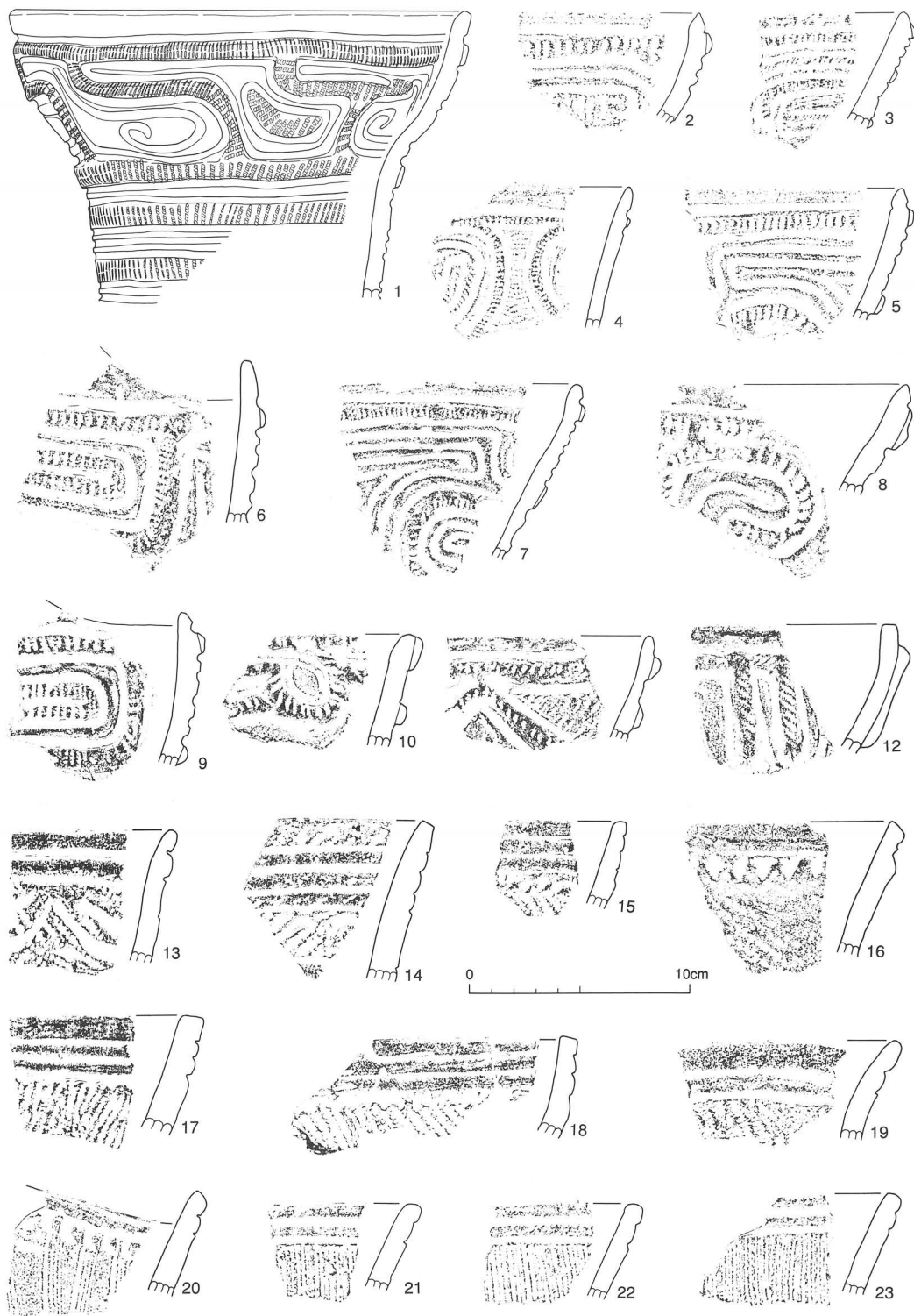
第36圖 繩文土器拓影18 IV期第5群土器1~16、第7群土器：17~25



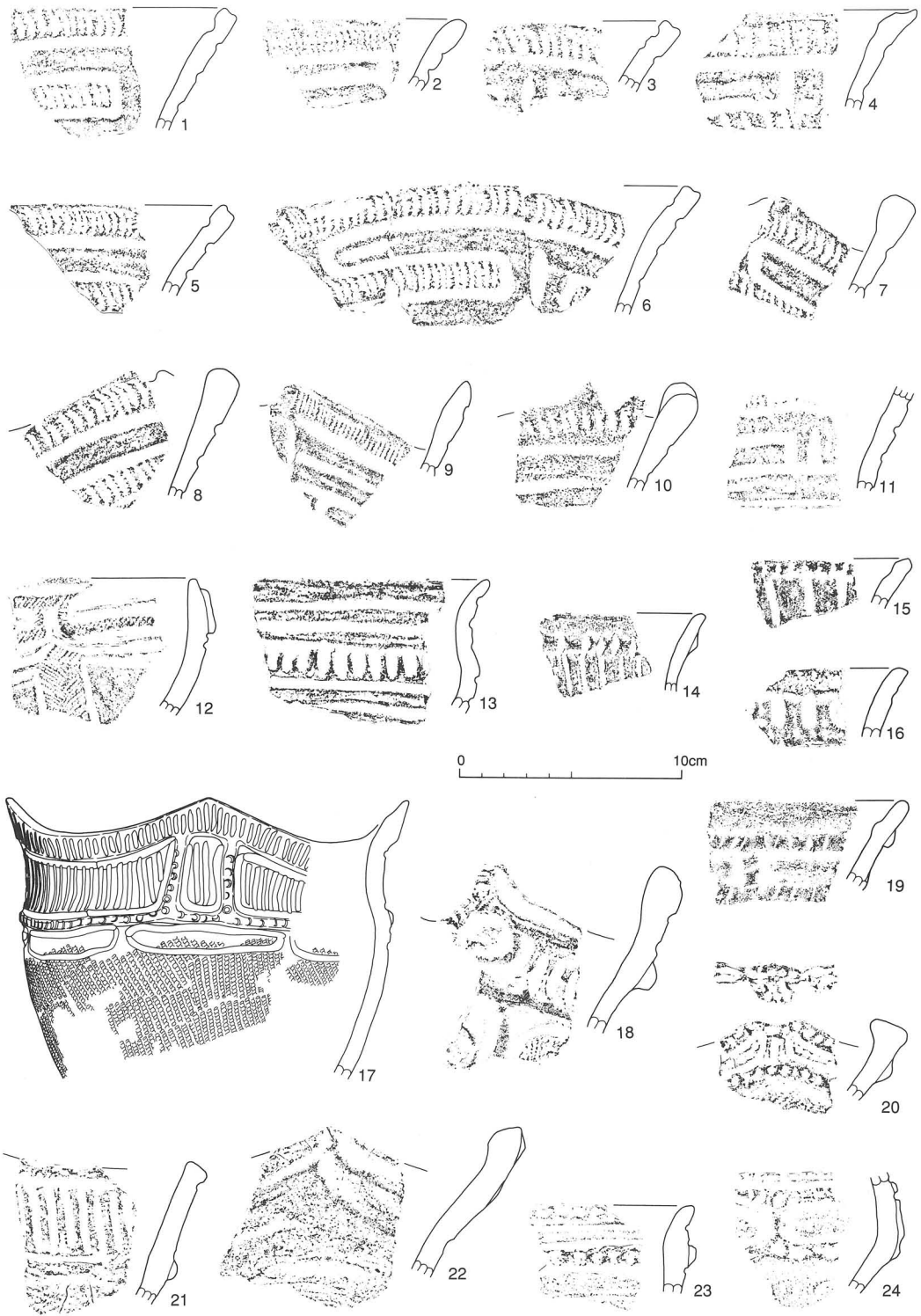
第37図 縄文土器拓影および実測図19 IV期第8群土器



第38图 绳文土器拓影20 V期第1群土器：10~15、第2群土器：1~5、第3群土器：6~9、VI期第1群土器16~24



第39図 縄文土器拓影および実測図21 VI期第2群土器：13～23、VII期第1群土器：1～12

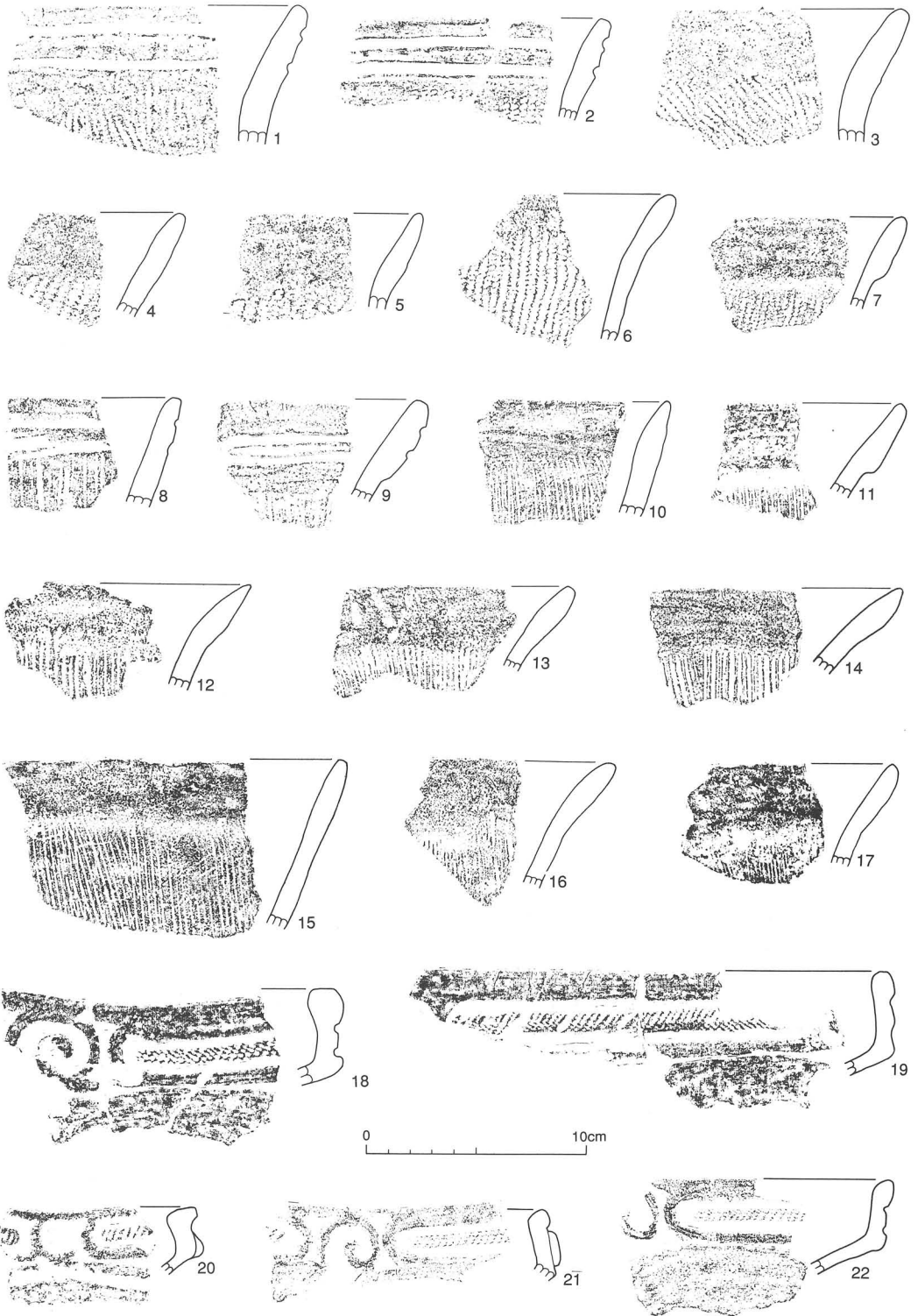


第40図 縄文土器拓影および実測図22 VII期第2群土器

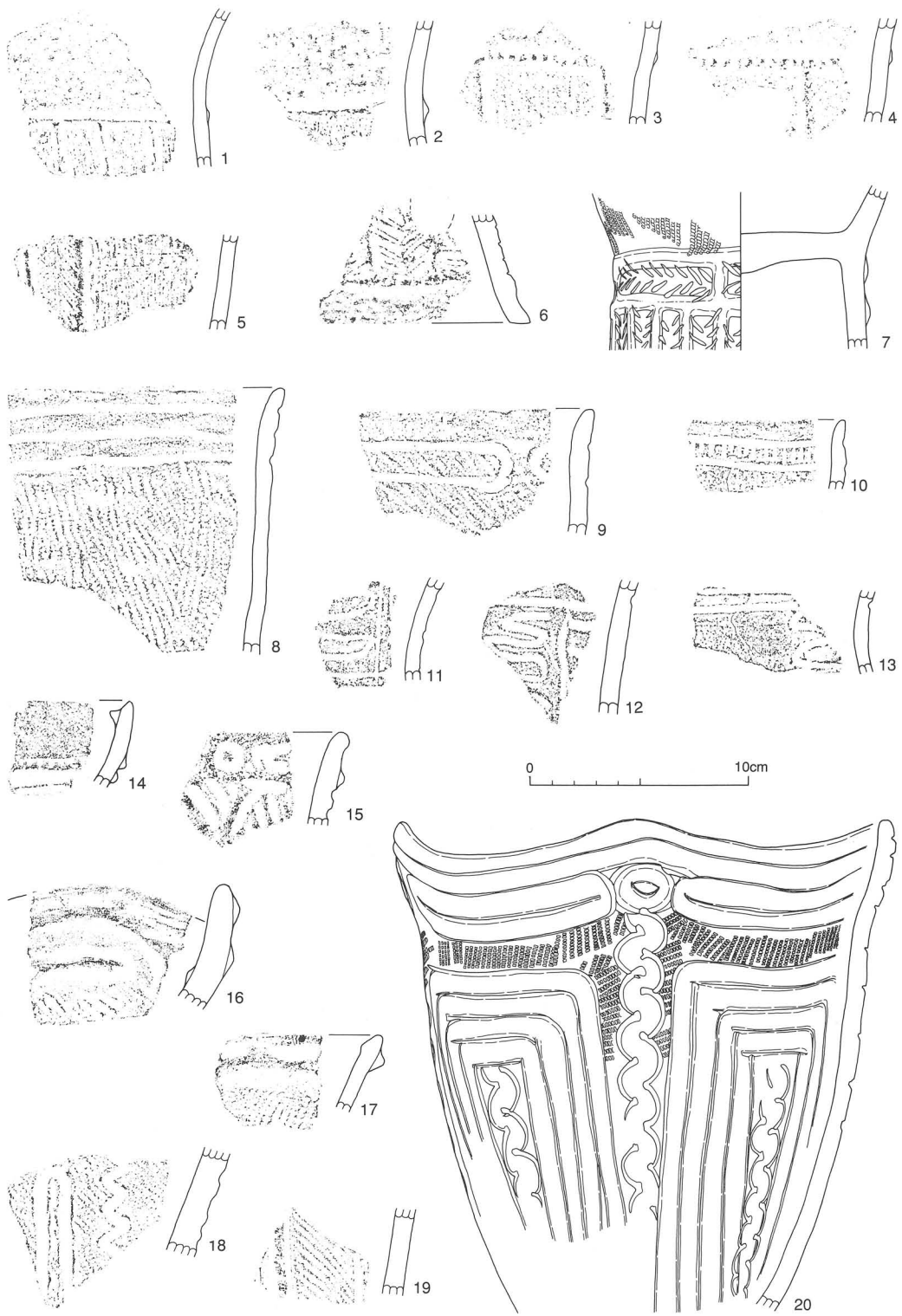




第41図 縄文土器拓影23 VII期第3群土器(1)



第42図 縄文土器拓影24 VII期第3群土器(2)



第43図 縄文土器拓影および実測図25 VII期第4群土器：1～7、第5群土器：8～13、第6群土器：14～20



第44図 縄文土器拓影および実測図26 VII期第7群土器

b類(同17~24) 口縁部と平行に貼付された2条の隆帯で、区画文を描く。器形は異なるが、同17の文様構成は、続く第3群土器に類似している。

#### 8-3) 第3群土器(第41・42図)

大きく外反する口縁部が特徴的な土器群で、第2群土器に後続するものと考えられる。

a類(第41図) 口縁部の直下には、幅が3~4cm程度の肥厚部がある。同14・15に例があるように、この肥厚部と下位の隆帯の間に文様帯が設けられている。胴部には、沈線で波状文や区画文が描かれている。

b類(第42図1~17) a類に伴うとみられる粗製土器である。地文は集合沈線文の場合と、縄文の場合がある。

c類(同18~22) 第1~3群土器に伴う浅鉢を便宜上ここで扱う。口縁部は直立するか、内湾気味に立ち上がる。単位文様として隆帯による渦巻文が描かれ、単位間の沈線文による区画内は、櫛歯状施文具による刺突文が施されている。

#### 8-4) 第4群土器(第43図1~7)

大杉谷式に比定できるか、これと並行関係にあるとみられる土器群である。断片的な資料ではあるが、外反する無文の口縁部と、胴部の沈線文が特徴である。

同6・7は台付き鉢で、同7は第6群土器b類に含まれる可能性もある。

#### 8-5) 第5群土器(第43図8~13)

前田・岩崎野式に比定できる土器群である。

やはり断片的な資料であるが、緩く外反する口縁部をもち、縦位に施文されるS字状の沈線文が特徴的である。

#### 8-6) 第6群土器(第43図14~20)

曾利式に比定できる土器群である。資料数が限られていることから、一括して扱う。

a類(同14) 外反する無文の口縁部をもつ。曾利Ⅱ式に比定できる。

b類(同15~19) 曾利Ⅲ式に比定できるものである。

c類(同20) 器形と文様構成から、曾利Ⅳ式に相当する土器とみられるが、幅の広い平行沈線文や、櫛歯状施文具による刺突文から、北陸地方の影響が窺える。

#### 8-7) 第7群土器(第44図)

唐草文系の土器群で、曾利Ⅲ式と並行する時期のものとみられる。器形からつぎの2類に区別する。

a類(同1~18) 膨らみのある胴部で、頸部で一旦括れ、口縁部はキャリパー状に内湾する。口縁部・胴部ともに隆帯による渦巻文が特徴で、地文としては「ハ」の字状の沈線文が施されている。

b類(同19~21) 底部から緩く外反しながら立ち上がり、口縁部の内湾する器形である。交互刺突文が施されている。

### 9. VIII期 縄文後期前葉に属す土器群

Ⅷ期は、引き続き北陸地方からの影響が土器に色濃く反映されている時期である。該当期の遺物量は、減少傾向にある。次の3群に区分する。

9-1) 第1群土器(第45図、第46図1~14)

気屋Ⅰ式に比定できる土器群である。器形と文様構成から、次の2類に区分する。

a類(第45図1~19) 口縁部は大きく外反するが、端部には内湾する場合(同1~11)と、より強く外反する場合(同12~15)がある。

文様構成は単純で、口縁部には沈線で波状文や渦巻文を描いている。

b類(第45図20~31、第46図1~14) 口縁部には内湾する例(第45図27・31)や外反する例(同21・26)もあるが、主体を占めるのは口縁部を肥厚させ、直線的に開く器形のものである。a類と比較して、沈線文による文様構成が複雑化する。

9-2) 第2群土器(第46図15~19)

気屋Ⅱ式に相当する土器群である。文様帯は口縁部のみで、沈線文で文様構成する。この文様帯と胴部で、地文の縄文原体を変えているのも、この土器群の特徴である。

9-3) 第3群土器(第47図1・2)

堀ノ内式の影響を強く受けているものを第3群土器としたが、堀ノ内式の要素は第2群土器の中にも認められる。

## 10. Ⅸ期 縄文後期中葉に属す土器群

広い分布地域をもつ加曾利B式土器が、この遺跡からも出土している。後期後葉とした土器群の一部がこの時期のものとしても、主体を占めるのは加曾利B式土器である。

10-1) 第1群土器(第47図3~25)

加曾利B1式に相当する土器群で、器種から次の4類に区分する。

a類(同3~16) 深鉢であるが、一部鉢も含まれている可能性がある。直立気味に立ち上がるか、内湾する口縁部をもつ。沈線文で文様構成するが、水平方向の沈線文を基本に、S字状(同3・5)・クランク状(同12)などの沈線文も施されている。

b類(同17~20) 内湾する器形で、鉢とみられる。

c類(同21・22) 浅鉢である。同21にはS字状の沈線文が施されている。

d類(同23~25) 注口土器である。

## 11. X期 縄文後期後葉に属す土器群

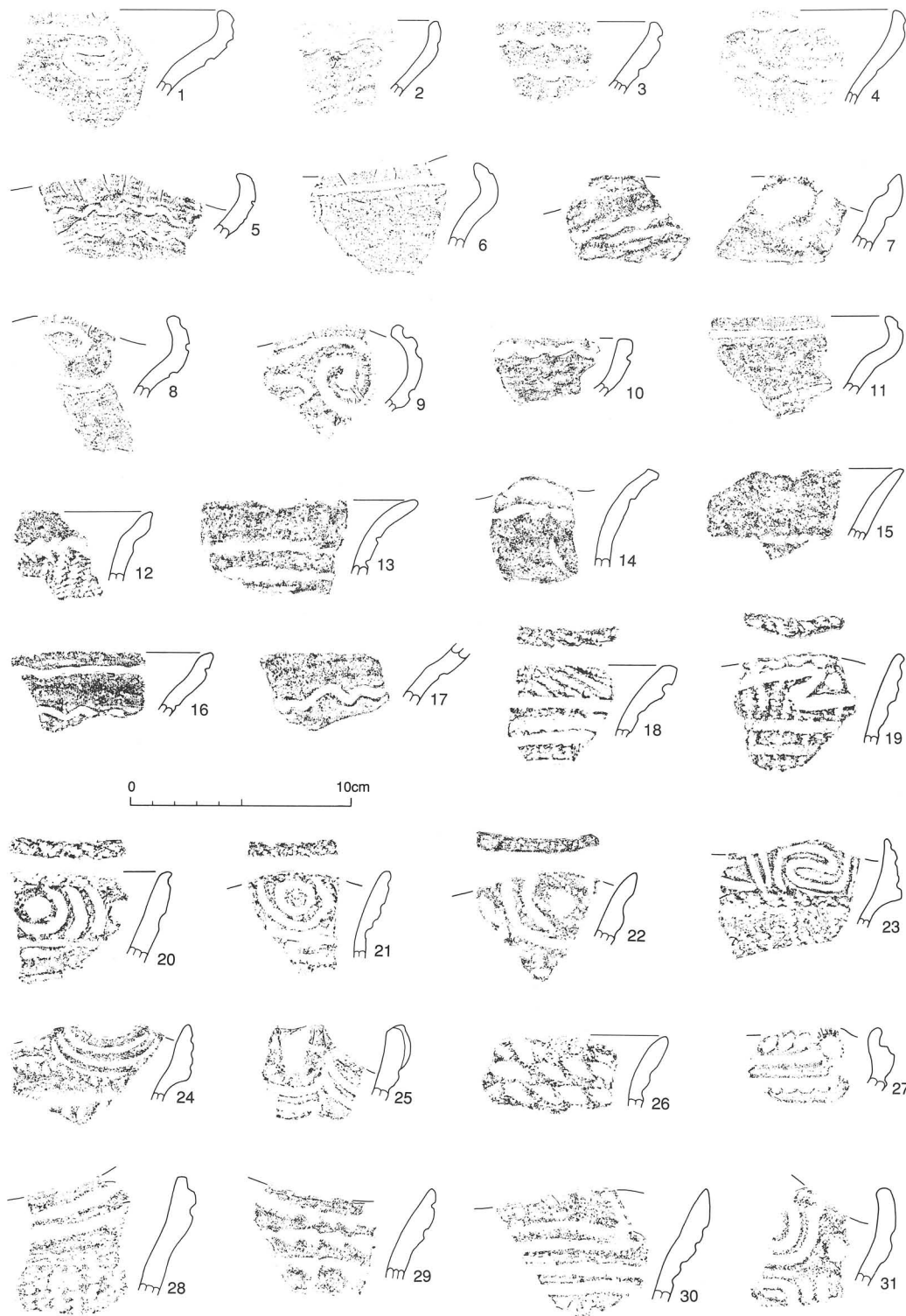
土器に関して、Ⅸ期で認められた他地域からの影響が消え、北陸系の土器群が主体を占める。ここでは次の3群に区分する。

11-1) 第1群土器(第48図1~15)

内湾する口縁部をもつ土器群で、井口Ⅱ式を主体とする。

口縁部の内湾部分には、沈線文のほか、円形刺突文(同1・3)や刺突の加えられた隆帯(同2・6・13)もみられる。

11-2) 第2群土器(第48図16~28、第49図1~6)



第45図 縄文土器拓影27 VIII期第1群土器



第46図 縄文土器拓影28 VIII期第1群土器：1～14、第2群土器：15～19





第47図 縄文土器拓影29 VIII期第3群土器：1・2、IX期第1群土器：3～25



第48図 縄文土器拓影30 X期第1群土器：1～15、第2群土器：16～28

八日市新保式に比定できる土器群である。文様構成から次の2類に区分する。このうちa類は八日市新保I式、b類は同II式に相当するとみられる。

a類(第48図16~28) 胴部から外反し、口縁部はほぼ垂直に立ち上がる器形である。波状口縁の波頂部は、半円形を呈している。

沈線文で文様構成するが、同22で代表される横位の平行沈線文を区画文風に閉じる弧状の沈線文や、同16・27にみられる逆V字状の沈線文が、本類の特徴と言える。

b類(第49図1~6) 器形はa類と同様であるとみられる。文様構成もa類と類似するが、波頂部の山形(同1)とT字状(同4)の印刻や、弧状の沈線文(同3・5・6)が本類の特徴と言える。

#### 11-3) 第3群土器(第49図7~21)

X期の第1・2群土器に伴うとみられる深鉢以外の土器を、便宜上一括して扱う。

a類(同7~15) 浅鉢をa類とする。器形は、直線的に開く場合(同7・8)、口縁部直下で短く折れ垂直に立ち上がる場合(同9~11)、同様に折れるが端部が外反する場合(同12~15)がある。このうち前2者は第1群土器に、後者は第2群土器に伴うとみられる。

b類(同16~21) 鉢をb類とする。このうち同17~19は第1群土器に、また同16・20・21は第2群土器に伴うとみられる。

### 12. XI期 縄文晩期前葉に属す土器群

後期前葉から始まる遺物の減少傾向は、晩期に入ると一層顕著になる。また主体を占めるのは引き続き北陸地方で成立した土器群である。

#### 12-1) 第1群土器(第50図1~18)

御経塚式に相当する土器群である。各器種が出土しているが、絶対量が少ないことから、本群で一括して扱う。

a類(同1~11) 深鉢とみられる類。同1・2は玉抱きとみられる三叉文で、御経塚式の前半に置かれる。また同7~11にはクランク状の沈線文があり、御経塚式の後半に位置付けられる。

b類(同12・13) 鉢とみられる類。幅の広い口唇部に、沈線文が施されている。

c類(同14~17) 浅鉢とみられる類。幅の広い口唇部に、玉抱き三叉文(同17)や隆帯が施されている。

d類(同18) 注口土器と考えられ、玉抱き三叉文が施されている。

### 13. XII期 縄文晩期中葉に属す土器群

引き続き、この期に属す遺物も少ない。

#### 13-1) 第1群土器(第50図19~33)

中屋式に相当する土器群である。やはり各器種が出土しているが、資料数が乏しいことから、本群で一括して扱う。

a類(同19~25) 本類では深鉢を扱う。膨らみのある胴部で、頸部で括れ、口縁部が直線的に外反する器形である。同22・23にみられる入り組み三叉文が特徴と言える。

b類（同26～28） 鉢の類。同26と同27・28では器形が異なる。

c類（同31～33） 浅鉢とみられる類。口唇部直下に屈曲部がある。

d類（同29・30） 端部のつくりから、蓋と考えられる。

#### 14. Ⅲ期 縄文晩期後葉に属す土器群

本遺跡から出土した縄文土器では、この大洞A式並行期の土器群が最も新しい時期のものであると言える。

##### 14-1) 第1群土器（第51図1～16）

浮線網状文を特徴とする土器群で、大洞A式と並行関係にあると考えられる。

胴上部に最大径をもち口縁部が内傾する、同1～3に代表される深鉢、同8に代表される垂直に立ち上がる口縁部をもつ鉢、同11・12にある内湾気味に立ち上がる鉢、同14の壺形土器などの器種がある。

##### 14-2) 第2群土器（第51図17～26）

晩期の各群に伴う、粗製土器である。

#### 15. 出土層位について

ここでは前田地点から出土し、出土状態が層位的に捉えられた、Ⅰ期からⅢ期までに該当する土器群について、層位との対照を行なう。

Ⅰ期草創期は3群に区分したが、このうち第1群土器についてみる。第1群土器である隆起線文系土器群のうち、第16層から出土したのは第19図3・12・16～22などである。一方、第15層からは同1・2・4～11・13・15・19などが出土している。出土遺物を比較した場合、2つの層を時間的に区分する明確な根拠を、報告者は持ち合わせていない。

第2群土器の爪形文土器は、すべて第13層からの出土である。また第3群土器の表裏縄文土器は、一部上位層から出土しているものもあるが、第20・21図に掲載したものは第13層から出土している。

Ⅱ期第1群土器である沢式土器は、主に第12層から出土しているが、上位の第11層からも比較的まとまった量が出土している。

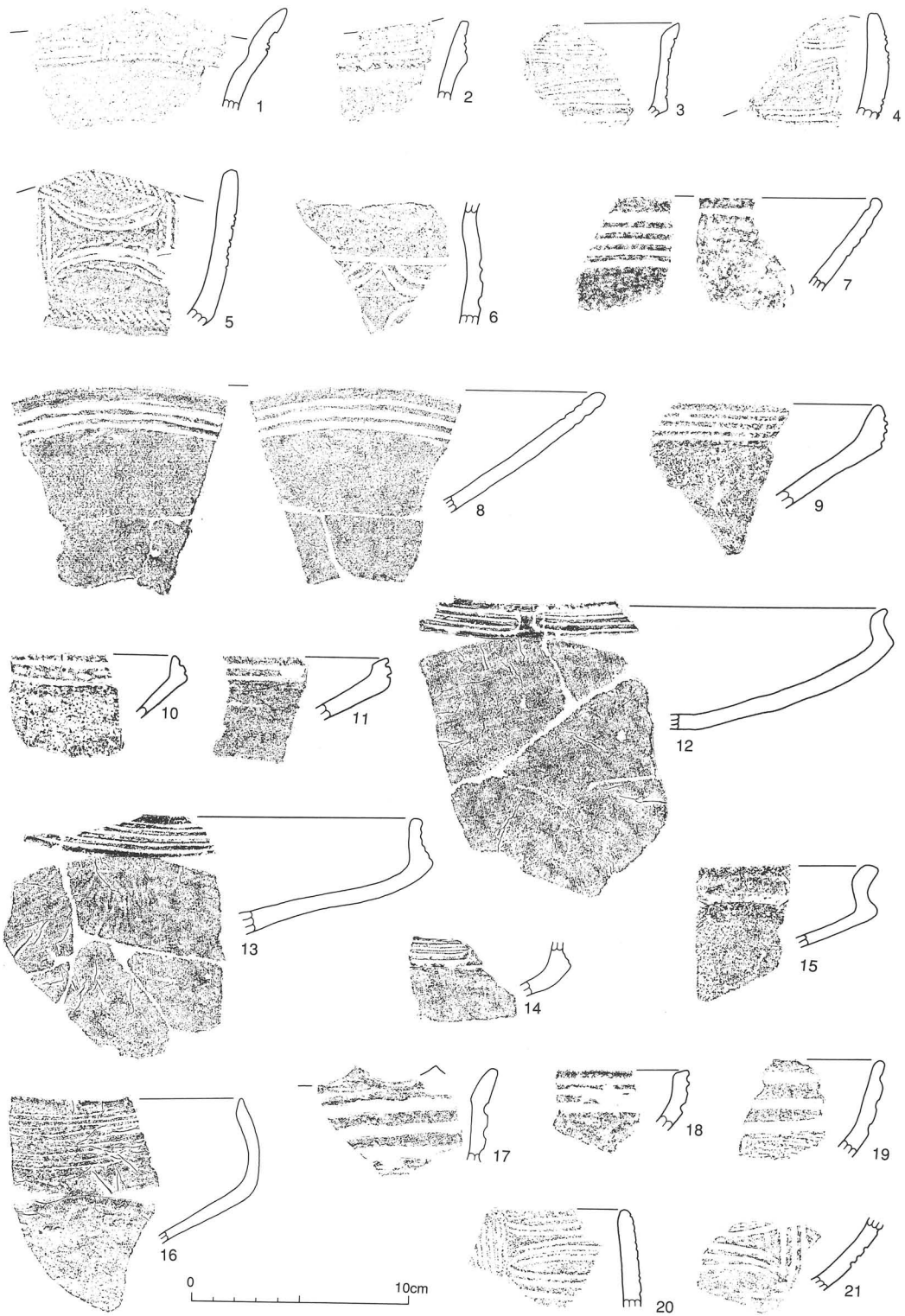
同じく押型文土器である第2群土器では、第24図7・9・11・12・14・15が第12層から出土している。また第11層からの出土は、同1・5・13などである。第3～6群土器では、第11層から出土したものが主体で、より上位の層や隣接する宮ノ前地点からも出土している。

早期後半の土器群は、第9層から出土したものも一部あるが、より上層から出土したものや他地点から出土したものが、主体を占めている。

以上のことを層位に主眼をおいてまとめる。第15・16層は隆起線文系土器群、第13層は爪形文・表裏縄文土器、第12層は沢式・樋沢式、第11層は前者より新しい段階の押型文土器、第9層は茅山下層式に、それぞれ相当する層と言える。

#### 16. 土器の分布状況

最後に各期の土器の分布状況を概観する。



第49図 縄文土器拓影31 X期第2群土器：1～6、第3群土器：7～21



第50図 縄文土器拓影32 XI期第1群土器1~18、XII期第1群土器19~33



第51図 縄文土器拓影および実測図32 Ⅲ期第1群土器：1～16、第2群土器：17～26

I期草創期は、該当期の遺物包含層が前田地点に限られることから、土器の分布も前田地点に限られている。

II期早期前半の土器は、主に前田地点と宮ノ前地点から出土している。III期早期後半の土器も同様の傾向にあるが、粕畑式に関しては、うづか地点からも出土している。

IV期前期後葉からV期中期前葉にかけての土器分布は、うづか地点に集中し、同地点ではこの時期の遺物が出土遺物の大半を占めている。

VI期中期中葉から、遺物量の最も多いVII期中期後葉にかけての土器分布は、前田地点と宮ノ前地点に集中する。遺物量の減少するVIII期後期前葉も同様の傾向を示す。IX期後期中葉の遺物は、宮ノ前地点にのみ集中する。

X期後期後葉からXII期晩期後葉にかけての遺物は、絶対量は少ないものの、前田地点と宮ノ前地点に濃く分布する。またXII期晩期中葉以降は、うづか地点から出土したものの割合が増加する傾向にある。



## 第2節 須恵器・土師器・陶器類

### 1. はじめに

宮ノ前遺跡では、須恵器・土師器・その他の陶磁器類が出土している。ここで取り上げる須恵器をはじめとする陶器類は、6世紀中葉から14世紀までの製品である。

平安時代の住居址が検出されたうづか地点から比較的まとまった資料が出土したほか、前田地点およびセンター地点から少量が出土している。

なお、編年については、6世紀代の製品を陶邑窯編年、8～9世紀代の製品を猿投窯編年によって行なった。

### 2. 須恵器

#### 2-1) 6世紀中葉

6世紀中葉に属す製品は、前田地点にのみ少量が認められる。器種は、蓋(第52図1)・坏(同3)・小型甕(第53図1)がある。いずれも第3層から出土し、遺構には伴っていない。坏は、坏身の立ち上がりが弱く、端部は丸く成形され、面を成さないことなどから、TK10型式に相当する6世紀中葉の製品とみられる。

#### 2-2) 8世紀中葉

8世紀中葉に属す製品は、うづか地点にみられる。器種は、無台坏(第52図4・5)・小型甕(第53図2)・短頸壺(同3)がある。

無台坏は、いわゆる箱型無台坏で、底部外面はヘラ切り後にヘラナデ調整されている。岩崎25号窯式期並行とみられるが、8世紀末葉の折戸10号窯式期まで残存する形態ではある。

小型甕は、口頸部が短く、古墳時代後期から8世紀前半までの典型例である。同地点より出土した無台坏の形態的特徴から、岩崎25号窯式期並行頃と推定される。短頸壺も同様である。

#### 2-3) 8世紀後葉

鳴海32号窯式期から折戸10号窯式期に並行するとみられるものを、8世紀後葉の製品とした。

うづか地点にみられ、すべて遺構外出土である。器種としては、無台坏(第52図6)・有台坏(同7・8)・坏蓋(同2)・無台塼(同9～11)・広口壺(第53図4)が認められる。

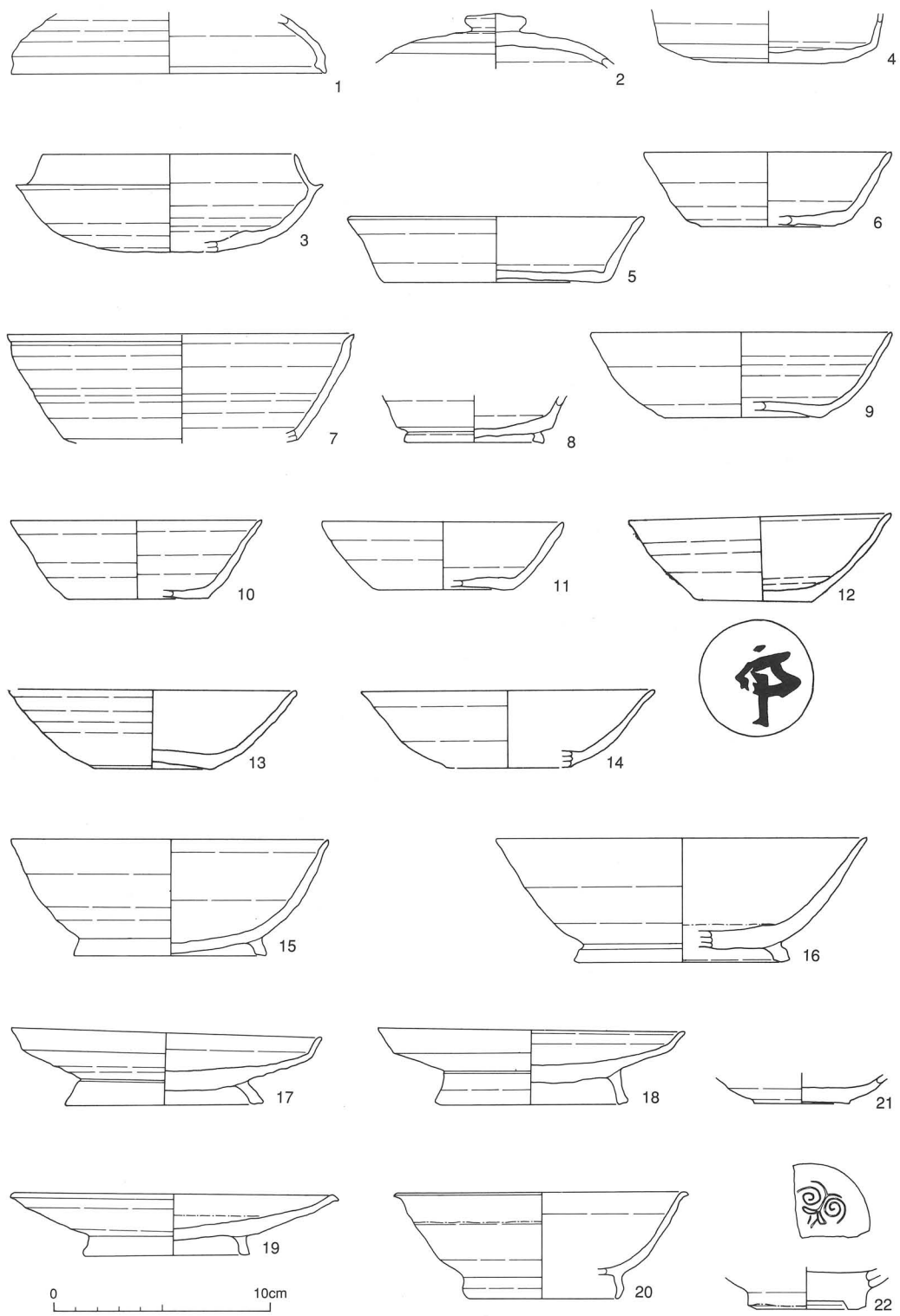
無台坏および無台塼は、体部下半の特徴や口径と底径の法量比などから、折戸10号窯式期並行の製品とみられるが、後続する井ヶ谷78号窯式期まで残存する形態である。底部は、回転糸切りである。

有台坏と坏蓋は、口縁部と高台および天井部の特徴から、鳴海32号窯式期以降の年代が想定される。広口壺は、折戸10号窯式に類似する形態をもち、年代的に8世紀末葉の製品とみられる。

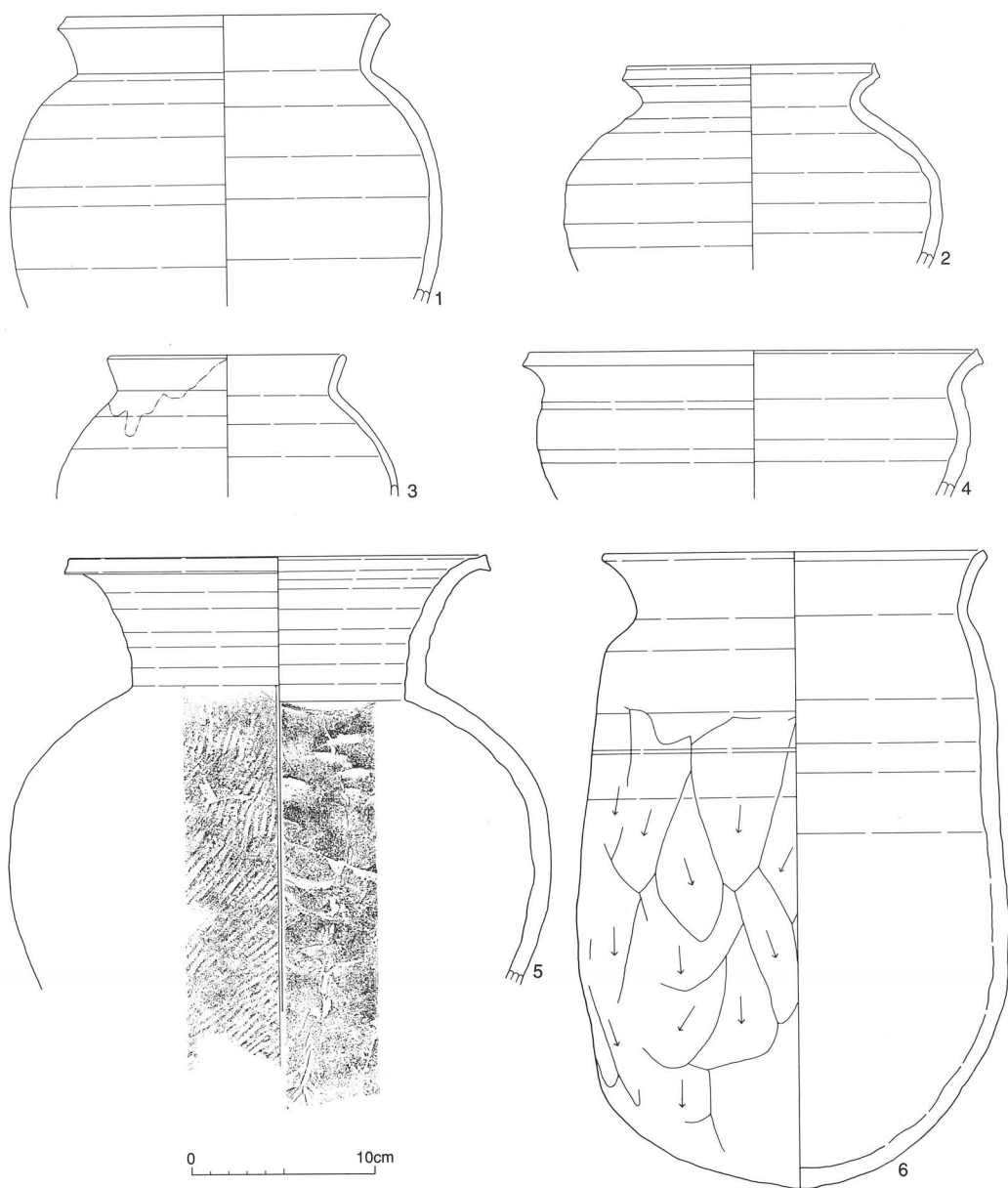
8世紀後葉に属す製品としたものでは、一部に後続型式の井ヶ谷78号窯式期にも残存する形態をもつものが含まれる。

この他、甕(第53図5)が前田地点の第3層より出土している。8世紀後半の製品とみられる。

#### 2-4) 9世紀前葉



第52図 須恵器・灰釉陶器・山茶碗・陶器類実測図



第53図 須恵器・土師器実測図

9世紀前葉に属す製品は、うづか地点から多く出土しているが、前田地点・センター地点からも出土している。器種は、無台碗（第52図12～14）・有台碗（同15・16）・有台盤（同17・18）がある。無台碗の底部は、回転糸切りである。底径の小型化した状況から井ヶ谷78号窯式期に並行する可能性が高い。

このうち、前田地点より出土したものは、井ヶ谷78号窯式の特徴を示すもので、底部に墨書が認められる（同12）。岐阜県文化財保護審議会会長の犬野政雄氏に解説を依頼したところ、「牧」の字の可能性が高いとのご教示を得た。

有台碗は、うづか地点から出土している。碗は全体に厚手に作られ、体部は腰の張りが比較的強い。高台は矩形で小さく、角高台として定型化していないことから、井ヶ谷78号窯式期の製品とみられる。

有台盤は、うづか地点の住居址覆土から出土している。全体的に厚手で、体部が直線的に開き口縁部が屈曲して外反する。高台は、「ハ」の字状に開き、断面の矩形が定型化している。さらに、高台が高くなる傾向を示していることなどから、井ヶ谷78号窯式期の製品とみられる。

### 3. 土師器

出土した土師器のほとんどは小破片であったが、前田地点第3層からは、復元可能な甕（第53図6）が出土している。

口縁部は、「く」の字状に緩く外反し、胴部は厚手に作られている。胴部外面は、ハケメ調整されている。また、口縁部から頸部にかけては、入念にナデ調整されている。

胴部内面は、ヘラ状工具によりナデ調整されているとみられるが、風化によって単位の観察は難しい。生産地および年代は不明である。

### 4. 灰釉陶器

うづか地点の住居址覆土から皿（第52図19）、前田地点の表土層より碗（同20）が出土している。

皿は、全体的に厚手で、体部がやや直線的に外へ開き、口縁部がわずかに外反する。高台はわずかに外へ開き、断面矩形の定型化した角高台である。また、灰釉の施釉方法は、刷毛塗りである。これらの特徴から黒笹14号窯式期の範疇に収まるとみられる。年代は、9世紀前半である。

碗は、三日月高台を特徴とし、灰釉の施釉方法は、刷毛塗りである。黒笹90号窯式期に並行する東濃の光ヶ丘I号窯の製品とみられる。年代は、9世紀後半である。

### 5. 山茶碗（第52図21）

前田地点から数点が出土しているが、実測可能なものは少ない。図示したものは、山皿あるいは小碗の底部で、回転糸切りされている。年代は、11世紀末葉から12世紀初頭とみられる。

### 6. 青磁碗（同22）

前田地点より小破片数点が出土している。龍泉窯系の青磁碗とみられる。年代は13世紀後半から14世紀中葉頃とみられる。

## 第3節 土製品

### 1. はじめに

本遺跡からの土製品の出土数は極めて少ない。また種類も土製円板と土偶に限られている。土錘に関しては縄文時代の遺物ではないが、この節で記することとした。

### 2. 土製円板（第54図1～8、第1～4表）

8点出土している。穿孔されたものが1点、穿孔のないものが7点で、後者に一部欠損品が1点ある他はすべて完形品である。土器片を再加工し、円形に整形している。縁辺部は打ち欠いただけでなく、程度の差はみられるが研磨が施してある。

同8は完形で、中央に両面から穿孔してある。縄文地の土器片を使用していて、ほぼ円形に整形した後に縁辺部を比較的丁寧に研磨している。

### 3. 土偶（第54図9～13、第5表）

5点出土している。完形のものではなく、すべて欠損品や破片であるが、各部分ごとの遺存状態は良い。

同11は土偶の頭部である。平坦な頭頂部には、頭髪を表したとみられる沈線による施文がみられる。両側面の耳の位置から頭頂部にむけて貫くように穿孔されている。フラットな顔面にはT字形の隆帯で眉から鼻にかけてが表現され、顔の輪郭と目・口は頭頂部と同様にやや太めで深い沈線で、単純ではあるが力強く表現されている。

同9・10・12・13は板状土偶の一部欠損品及び破片である。同9は腕・脚部欠損で薄くて平らな胴部表面には、直径1cm前後の小突起によって乳房が表現され、両乳房の直下と胴部裏面には数本の微細な沈線による施文がなされている。頭部は肩の部分から直接始まり、顔面は隆帯によって鼻が、細くて鋭い沈線によって目・鼻の穴・口が表現されている。頭頂部には一条の凹みがみられる。同10は板状土偶の左腕・脚部で、同9同様に両腕を大きく広げた形態である。直径1～1.5cm、高さ0.5cm程の小突起によって乳房が表現されている。胴部の両面には、中央部に一本の沈線が垂直に入り、この沈線を中心に左右対称に沈線による施文がなされている。

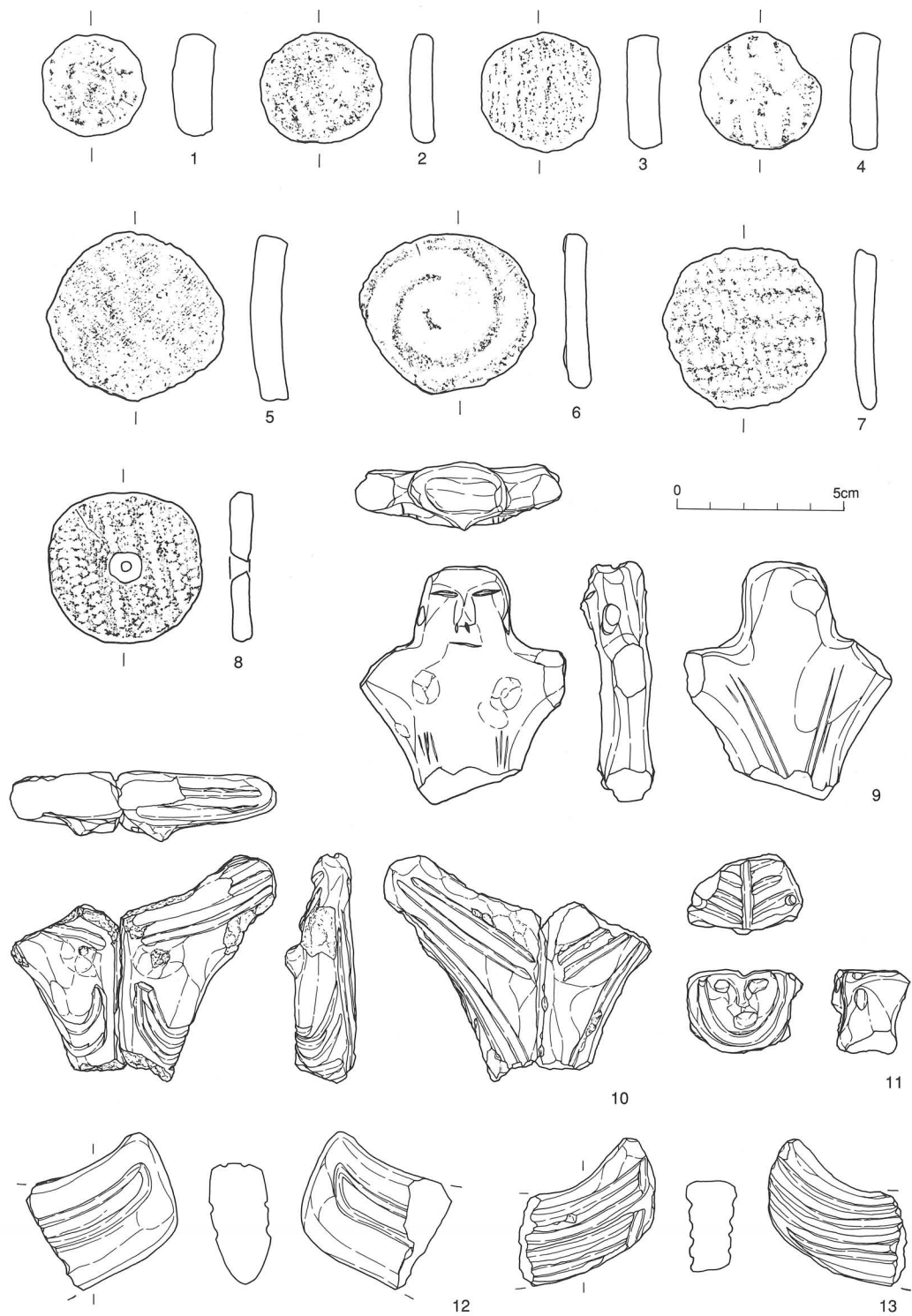
### 4. 土錘（第55図、第6～8表）

管状土錘が16点出土している。完形が5点の他は欠損品である。完形品の法量は、直径が1.2～1.7cm、孔径は0.4～0.6cmである。中央部分の膨らみが大きいもの（同5～7）と、膨らみが小さくてほぼ筒状をなすもの（同1～4・8～12）がある。両者ともにきめの細かい胎土で焼成も良い。

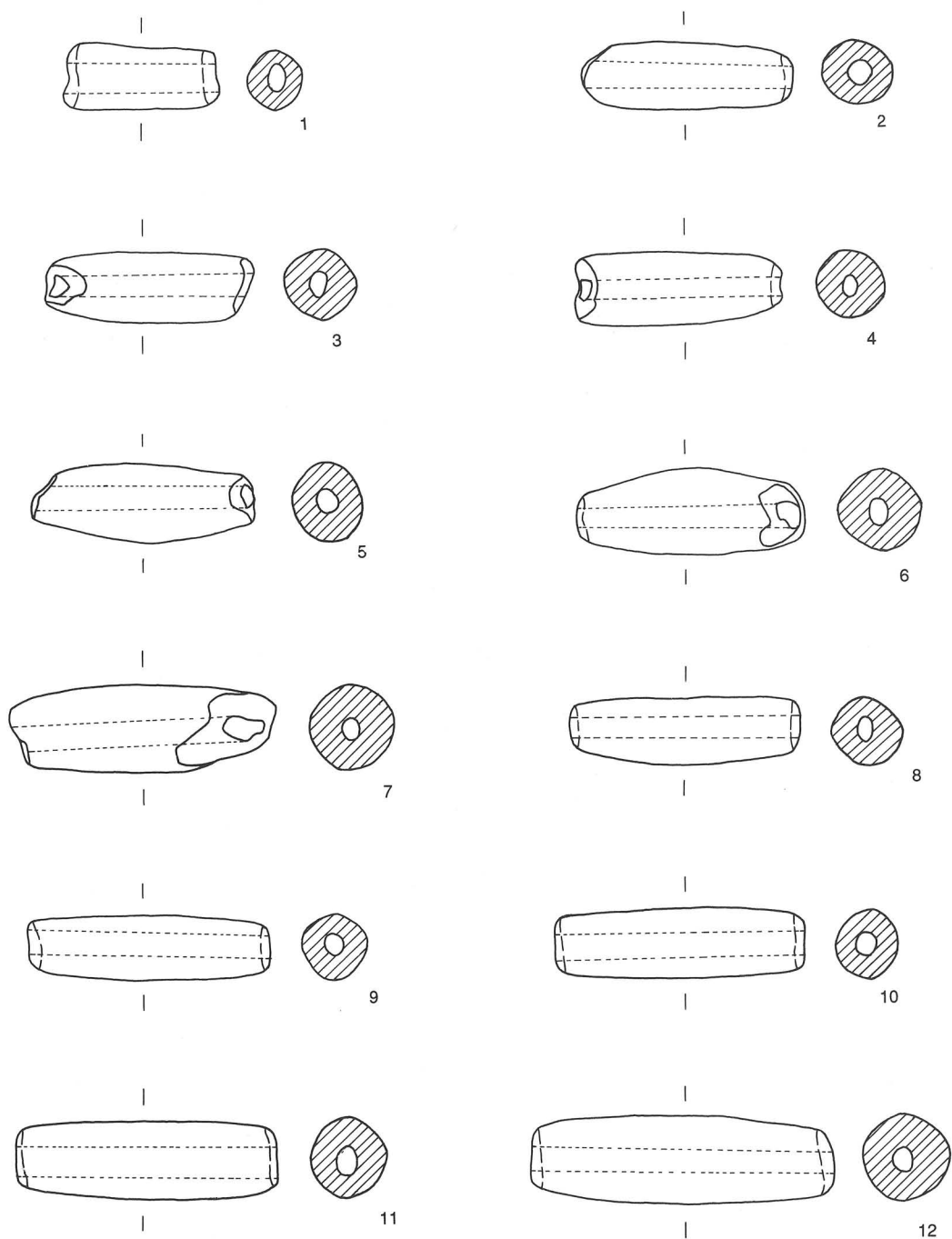
ほとんどが宮ノ前地点の資料であるが、一括出土ではなくそれぞれ単独での出土であり時代決定は困難である。

### 5. まとめ

遺構に伴う資料ではないことから、これらの土製品の年代を決定することは困難ではあるが、第136図11を除いた土偶は、形態的特徴から縄文中期後半のものと思われる。



第54图 土偶·土製円板実測図



第55図 土錘実測図

第1表 宮ノ前地点土製円板一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	長径	短径	厚さ	重さ	挿図番号
1	13	4層	完形	4.8	4.8	0.6	21.1	第54図7
2	32	4層	完形	5.1	4.8	0.9	31.8	同5
3	32	4層	完形	3.6	3.5	0.9	16.0	同3

第2表 前田地点土製円板一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	長径	短径	厚さ	重さ	挿図番号
1	A5第7層下部	完形	5.2	4.7	0.7	24.0	第54図6
2	C5	完形	3.6	3.3	0.6	10.4	同2
3	表採	完形	4.6	4.5	0.6	17.1	同8

第3表 うづか地点土製円板一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	長径	短径	厚さ	重さ	挿図番号
1	M6Ⅱ	完形	3.1	3.0	1.2	12.2	第54図1

第4表 センター地点土製円板一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	長径	短径	厚さ	重さ	挿図番号
1	B6	一部欠損	3.8	3.4	0.8	(12.4)	第54図4

第5表 宮ノ前地点土偶一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	11	4層	左腕・胴部	(6.7)	(8.0)	1.7	(58)	第54図10
2	4	4層	左腕破片	(4.7)	(4.4)	(1.6)	(26)	同12
3	34	3層	左腕破片	(4.2)	(4.2)	(1.4)	(22)	同13
4	25	4層	頭部破片	(2.5)	(3.4)	(2.0)	(14)	同11
5	不明	—	腕・脚部欠損	(7.0)	(6.0)	1.8	(52.5)	同9

第6表 宮ノ前地点土錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	長さ	直径	孔径	重さ	挿図番号
1	136	完形	4.9	1.3	0.4	8.7	第55図10

第7表 前田地点土錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	長さ	直径	孔径	重さ	挿図番号
1	A20	完形	4.6	1.2	0.4	7.6	第55図9
2	A21	完形	5.1	1.4	0.5	10.9	同11
3	B17	完形	4.4	1.3	0.4	8.3	同8
4	A12	完形	5.9	1.7	0.5	17.2	同12
5	C10	両端欠損	(4.4)	1.5	0.5	(8.0)	同5
6	B17	一端欠損	(4.0)	1.4	0.5	(7.1)	同2



7	C9	両端欠損	(4.0)	1.4	0.5	(7.8)	同3
8	A20	両端欠損	(5.3)	1.6	0.5	(12.6)	同7
9	B21	完形	3.0	1.2	0.5	3.9	同1
10	B21	一端欠損	(4.3)	1.6	0.5	(9.9)	同6
11	B20	両端欠損	(2.7)	(1.2)	0.6	(2.9)	
12	C17	一端欠損	(4.1)	1.4	0.5	(8.8)	同4
13	B20	両端欠損	(3.4)	1.5	0.6	(6.4)	
14	B16	破片	(3.7)	(1.5)	0.5	(3.9)	

第8表 センター地点土錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	長さ	直径	孔径	重さ	挿図番号
1	B6	$\frac{1}{3}$ 欠損	(3.3)	1.3	0.4	(5.0)	

## 第4節 石 器

宮ノ前遺跡から出土した石器は、総数8,014点を数える。旧石器時代から縄文時代におよぶ石器が出土している。前田地点の層序を基準に、第18層から第16層より出土したものを「旧石器」第15層から第9層より出土したものを「下層縄文」とし、これより上層および他の地点から出土したものを「上層縄文」の石器として包括的に分類し、報告する。

ただし、所属時期が明確な器種は、この限りではない。

### 1. 旧石器

前田地点の下層とした包含層のうち、第18層から第16層より出土したものを旧石器時代の石器として扱った。ナイフ形石器文化期から細石刃文化期のものが含まれる。

ただし、第16層からは、隆起線文系土器の破片が出土している。同層より出土した石器群は、「下層縄文」として扱った第15層の石器群と比較して、より旧石器的な要素が強いため、便宜上この項で扱った。

#### 1-1) ナイフ形石器 (第56図、第12～14表)

前田地点8点、うづか地点1点、センター地点2点の総数11点が出土している。

素材別に見ると、翼状剥片または横長剥片を素材とするもの(第56図1～6)が6点、小型の縦長剥片を素材とするもの(同7～11)が5点見られる。翼状剥片および横長剥片を素材とするもののうち、4点が輝石安山岩製である。

同1は、センター地点より出土した翼状剥片利用の一側縁加工のナイフ形石器で、典型的な国府型ナイフ形石器の特徴を示している。同2～6は、前田地点出土の小型の横長剥片利用のナイフ形石器である。このうち、同2は一側縁加工、同3・4は基部加工、同5・6は二側縁加工のナイフ形石器である。これらは、瀬戸内技法の系譜を引くナイフ形石器と考えられる。

小型の横長剥片利用のナイフ形石器は、いずれも打面付近にブランティングが施されるが、打面を削除する形で、通常とは逆にネガ面からポジ面に向かって施されている。基部加工のナイフ形石器は、剥片縁辺の左右いずれかの端部を基部とし、打面部の加工方向とは異なる通常方向へのブランティングが施されている。同図1の国府型ナイフ形石器に比較して新しいものと考えられる。

同図7～11は、縦長剥片を素材とするナイフ形石器である。

#### 1-2) 角錐状石器 (第68図1・2、第15表)

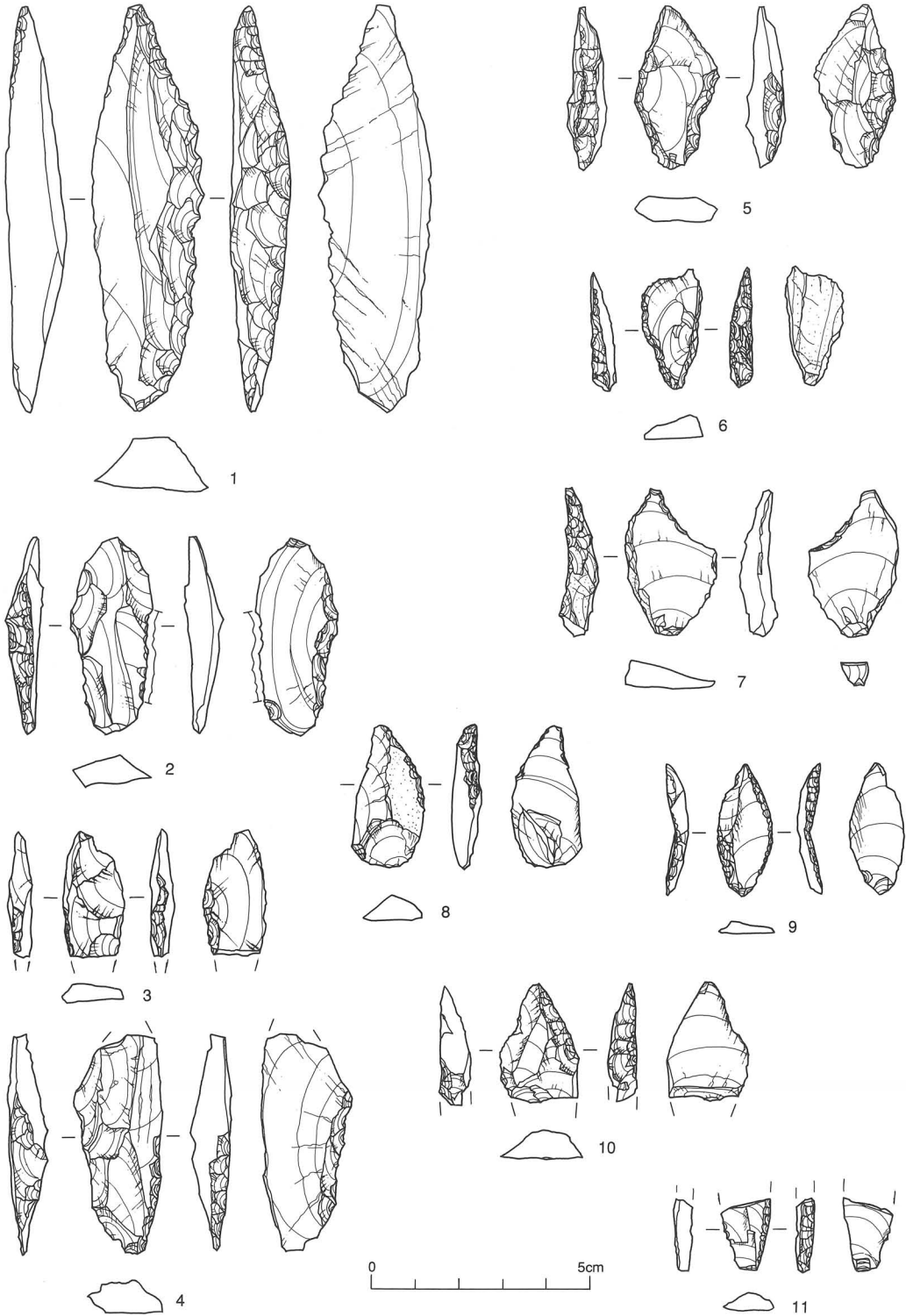
前田地点より2点が出土している。

輝石安山岩製の典型的なもの(同1)とチャート製の小型なもの(同2)である。

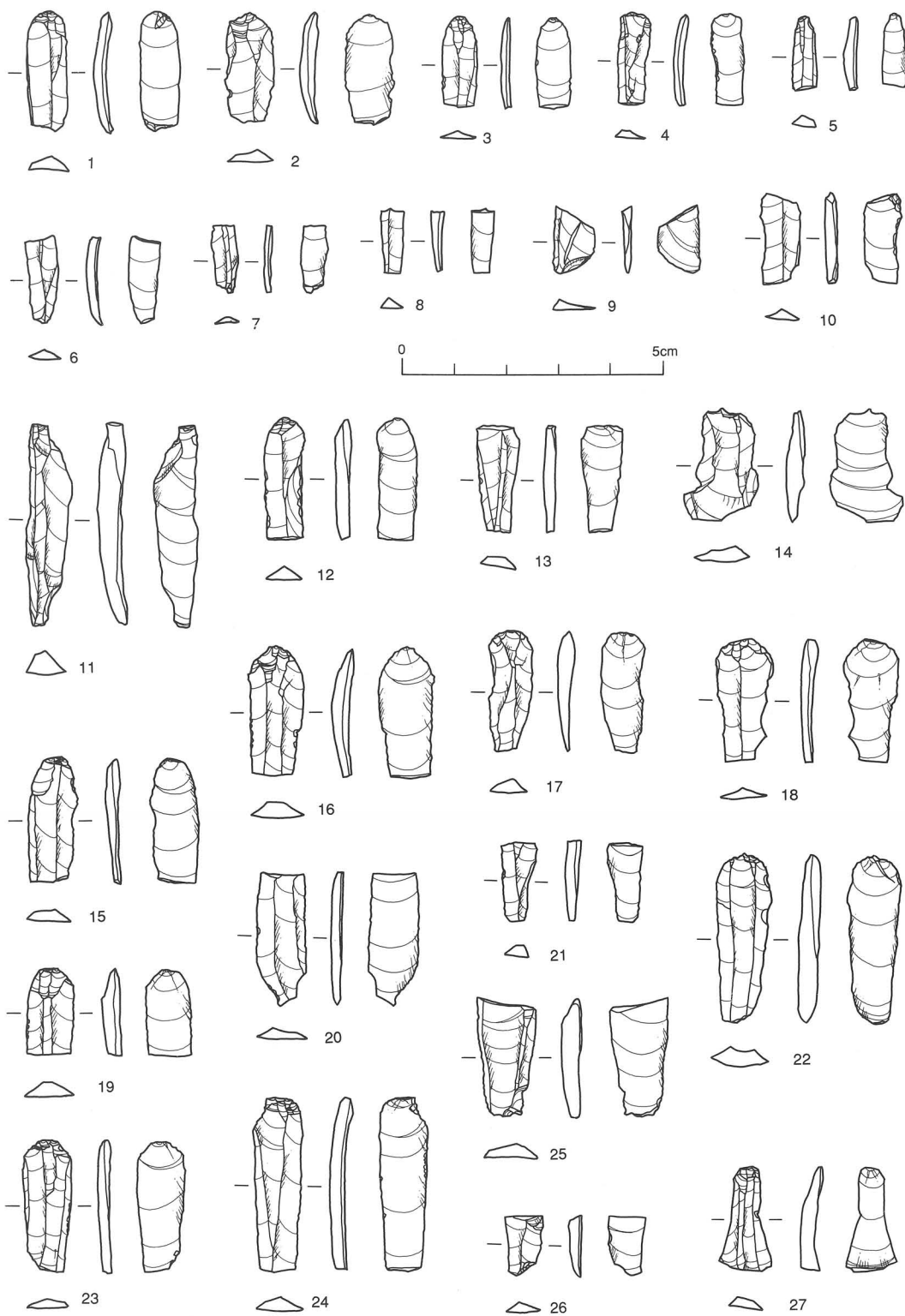
細石刃の包含層から出土しているものの、小型横長剥片素材のナイフ形石器に伴うものと解釈したほうが妥当であろう。

#### 1-3) 細石刃 (第57図、第16・17表)

前田地点39点、宮ノ前地点1点の総数40点が出土している。



第56図 ナイフ形石器実測図



第57図 細石刃実測図

石材は、黒曜石17点、下呂石13点、硬質頁岩6点、チャート4点である。

完形品は4点と少なく、末端部を折断したものが15点、頭部折断6点、頭部と末端部を折断したものの1点、装着時の調整のために意図的な折断が行なわれている。

第17層より出土したもの（同1～14）と比較して、第16層より出土したもの（同15～27）のほうが全体的に大振りである。

#### 1-4) 細石刃関連資料（第58・59図、第32・33表）

細石刃を剥ぎ取った細石刃核およびその関連資料は、石器組成表（第9表）には記載していないが、第32・33表に計測値一覧を示した。

##### a. 細石刃核（第58図1・2、第59図4～6）

総数8点が出土している。

第17層から、漆黒を呈する黒曜石製の角柱状細石刃核に属するもの2点（第58図1・2）とチャート製のもの3点（第59図2）が出土している。第16層からは、打面部の欠損した下呂石製のもの1点（同4）と黒曜石製の削片系の船底型細石刃核1点（同5）が出土している。

また、表土層から黒曜石製の削片系細石刃核1点（同6）が出土している。

同5および同6の細石刃核には、打面部に削痕がみられる。同5では、両面加工の素材をブランクとしているが同6では、剥片に片面調整を行なったものをブランクとしている。

剥離面の幅や長さ、石質等を観察すると、第59図1・2の細石刃核から、第57図1～9に示した細石刃が剥ぎ取られたと考えられ、第59図4の細石刃核からは、第57図15～22に示した細石刃が剥ぎ取られたと考えられる。

##### b. 作業面再生剥片（第59図1）

第17層より1点が出土している。下呂石製である。

##### c. 細石刃核原形および打面形成削片（第58図3）

第17層から出土している。第58図1・2の細石刃核と同質の黒曜石を素材とする。剥片（同3-a）と石核（同3-b）からなる接合資料である。大きさや石質から細石刃核の原形とした。

##### d. スキー状削片（第59図3）

第16層から1点が出土している。接合はしないが、形態や石質からみて、同5の細石刃核に付属するものと考えられる。

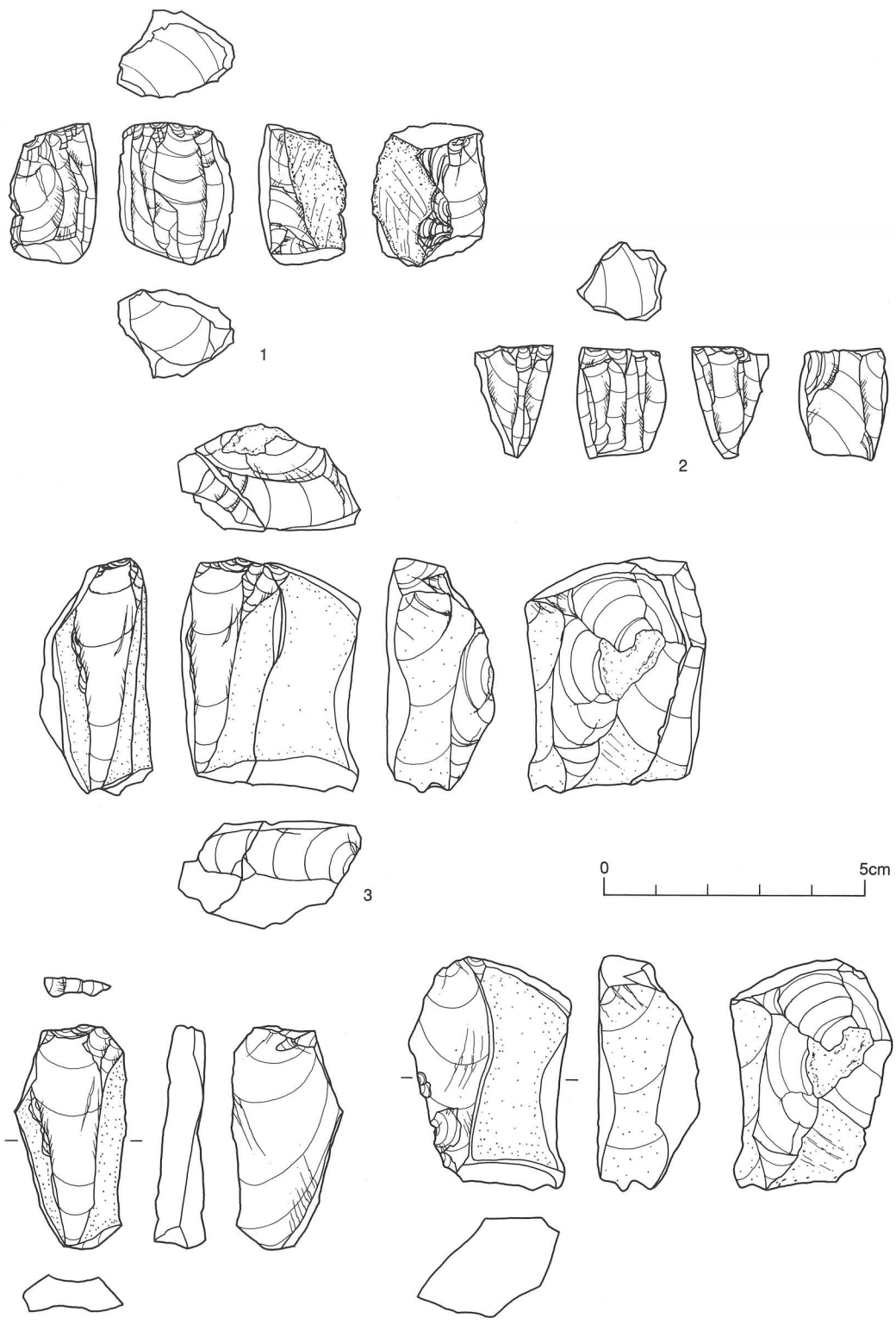
#### 1-5) 尖頭器（第60図、第18表）

前田地点から12点が出土している。

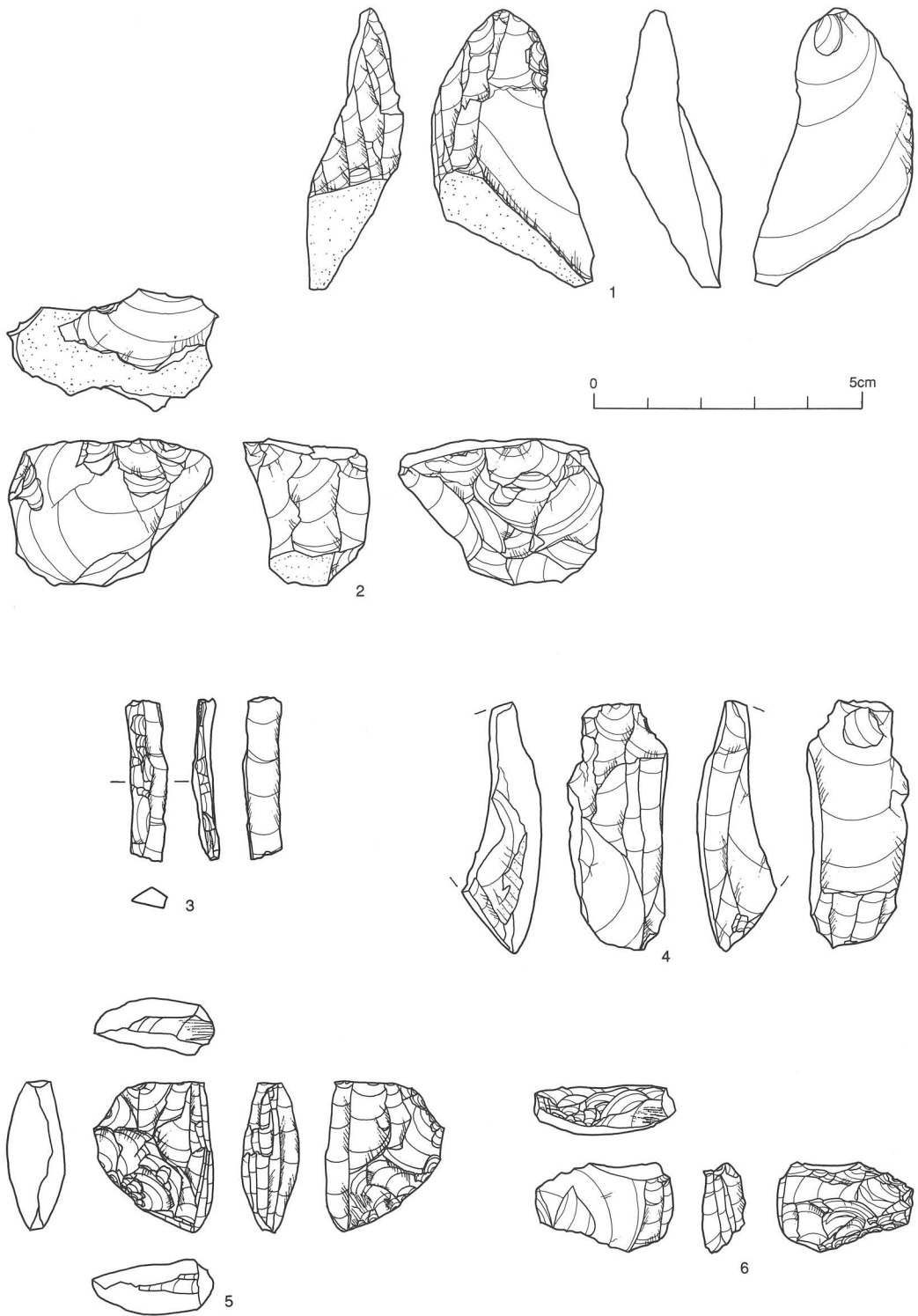
形態別では、荒い調整によって尖頭部を作り出すもの（同1・2）と、いわゆる木葉形尖頭器（同3～8）に分けられる。前者には輝石安山岩、後者にはチャート・硬質頁岩・黒曜石・ホルンフェルスが用いられている。

同3・4は、接合はしないが、植物化石を含む第三紀統の硬質頁岩が使用され、同一個体と考えられる。推定される大きさから神子柴型尖頭器の範疇に含まれるものと考えられる。

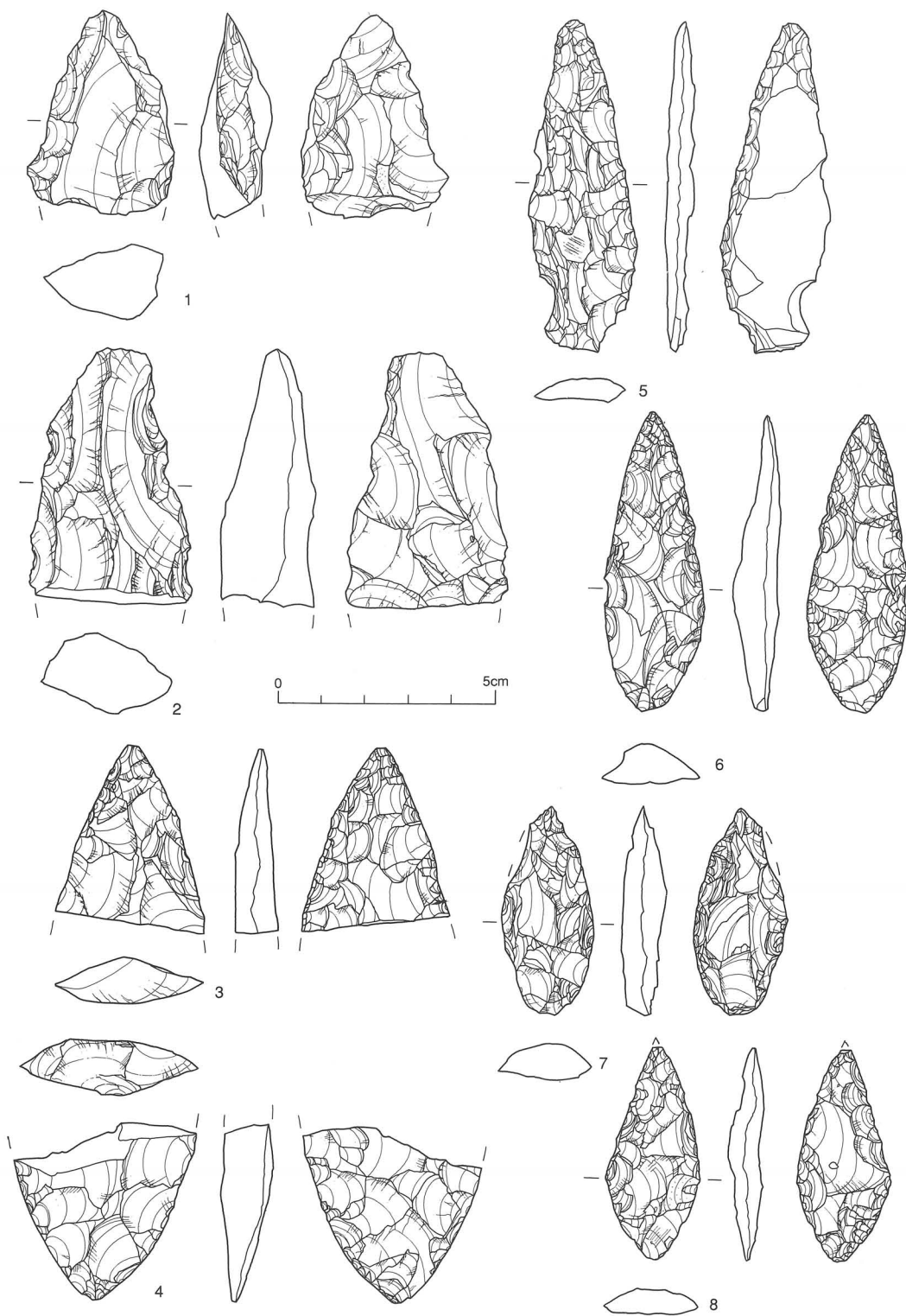
#### 1-6). 先刃搔器（第61・62図、第19表）



第58図 細石刃関連資料実測図(1)



第59図 細石刃関連資料実測図(2)



第60图 尖頭器实测图



前田地点から29点が出土している。

層位別では第18層より2点（第61図1・2）、第17層より5点（同3～5）、第16層より20点（同6・7、第62図）、表土層より2点が出土した。

第18・16層から出土したものでは、石刃・石刃状剥片または縦長剥片を素材とするものが主体であるのに対し、第17層のものでは、ほぼ3cm前後の比較的短い剥片を素材としている。

第16層のものでは、下呂石が7点、硬質頁岩が6点、チャートが2点、黒曜石が2点、流紋岩・玉髓・輝石安山岩がそれぞれ1点ずつ使用されている。宮川に転石が認められるチャート・玉髓などの在地系石材の使用頻度が低く、搬入石材が多く使用されている。定型的な素材を作り出すため、下呂石や硬質頁岩といった良質な石材を選択している。

#### 1-7) 円形搔器（第63図、第20表）

前田地点より13点が出土している。

チャート製2点（同1・5）の他は、すべて黒曜石製（同3～9）である。

形態的にみると全周に刃部が及ぶいわゆるラウンドスクレイパーは少なく、寸詰まりのエンドスクレイパーと解釈するほうが妥当かもしれない。主に石刃および石刃状剥片を素材とする先刃搔器とは異なる素材を用い、しかも形状がほぼ円形となる搔器を円形搔器として分類した。

通常の剥片を素材とするもの8点（同1～5）のほか、円礫を半割したものを素材とするものが3点（同6・7）、石核を利用したと考えられるものが2点（同8・9）みられる。

第16層出土の円形搔器は、製作技法の相違に加え、同層中の先刃搔器で多く使用されている下呂石や硬質頁岩はまったく見られないこと、集中地点が異なることなどから、所属時期が異なる可能性もある。どちらかといえば、縄文的な形態を持つ搔器である。

#### 1-8) 削器（第64～66図、第21・22表）

前田地点51点、うづか地点1点の総数52点が出土している。

第17層より出土したものは、下呂石製の縦長剥片を素材とするものが3点（第65図4）、輝安山岩製の横長剥片またはこれに準ずる剥片を素材とするものが7点（同1～3）みられる他は、すべて小型の不定型剥片を素材としている。刃部の加工では、第18層のもの（第64図1）と同様に荒い調整によって鋸歯縁状の刃部を形成したものが6点（同2～6）が見られる。

第16層より出土したものでは、石刃状剥片または縦長剥片を素材とするもの（第65図6・7、第66図2）が見られるほか、下呂石および流紋岩・硬質凝灰岩製の長さ8～9cm前後・重さ85g以上の大型品も5点（第66図1・3・4）がみられる。

うづか地点より出土したものは、硬質頁岩製の石刃を素材としたもの（第65図5）である。

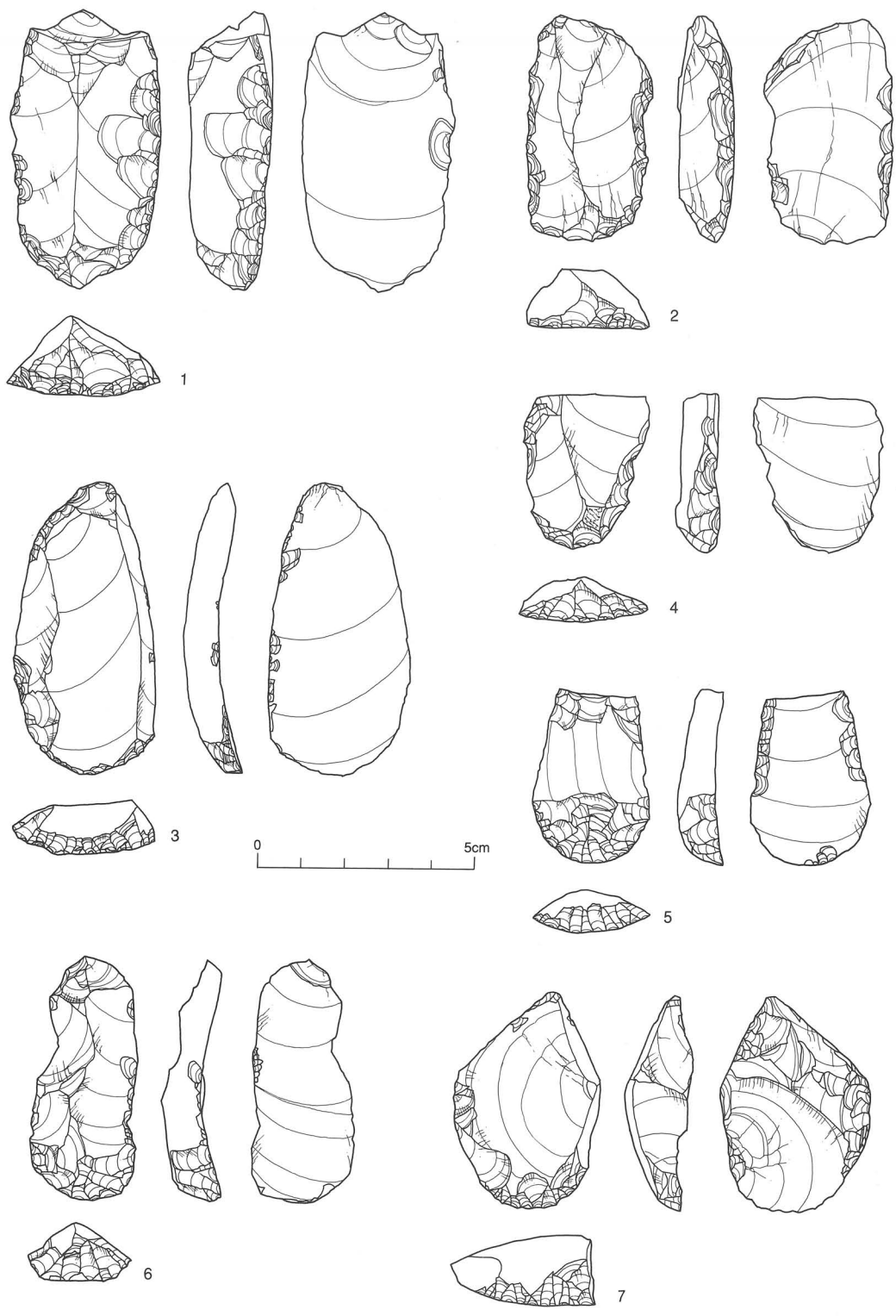
#### 1-9) 使用痕剥片および細部調整剥片（第67図、第23表）

前田地点より75点が出土している。微細な剥離のみられるもの、使用痕とみられる剥離をもつものを一括して扱った。削器とほぼ同様の用途が考えられるが、刃部形成等を目的とした調整である可能性のあるものも含んでいる。

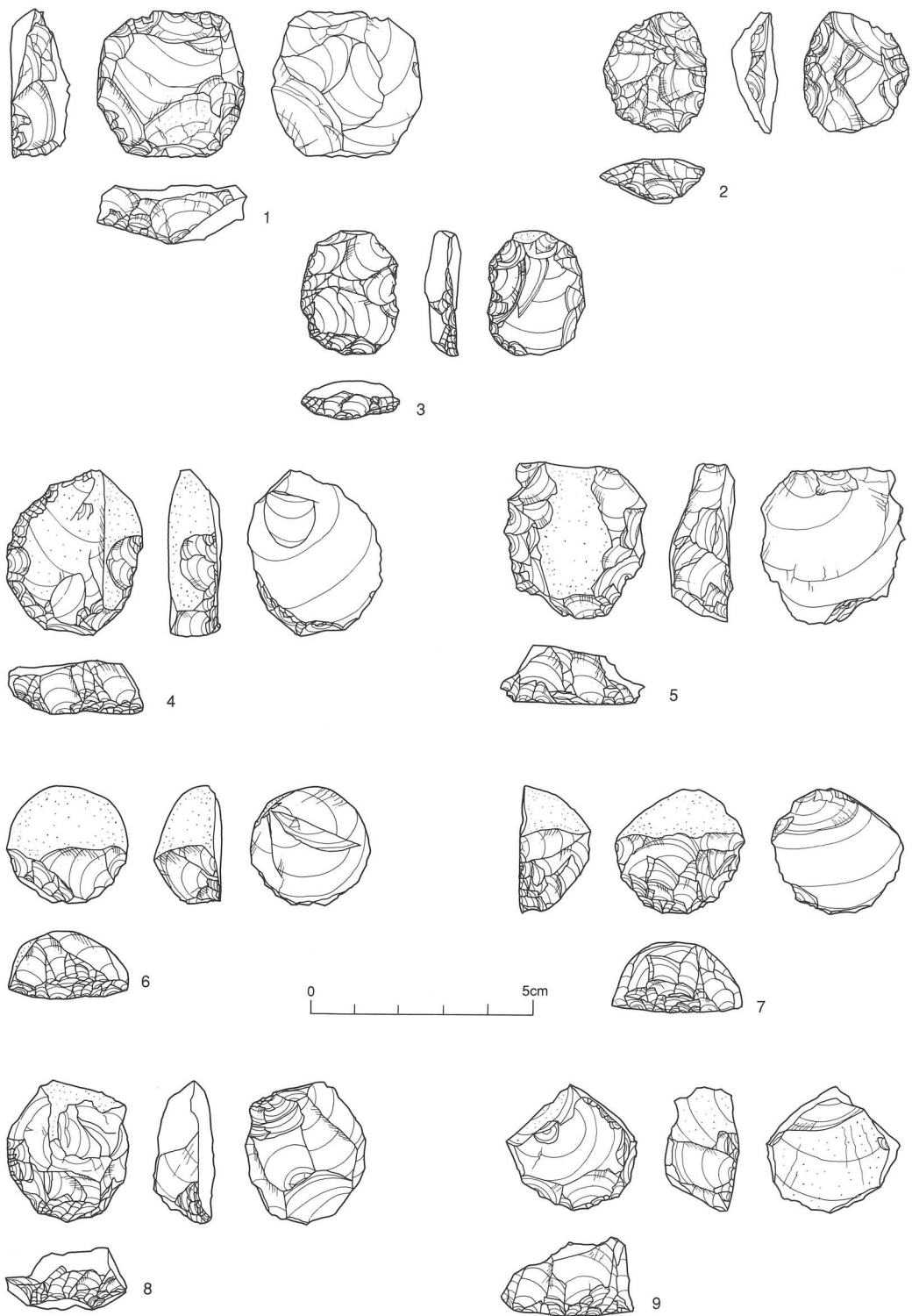
石材別にみると第18・17層より出土したものでは、チャートが19点、下呂石が9点、輝石安山



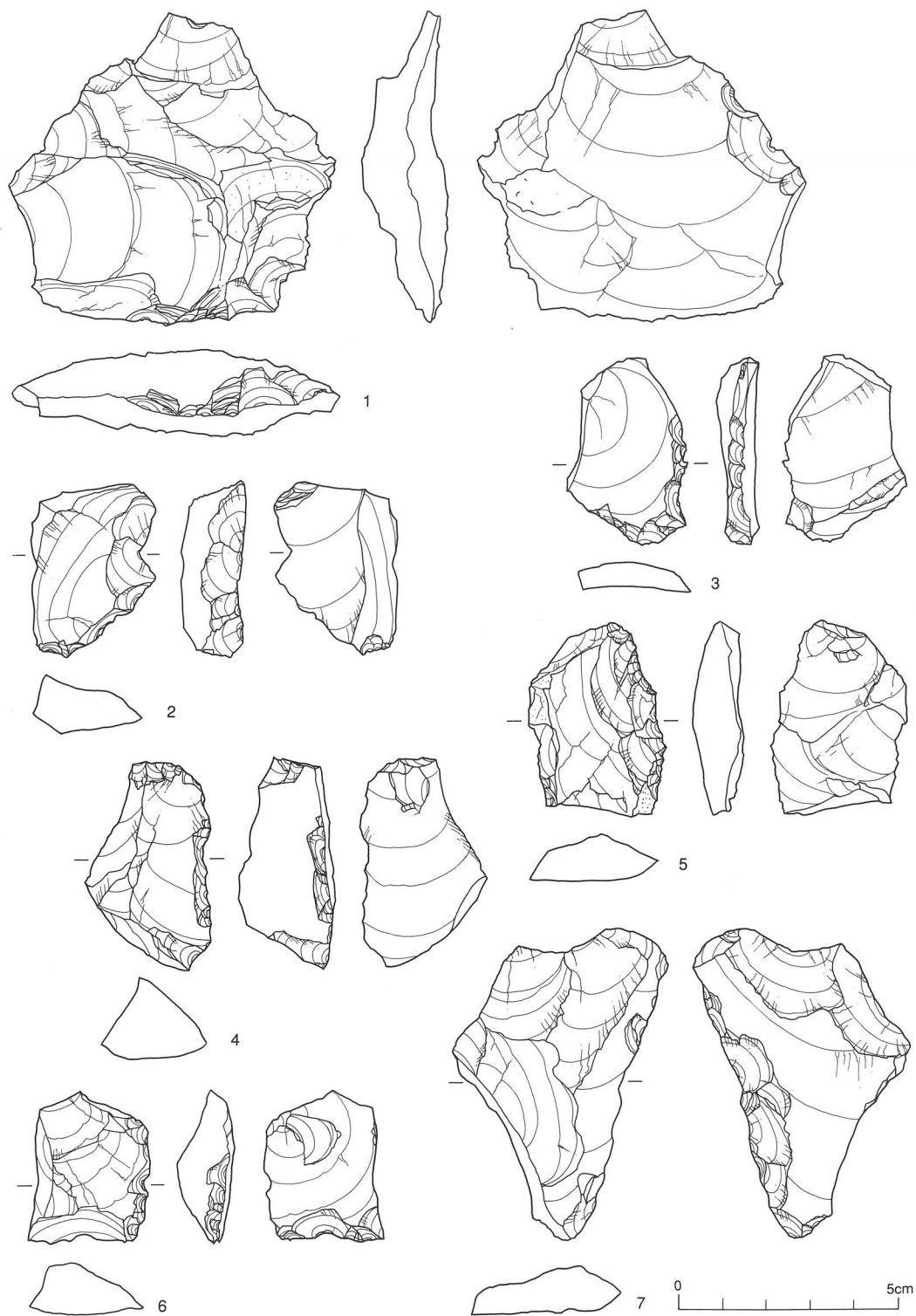
第61图 先刃搔器实测图(1)



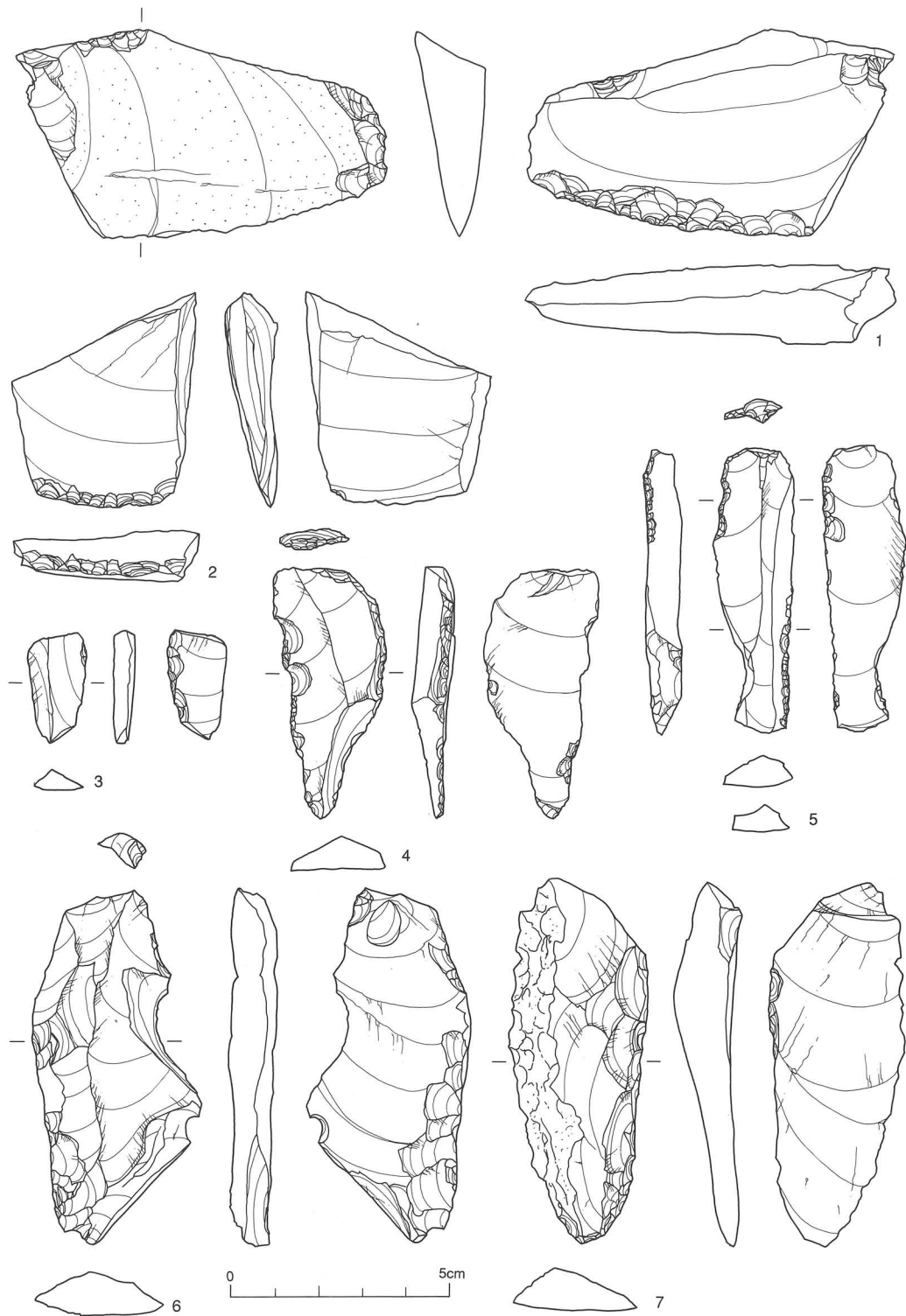
第62图 先刃搔器实测图(2)



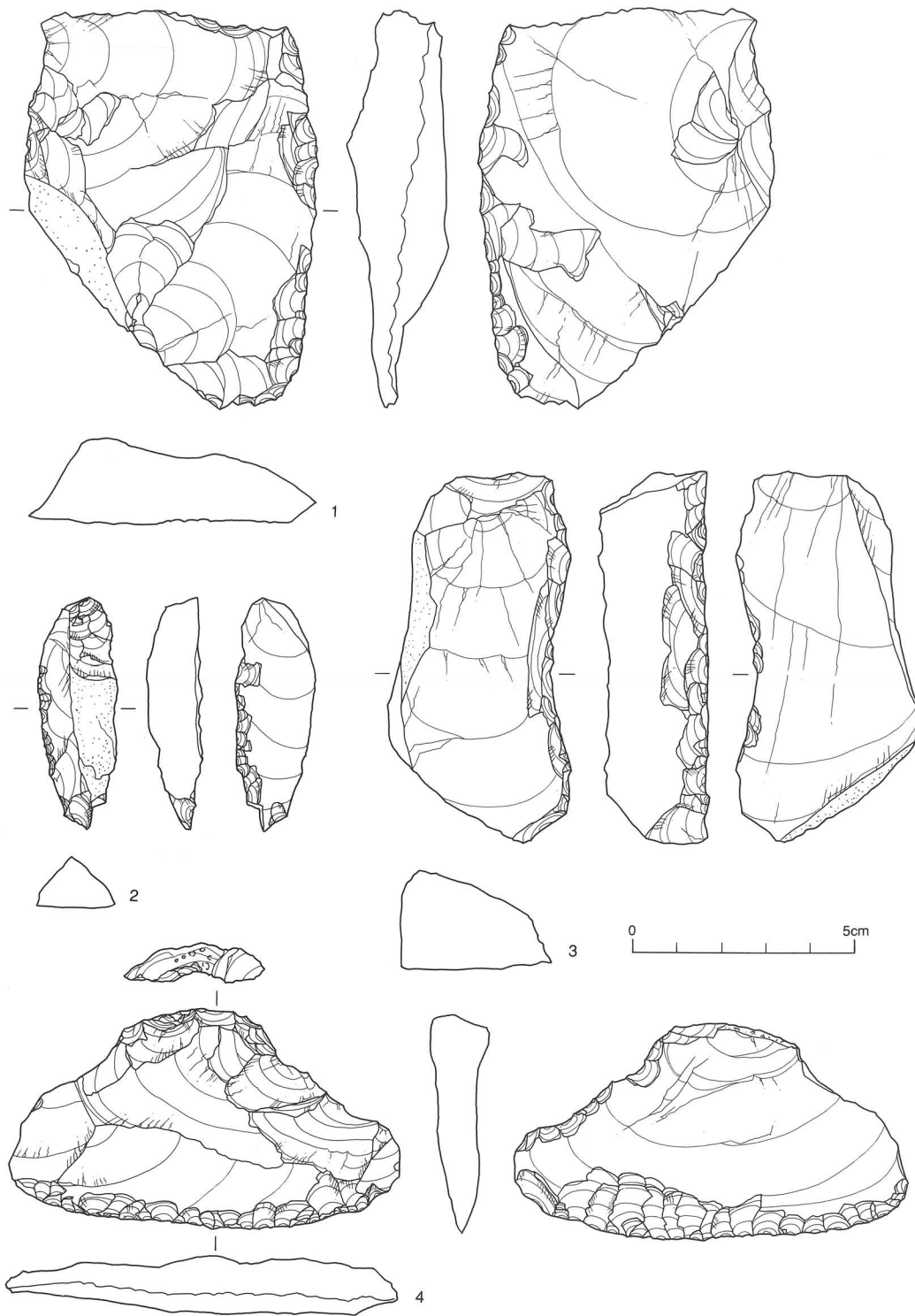
第63图 凹形搔器实测图



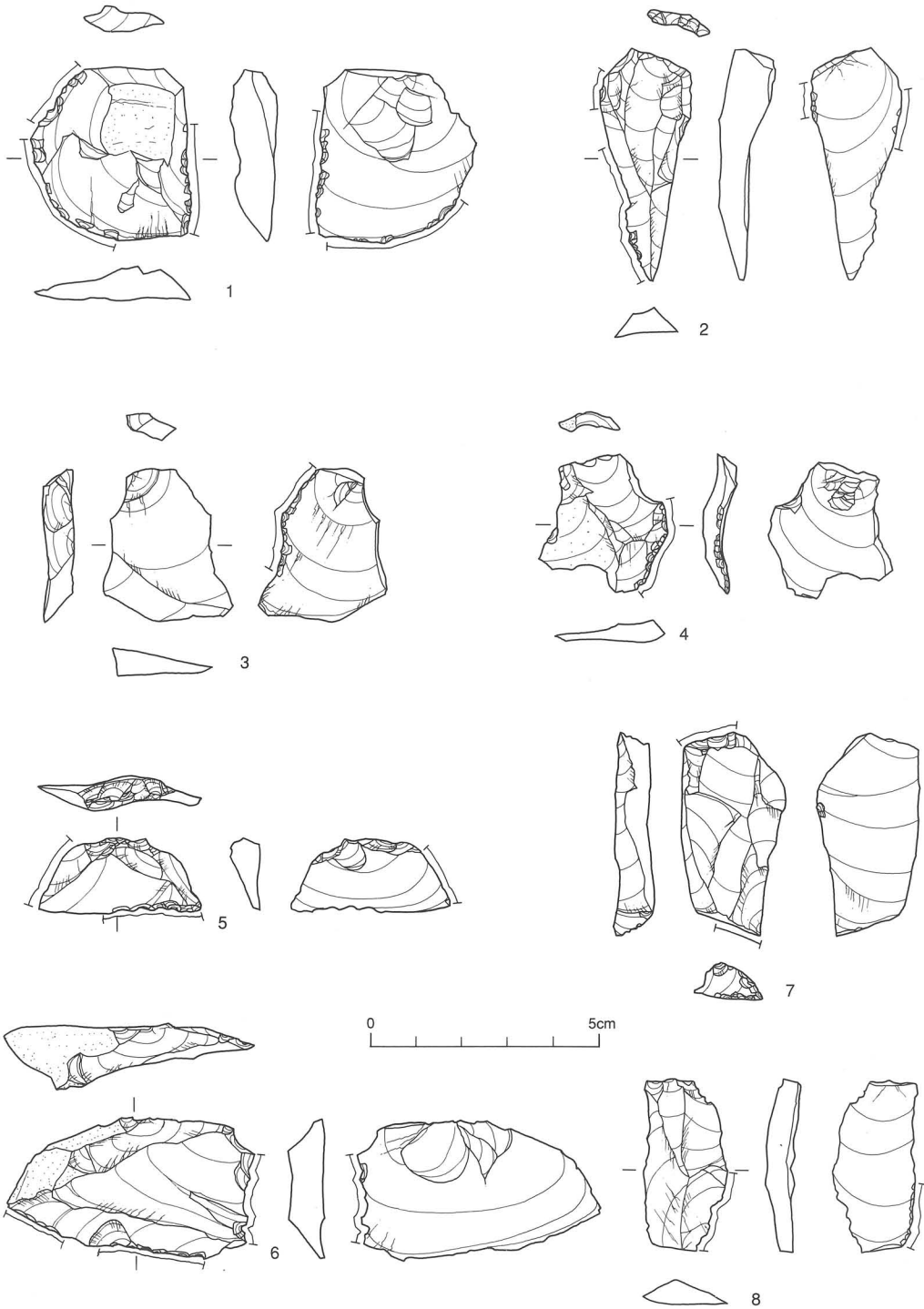
第64图 削器实测图(1)



第65图 削器实测图(2)



第66图 削器实测图(3)



第67図 使用痕剥片および細部調整剥片実測図



岩が6点と続く。削器類とほぼ同様の石材選択傾向にあるが、在地で供給の可能なチャートの割合が多少高い。

使用されている素材をみると、横長剥片を素材とするもの（同5・6）、石刃状剥片または、これに準ずる剥片を素材としたもの（同2）がみられるものの、不定型剥片を素材としたもの（同3・4）が最も多い。

第16層より出土したものの石材をみると、チャート10点・硬質頁岩7点・下呂石5点・黒曜石5続き、在地系石材のチャートに比べ、良質な搬入系石材が多く用いられている。剥片素材も石刃・石刃状剥片を利用したもの（同7・8）が見られる。

#### 1-10) 磨石（第69図1・2、第24表）

前田地点より12点が出土している。素材は、すべて宮川に普通な転石を利用したもので、片手で扱える程度の礫が選択されている。

#### 1-11) 凹石（第69図3～5、第25表）

前田地点より6点が出土している。層位別では、第17層より3点（同3・4）、第16層より3点（同5）が出土している。

素材の石質や大きさについて磨石とほぼ同様の選択傾向が見られる。

第17層・第16層より出土した凹石は、形態的に縄文時代包含層のものとはほぼ同様である。A10区第17層からは、濃飛流紋岩製の凹石（同3）が、濃飛流紋岩製の台石とセットになって出土している。

#### 1-12) 台石（第26表）

前田地点より6点が出土している。層位別では、第17層より4点、第16層より2点が出土している。形態的には、縄文時代の台石と同様である。

#### 1-13) 敲石（第69図6～9、第27表）

前田地点より17点が出土している。層位別では第17層より7点（同6）、第16層より10点（同7～9）が出土している。

素材は、宮川に転石が認められるものであるが、磨石と比較してやや硬質の石材が選択的に用いられている。

第16層より出土した10点は、すべて礫を半割して作り出した面を使用するスタンプ形石器に類似した形態をもつものである。

#### 1-14) 錐器（第68図3、第28表）

前田地点第16層より1点が出土している。下呂石の横長剥片を素材とし、打面部を大きな剥離で調整し、剥片の一端に押圧剥離によって錐部を作り出している。

#### 1-15) 彫器（第68図4、第29表）

前田地点第18層より、1点が出土している。硬質頁岩製の交互刃型の彫器である。フルーティングは、上部左側面に行なった後、斜交する形で右側面に向かって行なわれている。さらに、形成された右側面の彫刀面の左端部から、左方向へ5回程度のフルーティングが行なわれている。

#### 1-16) 礫器 (第70図、第30表)

前田地点より8点が出土している。層位別では第18層より1点(同1)、第17層より3点(同2・3)、第16層より4点(同4)が出土している。

同1・3は、角閃石安山岩製の小型品である。その大きさや石材から、石核や両面加工石器である可能性もある。

同2・4は、礫の状況を多く残すもので、主要剥離が片面にみられる片面礫器である。手に持って操作するのに手ごろな大きさの礫を使用している。

#### 1-17) 楔形石器 (第68図5～9、第31表)

前田地点より27点が出土している。層位別では、第17層より13点(同6・9)、第16層より14点(同5・7・8)が出土している。

#### 1-18) 母岩別接合資料

ここでは、出土した剥片・削片・石核のうち、母岩別接合資料2個体を図示した。

##### a. 母岩別接合資料No.1 (第71・72図)

本資料は、剥片2点(第71図3・5)、削片1点(同2)、石核1点(同1-D)、使用痕剥片3点(同1-B・1-C・4)、削器1点(同1-A)の合計9点(第72図)からなる。石材は、灰色を呈する輝石安山岩で、緻密ながら気泡を若干含んでいる。上層出土の石器にみられる輝石安山岩とは、明らかに異なる。二上山系のサヌカイトである可能性がある。

出土層位は、第17層であるが、第16層・第15層出土のものも接合している。石核や剥片からみて、横長剥片の製作に関連するものと考えられる。ナイフ形石器や角錐状石器にも同質の輝石安山岩が使用されている。これらの石器との接合はできなかったが、第18層の小型の横長剥片を素材とするナイフ形石器に関連する資料の可能性が高い。

##### b. 母岩別接合資料No.2 (第73～75図)

本資料は、剥片8点(第73図、第74図1～4)、削片1点(同5)の合計9点(第75図)からなる。石材は、灰白色から明褐色を呈する流紋岩質の凝灰岩である。母岩は、水磨を受けた扁平礫である。上層出土の石器には、使用されていない石材である。

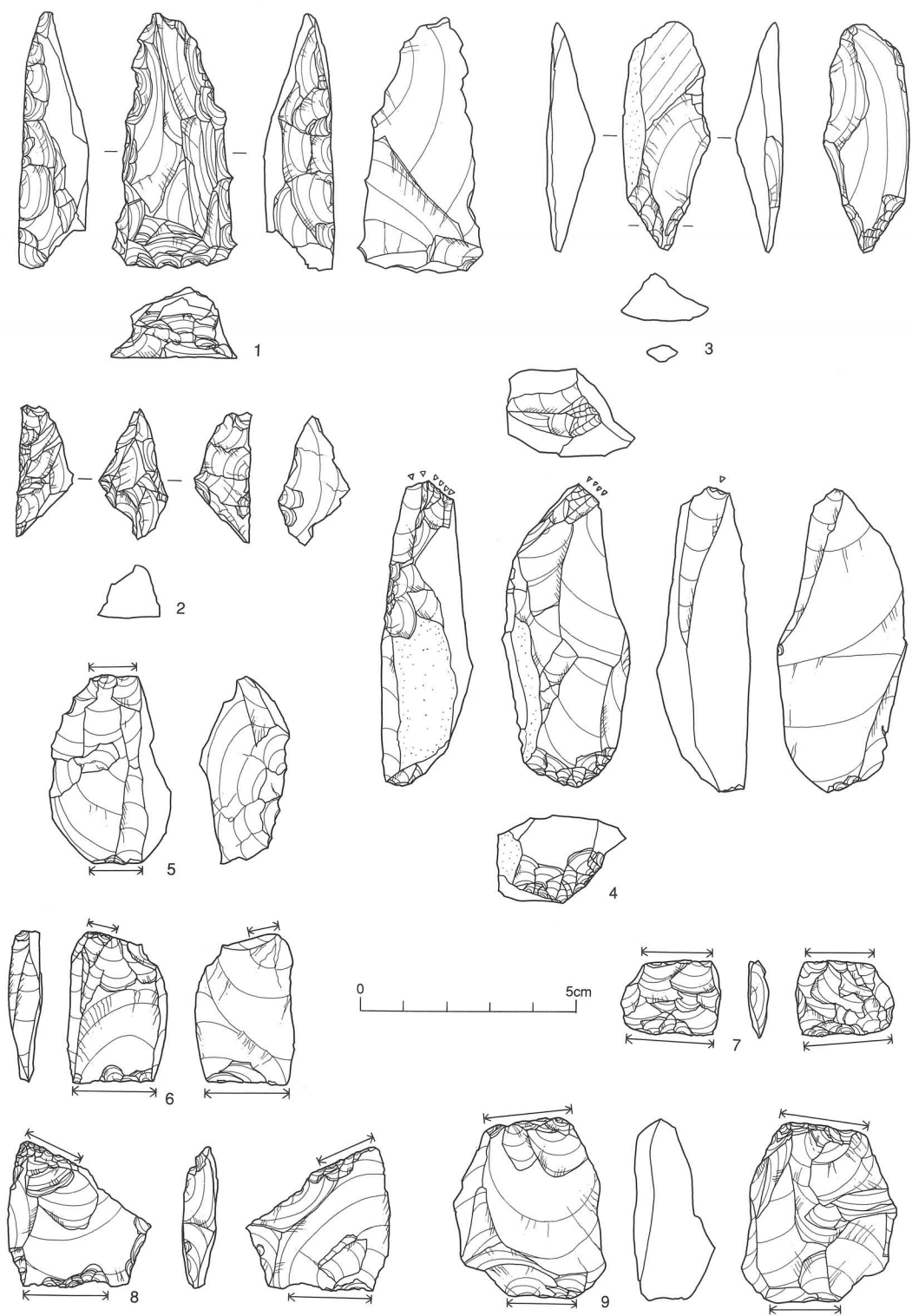
この他、剥片2点、細部調整剥片1点からなる接合資料、石核1点、剥片1点からなる資料からなる接合資料が出土している。図示した本資料と接合はしないが、同一母岩によるものと考えられる。同様の凝灰岩の資料は、すべて第17層から出土している。

#### 1-19) 旧石器のまとめ

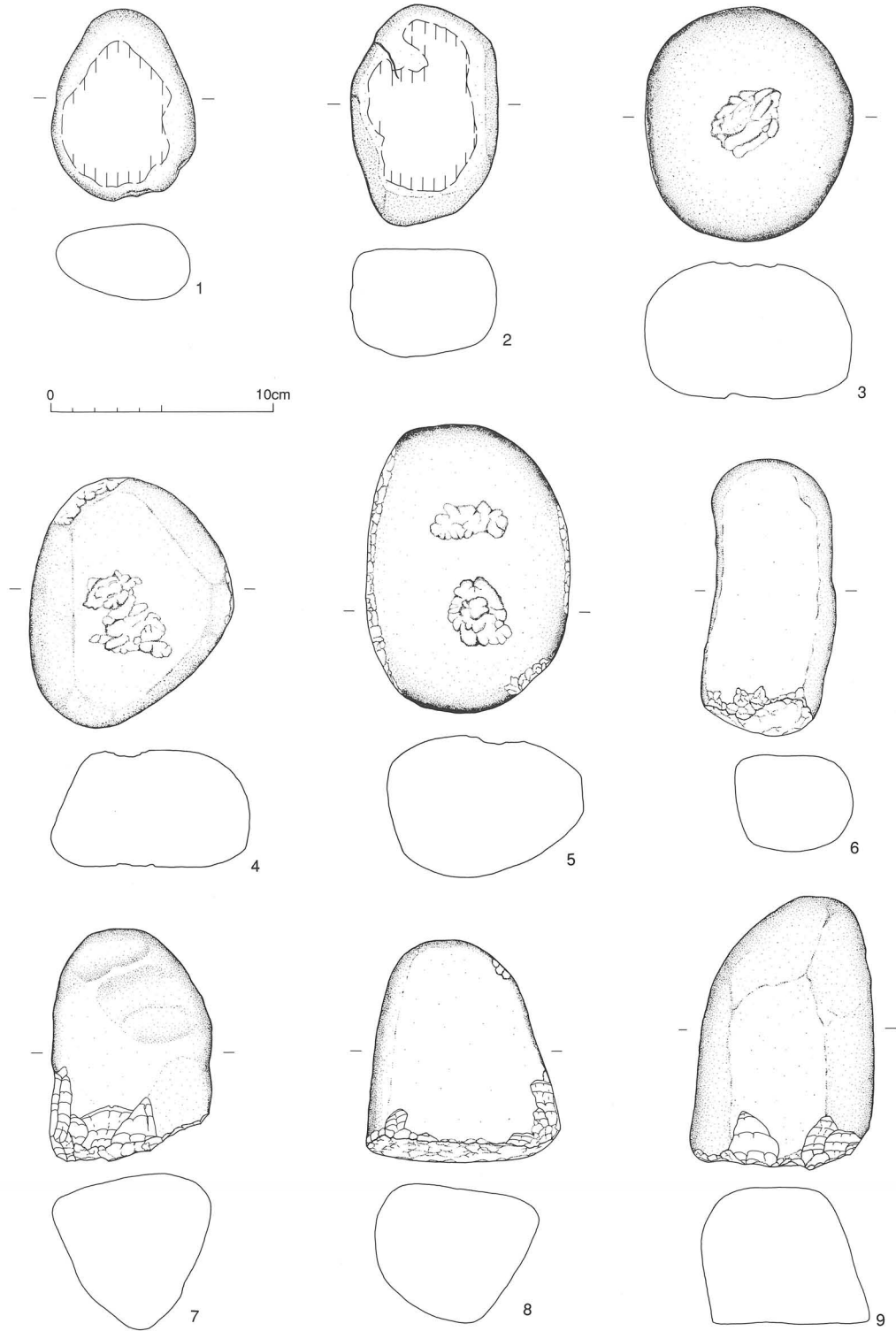
出土した石器は、下層ほど相対的に古い様相を示している。しかしながら、堆積層の状況と接合資料などからみて、一部は、上位の層へ混入していると考えられる。

各層から出土した石器の時期は、第18層がナイフ形石器文化の終末段階、第17層が細石刃文化の古段階に位置付けられよう。第16層では、出土した石器群に時期差があると考えられるが、旧石器時代最終末から縄文時代草創期初頭の時期が想定される。

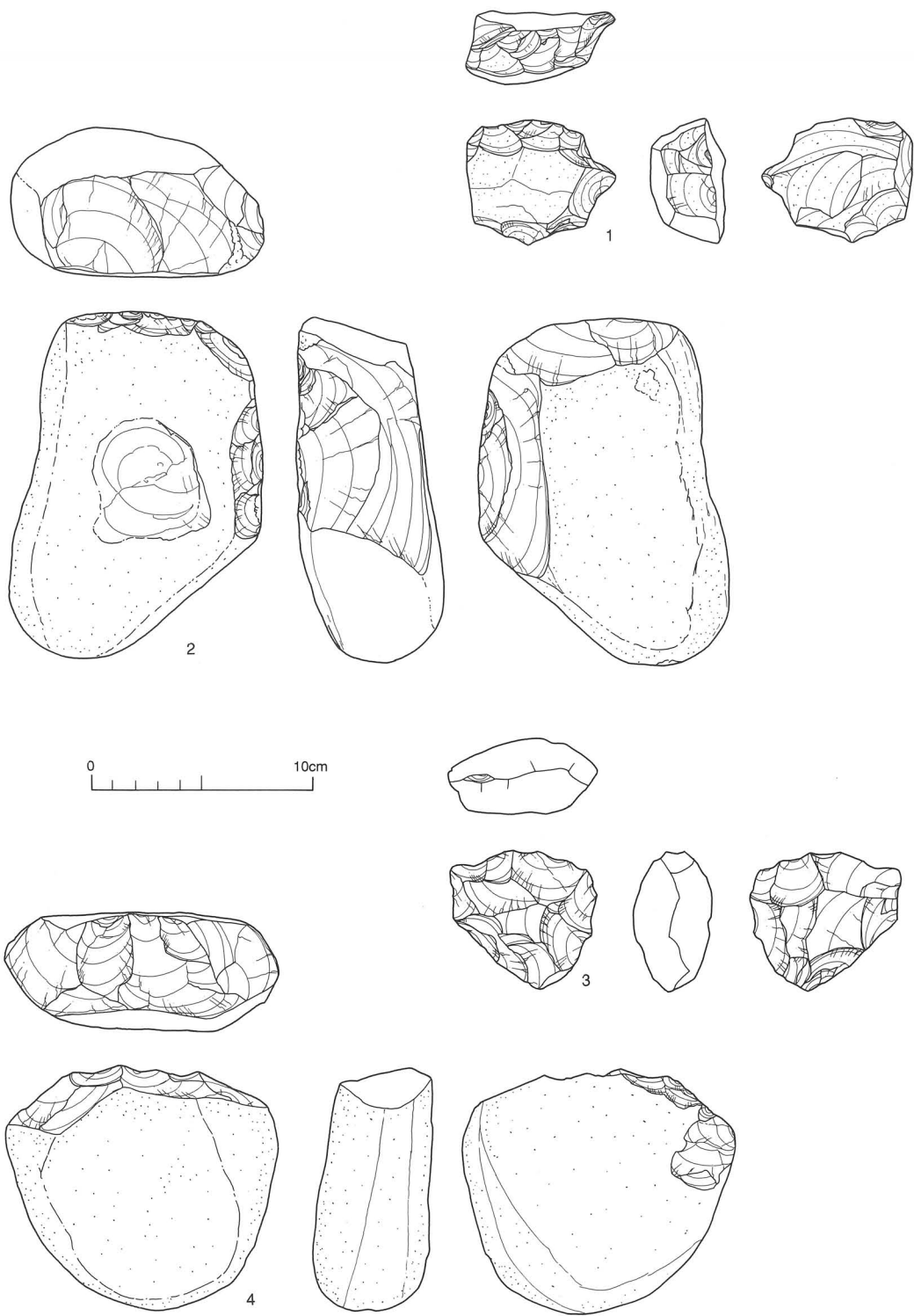
同層からは、隆起線文系土器が出土している。第16層と第15層の組成では、明らかに相違が認



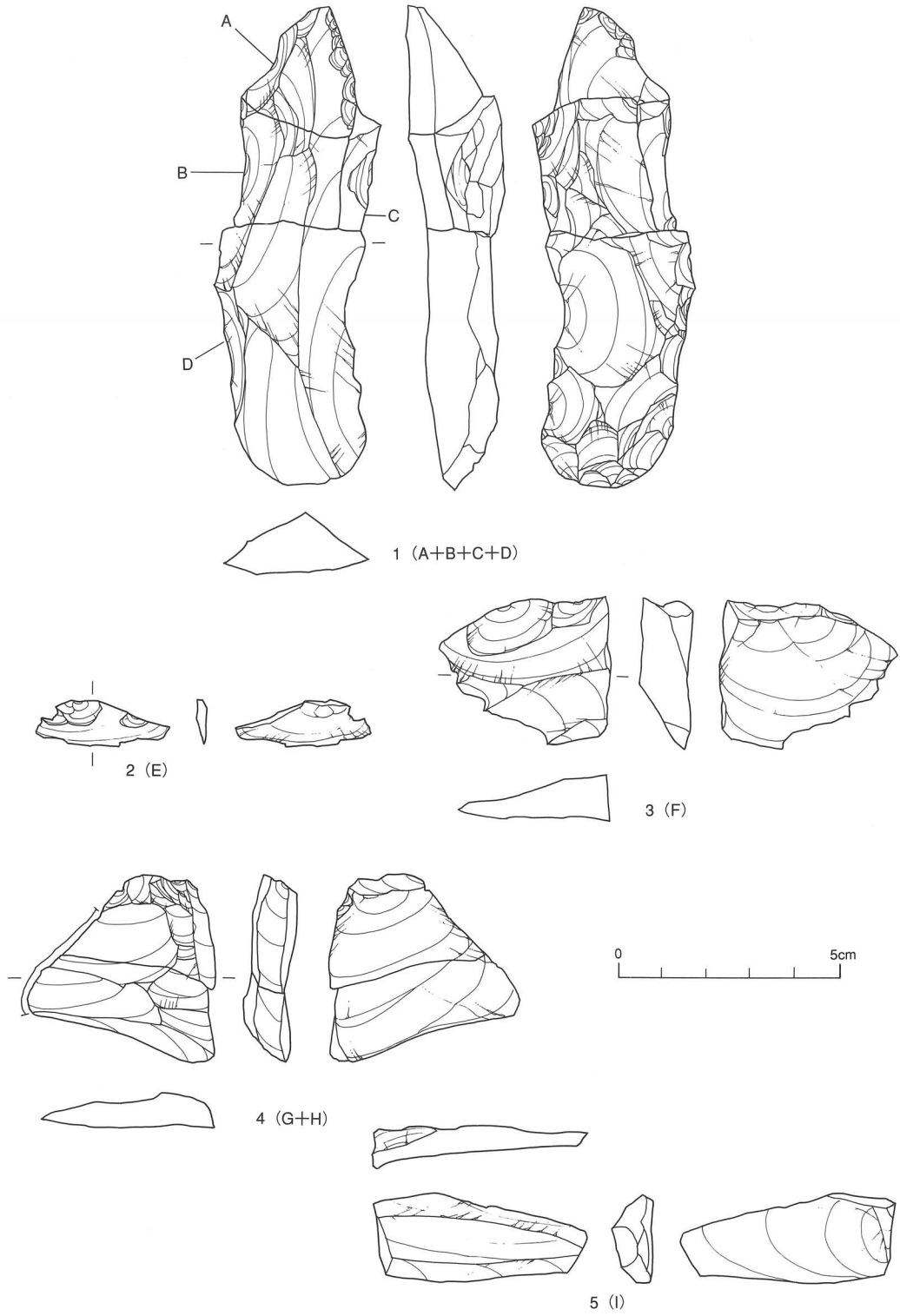
第68図 角錐状石器(1・2)・錐器(3)・彫器(4)・楔形石器(5~9) 実測図



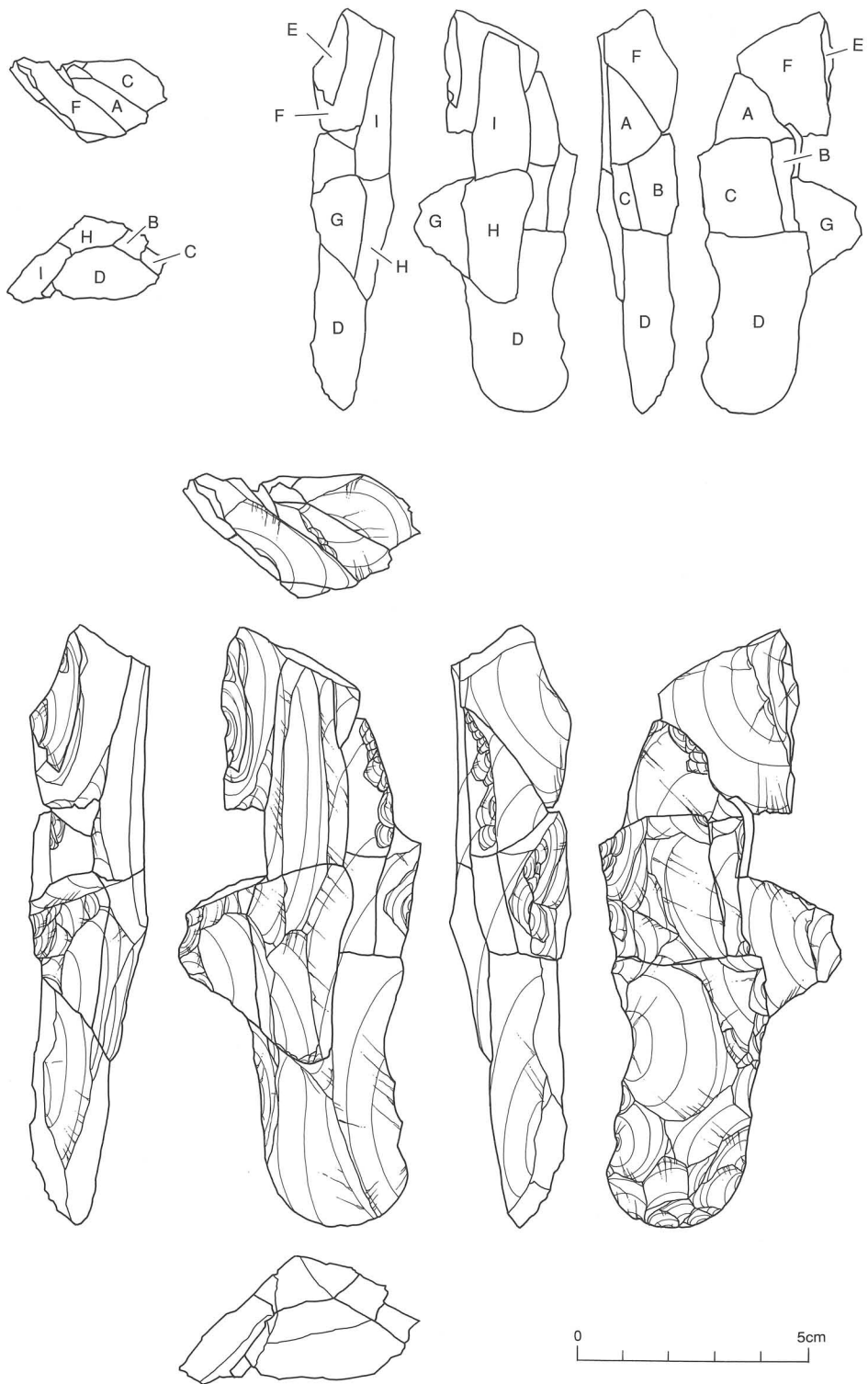
第69図 磨石(1・2)・凹石(3～5)・敲石(6～9) 実測図



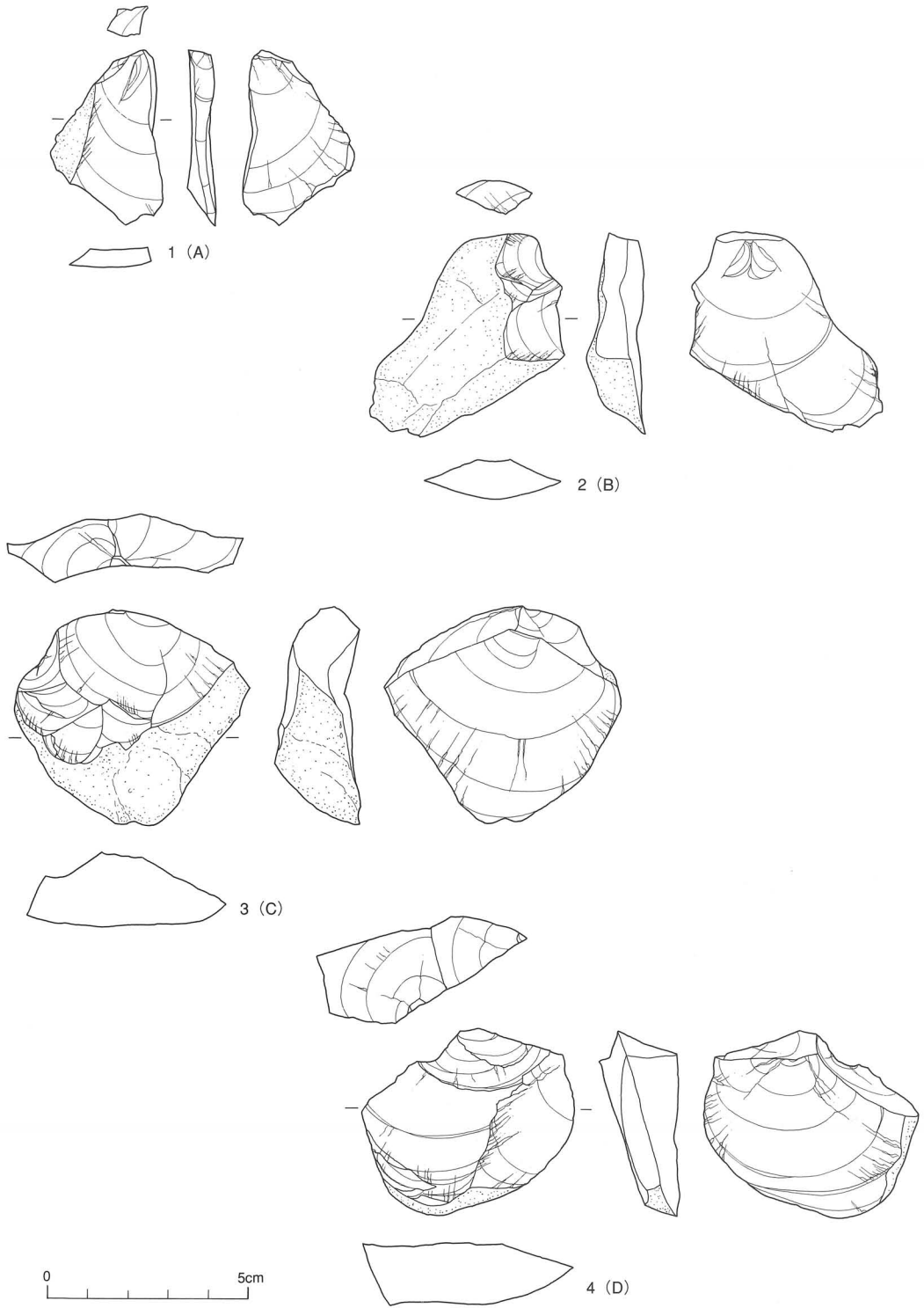
第70图 礫器実測図



第71図 母岩別接合資料 No.1 実測図(1)

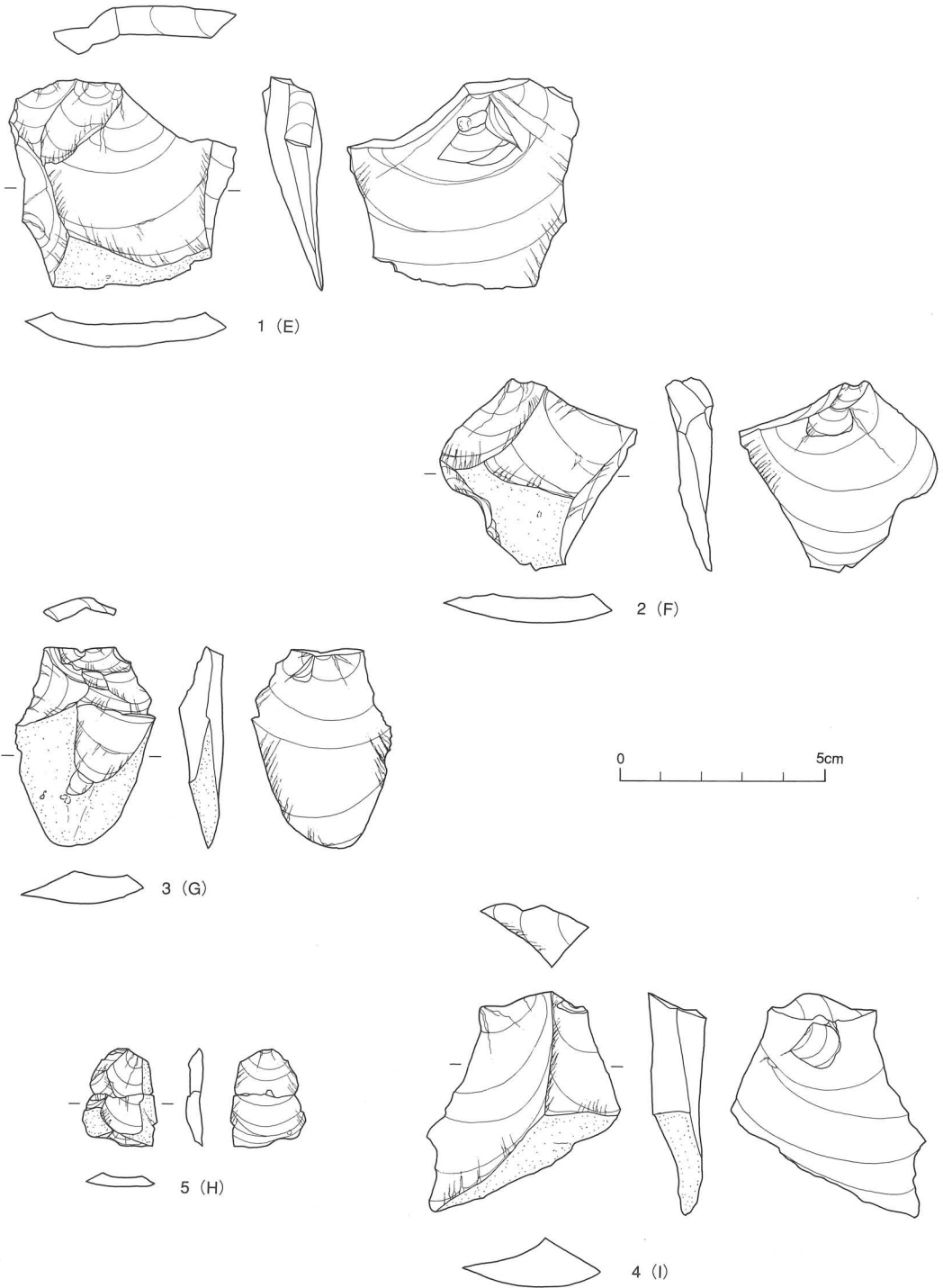


第72図 母岩別接合資料 No. 1 実測図 (2)

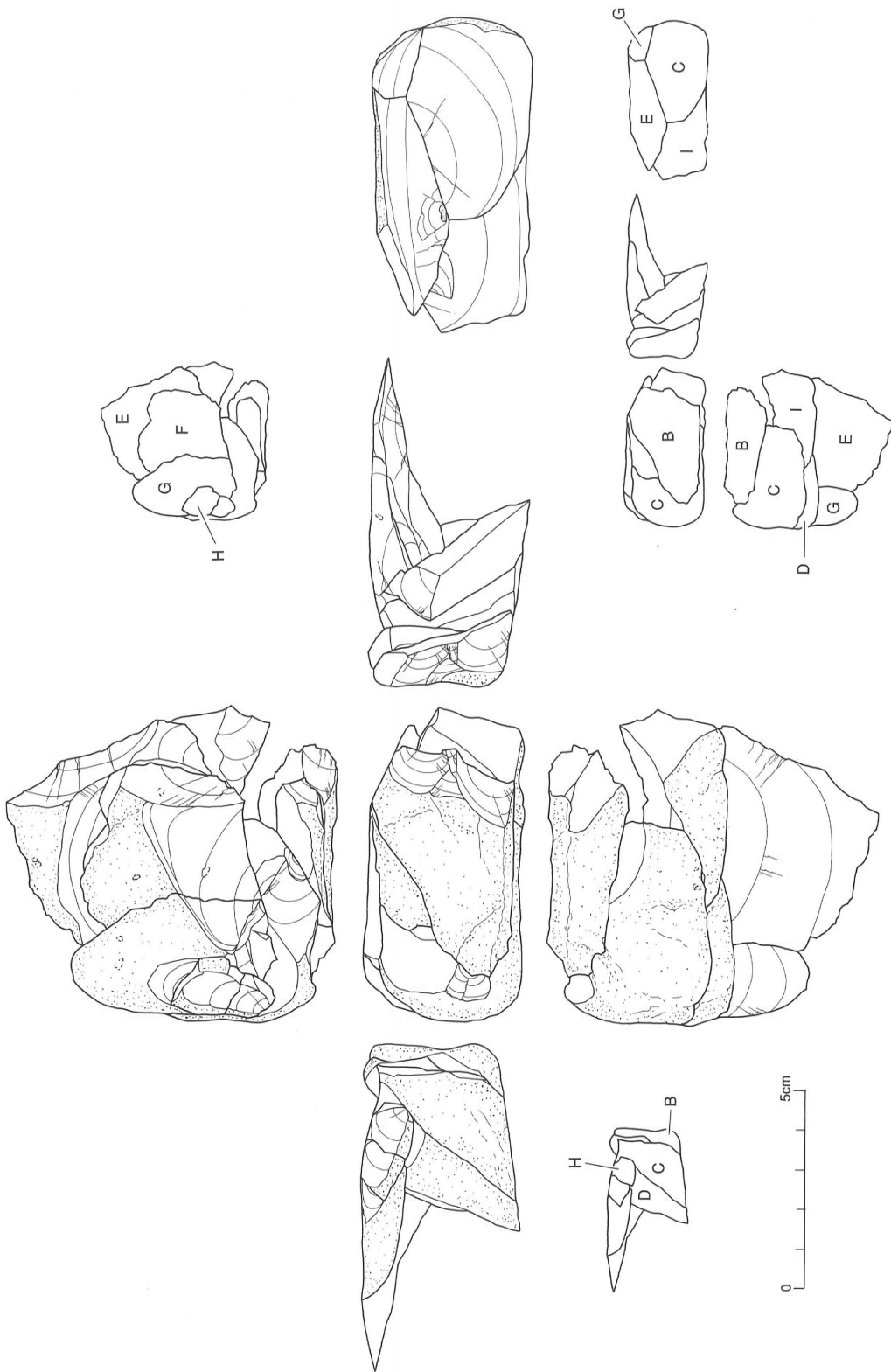


第73図 母岩別接合資料 No.2 実測図(1)





第74図 母岩別接合資料 No.2 実測図(2)



第75図 母岩別接合資料 No. 2 実測図 (3)

められる。第16層では、下呂石・硬質頁岩を使用し、石刃技法を主体とする石器群がみられ、削片系細石刃核や種子柴型尖頭器といった隆起線文系土器群に先行する石器群を含んでいる。第15層では、有舌尖頭器や石鏃といった縄文的な器種が加わっている。

## 2. 下層縄文

前田地点の下層とした包含層のうち、第15層から第9層までのものを「下層縄文」として扱った。共伴する土器からみると、隆起線文系土器群から条痕文系土器群までの、草創期・早期のものと考えられるが、第15層では、一部に旧石器時代の石器が混入している可能性がある。

### 2-1) 打製石斧 (第82図1・2、第34表)

第15層より1点 (同1)、第12層より1点 (同2) の2点が出土している。同1は、頁岩が使用されている。同2は、安山岩製で、礫石斧に近い形態である。

### 2-2) 磨石 (第76図1~3、第35表)

総数99点が出土している。層位別では、第15層から13点 (同1)、第13層から43点 (同2・3)、第12層から21点、第11層から16点、第10層から3点、第9層から3点が出土している。

石材別にみると砂岩が全体の約31%を占め、ついで安山岩が約22%、多孔質安山岩が約16%、濃飛流紋岩が約13%と続き、他に石英斑岩・閃緑岩などが用いられている。

### 3-3) 凹石 (第76図4~7、第36表)

総数29点が出土している。層位別では、第15層から2点、第13層から17点 (同4・5)、第12層から5点、第11層から5点 (同6・7) が出土している。

石材は、砂岩と多孔質安山岩が約20%を占め、安山岩と濃飛流紋岩が、それぞれ約17%を占める。

### 2-4) 敲石 (第76図8~10、第37表)

総数14点が出土している。層位別では、第15層から3点、第13層から4点 (同8・9)、第12層から2点 (同10)、第11層から5点が出土している。

石材は、磨石・凹石に使用されている石材に加えて、輝緑凝灰岩やハンレイ岩といった比重の重い石材が使用される傾向がある。

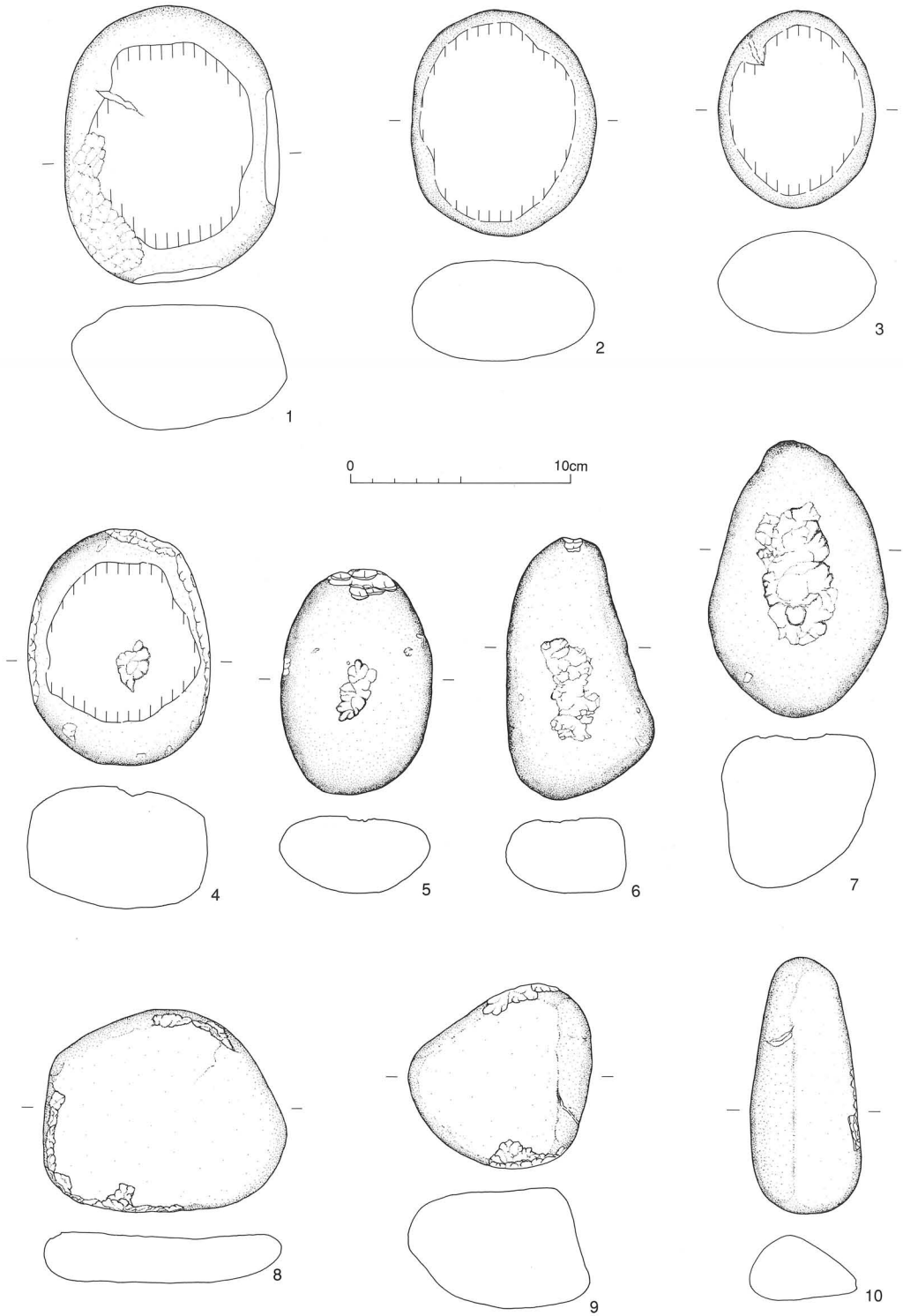
### 2-5) 台石 (第77図、第38表)

総数22点が出土している。層位別では、第15層から1点 (同1)、第13層から13点 (同2~5)、第12層から4点、第11層から4点 (同6・7) が出土している。

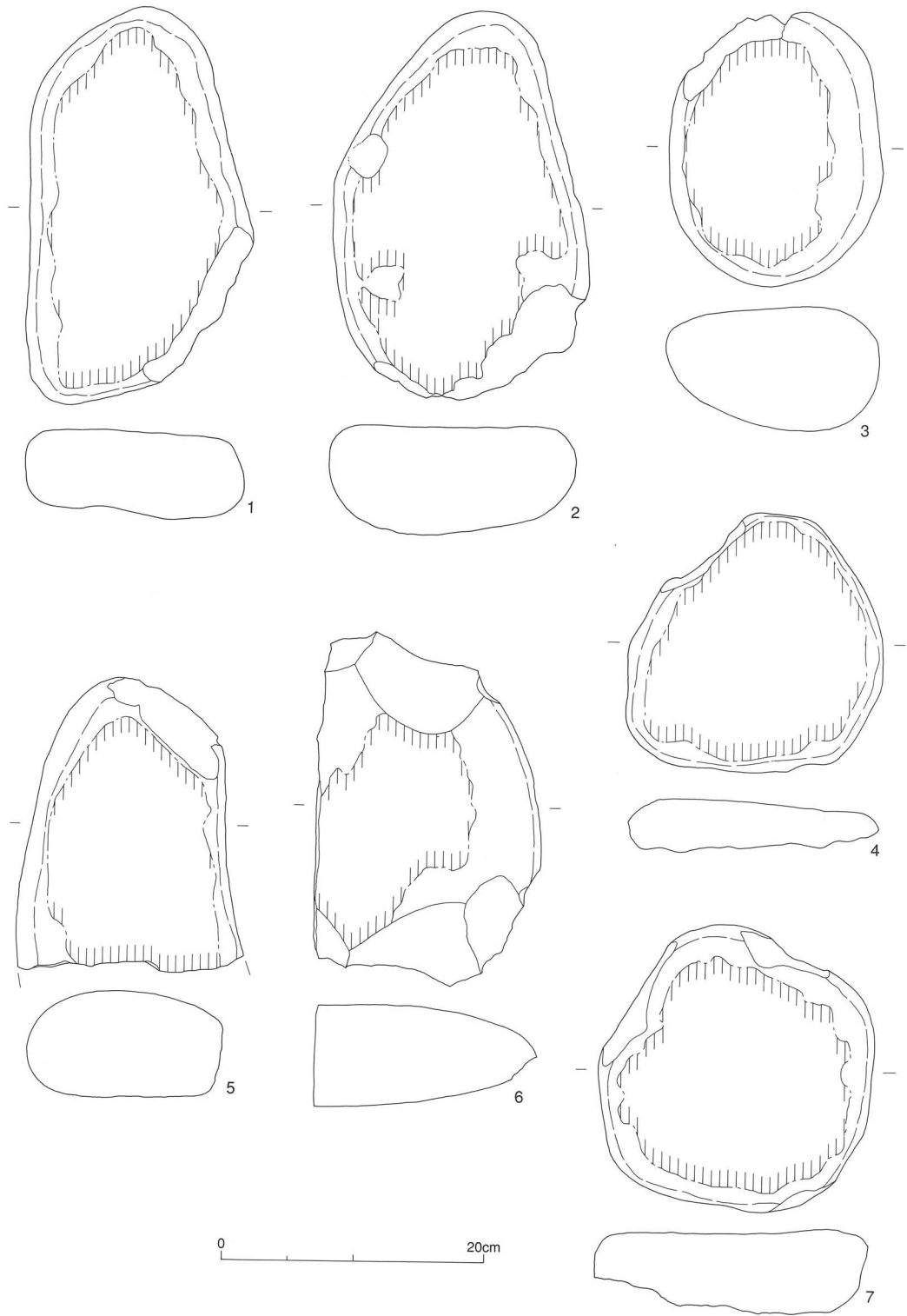
### 2-6) 石鏃 (第78図1~15、第39表)

総数16点が出土している。層位別では、第15層から3点 (同1~3)、第14層から1点 (同4)、第13層から4点 (同5~7)、第12層から3点 (同8・10・15)、第11層から5点 (同9・11~14) が出土している。

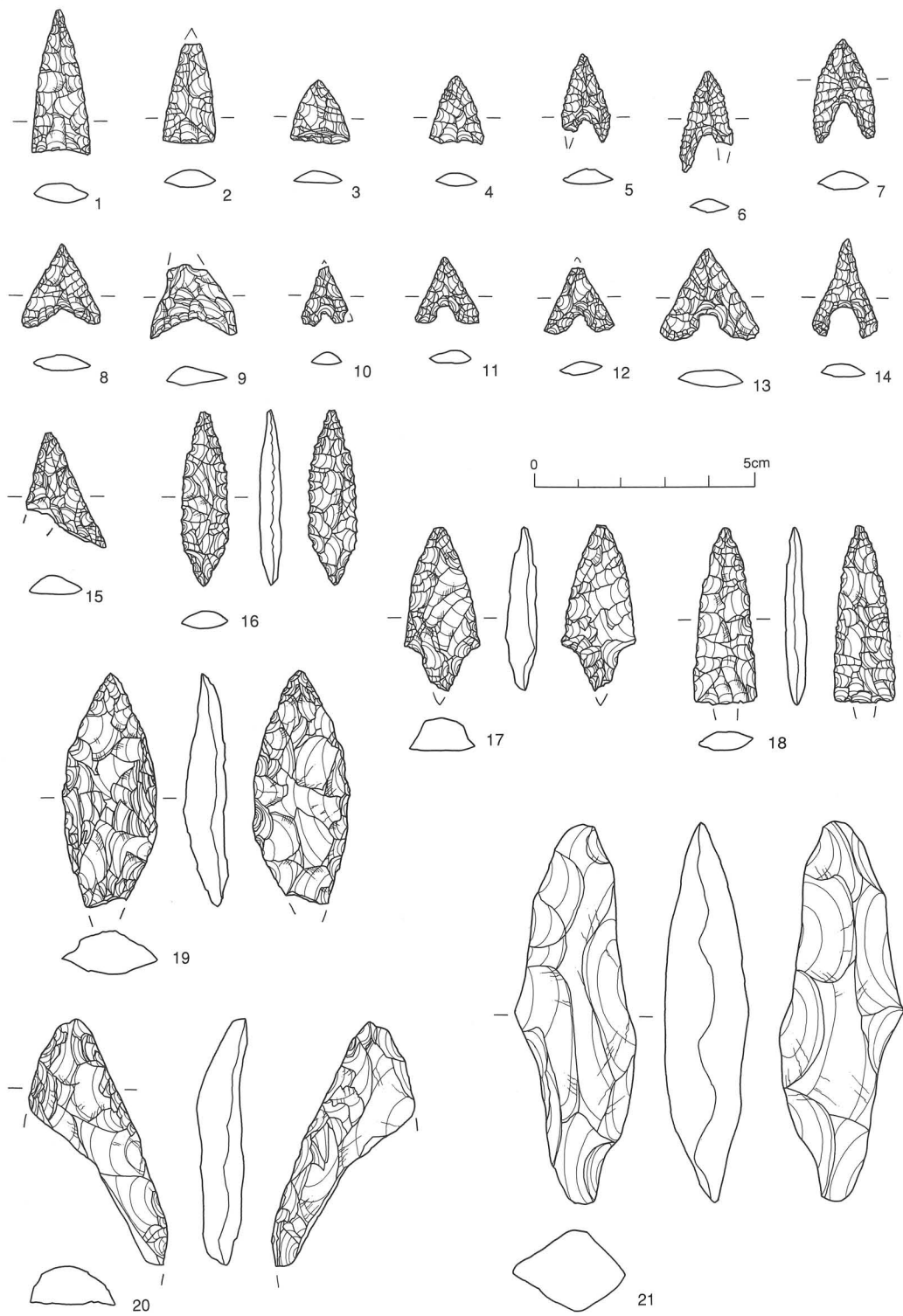
形態別にみると、凹基無茎鏃が13点 (同5~15) と最も多く、平基無茎鏃が4点 (同1~4) みられる。凹基無茎鏃には、長脚鏃 (同6・7) や鏃形鏃 (同10~14) が含まれ、前者は第13層、後者は第11層に特徴的である。平基無茎鏃は、いずれも第15層および第14層から出土している。



第76図 磨石(1~3)・凹石(4~7)・敲石(8~10) 実測図



第77图 台石实测图



第78図 石鏃(1~15)・有舌尖頭器(16~18)・尖頭器(19~21) 実測図

2-7) 有舌尖頭器 (第78図16~18、第40表)

第15層より2点が出土したほか、第11層から1点が出土している。同16は、下呂石製のもので、側面に鋸歯状の加工がある。同17は、チャート製のもので、斜行並列剥離が顕著である。同18は、舌部が欠損したものに調整を加え、整形した痕跡がある。

2-8) 尖頭器 (第78図19~21、第41表)

第15層から6点が出土している。

形態は、いわゆる木葉形尖頭器 (同19・20) と荒い調整によって尖頭状に加工したもの (同21) がある。

2-9) 先刃搔器 (第79図1・2、第42表)

第15層から3点が出土している。同2は、硬質頁岩製の石刃素材の先刃搔器であるが、かなりローリングを受けている。石材と形態から、第16層の石器群に含まれる可能性が高い。

2-10) スクレイパーⅠ類 (第79図3~8、第43表)

スクレイパー類のうち、押圧剥離等によって入念な刃部調整の行なわれた狭義のスクレイパーをⅠ類とした。総数24点が出土している。層位別では、第15層から10点 (同3~6)、第13層から7点 (同7・8)、第12層から1点、第11層から5点、第10層から1点が出土している。

第15層出土の硬質頁岩製のもの (同6) は、石刃素材によるもので、第16層の石器群に含まれる可能性が高い。

2-11) スクレイパーⅡ類 (第44表)

直接打撃によって形成された荒い刃部をもつスクレイパーをⅡ類とした。総数18点が出土しているが、厚手剥片を素材とした石核や二次加工剥片の可能性のあるものを含んでいる。

層位別では、第15層から14点、第13層から1点、第12層から3点が出土している。

2-12) スクレイパーⅢ類 (第80図1~5、第45表)

使用痕または微細な細部調整の刃部をもつスクレイパーをⅢ類とした。総数33点が出土している。

層位別では、第15層から15点 (同1~3)、第13層から4点 (同4)、第12層から7点 (同5)、第11層から5点、第10層から1点、第9層から1点が出土している。

2-13) 鋸状削器 (第80図6、第46表)

第15層より2点が出土している。石鋸に近い形状を呈するが、石鋸としての機能を果たさないものを鋸状削器とした。

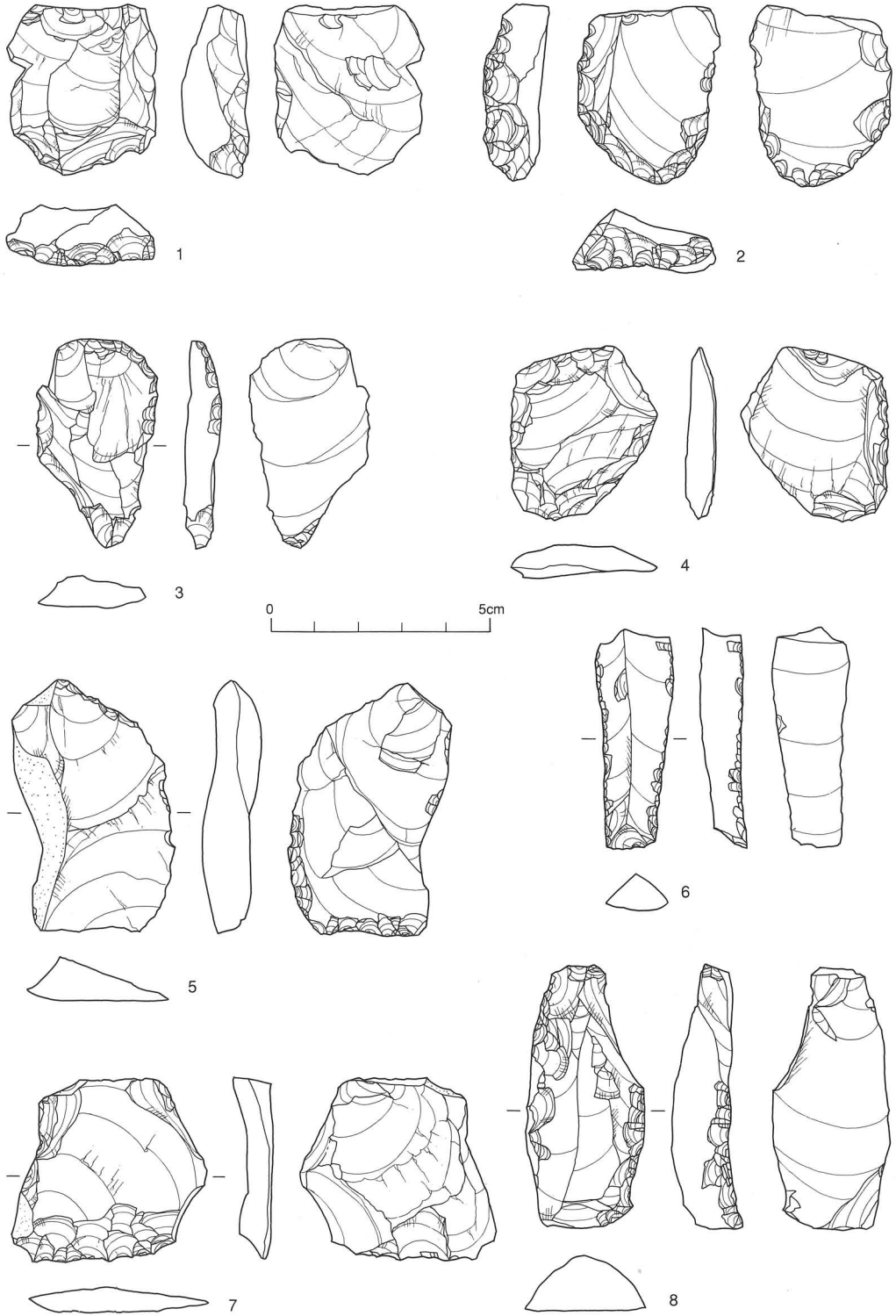
2-14) 石錐 (第80図9、第47表)

第11層より1点が出土している。剥片端部に錐部を作り出している。

2-15) 磨製石斧 (第81図、第48表)

総数13点が出土している。層位別では、第13層から4点 (同1・2)、第12層から4点 (同3~6)、第11層から5点 (同7~9) が出土している。

搬入石材である蛇紋岩・緑色凝灰岩と比較して、宮川の転石を利用したものが多く、在地供給

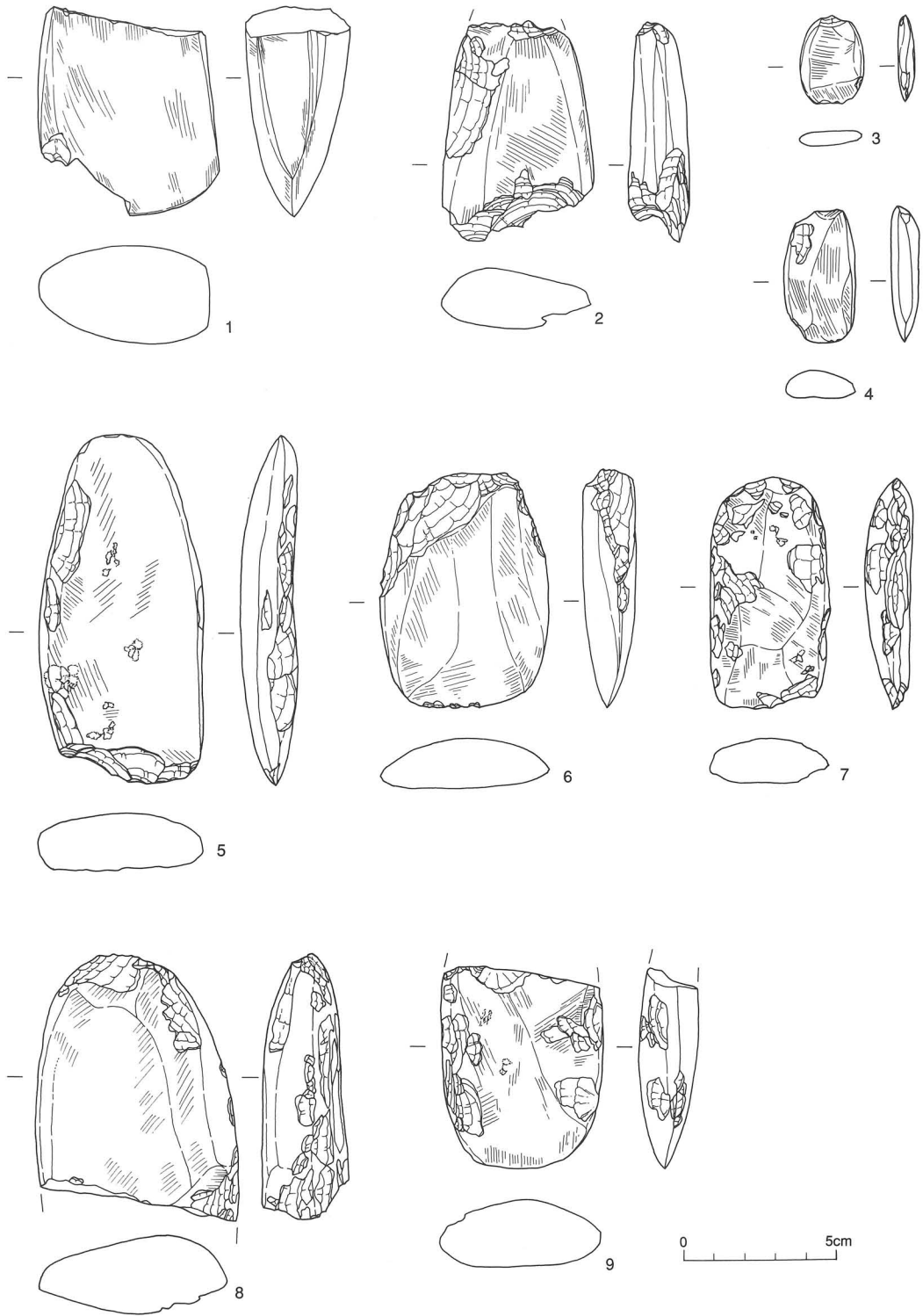


第79図 先刃搔器(1・2)・スクレイパーI類(3~8)実測図





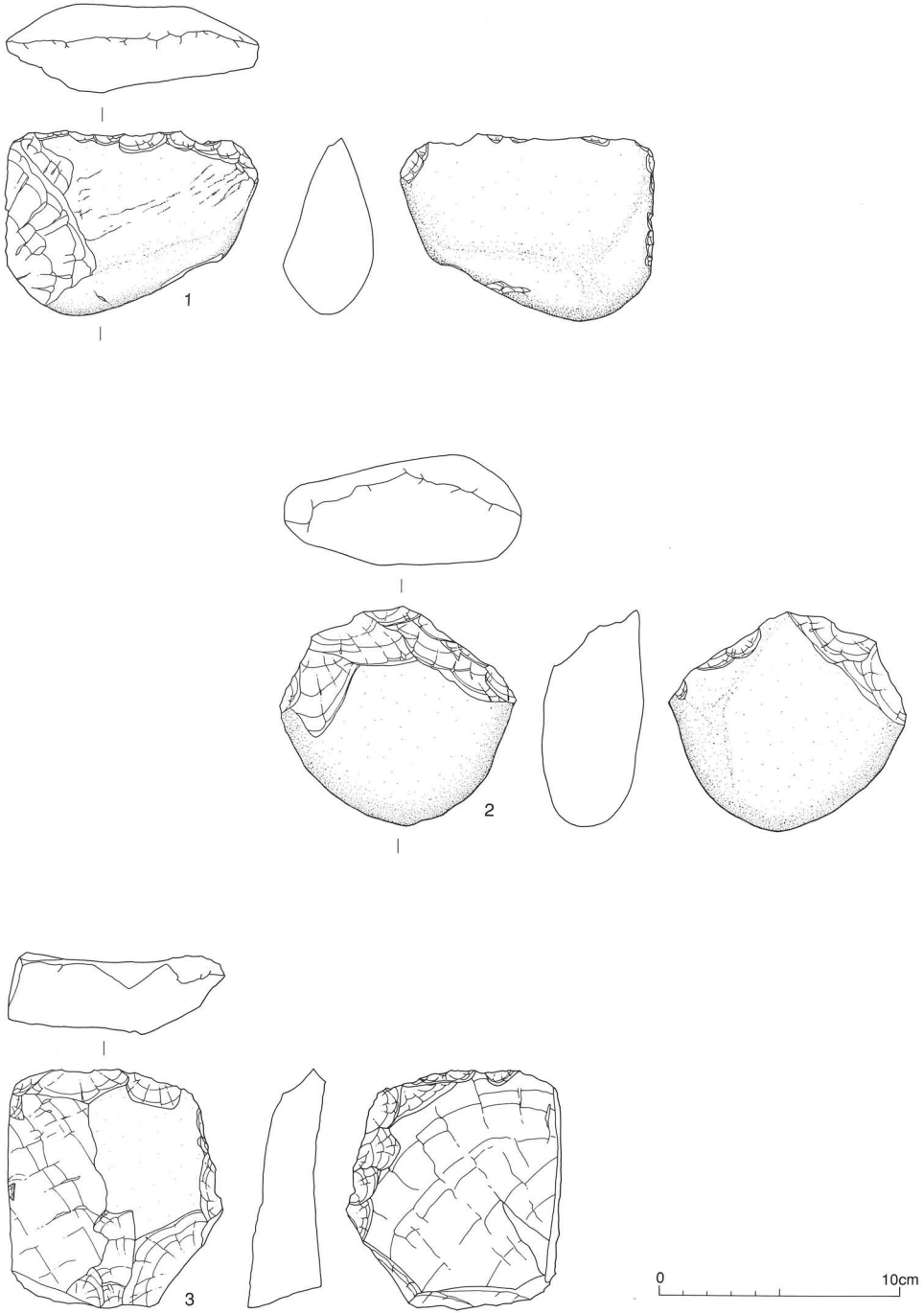
第80図 スクレイパーⅢ類(1~5)・鎌状削器(6)・石錐(9)  
 ・楔形石器(7・8)・異形部分磨製石器(10) 実測図



第81图 磨製石斧実測図



第82図 砥石(3～6)・擦切石器(7～10)・礫石錘(12・13)・打製石斧(1・2)実測図



第83図 礫器実測図

が可能な石材が、全体の約6割を占める。

形態別では、第13層の緑色凝灰岩製のもの（同1）がほぼ定角になるもので、側面には擦切による調整痕が残っている。その他のものは、研磨の前の剥離が観察でき、断面形がほぼレンズ状を呈する。

#### 2-16) 砥石（第82図3～6、第49表）

総数6点が出土している。層位別では、第13層から5点（同3・4・6）、第12層から1点（同5）が出土している。使用石材は、砂岩が5点、飛騨片麻岩1点である。

剥片を素材とし、粗い剥離面を使用面としている。

#### 2-17) 擦切石器（第82図7～11、第50表）

総数8点が出土している。層位別では、第13層から2点（同9・11）、第12層から2点（同7・10）、第11層から4点（同8）が出土している。

形態別にみると、剥片の端部に磨耗痕のみられる横刃形石器に近いもの（同7・8）と半割礫を利用したもの（同9～11）がみられる。

#### 2-18) 礫石錘（第82図12・13、第51表）

第11層（同12）から1点、第9層（同13）から1点が出土している。

なお、礫石錘の計測部位は、以下の通りである。a・b：上下の打ち欠き幅、L1：最大長さ、L2：糸まき部上下間の最短距離、w：最大幅、s：厚さ。

#### 2-19) 礫器（第83図、第52表）

総数22点が出土している。層位別では、第15層から2点、第13層から8点、第12層から1点、第11層から9点（同1・2）、第10層から1点、第9層から1点（同3）が出土している。

#### 2-20) 楔形石器（第80図7・8、第53表）

総数11点が出土している。層位別では、第15層から6点（同7）、第12層から2点（同8）、第11層から3点が出土している。

#### 2-21) 異形部分磨製石器（第80図10、第54表）

表土層より1点が出土している。早期の所産であるとみてほぼ間違いないことから、縄文時代下層の石器として扱った。乳白色に暗灰色の斑が入る良質のチャートを使用している。

#### 2-22) 下層縄文のまとめ

各層の時期は、伴出している土器から、第15層が草創期前半、第13層が草創期後半、第12層～第10層が早期前半、第9層が早期末と推定される。

草創期前半の石器には、有舌尖頭器が含まれる。草創期後半になると石器組成に磨製石斧が加わり、早期前半では、大きさに種類がみられるようになる。

また、早期後半では、礫器が特徴的である。

### 3. 前田地点上層と他の3地点出土の石器

前項までに扱った、前田地点下層として分離された石器群を除く前田地点出土の石器と、宮ノ前・うづか・センターの各地点出土の石器を合わせて、ここで扱う。

第1節で記したが、今回の発掘調査で出土した縄文土器は、草創期から晩期までの長期間にわたるものである。このうち草創期と、早期の土器の大部分は、前田地点の下層包含層として分離された。よってここで扱う石器は、一部に下層からの混入があるにしても、主に前期から晩期にかけてのものとなる。なお縄文土器の主体は、中期後葉から後期前葉にかけての土器群が占めることから、石器にもこの傾向が反映されている可能性が高い。

今回の発掘調査で出土した石器の総点数は、6,229点である。この中で前田地点の石器が80%以上を占めることから、ここでの記述は前田地点を中心に進めていくこととする。

#### 3-1) 打製石斧 (第84図、第85図1~14、第55~58表)

総数1,469点のうち、前田地点からは984点が出土している。この984点のうち形態のわかるものでは、短冊形のうち最大幅に対して長さが2倍以上である短冊形a類(第84図)が205点、同様に長さが2倍未満である短冊形b類(第85図1~4)が146点、撥形のうち最大幅に対して長さが2倍以上である撥形a類(同5~10)が83点、同様に長さが2倍未満である撥形b類(同11~14)が51点である。なお撥形は、刃部幅が基部幅の1.5倍以上あるものを、また短冊形は1.5倍未満のものを指す。

前田地点出土の984点のうち、欠損品は499点で、欠損率は約51%である。完形品457点をみると、長さは9~12cmのものが半数以上を占め、重さは60~160gのものが約半数を占める。

前田地点の石質は、頁岩が約58%と圧倒的に多く、安山岩約16%・凝灰岩約11%と続き、在地系の石材が主体を占めている。

#### 3-2) 環状石斧 (第85図15、第59表)

前田地点から、1点出土している。安山岩製で、1/2が欠損している。

#### 3-3) 横刃形石器 (第86図、第60~63表)

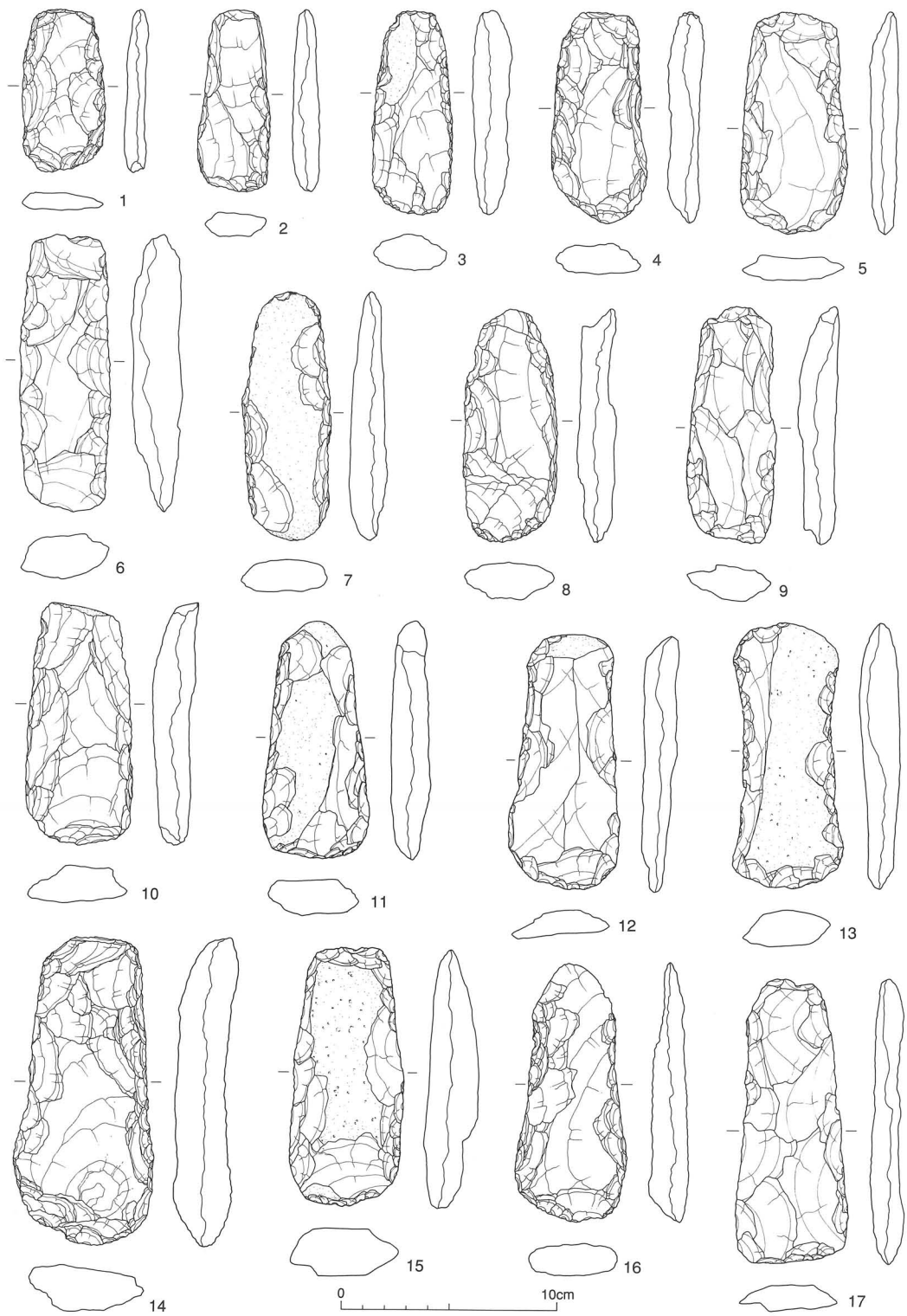
総数373点のうち、前田地点から214点が出土している。

前田地点で出土した214点のうち、欠損品は86点で、欠損率は約40%である。完形品128点の法量の平均値は、長さ6.8cm、幅9.8cm、重さ151gである。石質の内訳は、頁岩約41%・砂岩約18%・安山岩約17%・凝灰岩と凝灰質流紋岩がそれぞれ約9%を占めている。

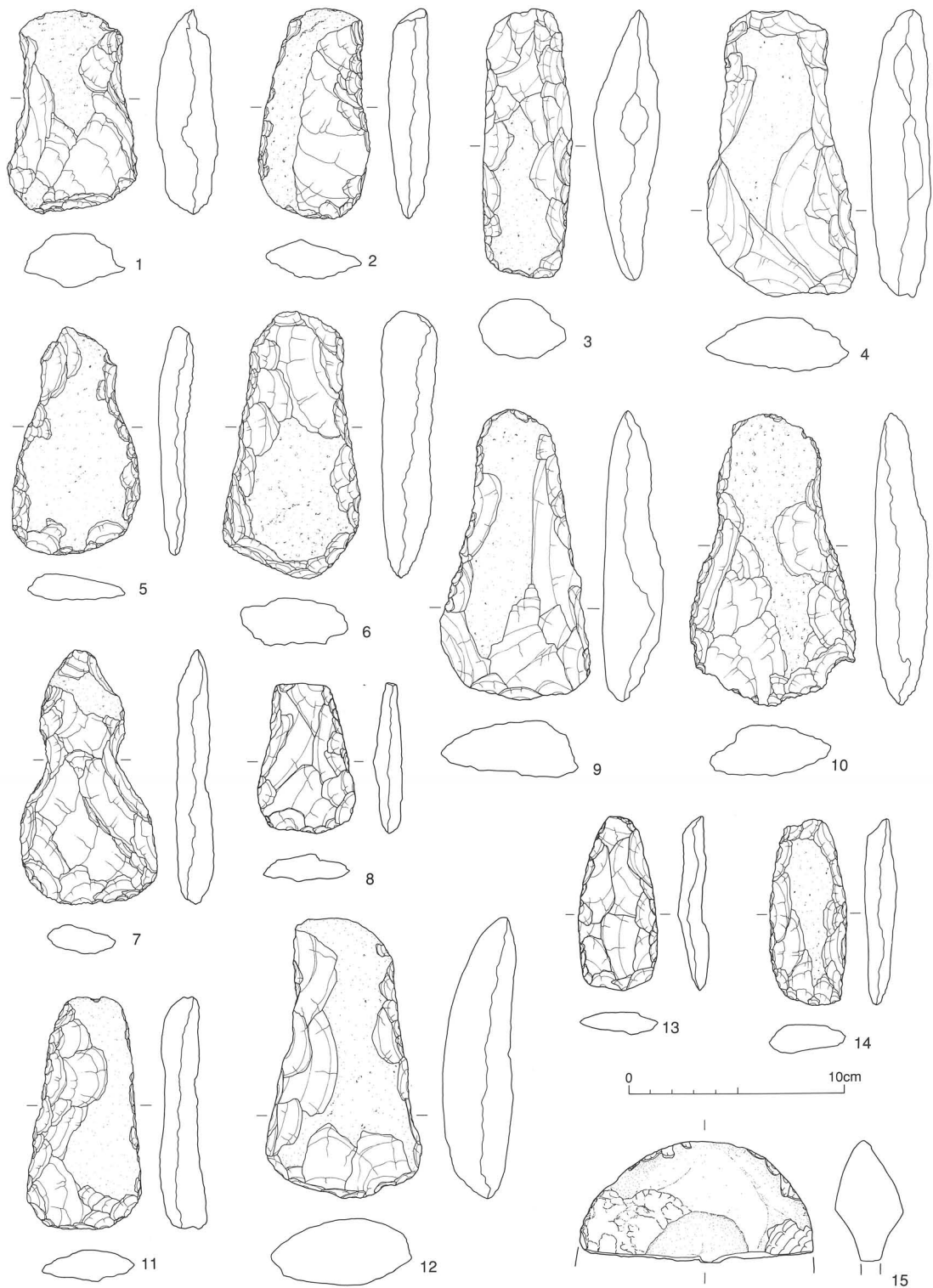
#### 3-4) 磨石 (第87図、第64~67表)

総数660点が出土している。地点別の石器組成中の磨石の割合は、宮ノ前地点を除き、10%近い。前田地点からは574点が出土している。完形品の法量は、長さ9~13cmのものが約54%で、長さの平均値は10.8cmである。重さは500g前後のものが多く、片手で扱える程度の大きさの礫が用いられている。

前田地点の石質の内訳は、安山岩約33%・砂岩約29%・多孔質安山岩約16%・濃飛流紋岩約13%で、在地系の石材が用いられている。

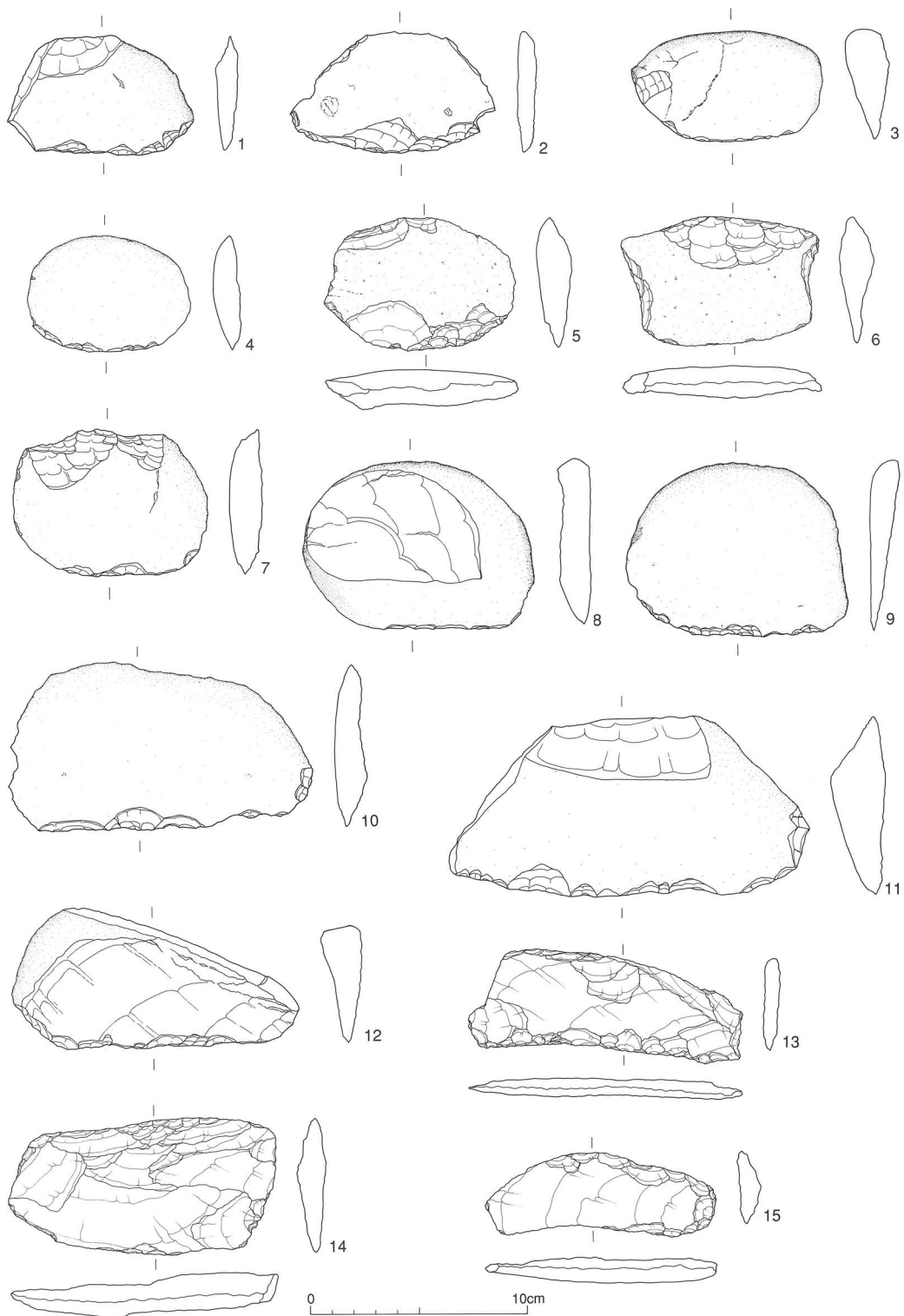


第84図 打製石斧実測図

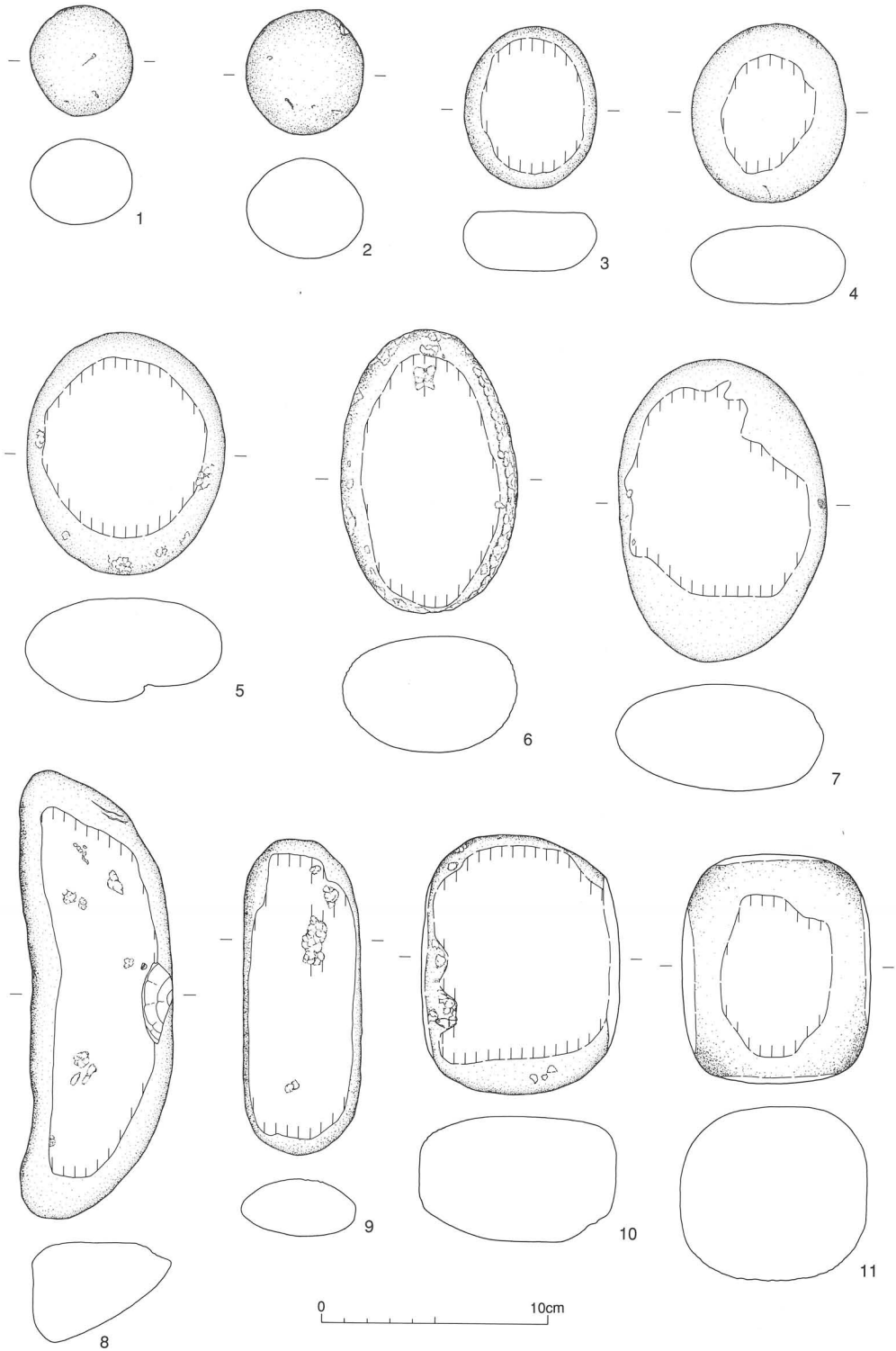


第85図 打製石斧(1~14)・環状石斧(15) 実測図





第86图 横刃形石器实测图



第87图 磨石实测图

### 3-5) 凹石 (第88図5~14、第68~71表)

各地点合わせて、686点が出土している。凹石が石器組成中で占める割合は、宮ノ前・うづか地点で3%程度、前田・センター地点では10%を超える。

前田地点からは、575点が出土している。完形品の法量は、長さ8~14cmのものが70%以上を占め、長さの平均値は約11cmである。重さは300~500g程度のもが多いが、1500gを超えるものもあることから、平均値は約500gである。

前田地点の石質の内訳は、多孔質安山岩約31%・砂岩約26%・安山岩約17%・濃飛流紋岩約11%・飛騨片麻岩約4%で、やはり在地系の石材が用いられている。

### 3-6) 敲石 (第89図、第72~75表)

総数440点が出土している。地点ごとの敲石が占める割合は、2~7%程度である。敲石には、礫器状の加工がある場合(同1~7)、半割した礫の端部をそのまま利用する場合(同9・13)のほか、長円礫の端部をそのまま利用する場合(同8・11・12)もある。

前田地点から出土した380点の石質内訳は、砂岩40%・安山岩約21%・頁岩約11%・濃飛流紋岩約11%と続く。在地の石材が主体を占めるが、磨石・凹石と比較して、多孔質安山岩の割合が減少する一方で、輝緑凝灰岩などの硬質な石材が増加する傾向にある。

### 3-7) 皿状凹石 (第88図1~4、第76表)

皿状の凹みをもつ石器で、前田地点から出土している。石質には、安山岩と多孔質安山岩のものがある。

### 3-8) 有縁石皿 (第90図、第77~80表)

全部で18点出土している。同1・4は、長さが50cmを超える大型品である。石質は、加工の容易な多孔質安山岩が多く使われ、安山岩・砂岩・濃飛流紋岩も使われている。

### 3-9) 台石 (第91図、第81~84表)

作業台として使われたとみられる石器で、表面が摩耗している例が多いが、敲打痕を留めている例(同5・6)もある。前者には石皿同様に使用されたものが含まれていると考えられる。

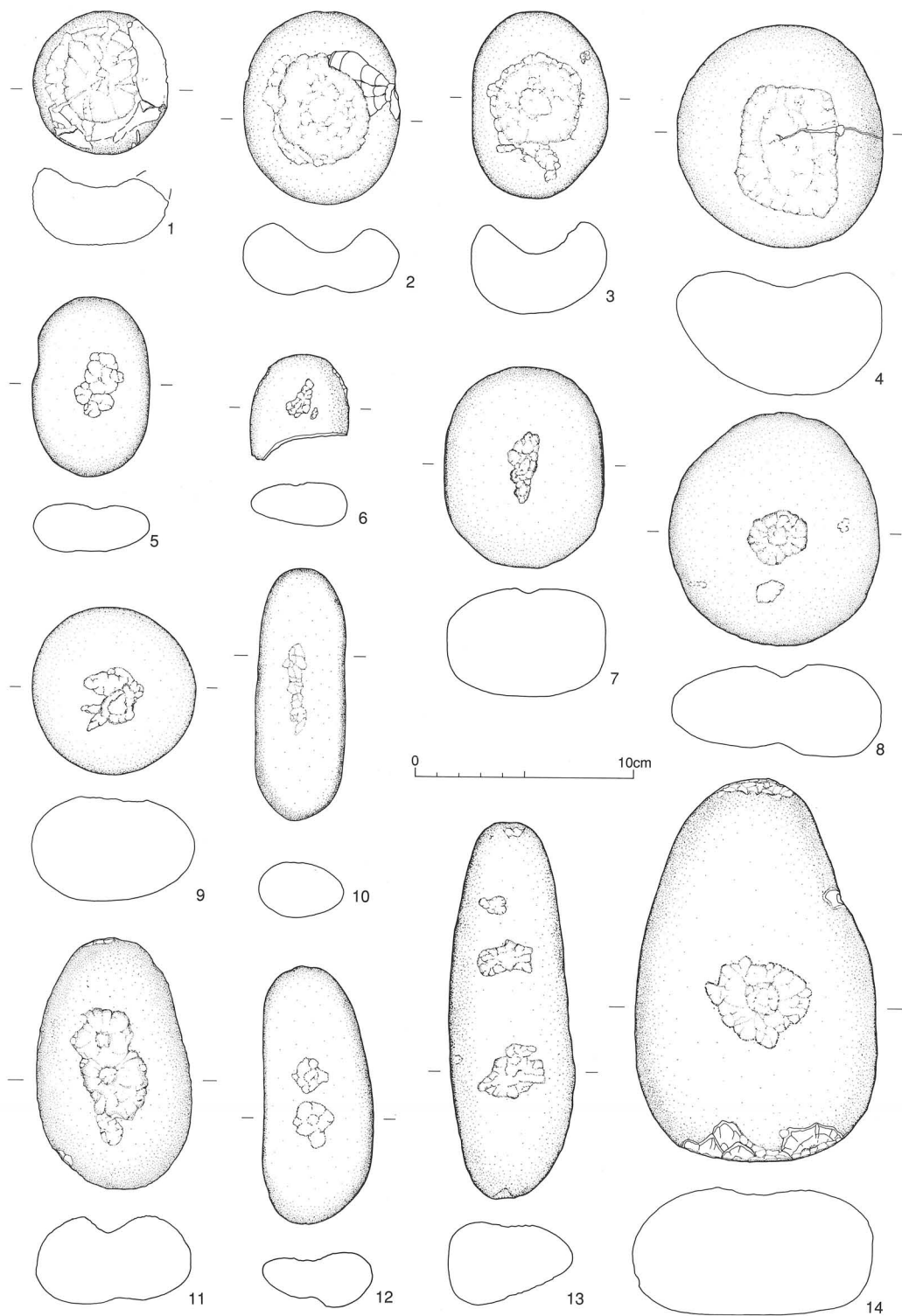
総数196点が出土している。このうち前田地点からは186点が出土している。前田地点から出土した台石の石材割合は、砂岩約26%・濃飛流紋岩約25%・安山岩約17%・飛騨片麻岩約10%で、多孔質安山岩や石英斑岩が続く。

### 3-10) 石鏃 (第92図1~46、第85~88表)

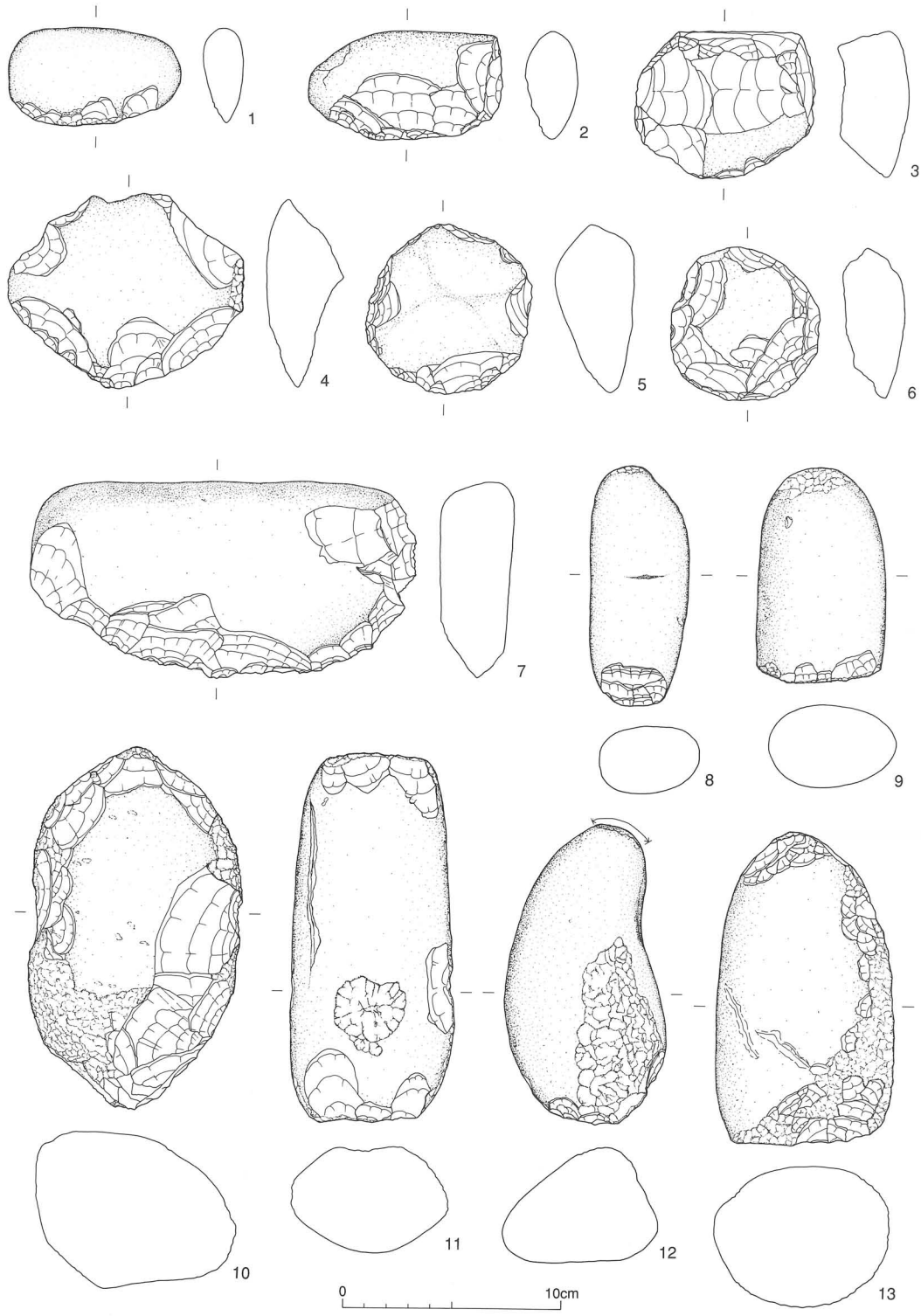
石鏃は、基部にえぐりをもつⅠ類(同1~28)、直線的な基部をもつⅡ類(同29~33)、茎とかえしをもつⅢ類(同34~42)、身が柳葉形のⅣ類(同43~46)の、4つに区分する。

形態別の割合は、前期後葉の土器群を主体とするうづか地点と、中期後葉から後期の土器群を主体とする前田地点では、大きく異なる。うづか地点では、Ⅰ類約84%・Ⅱ類約12%・Ⅳ類約2%で、Ⅲ類の出土例はない。一方前田地点では、Ⅰ類約61%・Ⅱ類約14%・Ⅲ類約20%・Ⅳ類約1%で、Ⅲ類の占める割合が高い。出土遺物の時期差を反映しているものとみられる。

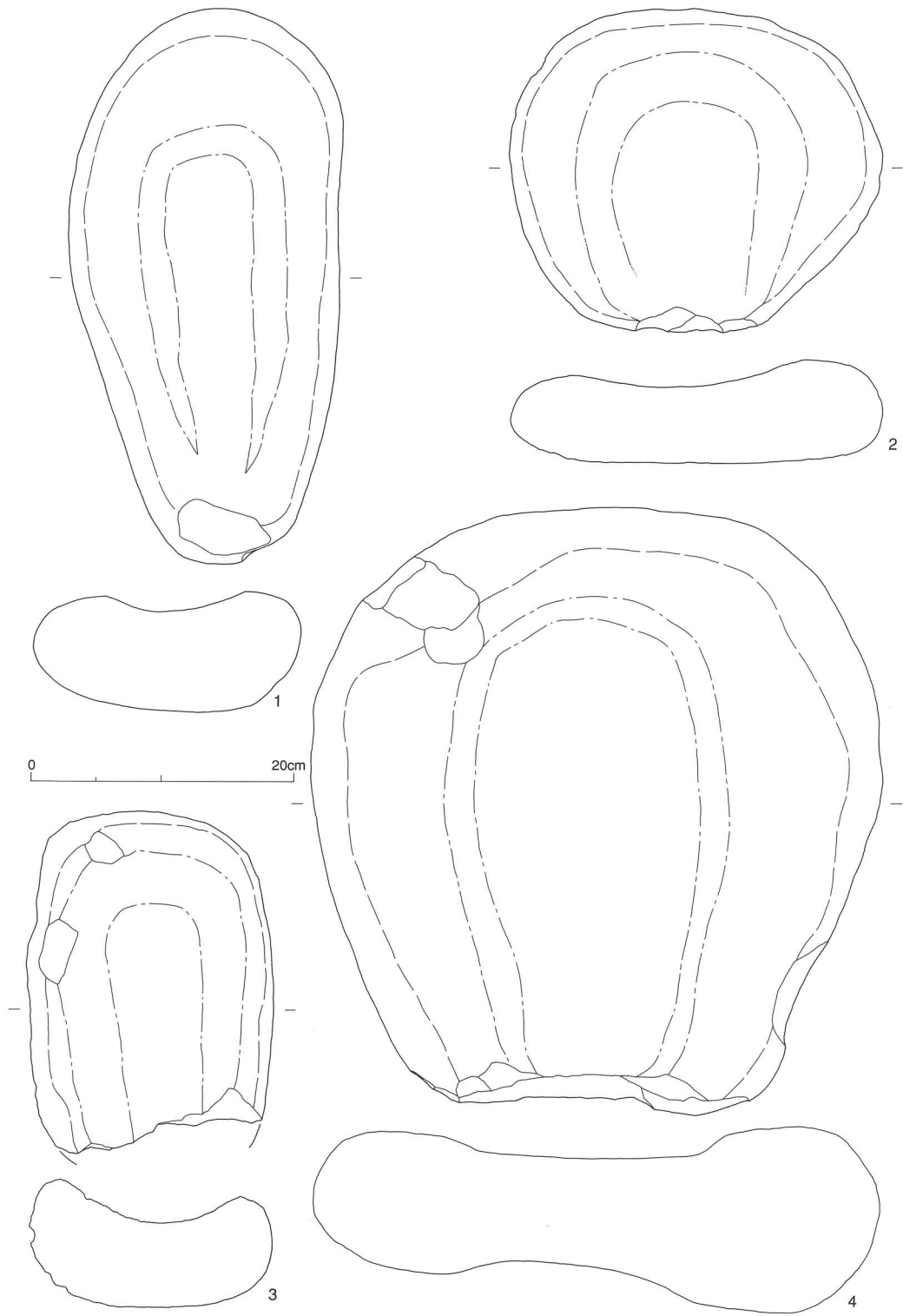
石鏃の総数は380点で、前田地点からは235点が出土している。前田地点の235点中、177点は何



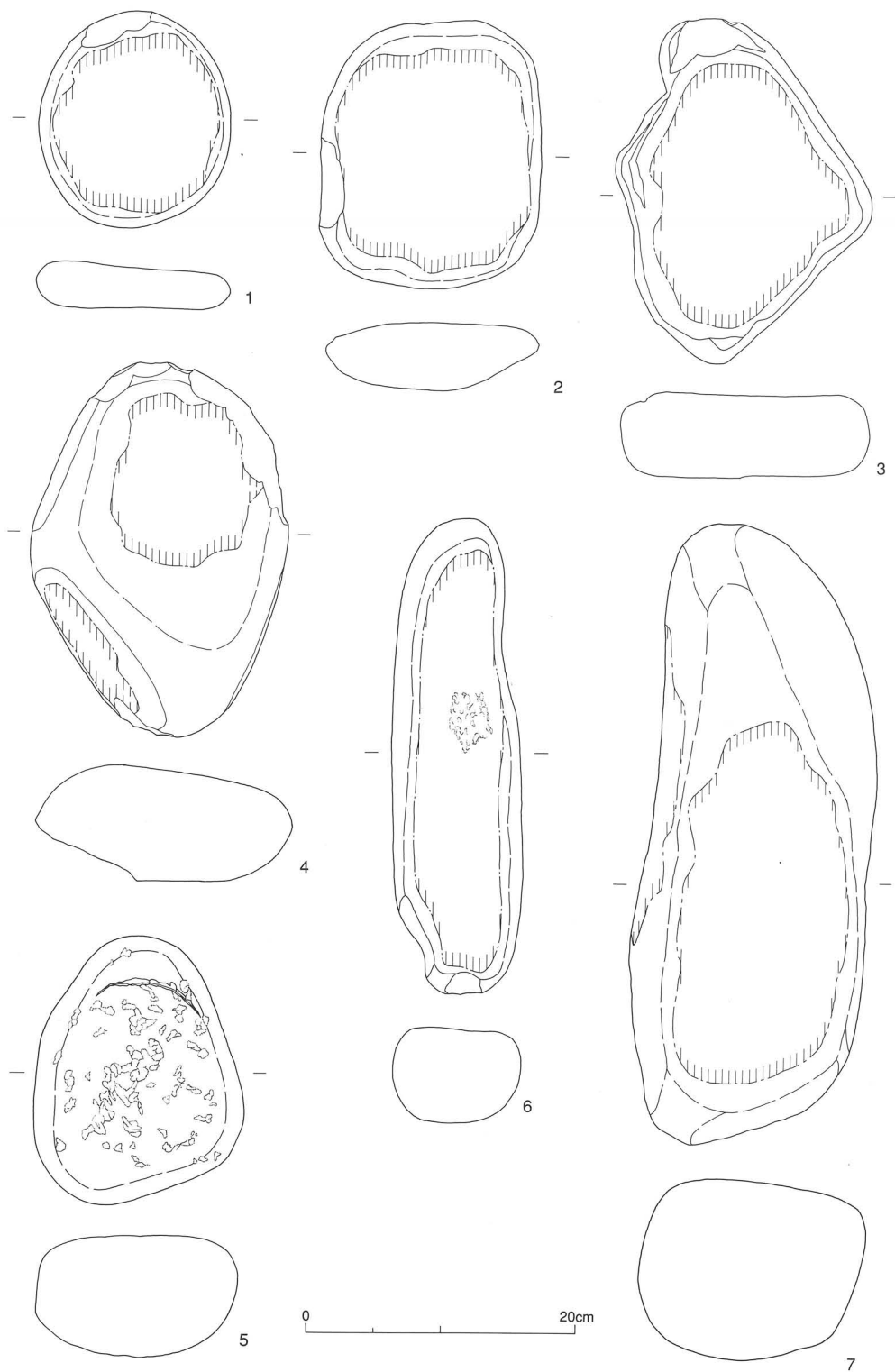
第88图 凹石(5~14)·皿状凹石(1~4)实测图



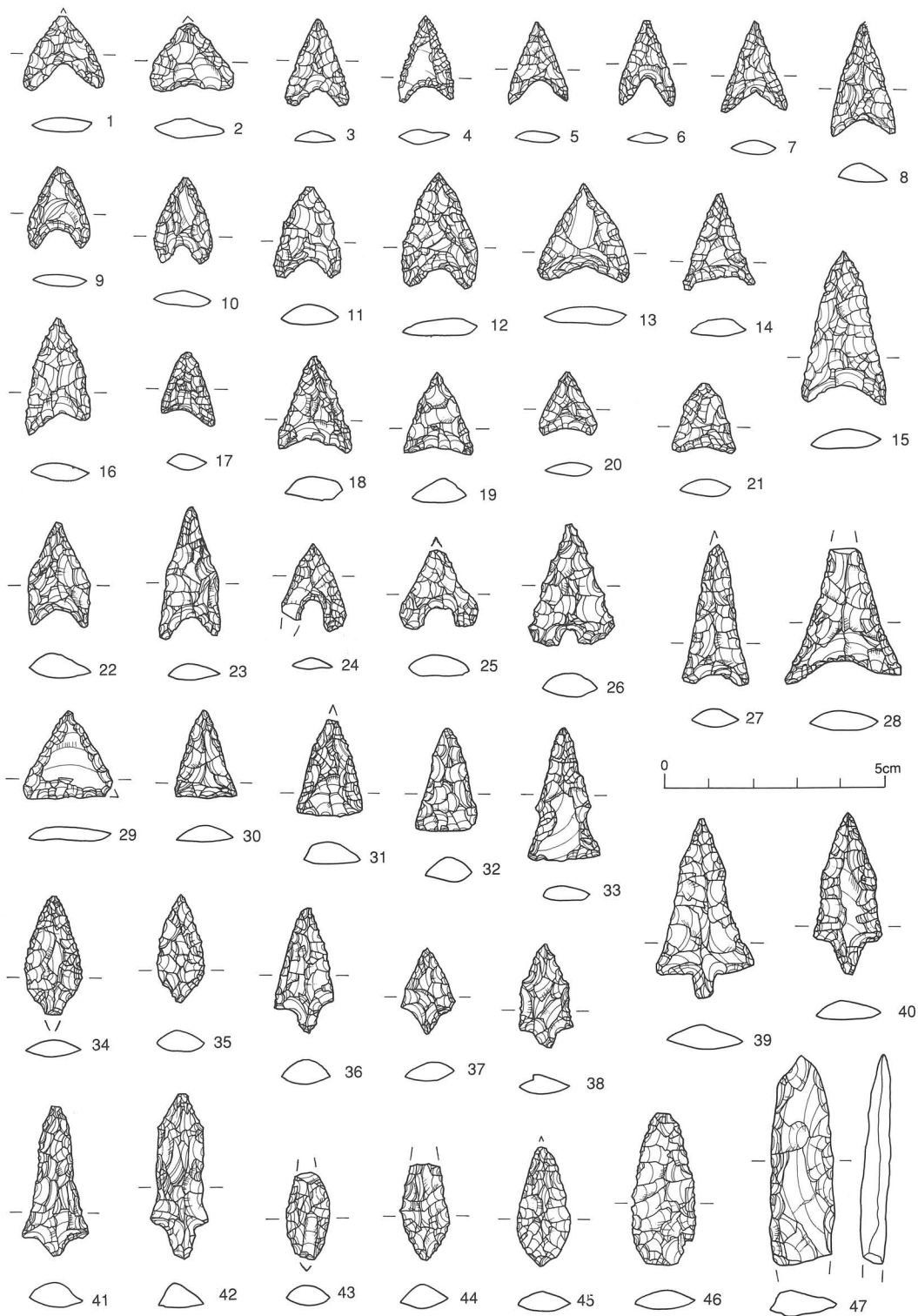
第89图 敲石实测图



第90図 有縁石皿実測図



第91图 台石实测图



第92図 石鏃(1~46)・石槍(47) 実測図



らかの欠損品で、欠損率は75%である。石質では、下呂石約62%・チャート約25%・黒曜石約6%で、この3種で全体の約93%を占める。一方うづか地点では、チャート約53%・下呂石約38%・黒曜石約6%で、石質の割合も両地点で大きく異なる。

### 3-11) 石槍 (第92図47、第89・90表)

宮ノ前地点と前田地点から、各1点が出土している。

### 3-12) 石匙 (第93図1~12、第91~94表)

各地点から、総数16点が出土している。

素材には、縦長剥片と横長剥片がほぼ同数使われている。つまみ部が短軸に付く横型(同1~8)と、長軸方向に付く縦型(同9~12)があるが、横型が多数を占める。

全体の石質は、チャートと下呂石が6点ずつ出土し、ほかに硬質頁岩・黒曜石・流紋岩・輝石安山岩が各1点出土している。

### 3-13) 篋状石器 (第93図13~15、第95・96表)

篋状石器とみられる石器は、宮ノ前地点と前田地点から、合計5点が出土している。石質は、下呂石が3点のほか、流紋岩・珪質頁岩が各1点である。

### 3-14) スクレイパー I 類 (第94図、第97~100表)

調整による明瞭な刃部をもつ、狭義のスクレイパーを I 類とする。総数は256点で、石器組成は、うづか地点が約12%を占めるほかは、2~7%程度である。

石質は、各地点ともにチャートが多く、約54~86%を占めている。続いて下呂石が20~30%程度含まれ、両者で全体の9割近くを占めている。

### 3-15) スクレイパー II 類 (第95図1~9、第101~104表)

粗い調整のみで、明瞭な刃部をもたないものを II 類とした。全石器中に占める割合は、各地点ともに2~7%程度である。

使用されている石材は、スクレイパー I 類と近い傾向を示し、チャート製のものが各地点とも60~70%近くを占め、これに下呂石を含めると80~90%に達する。

### 3-16) スクレイパー III 類 (第95図10~18、第105~108表)

剥片を加工しないで、縁辺を適宜使用することで刃こぼれを留めるものを、III類とした。全石器中に占める割合は、センター地点で約5%と最も低く、最も高い宮ノ前地点では、約18%に達する。

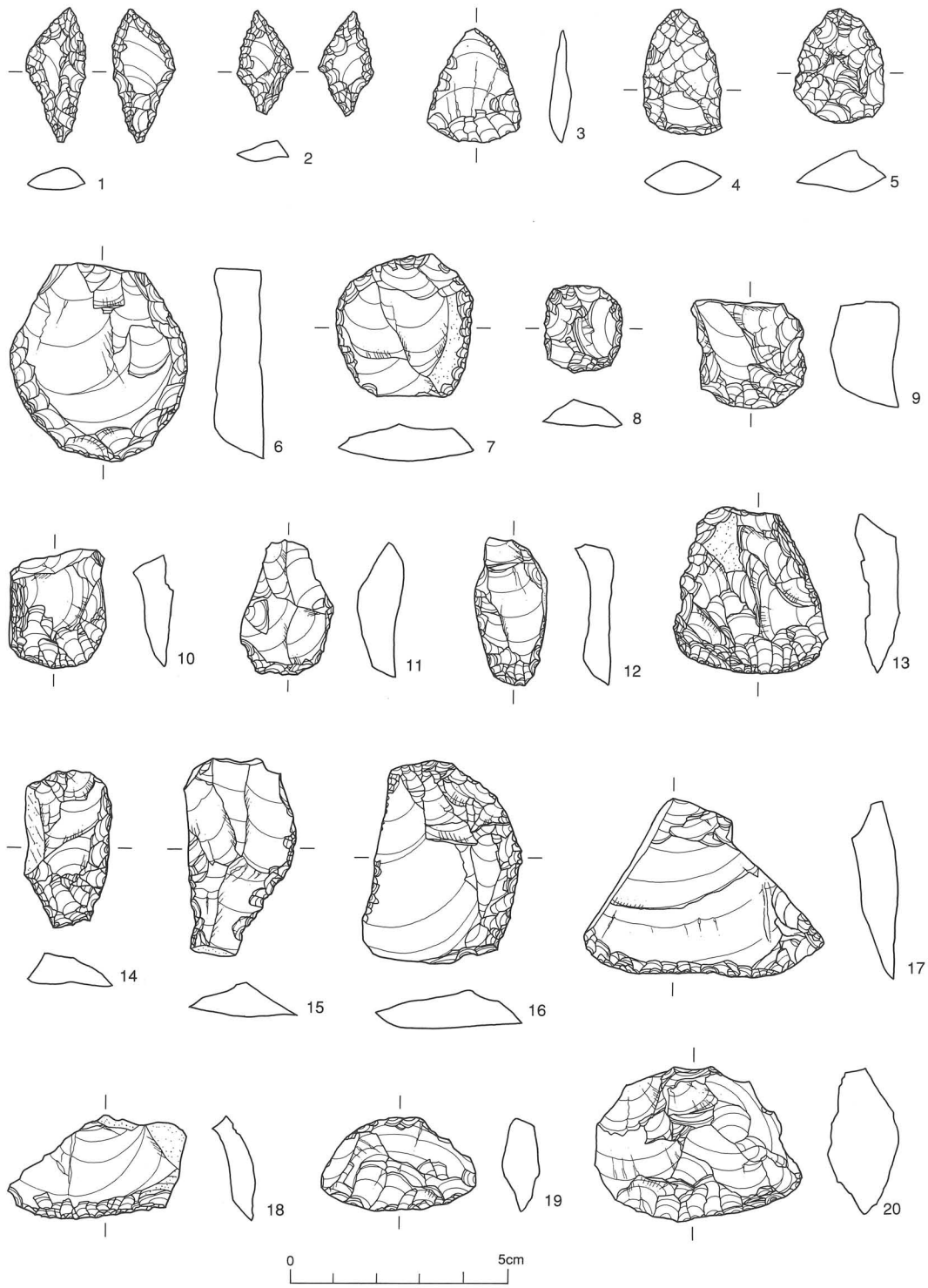
使用されている石材は、スクレイパー I・II類と同様の傾向を示し、各地点ともチャート製のものが60~70%を占め、これに下呂石製を含めると85~90%に達する。

### 3-17) 石錐 (第96図、第109~112表)

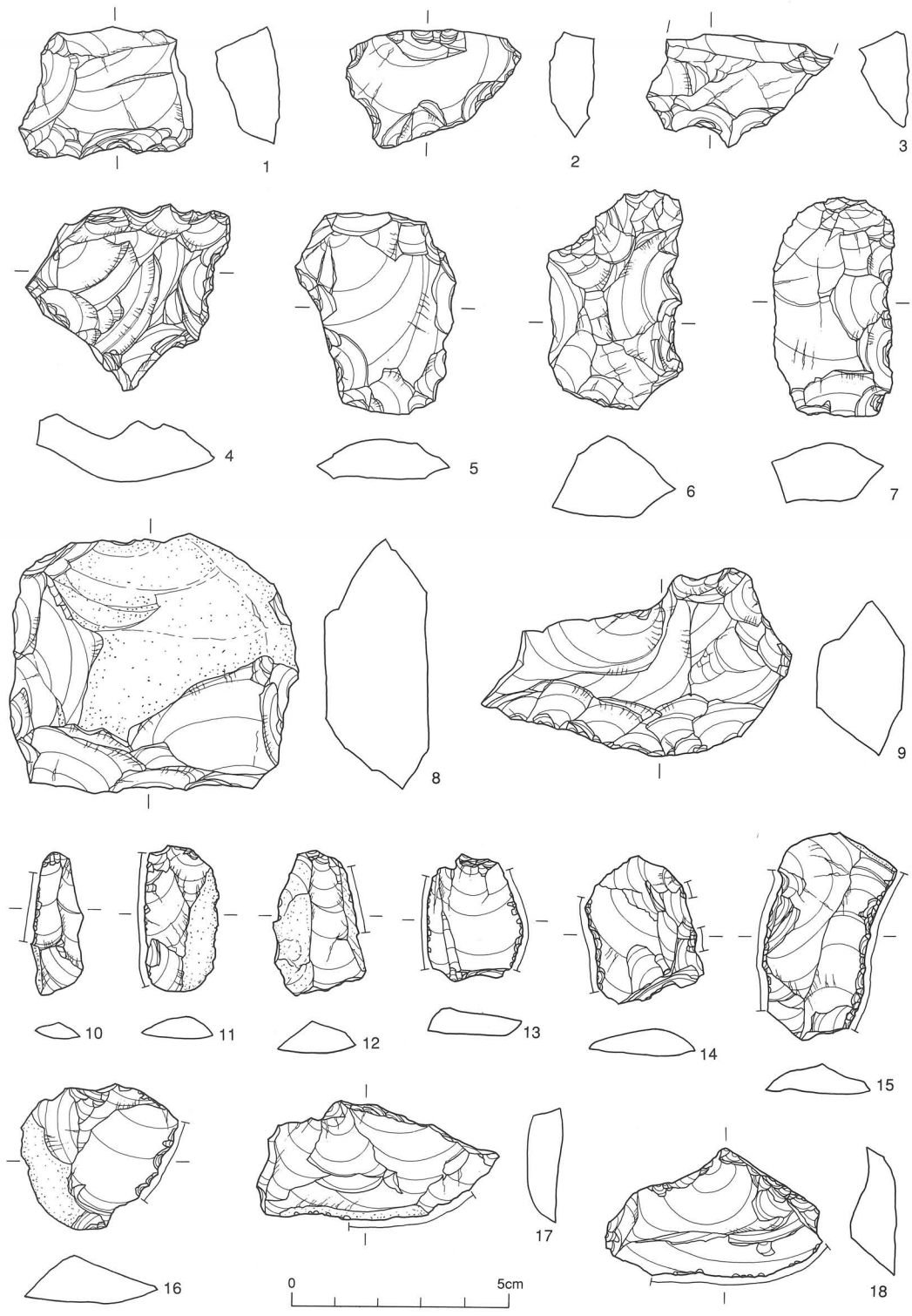
つまみ部と先端部が明瞭に区分できる I 類(同1~13)、つまみ部と先端部の区別が明瞭ではなく、平面形が二等辺三角形を呈する II 類(同14~28)、つまみ部をもたないで、棒状を呈する類(同29~37)の、3つに区分する。石器中に占める割合は、うづか地点で約11%のほか、2~3%程度である。



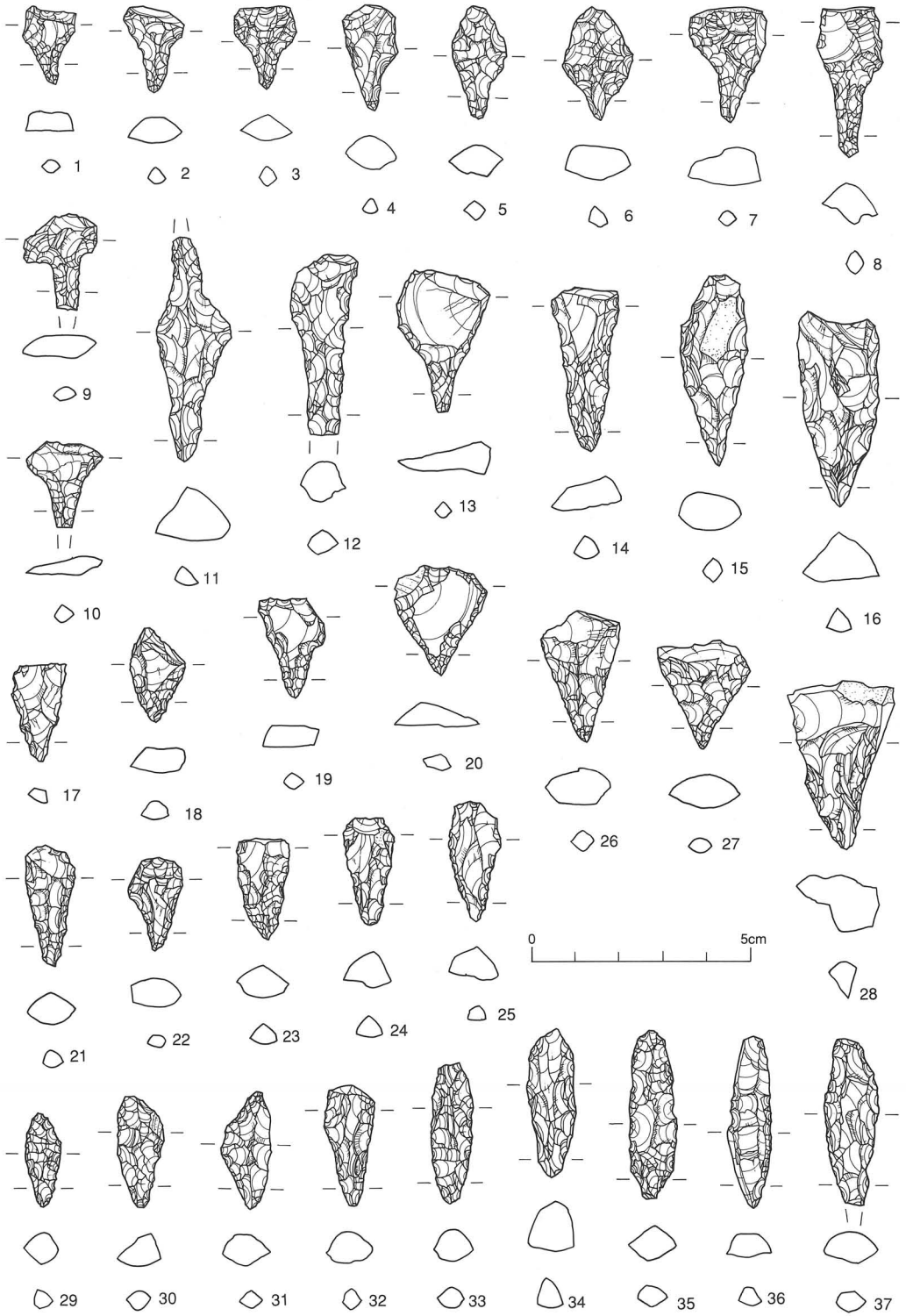
第93图 石匙(1~12)·碗状石器(13~15)实测图



第94図 スクレイパー I類実測図



第95図 スクレイパーⅡ類(1~9)・Ⅲ類(10~18) 実測図



第96图 石錐実測图

形態の分かるものの中で、Ⅰ類は約20%、Ⅱ類は約57%、Ⅲ類は約23%を占める。

使用されている石材は、各地点ともにチャートが多く、全体の55~85%はチャート製である。これに下呂石が続き、両者の合計は9割以上に上る。

### 3-18) 磨製石斧 (第97図、第113~116表)

総数301点が出土している。形態の明らかなものでは、定角式(同1~16)がある。その他には側面に明瞭な平坦面をもたず、素材をあまり変形することなく刃部を作り出しているもの(同17~20)や、未製品とみられるもの(同21)がある。

石質は、蛇紋岩製のものが約74%と圧倒的に多く、石材の産地に近いことを反映している。これに安山岩約15%・硬質頁岩5%と続き、他に凝灰岩・流紋岩なども使われている。

### 3-19) 砥石 (第98図6~17、第117~119表)

うづか地点を除く各地点から、40点出土している。側面は面取りされている場合が多い。両面とも使用され、表面に溝状の痕跡を留めている例(同7・9・10~12・17)も多い。

石質は、9割を砂岩が占め、砂岩が選択的に用いられていることが明らかである。

### 3-20) 据置砥石 (第99図、第120~122表)

うづか地点を除く各地点から、25点が出土している。素材として使われるのは、台石と同様の偏平で長楕円形の河原石であるが、台石と比較して使用頻度が高く、表面が明瞭な面を構成している場合(同1・5・7)や、溝状の凹みがある場合(同2~4・6・8)が多い。

据置砥石の9割近くが砂岩で、石材の選択性が顕著に認められる例である。

### 3-21) 擦切石器 (第98図1~5、第123~125表)

うづか地点を除く各地点から、31点が出土している。素材は、横刃形石器と同様の剥片であるが、使用によって端部や表面が摩耗していることから、区分した。

石質は、砂岩が約52%を占め、頁岩と安山岩がそれぞれ約16%で続く。

### 3-22) 礫石錘 (第100図1~12、第126~129表)

各地点から、総数276点が出土している。小円礫の長軸端部に剥離を加え、糸巻き部を作り出しているが、これに加えて短軸方向にも糸巻き部を作り出している場合(同10~12)がある。

法量は、215点が出土している前田地点の場合、長さの平均値が約7.5cm、重さの平均値が約160gである。しかし実際には大きさに大小があり、長さでは4cmに満たないものから13cmに近いものまである。

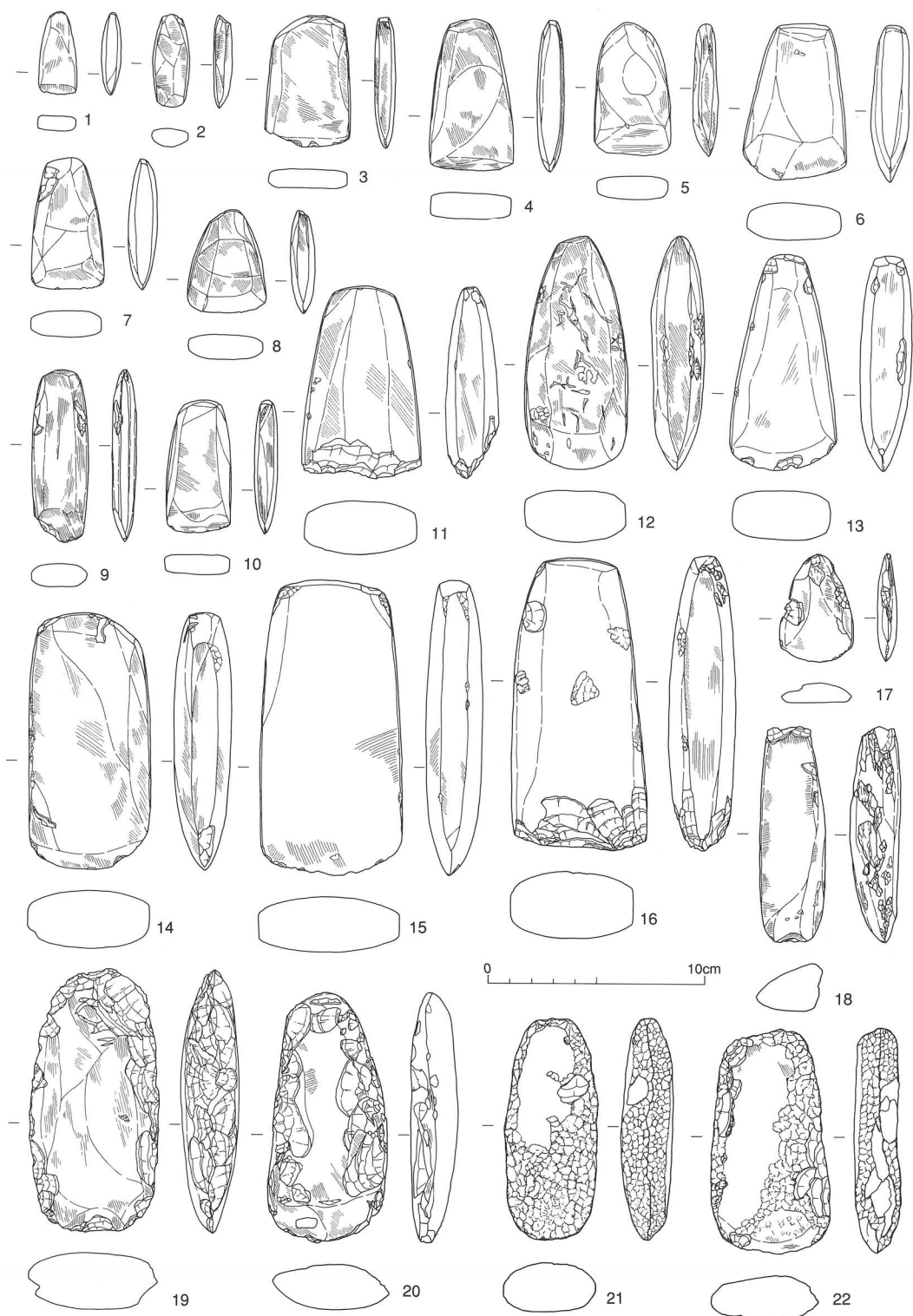
前田地点の石質は、安山岩が約29%で最も多く、濃飛流紋岩20%・砂岩約17%・多孔質安山岩約9%・飛驒片麻岩約9%・頁岩約8%と、在地系の石材が使われる一方で、各石質とも満遍なく使われており、このことは礫石錘の特徴と言える。

なお、礫石錘の計測部位については、131頁の文章中に示した。

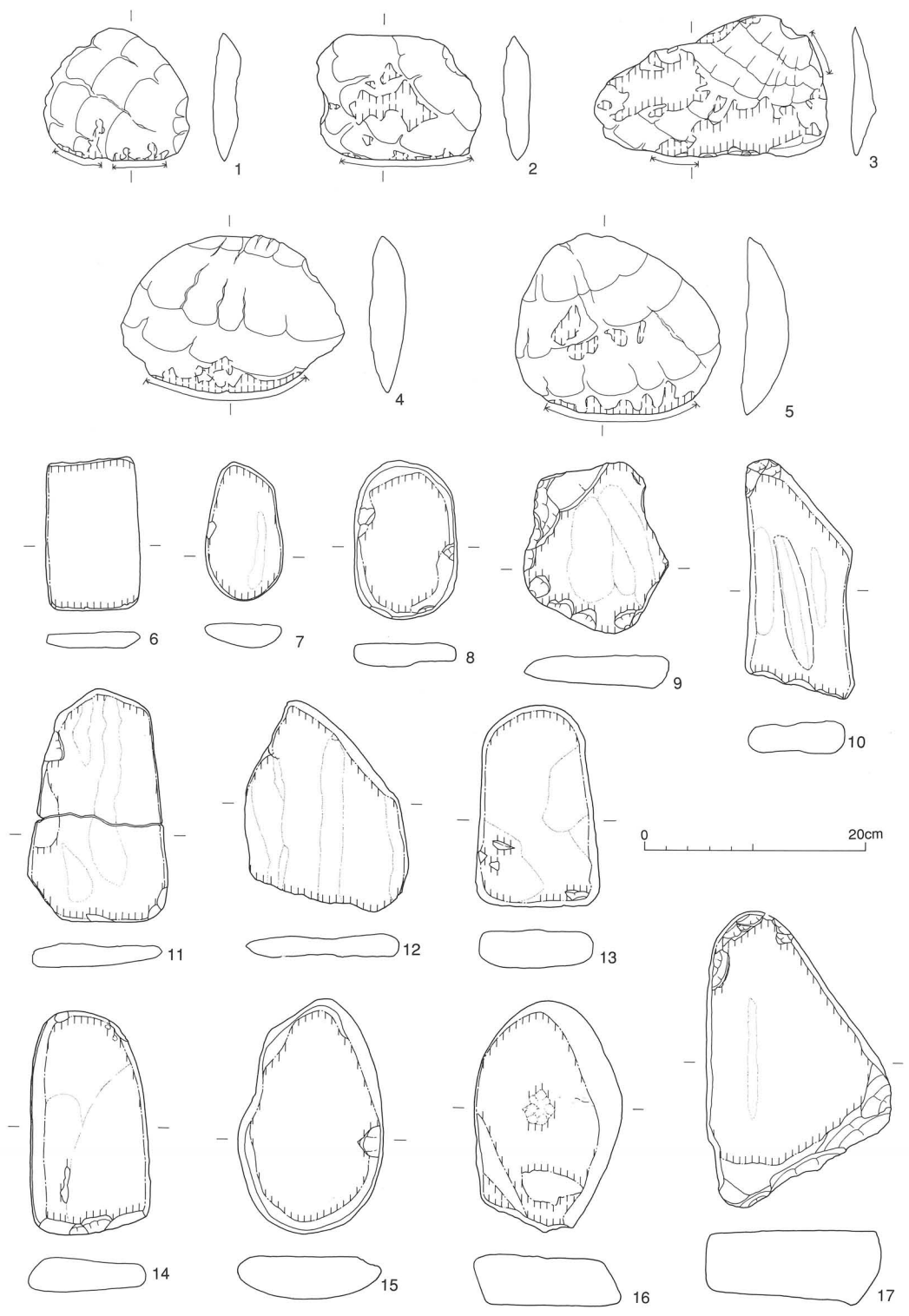
### 3-23) 切目石錘 (第100図13・14、第130表)

前田地点から、5点が出土している。礫石錘より小振りな素材が使われている。

石質は、頁岩が3点、砂岩が2点である。

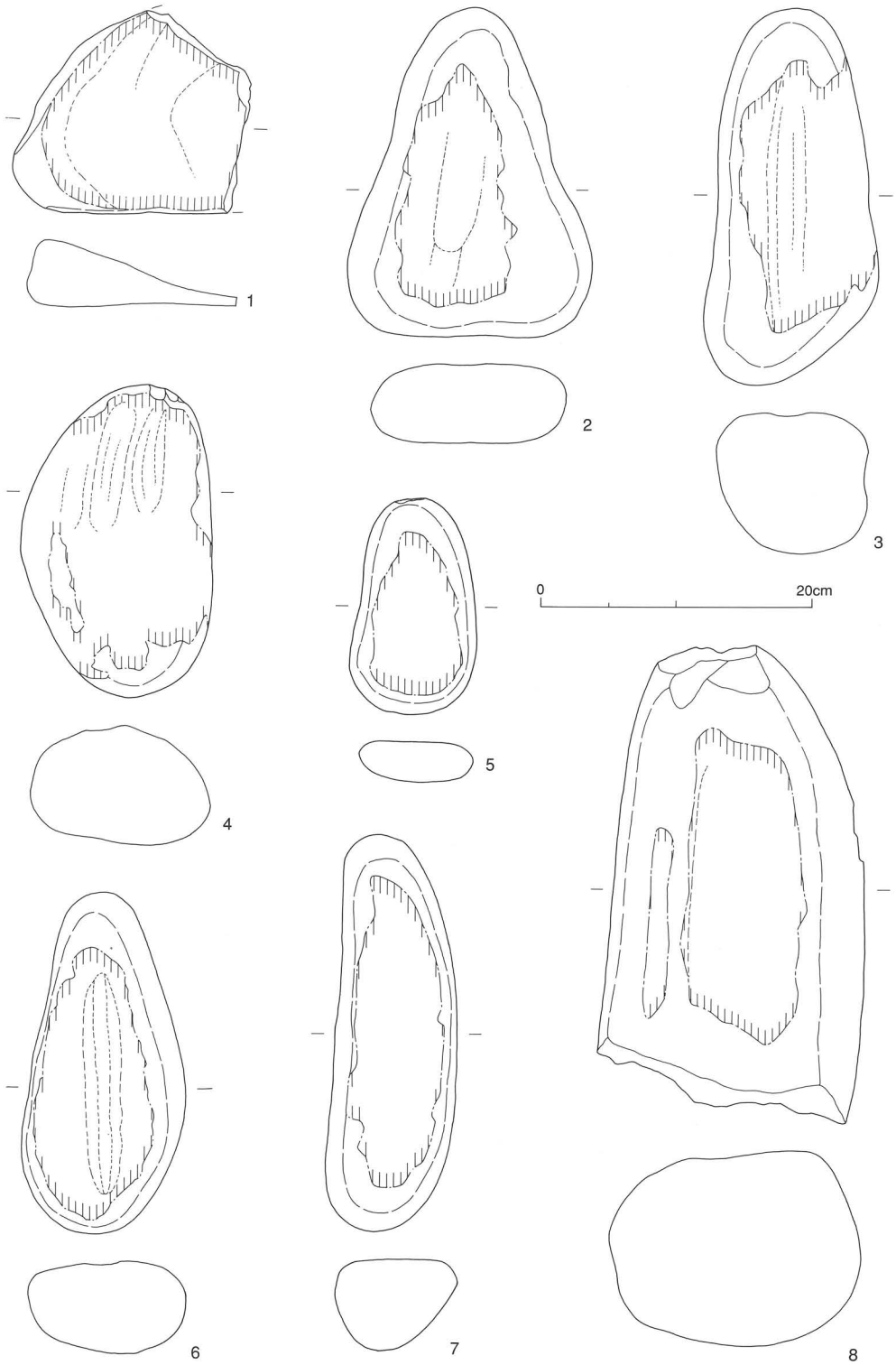


第97图 磨製石斧实测图

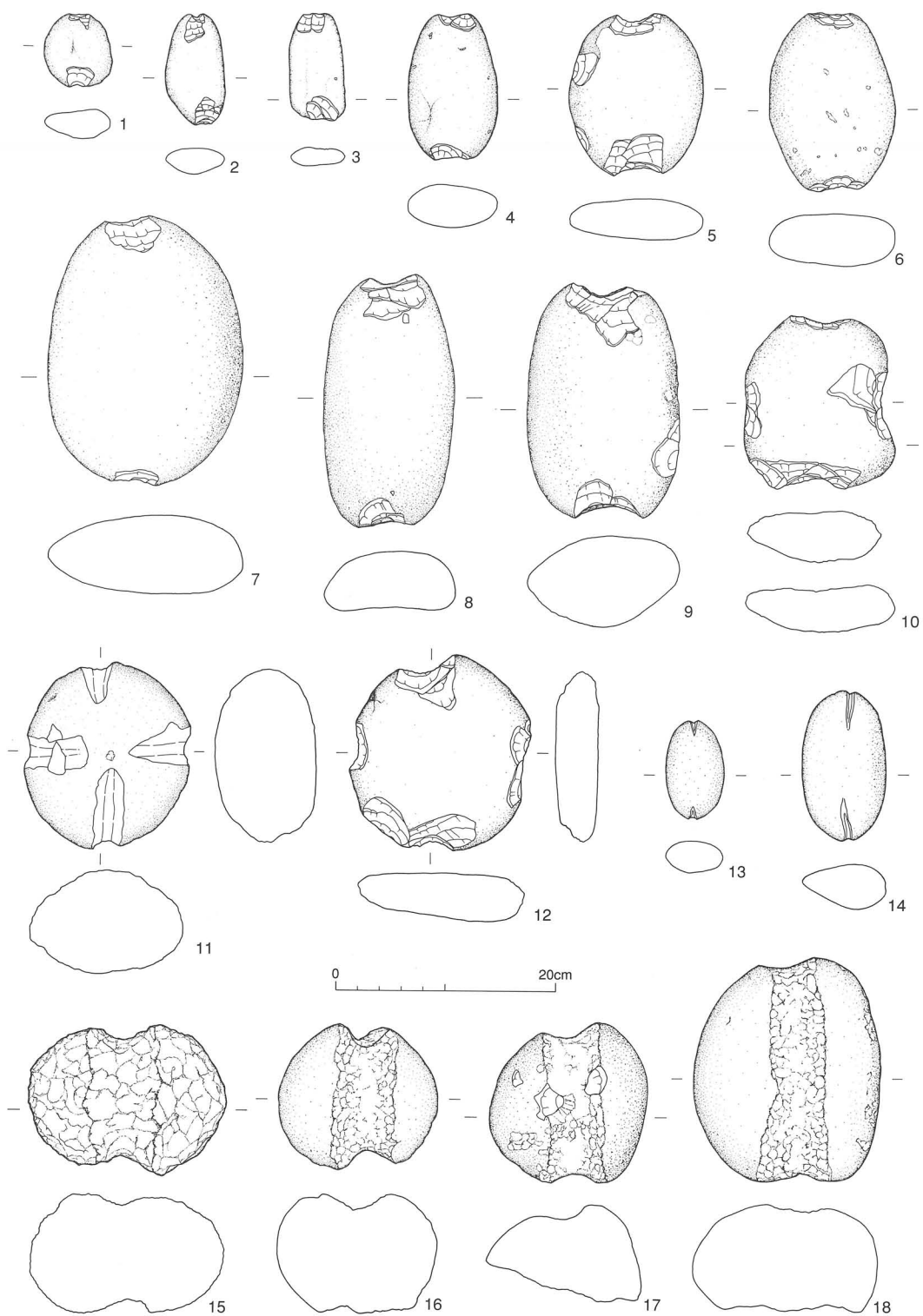


第98図 砥石(6~17)・擦切石器(1~5)実測図

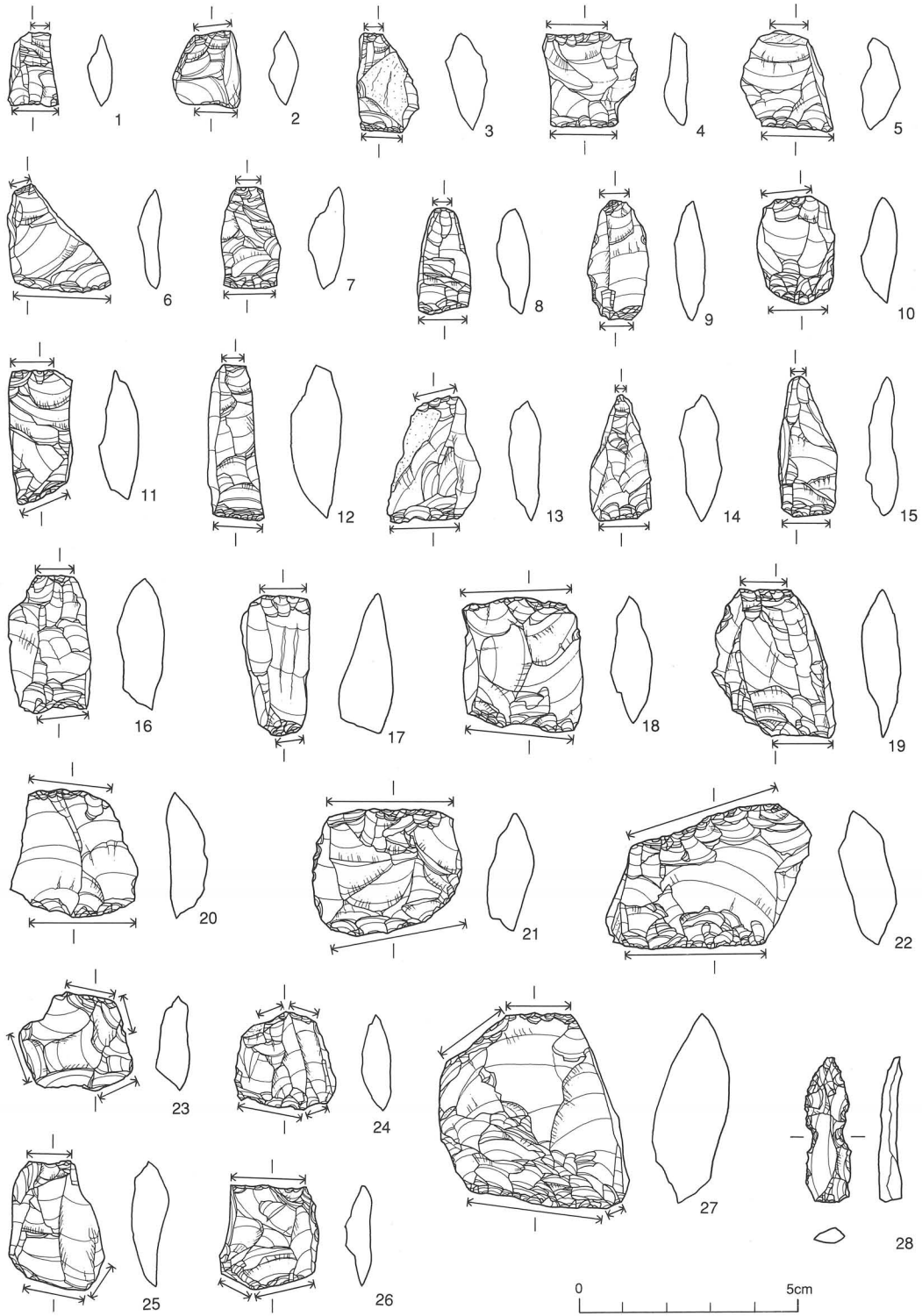




第99图 据置砥石实测图



第100図 礫石錘 (1~10)・切目石錘 (11~14)・有溝石錘 (15~18) 実測図



第101图 楔形石器(1~27)·异形石器(28)实测图

### 3-24) 有溝石錘 (第100図15~18、第131・132表)

宮ノ前地点と前田地点から、合わせて5点が出土している。円礫の中央に、幅の広い溝を敲打で作り出している。溝は短軸に掘られている場合(同15~17)と、長軸に掘られている場合(同18)がある。

石質は、同15が花崗片麻岩で、残りはすべて安山岩である。

### 3-25) 楔形石器 (第101図1~27、第133~136表)

平面形は四角形を呈し、側面観は菱形に近く、相対する辺につぶれたような剥離面が集中する。つぶれた剥離面は、1対の場合が多いが、複数の場合(同22~27)もある。

各地点から、総数934点が出土し、地点毎の石器組成中で占める割合は、約10~19%である。

法量は、595点が出土している前田地点では、完形品の長さは1.5~3.5cmに集中し、重さの平均値は約6gである。同じく前田地点の石質は、チャートが約56%、下呂石が約39%で、この2つの石材だけで全体の95%以上を占める。

### 3-26) 異形石器 (第101図28、第137表)

前田地点から1点出土している。黒曜石製で、長軸のほぼ中央にえぐりが入る。

### 3-27) 石器組成について (第11表)

ここでは、ほぼ同様の調査体制で発掘調査が実施された、前田地点とうづか地点の比較から、石器組成について簡単に述べる。

前田地点は、中期後葉から後期にかけての土器群が主体で、うづか地点では前期後葉の土器群が主体を占めることは、第5章第1節で触れた通りである。この両地点の石器組成では、自然礫を用いた石器群と、小型の剥片石器群に、大きな組成比率の相違がある。

磨石・凹石・敲石を合わせた割合が、前田地点では石器全体の約30%を占めている。これがうづか地点では約10%程度に過ぎない。

また、スクレイパーの各類に石鏃・石錐を合わせた割合は、うづか地点が全石器の約54%を占めるのに対して、前田地点では約21%に過ぎない。出土石器数に大きな開きはあるが、両地点の時期差から生じた結果である可能性が高い。これを生活場面の相違と断定するには、他遺跡で報告された多くの事例との対比と検討をおこなう必要がある。

第9表 前田地点下層(旧石器)石器組成表

層位等 器種	第18層	第17層	第16層	上層	地点外	合計
ナイフ形石器	5点 (35.71%)	一点 (—%)	1点 (0.64%)	2点	3点	11点
角錐状石器	一点 (—%)	2点 (1.55%)	一点 (—%)	一点	一点	2点
細石刃	一点 (—%)	18点 (13.95%)	19点 (12.10%)	2点	1点	40点
尖頭器	一点 (—%)	1点 (0.78%)	11点 (7.01%)	一点	一点	12点
先刃搔器	2点 (14.29%)	5点 (3.88%)	20点 (12.74%)	2点	一点	29点
円形搔器	一点 (—%)	1点 (0.78%)	11点 (7.01%)	1点	一点	13点
削器	1点 (7.14%)	28点 (21.71%)	22点 (14.01%)	一点	1点	52点
使用痕剥片	4点 (28.57%)	40点 (31.01%)	31点 (19.75%)	一点	一点	75点
磨石	一点 (—%)	4点 (3.10%)	8点 (5.10%)	一点	一点	12点
凹石	一点 (—%)	3点 (2.33%)	3点 (1.91%)	一点	一点	6点
台石	一点 (—%)	4点 (3.10%)	2点 (1.27%)	一点	一点	6点
敲石	一点 (—%)	7点 (5.43%)	10点 (6.37%)	一点	一点	17点
錐器	一点 (—%)	一点 (—%)	1点 (0.64%)	一点	一点	1点
彫器	1点 (7.14%)	一点 (—%)	一点 (—%)	一点	一点	1点
礫器	1点 (7.14%)	3点 (2.33%)	4点 (2.55%)	一点	一点	8点
楔形石器	一点 (—%)	13点 (10.08%)	14点 (8.92%)	一点	一点	27点
合計	14点 (99.99%)	129点 (100.03%)	157点 (100.02%)	7点	5点	312点

第10表 前田地点下層(縄文)石器組成表

器種	第15層	第14層	第13層	第12層	第11層	第10層	第9層	上層	合計
打製石器	1点 (1.20%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (1.75%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	2点
磨石	13点 (15.66%)	1点 (—%)	43点 (38.39%)	21点 (36.84%)	16点 (23.19%)	3点 (50%)	3点 (50%)	1点	99点
凹石	2点 (2.41%)	1点 (—%)	17点 (15.18%)	5点 (8.77%)	5点 (7.25%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	29点
敲石	3点 (3.61%)	1点 (—%)	4点 (3.57%)	2点 (3.51%)	5点 (7.25%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	14点
台石	1点 (1.20%)	1点 (—%)	13点 (11.61%)	4点 (7.02%)	4点 (5.80%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	22点
石鏃	3点 (3.61%)	1点 (100%)	4点 (3.57%)	3点 (5.26%)	5点 (7.25%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	16点
有舌尖頭器	2点 (2.41%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (1.45%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	3点
尖頭器	6点 (7.23%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	6点
先刃搔器	3点 (3.61%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	3点
スクレハ <sup>°</sup> -I類	10点 (12.05%)	1点 (—%)	7点 (6.25%)	1点 (1.75%)	5点 (7.25%)	1点 (16.67%)	1点 (—%)	1点	24点
スクレハ <sup>°</sup> -II類	14点 (16.87%)	1点 (—%)	1点 (0.89%)	3点 (5.26%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	18点
スクレハ <sup>°</sup> -III類	15点 (18.07%)	1点 (—%)	4点 (3.57%)	7点 (12.28%)	5点 (7.25%)	1点 (16.67%)	1点 (16.67%)	1点	33点
鏃状削器	2点 (2.41%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	2点
石錐	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (1.45%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	1点
磨製石斧	1点 (—%)	1点 (—%)	4点 (3.57%)	4点 (7.02%)	5点 (7.25%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	13点
砥石	1点 (—%)	1点 (—%)	5点 (4.46%)	1点 (1.75%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	6点
擦切石器	1点 (—%)	1点 (—%)	2点 (1.79%)	2点 (3.51%)	4点 (5.80%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	8点
礫石錘	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (1.45%)	1点 (—%)	1点 (16.67%)	1点	2点
礫器	2点 (2.41%)	1点 (—%)	8点 (7.14%)	1点 (1.75%)	9点 (13.04%)	1点 (16.67%)	1点 (16.67%)	1点	22点
楔形石器	6点 (7.23%)	1点 (—%)	1点 (—%)	2点 (3.51%)	3点 (4.35%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	11点
異形部分磨製石器	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点 (—%)	1点	1点
合計	83点 (99.98%)	1点	112点 (99.99%)	57点 (99.98%)	69点 (100.03%)	6点 (100.01%)	6点 (100.01%)	1点	335点

第11表 各地点上層出土石器組成表

器種 \ 層位等	宮ノ前地点	前田地点	うづか地点	センター地点
打製石斧	250点 (22.36%)	984点 (19.21%)	81点 (15.64%)	154点 (26.19%)
環状石斧	一点 (—%)	1点 (0.02%)	一点 (—%)	一点 (—%)
横刃形石器	91点 (8.14%)	214点 (4.18%)	8点 (1.54%)	60点 (10.20%)
磨石	5点 (0.45%)	574点 (11.20%)	29点 (5.60%)	52点 (8.84%)
凹石	38点 (3.40%)	575点 (11.22%)	14点 (2.70%)	59点 (10.03%)
敲石	27点 (2.42%)	380点 (7.42%)	10点 (1.93%)	23点 (3.91%)
皿状凹石	一点 (—%)	5点 (0.10%)	一点 (—%)	一点 (—%)
有縁石皿	1点 (0.09%)	11点 (0.21%)	3点 (0.58%)	3点 (0.51%)
台石	1点 (0.09%)	186点 (3.63%)	3点 (0.58%)	6点 (1.02%)
石鏃	65点 (5.81%)	235点 (4.59%)	55点 (10.62%)	25点 (4.25%)
石槍	1点 (0.09%)	1点 (0.02%)	一点 (—%)	一点 (—%)
石匙	1点 (0.09%)	10点 (0.20%)	4点 (0.77%)	1点 (0.17%)
篋状石器	1点 (0.09%)	4点 (0.08%)	一点 (—%)	一点 (—%)
スクレイパーⅠ類	81点 (7.25%)	92点 (1.80%)	64点 (12.36%)	19点 (3.23%)
スクレイパーⅡ類	25点 (2.24%)	320点 (6.25%)	35点 (6.76%)	12点 (2.04%)
スクレイパーⅢ類	198点 (17.71%)	331点 (6.46%)	68点 (13.13%)	31点 (5.27%)
石錐	29点 (2.59%)	96点 (1.87%)	57点 (11.00%)	20点 (3.40%)
磨製石斧	58点 (5.19%)	211点 (4.12%)	8点 (1.54%)	24点 (4.08%)
砥石	7点 (0.63%)	28点 (0.55%)	一点 (—%)	5点 (0.85%)
据置砥石	1点 (0.09%)	22点 (0.43%)	一点 (—%)	2点 (0.34%)
擦切石器	5点 (0.45%)	23点 (0.45%)	一点 (—%)	3点 (0.51%)
礫石錘	22点 (1.97%)	215点 (4.20%)	7点 (1.35%)	32点 (5.44%)
切目石錘	一点 (—%)	5点 (0.10%)	一点 (—%)	一点 (—%)
有溝石錘	1点 (0.09%)	4点 (0.08%)	一点 (—%)	一点 (—%)
楔形石器	210点 (18.78%)	595点 (11.61%)	72点 (13.90%)	57点 (9.69%)
異形石器	一点 (—%)	1点 (0.02%)	一点 (—%)	一点 (—%)
合計	1118点 (100.02%)	5123点 (100.02%)	518点 (100.00%)	588点 (99.97%)

第12表 前田地点下層(旧石器)ナイフ形石器一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C6	18層	完形	硬質頁岩	3.2	1.5	0.6	2.7	第56図8
2	B7	18層	完形	チャート	2.8	1.2	0.5	1.7	同6
3	A9	18層	先端欠損	輝石安山岩	(5.0)	1.9	1.0	(8.0)	同4
4	B10	18層	完形	輝石安山岩	3.7	1.7	0.8	4.8	同5
5	C13	18層	基部破片	下呂石	(1.7)	(1.1)	(0.4)	(0.6)	同11
6	B12	16層	完形	ホルンフェルス	4.4	1.8	0.6	4.9	同2
7	B11	15層	基部欠損	輝石安山岩	(2.9)	1.4	0.5	(1.9)	同3
8	C3	2層	完形	チャート	3.4	2.0	0.8	3.9	同7

第13表 うづか地点ナイフ形石器一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	—	基部欠損	玉髓	(2.7)	1.7	0.6	(3.0)	第56図10

第14表 センター地点ナイフ形石器一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	—	完形	黒曜石	3.1	1.2	0.4	1.1	第56図9
2	表採	—	完形	輝石安山岩	9.1	2.5	1.1	22.3	同1

第15表 前田地点下層(旧石器)角錐状石器一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C9	17層	完形	チャート	2.9	1.5	1.2	3.5	第68図2
2	B10	17層	完形	輝石安山岩	5.8	2.8	1.7	27.6	同1

第16表 前田地点下層(旧石器)細石刃一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	打面巾	重さ	挿図番号
1	A9	17層	末端部折断	下呂石	2.3	0.7	0.3	0.1	0.46	第57図12
2	A9	17層	完形	下呂石	3.9	0.8	0.5	0.4	1.22	同11
3	C9	17層	頭部折断	下呂石	2.1	0.8	0.2	—	0.33	同13
4	C9	17層	頭部折断	黒曜石	1.7	0.6	0.2	—	0.14	同6
5	B10	17層	末端部折断	黒曜石	2.3	0.7	0.2	0.2	0.37	同1
6	B10	17層	頭部・末端部折断	硬質頁岩	1.8	0.7	0.2	—	0.22	同10
7	B10	17層	完形	チャート	2.8	1.0	0.4	0.5	1.10	
8	C10	17層	末端部折断	黒曜石	1.8	0.5	0.2	0.1	0.17	同4
9	C10	17層	末端部折断	黒曜石	1.7	0.7	0.2	0.1	0.18	同3
10	C10	17層	末端部折断	黒曜石	2.1	0.9	0.2	0.2	0.39	同2
11	C10	17層	中間部破片	黒曜石	(1.3)	0.5	0.2	—	(0.09)	同7
12	C10	17層	末端部折断	黒曜石	1.4	0.4	0.2	—	0.11	同5
13	C10	17層	中間部破片	黒曜石	(1.2)	(0.5)	0.2	—	(0.08)	同8
14	C10	17層	末端部破片	黒曜石	(1.3)	(0.8)	(0.2)	—	(0.11)	同9
15	C10	17層	末端部破片	黒曜石	(1.5)	(0.9)	(0.3)	—	(0.23)	
16	C10	17層	中間部破片	黒曜石	(1.2)	(0.7)	(0.2)	—	(0.09)	
17	B11	17層	頭部欠損	チャート	(2.2)	1.2	0.3	—	(0.80)	同14



18	B11	17層	中間部破片	チャート	(1.0)	(0.7)	(0.2)	—	(0.10)	
19	C10	16層	末端部破片	硬質頁岩	(1.5)	(0.5)	(0.2)	—	(0.14)	同26
20	A11	16層	末端部折断	下呂石	2.3	0.9	0.3	0.2	0.42	同17
21	B11	16層	頭部破片	下呂石	(1.5)	0.5	0.2	0.1	(0.14)	
22	B11	16層	末端部折断	下呂石	2.5	1.0	0.2	0.2	0.63	同16
23	B12	16層	末端部折断	下呂石	1.9	0.7	0.2	0.1	0.24	
24	A13	16層	末端部折断	下呂石	2.4	1.0	0.3	0.5	0.44	同18
25	B13	16層	頭部破片	下呂石	(1.7)	0.9	0.3	0.2	(0.43)	同19
26	B13	16層	末端部破片	下呂石	(1.5)	(0.7)	(0.2)	—	(0.18)	同21
27	B13	16層	末端部折断	下呂石	2.4	0.9	0.2	0.3	0.46	同15
28	B13	16層	頭部折断	下呂石	2.6	0.9	0.2	—	0.42	同20
29	B13	16層	頭部欠損	チャート	(1.7)	0.7	0.3	—	(0.26)	
30	B13	16層	末端部折断	硬質頁岩	3.3	0.9	0.3	0.5	0.85	同24
31	B13	16層	末端部折断	硬質頁岩	2.5	0.9	0.2	0.3	0.50	同23
32	B13	16層	中間部破片	硬質頁岩	(0.9)	(0.5)	(0.1)	—	(0.04)	
33	A14	16層	頭部折断	硬質頁岩	2.3	1.1	0.3	—	0.60	同25
34	A15	16層	中間部破片	黒曜石	(1.6)	(0.9)	(0.2)	—	(0.13)	
35	A16	16層	頭部折断	黒曜石	3.2	0.8	0.3	—	0.72	
36	C17	16層	完形(再生剥片)	黒曜石	3.0	1.2	0.4	0.4	1.24	
37	C17	16層	末端部折断	黒曜石	1.9	1.0	0.4	0.3	0.42	同27
38	A11	15層	末端部折断	下呂石	1.3	0.6	0.2	0.2	0.13	
39	B11	表土	頭部折断	下呂石	3.3	1.0	0.3	—	1.16	同22

第17表 宮ノ前地点細石刃一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	打面巾	重さ	挿図番号
1	41	3・4層	完形	黒曜石	2.0	0.6	0.2	—	0.3	

第18表 前田地点下層(旧石器)尖頭器一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C9	17層	先端部欠損	輝石安山岩	(4.7)	3.4	1.6	(21.6)	第60図1
2	B11	16層	胴部破片	輝石安山岩	(4.5)	(3.3)	(1.3)	(15.7)	
3	C11	16層	先端部破片	硬質頁岩	(4.2)	(3.5)	(1.1)	(11.8)	同3
4	C11	16層	基部破片	硬質頁岩	(4.2)	(4.1)	(1.2)	(14.2)	同4
5	C11	16層	基部破片	輝石安山岩	(5.7)	(3.7)	(1.9)	(37.1)	同2
6	B14	16層	完形	チャート	7.0	2.3	1.0	13.7	
7	B14	16層	一部欠損	チャート	4.8	2.2	0.9	(9.7)	同7
8	B14	16層	先端部欠損	黒曜石	(5.0)	2.2	0.7	(6.2)	同8
9	B14	16層	胴部破片	チャート	(2.7)	(2.5)	(1.0)	(6.2)	
10	A15	16層	(未製品)	輝石安山岩	10.3	4.0	1.5	75.7	
11	A16	16層	基部欠損	ホルンフェルス	(7.6)	(2.4)	(0.5)	(9.9)	同5
12	C17	16層	胴部破片	輝石安山岩	(3.8)	(1.6)	(0.9)	(4.5)	

第19表 前田地点下層(旧石器)先刃搔器一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B8	18層	完形	チャート	5.4	2.8	1.4	24.4	第61図2
2	C8	18層	完形	硬質頁岩	8.4	2.6	9.0	18.3	同1
3	B7	17層	完形	珪質頁岩	3.0	2.3	9.0	6.2	同3

4	B 8	17層	完	形	下 呂 石	5.5	2.5	1.0	16.0	同5
5	B 9	17層	完	形	下 呂 石	3.0	1.8	1.0	5.1	
6	B10	17層	完	形	下 呂 石	3.5	2.1	1.9	9.8	
7	C10	17層	完	形	チャート	3.6	3.0	1.2	1.6	同4
8	C10	16層	完	形	硬質頁岩	6.9	3.3	8.0	20.5	第62図3
9	A11	16層	完	形	チャート	5.8	3.4	1.2	27.9	第61図7
10	B11	16層	完	形	下 呂 石	4.3	2.9	2.0	22.5	
11	B11	16層	完	形	硬質頁岩	5.0	2.8	1.4	19.9	
12	B12	16層	完	形	硬質頁岩	3.3	2.2	1.4	10.4	
13	B13	16層	完	形	硬質頁岩	6.5	3.5	1.8	35.8	第62図1
14	B13	16層	完	形	下 呂 石	7.6	3.7	1.1	28.1	
15	B13	16層	完	形	チャート	3.5	2.4	9.5	9.2	第61図6
16	A14	16層	完	形	玉 髓	3.5	2.2	1.1	7.6	
17	B14	16層	完	形	硬質頁岩	2.8	2.4	2.1	10.0	
18	B14	16層	完	形	下 呂 石	3.5	2.7	1.1	10.1	第62図4
19	B14	16層	完	形	下 呂 石	4.0	2.7	8.0	9.9	同5
20	B14	16層	完	形	下 呂 石	5.6	2.4	1.1	12.3	同6
21	B14	16層	完	形	輝石安山岩	4.6	2.6	1.4	16.8	
22	B14	16層	完	形	下 呂 石	4.7	2.4	1.4	16.2	
23	B14	16層	完	形	下 呂 石	5.2	3.4	8.0	14.1	
24	A15	16層	刃部欠損	形	黒曜石	(3.5)	(2.5)	9.0	(7.4)	
25	不明	16層	完	形	流紋岩	5.0	2.8	1.2	20.6	同2
26	C22	16層	完	形	硬質頁岩	4.9	3.4	1.3	19.8	同7
27	A15	16層	刃部破片	形	黒曜石	(2.3)	(2.1)	(0.8)	(4.3)	
28	A17	表土	完	形	チャート	4.7	2.5	1.2	19.8	
29	C20	表土	上部欠損	形	下 呂 石	(3.5)	2.9	(1.0)	(13.5)	

第20表 前田地点下層(旧石器)円形搔器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石 質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	A11	17層	完	形	チャート	3.7	3.7	0.9	16.5	第63図1
2	A14	16層	完	形	黒曜石	3.3	2.8	1.4	10.4	同8
3	A16	16層	完	形	黒曜石	3.8	2.8	1.1	12.6	同4
4	C17	16層	完	形	黒曜石	2.7	2.2	1.0	5.2	同2
5	C17	16層	完	形	黒曜石	2.7	2.7	1.6	10.9	同6
6	C17	16層	完	形	黒曜石	2.7	2.8	1.8	12.7	同9
7	C17	16層	1/2欠損	形	黒曜石	2.5	(1.9)	(1.3)	(4.7)	
8	C17	16層	完	形	黒曜石	2.8	2.0	0.8	5.0	同3
9	C17	16層	完	形	黒曜石	2.6	2.7	1.4	8.2	
10	B18	16層	完	形	黒曜石	3.6	3.0	1.6	17.1	
11	C18	16層	完	形	黒曜石	2.8	2.8	1.5	11.6	同7
12	B20	16層	完	形	チャート	3.4	3.1	1.2	18.2	同5
13	C1	2層	完	形	黒曜石	3.1	3.0	0.9	8.3	

第21表 前田地点下層(旧石器)削器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石 質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	A4	18層	完	形	凝灰岩	7.0	6.9	1.9	74.1	第64図1
2	C17	17層	完	形	チャート	3.7	2.8	1.2	10.6	同6
3	B8	17層	完	形	頁岩	4.1	7.3	1.3	35.0	同7
4	B9	17層	1/2欠損	形	下 呂 石	(2.2)	(2.6)	(6.0)	(2.4)	

5	B9	17層	完	形	チャート	2.6	2.3	1.1	7.2		
6	B9	17層	完	形	流紋岩	2.5	3.9	0.9	10.7	同3	
7	C9	17層	完	形	輝石安山岩	3.1	5.7	0.8	14.2		
8	C9	17層	完	形	チャート	1.9	2.8	0.9	4.2		
9	A10	17層	1/2	欠	損	下呂石	(3.0)	(2.5)	(0.9)	(4.9)	
10	A10	17層	完	形	輝石安山岩	8.5	5.0	1.8	62.0	第65図1	
11	A10	17層	破	片	輝石安山岩	(2.0)	(1.3)	(0.2)	(0.6)		
12	B10	17層	完	形	下呂石	4.7	2.5	0.7	8.5		
13	B10	17層	完	形	輝石安山岩	4.1	4.1	1.1	17.1	同2	
14	B10	17層	完	形	下呂石	3.1	4.3	1.1	10.8	第64図2	
15	B10	17層	完	形	輝石安山岩	1.4	2.5	0.6	1.9	第65図3	
16	B10	17層	完	形	チャート	2.5	1.6	1.1	4.2		
17	B10	17層	破	片	輝石安山岩	(3.3)	(1.1)	(0.8)	(2.2)		
18	B10	17層	完	形	輝石安山岩	3.0	2.9	1.1	7.4		
19	C10	17層	破	片	黒曜石	(2.3)	(1.4)	(0.2)	(0.7)		
20	C10	17層	完	形	下呂石	1.8	1.6	0.7	2.0		
21	C10	17層	1/2	欠	損	輝石安山岩	2.4	(3.9)	(0.8)	(8.2)	
22	C10	17層	完	形	黒曜石	1.8	2.2	0.6	1.9		
23	C10	17層	完	形	下呂石	4.1	2.5	1.1	8.5		
24	C10	17層	完	形	チャート	2.4	4.1	0.8	9.0		
25	C10	17層	完	形	チャート	4.8	2.8	1.7	17.8	第64図2	
26	C10	17層	完	形	下呂石	5.8	2.4	0.8	9.4	第65図4	
27	A11	17層	完	形	チャート	2.9	4.3	1.1	16.8	第64図5	
28	B11	17層	完	形	チャート	3.4	2.7	1.4	9.4		
29	B11	17層	完	形	輝石安山岩	4.6	4.3	1.2	25.0		
30	A4	16層	完	形	チャート	2.8	1.8	0.6	4.3		
31	A11	16層	完	形	チャート	1.3	2.1	1.0	2.6		
32	B11	16層	完	形	下呂石	3.9	3.5	1.2	19.5		
33	B11	16層	完	形	流紋岩	3.5	4.2	0.8	12.9		
34	B11	16層	完	形	輝石安山岩	4.5	3.1	1.0	10.0		
35	B12	16層	完	形	硬質頁岩	1.6	1.9	1.2	2.1		
36	B13	16層	完	形	下呂石	6.5	9.1	2.2	93.4	第66図1	
37	B13	16層	完	形	チャート	5.2	1.8	1.0	7.7	同2	
38	C13	16層	完	形	下呂石	10.2	6.5	2.0	119.7		
39	A14	16層	1/2	欠	損	下呂石	(1.9)	1.8	(0.5)	(1.6)	
40	A14	16層	完	形	下呂石	3.5	5.3	1.5	20.9		
41	B14	16層	完	形	下呂石	8.2	3.6	1.0	26.1	同6	
42	B14	16層	完	形	下呂石	3.6	3.4	0.7	8.0		
43	A15	16層	完	形	下呂石	4.8	8.8	1.3	41.7	同4	
44	A16	16層	一部	欠	損	黒曜石	(4.3)	3.2	0.6	(6.1)	
45	A17	16層	完	形	チャート	5.8	4.3	1.6	44.1		
46	B17	16層	完	形	玉髓	3.9	5.1	1.6	20.0		
47	C17	16層	完	形	硬質凝灰岩	7.8	6.0	2.8	145.2		
48	C17	16層	完	形	輝石安山岩	8.2	3.0	1.2	26.5	第65図7	
49	B18	16層	完	形	流紋岩	8.2	3.7	2.1	85.0	第66図3	
50	C20	16層	一部	欠	損	チャート	3.3	(2.8)	(1.2)	(13.0)	
51	礫群-2	16層	完	形	下呂石	2.9	2.3	0.9	4.5		

第22表 うづか地点削器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	P7	—	完	形	硬質頁岩	6.6	1.8	0.7	8.4	第65図5

第23表 前田地点下層(旧石器)使用痕剥片一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B4	18層	完形	片麻岩	6.1	7.7	1.2	56.9	
2	B8	18層	完形	チャート	3.9	3.4	1.0	14.2	第67図1
3	A10	18層	完形	チャート	4.0	2.4	0.6	5.0	
4	A13	18層	完形	チャート	4.0	2.7	0.8	8.9	
5	B7	17層	完形	チャート	4.4	1.8	0.8	5.9	
6	A9	17層	完形	チャート	3.0	3.1	0.9	7.4	
7	A9	17層	完形	チャート	3.4	4.1	0.9	13.8	
8	A9	17層	完形	チャート	3.2	3.1	1.4	11.0	
9	A9	17層	完形	チャート	4.4	2.4	2.2	14.2	
10	A9	17層	完形	下呂石	2.5	1.6	0.6	2.3	
11	B9	17層	完形	下呂石	5.7	3.4	1.4	16.7	
12	B9	17層	完形	珪質凝灰岩	3.3	1.3	0.5	3.0	
13	B9	17層	完形	下呂石	3.0	5.0	1.3	17.3	同6
14	B9	17層	完形	輝石安山岩	3.0	3.3	0.8	10.4	
15	B9	17層	完形	ホルンフェルス	4.0	3.8	1.0	11.9	
16	B9	17層	完形	硬質凝灰岩	3.2	2.6	0.6	6.4	
17	C9	17層	一部欠損	チャート	(2.6)	2.0	1.0	(4.0)	
18	C9	17層	完形	チャート	4.9	2.4	1.5	13.4	
19	C9	17層	完形	硬質頁岩	2.4	3.8	1.4	7.6	
20	C9	17層	完形	硬質凝灰岩	3.9	3.2	1.2	12.0	
21	C9	17層	完形	下呂石	2.5	3.5	0.8	4.8	
22	C9	17層	完形	輝石安山岩	2.4	2.9	0.7	3.7	
23	C9	17層	完形	チャート	3.1	3.0	0.6	3.9	同4
24	C9	17層	完形	輝石安山岩	5.9	5.1	1.2	29.3	
25	A10	17層	完形	石英片麻石	7.5	5.8	2.8	90.4	
26	B10	17層	完形	輝石安山岩	2.3	3.5	1.1	7.0	
27	B10	17層	完形	輝石安山岩	1.3	2.8	0.6	1.6	
28	B10	17層	完形	チャート	1.4	2.1	0.8	1.3	
29	B10	17層	完形	下呂石	3.4	2.7	0.6	6.0	同3
30	B10	17層	完形	チャート	3.5	2.9	1.0	10.1	
31	C10	17層	完形	ホルンフェルス	3.6	1.5	0.6	3.5	同2
32	C10	17層	完形	下呂石	5.2	2.0	0.7	5.5	
33	C10	17層	完形	玉髓	2.0	1.2	0.4	0.7	
34	C10	17層	完形	チャート	4.0	2.9	2.8	17.8	
35	C10	17層	完形	チャート	4.1	3.8	2.1	23.0	
36	C10	17層	完形	下呂石	2.6	4.6	0.9	10.8	
37	C10	17層	完形	輝石安山岩	2.1	3.8	1.0	4.8	
38	C10	17層	完形	硬質頁岩	4.3	2.7	0.9	7.7	
39	C10	17層	完形	チャート	3.9	2.1	1.8	11.4	
40	C10	17層	完形	チャート	4.5	2.6	1.3	14.2	
41	C10	17層	完形	下呂石	4.6	2.7	1.2	13.9	
42	A11	17層	完形	チャート	2.8	1.3	0.6	2.5	
43	A11	17層	完形	チャート	4.9	3.0	1.8	17.3	
44	B11	17層	完形	下呂石	5.2	4.6	1.7	31.3	
45	B11	16層	完形	チャート	4.7	3.3	1.4	20.3	
46	C11	16層	完形	頁岩	9.4	4.5	0.8	43.3	
47	B12	16層	完形	硬質頁岩	2.3	1.8	0.6	1.9	
48	B12	16層	完形	チャート	2.0	2.2	0.8	2.9	
49	C12	16層	完形	チャート	4.0	4.6	1.6	29.8	
50	C12	16層	打面欠損	チャート	(3.2)	2.7	0.8	(5.7)	

51	A13	16層	完	形	硬質頁岩	5.4	3.1	1.9	19.0	
52	A13	16層	完	形	チャート	3.8	3.2	1.0	9.3	
53	B13	16層	完	形	砂岩	5.7	7.5	3.4	157.3	
54	B13	16層	完	形	硬質頁岩	8.6	4.5	1.7	64.8	
55	B13	16層	完	形	チャート	3.9	1.9	0.6	3.8	同8
56	B13	16層	完	形	下呂石	6.1	4.2	1.4	23.4	
57	B13	16層	一部欠	形	下呂石	(2.4)	1.4	(0.8)	(1.9)	
58	B13	16層	完	形	チャート	2.3	2.0	0.8	3.1	
59	C13	16層	完	形	黒曜石	1.7	2.5	0.8	2.2	
60	A14	16層	完	形	チャート	3.8	2.1	0.9	4.4	
61	B14	16層	完	形	硬質頁岩	4.1	1.8	1.2	6.2	
62	B14	16層	完	形	硬質頁岩	4.0	3.3	1.0	10.1	
63	A15	16層	完	形	下呂石	4.1	6.0	1.2	24.8	
64	A15	16層	完	形	珪質凝灰岩	3.7	4.2	0.8	10.8	
65	A16	16層	完	形	チャート	3.0	2.9	0.9	6.8	
66	A16	16層	完	形	黒曜石	2.6	1.9	0.9	2.9	
67	C16	16層	完	形	硬質頁岩	4.5	2.3	0.7	8.4	同7
68	B17	16層	完	形	黒曜石	2.5	2.3	0.8	4.4	
69	C17	16層	完	形	硬質凝灰岩	6.0	6.6	1.5	54.2	
70	C17	16層	完	形	硬質凝灰岩	9.6	6.1	2.8	141.0	
71	C17	16層	完	形	黒曜石	4.9	3.8	0.6	8.2	
72	A18	16層	完	形	下呂石	2.5	2.5	0.9	4.5	
73	B18	16層	完	形	黒曜石	2.5	2.6	0.6	2.0	
74	B19	16層	完	形	チャート	2.6	3.3	1.3	7.6	
75	礫群-2	16層	完	形	硬質頁岩	2.9	2.3	1.0	5.1	

第24表 前田地点下層(旧石器)磨石一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	C9	17層	完	形	多孔質安山岩	8.7	6.5	3.3	248	第69図1
2	C9	17層	完	形	多孔質安山岩	3.5	3.5	1.2	17	
3	A11	17層	完	形	花崗閃緑岩	10.4	8.2	6.3	700	
4	A11	17層	一部欠	損	多孔質安山岩	5.3	(4.3)	3.3	(85)	
5	A9	16層	破	片	凝灰岩	(5.7)	(4.6)	(3.3)	(90)	
6	A9	16層	完	形	砂岩	9.1	8.2	2.0	89	
7	A9	16層	完	形	濃飛流紋岩	7.6	6.9	2.0	164	
8	B12	16層	一部欠	損	安山岩	(13.6)	8.0	4.8	(824)	
9	B12	16層	完	形	砂岩	9.2	5.2	3.3	213	
10	B12	16層	一部欠	損	安山岩	14.0	7.3	4.1	(624)	
11	B14	16層	完	形	濃飛流紋岩	10.2	6.7	4.9	496	同2
12	礫群-2	16層	完	形	凝灰岩	10.9	5.2	4.5	359	

第25表 前田地点下層(旧石器)凹石一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	A9	17層	完	形	砂岩	11.4	8.8	5.0	810	第69図4
2	A10	17層	完	形	濃飛流紋岩	10.6	9.3	6.2	880	同3
3	C10	17層	完	形	安山岩	9.0	6.5	4.9	312	
4	C11	16層	完	形	砂岩	10.8	10.7	7.2	1200	
5	B18	16層	完	形	安山岩	12.4	7.6	2.4	312	
6	B19	16層	完	形	濃飛流紋岩	13.1	9.1	6.6	1140	同5

第26表 前田地点下層(旧石器)台石一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A10	17層	完形	濃飛流紋岩	29.9	24.5	9.6	9.96	
2	B10	17層	完形	砂岩	19.0	17.2	6.9	3.32	
3	C10	17層	一部欠損	濃飛流紋岩	20.5	(15.4)	7.0	(2.72)	
4	A11	17層	一部欠損	安山岩	(13.6)	(14.9)	6.1	(1.37)	
5	B14	16層	完形	アプライト	25.7	18.5	9.8	7.10	
6	礫群2	16層	完形	飛驒片麻岩	21.4	15.8	8.6	3.74	

第27表 前田地点下層(旧石器)敲石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B9	17層	1/2欠損	安山岩	(5.3)	(7.8)	(4.7)	(213)	
2	A10	17層	完形	石英斑岩	13.5	7.3	4.1	480	
3	A10	17層	完形	濃飛流紋岩	12.0	4.9	4.9	560	第69図6
4	A10	17層	完形	安山岩	9.5	8.3	6.3	641	
5	B10	17層	完形	凝灰岩	8.8	7.4	4.4	348	
6	C10	17層	完形	濃飛流紋岩	12.1	11.6	6.7	1280	
7	B11	17層	完形	濃飛流紋岩	12.9	11.7	5.3	1280	
8	B10	16層	完形	濃飛流紋岩	13.0	7.8	6.4	91	同9
9	B11	16層	完形	輝緑凝灰岩	8.2	6.6	4.9	27	
10	B13	16層	完形	濃飛流紋岩	6.2	10.9	5.4	635	
11	A14	16層	完形	濃飛流紋岩	10.0	9.0	6.1	992	
12	B14	16層	完形	輝緑凝灰岩	8.8	7.3	5.6	560	
13	B14	16層	完形	濃飛流紋岩	10.0	7.6	7.1	687	同7
14	B14	16層	完形	輝緑凝灰岩	9.8	8.6	6.5	749	同8
15	B14	16層	完形	砂岩	11.1	10.1	6.4	1080	
16	A17	16層	完形	濃飛流紋岩	9.4	7.7	4.8	531	
17	礫群-2	16層	完形	濃飛流紋岩	21.3	11.9	10.0	3380	

第28表 前田地点下層(旧石器)錐器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A15	16層	完形	下呂石	5.3	2.0	1.1	8.6	第68図3

第29表 前田地点下層(旧石器)彫器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C8	18層	完形	硬質頁岩	7.0	2.8	1.5	29.3	第68図4

第30表 前田地点下層(旧石器)礫器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A7	18層	完形	角閃安山岩	7.0	5.7	3.3	155	第70図3
2	B8	17層	完形	角閃安山岩	6.5	5.6	3.2	134	同1
3	A9	17層	完形	濃飛流紋岩	15.4	10.6	5.8	1340	同2
4	B10	17層	完形	閃緑岩	9.9	9.7	3.6	679	
5	B10	16層	完形	飛驒片麻岩	10.6	10.1	4.0	762	

6	C17	16層	完	形	凝灰岩	10.1	9.8	6.7	671	
7	C17	16層	完	形	濃飛流紋岩	11.2	12.2	5.1	1047	同4
8	C18	16層	完	形	凝灰岩	11.7	12.0	6.1	867	

第31表 前田地点下層(旧石器)楔形石器一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	B8	17層	完	形	チャート	2.4	1.0	0.8	1.6	
2	B9	17層	完	形	下呂石	2.6	2.9	1.2	9.7	
3	B9	17層	完	形	下呂石	4.0	1.2	1.0	4.4	
4	B9	17層	下部欠損	形	下呂石	(3.6)	(3.0)	(0.8)	(8.8)	
5	B9	17層	完	形	下呂石	2.4	1.3	0.8	2.0	
6	C9	17層	完	形	チャート	2.6	2.8	1.0	6.5	
7	A10	17層	完	形	チャート	4.2	2.6	2.2	17.8	
8	B10	17層	完	形	チャート	3.5	2.4	1.6	11.9	
9	B10	17層	完	形	下呂石	4.2	3.4	1.8	20.5	第68図9
10	B10	17層	完	形	下呂石	3.5	2.3	0.7	5.0	同6
11	C10	17層	完	形	チャート	3.2	2.5	1.7	10.0	
12	B11	17層	完	形	チャート	2.1	1.6	1.3	4.0	
13	B11	17層	完	形	チャート	3.7	3.6	1.8	21.8	
14	B10	16層	完	形	下呂石	4.0	2.0	1.6	9.9	
15	B11	16層	完	形	チャート	3.1	1.3	0.7	2.2	
16	B11	16層	完	形	下呂石	2.0	5.0	1.8	17.6	
17	C11	16層	完	形	チャート	2.7	1.5	0.7	2.3	
18	B13	16層	完	形	下呂石	1.8	2.3	0.5	2.2	同7
19	B13	16層	完	形	チャート	3.4	1.5	1.0	5.2	
20	B13	16層	完	形	チャート	3.1	0.9	1.2	2.2	
21	B13	16層	完	形	チャート	2.7	1.1	0.8	2.1	
22	B13	16層	完	形	チャート	3.2	1.5	1.1	4.0	
23	C13	16層	完	形	チャート	2.5	1.3	0.8	3.7	
24	A14	16層	完	形	下呂石	4.4	2.8	1.9	17.9	同5
25	B14	16層	完	形	硬質頁岩	2.8	3.6	0.8	7.5	同8
26	B14	16層	完	形	下呂石	3.2	3.7	1.2	13.4	
27	B14	16層	完	形	下呂石	3.0	2.7	1.1	7.7	

第32表 前田地点下層(旧石器)細石刃核一覧表(単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	高さ	長さ	作業面長	作業面巾	重さ	打面角	挿図番号	
1	A9	17層	(再生剥片)	下呂石	(4.5)	—	(3.2)	(1.8)	(12.0)	—	第59図1	
2	C10	17層	完	形	黒曜石	2.5	2.0	2.6	2.1	10.6	68°	第58図1
3	C10	17層	完	形	黒曜石	2.1	1.4	2.1	1.6	4.8	65°	同2
4	C10	17層	完	形	チャート	2.6	3.5	2.3	1.9	19.8	64°	第59図2
5	A11	17層	完	形	チャート	2.3	3.8	1.8	2.9	27.4	77°	
6	A11	17層	完	形	チャート	2.0	3.1	1.7	2.6	19.2	59°	
7	B14	16層	打面一部欠損	形	下呂石	4.2	(1.9)	4.5	1.6	(10.5)	75°	同4
8	A15	16層	完	形	黒曜石	2.8	2.0	2.7	1.1	6.8	89°	同5
9	B19	表土	完	形	黒曜石	1.6	2.5	1.4	0.8	3.6	87°	同6

第33表 前田地点下層(旧石器)細石刃関連資料一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	種別	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B9	17層	細石刃核素材	完形	黒曜石	4.3	3.4	2.3	36.6	
2	C9	17層	打面形成削片	完形	黒曜石	4.3	2.2	0.9	8.0	第58図3a
3	C10	17層	細石刃核原形	完形	黒曜石	3.2	4.3	1.8	24.3	同3b
4	A16	16層	スキー状削片	完形	黒曜石	3.0	0.6	4.0	0.7	第59図3

第34表 前田地点下層(縄文)打製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	高さ	基部巾	刃部巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A11	15層	短冊	基部欠損	頁岩	(8.7)	—	4.6	1.6	(79)	第82図1
2	A19	12層	—	基部破片	安山岩	(5.9)	6.0	—	(2.0)	(83)	同2

第35表 前田地点下層(縄文)磨石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B9	15層	1/3 欠損	多孔質安山岩	11.1	(8.8)	3.4	(472)	
2	B9	15層	完形	多孔質安山岩	6.8	6.4	2.0	121	
3	B9	15層	完形	多孔質安山岩	7.4	6.3	4.5	264	
4	B9	15層	完形	多孔質安山岩	6.2	3.5	2.5	743	
5	B9	15層	完形	多孔質安山岩	7.1	4.9	3.1	145	
6	B9	15層	1/3 欠損	多孔質安山岩	7.7	(6.3)	(4.4)	(234)	
7	B9	15層	完形	多孔質安山岩	9.0	7.1	4.2	302	
8	A10	15層	完形	安山岩	8.5	6.0	3.6	243	
9	A10	15層	完形	多孔質安山岩	7.9	5.6	3.4	187	
10	A10	15層	完形	安山岩	8.8	5.9	5.4	311	
11	A10	15層	完形	安山岩	7.0	5.2	3.4	186	
12	A10	15層	完形	安山岩	12.1	6.3	4.6	168	
13	A11	15層	完形	砂岩	12.6	9.8	5.6	971	第76図1
14	C11	13層	完形	濃飛流紋岩	14.6	4.4	3.2	308	
15	C15	13層	完形	砂岩	11.9	9.1	3.0	421	
16	B17	13層	完形	砂岩	8.9	6.4	3.1	254	
17	A17	13層	完形	砂岩	10.6	6.4	4.1	410	
18	A18	13層	完形	濃飛流紋岩	13.9	7.0	4.1	559	
19	A18	13層	完形	濃飛流紋岩	10.3	7.9	5.3	596	
20	A18	13層	完形	砂岩	8.0	4.9	2.3	147	
21	A18	13層	一部欠損	凝灰岩	(14.0)	11.9	4.6	(1140)	
22	B18	13層	1/2 欠損	安山岩	(9.8)	(6.6)	(3.8)	(340)	
23	B18	13層	1/3 欠損	安山岩	(13.0)	9.1	4.5	(631)	
24	A19	13層	完形	石英斑岩	11.6	8.9	4.7	731	
25	B19	13層	1/2 欠損	砂岩	(11.0)	(10.4)	(4.9)	(650)	
26	B19	13層	完形	閃緑岩	10.1	9.9	3.5	537	
27	B19	13層	完形	砂岩	9.2	7.6	6.1	550	
28	B19	13層	完形	砂岩	15.8	9.8	4.6	1080	
29	B19	13層	完形	石英片麻石	10.5	8.6	3.3	488	
30	B19	13層	完形	多孔質安山岩	12.3	10.8	7.3	1320	
31	B19	13層	1/2 欠損	砂岩	(12.1)	(7.6)	(4.0)	(511)	
32	B19	13層	2/3 欠損	石英斑岩	(8.4)	(7.5)	(4.4)	(329)	
33	C19	13層	完形	濃飛流紋岩	11.7	8.2	4.4	588	
34	C19	13層	完形	流紋岩	11.6	9.6	6.0	866	



35	C 19	13層	完	形	砂	岩	11.4	8.7	2.7	422		
36	C 19	13層	完	形	閃	綠	12.0	4.8	3.3	270	同2	
37	C 19	13層	½	欠	損	閃	(5.3)	(5.7)	(2.9)	(106)		
38	C 19	13層	破	片	砂	岩	(4.6)	(7.3)	(3.5)	(115)		
39	C 19	13層	完	形	多孔質安山岩		14.2	10.6	6.8	1580		
40	C 19	13層	一	部	欠	損	砂	岩	12.3	7.4	4.5	(536)
41	C 19	13層	完	形	濃	飛	9.5	7.8	4.5	471		
42	C 19	13層	完	形	濃	飛	7.7	7.6	4.7	362		
43	B 20	13層	完	形	多	孔	11.5	10.5	6.3	1067		
44	B 20	13層	完	形	石	英	9.6	9.0	6.1	702		
45	C 20	13層	完	形	砂	岩	10.9	7.5	3.9	470		
46	C 20	13層	½	欠	損	砂	(12.3)	(4.6)	4.0	(273)		
47	C 20	13層	完	形	砂	岩	4.5	3.9	2.1	45		
48	C 20	13層	完	形	砂	岩	9.0	7.0	4.7	396	同3	
49	C 20	13層	完	形	濃	飛	12.7	10.7	5.1	1016		
50	C 20	13層	⅓	欠	損	砂	(11.0)	7.5	4.4	(572)		
51	C 20	13層	完	形	安	山	12.7	9.6	3.2	712		
52	C 20	13層	完	形	砂	岩	9.4	7.8	3.1	316		
53	C 20	13層	完	形	石	英	9.7	8.7	8.2	1120		
54	C 20	13層	⅓	欠	損	安	(11.3)	(9.5)	(4.0)	(471)		
55	C 20	13層	完	形	安	山	12.0	10.7	5.0	857		
56	C 24	13層	完	形	安	山	10.3	8.4	4.6	564		
57	C 7	12層	完	形	砂	岩	11.1	4.7	2.1	188		
58	C 11	12層	完	形	安	山	17.2	6.3	3.3	474		
59	A 13	12層	完	形	砂	岩	9.3	5.0	2.7	192		
60	B 14	12層	½	欠	損	砂	(9.6)	(6.5)	(4.5)	(320)		
61	B 14	12層	½	欠	損	砂	(7.2)	(7.2)	3.4	(209)		
62	B 16	12層	完	形	安	山	7.0	5.2	3.1	149		
63	B 17	12層	½	欠	損	砂	(7.2)	(8.8)	(6.2)	(431)		
64	C 17	12層	完	形	濃	飛	13.5	7.2	3.5	510		
65	A 18	12層	⅓	欠	損	安	(6.0)	(5.6)	(2.3)	(111)		
66	B 18	12層	完	形	砂	岩	11.4	6.1	3.7	399		
67	B 18	12層	一	部	欠	損	(10.3)	6.7	5.5	(457)		
68	B 18	12層	½	欠	損	濃	(8.4)	(7.3)	(4.3)	(359)		
69	B 18	12層	⅓	欠	損	砂	(9.3)	(5.4)	(3.2)	(181)		
70	C 18	12層	完	形	濃	飛	12.6	9.3	6.6	1080		
71	C 18	12層	⅓	欠	損	安	(15.0)	(6.9)	4.1	(464)		
72	A 19	12層	⅓	欠	損	飛	(11.0)	(7.6)	7.1	(670)		
73	B 19	12層	一	部	欠	損	凝	13.0	9.9	(3.2)	(544)	
74	B 19	12層	完	形	濃	飛	9.7	5.9	4.7	366		
75	C 19	12層	完	形	安	山	9.4	7.6	3.0	330		
76	B 20	12層	完	形	安	山	7.6	4.5	3.7	191		
77	B 20	12層	完	形	砂	岩	6.5	6.0	4.0	206		
78	B 5	11層	⅓	欠	損	多	(8.7)	7.6	3.6	(293)		
79	C 5	11層	½	欠	損	安	(8.8)	6.2	2.7	(265)		
80	C 6	11層	完	形	砂	岩	9.4	6.7	3.1	279		
81	C 6	11層	½	欠	損	砂	(9.1)	(5.2)	(5.7)	(332)		
82	B 7	11層	完	形	石	英	8.7	6.8	4.4	310		
83	B 7	11層	½	欠	損	石	(9.5)	(7.7)	(3.7)	(348)		
84	C 7	11層	½	欠	損	頁	(8.0)	8.0	2.3	(218)		
85	C 7	11層	破	片	安	山	(6.0)	(5.3)	(4.5)	(176)		
86	C 7	11層	完	形	安	山	12.0	7.9	4.5	595		
87	B 8	11層	一	部	欠	損	閃	(9.5)	7.4	4.3	(430)	

88	B8	11層	破	片	砂	岩	(7.2)	(6.1)	(1.3)	(76)		
89	C9	11層	完	形	安	山	7.9	6.6	3.4	254		
90	C9	11層	完	形	多孔質	安山岩	8.2	5.6	4.5	240		
91	C9	11層	完	形	多孔質	安山岩	5.4	5.3	3.0	138		
92	C9	11層	完	形	多孔質	安山岩	8.3	6.3	3.2	234		
93	C17	11層	完	形	多孔質	安山岩	8.8	7.4	5.0	461		
94	B6	10層	完	形	飛驒片	麻岩	11.2	5.7	4.0	404		
95	C6	10層	1/2	欠	損	安	山	岩	(7.3)	8.9	3.3	(323)
96	C6	10層	完	形	砂	岩	8.9	6.4	4.6	351		
97	C18	9層	完	形	安	山	10.8	7.8	3.8	478		
98	C18	9層	完	形	安	山	11.1	6.0	4.5	549		
99	C18	9層	完	形	安	山	10.2	7.8	3.5	364		

第36表 前田地点下層(縄文)凹石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石	質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号			
1	A7	15層	完	形	多孔質	安山岩	9.0	7.0	6.1	448			
2	A9	15層	破	片	凝	灰	岩	(8.0)	(7.2)	(1.2)	(92)		
3	B16	13層	完	形	砂	岩	14.0	8.3	4.4	697			
4	C17	13層	完	形	安	山	10.6	9.2	5.1	680			
5	C17	13層	完	形	多孔質	安山岩	10.7	8.0	5.3	681	第76図4		
6	A18	13層	完	形	濃飛	流紋岩	11.2	8.9	4.3	558			
7	A18	13層	完	形	多孔質	安山岩	10.7	7.1	3.4	334			
8	C18	13層	完	形	砂	岩	11.5	8.7	3.5	495			
9	B19	13層	完	形	濃飛	流紋岩	11.2	8.1	5.3	727			
10	B19	13層	完	形	多孔質	安山岩	12.5	10.0	4.5	795			
11	B19	13層	1/2	欠	損	安	山	岩	(5.8)	6.8	4.3	(236)	
12	C19	13層	完	形	石英	斑	岩	12.3	6.7	2.6	318		
13	B20	13層	完	形	砂	岩	12.3	10.2	4.5	825			
14	C20	13層	一部	欠	損	凝	灰	岩	(10.2)	6.9	3.2	(319)	同5
15	C20	13層	完	形	安	山	12.7	11.7	4.8	1120			
16	C20	13層	完	形	砂	岩	11.5	5.7	4.4	398			
17	C20	13層	完	形	濃飛	流紋岩	11.6	9.7	5.2	791			
18	C20	13層	完	形	砂	岩	15.2	12.1	5.0	1400			
19	C20	13層	一部	欠	損	閃	緑	岩	14.5	(7.9)	4.4	(687)	
20	B9	12層	完	形	砂	岩	13.1	8.5	5.5	638			
21	A10	12層	1/3	欠	損	多孔質	安山岩	(7.2)	6.6	3.5	(196)		
22	B18	12層	完	形	濃飛	流紋岩	15.6	12.4	6.2	1530			
23	B19	12層	完	形	多孔質	安山岩	9.4	7.9	3.4	341			
24	C19	12層	1/2	欠	損	凝	灰	岩	(8.0)	6.0	4.2	(298)	
25	C4	11層	完	形	安	山	9.5	7.4	4.0	396			
26	B5	11層	1/3	欠	損	凝	灰	岩	(8.5)	5.7	2.8	(202)	
27	C6	11層	完	形	濃飛	流紋岩	11.2	6.3	2.9	274			
28	B8	11層	完	形	安	山	12.6	8.1	6.9	775	同7		
29	C11	11層	完	形	閃	緑	岩	11.8	6.6	3.3	379	同6	

第37表 前田地点下層(縄文)敲石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石	質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号			
1	A7	15層	完	形	硬質	頁	岩	8.0	6.6	4.1	251		
2	A11	15層	完	形	輝	緑	凝	灰	岩	11.3	8.4	6.1	821

3	B11	15層	完	形	輝緑凝灰岩	9.2	7.3	3.5	378	
4	B15	13層	完	形	濃飛流紋岩	8.9	7.9	5.4	445	第76図9
5	A16	13層	完	形	ハンレイ岩	9.2	11.0	2.3	434	同8
6	B17	13層	完	形	飛驒片麻岩	15.0	11.2	8.9	1760	
7	C20	13層	完	形	安山岩	13.5	5.7	3.7	398	
8	C16	12層	完	形	安山岩	11.7	4.8	3.0	223	同10
9	B19	12層	完	形	輝緑凝灰岩	8.1	5.1	4.5	239	
10	B5	11層	完	形	砂岩	13.4	10.5	5.2	856	
11	B5	11層	完	形	凝灰岩	8.5	2.2	2.9	150	
12	C5	11層	½	欠損	砂岩	(7.3)	5.6	3.2	(198)	
13	C7	11層	完	形	凝灰岩	7.0	5.7	2.1	141	
14	C7	11層	完	形	凝灰岩	7.0	8.6	2.9	256	

第38表 前田地点下層(縄文)台石一覽表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	B9	15層	完	形	濃飛流紋岩	24.8	8.9	5.2	2.74	第77図1
2	C15	13層	破	片	砂岩	(11.6)	(10.7)	(5.8)	(0.74)	
3	B15	13層	完	形	濃飛流紋岩	17.1	15.4	3.1	(0.99)	同4
4	A16	13層	完	形	安山岩	14.3	12.0	6.0	(1.47)	
5	A17	13層	完	形	濃飛流紋岩	16.4	13.1	4.7	1.80	
6	A17	13層	破	片	砂岩	(7.9)	(5.9)	(3.8)	(0.19)	
7	A18	13層	完	形	砂岩	16.5	12.8	7.7	2.22	同3
8	B18	13層	完	形	濃飛流紋岩	21.2	15.7	9.8	4.74	
9	B19	13層	完	形	砂岩	20.8	10.9	4.8	1.60	
10	C20	13層	一部	欠損	濃飛流紋岩	(17.8)	11.7	5.0	(1.90)	
11	C20	13層	½	欠損	砂岩	(17.1)	(13.9)	(6.4)	(2.30)	同5
12	C20	13層	完	形	砂岩	23.9	15.6	6.9	3.10	同2
13	C20	13層	完	形	濃飛流紋岩	17.8	13.5	6.8	2.82	
14	C20	13層	破	片	砂岩	(8.2)	(11.0)	(4.3)	(0.51)	
15	A16	12層	破	片	濃飛流紋岩	(7.6)	(6.5)	(3.0)	(0.25)	
16	C16	12層	½	欠損	濃飛流紋岩	19.1	15.1	(4.5)	(1.44)	
17	A18	12層	破	片	濃飛流紋岩	(11.6)	(6.0)	2.9	(0.34)	
18	B19	12層	破	片	花崗閃緑岩	(7.0)	(5.5)	(5.8)	(0.38)	
19	B7	11層	完	形	飛驒片麻岩	17.4	16.6	4.9	(2.26)	同7
20	C7	11層	完	形	輝緑凝灰岩	22.2	13.9	6.5	(2.85)	同6
21	B8	11層	一部	欠損	安山岩	(11.6)	11.4	3.6	(0.74)	
22	C17	11層	破	片	砂岩	(12.0)	(6.6)	(7.6)	(1.76)	

第39表 前田地点下層(縄文)石鏃一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	C9	15層	II	完	形	珪質凝灰岩	3.3	1.3	0.5	1.7	第78図1
2	B13	15層	II	完	形	チャート	1.4	1.3	0.3	0.5	同2
3	A14	15層	II	先端	欠損	下呂石	(4.2)	1.1	0.3	(0.9)	同3
4	C8	14層	II	片脚	欠損	チャート	1.6	(1.2)	0.3	(0.4)	同4
5	B10	13層	I	完	形	チャート	2.0	1.1	0.3	0.7	同5
6	B14	13層	I	完	形	チャート	2.4	1.3	0.5	1.2	同7
7	A15	13層	I	先端・片脚	欠損	珪質凝灰岩	(2.9)	(1.4)	0.4	(1.0)	
8	C20	13層	I	片脚	欠損	チャート	2.3	(1.1)	0.3	(0.5)	同6
9	B4	12層	I	片脚	欠損	チャート	1.4	(1.0)	0.3	(0.3)	同10

10	C 14	12層	I	完形	チャート	1.9	1.8	0.4	0.7	同8
11	C 16	12層	I	脚部欠損	チャート	(2.7)	(1.4)	0.5	(1.4)	同15
12	A 16	11層	I	完形	チャート	2.1	2.2	0.5	1.2	同13
13	B 17	11層	I	先端欠損	チャート	(1.5)	1.6	0.4	(0.4)	同12
14	A 19	11層	I	完形	チャート	2.2	1.5	0.4	0.5	同14
15	A 19	11層	I	先端欠損	輝石安山岩	(1.6)	2.0	0.5	(1.0)	同9
16	A 21	11層	I	完形	チャート	1.6	1.4	0.3	0.4	同11

第40表 前田地点下層(縄文)有舌尖頭器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C 10	15層	完形	下呂石	4.1	1.2	0.5	2.0	第78図16
2	C 17	15層	先端欠損	チャート	(3.8)	1.7	0.8	(4.3)	同17
3	C 5	11層	基部欠損	下呂石	(4.0)	1.4	0.5	(2.3)	同18

第41表 前田地点下層(縄文)尖頭器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B 7	15層	破片	輝石安山岩	(3.3)	(1.0)	(0.6)	(1.8)	
2	B 7	15層	破片	輝石安山岩	(3.5)	(1.0)	(0.5)	(1.5)	
3	A 10	15層	胴部破片	下呂石	(4.1)	4.8	1.9	(46.4)	
4	B 10	15層	基部欠損	チャート	(5.4)	2.2	1.0	(10.7)	第78図19
5	C 10	15層	完形	安山岩	8.5	2.6	2.0	36.0	同21
6	C 10	15層	基部欠損	下呂石	(6.9)	(1.9)	(1.1)	(10.3)	同20

第42表 前田地点下層(縄文)先刃搔器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B 9	15層	完形	硬質頁岩	3.9	3.0	1.1	15.8	第79図2
2	C 10	15層	完形	チャート	3.8	3.4	1.3	22.4	同1
3	A 11	15層	完形	珪質頁岩	3.3	3.4	1.3	13.0	

第43表 前田地点下層(縄文)スクレイパー I 類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B 8	15層	完形	下呂石	6.0	3.3	0.2	17.9	第79図5
2	A 9	15層	完形	下呂石	8.4	5.5	2.2	85.0	
3	B 9	15層	完形	片岩	4.1	4.9	1.0	22.4	
4	B 10	15層	完形	チャート	2.5	5.9	1.9	26.0	
5	B 10	15層	完形	輝石安山岩	4.2	3.6	0.8	9.7	同4
6	B 10	15層	1/3欠損	輝石安山岩	3.9	(2.0)	0.6	(6.4)	
7	B 11	15層	完形	下呂石	4.7	2.7	0.8	10.5	同3
8	B 12	15層	完形	チャート	3.2	4.0	1.0	11.5	
9	B 12	15層	一部欠損	硬質頁岩	(5.0)	(1.8)	0.7	(6.6)	同6
10	A 14	15層	完形	下呂石	1.4	3.2	0.6	2.5	
11	B 14	13層	完形	珪質凝灰岩	6.0	3.7	1.3	36.5	
12	C 15	13層	完形	下呂石	4.2	4.4	0.7	15.9	同7
13	A 17	13層	完形	チャート	2.4	2.6	0.7	2.4	
14	A 17	13層	2/3欠損	黒曜岩	(2.1)	3.5	(0.9)	(7.5)	

15	A18	13層	完	形	流紋岩	5.5	7.5	2.9	87.3	
16	B18	13層	完	形	黒曜岩	6.0	2.7	1.2	19.6	同8
17	B19	13層	½欠	損	珪質頁岩	(5.1)	(3.8)	(1.6)	(27.1)	
18	C14	12層	完	形	チャート	3.7	4.7	1.3	22.9	
19	C5	11層	完	形	下呂石	2.3	3.6	0.6	6.5	
20	C5	11層	完	形	流紋岩	6.0	7.1	1.5	51.8	
21	C6	11層	½欠	損	珪質頁岩	2.3	(2.5)	(0.4)	(2.0)	
22	B9	11層	完	形	凝灰岩	5.9	7.2	0.8	49.2	
23	C9	11層	完	形	粘板岩	5.4	7.4	1.0	55.9	
24	C7	10層	完	形	頁岩	3.4	7.7	0.9	29.7	

第44表 前田地点下層(縄文) スクレイパーⅡ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	B8	15層	完	形	下呂石	3.3	3.2	1.5	10.2	
2	B8	15層	完	形	珪質凝灰岩	2.5	2.9	0.7	4.3	
3	B9	15層	完	形	凝灰岩	7.3	8.7	2.2	100.0	
4	B10	15層	完	形	チャート	5.6	3.6	1.7	34.1	
5	C10	15層	完	形	チャート	4.0	5.2	2.1	36.4	
6	C10	15層	完	形	チャート	2.8	2.8	1.2	9.0	
7	C10	15層	完	形	下呂石	4.6	3.8	1.6	31.7	
8	A11	15層	完	形	輝石安山岩	1.9	2.7	0.5	2.6	
9	A11	15層	完	形	角閃安山岩	3.5	2.9	0.9	12.0	
10	A11	15層	完	形	下呂石	2.7	4.0	1.5	12.4	
11	B11	15層	完	形	下呂石	4.4	4.1	2.2	30.0	
12	B11	15層	完	形	輝石安山岩	6.2	3.4	1.6	36.2	
13	B12	15層	完	形	下呂石	2.2	3.0	0.7	4.5	
14	B13	15層	完	形	下呂石	5.8	1.8	0.9	15.6	
15	A18	13層	完	形	メノウ	3.6	2.2	1.2	10.6	
16	B11	12層	完	形	チャート	4.2	2.5	0.8	9.1	
17	C11	12層	完	形	チャート	1.4	3.7	0.5	3.1	
18	A13	12層	完	形	チャート	2.7	3.1	0.6	8.7	

第45表 前田地点下層(縄文) スクレイパーⅢ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	A9	15層	完	形	珪質頁岩	5.5	3.0	1.3	20.8	第80図1
2	B9	15層	完	形	珪質頁岩	3.1	1.4	0.3	1.9	
3	A10	15層	完	形	硬質頁岩	3.5	2.1	0.7	6.1	
4	B10	15層	完	形	チャート	2.2	2.3	1.4	5.1	
5	C10	15層	完	形	チャート	8.9	2.0	0.7	4.1	
6	C10	15層	打面欠	損	輝石安山岩	2.2	3.7	0.6	2.6	同3
7	C19	15層	完	形	チャート	3.9	2.9	1.0	13.3	
8	C10	15層	完	形	珪質頁岩	1.9	3.0	0.9	5.9	
9	C10	15層	完	形	チャート	2.4	2.1	0.4	3.1	
10	A11	15層	完	形	チャート	3.5	2.0	0.8	5.7	同2
11	A11	15層	完	形	輝石安山岩	1.8	3.8	0.5	2.9	
12	A11	15層	完	形	輝石安山岩	2.2	4.3	1.1	9.1	
13	B11	15層	完	形	下呂石	5.9	1.8	1.5	9.5	
14	B11	15層	完	形	輝石安山岩	2.6	3.3	1.2	12.1	
15	B11	15層	完	形	チャート	3.3	3.1	1.5	16.1	

16	C12	13層	完	形	チャート	1.9	1.9	0.6	2.3	
17	C15	13層	完	形	珪質頁岩	3.1	3.5	0.8	9.5	同4
18	C18	13層	完	形	チャート	3.2	2.3	1.0	7.4	
19	C20	13層	完	形	チャート	2.9	4.5	1.9	22.0	
20	B6	12層	完	形	チャート	4.6	2.5	1.1	13.8	
21	C11	12層	完	形	下呂石	2.4	3.8	0.7	6.4	
22	C11	12層	完	形	珪質頁岩	2.8	4.5	0.7	11.1	
23	A11	12層	完	形	チャート	5.5	4.2	2.3	43.3	
24	A13	12層	完	形	珪質頁岩	8.2	4.8	1.9	48.8	同5
25	C16	12層	完	形	チャート	2.1	1.4	0.2	0.6	
26	B20	12層	完	形	チャート	1.7	1.3	0.5	1.1	
27	C4	11層	完	形	硬質頁岩	1.9	2.2	0.2	1.2	
28	C5	11層	完	形	流紋岩	2.4	2.3	0.3	2.2	
29	B6	11層	完	形	輝石安山岩	2.3	3.9	0.7	5.7	
30	C7	11層	完	形	頁岩	5.5	10.2	1.0	51.2	
31	C8	11層	破	片	下呂石	(1.3)	(4.1)	(0.9)	(5.6)	
32	C6	10層	完	形	安山岩	5.3	7.4	1.1	43.6	
33	C18	9層	完	形	チャート	3.8	3.3	1.1	13.0	

第46表 前田地点下層(縄文) 鍬状削器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	B7	15層	完	形	輝石安山岩	1.9	1.4	0.8	1.5	第80図6
2	B7	15層	完	形	硬質頁岩	1.9	1.2	0.7	1.2	

第47表 前田地点下層(縄文) 石錐一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	C5	11層	I	完	形	チャート	3.0	2.5	0.8	4.5	第80図9

第48表 前田地点下層(縄文) 磨製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C18	13層	定	基部破片	緑色凝灰岩	(3.3)	(5.3)	(2.8)	(83.8)	
2	B19	13層	定	刃部破片	緑色凝灰岩	(6.2)	(5.7)	(3.3)	(174.2)	第81図1
3	C19	13層	その他	基部欠損	頁岩	(6.7)	3.6	(1.9)	(56.2)	
4	C21	13層	その他	刃部・基部欠損	蛇紋岩	(7.3)	4.8	1.9	(81.9)	同2
5	A13	12層	その他	完形	砂岩	4.5	2.4	0.8	12.5	同4
6	B14	12層	その他	基部欠損	蛇紋岩	(7.9)	(5.5)	(1.7)	(106.3)	同6
7	C15	12層	その他	刃部欠損	凝灰岩	(11.5)	5.3	1.8	(147.5)	同5
8	B17	12層	その他	刃部欠損	頁岩	(2.8)	2.1	0.6	(3.9)	同3
9	C5	11層	その他	刃部欠損	頁岩	8.0	4.7	1.5	(77.9)	
10	C6	11層	その他	刃部欠損	安山岩	(8.4)	(6.5)	2.7	(199.1)	同8
11	B7	11層	その他	基部欠損	デイサイト	(6.6)	5.1	1.8	(102.6)	同9
12	B7	11層	その他	刃部欠損	頁岩	(7.5)	3.9	1.3	(61.8)	同7
13	A9	11層	その他	胴部破片	頁岩	(6.0)	4.8	1.4	(63.4)	

第49表 前田地点下層(縄文) 砥石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B17	13層	完形	砂岩	8.3	7.1	2.0	139	第82図1
2	C18	13層	完形	砂岩	9.4	4.5	2.0	78	
3	B19	13層	完形	砂岩	7.2	13.9	1.9	246	同3
4	C20	13層	完形	飛驒片麻岩	8.9	5.5	1.6	73	
5	C20	13層	完形	砂岩	4.0	5.6	1.2	28	同6
6	B18	12層	完形	砂岩	5.8	7.3	1.6	102	同5

第50表 前田地点下層(縄文) 擦切石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A19	13層	完形	砂岩	9.3	17.1	4.7	980	第82図11
2	C20	13層	完形	閃緑岩	5.0	10.3	3.2	169	同9
3	C17	12層	完形	安山岩	6.1	11.4	3.5	303	同10
4	C17	12層	完形	砂岩	4.7	7.8	1.5	56	同7
5	B5	11層	完形	頁岩	5.7	5.0	1.1	41	
6	C7	11層	完形	凝灰岩	7.4	9.9	2.2	154	同8
7	C7	11層	完形	頁岩	5.9	6.3	0.8	36	
8	C9	11層	完形	頁岩	3.3	8.9	0.7	38	

第51表 前田地点下層(縄文) 礫石錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	C4	11層	完形	安山岩	1.3	1.3	8.0	7.5	5.6	2.5	178	第82図12
2	B20	9層	完形	凝灰質流紋岩	0.8	1.2	5.3	5.0	3.5	1.8	31	同13

第52表 前田地点下層(縄文) 礫器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B11	15層	完形	凝灰岩	9.7	8.0	5.0	535	
2	B12	15層	完形	濃飛流紋岩	10.4	11.5	5.1	760	
3	C17	13層	完形	砂岩	8.2	4.6	3.0	169	
4	B18	13層	完形	安山岩	6.8	7.4	3.2	217	
5	C18	13層	完形	砂岩	11.6	14.1	4.2	770	
6	C18	13層	完形	飛驒片麻岩	10.3	5.1	3.2	238	
7	C19	13層	完形	砂岩	11.9	9.7	3.1	434	
8	C19	13層	完形	安山岩	11.6	11.7	3.2	609	
9	C20	13層	完形	凝灰岩	9.2	7.1	3.3	272	
10	C20	13層	完形	輝緑凝灰岩	6.3	5.5	4.1	150	
11	C16	12層	完形	濃飛流紋岩	10.1	10.5	4.6	671	
12	B6	11層	完形	輝緑凝灰岩	8.1	11.1	3.9	344	第83図1
13	C6	11層	完形	輝緑凝灰岩	11.1	12.6	5.9	1245	
14	C7	11層	完形	安山岩	5.3	10.8	3.8	212	
15	C7	11層	完形	凝灰岩	10.5	6.2	3.2	310	
16	C7	11層	完形	頁岩	10.2	7.3	4.5	304	
17	C7	11層	完形	飛驒片麻岩	9.8	10.0	4.7	488	同2
18	C7	11層	完形	飛驒片麻岩	10.3	28.5	10.2	3800	
19	A9	11層	完形	閃緑岩	11.1	14.1	6.1	1240	

20	C23	11層	完	形	濃飛流紋岩	8.7	8.7	4.4	360	
21	C7	10層	完	形	頁岩	7.1	6.7	3.4	189	
22	C18	9層	完	形	安山岩	9.9	9.0	3.2	381	同3

第53表 前田地点下層(縄文)楔形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	C7	15層	完	形	下呂石	1.9	2.8	0.4	2.3	
2	B10	15層	完	形	下呂石	3.9	3.5	0.9	13.6	
3	B10	15層	完	形	下呂石	3.4	2.6	0.9	8.0	第80図7
4	C10	15層	完	形	チャート	4.1	3.1	1.2	16.5	
5	A11	15層	完	形	チャート	2.7	1.7	1.2	5.1	
6	A11	15層	完	形	チャート	2.9	2.1	0.9	4.8	
7	C9	12層	完	形	チャート	5.0	2.0	1.5	18.5	
8	C17	12層	完	形	チャート	3.0	2.7	1.2	4.4	同8
9	C6	11層	完	形	輝石安山岩	3.7	1.9	0.8	4.8	
10	C6	11層	完	形	チャート	2.3	1.1	0.7	1.8	
11	C10	11層	完	形	輝石安山岩	5.3	1.1	0.8	4.1	

第54表 前田地点下層(縄文)異形部分磨製石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B4	—	一部欠損	チャート	2.5	(1.7)	0.5	(2.3)	第80図10

第55表 宮ノ前地点打製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	長さ	基部巾	刃部巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	11	4層	短a	完	形	凝灰岩	13.6	3.5	4.9	3.0	250
2	32	3層	—	基部欠損	頁岩	(10.8)	—	4.7	2.7	(135)	
3	32	4層	短a	完	形	頁岩	8.5	3.8	4.1	2.8	90
4	11	3層	短a	完	形	頁岩	10.5	3.0	3.5	1.5	78
5	7	4層	短b	完	形	頁岩	11.2	5.2	6.7	2.9	275
6	17	2層	撥a	完	形	凝灰岩	9.7	3.8	6.3	2.1	167
7	32	3層	短b	完	形	砂岩	10.6	4.3	6.2	2.9	202
8	7	4層	短b	完	形	安山岩	12.8	5.9	7.8	2.9	367
9	25	3層	—	刃部欠損	頁岩	(10.5)	5.5	—	1.8	(151)	
10	11	4層	短a	完	形	頁岩	13.0	4.7	3.6	2.7	195
11	5	4層	短b	完	形	頁岩	8.3	3.7	4.7	1.8	89
12	7	4層	—	刃部欠損	安山岩	(11.2)	6.6	—	3.4	(286)	
13	7	4層	短b	完	形	濃飛流紋岩	13.2	5.9	8.3	3.1	447
14	11	4層	短b	完	形	頁岩	9.9	4.1	5.0	1.9	135
15	7	4層	—	基部欠損	安山岩	(12.1)	—	9.8	3.8	(524)	
16	14	2層	短a	完	形	頁岩	15.2	5.2	6.1	2.0	329
17	23	4層	—	基部欠損	頁岩	(11.5)	—	4.9	1.9	(129)	
18	32	3層	短a	完	形	頁岩	13.0	5.0	5.5	2.3	234
19	17	2層	短b	完	形	頁岩	10.9	3.1	5.5	1.3	85
20	32	3層	—	基部破片	頁岩	12.4	—	4.3	2.2	(161)	
21	11	4層	短b	完	形	頁岩	11.1	4.7	5.8	2.2	222
22	22	4層	—	基部欠損	頁岩	(8.1)	—	3.3	1.3	(47)	
23	22	4層	短a	完	形	頁岩	10.0	3.4	5.0	2.2	124



24	21	4層	—	刃部欠損	閃綠岩	21.6	4.1	—	3.0	(726)
25	38	3·4層	—	基部欠損	安山岩	(8.2)	—	7.2	2.9	(364)
26	31	3層	—	刃部欠損	頁岩	(9.8)	4.9	—	1.3	(100)
27	23	4層	—	基部欠損	閃綠岩	7.7	—	6.9	(2.7)	(251)
28	22	3層	—	刃部欠損	頁岩	8.9	3.5	—	1.7	(94)
29	38	3·4層	—	基部欠損	凝灰岩	(5.5)	—	5.9	2.5	(196)
30	11	3層	—	基部欠損	頁岩	(7.0)	—	5.3	2.5	(205)
31	23	4層	短b	完形	頁岩	9.6	4.0	5.2	3.0	173
32	26	4層	—	基部欠損	頁砂岩	(14.2)	—	7.8	2.7	(357)
33	23	4層	—	基部欠損	飛驒片麻岩	(11.4)	—	8.6	(2.4)	(330)
34	27	4層	—	基部欠損	凝灰岩	11.8	—	9.0	(2.6)	(346)
35	7	4層	—	基部欠損	石英斑岩	(10.4)	—	7.9	(4.1)	(428)
36	22	3層	—	基部欠損	頁岩	(13.6)	—	5.2	3.0	(312)
37	27	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	10.8	—	5.3	2.1	(143)
38	2	2層	短a	完形	頁岩	16.3	5.3	7.4	3.9	427
39	6	3層	短a	完形	安山岩	13.4	4.6	5.2	2.4	215
40	10	3層	短a	完形	安山岩	14.0	5.2	5.8	2.3	281
41	5	4層	—	基部欠損	頁岩	(14.8)	—	5.8	2.5	(291)
42	10	3層	短b	完形	安山岩	12.9	5.5	7.7	2.3	282
43	24	4層	—	基部欠損	頁岩	(11.8)	—	5.5	2.4	(165)
44	3	4層	—	基部欠損	凝灰岩	(10.2)	—	6.1	3.2	(183)
45	11	4層	—	基部欠損	安山岩	(9.9)	—	6.8	2.1	(192)
46	23	4層	短a	完形	頁岩	11.4	3.2	3.9	2.0	131
47	23	3層	短a	完形	頁岩	10.6	4.6	4.9	2.4	168
48	31	4層	短b	完形	頁岩	10.5	4.3	5.3	1.9	141
49	11	4層	短b	完形	頁岩	6.8	3.5	3.6	1.4	49
50	3	4層	短a	完形	凝灰岩	8.1	3.1	3.4	1.1	53
51	7	4層	—	基部欠損	飛驒片麻岩	(6.2)	—	5.9	1.8	(136)
52	11	4層	短a	完形	頁岩	10.7	4.2	5.0	2.3	149
53	2	4層	—	刃部一部欠損	安山岩	10.1	3.4	(4.9)	2.7	(183)
54	4	4層	—	基部一部欠損	頁岩	(11.0)	—	6.7	2.2	(161)
55	37	4層	—	基部欠損	凝灰岩	13.8	—	6.1	1.7	(173)
56	26	4層	—	基部欠損	凝灰岩	(13.3)	—	8.2	3.1	(352)
57	31	3層	短a	完形	安山岩	15.1	5.2	7.1	3.1	396
58	25	4層	短b	完形	頁岩	15.1	5.0	7.6	3.1	431
59	5	3層	—	基部欠損	頁岩	(15.1)	—	4.5	2.0	(168)
60	11	3層	短a	完形	頁岩	12.7	4.3	4.4	1.9	158
61	6	4層	短b	完形	頁岩	11.8	5.9	7.1	2.7	312
62	22·23拵	4層	短a	完形	頁岩	9.6	4.9	3.9	1.6	101
63	44	3層	短a	完形	安山岩	11.4	4.7	4.8	2.4	190
64	23	4層	—	刃部欠損	安山岩	(10.1)	4.5	—	1.8	(134)
65	22·23拵	4層	短b	完形	頁岩	10.2	4.6	5.8	2.1	171
66	23	4層	短b	完形	凝灰岩	10.5	4.1	5.6	2.2	145
67	22·23拵	4層	—	基部一部欠損	凝灰岩	12.8	(2.5)	5.8	1.4	(138)
68	22·23拵	4層	短b	完形	凝灰岩	12.8	5.0	7.2	2.9	371
69	32	3層	短a	完形	頁岩	9.4	3.5	4.4	1.9	95
70	35	3層	—	刃部欠損	頁岩	(8.7)	4.6	—	2.1	(123)
71	34	3層	短a	完形	頁岩	9.5	4.4	4.5	1.8	116
72	34	3層	短b	完形	頁岩	8.6	3.4	4.8	1.5	94
73	32	3層	—	基部欠損	頁岩	(10.6)	—	4.7	1.9	(125)
74	23	4層	—	刃部欠損	頁岩	(9.5)	3.9	—	1.2	(95)
75	23	4層	—	刃部·一部欠損	頁岩	10.4	2.8	(5.3)	1.5	(96)
76	22·23拵	4層	短b	完形	凝灰岩	8.8	3.7	4.9	1.6	102

77	22·23	4層	—	刃部·基部欠損	凝 灰 岩	(3.8)	—	—	2.9	(383)
78	22·23	4層	—	刃部欠損	頁 岩	(11.3)	3.9	—	2.7	(214)
79	12	4層	—	刃部欠損	頁 岩	(7.7)	3.8	—	1.9	(61)
80	32	3層	—	刃部·基部欠損	頁 岩	8.3	—	—	2.1	(140)
81	14	2層	—	刃部·基部欠損	頁 岩	(6.8)	—	—	1.9	(140)
82	25	4層	—	刃部欠損	頁 岩	(6.4)	3.2	—	1.2	(51)
83	17	2層	—	胴部破片	多孔質安山岩	(6.2)	—	—	2.3	(175)
84	31	4層	—	胴部破片	頁 岩	(5.1)	—	—	(2.1)	(104)
85	11	4層	—	胴部破片	頁 岩	(4.7)	—	—	(1.3)	(55)
86	13	4層	—	胴部破片	頁 岩	(4.0)	—	—	(1.8)	(60)
87	18	2層	—	刃部欠損	頁 岩	(7.0)	3.1	—	1.6	(76)
88	1	4層	—	基部破片	頁 岩	(6.2)	4.0	—	1.8	(67)
89	23	4層	—	基部欠損	頁 岩	(9.2)	—	3.8	2.2	(81)
90	23	4層	—	刃部欠損	頁 岩	(8.9)	2.7	—	1.4	(60)
91	2	4層	—	刃部破片	頁 岩	(7.8)	—	5.0	1.2	(60)
92	2	4層	—	基部欠損	頁 岩	(8.5)	—	5.0	(1.7)	(89)
93	26	4層	—	基部欠損	頁 岩	(8.4)	—	4.9	2.1	(105)
94	6	3層	—	基部欠損	頁 岩	(9.3)	—	5.8	1.8	(133)
95	1	4層	—	基部欠損	頁 岩	(7.2)	—	4.9	1.9	(81)
96	25	4層	—	基部破片	安 山 岩	(5.9)	4.8	—	(2.4)	(94)
97	38	3·4層	—	基部破片	頁 岩	(1.7)	2.6	—	(2.1)	(16)
98	23	4層	—	基部破片	頁 岩	(4.9)	2.8	—	(1.1)	(24)
99	32	3層	—	基部破片	頁 岩	(4.6)	4.1	—	(2.8)	(65)
100	31	4層	—	刃部破片	頁 岩	(4.5)	—	4.8	(2.4)	(57)
101	31	3層	—	刃部欠損	凝 灰 岩	(7.1)	5.7	—	1.3	(95)
102	11	3層	—	刃部欠損	頁 岩	(7.5)	4.2	—	2.4	(121)
103	24	4層	—	基部破片	頁 岩	7.3	2.9	—	(1.8)	(79)
104	23	4層	—	基部破片	頁 岩	(6.2)	4.3	—	2.3	(83)
105	27	3層	—	刃部欠損	安 山 岩	(11.2)	5.8	—	3.5	(446)
106	24	4層	—	刃部欠損	安 山 岩	(10.5)	4.9	—	2.5	(187)
107	21	3層	—	刃部欠損	頁 岩	(10.4)	5.4	—	1.7	(179)
108	7	4層	—	刃部·基部欠損	凝 灰 岩	(11.3)	—	—	2.9	(319)
109	38	3·4層	短 b	完 形	凝 灰 岩	11.5	5.7	6.2	2.0	259
110	28~30	2層	—	刃部欠損	砂 岩	(13.5)	6.5	—	3.5	(465)
111	3	3層	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	(10.8)	4.9	—	3.0	(253)
112	28~30	2層	—	刃部欠損	砂 岩	(9.6)	7.0	—	3.4	(326)
113	37	3·4層	—	刃部欠損	頁 岩	(11.0)	3.0	—	2.4	(118)
114	34	3層	—	基部欠損	頁 岩	(6.9)	—	4.4	2.6	(121)
115	11	3層	—	刃部欠損	頁 岩	(11.0)	2.8	—	1.8	(73)
116	22·23	4層	短 a	完 形	頁 岩	9.9	3.6	4.1	2.1	112
117	35	3層	—	刃部·一部欠損	頁 岩	9.2	3.3	—	1.5	(88)
118	25	4層	—	刃部欠損	頁 岩	(8.2)	3.7	—	1.3	(60)
119	23	4層	—	刃部欠損	凝 灰 岩	(10.9)	4.4	—	3.0	(241)
120	21	3層	—	刃部·一部欠損	頁 岩	(15.4)	3.4	(5.1)	1.6	(146)
121	41	3·4層	—	基部欠損	頁 岩	(8.2)	—	8.5	2.2	(161)
122	23	3層	撥 b	完 形	頁 岩	11.4	3.2	4.8	1.7	106
123	26	4層	短 a	完 形	頁 岩	9.2	3.2	3.8	1.7	80
124	31	3層	—	基部欠損	頁 岩	(11.7)	—	4.5	2.1	(151)
125	24	4層	—	基部欠損	頁 岩	(8.4)	—	4.4	1.5	(87)
126	25	4層	撥 a	完 形	頁 岩	8.3	2.4	4.3	1.3	48
127	27	4層	撥 a	完 形	頁 岩	11.1	3.1	5.6	2.0	154
128	22	4層	—	基部欠損	凝 灰 岩	(9.5)	—	5.9	1.5	(94)
129	23	3層	短 a	完 形	頁 岩	11.4	4.7	5.2	2.9	242

130	24	4層	—	基部欠損	頁岩	(10.0)	—	5.6	2.1	(145)
131	38	3·4層	—	胴部一部欠損	安山岩	12.6	3.0	3.8	2.1	(165)
132	24	4層	—	刃部欠損	頁岩	(12.4)	4.8	—	2.5	(195)
133	22·23拵	4層	—	基部欠損	濃飛流紋岩	(15.4)	—	7.5	4.0	(640)
134	22·23拵	4層	—	刃部欠損	頁岩	(10.2)	4.4	—	2.3	(138)
135	8·9	4層	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(10.1)	5.8	—	4.4	(370)
136	7	4層	—	刃部欠損	安山岩	(8.7)	5.6	—	2.4	(201)
137	34	3層	—	基部欠損	頁岩	(14.2)	—	4.0	2.1	(139)
138	4	4層	—	胴部一部欠損	頁岩	7.9	—	4.4	1.9	(94)
139	31	4層	—	基部欠損	頁岩	(8.4)	—	4.3	2.1	(119)
140	27	3層	—	基部欠損	頁岩	(6.5)	—	6.2	1.7	(112)
141	5	3層	—	基部欠損	頁岩	(8.7)	—	5.2	1.9	(122)
142	45	3層	短 b	完形	凝灰岩	9.0	5.1	4.9	2.0	118
143	45	3層	短 a	完形	頁岩	9.8	3.5	4.0	1.8	96
144	25	4層	短 a	完形	頁岩	11.1	3.6	4.1	0.9	55
145	45	3層	短 a	完形	頁岩	9.8	3.6	4.5	1.5	105
146	11	4層	—	基部欠損	頁岩	(10.2)	—	4.6	1.7	(137)
147	37	3·4層	—	刃部破片	頁岩	(6.5)	—	7.4	1.6	(110)
148	3	4層	—	基部欠損	頁岩	7.2	—	6.2	1.8	(98)
149	35	3層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(10.2)	—	—	1.5	(114)
150	45	3層	—	基部一部欠損	頁岩	(13.9)	—	4.8	2.5	(220)
151	27	4層	—	基部一部欠損	頁岩	13.9	(5.9)	7.8	2.4	(338)
152	22·23拵	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(12.8)	—	—	3.3	(388)
153	3	3層	—	基部欠損	頁岩	(11.3)	—	6.9	2.0	(176)
154	表採	—	—	基部欠損	安山岩	(12.2)	—	5.9	2.6	(203)
155	22·23拵	4層	—	刃部欠損	凝灰岩	(11.2)	6.1	—	2.6	(322)
156	34	4層	—	刃部欠損	頁岩	(12.6)	5.2	—	1.6	(168)
157	22	4層	—	刃部欠損	安山岩	(9.8)	5.8	—	4.0	(371)
158	25	4層	—	基部欠損	安山岩	(9.6)	—	8.6	2.9	(323)
159	24	4層	—	刃部欠損	頁岩	(9.5)	5.8	—	2.7	(230)
160	3	3層	—	基部欠損	安山岩	(11.2)	—	7.7	3.9	(429)
161	表採	—	—	刃部欠損	頁岩	(10.8)	6.4	—	2.1	(202)
162	26	4層	—	刃部欠損	安山岩	(12.6)	4.8	—	2.7	(226)
163	48	3層	—	刃部欠損	頁岩	(10.5)	4.8	—	1.8	(131)
164	38	3·4層	—	刃部欠損	頁岩	(10.3)	5.7	—	2.6	(243)
165	24	4層	—	刃部·基部欠損	安山岩	(11.3)	—	—	2.8	(268)
166	5	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(9.8)	—	—	1.9	(116)
167	28~30	2層	—	基部欠損	頁岩	(9.3)	—	5.3	1.9	(131)
168	11	3層	—	基部欠損	頁岩	(8.4)	—	5.5	1.4	(93)
169	31	4層	—	刃部欠損	頁岩	(10.7)	4.5	—	3.1	(268)
170	23	4層	—	刃部欠損	安山岩	(11.1)	6.1	—	3.8	(420)
171	25	4層	—	刃部欠損	頁岩	(10.1)	4.5	—	2.2	(175)
172	4	4層	—	刃部欠損	頁岩	(8.1)	2.6	—	1.3	(50)
173	25	4層	—	基部欠損	頁岩	(7.4)	—	4.8	2.3	(89)
174	24	4層	—	刃部欠損	頁岩	(7.0)	3.9	—	2.0	(87)
175	25	4層	短 b	完形	頁岩	9.1	4.4	4.9	1.1	75
176	4	4層	—	基部欠損	頁岩	(9.6)	—	5.0	1.7	(93)
177	31	4層	—	刃部欠損	安山岩	(7.6)	3.2	—	1.6	(68)
178	32	3層	—	刃部欠損	凝灰岩	(7.4)	4.7	—	1.2	(48)
179	24	4層	—	刃部欠損	頁岩	(7.9)	4.5	—	2.8	(138)
180	22·23拵	4層	—	刃部欠損	頁岩	(10.1)	4.6	—	1.4	(128)
181	27	4層	—	基部欠損	頁岩	(5.1)	—	5.2	2.0	(73)
182	32	3層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(8.6)	—	—	1.7	(89)

183	23	4層	—	刃部欠損	頁岩	(6.9)	5.6	—	2.1	(107)
184	35	3層	—	刃部欠損	安山岩	(10.7)	4.2	—	3.3	(285)
185	19·20	2層	—	刃部破片	頁岩	(5.2)	—	3.9	1.2	(25)
186	28~30	2層	—	基部破片	頁岩	(6.5)	—	—	(1.2)	(30)
187	34	3層	—	刃部破片	頁岩	(3.2)	—	5.0	(1.1)	(24)
188	3	4層	—	基部破片	頁岩	(3.8)	3.9	—	1.0	(20)
189	8	3層	—	刃部破片	凝灰質流紋岩	(3.0)	—	—	(1.7)	(33)
190	36	4層	—	胴部破片	頁岩	(4.6)	—	—	0.9	(24)
191	27	3層	—	基部欠損	安山岩	(10.7)	—	5.0	1.8	(120)
192	1	3層	—	基部欠損	安山岩	(7.8)	—	4.6	1.4	(77)
193	3	4層	—	刃部欠損	頁岩	(8.7)	4.2	—	1.4	(72)
194	3	4層	短 b	完形	頁岩	6.9	4.1	4.2	1.2	49
195	25	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(10.1)	—	—	1.4	(83)
196	25	4層	—	刃部欠損	凝灰岩	(7.9)	5.1	—	(2.6)	(144)
197	32	3層	—	胴部破片	頁岩	(5.1)	—	—	(1.4)	(33)
198	38	3·4層	—	基部破片	頁岩	(6.9)	—	—	(1.0)	(15)
199	32	3層	—	刃部破片	頁岩	(6.4)	—	—	(1.0)	(20)
200	17	2層	—	胴部破片	頁岩	(7.1)	—	—	(0.6)	(29)
201	2	4層	—	刃部欠損	頁岩	(6.3)	3.2	—	1.1	(27)
202	27	4層	—	胴部破片	頁岩	(2.2)	—	—	(0.9)	(13)
203	24	4層	—	刃部欠損	頁岩	(5.8)	4.7	—	1.5	(67)
204	4	4層	—	刃部欠損	頁岩	(6.0)	3.7	—	1.2	(39)
205	1	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(6.1)	—	—	1.0	(37)
206	24	4層	—	基部欠損	頁岩	(7.2)	—	4.7	0.9	(46)
207	12	4層	—	刃部破片	頁岩	(4.1)	—	5.0	1.1	(34)
208	9	3層	—	基部欠損	頁岩	(7.4)	—	5.1	0.7	(42)
209	26	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(5.3)	—	—	0.6	(23)
210	23	4層	—	基部欠損	頁岩	(6.7)	—	5.4	0.9	(420)
211	45	3層	—	刃部欠損	頁岩	(8.9)	4.1	—	0.8	(60)
212	45	3層	—	刃部欠損	頁岩	(8.0)	4.3	—	1.1	(50)
213	24	4層	—	刃部破片	頁岩	(4.3)	—	4.7	0.6	(20)
214	34	3層	—	刃部欠損	頁岩	(8.4)	3.9	—	1.7	(102)
215	11	3層	—	基部欠損	安山岩	(7.6)	—	5.9	2.8	(158)
216	27	4層	—	基部欠損	安山岩	(6.1)	—	4.7	1.4	(59)
217	22·23拵	4層	—	基部欠損	頁岩	(6.5)	—	6.3	2.3	(120)
218	23	3層	—	基部欠損	安山岩	(6.0)	—	7.1	2.3	(151)
219	5	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(10.8)	—	—	1.6	(179)
220	41	3·4層	撥 b	完形	頁岩	9.9	3.2	4.9	2.1	129
221	19·22	2層	—	刃部欠損	頁岩	(9.7)	4.6	—	2.0	(120)
222	35	3層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(8.2)	—	—	1.5	(129)
223	5	3層	—	刃部欠損	頁岩	(6.7)	4.3	—	1.2	(63)
224	28~30	2層	—	刃部欠損	凝灰岩	(7.9)	4.9	—	1.5	(87)
225	26	4層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(5.9)	—	—	1.3	(66)
226	23	4層	—	刃部欠損	頁岩	(3.8)	2.8	—	0.8	(13)
227	23	4層	—	基部欠損	頁岩	(5.7)	—	5.7	1.7	(77)
228	26	4層	—	基部欠損	頁岩	(8.6)	—	7.4	1.4	(144)
229	32	3層	—	刃部·基部欠損	頁岩	(14.2)	—	—	1.4	(148)
230	26	4層	短 b	完形	飛驒片麻岩	12.9	6.2	7.7	3.6	409
231	1	4層	短 a	完形	頁岩	12.9	5.3	5.7	3.1	310
232	31	3層	—	刃部欠損	頁岩	(11.4)	4.9	—	2.5	(169)
233	23	4層	—	基部欠損	頁岩	(13.6)	—	4.7	2.2	(194)
234	1	4層	短 b	完形	頁岩	9.3	3.5	4.9	1.9	124
235	25	4層	—	刃部欠損	凝灰岩	(12.5)	5.1	—	2.9	(359)

236	32	3層	短 a	完	形	頁	岩	9.8	4.1	4.7	1.2	780	
237	31	3層	短 b	完	形	頁	安山岩	10.1	4.5	5.5	2.2	169	
238	22・23拵	4層	—	刃部	欠損	頁	岩	(9.3)	3.6	—	1.5	(62)	
239	7	4層	—	刃部・基部	欠損	頁	岩	11.1	—	—	1.7	(126)	
240	31	4層	—	基部	欠損	頁	岩	(11.7)	—	5.1	2.0	(163)	
241	34	3層	短 a	完	形	頁	岩	8.4	2.2	3.2	1.2	49	第84図2
242	31	3層	短 a	完	形	頁	岩	11.5	2.9	3.6	1.5	108	同7
243	34	3層	撥 a	完	形	凝	灰岩	12.5	4.4	11.3	2.1	208	同6
244	24	4層	短 b	完	形	頁	岩	8.3	3.0	4.2	1.3	63	
245	44	3層	短 a	完	形	頁	岩	10.8	3.6	4.2	1.5	107	同8
246	35	3層	短 a	完	形	頁	岩	11.3	4.1	5.5	1.3	113	
247	24	4層	短 a	完	形	頁	岩	9.5	2.7	3.6	1.4	80	同3
248	34	3層	短 a	完	形	頁	岩	11.5	3.7	4.9	1.8	132	同10
249	41	3・4層	—	基部	欠損	頁	岩	(10.5)	—	6.5	2.5	(164)	

第56表 前田地点上層打製石斧一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	基部巾	刃部巾	厚さ	重さ	挿図番号		
1	A4	短 a	完	形	頁	岩	13.2	5.1	5.0	2.8	253	
2	A4	短 a	完	形	頁	岩	13.1	4.4	4.7	2.8	153	
3	A3	短 b	完	形	頁	岩	9.8	3.9	5.8	1.4	115	
4	A2	撥 a	完	形	濃飛流紋	岩	13.4	5.9	9.3	3.5	489	
5	C3	短 a	完	形	頁	岩	10.9	3.2	4.0	1.6	104	第84図9
6	C2	短 a	完	形	安山	岩	13.8	5.0	6.1	3.3	318	
7	B3	撥 a	完	形	濃飛流紋	岩	13.8	4.9	8.1	3.3	413	
8	C2	短 a	完	形	頁	岩	13.8	5.2	6.2	3.0	356	
9	C3	短 b	完	形	頁	岩	9.5	3.7	5.0	1.6	97	
10	A20	短 b	完	形	安山	岩	13.8	5.4	7.1	3.3	371	
11	C2	撥 a	完	形	頁	岩	11.7	4.8	7.6	3.2	302	
12	A7	短 a	完	形	頁	岩	10.5	3.4	4.3	1.7	114	
13	C2	短 a	完	形	濃飛流紋	岩	18.4	6.5	7.7	3.0	638	
14	B5	短 a	完	形	頁	岩	11.3	4.2	4.7	1.5	108	
15	C21	短 a	完	形	頁	岩	9.2	2.6	3.7	1.8	73	
16	B5	短 b	完	形	石英斑	岩	9.9	4.5	5.9	2.2	135	
17	C18第4層	撥 a	完	形	飛驒片麻	岩	11.2	4.7	7.4	2.1	205	
18	A9	短 a	完	形	頁	岩	12.0	3.2	3.8	1.0	95	
19	C18第4層	短 a	完	形	頁	岩	11.7	4.2	5.2	1.3	106	
20	A4	短 b	完	形	閃緑	岩	11.6	4.8	6.8	2.9	265	
21	C17第4層	短 a	完	形	頁	岩	10.0	4.0	4.4	0.9	63	
22	B4	—	刃部	一部欠損	頁	岩	9.3	3.6	—	1.7	(116)	
23	B24	撥 b	完	形	安山	岩	11.2	3.5	5.6	1.5	132	
24	C20	短 a	完	形	頁	岩	8.9	3.0	3.7	1.3	83	
25	C21	短 a	完	形	頁	岩	9.2	2.4	3.1	1.2	66	
26	C5	撥 b	完	形	頁	岩	10.1	2.0	4.5	1.7	106	
27	C5	撥 b	完	形	凝	灰岩	10.3	3.4	5.1	2.6	200	
28	C4第7層	短 a	完	形	頁	岩	9.9	3.4	4.5	1.5	108	
29	B14第7層	短 b	完	形	頁	岩	11.4	3.0	3.9	1.3	101	
30	B4	短 b	完	形	凝	灰岩	12.0	4.6	6.3	3.0	280	
31	B7	—	刃部	一部欠損	凝	灰岩	9.2	2.7	—	1.3	(90)	
32	A5	短 b	完	形	頁	岩	9.6	5.1	5.7	2.0	169	
33	C5	短 a	完	形	多孔質安山	岩	13.6	4.3	6.4	2.3	256	
34	B21	撥 b	完	形	頁	岩	7.4	2.2	3.6	1.2	59	

35	B4	撥 a	完	形	凝 灰 岩	6.5	2.8	6.7	1.9	159
36	B8	短 b	完	形	安 山 岩	13.6	4.8	6.9	2.6	297
37	C18	短 b	完	形	石 英 斑 岩	16.3	7.4	9.5	3.5	695
38	C8	撥 a	完	形	頁 岩	11.2	3.5	5.7	1.7	149
39	B6	撥 b	完	形	頁 岩	9.8	2.6	4.7	2.2	116
40	A8	撥 a	完	形	安 山 岩	12.2	4.5	7.5	3.4	312
41	B16	撥 a	完	形	安 山 岩	9.4	2.6	4.9	1.0	53
42	A7	撥 a	完	形	安 山 岩	14.7	4.6	8.2	2.7	424
43	A4	撥 b	完	形	頁 岩	12.4	2.9	5.9	2.8	310
44	C8	短 b	完	形	頁 岩	8.3	3.1	4.3	1.3	72
45	A9	—	刃部欠損	形	凝 灰 岩 (17.5)	2.7	—	2.2	(343)	
46	B5	撥 b	完	形	頁 岩	10.3	1.6	3.9	1.0	75
47	B4	撥 a	完	形	頁 岩	9.5	3.6	6.5	2.1	139
48	C6	短 b	完	形	凝 灰 岩	10.2	4.7	5.6	1.7	136
49	C18第4層	撥 a	完	形	濃飛流紋岩	13.9	3.9	7.3	3.0	428
50	C5	短 a	完	形	頁 岩	10.6	3.7	4.1	1.3	91
51	B7	短 a	完	形	蛇 紋 岩	6.4	2.6	3.0	1.5	63
52	C4	撥 a	完	形	安 山 岩	8.6	3.0	5.4	1.8	123
53	C4	短 b	完	形	安 山 岩	10.4	4.1	6.0	1.7	151
54	B23	短 b	完	形	頁 岩	8.0	3.8	5.4	1.3	76
55	B4	短 a	完	形	頁 岩	12.7	4.0	5.4	2.1	171
56	C4	撥 b	完	形	安 山 岩	11.1	1.5	2.9	1.4	87
57	C17第4層	撥 a	完	形	頁 岩	7.2	2.6	4.5	0.9	41
58	C4第7層	短 a	完	形	頁 岩	12.9	3.6	5.1	1.6	146
59	C4	短 a	完	形	凝灰質流紋岩	14.2	4.6	6.4	3.4	355
60	C5第7層下部	短 a	完	形	頁 岩	7.6	2.7	3.1	1.1	55
61	C4第7層	短 b	完	形	安 山 岩	11.1	5.2	6.9	2.8	299
62	C4	短 a	完	形	頁 岩	10.1	4.2	4.9	1.7	113
63	B20	短 a	完	形	飛驒片麻岩	16.7	5.7	6.9	3.1	564
64	A4	撥 a	完	形	頁 岩	10.7	3.5	5.9	2.4	229
65	C18第7層	撥 a	完	形	安 山 岩	9.7	3.0	5.9	1.2	91
66	B18	短 a	完	形	飛驒片麻岩	13.6	3.4	5.0	3.3	289
67	C4第7層	短 b	完	形	安 山 岩	11.5	5.7	7.6	3.7	467
68	B23	—	基部一部欠損	形	安 山 岩	11.7	—	6.6	1.5	(143)
69	B13第7層	短 a	完	形	頁 岩	10.2	3.7	4.9	2.3	153
70	B18	短 b	完	形	凝 灰 岩	11.2	6.1	8.9	7.0	317
71	C9	撥 b	完	形	頁 岩	10.2	2.4	3.9	1.9	123
72	B23	撥 b	完	形	頁 岩	11.8	2.0	4.5	1.6	144
73	A5第7層	撥 b	完	形	頁 岩	9.0	2.6	4.4	1.6	88
74	B5	撥 a	完	形	凝 灰 岩	11.0	4.0	6.1	2.1	173
75	B6	撥 a	完	形	頁 岩	12.0	4.0	5.2	2.1	243
76	C6	短 a	完	形	頁 岩	6.4	2.3	3.2	0.9	37
77	C4	短 b	完	形	多孔質安山岩	11.4	4.8	7.0	2.8	278
78	C8	撥 a	完	形	頁 岩	6.2	1.8	3.3	1.9	24
79	B6	短 a	完	形	頁 岩	11.3	3.9	5.0	1.6	132
80	A4第7層	撥 b	完	形	頁 岩	10.1	2.7	4.7	1.3	115
81	B13第7層	撥 a	完	形	頁 岩	8.2	2.7	4.6	1.7	84
82	A5第7層	撥 a	完	形	頁 岩	11.3	3.5	5.7	1.5	134
83	A5	短 a	完	形	頁 岩	10.8	3.4	4.8	1.7	165
84	C20第7層	短 b	完	形	頁 岩	8.6	4.4	5.6	1.2	112
85	B20	短 b	完	形	安 山 岩	13.0	4.1	6.9	2.6	382
86	B8	撥 a	完	形	安 山 岩	11.2	3.7	6.1	2.3	232
87	C5	短 b	完	形	頁 岩	10.0	3.7	5.4	1.6	165

第85図4

88	A9	短 a	完	形	頁	岩	9.7	3.5	4.7	1.5	100
89	C6	撥 a	完	形	頁	岩	8.4	2.4	4.4	1.3	65
90	A6	短 a	完	形	頁	岩	10.5	3.6	4.4	2.0	138
91	C6	短 b	完	形	頁	岩	10.2	3.8	5.5	1.7	160
92	C8	撥 b	完	形	閃	綠 岩	10.1	2.5	4.5	1.7	82
93	C7	撥 a	完	形	頁	岩	9.1	2.6	4.7	1.1	95
94	A6	撥 b	完	形	頁	岩	11.5	2.7	5.0	2.6	223
95	C7	短 a	完	形	頁	岩	10.2	2.4	3.5	1.4	83
96	C7	短 b	完	形	凝	灰 岩	10.7	4.1	5.8	2.4	168
97	A6	撥 b	完	形	頁	岩	8.2	1.9	4.1	1.2	70
98	C7	撥 a	完	形	閃	綠 岩	13.2	3.1	7.3	2.5	280
99	C6	撥 b	完	形	頁	岩	10.4	2.6	4.2	2.0	134
100	C7	—	基	部	欠	損	頁	岩 (10.1)	—	5.5	1.1 (79)
101	C8	短 a	完	形	頁	岩	10.5	3.6	4.4	1.9	143
102	C4	撥 b	完	形	頁	岩	8.0	2.0	3.6	1.2	50
103	B6	撥 b	完	形	安	山 岩	9.7	2.7	4.1	1.8	96
104	B6	短 a	完	形	頁	岩	9.6	3.3	4.5	1.7	142
105	A15	撥 b	完	形	頁	岩	17.6	3.8	6.2	1.6	220
106	C4	撥 b	完	形	頁	岩	12.0	3.1	5.6	2.4	201
107	B24	短 a	完	形	頁	岩	9.0	3.2	4.3	1.7	84
108	表採	撥 a	完	形	頁	岩	6.8	3.0	4.7	1.1	46
109	A9	短 a	完	形	凝	灰 岩	10.7	3.1	4.6	1.6	116
110	C5	短 b	完	形	頁	岩	9.0	4.0	4.6	1.6	100
111	A5	短 b	完	形	頁	岩	12.0	4.1	6.1	1.5	196
112	C5	短 a	完	形	頁	岩	9.9	3.5	4.1	1.2	74
113	A5	撥 b	完	形	頁	岩	12.2	3.2	5.5	2.1	223
114	A4第7層	短 a	完	形	安	山 岩	12.2	5.0	5.2	1.6	135 第84図13
115	A4第7層	短 a	完	形	頁	岩	9.9	3.5	4.7	1.7	125
116	B20	撥 b	完	形	頁	岩	8.2	1.9	3.5	1.0	42 第85図13
117	B4	撥 a	完	形	頁	岩	10.3	2.1	5.2	1.5	97
118	B4	撥 a	完	形	頁	岩	13.3	3.4	6.7	2.8	302
119	B5	撥 a	完	形	飛驒片麻	岩	10.9	2.8	6.4	2.4	229
120	表採	撥 b	完	形	頁	岩	13.0	2.9	4.5	2.5	230
121	C5	短 a	完	形	頁	岩	15.1	4.2	5.7	2.4	299
122	C10第7層	短 a	完	形	頁	岩	10.2	2.8	4.1	2.0	107
123	C4第7層	撥 b	完	形	頁	岩	7.3	1.8	3.3	1.2	55
124	C8	短 b	完	形	凝	灰 岩	10.1	4.0	5.9	1.5	118
125	C4	撥 a	完	形	安	山 岩	11.4	3.4	7.9	2.3	279
126	C15第7層	短 a	完	形	頁	岩	11.8	4.0	4.9	1.7	146
127	B18	撥 a	完	形	頁	岩	9.0	2.8	4.9	1.2	88
128	表採	撥 a	完	形	頁	岩	9.9	3.0	5.3	1.6	123
129	B18	撥 a	完	形	頁	岩	8.8	2.9	4.5	1.1	74
130	B19第7層	撥 b	完	形	凝	灰 岩	13.7	4.4	6.7	2.2	224
131	B5	—	基	部	欠	損	砂	岩 (7.8)	—	6.2	2.4 (167)
132	C17第7層	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (9.1)	5.4	— (3.1) (273)	
133	B5第7層	—	刃	部	破	片	安	山 岩 (5.9)	5.6	— (1.8) (86)	
134	B5	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (6.8)	3.8	— 1.6 (61)	
135	C4	—	刃	部	破	片	頁	岩 (6.1)	—	5.1 (1.6) (65)	
136	B21	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (6.4)	4.8	— 2.1 (91)	
137	C20第4層	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (9.0)	5.3	— 2.5 (180)	
138	B5	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (7.3)	5.0	— (2.3) (139)	
139	C4第7層	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (8.5)	4.7	— 1.9 (121)	
140	C6	短 b	完	形	安	山 岩	10.0	4.2	5.2	2.2	149

141	C4第7層	短 a	完 形	安 山 岩	10.5	2.8	3.3	1.1	49
142	C5	—	刃部破片	安 山 岩	(8.8)	—	9.2	(2.6)	(353)
143	C4第7層	—	基部欠損	安 山 岩	(10.1)	—	6.8	2.0	(169)
144	C6	短 b	完 形	安 山 岩	10.3	4.4	5.4	1.4	110
145	表採	—	刃部破片	安 山 岩	(5.9)	—	9.0	(2.2)	(157)
146	A8	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	(9.5)	6.5	—	(2.1)	(179)
147	C5	—	刃部欠損	頁 岩	(6.4)	4.0	—	(1.0)	(47)
148	A10第7層	—	刃部欠損	石 英 斑 岩	(7.3)	5.0	—	(2.1)	(103)
149	A8	—	刃部欠損	石 英 斑 岩	(10.3)	6.5	—	3.0	(352)
150	B18	—	刃部破片	凝灰質流紋岩	(6.4)	—	9.5	(2.7)	(172)
151	B8	—	基部欠損	頁 岩	(5.0)	—	3.8	(1.5)	(44)
152	C5	—	刃部欠損	安 山 岩	(8.6)	3.5	—	1.8	(110)
153	C4	—	胴部破片	砂 岩	(4.8)	—	—	(3.3)	(120)
154	B20	—	基部欠損	安 山 岩	(6.5)	—	4.7	(2.1)	(85)
155	B18	—	基部欠損	安 山 岩	(7.3)	—	6.0	(1.5)	(88)
156	C16第4層	—	刃部欠損	安 山 岩	(8.5)	5.6	—	1.7	(109)
157	A11第7層	—	基部欠損	安 山 岩	(9.9)	—	9.6	2.5	(315)
158	C8	撥 a	完 形	安 山 岩	11.6	3.5	6.0	1.7	159
159	B13第7層	—	刃部欠損	安 山 岩	(6.0)	3.4	—	1.3	(52)
160	C4	—	基部欠損	凝 灰 岩	(9.4)	—	6.1	3.2	(250)
161	A22	—	刃部一欠損	頁 岩	8.4	4.5	—	1.3	(79)
162	表採	—	刃部破片	頁 岩	(5.5)	—	5.2	(1.5)	(60)
163	A5	—	基部欠損	安 山 岩	(9.2)	—	5.4	2.3	(175)
164	A5第7層	—	刃部欠損	頁 岩	(9.9)	4.6	—	1.2	(87)
165	B4	—	刃部欠損	頁 岩	(7.0)	5.9	—	(2.6)	(148)
166	B20第7層	—	刃部欠損	砂 岩	(7.3)	5.6	—	(2.1)	(135)
167	C5	短 a	完 形	頁 岩	9.9	3.4	3.8	1.0	71
168	C5	—	刃部欠損	安 山 岩	(9.5)	4.5	—	2.8	(204)
169	A4第7層	撥 a	完 形	石 英 斑 岩	16.2	4.7	10.1	2.8	544
170	B4	—	刃部欠損	頁 岩	(14.3)	6.2	—	2.5	(359)
171	B4	—	刃部欠損	安 山 岩	(11.9)	7.5	—	(3.5)	(517)
172	C4	短 a	完 形	安 山 岩	13.0	5.0	5.7	1.8	173
173	C4	—	胴部破片	濃飛流紋岩	(6.9)	—	—	2.4	(157)
174	A5	撥 b	完 形	凝 灰 岩	12.5	3.2	4.8	1.8	128
175	C5	—	基部欠損	頁 岩	(7.8)	—	5.1	2.1	(109)
176	C7	—	基部欠損	砂 岩	(9.4)	—	8.3	(4.0)	(395)
177	C24	短 a	完 形	飛驒片麻岩	7.8	2.9	3.9	1.5	63
178	C7	—	基部欠損	凝 灰 岩	(8.2)	—	5.4	2.2	(123)
179	A20	—	刃部欠損	砂 岩	(8.4)	4.8	—	(2.3)	(155)
180	A18	短 b	完 形	安 山 岩	9.4	4.5	6.3	3.1	199
181	C18第4層	—	基部欠損	安 山 岩	(10.4)	—	6.8	(3.2)	(313)
182	C4第7層	—	基部欠損	頁 岩	(9.0)	—	7.5	(2.2)	(200)
183	A17	短 b	完 形	頁 岩	8.4	4.2	5.7	1.5	93
184	C6	—	胴部破片	頁 岩	(5.2)	—	—	(1.7)	(84)
185	C21	短 a	完 形	安 山 岩	16.5	7.1	7.4	4.3	744
186	B5	—	基部欠損	頁 岩	(8.9)	—	6.0	2.1	(133)
187	C5	—	刃部欠損	頁 岩	(8.0)	4.5	—	1.7	(108)
188	C4	—	基部一欠損	安 山 岩	(11.6)	—	8.2	3.0	(371)
189	C18第4層	—	刃部欠損	頁 岩	(10.1)	3.6	—	2.3	(110)
190	C4	—	基部欠損	頁 岩	(6.1)	—	4.2	2.2	(87)
191	C4	—	刃部欠損	頁 岩	(7.2)	3.1	—	1.4	(53)
192	C23	—	刃部破片	頁 岩	(5.7)	—	6.4	(1.1)	(61)
193	C4第7層	—	基部欠損	頁 岩	(8.1)	—	4.2	1.3	(62)



194	表採	—	刃部欠損	頁岩	(9.5)	3.6	—	1.4	(70)
195	C6	短 a	完形	頁岩	10.5	5.1	4.8	2.2	175
196	C6	短 b	完形	頁岩	8.0	4.5	4.8	1.3	71
197	C7	—	基部欠損	頁岩	(8.9)	—	5.6	3.0	(222)
198	C4第7層	短 b	完形	頁岩	5.5	2.9	3.8	0.8	22
199	A8	短 b	完形	頁岩	8.2	3.5	4.5	1.6	90
200	C24	撥 a	完形	凝灰質流紋岩	11.7	5.1	7.9	2.3	224
201	C6	—	刃部欠損	凝灰岩	(9.2)	3.6	—	2.7	(158)
202	A17第3層	—	刃部欠損	頁岩	(7.4)	4.9	—	1.4	(65)
203	C4	—	基部欠損	頁岩	(9.3)	—	7.1	(2.1)	(205)
204	A14	撥 a	完形	頁岩	9.8	2.9	5.4	1.0	74
205	C8	短 b	完形	凝灰岩	8.6	4.3	5.5	2.0	123
206	C6	撥 a	完形	頁岩	6.3	2.4	3.6	1.0	30
207	A7	短 b	完形	頁岩	8.8	4.2	5.2	1.7	129
208	C9	—	刃部欠損	頁岩	(9.7)	3.9	—	(1.5)	(106)
209	A7	—	刃部欠損	凝灰岩	(9.4)	4.0	—	2.9	(171)
210	B16第3層	—	基部欠損	頁岩	(8.7)	—	4.8	(1.6)	(106)
211	C9	—	基部欠損	凝灰質流紋岩	(10.0)	—	7.5	3.0	(250)
212	C8	—	基部欠損	頁岩	(7.0)	—	4.5	0.9	(48)
213	C8	—	基部欠損	凝灰岩	(13.1)	—	6.6	3.3	(496)
214	SK-1	—	刃部欠損	凝灰岩	(9.1)	6.5	—	(1.4)	(110)
215	B18	—	刃部欠損	凝灰岩	(15.2)	—	—	(3.2)	(541)
216	C4第7層	—	刃部欠損	頁岩	(6.4)	3.5	—	1.1	(42)
217	C4	—	刃部欠損	閃綠岩	(11.3)	4.7	—	3.1	(294)
218	C8第7層	—	基部欠損	頁岩	(11.2)	—	5.4	2.2	(187)
219	B4第7層	—	刃部欠損	砂岩	(8.6)	4.2	—	2.7	(160)
220	C5	—	刃部欠損	頁岩	(8.2)	3.4	—	2.1	(96)
221	C8	—	刃部欠損	頁岩	(12.2)	5.7	—	2.3	(251)
222	C7	—	刃部欠損	頁岩	(10.9)	4.4	—	2.2	(165)
223	表採	短 a	完形	頁岩	8.4	3.7	4.0	1.8	103
224	C6	—	基部欠損	頁岩	(9.4)	—	6.7	(2.4)	(171)
225	B20第7層	—	刃部欠損	凝灰岩	(10.5)	3.6	—	1.7	(100)
226	C4第7層下部	—	刃部欠損	頁岩	(8.3)	4.6	—	1.4	(86)
227	C20	—	刃部欠損	安山岩	(9.1)	5.3	—	(3.6)	(262)
228	B12第7層	—	刃部破片	凝灰岩	(9.0)	—	9.0	(2.7)	(305)
229	C5	—	基部欠損	凝灰岩	(8.7)	—	5.8	1.9	(133)
230	C5	—	刃部欠損	頁岩	(7.8)	4.9	—	(2.0)	(116)
231	B4	—	刃部破片	安山岩	(6.2)	—	6.2	(2.0)	(116)
232	C4第7層	—	胴部破片	頁岩	(7.2)	—	—	(2.0)	(117)
233	C6	—	刃部欠損	凝灰岩	(10.6)	5.1	—	2.2	(207)
234	C5	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(5.8)	5.9	—	(1.9)	(102)
235	表採	—	基部欠損	凝灰岩	(6.4)	—	5.8	(1.5)	(73)
236	A16	—	胴部破片	頁岩	(7.9)	—	—	2.7	(196)
237	C20	—	基部欠損	凝灰岩	(12.8)	—	4.9	2.1	(158)
238	C4	—	刃部欠損	頁岩	(8.5)	5.0	—	1.3	(88)
239	B16	—	刃部欠損	砂岩	(6.5)	4.4	—	(1.8)	(69)
240	B17	—	基部欠損	凝灰質流紋岩	(11.6)	—	8.9	(4.2)	(501)
241	C5	—	刃部欠損	凝灰岩	(4.8)	3.2	—	(1.2)	(31)
242	C5	—	刃部欠損	飛驒片麻岩	(8.6)	6.4	—	(2.6)	(201)
243	B5	—	基部欠損	頁岩	(8.6)	—	4.9	1.3	(78)
244	A4第7層	—	基部欠損	安山岩	(6.4)	—	5.7	(2.0)	(84)
245	C24	—	刃部破片	安山岩	(4.7)	—	(4.0)	(1.3)	(48)
246	C24	—	胴部破片	凝灰岩	(6.9)	—	—	(2.4)	(189)

247	C12第7層	—	刃部欠損	凝灰岩	(5.1)	3.4	—	(1.5)	(41)
248	B20第7層	—	基部欠損	凝灰質流紋岩	(11.5)	—	9.9	(2.7)	(345)
249	B4第7層	—	刃部破片	頁岩	(5.7)	—	5.1	(2.6)	(107)
250	C17	—	胴部破片	頁岩	(4.9)	—	—	(1.0)	(40)
251	C5	撥b	完形	飛驒片麻岩	12.8	3.4	5.4	2.3	242
252	C5	短a	完形	頁岩	13.5	4.6	4.4	3.1	290
253	B17第3層	—	基部欠損	頁岩	(6.8)	—	5.6	3.1	(169)
254	B5	—	基部欠損	凝灰岩	(9.7)	—	4.2	1.5	(99)
255	A5	—	基部欠損	安山岩	(9.8)	—	6.0	2.3	(195)
256	C3	—	刃部欠損	安山岩	(11.6)	4.1	—	2.5	(233)
257	A4	短a	完形	凝灰岩	10.6	4.5	4.9	1.5	129
258	A4第7層	—	刃部破片	頁岩	(5.5)	—	5.4	(1.1)	(49)
259	C5	—	基部欠損	砂岩	(8.6)	—	5.0	2.1	(119)
260	B19	短a	完形	頁岩	7.7	2.8	3.1	0.7	26
261	B4	—	基部欠損	頁岩	(7.1)	—	5.9	2.1	(127)
262	B12第7層	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	(11.6)	5.3	7.8	1.8	(230)
263	C4第7層	撥a	完形	頁岩	8.7	2.9	4.5	2.1	105
264	C5	撥a	完形	頁岩	11.8	4.6	7.4	2.3	225
265	C20	撥a	完形	頁岩	11.6	3.5	5.9	1.5	146
266	C5	短a	完形	飛驒片麻岩	12.6	3.9	4.6	1.5	149
267	B6	撥a	完形	飛驒片麻岩	7.4	2.7	5.8	1.2	57
268	C5	短b	完形	頁岩	9.0	3.9	5.6	1.6	99
269	C4	短b	完形	凝灰岩	9.9	3.8	5.0	1.5	86
270	表採	—	基部欠損	砂岩	(11.3)	—	6.2	1.6	(139)
271	B4第7層	短a	完形	頁岩	15.4	4.8	6.8	2.2	314
272	A7	短a	完形	頁岩	13.4	4.7	5.4	2.2	255
273	SK-2	—	破片	頁岩	(4.7)	—	—	(1.3)	(26)
274	C5	短b	完形	石英斑岩	13.3	6.8	9.8	3.0	440
275	A10	短a	完形	頁岩	13.2	3.2	3.0	2.2	159
276	A4第7層	短b	完形	頁岩	6.2	3.3	3.2	1.2	40
277	C4	短b	完形	頁岩	10.7	4.6	5.5	2.0	165
278	C5	撥b	完形	砂岩	12.3	3.3	5.1	1.9	142
279	C5第7層	短a	完形	頁岩	10.3	4.1	4.8	2.2	138
280	B4第7層	短b	完形	凝灰岩	12.6	3.6	3.8	2.9	183
281	B8	撥b	完形	頁岩	13.0	2.9	4.6	1.3	122
282	C14第7層	短a	完形	頁岩	8.2	2.7	3.9	1.0	32
283	B8	短a	完形	頁岩	9.0	3.1	3.5	1.5	56
284	A5	短b	完形	頁岩	10.5	4.8	5.3	1.9	143
285	B5	短b	完形	凝灰岩	13.6	6.7	7.3	3.1	407
286	B6	短a	完形	砂岩	15.5	4.2	6.2	2.9	382
287	B8	短a	完形	頁岩	11.0	3.5	3.8	2.2	130
288	A16	短a	完形	安山岩	15.2	6.4	6.4	3.2	538
289	C5	—	基部欠損	頁岩	(8.3)	—	3.2	1.4	(56)
290	C5	短a	完形	頁岩	10.8	2.4	4.0	1.8	98
291	表採	短b	完形	頁岩	8.4	3.6	4.6	1.4	80
292	C5	短a	完形	頁岩	11.5	3.9	5.7	2.8	249
293	C5	—	基部欠損	頁岩	(7.9)	—	4.9	1.3	(79)
294	C5	撥a	完形	砂岩	13.0	5.6	8.4	2.3	310
295	C6	—	刃部欠損	安山岩	(9.2)	3.3	—	1.8	(113)
296	A5	短a	完形	頁岩	9.5	3.4	3.7	1.3	70
297	B4第7層	—	刃部欠損	頁岩	(11.5)	3.9	—	1.4	(108)
298	C7	短a	完形	頁岩	8.2	3.3	3.1	0.9	39
299	B8	—	基部欠損	頁岩	(7.9)	—	6.6	(2.0)	(141)

第85圖3

300	B5	—	胴部破片	頁岩	(5.7)	—	—	1.5	(67)
301	B4	—	刃部欠損	頁岩	(9.8)	3.5	—	2.6	(160)
302	C4	—	基部欠損	頁岩	(8.0)	—	6.0	(1.7)	(102)
303	B4	—	刃部欠損	頁岩	(8.8)	4.4	—	2.3	(130)
304	B8	—	刃部欠損	頁岩	(5.3)	3.2	—	(1.9)	(75)
305	C24第7層	—	基部欠損	飛驒片麻岩	(8.0)	—	5.2	(1.9)	(92)
306	B6	—	刃部欠損	安山岩	(8.5)	3.0	—	3.0	(157)
307	C16第4層	—	刃部破片	安山岩	(7.8)	—	9.1	(2.2)	(215)
308	C4	—	刃部欠損	凝灰岩	(12.8)	7.3	—	3.5	(495)
309	B6	短b	完形	頁岩	10.4	5.0	5.7	2.2	183
310	C5第7層下部	—	基部欠損	頁岩	(6.6)	—	5.9	(1.5)	(100)
311	SK-1	短a	完形	濃飛流紋岩	10.8	3.4	5.0	2.1	134
312	C5	—	刃部欠損	飛驒片麻岩	(6.9)	4.8	—	(2.9)	(152)
313	C4	短b	完形	頁岩	9.6	5.6	5.2	1.2	106
314	C13第7層	—	刃部欠損	頁岩	(5.0)	3.3	—	(1.1)	(40)
315	B4	—	基部欠損	凝灰岩	(13.0)	—	5.9	2.7	(284)
316	C15	—	刃部欠損	頁岩	(5.5)	3.0	—	1.0	(28)
317	C5第7層下部	—	基部破片	頁岩	(7.4)	4.3	—	(1.5)	(57)
318	A7	短b	完形	安山岩	7.9	4.4	4.8	1.5	92
319	C5	—	胴部破片	頁岩	(4.8)	—	—	(1.7)	(51)
320	B18	—	基部破片	閃綠岩	(9.2)	7.4	—	(1.7)	(227)
321	C7	短b	完形	頁岩	9.2	4.7	5.0	1.5	97
322	C20	短b	完形	頁岩	8.0	4.3	5.6	1.3	72
323	B6	—	刃部欠損	頁岩	(7.4)	5.0	—	(1.5)	(116)
324	C6	短a	完形	安山岩	14.3	5.9	6.5	3.7	501
325	B18	—	基部欠損	飛驒片麻岩	(14.2)	—	6.0	1.5	(180)
326	C2	短a	完形	砂岩	12.8	4.3	5.0	2.3	209
327	C11	短a	完形	凝灰質流紋岩	13.5	4.3	6.0	1.7	156
328	B1	—	刃部一部欠損	凝灰岩	(10.5)	3.5	—	2.3	(163)
329	表採	短a	完形	砂岩	11.2	5.0	5.1	2.6	233
330	表採	撥b	完形	頁岩	15.0	4.3	7.3	2.8	401
331	B3	撥b	完形	頁岩	13.0	3.9	6.0	2.6	250
332	C4	—	刃部欠損	飛驒片麻岩	(10.8)	4.4	—	2.5	(217)
333	B17	短a	完形	安山岩	15.2	4.5	6.4	3.0	328
334	C1	短a	完形	頁岩	15.3	6.0	6.4	2.0	276
335	B11	撥a	完形	砂岩	15.0	4.3	7.6	3.2	395
336	C1	—	刃部欠損	頁岩	(11.7)	3.2	—	1.9	(130)
337	C1	—	刃部欠損	凝灰岩	(8.5)	5.1	—	2.1	(131)
338	B2	短b	完形	頁岩	7.6	3.8	4.7	1.0	60
339	B2	短a	完形	頁岩	12.6	3.6	4.1	1.8	133
340	B2	短a	完形	頁岩	12.5	4.2	4.4	2.0	154
341	B2	撥b	完形	頁岩	12.0	3.3	5.0	1.4	103
342	B2	撥a	完形	凝灰岩	12.8	4.5	6.8	1.4	142
343	C3	短a	完形	頁岩	10.9	5.4	5.1	2.3	216
344	C3	—	刃部欠損	凝灰岩	(10.6)	4.1	—	1.8	(112)
345	C3	—	刃部欠損	頁岩	(8.5)	3.9	—	2.4	(145)
346	B6	短a	完形	頁岩	11.9	4.2	5.3	1.6	147
347	B2	撥b	完形	頁岩	11.0	2.5	4.8	1.4	89
348	A19	短a	完形	頁岩	7.2	3.3	3.5	1.2	47
349	C17	—	基部欠損	凝灰岩	(6.7)	—	5.3	1.7	(59)
350	B2	—	刃部欠損	安山岩	(7.0)	3.4	—	1.5	(61)
351	B7	短a	完形	砂岩	11.7	4.3	5.1	2.7	220
352	B4	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	(10.0)	4.8	—	3.0	(179)

353	B15	短 a	完 形	凝 灰 岩	12.9	6.0	5.5	3.0	273
354	C18第7層	—	基 部 欠 損	凝 灰 岩	(8.0)	—	7.3	3.0	(258)
355	C11	短 b	完 形	濃 飛 流 紋 岩	12.0	5.5	6.4	2.2	215
356	B7	—	基 部 欠 損	飛 驒 片 麻 岩	(9.2)	—	5.5	1.4	(104)
357	B15	短 a	完 形	頁 岩	13.8	5.1	6.8	2.6	330
358	A18	—	刃 部 欠 損	濃 飛 流 紋 岩	(12.8)	6.4	—	2.6	(381)
359	C18第7層	—	刃 部 欠 損	綠 泥 片 岩	(7.6)	3.4	—	1.1	(46)
360	B16第7層下部	撥 b	完 形	頁 岩	10.5	2.7	4.3	1.4	82
361	表採	—	基 部 欠 損	安 山 岩	(7.7)	—	4.8	1.7	(83)
362	A16	—	基 部 欠 損	頁 岩	(7.4)	—	4.4	1.2	(71)
363	C6	—	基 部 欠 損	頁 岩	(7.3)	—	5.9	1.0	(76)
364	A21第7層	—	基 部 欠 損	頁 岩	(6.9)	—	4.6	1.1	(62)
365	C7	短 b	完 形	頁 岩	8.7	3.8	5.0	1.7	87
366	A15	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(7.1)	4.1	—	(1.4)	(81)
367	C6	—	刃 部 欠 損	凝 灰 岩	(8.6)	4.3	—	(2.4)	(137)
368	B12	—	刃 部 欠 損	石 英 斑 岩	(11.6)	5.6	—	4.2	(409)
369	B12	—	刃 部 欠 損	凝 灰 質 流 紋 岩	(6.2)	3.2	—	1.8	(58)
370	A16	—	胴 部 破 片	頁 岩	(3.8)	—	—	(1.8)	(45)
371	表採	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(7.2)	5.4	—	2.1	(118)
372	B8	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(5.7)	3.9	—	(0.9)	(40)
373	C6	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(5.2)	3.4	—	0.9	(27)
374	C18第7層	—	刃 部 破 片	頁 岩	(4.0)	—	—	1.0	(41)
375	C18第7層	—	胴 部 破 片	頁 岩	(3.3)	—	—	1.2	(44)
376	B7	—	基 部 破 片	頁 岩	(5.0)	—	5.2	(1.2)	(46)
377	表採	—	刃 部 破 片	頁 岩	(3.1)	—	—	(1.0)	(25)
378	B4第7層	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(9.3)	3.1	—	1.3	(60)
379	表採	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(7.2)	2.2	—	0.8	(31)
380	C4	—	刃 部 欠 損	砂 岩	(11.2)	6.1	—	1.6	(211)
381	C4	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(10.8)	3.0	—	1.5	(79)
382	A11第7層下部	—	刃 部 欠 損	凝 灰 質 流 紋 岩	(7.5)	6.2	—	(2.7)	(131)
383	C6	—	基 部 欠 損	凝 灰 岩	(8.2)	—	7.8	3.2	(221)
384	C4	—	刃 部 破 片	砂 岩	(5.8)	—	—	(1.5)	(89)
385	A19	—	基 部 欠 損	頁 岩	(7.1)	—	4.0	0.9	(39)
386	B11第7層	—	基 部 欠 損	頁 岩	(5.8)	—	5.4	(2.0)	(103)
387	B4	—	刃 部 破 片	頁 岩	(5.7)	—	—	(1.4)	(83)
388	表採	—	刃 部 破 片	頁 岩	(6.2)	—	6.4	(1.2)	(71)
389	C9第7層	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(5.0)	4.2	—	(1.4)	(44)
390	C4	—	基 部 欠 損	頁 岩	(5.5)	—	4.7	1.0	(41)
391	C5	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(10.3)	3.4	—	1.1	(61)
392	B5	—	基 部 欠 損	頁 岩	(8.3)	—	3.2	1.4	(53)
393	B5	—	刃 部 欠 損	安 山 岩	(5.1)	2.8	—	1.2	(27)
394	B11第7層	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(9.3)	3.6	—	1.2	(66)
395	B12	撥 a	完 形	頁 岩	7.7	3.0	4.6	0.9	43
396	C22	—	刃 部 欠 損	頁 岩	(9.8)	2.9	—	0.7	(37)
397	A7	短 a	完 形	頁 岩	12.2	4.3	5.5	3.0	270
398	B1	短 a	完 形	頁 岩	12.1	3.8	4.3	2.7	180
399	A23	短 a	完 形	安 山 岩	14.3	4.8	5.3	2.0	208
400	B3	短 a	完 形	凝 灰 岩	15.7	6.3	7.4	3.0	506
401	B2	短 b	完 形	凝 灰 質 流 紋 岩	14.6	7.0	8.8	2.8	398
402	C1	撥 a	完 形	石 英 斑 岩	13.5	5.3	8.5	3.9	454
403	C5	—	基 部 欠 損	頁 岩	(7.5)	—	6.0	1.0	(60)
404	B18	短 b	完 形	凝 灰 岩	15.8	7.2	8.5	4.0	623
405	B6	短 a	完 形	頁 岩	10.9	3.3	4.9	1.6	122

406	C1	—	刃部欠損	頁	岩	(10.5)	4.9	—	2.6	(270)	
407	表採	短 a	完形	凝	灰岩	12.3	4.4	5.5	2.2	194	
408	C3	—	基部欠損	頁	岩	(10.4)	—	5.5	2.2	(163)	
409	C2	短 b	完形	頁	岩	12.8	5.0	5.8	2.9	240	
410	A6	短 a	完形	凝	灰岩	12.8	3.5	3.7	2.1	164	同6
411	B6	—	刃部破片	頁	岩	(8.2)	—	—	(1.1)	(41)	
412	C8	—	基部破片	頁	岩	(4.7)	3.6	—	(1.5)	(43)	
413	C13	—	刃部破片	凝	灰岩	(4.1)	—	—	(1.2)	(27)	
414	C6	—	刃部欠損	頁	岩	(7.1)	3.3	—	1.3	(66)	
415	A7	—	基部欠損	頁	岩	(6.9)	—	4.8	1.9	(108)	
416	A4第7層	撥 a	完形	頁	岩	7.0	2.3	4.5	0.8	27	
417	C5	—	刃部欠損	頁	岩	(4.6)	3.2	—	0.8	(24)	
418	表採	—	刃部欠損	凝	灰岩	(7.3)	4.2	—	1.7	(63)	
419	B4	—	刃部欠損	頁	岩	(7.5)	3.5	—	0.8	(26)	
420	B8	—	刃部欠損	頁	岩	(4.7)	3.5	—	1.0	(31)	
421	A6	—	胴部破片	頁	岩	(4.4)	—	—	1.3	(43)	
422	A5	—	ほぼ完形	頁	岩	8.3	2.9	3.5	1.3	(52)	
423	B6	短 b	完形	凝	灰岩	10.3	4.7	5.3	1.6	110	
424	B6	短 a	完形	凝	灰岩	9.7	3.7	4.4	1.5	86	
425	A7	—	刃部欠損	濃飛流紋	岩	(9.2)	5.1	—	(3.0)	(243)	
426	表採	—	刃部欠損	凝	灰岩	(7.8)	4.4	—	2.2	(134)	
427	C7	—	刃部欠損	頁	岩	(8.8)	4.8	—	2.0	(143)	
428	C18第7層	—	刃部欠損	頁	岩	(6.5)	3.8	—	1.2	(48)	
429	C7	—	破片	頁	岩	(8.2)	—	—	(0.7)	(33)	
430	B6	短 a	完形	頁	岩	8.6	3.0	3.8	1.3	56	
431	A6	—	刃部欠損	頁	岩	(8.4)	5.4	—	1.1	(62)	
432	B8	短 b	完形	頁	岩	8.7	4.8	5.5	2.1	145	
433	C8	撥 a	完形	凝	灰岩	8.5	3.2	4.8	1.9	68	
434	A8	—	刃部欠損	頁	岩	(9.4)	5.9	—	2.8	(221)	
435	表土	—	基部欠損	頁	岩	(7.7)	—	6.5	(2.0)	(143)	
436	C5	—	基部欠損	頁	岩	(8.8)	—	4.0	1.0	(62)	
437	B5第7層下部	短 a	完形	頁	岩	8.9	3.3	4.2	0.8	46	
438	表採	—	基部欠損	頁	岩	(7.2)	—	5.6	1.4	(89)	
439	A7	—	基部欠損	頁	岩	(7.4)	—	5.4	(1.2)	(76)	
440	C6	—	刃部欠損	凝	灰岩	(12.6)	5.2	—	2.3	(214)	
441	C5	短 b	完形	頁	岩	10.4	4.6	5.5	1.6	117	
442	A8	短 a	完形	凝	灰岩	10.8	3.8	4.9	1.6	116	
443	A6	—	刃部欠損	濃飛流紋	岩	(14.8)	4.9	7.0	4.0	(482)	
444	C7	短 b	完形	安山	岩	11.9	5.9	6.4	2.2	259	
445	B14	短 b	完形	凝灰質流紋	岩	15.2	6.4	7.7	3.5	434	
446	C6	短 b	完形	凝灰質流紋	岩	12.4	4.9	7.2	3.6	309	
447	A14第7層	撥 a	完形	凝灰質流紋	岩	20.6	6.3	10.2	4.7	857	
448	C14	撥 a	完形	頁	岩	14.1	4.6	7.6	2.5	350	
449	C11	短 b	完形	凝	灰岩	9.7	5.6	5.9	2.6	171	
450	C14	撥 a	完形	凝	灰岩	12.3	4.3	6.5	2.3	206	
451	B12	短 a	完形	頁	岩	13.4	5.3	6.0	1.8	249	
452	B11	短 a	完形	頁	岩	10.9	3.2	4.5	2.2	147	
453	C11	短 a	完形	頁	岩	12.0	3.9	4.8	2.4	224	
454	C10	短 b	完形	安山	岩	10.7	5.3	6.6	3.4	265	
455	B21	撥 b	完形	砂	岩	13.1	3.8	5.7	2.1	160	
456	C14	短 b	完形	頁	岩	10.7	5.5	6.8	2.3	196	
457	C5	短 a	完形	頁	岩	11.4	3.8	5.1	1.8	142	
458	B6	—	刃部欠損	頁	岩	(8.2)	4.5	—	1.7	(99)	

459	C5	短 b	完	形	頁	岩	9.0	3.8	5.2	1.0	65			
460	A6	撥 a	完	形	頁	岩	8.0	3.1	4.8	1.3	73			
461	表採	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.0)	—	4.2	1.3	(68)	
462	A6	—	刃	部	欠	損	凝	灰	岩	(8.6)	4.1	—	2.5	(145)
463	A7	—	基	部	破	片	頁	岩	(5.6)	5.5	—	1.8	(75)	
464	表採	—	刃	部	欠	損	凝	灰	岩	(7.4)	2.7	—	1.0	(38)
465	C14	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.8)	—	4.7	0.9	(39)	
466	C20	—	基	部	欠	損	頁	岩	(10.1)	—	3.3	1.6	(108)	
467	A8	短 b	完	形	安	山	岩	11.8	4.9	6.6	1.6	167		
468	表採	短 b	完	形	凝	灰	岩	12.2	7.5	8.4	2.8	390		
469	B6	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(7.8)	3.6	—	(1.3)	(50)	
470	B8	撥 a	完	形	安	山	岩	17.7	5.2	9.1	3.6	635		
471	B6	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.1)	3.3	—	1.4	(70)	
472	C7	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(7.0)	4.3	—	2.1	(98)	
473	B16	短 b	完	形	頁	岩	13.0	5.3	7.2	1.4	180			
474	表採	撥 a	完	形	安	山	岩	13.3	5.0	8.3	2.7	331		
475	B9	短 b	完	形	濃	飛	流	紋	岩	12.1	5.2	7.2	2.2	227
476	B21	短 b	完	形	頁	岩	10.5	4.7	5.9	1.4	127			
477	B12	短 a	完	形	頁	岩	10.7	4.7	4.6	2.1	140			
478	表採	撥 a	完	形	頁	岩	11.1	3.7	6.1	1.8	151			
479	B9	短 b	完	形	頁	岩	10.8	4.7	5.5	2.1	179			
480	表採	短 b	完	形	頁	岩	9.4	4.9	6.4	2.1	187			
481	A12	短 a	完	形	頁	岩	9.3	3.0	4.1	1.2	62			
482	表採	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.4)	4.9	—	1.3	(97)	
483	C17第7層	—	基	部	欠	損	凝	灰	岩	(14.3)	—	10.1	2.9	(595)
484	A6	—	基	部	欠	損	頁	岩	(8.9)	—	6.1	2.5	(224)	
485	C13第7層	短 b	完	形	安	山	岩	14.3	7.3	9.1	3.4	531		
486	A13	短 b	完	形	濃	飛	流	紋	岩	10.0	5.6	6.7	2.7	244
487	C7	短 a	完	形	頁	岩	11.2	3.9	4.4	1.6	102			
488	A22	短 a	完	形	頁	岩	9.7	3.5	4.2	1.8	104			
489	A6	—	刃	部	欠	損	安	山	岩	(10.7)	5.5	—	2.8	(242)
490	C11第7層	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(8.0)	5.4	—	1.9	(131)	
491	表採	—	基	部	欠	損	安	山	岩	(8.8)	—	7.8	(3.8)	(341)
492	B14第7層	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.0)	—	6.3	1.2	(83)	
493	C22	短 a	完	形	頁	岩	8.5	3.7	4.0	0.9	61			
494	C12	—	胴	部	破	片	砂	岩	(7.0)	—	—	1.1	(142)	
495	A15	短 b	完	形	頁	岩	11.1	4.9	6.2	2.2	200			
496	C18	—	基	部	欠	損	安	山	岩	(6.3)	—	4.6	2.0	(61)
497	C22	短 b	完	形	頁	岩	5.9	3.7	4.7	1.6	65			
498	B13	—	刃	部	欠	損	安	山	岩	(5.6)	4.0	—	1.5	(57)
499	B5第7層	短 a	完	形	頁	岩	8.1	2.9	3.3	1.0	41			
500	C4第7層	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(5.2)	3.5	—	(1.3)	(37)	
501	B6	短 b	完	形	砂	岩	8.7	4.9	5.7	1.4	98			
502	C6	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.8)	—	5.4	1.1	(72)	
503	C14	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(5.3)	3.0	—	1.1	(34)	
504	A18	—	基	部	欠	損	凝	灰	岩	(6.5)	—	5.9	1.4	(72)
505	表採	—	刃	部	破	片	頁	岩	(5.5)	—	8.4	(2.3)	(140)	
506	C11	—	基	部	欠	損	頁	岩	(5.7)	—	4.4	1.0	(52)	
507	C15	撥 a	完	形	頁	岩	8.5	2.9	5.3	0.9	75			
508	A14	短 b	完	形	頁	岩	8.7	4.2	5.4	0.8	67			
509	B16	—	基	部	欠	損	砂	岩	(9.6)	—	6.3	2.8	(254)	
510	C20	—	刃	部	破	片	頁	岩	(4.5)	—	7.3	(1.7)	(74)	
511	B21	—	刃	部	破	片	多孔質安山岩	(5.8)	—	6.4	(2.1)	(79)		

512	A15	—	刃部破片	頁岩	(5.7)	—	7.3	(1.6)	(92)
513	表採	—	胴部破片	砂岩	(7.3)	—	—	2.5	(220)
514	表採	短a	完形	頁岩	11.3	2.7	3.7	1.6	93
515	C9	短b	完形	頁岩	7.5	4.1	4.5	1.6	75
516	B20	—	刃部破片	凝灰岩	5.0	—	4.5	(1.0)	(39)
517	B21	短b	完形	頁岩	8.4	5.5	6.0	1.2	96
518	表採	—	刃部欠損	頁岩	(8.8)	3.0	—	1.6	(69)
519	C16	—	基部欠損	頁岩	(6.8)	—	5.4	1.8	(101)
520	B22	—	基部欠損	頁岩	(8.2)	—	4.2	1.4	(71)
521	C11	—	刃部欠損	頁岩	(5.7)	4.0	—	0.8	(37)
522	C11	—	基部欠損	頁岩	(6.0)	—	5.5	1.5	(67)
523	B3	—	基部欠損	頁岩	(10.1)	—	4.5	1.4	(89)
524	C4第7層	—	基部欠損	頁岩	(10.5)	—	5.4	2.9	(274)
525	A5第7層	—	刃部欠損	頁岩	(9.7)	4.8	—	2.3	(200)
526	B5	撥a	完形	頁岩	9.2	3.7	5.6	1.4	98
527	C5	—	刃部欠損	凝灰岩	(8.9)	5.4	—	2.2	(164)
528	C5	短a	完形	頁岩	7.9	2.0	2.9	1.2	41
529	C4第7層	—	刃部欠損	頁岩	(7.0)	3.6	—	2.0	(81)
530	C15第7層	短a	完形	安山岩	12.3	4.0	5.8	2.2	196
531	A21	—	基部欠損	凝灰質流紋岩	(11.0)	—	9.8	(4.7)	(505)
532	C15第7層	—	基部破片	頁岩	(4.4)	4.6	—	(2.1)	(67)
533	B5	—	刃部欠損	安山岩	(6.4)	3.6	—	(2.5)	(94)
534	B23	—	胴部破片	凝灰岩	(4.7)	—	—	1.1	(54)
535	C7	—	刃部欠損	頁岩	(7.9)	4.3	—	(1.6)	(81)
536	C16第4層	—	基部欠損	頁岩	(7.5)	—	4.8	1.6	(82)
537	C5	—	基部欠損	頁岩	(8.7)	—	3.4	1.0	(37)
538	B5	—	基部欠損	頁岩	(7.6)	—	3.2	1.7	(62)
539	C7	短b	完形	頁岩	5.4	3.7	4.1	1.5	41
540	C5	短a	完形	頁岩	11.4	3.9	5.3	1.7	150
541	A4	—	胴部破片	頁岩	(3.6)	—	—	1.1	(27)
542	C5	短a	完形	頁岩	8.7	3.5	3.8	1.1	51
543	A6	—	胴部破片	凝灰岩	(6.8)	—	—	2.3	(108)
544	表採	—	刃部破片	砂岩	(5.9)	—	6.9	2.7	(145)
545	B6	—	基部欠損	頁岩	(6.0)	—	5.3	1.9	(80)
546	C7	—	基部欠損	安山岩	(7.5)	—	5.4	1.3	(111)
547	A6	—	刃部欠損	頁岩	(7.1)	4.1	—	1.8	(92)
548	C7	短b	完形	頁岩	8.4	3.8	4.5	1.5	80
549	C5	—	刃部欠損	凝灰岩	(7.6)	4.7	—	1.7	(83)
550	表採	—	基部破片	砂岩	(5.4)	4.9	—	1.6	(53)
551	B5	—	刃部欠損	頁岩	(9.8)	3.6	—	0.9	(56)
552	C4	短a	完形	頁岩	9.8	3.2	3.6	1.4	74
553	B7	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(7.5)	6.9	—	(2.9)	(244)
554	C14	短a	完形	安山岩	15.1	5.0	7.3	1.9	233
555	A16	短b	完形	飛驒片麻岩	12.9	5.6	7.5	1.7	215
556	C15	短a	完形	飛驒片麻岩	13.0	4.7	6.3	2.7	245
557	表採	短b	完形	安山岩	14.4	6.7	7.8	3.5	432
558	B17	短b	完形	閃綠岩	12.9	5.0	7.2	1.8	205
559	C6	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	(15.7)	5.6	—	3.9	(431)
560	C6	短a	完形	安山岩	14.6	5.4	6.9	3.8	542
561	B4第7層	短a	完形	頁岩	10.4	3.2	4.3	0.8	53
562	C4	—	刃部欠損	頁岩	(7.8)	2.7	—	1.1	(41)
563	B9第7層	撥a	完形	頁岩	6.6	2.3	3.7	1.5	43
564	C20	—	刃部破片	頁岩	(3.3)	—	—	(1.0)	(23)

565	C21	—	刃部欠損	頁	岩	(4.3)	3.1	—	1.0	(26)	
566	B5第7層	—	刃部破片	頁	岩	(3.8)	—	4.1	(1.1)	(24)	
567	B16	—	刃部破片	頁	岩	(2.9)	—	—	(0.9)	(23)	
568	A5第7層	—	基部欠損	頁	岩	(5.2)	—	4.0	(0.9)	(33)	
569	C5	—	刃部欠損	頁	岩	(8.5)	5.6	—	2.1	(154)	
570	B20	—	刃部·基部欠損	安	山岩	(7.3)	—	—	1.0	(38)	
571	A19第7層	撥 a	完形	頁	岩	7.1	2.6	4.6	1.3	45	第85図8
572	C16	—	刃部·基部欠損	頁	岩	(7.2)	—	6.4	0.9	(70)	
573	C22	短 a	完形	頁	岩	13.1	3.5	5.1	1.3	112	第84図17
574	A7	短 a	完形	頁	岩	10.8	3.6	5.0	1.3	87	
575	A4第7層	短 b	完形	頁	岩	8.0	3.2	4.1	1.7	66	
576	表採	短 a	完形	頁	岩	8.1	3.9	3.9	2.5	185	
577	C5	短 b	完形	安	山岩	12.3	4.6	6.3	2.3	238	
578	C5	—	基部欠損	頁	岩	(9.6)	—	4.5	1.2	(85)	
579	C5	—	基部欠損	凝	灰岩	(9.1)	—	6.3	1.5	(106)	
580	C9第7層	撥 b	完形	頁	岩	12.0	2.9	5.3	2.3	189	
581	A3	短 a	完形	流	紋岩	6.5	2.9	3.0	1.6	38	
582	B8	短 a	完形	頁	岩	10.1	4.2	4.9	2.3	157	
583	B7	撥 b	完形	頁	岩	11.9	3.5	3.6	1.6	103	
584	C6	短 a	完形	頁	岩	10.6	3.5	4.9	1.7	132	
585	C9第7層	撥 a	完形	頁	岩	9.2	3.9	5.9	1.7	134	
586	C7	短 b	完形	凝	灰岩	9.0	3.3	4.9	1.8	96	
587	C18第7層	短 b	完形	砂	岩	8.8	3.9	4.8	1.3	74	
588	C7	撥 a	完形	頁	岩	9.9	2.5	5.3	2.1	115	
589	B3	撥 a	完形	頁	岩	8.5	2.7	5.6	1.0	54	
590	C9第7層	短 b	完形	頁	岩	7.6	3.0	3.8	2.1	52	
591	A4第7層	撥 b	完形	頁	岩	10.3	2.9	4.8	2.0	111	
592	C22	短 a	完形	頁	岩	8.0	3.1	3.9	1.2	49	
593	B4	短 b	完形	安	山岩	8.5	3.6	4.4	1.5	77	
594	A4第7層	短 a	完形	凝	灰岩	11.0	4.1	5.0	2.2	135	
595	表採	—	刃部欠損	頁	岩	(7.7)	4.0	—	1.9	(103)	
596	C21第7層	—	破片	頁	岩	(6.2)	—	—	(1.1)	(42)	
597	表採	—	基部欠損	頁	岩	(7.4)	—	4.9	1.5	(59)	
598	B4第7層	—	基部欠損	頁	岩	(7.5)	—	4.8	1.3	(70)	
599	C8	—	基部欠損	凝	灰岩	(7.4)	—	4.9	2.2	(96)	
600	C4	—	刃部欠損	頁	岩	(6.7)	2.7	—	(1.9)	(59)	
601	C4	—	基部欠損	頁	岩	(10.9)	—	6.3	1.7	(177)	
602	C7第7層	—	刃部欠損	頁	岩	(5.8)	3.5	—	2.0	(70)	
603	C5	—	刃部欠損	安	山岩	(8.0)	4.8	—	2.1	(130)	
604	B7	—	刃部欠損	凝	灰岩	(9.0)	4.5	—	2.4	(156)	
605	C22	—	刃部欠損	安	山岩	(10.0)	5.7	—	(2.5)	(171)	
606	B6	短 b	完形	安	山岩	10.9	4.3	6.2	1.0	175	
607	B6	短 b	完形	頁	岩	12.1	5.2	7.4	3.1	346	
608	C5	短 b	完形	頁	岩	10.0	3.6	5.5	2.1	121	
609	C6	撥 a	完形	安	山岩	9.1	3.3	5.2	2.5	125	
610	C8	—	刃部欠損	頁	岩	(9.1)	4.2	—	2.0	(147)	
611	C7	短 b	完形	頁	岩	11.8	5.1	6.1	2.2	221	
612	表採	短 a	完形	頁	岩	12.5	4.8	5.7	2.1	169	
613	B7	—	基部欠損	砂	岩	(12.5)	—	6.0	2.0	(263)	
614	C8	短 b	完形	濃飛流紋	岩	16.4	6.2	8.9	3.2	562	
615	C8	—	基部欠損	頁	岩	(13.3)	—	9.4	2.7	(430)	
616	C7	—	刃部欠損	頁	岩	(9.4)	4.3	—	1.7	(110)	
617	A7	—	刃部欠損	頁	岩	(8.0)	4.3	—	1.2	(86)	



618	B7	短 a	完	形	頁	岩	9.3	3.7	4.5	1.5	96				
619	A4	—	刃	部	欠	損	凝	灰	岩	(10.3)	4.9	—	2.6	(197)	
620	B7	短 a	完	形	頁	岩	11.8	4.2	5.0	1.7	159				
621	A7	—	刃	部	基	部	欠	損	頁	岩	(8.7)	—	—	2.1	(150)
622	B8	短 a	完	形	頁	安	山	岩	11.3	4.8	5.4	2.8	278		
623	C22第7層	短 b	完	形	凝	灰	岩	8.6	3.8	4.4	1.9	72			
624	表採	短 a	完	形	頁	岩	11.1	4.0	5.3	2.2	179				
625	C3	—	基	部	欠	損	頁	岩	(11.8)	—	4.6	1.6	(102)		
626	C3	短 b	完	形	頁	岩	9.5	3.7	5.2	1.7	108				
627	B1	撥 a	完	形	頁	岩	11.5	3.9	6.6	1.2	108				
628	C2	短 a	完	形	頁	岩	11.0	4.3	5.5	1.7	165				
629	C1	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.8)	—	5.0	2.7	(130)		
630	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.9)	—	4.5	2.7	(118)		
631	C2	短 b	完	形	頁	岩	8.8	5.0	5.4	1.5	87				
632	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.7)	—	4.0	2.3	(246)		
633	C14	短 b	完	形	頁	岩	11.0	4.0	5.7	2.0	159				
634	C20	短 a	完	形	頁	岩	9.5	3.5	4.2	1.5	81				
635	C12	短 a	完	形	頁	岩	9.8	3.6	4.8	1.2	78				
636	C6	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(8.4)	3.0	—	2.4	(112)		
637	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(6.4)	—	3.5	1.5	(41)		
638	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.5)	—	5.0	2.5	(146)		
639	B3	—	基	部	欠	損	頁	岩	(6.2)	—	5.0	1.8	(82)		
640	C3	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(7.4)	4.0	—	(2.4)	(112)		
641	表採	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(7.5)	3.9	—	1.3	(61)		
642	C3	短 b	完	形	頁	岩	7.5	4.6	5.0	2.4	112				
643	C3	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(7.3)	4.3	—	0.9	(46)		
644	A19	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.5)	—	4.7	2.2	(112)		
645	C11	—	基	部	欠	損	頁	岩	(8.6)	—	5.1	1.7	(122)		
646	C1	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(5.5)	3.8	—	2.7	(73)		
647	C22第7層	—	刃	部	欠	損	頁	砂	岩	(5.9)	4.0	—	1.6	(57)	
648	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.3)	—	4.0	0.9	(44)		
649	C3	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(8.7)	4.5	—	2.0	(146)		
650	表採	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(13.1)	3.4	—	2.0	(196)		
651	B3	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.6)	3.9	—	1.3	(94)		
652	C2	撥 b	完	形	頁	岩	12.1	2.8	4.2	1.9	109				
653	C2	短 a	完	形	頁	岩	11.6	3.8	4.6	1.8	142				
654	C2	短 b	完	形	頁	岩	10.0	4.7	5.5	1.4	120				
655	A2	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(11.0)	3.9	—	2.5	(172)		
656	A1	短 b	完	形	頁	岩	8.7	3.8	4.7	2.5	207				
657	A2	短 a	完	形	凝	灰	岩	12.1	4.3	5.7	2.2	135			
658	C2	短 b	完	形	凝	灰	岩	10.0	4.3	5.4	2.4	180			
659	A2	短 b	完	形	凝	灰	岩	9.7	4.3	5.9	2.2	160			
660	B2	短 a	完	形	凝	灰	岩	11.2	4.7	5.0	1.8	161			
661	A2	短 a	完	形	頁	岩	10.4	4.5	5.1	1.4	112				
662	A2	短 a	完	形	頁	岩	10.0	3.5	3.9	2.4	129				
663	B3	短 a	完	形	頁	岩	11.5	4.2	5.5	2.3	200				
664	B2	撥 b	完	形	頁	岩	16.9	4.4	7.0	2.5	339				
665	表採	短 a	完	形	頁	岩	11.6	4.0	5.1	1.7	121				
666	B2	短 a	完	形	頁	岩	10.8	4.0	5.1	1.3	112	同12			
667	A2	撥 b	完	形	頁	岩	11.3	2.1	4.0	1.6	76				
668	B2	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(10.7)	3.3	—	1.3	(104)		
669	B3	短 a	完	形	頁	岩	11.9	4.1	5.5	1.6	155				
670	A2	短 b	完	形	安	山	岩	10.7	4.0	5.6	2.0	146			

671	B3	短 b	完	形	頁	岩	9.7	4.1	6.1	1.4	134	
672	B2	—	刃部	欠損	頁	岩	(10.0)	3.5	—	1.3	(77)	
673	B3	短 a	完	形	頁	岩	9.8	3.3	4.6	1.5	112	
674	表採	短 b	完	形	頁	岩	11.1	6.0	6.8	2.2	224	
675	B9	短 b	完	形	頁	岩	9.5	4.8	6.2	1.7	156	
676	C10	—	刃部·基部	欠損	安	山岩	(9.6)	—	—	3.6	(308)	
677	C20	短 a	完	形	頁	岩	11.0	3.6	4.3	1.1	68	
678	C2	—	刃部	欠損	頁	岩	(9.1)	5.7	—	1.6	(138)	
679	B2	短 b	完	形	頁	岩	8.7	3.8	5.4	1.6	91	
680	B2	短 a	完	形	頁	岩	10.3	4.0	4.8	1.1	94	同5
681	B3	撥 b	完	形	頁	岩	9.5	2.6	4.7	1.0	64	
682	C2	—	基部	欠損	頁	岩	(8.4)	—	5.1	1.5	(98)	
683	A13第7層	撥 a	完	形	頁	岩	8.3	2.5	4.5	1.1	47	
684	C5	—	基部	欠損	砂	岩	(7.9)	—	5.2	1.6	(89)	
685	C1	—	基部	欠損	頁	岩	(8.0)	—	6.2	3.0	(189)	
686	C11	—	刃部	欠損	頁	岩	(7.6)	4.2	—	1.0	(60)	
687	C12	短 b	完	形	頁	岩	7.1	2.6	3.8	1.0	33	
688	C15	短 a	完	形	頁	岩	9.3	3.8	3.9	0.9	45	
689	C14	短 b	完	形	安	山岩	9.6	3.6	5.3	1.9	105	
690	C10	—	基部	欠損	安	山岩	(6.8)	—	6.9	(2.6)	(140)	
691	表採	—	基部	欠損	頁	岩	(6.5)	—	5.1	(1.9)	(75)	
692	B2	—	刃部	欠損	頁	岩	(8.8)	3.9	—	1.6	(86)	
693	C1	—	基部	欠損	頁	岩	(6.6)	—	5.7	1.4	(74)	
694	B21	—	刃部	欠損	頁	岩	(7.3)	4.1	—	0.9	(46)	
695	表採	—	刃部	欠損	砂	岩	(8.4)	6.1	—	2.3	(184)	
696	C21	短 a	完	形	頁	岩	9.0	4.4	4.4	1.7	96	
697	C20	—	刃部	欠損	頁	岩	(7.2)	4.4	—	2.7	(83)	
698	B10	—	刃部	欠損	安	山岩	(8.6)	5.8	—	(2.7)	(202)	
699	C2	—	基部	欠損	頁	岩	(6.1)	—	6.5	2.3	(134)	
700	B2	—	刃部	欠損	頁	岩	(6.4)	3.8	—	(1.7)	(71)	
701	C2	短 b	完	形	頁	岩	8.7	4.3	5.8	1.7	111	
702	表採	—	基部	欠損	頁	岩	(11.7)	—	5.8	2.2	(156)	
703	A12	—	刃部·基部	欠損	濃飛流紋	岩	(13.7)	5.3	—	4.3	(577)	
704	表採	—	基部	欠損	砂	岩	(11.1)	—	7.3	1.7	(196)	
705	C11	撥 b	完	形	頁	岩	13.8	3.8	6.7	2.3	234	
706	C12	短 a	完	形	頁	岩	12.7	3.4	3.2	1.4	91	
707	B7	短 a	完	形	頁	岩	10.0	3.5	3.4	1.5	92	
708	B7	短 a	完	形	頁	岩	12.2	3.3	3.9	1.2	80	
709	B7	短 a	完	形	頁	岩	9.2	3.5	4.3	1.8	86	
710	B15	短 a	完	形	頁	岩	11.9	3.4	3.1	1.7	122	
711	C5	短 a	完	形	頁	岩	13.8	3.9	6.3	1.1	109	
712	C20	撥 b	完	形	頁	岩	13.3	3.1	4.8	1.7	152	
713	C1	短 b	完	形	凝	灰岩	13.4	6.3	7.9	2.8	398	
714	A20	撥 b	完	形	頁	岩	13.2	4.6	7.4	2.9	359	第85図12
715	A20	短 a	完	形	安	山岩	11.9	5.2	5.8	2.5	205	
716	A3	撥 a	完	形	安	山岩	14.0	4.7	7.6	3.9	439	
717	B3	短 a	完	形	飛驒片麻	岩	14.5	4.7	6.0	2.4	262	
718	C1	撥 b	完	形	凝	灰岩	16.3	4.6	7.5	3.4	486	
719	B3	撥 a	完	形	凝	灰岩	13.7	4.5	7.7	3.0	375	
720	表採	短 a	完	形	頁	岩	11.0	3.4	4.7	0.9	70	
721	B3	短 b	完	形	飛驒片麻	岩	11.2	6.0	6.3	3.3	343	
722	C1	—	基部	欠損	濃飛流紋	岩	(11.7)	—	9.0	(3.3)	(370)	
723	B2	短 b	完	形	頁	岩	10.7	5.6	7.8	3.0	291	

724	表採	—	基部欠損	頁岩	(12.5)	—	6.0	2.5	(252)
725	C2	撥 a	完形	安山岩	11.9	4.2	6.7	2.1	214
726	C1	短 b	完形	安山岩	10.5	4.7	6.8	1.9	162
727	B3	短 a	完形	凝灰岩	13.8	4.8	6.3	2.8	271
728	C1	短 a	完形	安山岩	12.0	4.4	5.4	3.7	290
729	C2	短 a	完形	凝灰岩	12.8	5.0	6.1	2.1	222
730	C1	—	刃部欠損	頁岩	(13.0)	4.3	—	2.5	(252)
731	B2	—	刃部欠損	安山岩	(12.5)	5.3	—	3.2	(326)
732	C1	短 b	完形	頁岩	10.9	5.3	6.5	1.9	196
733	B2	—	基部欠損	飛驒片麻岩	(10.4)	—	5.8	(2.4)	(166)
734	B3	撥 a	完形	安山岩	12.4	4.3	6.5	3.8	341
735	B16	撥 a	完形	頁岩	12.7	4.6	7.3	1.9	207
736	C24	—	刃部欠損	頁岩	(6.9)	3.2	—	1.5	(76)
737	A12第7層	—	基部欠損	頁岩	(6.0)	—	4.0	1.6	(54)
738	A19第7層	—	基部欠損	頁岩	(6.5)	—	5.8	1.4	(63)
739	A19第7層	—	刃部破片	頁岩	(3.9)	—	—	1.2	(33)
740	A3	—	刃部欠損	頁岩	(8.8)	3.0	—	1.5	(81)
741	A3	—	刃部欠損	砂岩	(7.1)	5.1	—	2.2	(136)
742	C1	—	刃部欠損	安山岩	(8.6)	4.5	—	2.0	(124)
743	C2	—	刃部欠損	頁岩	(9.5)	3.9	—	1.7	(124)
744	B10	短 a	完形	頁岩	10.0	3.9	4.8	1.6	98
745	B16	—	基部欠損	頁岩	(6.6)	—	6.2	2.3	(145)
746	B15	—	刃部破片	安山岩	(6.6)	—	7.6	(2.1)	(145)
747	A4第7層	—	基部欠損	頁岩	(8.3)	—	4.5	1.9	(77)
748	C7	—	基部破片	安山岩	(8.3)	7.0	—	(4.1)	(328)
749	B2	—	刃部欠損	安山岩	(8.5)	5.3	—	(2.4)	(163)
750	B3	—	刃部欠損	安山岩	(8.2)	6.7	—	(2.3)	(187)
751	C2	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(7.0)	4.0	—	1.4	(78)
752	C14	—	破片	安山岩	(6.9)	—	—	(1.3)	(52)
753	表採	—	刃部欠損	凝灰岩	(9.2)	4.9	—	1.9	(150)
754	C24	—	基部欠損	安山岩	(9.2)	—	6.0	1.8	(141)
755	B23	—	刃部欠損	安山岩	(9.1)	4.9	—	2.8	(146)
756	B12	—	刃部欠損	頁岩	(8.0)	4.6	—	1.6	(98)
757	A12第7層	—	刃部破片	頁岩	(4.9)	—	3.8	0.7	(30)
758	A12第7層	—	基部欠損	砂岩	(8.2)	—	6.7	2.7	(137)
759	B2	—	刃部欠損	安山岩	(9.1)	4.8	—	2.1	(125)
760	表採	—	基部欠損	凝灰岩	(9.5)	—	7.9	2.9	(287)
761	A2	—	刃部·基部欠損	安山岩	(7.8)	—	—	(1.6)	(101)
762	A6	—	刃部破片	砂岩	(4.3)	—	—	0.9	(37)
763	B18	—	基部欠損	安山岩	(12.0)	—	5.0	2.4	(178)
764	A20	短 a	完形	安山岩	12.0	3.8	5.0	2.4	183
765	B3	短 b	完形	頁岩	13.1	6.0	7.3	2.8	366
766	B18	短 b	完形	安山岩	16.2	5.4	8.2	3.9	530
767	C3	短 a	完形	頁岩	12.1	3.4	4.5	2.3	169
768	C1	短 a	完形	頁岩	12.1	4.6	5.4	1.9	148
769	C1	撥 a	完形	頁岩	12.1	3.9	6.8	2.0	202
770	C21	短 b	完形	砂岩	13.1	5.7	7.8	2.8	323
771	表採	短 a	完形	頁岩	11.6	4.6	5.5	2.2	174
772	C5	撥 a	完形	安山岩	13.9	4.8	7.2	3.2	306
773	表採	短 b	完形	濃飛流紋岩	14.9	5.6	7.9	3.5	506
774	B1	短 a	完形	頁岩	13.6	5.1	5.8	2.6	298
775	B1	短 b	完形	安山岩	11.2	6.3	7.4	3.5	360
776	B3	短 a	完形	頁岩	10.0	3.8	4.7	2.0	131

第84図15

777	C2	短 a	完	形	頁	岩	9.8	3.2	4.5	1.9	113				
778	B18	短 a	完	形	凝	灰 岩	17.6	4.6	6.6	1.8	237				
779	表採	短 a	完	形	頁	岩	15.4	4.8	6.3	2.3	365				
780	B2	短 b	完	形	頁	岩	7.9	3.8	4.5	1.2	65				
781	B18	短 a	完	形	頁	岩	9.6	3.7	4.2	1.1	67				
782	B3	短 b	完	形	安	山 岩	9.8	5.6	5.1	2.2	163				
783	表採	撥 a	完	形	凝	灰 岩	9.8	3.4	5.2	1.6	111				
784	表採	撥 b	完	形	凝	灰 岩	9.8	4.2	5.4	1.8	141				
785	A3	撥 a	完	形	凝	灰 岩	10.6	3.1	6.6	2.2	174				
786	A21	撥 a	完	形	凝	灰 岩	10.6	3.7	6.3	1.7	130				
787	C18	撥 a	完	形	頁	岩	9.1	3.5	5.5	1.4	102				
788	B3	短 a	完	形	頁	岩	10.9	3.3	3.6	1.3	80				
789	C3	短 b	完	形	安	山 岩	10.1	3.1	5.1	2.2	126				
790	B3	短 b	完	形	安	山 岩	10.1	4.5	5.9	2.3	184				
791	B2	短 a	完	形	頁	岩	11.2	4.0	5.6	2.7	203				
792	A2	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(7.5)	4.5	—	1.7	(91)		
793	A2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(8.4)	—	4.9	2.5	(143)		
794	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.2)	—	4.7	1.9	(97)		
795	A2	短 b	完	形	頁	岩	8.8	4.6	5.5	2.1	115				
796	B3	短 b	完	形	頁	岩	10.8	4.5	5.5	1.4	117				
797	B3	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.0)	—	6.0	2.7	(218)		
798	C1	—	基	部	破	片	頁	岩	(7.4)	5.8	—	(3.8)	(202)		
799	A2	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.7)	5.6	—	(3.0)	(239)		
800	B2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.2)	—	4.5	2.3	(87)		
801	C1	—	刃	部	欠	損	安	山 岩	(5.5)	3.8	—	1.4	(50)		
802	B2	—	基	部	欠	損	安	山 岩	(8.9)	—	5.7	2.5	(154)		
803	C1	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.1)	5.8	—	2.1	(146)		
804	B3	—	基	部	欠	損	安	山 岩	(6.2)	—	4.5	2.8	(102)		
805	B3	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.2)	—	4.3	2.7	(114)		
806	表採	—	基	部	欠	損	頁	岩	(11.3)	—	6.1	2.0	(209)		
807	A2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(8.0)	—	6.1	1.7	(137)		
808	A3	—	刃	部	欠	損	安	山 岩	(17.5)	12.3	—	4.0	(1340)		
809	C2	—	刃	部	欠	損	流	紋 岩	(11.7)	7.0	—	3.4	(435)		
810	A3	—	基	部	欠	損	砂	岩	(9.7)	—	8.0	3.7	(395)		
811	B12	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.6)	4.7	—	2.3	(178)		
812	C6	—	基	部	破	片	頁	岩	(5.5)	6.3	—	1.3	(82)		
813	B2	短 a	完	形	頁	岩	11.9	4.4	4.2	1.1	91				
814	C24	—	基	部	欠	損	凝	灰 質 流 紋 岩	(10.9)	—	10.4	3.9	(532)		
815	表採	—	刃	部	欠	損	安	山 岩	(7.6)	6.3	—	2.7	(193)		
816	C2	—	刃	部	·	基	部	欠	損	砂	岩	(12.5)	—	2.2	(211)
817	B2	—	基	部	欠	損	砂	岩	(11.3)	—	6.0	1.9	(166)		
818	C2	—	刃	部	·	基	部	欠	損	安	山 岩	(12.4)	—	2.3	(205)
819	表採	—	刃	部	欠	損	砂	岩	(10.4)	4.9	—	3.2	(283)		
820	C1	—	刃	部	欠	損	安	山 岩	(12.9)	7.9	—	(4.4)	(566)		
821	C2	—	基	部	欠	損	頁	岩	(11.6)	—	5.9	2.5	(284)		
822	C2	短 b	完	形	凝	灰 岩	11.5	6.8	7.8	2.8	286				
823	C2	短 b	完	形	凝	灰 岩	10.5	6.2	6.9	3.7	337				
824	C3	撥 a	完	形	凝	灰 岩	10.9	3.7	6.2	1.8	128				
825	C2	短 a	完	形	頁	岩	14.7	5.6	6.5	3.3	429				
826	B3	撥 a	完	形	凝	灰 岩	13.8	4.4	8.2	3.9	382				
827	B4	短 b	完	形	濃	飛 流 紋 岩	13.7	5.8	7.8	3.1	443				
828	B4	短 a	完	形	安	山 岩	16.5	4.9	6.5	3.0	388				
829	A1	短 b	完	形	凝	灰 岩	9.2	5.5	6.1	1.6	155				

830	B3	短 a	完	形	安山岩	17.0	5.3	5.8	3.2	410
831	C2	短 a	完	形	凝灰岩	12.7	4.4	5.4	2.6	232
832	C3	短 a	完	形	頁岩	14.5	5.4	6.1	2.6	297
833	B2	短 a	完	形	濃飛流紋岩	15.9	6.2	7.9	3.7	585
834	B3	撥 a	完	形	濃飛流紋岩	12.6	5.7	8.8	3.2	454
835	A2	短 b	完	形	濃飛流紋岩	12.9	6.3	8.2	3.6	480
836	A2	短 b	完	形	砂岩	14.6	5.7	8.1	3.2	473
837	表採	短 a	完	形	頁岩	14.8	4.9	5.9	3.1	349
838	C1	—	基	部欠損	頁岩 (9.6)	—	4.7	2.2	(132)	
839	C1	—	刃	部欠損	頁岩 (10.6)	4.2	—	1.6	(133)	
840	B1	—	基	部欠損	頁岩 (8.7)	—	4.4	1.1	(63)	
841	C2	—	刃	部欠損	頁岩 (7.6)	3.6	—	1.8	(99)	
842	A11	—	刃	部欠損	頁岩 (5.9)	4.2	—	1.2	(50)	
843	C1	—	基	部欠損	頁岩 (7.9)	—	3.6	0.9	(46)	
844	B5	—	刃	部欠損	頁岩 (8.8)	3.8	—	1.8	(117)	
845	B11	—	刃	部欠損	頁岩 (7.5)	3.7	—	1.7	(65)	
846	B2	—	基	部欠損	石英斑岩 (14.2)	—	11.1	3.9	(723)	
847	B2	短 b	完	形	頁岩	7.1	4.4	6.1	1.5	82
848	B3	—	刃	部欠損	頁岩 (6.9)	4.1	—	2.0	(83)	
849	C3	—	刃	部欠損	頁岩 (5.8)	3.9	—	1.4	(65)	
850	C2	—	基	部欠損	凝灰岩 (13.8)	3.8	4.3	2.0	(175)	
851	C1	—	刃	部欠損	頁岩 (8.8)	5.0	—	1.5	(106)	
852	C1	—	刃	部破片	頁岩 (3.9)	—	—	(0.9)	(25)	
853	C2	—	基	部欠損	頁岩 (6.7)	—	6.0	1.7	(84)	
854	C2	—	基	部欠損	飛驒片麻岩 (9.5)	—	8.7	2.9	(377)	
855	B3	—	基	部欠損	安山岩 (11.0)	—	8.2	3.1	(440)	
856	C3	—	刃	部欠損	濃飛流紋岩 (10.9)	7.5	—	4.4	(411)	
857	B3	—	刃	部欠損	凝灰岩 (8.2)	5.1	—	2.4	(136)	
858	C3	—	刃	部欠損	凝灰岩 (8.6)	6.4	—	3.0	(226)	
859	C3	—	基	部欠損	凝灰岩 (9.6)	—	8.2	2.1	(215)	
860	C1	—	刃	部欠損	安山岩 (8.2)	4.0	—	2.0	(119)	
861	C21	撥 b	完	形	頁岩	11.2	3.3	6.1	2.4	176
862	B3	短 a	完	形	頁岩	13.7	2.6	3.7	2.0	132
863	C2	短 a	完	形	頁岩	9.0	3.2	3.5	1.3	51
864	B2	撥 a	完	形	頁岩	9.5	3.2	5.4	1.2	85
865	C3	—	基	部欠損	頁岩 (9.0)	—	4.2	1.8	(85)	
866	A6	短 b	完	形	安山岩	10.4	5.4	6.3	2.4	174
867	C6	短 b	完	形	頁岩	8.9	4.3	4.9	1.9	114
868	表採	短 a	完	形	頁岩	11.5	4.3	5.2	2.2	177
869	B5	—	刃	部欠損	頁岩 (16.1)	5.7	—	3.4	(571)	
870	C15	—	基	部欠損	安山岩 (11.2)	—	5.0	1.9	(107)	
871	A13	短 b	完	形	頁岩	9.7	4.4	5.1	1.7	116
872	C17	—	基	部欠損	砂岩 (8.6)	—	3.9	1.1	(57)	
873	C2	短 b	完	形	頁岩	7.9	4.3	4.9	1.8	93
874	C3	—	刃	部欠損	頁岩 (9.2)	3.7	—	1.7	(100)	
875	B5第7層	短 a	完	形	安山岩	9.9	4.7	4.5	1.9	148
876	C1	短 a	完	形	頁岩	10.8	3.4	4.2	1.9	122
877	C1	—	基	部欠損	頁岩 (10.1)	—	4.7	1.2	(74)	
878	C3	短 a	完	形	頁岩	8.6	3.3	3.9	1.3	59
879	C23	短 b	完	形	頁岩	9.5	4.3	5.4	1.9	123
880	C22	短 a	完	形	頁岩	11.1	3.9	4.7	1.3	94
881	A19	短 a	完	形	頁岩	11.9	4.7	5.9	2.4	200
882	C2	短 a	完	形	頁岩	11.1	4.2	5.3	2.3	167

883	C1	短 a	完	形	頁	岩	10.7	3.2	4.5	1.8	113			
884	A3	短 a	完	形	頁	岩	11.8	3.5	5.2	1.7	150			
885	C1	短 a	完	形	頁	岩	6.6	2.8	3.9	0.9	29			
886	B3	短 a	完	形	頁	岩	10.0	3.7	4.4	1.4	93			
887	C3	短 a	完	形	頁	岩	9.0	3.3	4.2	1.5	76			
888	A2	短 a	完	形	頁	岩	9.6	3.3	4.0	1.5	76			
889	B2	短 b	完	形	頁	岩	11.4	4.0	5.9	2.3	195			
890	表採	—	基	部	欠	損	頁	岩 (10.5)	—	4.3	1.2 (58)			
891	B9	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (6.4)	4.5	—	1.4 (68)			
892	A15	—	基	部	欠	損	安	山 岩 (9.3)	—	6.4	2.1 (157)			
893	表採	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (5.1)	3.2	—	1.6 (41)			
894	B23	—	刃	部	破	片	安	山 岩 (6.0)	—	8.6	(2.4) (169)			
895	C13	—	刃	部	破	片	安	山 岩 (5.7)	—	7.7	(2.1) (128)			
896	C14	—	胸	部	破	片	凝	灰 岩 (6.6)	—	—	(2.3) (180)			
897	C10	—	基	部	欠	損	安	山 岩 (6.0)	—	5.5	1.5 (78)			
898	C10	—	刃	部	欠	損	濃	飛 流 紋 岩 (9.4)	4.4	—	3.8 (332)			
899	C19	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (6.4)	4.4	—	1.8 (83)			
900	C5	短 a	完	形	頁	岩	10.0	4.0	4.5	1.8	106			
901	C20	—	刃	部	·	基	部	欠	損	頁	岩 (7.4)	—	—	1.4 (72)
902	A12	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (7.5)	3.8	—	2.1 (79)			
903	C5	—	刃	部	欠	損	凝	灰 質 流 紋 岩 (9.0)	5.2	—	3.1 (217)			
904	C13	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (8.9)	7.6	—	2.2 (215)			
905	B11	—	刃	部	破	片	頁	岩 (9.9)	—	—	2.8 (103)			
906	C24	—	基	部	欠	損	閃	綠 岩 (9.2)	—	6.8	(2.7) (180)			
907	C16	—	基	部	欠	損	凝	灰 岩 (7.6)	—	7.1	2.8 (195)			
908	A12	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (9.5)	3.8	—	1.4 (94)			
909	C10	—	刃	部	破	片	飛	驃 片 麻 岩 (7.6)	—	9.0	2.8 (249)			
910	B20	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (7.6)	4.0	—	2.0 (105)			
911	C21	短 b	完	形	頁	岩	8.0	3.5	4.2	1.3	67			
912	C21	—	刃	部	破	片	安	山 岩 (4.0)	—	—	(1.3) (41)			
913	C12	—	刃	部	欠	損	凝	灰 岩 (6.4)	4.0	—	1.8 (92)			
914	C11	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (9.1)	6.3	—	2.7 (253)			
915	表採	—	基	部	欠	損	砂	岩 (11.7)	—	6.1	3.3 (220)			
916	C5	—	基	部	欠	損	安	山 岩 (7.5)	—	5.7	(3.3) (210)			
917	C22	—	基	部	欠	損	飛	驃 片 麻 岩 (10.2)	—	6.9	3.4 (339)			
918	B13	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (12.3)	5.6	—	2.2 (246)			
919	A19	撥 a	完	形	頁	岩	13.6	3.7	7.2	2.4	258			
920	A17	—	基	部	欠	損	頁	岩 (8.7)	—	5.0	1.6 (95)			
921	C20	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (9.6)	5.9	—	2.2 (249)			
922	A21	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (9.5)	5.0	6.2	1.4 (107)			
923	表採	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (17.0)	5.9	—	3.7 (522)			
924	C2	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (8.6)	4.0	—	2.5 (116)			
925	C19	短 a	完	形	頁	岩	9.5	3.6	4.2	1.4	60			
926	B21	撥 b	完	形	頁	岩	12.5	3.8	6.1	1.9	178			
927	C21	短 a	完	形	凝	灰	岩	13.4	4.3	5.7	2.6 223			
928	C16	短 b	完	形	頁	岩	14.1	6.2	8.3	3.7	492			
929	A20	短 a	完	形	凝	灰	岩	15.3	6.8	7.4	3.1 460			
930	C21	—	刃	部	欠	損	凝	灰 質 流 紋 岩 (15.9)	6.4	—	4.1 (581)			
931	C12	—	刃	部	欠	損	安	山 岩 (17.5)	5.8	—	3.5 (605)			
932	B18	短 a	完	形	頁	岩	12.5	4.1	5.8	3.0	252			
933	C19	短 b	完	形	頁	岩	11.4	5.9	6.4	1.5	195			
934	C3	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (7.9)	4.4	—	1.8 (82)			
935	A12	—	刃	部	欠	損	頁	岩 (4.5)	2.3	—	0.8 (11)			

第85圖9

936	C21	—	胴部破片	砂岩	(6.7)	—	—	2.3	(154)
937	A17	—	刃部破片	頁岩	(5.7)	—	6.7	(0.7)	(51)
938	C19	—	刃部破片	頁岩	(5.0)	—	6.8	1.5	(66)
939	C19	—	基部欠損	頁岩	(5.4)	—	3.2	0.8	(21)
940	A21	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(7.2)	6.8	—	(3.0)	(165)
941	C18	—	刃部欠損	頁岩	(8.0)	6.2	—	2.2	(159)
942	C15	—	刃部欠損	頁岩	(8.0)	6.4	—	(1.9)	(102)
943	A8	撥 b	完形	砂岩	10.1	2.8	5.0	1.3	93
944	B5	短 a	完形	安山岩	12.7	6.0	6.2	4.3	515
945	C23	—	基部欠損	安山岩	(7.1)	—	5.6	2.1	(123)
946	A5	—	基部破片	安山岩	(6.2)	4.3	—	3.2	(128)
947	A4	—	基部欠損	濃飛流紋岩	(11.2)	—	8.3	3.4	(459)
948	B2	—	刃部欠損	安山岩	(9.6)	3.7	—	2.2	(157)
949	C21	短 a	完形	頁岩	12.6	4.3	4.7	2.0	151
950	B5	短 a	完形	安山岩	12.1	4.5	4.8	1.4	112
951	A3	短 a	完形	頁岩	10.7	3.7	4.8	1.7	136
952	表採	撥 a	完形	安山岩	18.0	5.6	10.2	3.1	647
953	C7	短 b	完形	凝灰質流紋岩	15.6	5.8	7.9	4.3	524
954	C5	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(21.8)	8.5	—	3.3	(921)
955	C15第7層	短 b	完形	砂岩	17.0	7.3	9.3	3.5	634
956	B13第7層	短 a	完形	頁岩	10.5	4.3	4.7	2.0	137
957	B6	—	刃部欠損	頁岩	(11.8)	4.2	—	1.5	(122)
958	B6	短 a	完形	頁岩	11.0	3.3	3.6	1.3	70
959	SK-1	—	刃部欠損	頁岩	(8.8)	4.4	—	1.3	(96)
960	SK-1	—	刃部欠損	頁岩	(8.3)	4.9	—	2.9	(190)
961	C18	—	胴部破片	安山岩	(6.2)	—	—	3.1	(147)
962	SK-1	—	基部欠損	安山岩	(6.5)	—	—	1.6	(58)
963	A7	—	刃部破片	頁岩	(5.9)	—	5.5	1.4	(58)
964	A7	—	基部欠損	頁岩	(8.6)	—	4.0	1.0	(60)
965	A7	—	刃部欠損	凝灰岩	(7.8)	3.7	—	2.2	(100)
966	表採	—	胴部破片	安山岩	(5.1)	—	—	1.3	(63)
967	A5	—	刃部欠損	頁岩	(10.2)	4.2	—	2.6	(139)
968	C4第7層下部	—	刃部欠損	安山岩	(10.5)	5.1	—	3.2	(269)
969	C11第7層	短 a	完形	頁岩	12.6	4.4	5.3	2.0	169
970	C11第7層	撥 a	完形	飛驒片麻岩	12.9	5.2	8.9	3.9	517
971	C11第7層	—	基部破片	頁岩	(4.0)	3.5	—	(2.1)	(66)
972	C11第7層	—	基部欠損	頁岩	(6.1)	—	4.7	1.9	(76)
973	A11第7層	撥 b	完形	砂岩	11.8	4.7	6.0	1.7	154
974	A11第7層	—	基部欠損	凝灰岩	(10.6)	—	9.4	3.4	(338)
975	A11第7層	—	基部欠損	安山岩	(13.4)	—	9.6	5.6	(910)
976	C19	—	刃部欠損	安山岩	(10.7)	4.7	—	3.6	(339)
977	A6	撥 b	完形	安山岩	15.2	4.2	6.3	3.7	535
978	A4	—	刃部破片	安山岩	(10.1)	—	10.5	2.9	(393)
979	A8	—	基部欠損	濃飛流紋岩	(23.0)	—	13.3	5.0	(2080)
980	A7	撥 a	完形	多孔質安山岩	23.1	7.8	12.5	3.9	1780
981	表採	—	刃部欠損	頁岩	(5.9)	3.3	—	0.9	(34)
982	B19	—	基部欠損	濃飛流紋岩	(9.0)	—	6.0	2.4	(159)
983	B5	—	基部破片	頁岩	(5.3)	3.7	—	1.3	(44)
984	C19第7層	—	破片	頁岩	(6.6)	—	—	(0.8)	(9)

第57表 うづか地点打製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	基部巾	刃部巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	L7Ⅱ	短a	完形	安山岩	15.2	7.1	7.6	2.5	398	
2	J18	—	基部一部欠損	砂岩	(12.3)	(4.8)	7.3	3.0	(252)	
3	N7	短b	完形	多孔質安山岩	12.7	5.0	7.0	2.4	244	
4	I5Ⅱ	短a	完形	頁岩	12.7	4.5	4.6	2.4	207	
5	表土	短a	完形	安山岩	12.5	3.9	5.1	1.2	102	
6	L6Ⅱ	—	基部一部欠損	安山岩	(14.1)	(5.3)	6.1	1.9	(220)	
7	L6Ⅱ	短a	完形	安山岩	12.5	5.0	5.6	1.5	168	
8	I8表	短b	完形	安山岩	13.0	5.9	8.1	3.5	343	
9	F7Ⅱ	撥a	完形	濃飛流紋岩	11.6	4.5	6.8	2.6	245	
10	P11Ⅱ	短b	完形	凝灰質流紋岩	14.5	5.3	7.3	4.9	476	
11	J8Ⅱ	—	刃部一部欠損	凝灰岩	(15.5)	6.3	8.9	3.7	(529)	
12	N6	—	刃部欠損	多孔質安山岩	(12.3)	6.4	—	3.8	(412)	
13	L6Ⅱ	—	刃部欠損	頁岩	7.9	4.0	—	1.3	(71)	
14	L6Ⅱ	—	基部一部欠損	頁岩	(7.9)	—	4.8	1.2	(54)	
15	L5Ⅱ	—	刃部欠損	頁岩	(8.4)	4.0	—	1.6	(80)	
16	Q4Ⅱ	短b	完形	頁岩	8.7	4.4	5.4	1.5	93	
17	F8Ⅱ	撥a	完形	頁岩	8.7	3.4	5.4	1.2	75	
18	L8Ⅱ	—	刃部欠損	頁岩	(7.0)	4.3	—	2.1	(81)	
19	M2Ⅱ	—	刃部欠損	頁岩	(7.7)	3.6	—	1.5	(72)	
20	Q7	—	刃部一部欠損	頁岩	(10.3)	2.8	(5.2)	1.9	(109)	
21	R9	—	刃部欠損	砂岩	(9.1)	7.1	—	(2.5)	(252)	
22	S B-1	—	基部欠損	砂岩	(7.0)	—	7.2	(2.4)	(151)	
23	K9Ⅱ	—	基部欠損	安山岩	(6.6)	—	6.0	(0.9)	(59)	
24	F4Ⅱ	—	刃部欠損	濃飛流紋岩	(7.4)	5.0	—	(1.6)	(101)	
25	N7	—	刃部欠損	頁岩	(6.0)	4.3	—	(1.0)	(53)	
26	N6Ⅱ	—	基部破片	頁岩	(5.3)	4.8	—	(1.6)	(65)	
27	I8	—	基部破片	凝灰岩	(8.0)	7.2	—	(2.3)	(130)	
28	H8	—	基部欠損	砂岩	(7.4)	—	5.5	(1.4)	(74)	
29	F8	—	基部欠損	頁岩	(6.8)	—	5.0	1.2	(78)	
30	H9ミゾ	—	刃部破片	安山岩	(5.1)	—	—	(1.5)	(65)	
31	H9ミゾ	—	刃部破片	頁岩	(3.1)	—	—	(1.3)	(48)	
32	F6Ⅱ	—	基部欠損	頁岩	(9.5)	—	6.9	(2.0)	(161)	
33	F7Ⅱ	—	刃部一部欠損	頁岩	(13.1)	6.8	—	3.0	(360)	
34	表土	撥a	完形	安山岩	12.0	6.2	9.4	3.2	399	
35	表採	—	刃部欠損	頁岩	(8.3)	4.9	—	2.0	(134)	
36	L6Ⅱ	短a	完形	安山岩	12.2	5.0	6.1	2.5	241	
37	F7Ⅱ	—	刃部欠損	砂岩	(12.6)	5.6	—	2.4	(298)	
38	H9ミゾ	短b	完形	凝灰岩	12.0	5.2	7.0	3.2	312	
39	G6Ⅱ	—	基部欠損	頁岩	(11.6)	—	9.2	2.4	(358)	
40	G8Ⅱ	短b	完形	濃飛流紋岩	13.5	5.7	7.3	3.0	323	
41	J8Ⅱ	—	基部欠損	凝灰岩	(11.0)	—	7.4	2.1	(266)	
42	F5Ⅱ	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	(12.2)	6.0	—	3.3	(313)	
43	F7Ⅱ	撥a	完形	安山岩	12.1	3.8	6.2	2.5	266	
44	J8Ⅱ	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	11.5	5.7	—	2.1	(194)	
45	F5Ⅱ	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	9.5	4.6	—	2.5	(170)	
46	E8	—	刃部欠損	凝灰質流紋岩	9.5	6.1	—	2.5	(217)	
47	表採	—	刃部欠損	砂岩	11.5	5.6	—	2.6	(259)	
48	F7Ⅱ	—	刃部欠損	頁岩	11.3	5.0	—	2.2	(209)	
49	K7Ⅱ	—	基部欠損	砂岩	(11.1)	—	7.1	2.1	(196)	
50	F7Ⅱ	短b	完形	砂岩	11.2	4.3	5.9	3.2	254	



51	B6Ⅱ	短b	完形	頁岩	12.5	6.3	7.4	2.4	290
52	F7Ⅱ	—	基部欠損	凝灰質流紋岩	(8.5)	—	7.3	2.4	(202)
53	F7Ⅱ	—	基部破片	安山岩	(7.9)	6.0	—	2.3	(165)
54	F5Ⅱ	—	刃部破片	濃飛流紋岩	(8.6)	—	—	(1.7)	(132)
55	M9Ⅱ	—	基部欠損	安山岩	(8.6)	—	8.2	(2.9)	(253)
56	M9Ⅱ	—	基部欠損	凝灰岩	(8.9)	—	6.7	1.1	(77)
57	H8Ⅱ	—	基部破片	安山岩	(8.2)	—	—	(2.4)	(149)
58	F7Ⅱ	—	胴部破片	飛驒片麻岩	(11.0)	—	—	(1.9)	(178)
59	I8Ⅱ	—	胴部破片	砂岩	(10.8)	—	—	(2.4)	(210)
60	H7表土	—	刃部欠損	飛驒片麻岩	(10.0)	4.9	—	(2.4)	(213)
61	G6Ⅱ	—	刃部欠損	砂岩	(9.9)	6.3	—	(4.0)	(283)
62	N8Ⅱ	撥a	完形	凝灰岩	10.2	3.5	5.7	1.9	119
63	H8Ⅱ	—	刃部欠損	頁岩	(10.8)	4.4	—	2.5	(165)
64	F8	短b	完形	頁岩	9.5	3.9	5.3	2.1	135
65	G6Ⅱ	短a	完形	頁岩	9.5	3.1	4.5	2.2	102
66	L8Ⅱ	撥a	完形	飛驒片麻岩	8.4	2.8	4.7	1.5	78
67	表採	—	刃部欠損	凝灰岩	(10.8)	3.1	4.1	1.8	(80)
68	L9Ⅱ	—	基部欠損	安山岩	(9.4)	4.1	4.1	1.3	(85)
69	R8	短b	完形	飛驒片麻岩	8.3	3.0	4.4	1.6	68
70	C5Ⅱ	—	基部欠損	頁岩	(9.1)	—	4.9	1.8	(130)
71	F8Ⅱ	—	基部欠損	頁岩	(10.2)	—	5.4	2.0	(160)
72	N7	—	1/2欠損	頁岩	(10.3)	—	—	(1.6)	(74)
73	N5Ⅱ	—	胴部破片	頁岩	(10.8)	—	—	2.3	(189)
74	M6Ⅱ	—	刃部欠損	安山岩	(8.8)	4.7	—	(2.8)	(176)
75	表採	—	胴部一部欠損	砂岩	10.7	3.2	4.3	1.9	(137)
76	F7Ⅱ	—	基部欠損	石英斑岩	(12.4)	—	8.5	3.7	(681)
77	L8Ⅱ	短b	完形	濃飛流紋岩	11.4	5.6	7.0	2.7	414
78	G6Ⅱ	—	基部破片	安山岩	(7.2)	7.6	—	(2.3)	(199)
79	I7Ⅱ	—	刃部欠損	凝灰岩	(7.9)	5.4	—	(1.9)	(122)
80	G8Ⅱ	—	刃部破片	頁岩	(6.2)	—	6.5	(1.3)	(75)
81	E6Ⅱ	撥a	完形	砂岩	10.4	3.9	6.1	2.6	150

第58表 センター地点打製石斧一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	基部巾	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C12	—	基部破片	濃飛流紋岩	(6.8)	6.2	—	(3.0)	(178)	
2	C9	—	基部欠損	安山岩	(9.0)	—	7.5	2.7	(250)	
3	A9	—	基部欠損	安山岩	(11.1)	—	8.9	(2.6)	(421)	
4	A9	短b	完形	頁岩	9.3	3.9	5.3	2.1	118	
5	B15	短a	完形	凝灰岩	12.0	3.6	4.2	1.1	78	
6	C8	—	基部欠損	頁岩	(10.7)	—	8.7	1.2	(201)	
7	A5	短b	完形	頁岩	11.3	5.7	6.1	2.1	226	
8	A10	—	刃部欠損	頁岩	(9.7)	—	—	(1.7)	(73)	
9	B13	—	胴部破片	頁岩	(5.8)	—	—	3.0	(172)	
10	C8	—	基部欠損	頁岩	(8.4)	—	5.5	2.1	(125)	
11	B10	—	基部欠損	凝灰岩	(7.5)	—	4.4	1.6	(87)	
12	C7	—	刃部破片	凝灰岩	(5.9)	—	9.6	(1.7)	(112)	
13	A9	—	基部破片	砂岩	(6.2)	5.8	—	2.1	(116)	
14	B10	—	刃部・基部欠損	頁岩	(7.6)	—	—	1.3	(50)	
15	A9	—	刃部破片	安山岩	(4.1)	—	—	2.1	(52)	
16	B11	—	刃部欠損	頁岩	(4.9)	3.5	—	1.5	(38)	
17	B11	短b	完形	頁岩	7.8	4.4	4.3	2.1	88	

18	C12	短 b	完	形	凝	灰	岩	8.9	4.9	6.9	2.3	164					
19	A9	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.5)	—	7.3	1.5	(112)				
20	B10	—	刃	部	破	片	安	山	岩	(7.3)	—	8.8	2.6	(221)			
21	B11	短 a	完	形	頁	岩		11.4	4.1	4.7	1.9	150					
22	表土	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(10.2)	4.6	—	1.8	(136)				
23	A11	—	基	部	一	部	欠	損	頁	岩	(10.0)	4.4	6.1	1.6	(117)		
24	C9	短 b	完	形	凝	灰	岩	11.4	4.0	5.8	1.8	108					
25	B13	—	基	部	一	部	欠	損	頁	岩	10.7	4.0	5.0	1.5	(117)		
26	表土	短 b	完	形	頁	岩		9.5	3.9	5.2	1.3	81					
27	C11	—	基	部	欠	損	頁	岩	6.6	—	3.6	1.0	(42)				
28	B7	短 b	完	形	頁	岩		7.2	3.3	3.8	0.9	28					
29	C8	—	刃	部	欠	損	塩	屋	石	(5.7)	2.5	—	1.7	(37)			
30	B13	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(5.6)	3.4	—	1.0	(24)				
31	B9	—	胴	部	破	片	頁	岩	(5.5)	—	—	(0.9)	(46)				
32	B14	—	刃	部	欠	損	凝	灰	岩	(12.5)	4.9	—	2.5	(242)			
33	B7	短 b	完	形	閃	綠	岩	12.1	5.6	7.8	2.8	377					
34	C8	短 b	完	形	凝	灰	岩	10.6	5.3	6.3	2.7	213					
35	B14	—	基	部	欠	損	頁	岩	(11.5)	—	4.8	2.7	(207)				
36	B14	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(11.5)	5.7	—	2.5	(269)				
37	表採	—	刃	部	欠	損	凝	灰	質	流	紋	岩	(9.6)	5.7	—	3.8	(287)
38	B8	—	刃	部	破	片	安	山	岩	(7.6)	—	9.2	(2.5)	(252)			
39	表採	短 a	完	形	凝	灰	岩	10.8	3.9	3.7	2.1	115					
40	B13	短 a	完	形	凝	灰	岩	12.4	4.1	4.9	1.6	155					
41	A13	—	基	部	欠	損	安	山	岩	(15.1)	—	7.3	2.7	(356)			
42	A11	短 a	完	形	頁	岩		12.2	4.9	5.9	2.5	285					
43	表採	短 a	完	形	頁	岩		13.7	4.5	5.4	3.2	298					
44	B10	短 b	完	形	安	山	岩	13.5	6.1	7.7	4.2	543					
45	C10	撥 a	完	形	濃	飛	流	紋	岩	16.0	3.8	8.9	4.0	684			
46	B10	—	刃	部	破	片	安	山	岩	(4.7)	—	—	(1.6)	(53)			
47	B8	—	基	部	破	片	頁	岩	(3.6)	5.3	—	(2.5)	(42)				
48	B10	—	基	部	欠	損	飛	驛	片	麻	岩	(8.5)	—	7.6	3.3	(357)	
49	C12	短 a	完	形	砂	岩		11.0	6.2	7.8	1.7	230					
50	B12	—	基	部	欠	損	頁	岩	(14.6)	—	6.2	2.0	(285)				
51	A10	—	基	部	一	部	欠	損	頁	岩	10.5	—	5.5	2.1	(169)		
52	C8	—	基	部	一	部	欠	損	頁	岩	(10.8)	4.0	6.3	2.5	(219)		
53	A11	短 b	完	形	頁	岩		8.5	3.4	3.4	1.8	77					
54	B13	—	基	部	欠	損	安	山	岩	(11.2)	—	7.4	3.7	(404)			
55	A10	撥 a	完	形	頁	岩		8.9	3.6	5.9	1.8	113					
56	A9	—	刃	部	欠	損	濃	飛	流	紋	岩	(11.0)	4.6	—	2.0	(141)	
57	B12	短 a	完	形	頁	岩		10.7	2.8	3.4	1.0	74					
58	C10	—	刃	部	欠	損	砂	岩	(7.7)	4.5	—	2.0	(112)				
59	B10	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(8.7)	6.1	—	1.5	(149)				
60	B10	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.3)	—	8.0	(4.3)	(354)				
61	A11	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(8.7)	4.8	—	2.4	(148)				
62	C11	短 b	完	形	安	山	岩	12.0	5.2	6.8	2.2	218					
63	A11	撥 a	完	形	凝	灰	岩	11.6	4.5	7.8	2.9	242					
64	A9	短 a	完	形	凝	灰	岩	13.8	3.7	5.1	1.8	127					
65	B10	—	基	部	欠	損	頁	岩	(9.5)	—	5.2	2.0	(136)				
66	A8	短 a	完	形	安	山	岩	12.0	3.5	4.1	1.7	127					
67	C11	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(9.2)	2.9	—	1.1	(49)				
68	C13	—	基	部	欠	損	頁	岩	(8.1)	—	4.7	0.9	(65)				
69	A11	—	基	部	一	部	欠	損	頁	岩	(8.5)	3.8	4.3	1.5	(66)		
70	A11	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(10.4)	2.7	—	1.0	(52)				

71	A7	—	基部	破片	頁岩	(6.1)	—	—	(1.6)	(78)
72	B11	—	基部	欠損	安山岩	(9.4)	—	4.7	1.5	(96)
73	A8	短 a	完	形	頁岩	11.7	3.7	5.1	1.9	135
74	A9	—	刃部	欠損	頁岩	(9.8)	4.7	—	2.0	(168)
75	A9	—	刃部	欠損	凝灰岩	(11.0)	4.9	—	2.4	(223)
76	A10	—	刃部	欠損	砂岩	(10.2)	6.3	—	2.9	(305)
77	C12	—	基部	欠損	安山岩	(11.0)	—	6.8	2.5	(223)
78	B10	撥 a	完	形	飛驒片麻岩	13.4	5.1	8.5	3.5	540
79	C9	—	刃部	欠損	凝灰岩	(6.3)	3.9	—	1.4	(55)
80	C11	短 b	完	形	頁岩	10.2	4.3	5.6	2.2	181
81	C11	短 b	完	形	頁岩	8.7	4.4	4.9	1.7	96
82	A9	—	刃部	破片	安山岩	(6.1)	—	—	(2.0)	(84)
83	A8	—	刃部	欠損	凝灰岩	(9.9)	4.1	—	3.3	(209)
84	A7	—	刃部	破片	頁岩	(4.9)	—	6.5	(2.3)	(103)
85	B10	—	刃部	欠損	凝灰岩	(11.1)	4.7	—	2.6	(247)
86	A7	—	基部	欠損	閃綠岩	(10.4)	—	10.0	2.8	(474)
87	C9	—	刃部	破片	砂岩	(7.6)	—	11.9	(4.1)	(461)
88	C8	—	刃部	破片	凝灰岩	(8.0)	—	10.0	(3.5)	(347)
89	C12	—	基部	欠損	砂岩	(10.0)	—	8.3	3.7	(445)
90	B12	—	基部	欠損	頁岩	(9.5)	—	6.1	2.0	(189)
91	C7	—	基部	欠損	頁岩	(9.5)	—	5.4	1.9	(145)
92	C12	短 b	完	形	頁岩	6.7	3.9	5.1	1.4	70
93	C7	—	基部	欠損	砂岩	(7.1)	—	4.7	1.7	(78)
94	C9	短 b	完	形	凝灰岩	8.2	4.6	5.9	2.1	232
95	C7	撥 a	完	形	安山岩	11.7	3.4	7.6	2.7	238
96	C8	短 b	完	形	凝灰岩	10.6	5.2	6.5	2.1	175
97	C11	短 a	完	形	頁岩	10.3	5.2	4.5	1.3	88
98	B12	撥 b	完	形	頁岩	11.1	3.4	5.3	2.7	211
99	B12	短 a	完	形	安山岩	10.6	4.0	5.1	1.5	123
100	C9	—	刃部	欠損	頁岩	(12.9)	4.6	—	1.7	(170)
101	C7	短 b	完	形	頁岩	7.1	2.9	3.6	0.9	36
102	B6	—	胴部	破片	頁岩	(5.8)	—	—	0.9	(37)
103	B5	—	刃部	欠損	頁岩	(8.5)	5.7	—	2.4	(205)
104	B6	—	刃部	欠損	頁岩	(12.5)	7.3	—	2.6	(312)
105	B6	—	刃部	欠損	頁岩	(9.0)	4.3	—	2.0	(109)
106	B6II b	—	基部	欠損	頁岩	(10.0)	—	5.4	1.8	(126)
107	B6	—	基部	破片	安山岩	(6.7)	7.0	—	(2.2)	(147)
108	B6	—	刃部	破片	安山岩	(6.7)	—	8.5	2.9	(227)
109	B6II b	短 b	完	形	安山岩	19.7	7.7	10.5	3.9	940
110	B7	短 a	完	形	頁岩	15.0	6.2	6.9	3.0	386
111	C6II b	短 a	完	形	頁岩	11.8	3.5	4.9	2.4	176
112	B6	短 a	完	形	安山岩	12.0	4.2	4.8	3.1	178
113	表採	短 a	完	形	安山岩	10.0	4.0	5.5	1.9	116
114	C5	短 b	完	形	頁岩	8.6	3.9	4.7	2.0	94
115	C6II b	—	基部	欠損	安山岩	(11.0)	—	7.4	2.4	(234)
116	A12	短 a	完	形	安山岩	9.4	4.2	4.5	1.7	88
117	A12	—	刃部	欠損	頁岩	(8.3)	4.4	—	(2.2)	(96)
118	B14	—	刃部	欠損	頁岩	(10.3)	4.8	—	1.7	(161)
119	C13	—	刃部	欠損	砂岩	(9.2)	7.2	—	2.8	(330)
120	C13	—	刃部	欠損	安山岩	(10.0)	5.5	—	3.0	(289)
121	表採	—	基部	欠損	濃飛流紋岩	(7.6)	—	8.5	2.3	(215)
122	B7	—	刃部	破片	石英斑岩	(7.0)	—	6.3	2.0	(118)
123	B12	短 a	完	形	安山岩	21.0	7.6	9.5	4.0	1400

124	B11	撥b	完	形	頁	岩	12.1	4.2	5.1	1.8	146	
125	C13	短b	完	形	頁	岩	12.0	3.8	4.4	1.6	99	
126	C7	撥b	完	形	凝	灰岩	13.4	3.8	6.5	2.1	202	
127	A12	短b	完	形	安	山岩	12.3	5.9	6.7	2.8	325	
128	D10	短a	完	形	頁	岩	10.4	4.6	4.7	2.0	149	
129	D10	短b	完	形	頁	岩	10.7	4.3	5.7	2.4	219	
130	A11	短a	完	形	頁	岩	10.6	4.8	4.8	1.6	110	
131	B10	—	基	部	欠	損	頁	岩	(7.7)	—	5.8	2.4 (162)
132	表土	短b	完	形	頁	岩	9.9	3.5	5.2	1.8	115	
133	C5Ⅱb	—	刃	部	欠	損	安	山	(10.0)	4.9	—	2.3 (189)
134	B4Ⅰ	—	基	部	欠	損	砂	岩	(8.8)	—	5.9	2.5 (140)
135	C5Ⅱb	短b	完	形	安	山岩	12.0	4.7	6.1	2.6	251	
136	B13	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(6.9)	3.4	—	1.1 (49)
137	C6	—	基	部	欠	損	頁	岩	(5.4)	—	5.7	1.7 (72)
138	A11	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(6.0)	3.9	—	1.6 (57)
139	B14	—	刃	部	欠	損	頁	岩	(10.8)	5.0	—	1.6 (148)
140	C12	撥b	完	形	頁	岩	8.8	2.2	3.5	1.3	63	第85図14
141	B8	撥a	完	形	頁	岩	12.0	4.0	6.5	1.5	134	同7
142	A11	撥a	完	形	安	山岩	10.8	3.6	6.1	1.4	94	同5
143	B14	撥a	完	形	凝	灰質流紋岩	13.7	4.4	7.7	2.3	247	同10
144	C7	短b	完	形	頁	岩	9.6	4.9	6.0	2.6	175	同1
145	B12	短a	完	形	頁	岩	14.3	4.3	6.3	2.3	305	第84図14
146	C7	短a	完	形	頁	岩	11.7	3.6	5.3	2.7	196	
147	B11	短a	完	形	頁	岩	12.0	3.8	5.1	1.7	122	同16
148	A10	撥b	完	形	頁	岩	11.1	3.6	5.5	1.8	150	第85図11
149	B9	短b	完	形	頁	岩	9.9	3.5	5.2	1.7	109	同2
150	A8	短a	完	形	頁	岩	10.0	4.1	4.2	1.5	95	
151	A10	撥b	完	形	頁	岩	12.3	3.5	5.9	1.8	146	
152	A7	短a	完	形	頁	岩	9.8	3.4	4.3	1.4	89	第84図4
153	A12	短a	完	形	頁	岩	7.5	2.8	3.7	0.8	40	同1
154	C12	短a	完	形	安	山岩	25.0	7.2	7.7	4.4	1020	

第59表 前田地点上層環状石斧一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C15	½ 欠損	安山岩	(10.6)	(5.7)	2.9	(222)	第85図15

第60表 宮ノ前地点横刃形石器一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	12	4層	完形	頁岩	5.9	9.0	1.4	88	第86図3
2	11	4層	完形	頁岩	3.9	10.5	1.0	48	同15
3	3	4層	一部欠損	頁岩	4.3	(12.5)	0.6	(63)	同13
4	22・23抔	4層	完形	頁岩	6.3	12.4	1.5	147	同14
5	6	4層	一部欠損	頁岩	6.1	(8.7)	1.6	(105)	同5
6	23	4層	完形	頁岩	5.6	8.2	1.5	72	
7	28~30	2層	完形	凝灰岩	6.3	8.4	1.9	124	
8	32	4層	完形	頁岩	6.4	9.4	1.3	128	
9	6	4層	完形	頁岩	8.1	8.9	2.2	163	
10	4	3層	完形	砂岩	8.4	10.5	2.5	264	
11	27	4層	完形	頁岩	7.2	11.4	2.5	260	

12	7	4層	完	形	砂	岩	6.0	9.5	1.5	116
13	7	4層	完	形	安	山	7.8	11.6	2.3	257
14	4	3層	完	形	砂	岩	7.5	11.4	1.8	150
15	22·23	4層	完	形	頁	岩	3.5	7.4	1.8	23
16	25	4層	一	部	損	頁	4.5	(8.0)	1.9	(36)
17	26	4層	完	形	砂	岩	6.2	10.4	1.8	99
18	38	3·4層	完	形	砂	岩	5.8	8.8	1.9	117
19	26	4層	1/3	欠	損	頁	(3.2)	8.2	1.0	(37)
20	22·23	4層	完	形	頁	岩	6.7	8.3	1.6	110
21	38	3·4層	完	形	砂	岩	5.7	5.4	1.6	56
22	26	4層	完	形	頁	岩	5.0	7.4	1.1	43
23	7	3層	1/3	欠	損	砂	4.7	(6.9)	1.4	(54)
24	6	4層	1/2	欠	損	頁	(5.8)	(5.4)	0.8	(32)
25	23	4層	1/3	欠	損	頁	5.6	(5.8)	0.8	(44)
26	52	3層	完	形	頁	岩	3.3	7.5	0.7	22
27	38	3·4層	完	形	頁	岩	5.2	7.5	1.2	55
28	45	3層	完	形	頁	岩	4.8	5.7	1.0	36
29	11	4層	完	形	頁	岩	5.9	10.4	1.8	116
30	42	4層	完	形	頁	岩	3.9	9.2	0.7	38
31	38	3·4層	完	形	安	山	4.5	10.1	1.4	58
32	41	3·4層	完	形	飛	片	6.9	11.9	1.5	141
33	23	4層	完	形	頁	岩	3.4	8.7	0.8	25
34	24	4層	完	形	頁	岩	6.1	11.4	0.9	90
35	23	4層	完	形	安	山	8.2	11.1	1.7	169
36	23	4層	1/2	欠	損	安	6.1	(5.4)	1.2	(49)
37	8·9	4層	破	片	頁	岩	(3.8)	(5.5)	(1.2)	(29)
38	24	4層	1/2	欠	損	頁	(5.3)	(5.6)	(1.5)	(51)
39	28~30	2層	完	形	頁	岩	6.0	11.6	1.4	97
40	28~30	2層	完	形	砂	岩	5.4	9.9	2.0	71
41	32	3層	一	部	損	安	4.6	(10.5)	3.0	(153)
42	24	4層	完	形	頁	岩	4.0	6.5	1.4	42
43	28~30	2層	完	形	頁	岩	4.3	6.9	0.9	34
44	24	4層	1/3	欠	損	頁	4.6	(5.7)	0.8	(34)
45	31	4層	1/3	欠	損	頁	5.5	(6.4)	1.2	(58)
46	35	3層	完	形	頁	岩	4.5	9.5	1.2	66
47	25	4層	一	部	損	頁	5.2	(8.5)	0.8	(54)
48	11	4層	完	形	頁	岩	7.6	13.7	2.4	300
49	28~30	2層	完	形	頁	岩	5.3	8.8	1.4	63
50	5	4層	完	形	安	山	8.0	10.0	1.5	150
51	1	4層	完	形	頁	岩	7.3	11.4	1.4	161
52	15·16	2層	完	形	頁	岩	5.2	7.7	1.2	61
53	26	3層	完	形	凝	灰	6.0	11.2	1.1	95
54	4	3層	一	部	損	安	5.5	(7.9)	1.5	(68)
55	45	3層	一	部	損	凝	4.9	(8.7)	1.2	(76)
56	11	4層	完	形	頁	岩	6.0	8.0	1.3	80
57	41	4層	完	形	頁	岩	3.1	5.9	0.6	12
58	27	4層	一	部	損	頁	3.4	(6.9)	0.8	(26)
59	1	4層	完	形	安	山	4.4	9.6	1.4	63
60	41	4層	完	形	頁	岩	4.2	12.3	1.9	133
61	7	3層	一	部	損	安	(6.8)	10.7	1.9	(166)
62	1	4層	1/2	欠	損	頁	(6.4)	(7.1)	(2.4)	(138)
63	11	4層	完	形	頁	岩	4.9	9.4	1.0	57
64	3	3層	完	形	頁	岩	4.5	9.9	1.2	58

65	31	4層	完	形	頁	岩	5.2	8.5	1.4	93	
66	11	4層	完	形	頁	岩	4.8	7.6	1.1	43	
67	27	4層	1/2	欠	損	安山岩	6.1	(5.0)	0.6	(33)	
68	7	4層	完	形	安山岩	7.8	8.6	1.1	83		
69	11	4層	完	形	頁	岩	6.9	9.7	1.7	143	
70	3	4層	完	形	頁	岩	7.3	8.9	1.7	133	
71	31	3層	完	形	頁	岩	5.2	15.2	2.4	194	
72	24	4層	完	形	頁	岩	5.6	10.6	1.9	112	
73	24	4層	2/3	欠	損	安山岩	(5.1)	(4.9)	(1.3)	(49)	
74	18	2層	完	形	頁	岩	4.4	7.6	0.6	24	
75	26	3層	完	形	頁	岩	5.1	8.1	1.8	96	
76	19・20	2層	完	形	頁	岩	5.9	8.4	1.1	60	
77	21	3層	完	形	安山岩	6.9	11.5	1.8	175		
78	17	2層	一部	欠	損	砂岩	5.9	(8.1)	1.4	(75)	
79	26	3層	1/3	欠	損	頁	岩	4.3	(5.2)	0.9	(29)
80	16	2層	完	形	頁	岩	3.2	9.1	1.0	32	
81	22	4層	完	形	頁	岩	6.4	9.2	1.0	96	
82	2	4層	完	形	頁	岩	5.8	9.1	1.5	81	
83	32	3層	完	形	頁	岩	4.9	7.0	1.2	44	
84	1	4層	完	形	頁	岩	6.7	8.0	1.0	67	
85	3	4層	完	形	凝	灰岩	5.0	11.7	1.7	75	
86	32	3層	完	形	安山岩	4.1	9.9	1.2	67		
87	11	3層	完	形	砂	岩	9.7	12.9	2.2	324	
88	27	4層	1/3	欠	損	頁	岩	4.1	(5.3)	0.7	(14)
89	4	4層	一部	欠	損	頁	岩	6.0	(6.8)	1.1	(51)
90	3	4層	完	形	頁	岩	6.0	10.1	1.4	102	
91	16	2層	完	形	頁	岩	6.3	15.2	1.1	150	

第61表 前田地点上層横刃形石器一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号		
1	A12第7層	完	形	頁	岩	4.6	10.5	1.8	181	
2	C6	完	形	頁	岩	9.0	9.8	2.6	279	
3	B9	1/2	欠	損	安山岩	(5.9)	(9.1)	(2.4)	(143)	
4	A17	完	形	頁	岩	5.7	8.9	1.7	99	
5	A5第7層	完	形	凝	灰岩	10.1	15.2	2.7	475	
6	A17	刃部	破片	頁	岩	(5.2)	(5.3)	(1.3)	(33)	
7	C15	刃部	破片	凝	灰質流紋岩	(6.7)	(6.8)	1.4	(51)	
8	B12	1/3	欠	損	砂	岩	(6.2)	(8.0)	1.6	(100)
9	C16	1/2	欠	損	安山岩	(6.3)	(6.6)	(1.3)	(57)	
10	A20	完	形	安山岩	8.3	9.5	2.5	211		
11	C12	完	形	安山岩	7.5	7.2	2.1	127		
12	C18	一部	欠	損	頁	岩	5.5	(8.6)	1.1	(62)
13	A11	完	形	頁	岩	7.5	11.0	1.0	114	
14	C10	完	形	凝	灰岩	6.8	12.9	1.7	181	
15	B20	完	形	安山岩	6.1	7.5	0.9	49		
16	表採	一部	欠	損	安山岩	5.9	(6.4)	1.4	(80)	
17	A20	一部	欠	損	安山岩	10.0	(9.8)	1.9	(236)	
18	B18	完	形	濃	飛流紋岩	5.0	8.3	1.8	81	
19	C14	完	形	凝	灰岩	10.5	11.2	1.7	343	
20	C8第7層	刃部	破片	頁	岩	(5.8)	(4.3)	1.2	(40)	
21	B17	1/3	欠	損	濃	飛流紋岩	(6.5)	(8.5)	(2.8)	(182)

第86図1

22	C16	完	形	砂	岩	7.0	9.7	2.9	241	
23	C11第7層	完	形	安山	岩	7.9	10.1	3.3	280	
24	C13第7層	完	形	凝灰質流紋	岩	7.0	9.9	1.8	113	
25	C11	1/2	欠損	凝灰	岩	(4.1)	7.3	1.1	(50)	
26	A9	1/3	欠損	砂	岩	(6.0)	(4.9)	(1.6)	(55)	
27	A5	完	形	安山	岩	7.4	8.6	1.4	131	
28	C21第7層	1/3	欠損	砂	岩	5.4	(7.2)	1.2	(55)	
29	A17	完	形	凝灰	岩	12.0	15.7	2.4	549	
30	A16	1/2	欠損	砂	岩	8.7	(7.6)	2.2	(183)	
31	C15第7層	完	形	砂	岩	9.9	10.6	3.1	274	
32	A20	完	形	凝灰質流紋	岩	8.9	10.6	2.7	247	
33	B18第7層	完	形	頁岩	岩	8.6	11.2	2.7	245	
34	C14第7層	1/3	欠損	安山	岩	8.6	(9.0)	1.4	(120)	
35	C10第7層	完	形	頁岩	岩	5.8	8.7	1.9	98	同3
36	C5	1/2	欠損	砂	岩	(3.4)	7.9	(0.8)	(35)	
37	A6	完	形	砂	岩	7.6	12.4	2.9	293	
38	C6	完	形	砂	岩	5.3	7.4	1.1	58	同4
39	C16第7層下部	完	形	頁岩	岩	5.9	13.7	1.3	159	
40	B20	2/3	欠損	頁岩	岩	(3.8)	(5.1)	(1.0)	(26)	
41	B7	一部	欠損	砂	岩	7.0	7.1	1.1	(66)	
42	B5	一部	欠損	頁岩	岩	6.3	10.1	1.4	(100)	
43	B14第7層	1/3	欠損	凝灰	岩	(5.3)	(8.7)	(1.1)	(51)	
44	B8	完	形	頁岩	岩	6.2	6.5	1.2	58	
45	C4	1/3	欠損	頁岩	岩	7.9	(6.1)	1.7	(105)	
46	A7	完	形	頁岩	岩	6.1	9.1	1.8	131	
47	C7	一部	欠損	凝灰	岩	(6.6)	(9.2)	1.6	(112)	
48	C19	一部	欠損	安山	岩	7.8	(9.5)	1.3	(120)	
49	B9	完	形	砂	岩	5.7	11.7	2.6	160	
50	B11	一部	欠損	頁岩	岩	4.6	(5.6)	0.7	(22)	
51	C4	完	形	頁岩	岩	5.5	10.2	1.7	114	
52	表採	完	形	頁岩	岩	5.4	7.9	1.5	72	
53	A7	1/3	欠損	頁岩	岩	(4.0)	(5.6)	1.0	(35)	
54	A5第7層	1/2	欠損	頁岩	岩	(6.0)	(5.9)	(0.9)	(43)	
55	B4	2/3	欠損	砂	岩	(6.2)	(6.6)	(1.6)	(79)	
56	A16	完	形	頁岩	岩	4.5	10.6	0.9	51	
57	B14	完	形	凝灰質流紋	岩	5.9	12.8	2.5	144	
58	C9	完	形	凝灰質流紋	岩	8.3	10.6	1.4	145	
59	C14	完	形	頁岩	岩	5.8	6.9	1.3	79	
60	C9	完	形	頁岩	岩	7.4	8.1	1.3	102	
61	表採	完	形	頁岩	岩	6.0	8.6	1.2	66	
62	B9	1/3	欠損	頁岩	岩	4.7	(9.1)	1.5	(87)	
63	C10	一部	欠損	安山	岩	5.0	6.6	1.1	(51)	
64	C5	1/2	欠損	流紋	岩	(6.2)	(4.3)	(0.9)	(43)	
65	C5	完	形	頁岩	岩	5.5	8.5	1.7	92	
66	C21	一部	欠損	凝灰質流紋	岩	5.9	(10.2)	1.8	(94)	
67	A5	1/3	欠損	頁岩	岩	6.6	(11.5)	1.5	(157)	
68	B5	2/3	欠損	安山	岩	(7.3)	(6.0)	1.9	(110)	
69	B11	完	形	頁岩	岩	4.8	6.9	0.8	32	
70	C7	完	形	砂	岩	6.8	9.4	1.6	126	
71	A17	1/3	欠損	頁岩	岩	8.0	(7.2)	1.7	(147)	
72	C4第7層	完	形	砂	岩	5.3	7.5	0.9	50	
73	B16第7層	完	形	頁岩	岩	6.2	10.2	1.3	78	
74	C16第4層	完	形	凝灰	岩	6.0	8.2	1.2	78	

75	B14第7層	完	形	頁	岩	6.8	9.0	1.5	121	同7	
76	B22	完	形	頁	岩	5.0	7.9	1.6	64		
77	B13第7層	完	形	頁	岩	6.5	12.8	1.9	171	同12	
78	C5	一部	欠	損	閃綠岩	8.4	(11.8)	2.8	(366)		
79	C4第7層	1/3	欠	損	砂岩	(7.3)	(9.4)	1.5	(122)		
80	表採	完	形	安山岩		10.9	11.6	2.5	362		
81	C4第7層	完	形	頁	岩	7.2	10.6	1.3	109		
82	A14第7層	完	形	砂	岩	5.7	10.3	1.6	113		
83	表採	1/2	欠	損	安山岩	(7.5)	(6.4)	(2.7)	(136)		
84	C22	完	形	安山岩		6.7	9.9	2.6	174		
85	C17第4層	完	形	凝灰質流紋岩		5.6	8.6	1.3	67		
86	C5	1/3	欠	損	安山岩	6.0	(8.7)	2.3	(166)		
87	C16	完	形	凝灰岩		9.7	11.6	3.3	483		
88	C5	1/2	欠	損	砂岩	(5.9)	(5.9)	1.0	(49)		
89	B14	完	形	安山岩		8.2	11.0	2.7	195		
90	C9	完	形	安山岩		7.0	8.6	1.6	102		
91	B7	完	形	頁	岩	6.6	12.1	1.5	136		
92	C24	一部	欠	損	安山岩	7.3	(9.1)	1.3	(92)		
93	C5	1/3	欠	損	砂岩	9.7	(11.4)	2.2	(303)		
94	C15	完	形	濃飛流紋岩		11.0	10.7	3.1	345		
95	C15	完	形	安山岩		9.1	12.5	1.7	207		
96	B4	完	形	頁	岩	6.3	10.1	1.3	109		
97	A12	完	形	砂	岩	7.7	13.2	2.5	248		
98	C5	完	形	砂	岩	7.7	8.6	1.7	146		
99	B5	一部	欠	損	頁	岩	5.1	(9.4)	0.8	(45)	
100	C11	完	形	頁	岩	6.3	9.4	1.2	92		
101	C7	一部	欠	損	砂	岩	7.0	9.9	1.9	(156)	
102	C5第7層下部	一部	欠	損	砂	岩	9.0	(10.8)	2.5	(314)	
103	C9第7層	完	形	頁	岩	7.5	9.5	1.6	115		
104	B21	完	形	頁	岩	7.3	11.6	1.4	172		
105	B17	完	形	凝灰岩		8.5	10.8	2.7	229		
106	A14第7層	完	形	砂	岩	4.4	7.9	0.9	31		
107	C12第7層	1/3	欠	損	安山岩	(7.3)	(5.8)	(2.1)	(117)		
108	C18	完	形	安山岩		6.2	8.7	2.0	135		
109	B5	完	形	頁	岩	7.2	9.6	1.5	137		
110	B13	1/3	欠	損	砂	岩	7.3	(7.7)	1.4	(99)	
111	C5	完	形	頁	岩	9.0	12.4	3.6	443		
112	C5	完	形	頁	岩	5.2	10.1	1.7	121		
113	B20第7層	完	形	頁	岩	7.2	9.5	1.8	137		
114	表採	刃部	破	片	安山岩	(2.1)	(6.2)	(0.5)	(11)		
115	B5	完	形	頁	岩	3.9	13.2	1.7	93		
116	C5	完	形	頁	岩	6.4	8.0	1.1	77		
117	A7	1/3	欠	損	頁	岩	7.8	(8.3)	1.2	(86)	
118	B17第3層	完	形	凝灰質流紋岩		7.1	7.5	1.3	70		
119	A21第7層	完	形	安山岩		7.8	11.4	2.2	252		
120	C4	1/2	欠	損	砂	岩	(8.7)	(10.6)	(3.9)	(318)	
121	B1	完	形	濃飛流紋岩		9.3	12.5	2.5	373		
122	表採	完	形	頁	岩	8.6	12.8	4.3	399		
123	C21	完	形	濃飛流紋岩		11.8	14.2	1.8	322		
124	C21第7層	完	形	凝灰質流紋岩		7.1	7.9	2.0	107		
125	C5	完	形	頁	岩	5.2	7.2	2.3	124		
126	C6	完	形	頁	岩	4.3	9.3	1.3	63		
127	表採	完	形	頁	岩	5.3	8.0	0.9	40		



128	B 19第7層	$\frac{2}{3}$	欠	損	凝灰質流紋岩	(4.6)	(6.1)	1.4	(64)	
129	A 8	一	部	欠	頁 岩	4.1	(7.1)	0.9	(31)	
130	A 19	一	部	欠	安 山 岩	10.0	(12.6)	1.3	(186)	
131	B 4	完		形	凝灰質流紋岩	7.9	11.0	2.9	235	
132	C 4	$\frac{1}{2}$	欠	損	安 山 岩	(5.9)	(5.7)	1.3	(69)	
133	C 17第4層	完		形	凝灰質流紋岩	6.7	7.8	1.8	76	
134	C 13第7層	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁 岩	4.5	(6.0)	0.8	(37)	
135	C 17	一	部	欠	頁 岩	5.1	(6.3)	0.8	(38)	
136	C 8	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂 岩	(6.8)	(9.0)	1.3	(105)	
137	C 4第7層	完		形	凝灰質流紋岩	6.5	9.7	1.4	87	
138	表採	完		形	頁 岩	7.8	10.4	2.0	229	同8
139	C 8	一	部	欠	凝 灰 岩	5.6	(9.4)	1.2	(86)	
140	C 6	$\frac{1}{3}$	欠	損	凝灰質流紋岩	9.1	(9.3)	1.8	(148)	
141	A 16	一	部	欠	砂 岩	(9.5)	12.2	2.8	(339)	
142	B 5	完		形	頁 岩	5.1	9.6	1.5	69	
143	B 14第7層	$\frac{1}{2}$	欠	損	凝灰質流紋岩	8.1	(7.0)	2.2	(131)	
144	C 4第7層	完		形	凝 灰 岩	7.4	12.0	2.0	218	
145	C 6	完		形	安 山 岩	5.9	8.2	1.9	103	
146	C 5第7層下部	一	部	欠	砂 岩	6.0	10.9	1.6	(129)	
147	C 5	完		形	頁 岩	6.0	9.7	2.8	150	
148	C 9	$\frac{1}{3}$	欠	損	凝 灰 岩	6.5	(8.2)	1.2	(74)	
149	表採	完		形	頁 岩	5.6	9.2	0.9	58	同2
150	A 4第7層	完		形	砂 岩	7.2	12.8	1.8	166	
151	C 5第7層下部	完		形	砂 岩	6.9	10.6	3.0	254	
152	C 5	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁 岩	5.7	(7.7)	2.0	(102)	
153	A 16	完		形	安 山 岩	5.2	7.6	1.2	59	
154	C 14	完		形	凝灰質流紋岩	5.2	8.6	1.4	64	
155	C 11	完		形	濃飛流紋岩	7.8	13.8	1.5	204	同10
156	C 5	完		形	凝 灰 岩	8.8	12.6	2.4	289	
157	B 20	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂 岩	(6.0)	(9.4)	2.4	(126)	
158	C 4第7層	$\frac{1}{2}$	欠	損	頁 岩	7.7	8.1	1.8	(123)	
159	A 4	完		形	飛驒片麻岩	8.1	15.7	2.6	416	同11
160	C 19	完		形	頁 岩	6.4	8.2	1.5	105	
161	B 12第7層	完		形	凝灰質流紋岩	8.7	12.8	2.1	243	
162	B 14第7層	完		形	安 山 岩	8.4	9.0	1.5	152	
163	A 5第7層	完		形	頁 岩	8.1	9.9	1.6	168	同9
164	C 4	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁 岩	(5.7)	(6.7)	1.1	(64)	
165	A 11第7層	完		形	安 山 岩	6.0	9.0	1.7	105	
166	C 11第7層	完		形	安 山 岩	5.4	9.1	1.3	70	
167	C 5	完		形	頁 岩	6.6	6.9	2.6	140	
168	C 5	一	部	欠	砂 岩	8.7	(12.0)	1.9	(304)	
169	表採	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁 岩	7.8	(7.9)	1.2	(108)	
170	表採	完		形	頁 岩	8.3	8.2	1.3	96	
171	B 2	完		形	凝灰質流紋岩	5.6	11.2	2.5	169	
172	A 8	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂 岩	(7.8)	(11.6)	1.8	(194)	
173	C 8	完		形	頁 岩	4.5	7.9	1.2	46	
174	C 20第7層	完		形	濃飛流紋岩	6.0	10.8	1.3	94	
175	B 20	刃	部	破	濃飛流紋岩	(4.9)	(5.2)	(0.8)	(30)	
176	表採	完		形	頁 岩	5.1	6.7	0.8	40	
177	B 16	完		形	頁 岩	5.9	7.9	1.4	85	
178	C 21	$\frac{2}{3}$	欠	損	砂 岩	(6.7)	(4.5)	(1.7)	(63)	
179	B 12第7層	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂 岩	(5.8)	(7.2)	1.0	(51)	
180	C 18	$\frac{1}{2}$	欠	損	頁 岩	6.8	6.2	1.1	(52)	

181	表採	完	形	頁	岩	5.2	8.8	2.0	84
182	C4	完	形	砂	岩	4.7	10.6	1.5	82
183	C20	完	形	頁	岩	6.3	7.8	1.6	77
184	B4	完	形	頁	岩	7.2	8.0	2.0	145
185	B5第7層	1/3	欠 損	凝	灰 岩	(7.6)	13.0	1.5	(178)
186	C22第7層	完	形	砂	岩	7.2	10.7	2.8	215
187	A15第7層	完	形	頁	岩	7.8	11.1	1.5	143
188	B4	1/2	欠 損	頁	岩	6.8	(6.7)	1.3	(82)
189	B19	2/3	欠 損	凝	灰質流紋岩	(6.2)	(5.5)	2.7	(73)
190	表採	完	形	凝	灰質流紋岩	8.5	9.7	1.5	131
191	C17	完	形	頁	岩	10.1	10.8	1.3	181
192	C4第7層	完	形	頁	岩	6.5	9.9	1.8	161
193	A16	1/3	欠 損	凝	灰 岩	6.1	(10.1)	1.2	(82)
194	A22	完	形	凝	灰 岩	4.5	7.4	0.8	34
195	C19	1/2	欠 損	濃	飛流紋岩	(4.8)	(6.3)	1.5	(46)
196	C15第7層	完	形	頁	岩	4.3	7.7	0.9	32
197	B5	1/2	欠 損	安	山 岩	4.9	(6.8)	2.5	(112)
198	B5	完	形	安	山 岩	3.2	6.0	0.6	17
199	A11	一 部	欠 損	頁	岩	3.3	(8.3)	0.9	(26)
200	B4第7層	1/2	欠 損	頁	岩	(4.4)	(5.3)	1.0	(30)
201	C5	完	形	凝	灰 岩	5.4	7.5	2.3	104
202	C4	2/3	欠 損	安	山 岩	(5.6)	(6.6)	(1.5)	(63)
203	C22	1/3	欠 損	砂	岩	4.3	(8.0)	1.1	(44)
204	B20	完	形	頁	岩	4.6	8.7	1.0	47
205	A4第7層	1/2	欠 損	安	山 岩	(7.7)	(6.0)	(1.7)	(91)
206	C4第7層	1/2	欠 損	頁	岩	4.9	(6.6)	1.6	(48)
207	表採	完	形	頁	岩	5.9	8.3	1.5	91
208	C19	完	形	頁	岩	7.8	8.4	1.3	70
209	C6	完	形	頁	岩	7.5	8.4	1.6	110
210	C6	完	形	安	山 岩	6.4	7.6	1.4	91
211	表採	完	形	頁	岩	6.1	8.9	1.2	86
212	A2	一 部	欠 損	頁	岩	4.7	(8.5)	1.3	(67)
213	B13	完	形	頁	岩	4.8	10.5	1.3	89
214	B16	完	形	凝	灰質流紋岩	6.2	8.3	1.9	113

第62表 うづか地点横刃形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石 質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	N6	刃部一部欠損	頁 岩	(6.4)	9.3	1.1	(68)	
2	N7	完 形	砂 岩	5.1	6.5	1.6	53	
3	ミゾ	1/3 欠 損	砂 岩	7.2	(8.2)	1.1	(80)	
4	H8	1/3 欠 損	頁 岩	5.4	(9.3)	1.5	(93)	
5	E8	完 形	濃飛流紋岩	10.7	11.5	2.5	362	
6	N7	刃部破片	濃飛流紋岩	(4.4)	(6.6)	(0.8)	(25)	
7	N7	1/2 欠 損	頁 岩	(8.0)	(8.4)	1.7	(109)	
8	P6	一 部 欠 損	濃飛流紋岩	5.1	(11.1)	1.7	(113)	

第63表 センター地点横刃形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石 質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C11	1/2 欠 損	安 山 岩	(4.0)	(6.2)	0.7	(32)	

2	B12	$\frac{2}{3}$	欠	損	砂	岩	(7.9)	(4.6)	(1.1)	(43)	
3	B13	完		形	安山	岩	3.9	6.9	0.7	21	
4	C11	完		形	安山	岩	5.4	5.9	1.3	45	
5	C13	$\frac{1}{2}$	欠	損	安山	岩	(6.6)	(5.5)	2.0	(111)	
6	S B-3	完		形	安山	岩	5.0	7.7	1.3	48	
7	A8	完		形	安山	岩	5.1	5.4	1.2	39	
8	表採	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂	岩	7.9	(10.0)	2.4	(276)	
9	C11	完		形	砂	岩	8.2	9.6	1.2	139	
10	C11	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂	岩	8.2	(6.5)	2.3	(159)	
11	A10	一	部	欠	損	砂	岩	(8.3)	(9.5)	1.4	(127)
12	B12	完		形	砂	岩	7.0	8.1	1.9	132	
13	B12	完		形	頁	岩	5.9	8.2	1.6	75	
14	C11	完		形	頁	岩	6.7	7.6	1.4	87	
15	C13	完		形	頁	安山	岩	4.8	10.2	0.9	68
16	C11	完		形	頁	安山	岩	8.0	9.5	2.3	229
17	B13	完		形	砂	岩	4.8	6.1	1.2	39	
18	A10	完		形	頁	岩	4.1	6.7	1.2	38	
19	A12	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁	岩	7.0	(6.2)	1.1	(55)	
20	C7	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂	岩	(3.9)	9.0	(1.6)	(63)	
21	A9	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁	岩	5.9	(6.4)	1.4	(72)	
22	B14	完		形	飛驒片麻	岩	6.2	9.7	1.1	84	
23	C11	完		形	頁	岩	5.7	9.3	1.9	117	
24	C13	完		形	頁	岩	6.1	8.5	0.8	56	
25	B10	完		形	頁	岩	5.1	8.4	1.5	68	
26	B10	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁	安山	岩	(5.3)	10.7	1.7	(101)
27	A7	完		形	濃飛流紋	岩	8.3	7.6	2.4	206	
28	C9	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁	岩	(5.1)	(7.2)	1.1	(50)	
29	C11	一	部	欠	損	安山	岩	7.4	(9.3)	1.5	(108)
30	C12	完		形	安山	岩	7.1	14.2	1.1	127	
31	B11	完		形	砂	岩	7.6	12.2	2.3	214	
32	C8	$\frac{1}{3}$	欠	損	頁	岩	7.3	(6.7)	1.0	(64)	
33	C11	$\frac{1}{2}$	欠	損	頁	岩	(4.0)	8.9	1.0	(40)	
34	C11	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂	岩	3.7	(7.1)	1.2	(42)	
35	B13	完		形	頁	岩	4.0	9.0	1.0	43	
36	C7	完		形	頁	岩	5.2	9.6	0.7	44	
37	B12	完		形	頁	岩	5.2	8.3	1.5	67	
38	C8	完		形	頁	岩	6.2	8.8	1.4	87	
39	B8	完		形	頁	岩	6.8	8.2	0.9	66	
40	B12	完		形	頁	岩	6.5	10.4	1.1	116	
41	A10	完		形	安山	岩	6.0	10.3	1.1	78	
42	C12	一	部	欠	損	安山	岩	6.6	(10.2)	1.0	(78)
43	B13	完		形	安山	岩	6.2	9.3	1.2	88	
44	B10	完		形	頁	岩	9.8	10.2	1.9	256	
45	表採	完		形	頁	安山	岩	5.9	13.0	2.8	268
46	A10	完		形	頁	岩	5.8	10.9	1.3	86	
47	B6	$\frac{1}{2}$	欠	損	頁	岩	5.1	(6.9)	0.9	(61)	
48	B2 II	完		形	頁	岩	7.0	12.3	2.1	199	
49	S C-1	完		形	砂	岩	9.2	10.9	2.7	322	
50	B6 II	完		形	頁	岩	5.6	7.2	1.3	69	
51	B13	$\frac{2}{3}$	欠	損	頁	岩	(4.2)	(8.6)	(0.7)	(23)	
52	B12	完		形	頁	安山	岩	6.7	11.5	2.3	186
53	B11	完		形	頁	安山	岩	5.2	7.4	0.8	40
54	B10	完		形	頁	安山	岩	5.4	7.9	1.5	103

55	B12	完	形	頁	岩	4.3	9.7	1.3	62		
56	B14	完	形	頁	岩	4.7	7.0	1.2	41		
57	C8	一	部	欠	損	砂	岩	(4.7)	(5.9)	1.1	(36)
58	B12	完	形	頁	岩	5.5	5.9	1.1	50		
59	C11	1/2	欠	損	頁	岩	(4.5)	(6.2)	1.0	(33)	
60	C12	2/3	欠	損	頁	岩	(4.4)	(8.9)	(1.3)	(66)	

第64表 宮ノ前地点磨石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号		
1	44	3層	一	部	欠	損	多孔質安山岩	(10.3)	6.8	3.5	(356)
2	23	4層	完	形			濃飛流紋岩	12.9	7.5	3.4	494
3	38	3・4層	完	形			多孔質安山岩	14.2	7.9	5.0	941
4	34	3層	1/2	欠	損		砂岩	(5.7)	(5.2)	2.3	(114)
5	11	3層	完	形			安山岩	18.4	12.2	5.3	1660

第65表 前田地点上層磨石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号		
1	C4	完	形	安山岩	11.0	9.0	4.7	597		
2	C5	一	部	欠	損	濃飛流紋岩	14.7	8.0	3.6	(686)
3	B4	1/2	欠	損	砂岩	(7.4)	(6.8)	(3.4)	(217)	
4	A4第7層	2/3	欠	損	砂岩	(4.5)	(8.4)	(3.4)	(189)	
5	B18	一	部	欠	損	砂岩	11.0	8.3	4.5	(493)
6	C4第7層	完	形	安山岩	7.0	6.6	3.0	190		
7	B18	一	部	欠	損	多孔質安山岩	(8.6)	7.4	3.7	(337)
8	A4	1/2	欠	損	砂岩	(6.5)	(7.9)	(4.5)	(323)	
9	C5	完	形	安山岩	10.1	4.9	3.5	237		
10	B17	1/3	欠	損	砂岩	(7.6)	(5.8)	(2.2)	(153)	
11	C11	1/2	欠	損	砂岩	(8.5)	(7.7)	(3.1)	(248)	
12	B12	一	部	欠	損	砂岩	12.0	8.3	3.1	(507)
13	A15	完	形	安山岩	14.3	6.8	4.3	642		
14	C18	完	形	石英斑岩	14.1	6.7	3.6	547		
15	C17	完	形	砂岩	13.3	4.1	2.5	236		
16	A11	完	形	砂岩	12.6	9.2	6.3	1010		
17	A15	1/3	欠	損	砂岩	(9.2)	(5.2)	(3.8)	(224)	
18	表採	完	形	安山岩	14.0	9.0	7.3	1400		
19	C14	完	形	安山岩	12.0	7.4	3.3	422		
20	B14	完	形	安山岩	6.8	5.0	3.0	142		
21	C15第7層	完	形	砂岩	13.7	6.5	3.2	432		
22	B23	完	形	安山岩	4.5	3.9	3.3	85		
23	A17	完	形	安山岩	11.7	8.1	5.3	761		
24	A13	完	形	砂岩	15.9	8.9	4.7	1041		
25	C4第7層	完	形	安山岩	6.5	5.2	4.3	183		
26	C5第7層下部	完	形	安山岩	8.4	6.5	2.3	191		
27	C17	完	形	安山岩	11.9	6.6	4.4	437		
28	B4	完	形	多孔質安山岩	5.6	5.1	3.2	110		
29	B20	完	形	安山岩	11.3	6.6	3.2	396		
30	A17	完	形	砂岩	12.7	6.6	3.6	438		
31	B14	完	形	安山岩	13.9	9.4	5.4	1030		
32	B13	1/3	欠	損	濃飛流紋岩	(9.7)	(5.7)	(4.7)	(409)	

33	A12	完	形	砂	岩	13.1	9.4	6.1	1038	
34	A11第7層下部	1/3	欠	損	安山岩	(13.3)	(6.0)	(3.5)	(323)	
35	B4	1/2	欠	損	凝灰岩	9.8	(3.2)	(1.8)	(62)	
36	B4第7層	完	形	安山岩	10.1	4.0	2.6	123		
37	B12第7層	完	形	砂	岩	15.3	5.7	2.9	362	
38	B5第7層	一部	欠	損	安山岩	12.3	10.3	5.9	(1059)	
39	B5	完	形	砂	岩	13.5	6.0	2.6	381	
40	表採	1/3	欠	損	安山岩	(9.1)	(4.7)	(3.9)	(255)	
41	A5	完	形	安山岩	8.9	6.5	4.6	408		
42	B5	完	形	砂	岩	11.0	6.0	3.0	355	
43	B17第3層	完	形	砂	岩	9.9	4.6	2.0	131	
44	B23第7層	完	形	多孔質安山岩	11.0	9.9	3.5	554		
45	B13第7層	完	形	砂	岩	8.3	6.1	1.9	162	
46	C17第7層	完	形	濃飛流紋岩	12.6	7.7	5.0	680		
47	C13	一部	欠	損	砂	岩	(9.1)	6.0	2.8	(242)
48	B9第4層	完	形	濃飛流紋岩	10.3	8.9	3.3	474		
49	表採	完	形	安山岩	10.2	8.4	4.3	514		
50	C4	1/2	欠	損	安山岩	(6.4)	(6.8)	(4.3)	(271)	
51	A12第7層	完	形	安山岩	18.5	7.8	3.9	727		
52	B5	完	形	安山岩	6.9	6.5	4.2	270		
53	表採	完	形	安山岩	14.7	11.7	5.5	1420		
54	C24	完	形	砂	岩	12.2	4.3	2.5	159	
55	C12	完	形	安山岩	11.5	5.5	3.5	311		
56	C9	破	片	砂	岩	(4.3)	(7.8)	(2.8)	(114)	
57	C19	完	形	濃飛流紋岩	8.6	7.1	2.1	210		
58	B13第7層	完	形	砂	岩	11.2	4.5	2.3	191	
59	A16	1/3	欠	損	砂	岩	(10.0)	(6.0)	(5.6)	(450)
60	C5	1/2	欠	損	多孔質安山岩	(6.8)	(8.5)	(4.3)	(365)	
61	B12第7層	完	形	砂	岩	6.1	5.9	3.5	167	
62	A16第3層	2/3	欠	損	砂	岩	(8.8)	(7.0)	(5.2)	(365)
63	C4	1/3	欠	損	安山岩	10.0	9.6	(4.3)	(478)	
64	A18	完	形	濃飛流紋岩	11.5	8.6	5.2	926		
65	C20	完	形	安山岩	10.1	6.7	4.1	391		
66	B6	完	形	安山岩	8.7	8.2	2.9	294		
67	A21	完	形	濃飛流紋岩	11.3	9.0	5.1	777		
68	A20	2/3	欠	損	安山岩	(4.9)	(7.7)	(4.1)	(153)	
69	B20第7層	完	形	砂	岩	13.0	6.9	4.7	665	
70	B20第7層	一部	欠	損	安山岩	8.3	6.6	5.2	(371)	
71	A21	一部	欠	損	安山岩	10.2	7.8	5.4	(558)	
72	A5	完	形	砂	岩	6.7	3.5	1.7	55	
73	C5	完	形	濃飛流紋岩	8.0	6.2	5.3	322		
74	表採	完	形	安山岩	11.2	9.5	4.5	613		
75	B5	完	形	安山岩	13.0	3.5	3.7	221		
76	C18	完	形	安山岩	4.3	3.5	2.2	43		
77	B4第7層	完	形	砂	岩	6.9	3.4	2.3	76	
78	A7	完	形	安山岩	18.6	4.9	4.0	562		
79	A17第3層	一部	欠	損	安山岩	(9.0)	8.7	5.5	(638)	
80	C12	完	形	砂	岩	4.5	4.3	2.3	62	
81	C12	1/2	欠	損	安山岩	(7.2)	(5.9)	(3.4)	(197)	
82	C12	完	形	安山岩	6.1	5.1	3.3	133		
83	B4	完	形	砂	岩	9.1	7.5	5.0	470	
84	C15	完	形	凝灰質流紋岩	17.0	5.7	4.0	487		
85	C21	完	形	花崗閃綠岩	9.5	7.0	2.7	292		

第87図6

同10

86	A19第3層	一部欠損	濃飛流紋岩	14.5	7.6	5.3	(1140)
87	A6	完形	安山岩	12.0	8.6	5.0	724
88	C5	完形	砂岩	10.7	4.9	2.8	217
89	A6	完形	安山岩	10.6	8.8	6.6	890
90	C24第7層	1/2欠損	安山岩	(5.3)	(4.3)	(2.5)	(87)
91	C5	完形	砂岩	7.9	6.9	2.6	205
92	C12	完形	安山岩	18.9	6.7	6.3	1340
93	C5	完形	砂岩	5.3	4.7	2.7	95
94	C5	完形	安山岩	9.0	6.8	3.1	277
95	B6	完形	安山岩	9.4	8.0	4.5	439
96	C13第7層	完形	飛驒片麻岩	8.7	7.7	4.6	496
97	C16第7層	2/3欠損	多孔質安山岩	(5.8)	(10.0)	3.3	(240)
98	B19	完形	砂岩	8.5	7.7	2.4	242
99	B4	完形	凝灰岩	12.4	7.5	2.7	359
100	C7	完形	安山岩	12.5	4.0	4.3	292
101	C8	完形	砂岩	10.1	8.2	7.8	1120
102	C13第7層	完形	安山岩	12.5	9.6	4.7	826
103	B4	完形	安山岩	12.0	8.3	3.7	648
104	C13第7層	完形	砂岩	6.8	5.8	2.7	149
105	C5	完形	安山岩	5.8	5.0	4.0	175
106	C5	完形	砂岩	11.2	9.8	3.4	566
107	A21	破片	砂岩	(5.9)	(8.2)	(3.0)	(227)
108	C5	完形	安山岩	8.9	8.2	3.3	373
109	表採	完形	飛驒片麻岩	6.3	5.5	4.5	256
110	C22	完形	濃飛流紋岩	17.7	8.3	4.6	974
111	C18	完形	安山岩	10.2	9.8	3.6	497
112	B20	破片	砂岩	(5.3)	(8.7)	(3.7)	(219)
113	表採	完形	濃飛流紋岩	12.3	4.7	3.8	520
114	C18第4層	完形	砂岩	12.5	9.4	4.6	839
115	B19	完形	安山岩	11.6	6.1	4.2	438
116	C22	完形	濃飛流紋岩	13.3	6.6	5.8	592
117	B5	完形	安山岩	12.1	8.7	4.5	719
118	A16第3層	完形	砂岩	6.0	5.9	2.2	112
119	C20	完形	砂岩	11.5	5.6	3.3	315
120	B4	完形	砂岩	7.9	6.5	3.9	268
121	C21	完形	安山岩	4.8	3.8	3.3	86
122	A5第7層	一部欠損	砂岩	(11.3)	7.8	4.1	(476)
123	B4	1/2欠損	安山岩	(7.1)	(6.8)	4.7	(312)
124	B14第7層	完形	安山岩	12.4	9.0	4.4	718
125	B23	破片	砂岩	(4.7)	(8.6)	(3.4)	(162)
126	C13第7層	完形	石英斑岩	13.4	6.3	3.6	503
127	C13第7層	完形	安山岩	11.3	4.4	3.5	294
128	C19	完形	安山岩	15.7	5.8	4.6	547
129	C17第4層	完形	砂岩	13.7	3.6	3.2	216
130	C17第4層	完形	安山岩	12.6	4.6	3.9	321
131	A17	2/3欠損	安山岩	(5.2)	(10.0)	(4.3)	(284)
132	C16	完形	安山岩	12.2	6.0	3.8	377
133	B16	完形	安山岩	8.0	6.8	4.4	325
134	B11第7層	一部欠損	安山岩	(12.0)	(11.7)	5.5	(688)
135	表採	一部欠損	安山岩	10.9	8.7	4.3	(597)
136	表採	完形	安山岩	9.3	7.7	5.0	461
137	表採	完形	砂岩	16.5	8.5	5.5	934
138	C21	完形	安山岩	14.8	5.2	3.3	403

同11

139	B11第7層	完	形	砂	岩	8.7	7.8	6.0	556	
140	A4	完	形	安山	岩	11.6	8.3	3.6	592	
141	表採	1/2	欠	損	安山	岩	(7.0)	(6.5)	(4.3)	(331)
142	B11第7層	完	形	砂	岩	9.2	7.5	4.0	357	
143	C23第7層	完	形	安山	岩	10.8	7.6	6.1	700	
144	B20第7層	完	形	多孔質安山	岩	10.5	7.1	3.1	334	
145	A5	完	形	砂	岩	10.8	3.9	2.9	183	
146	B9第7層	完	形	砂	岩	11.3	6.5	2.7	275	
147	C23第7層	完	形	凝灰質流紋	岩	9.8	8.7	5.5	649	
148	C18第7層	完	形	砂	岩	12.3	7.0	2.1	320	
149	B14第7層	1/2	欠	損	安山	岩	(9.7)	(4.7)	(3.1)	(175)
150	C14第7層	完	形	安山	岩	12.1	4.3	3.1	230	
151	B19	完	形	安山	岩	10.0	7.8	3.7	385	
152	C22	完	形	安山	岩	11.2	6.5	4.1	476	
153	A11	完	形	安山	岩	10.8	7.1	4.6	510	
154	C13	完	形	砂	岩	11.0	7.2	3.8	404	
155	B13	完	形	安山	岩	10.7	6.9	3.7	407	
156	A17	完	形	多孔質安山	岩	6.7	5.9	3.4	150	
157	B12	完	形	多孔質安山	岩	8.7	6.2	4.7	334	
158	C18	完	形	安山	岩	9.1	7.5	4.5	393	
159	A4第7層	完	形	安山	岩	10.7	9.1	4.9	706	
160	C19	完	形	凝灰質流紋	岩	6.2	4.9	4.5	152	
161	A5	完	形	安山	岩	9.6	8.4	4.2	505	
162	A16	完	形	安山	岩	12.2	9.8	2.3	470	
163	表採	完	形	安山	岩	7.7	6.7	2.6	198	
164	A19	完	形	砂	岩	11.1	7.8	3.0	370	
165	B19第7層	完	形	砂	岩	9.9	3.5	2.5	138	
166	A18	完	形	閃綠	岩	13.7	10.3	5.8	1280	
167	A18	完	形	安山	岩	14.2	7.5	3.8	575	
168	C15	完	形	多孔質安山	岩	10.7	8.7	4.9	660	同5
169	C21	完	形	砂	岩	12.3	7.5	3.0	420	
170	A19	2/3	欠	損	砂	岩	(6.3)	(8.7)	(4.7)	(276)
171	B20	一部	欠	損	安山	岩	(9.5)	7.5	5.1	(486)
172	C12第7層	完	形	安山	岩	5.1	5.1	2.9	108	
173	A6	完	形	濃飛流紋	岩	11.0	10.2	6.5	1120	
174	B19	完	形	砂	岩	5.7	4.2	1.5	53	
175	A6	一部	欠	損	安山	岩	10.2	7.5	2.6	(293)
176	C5	完	形	安山	岩	8.7	7.4	4.4	411	
177	A6	完	形	砂	岩	12.5	12.0	6.3	1320	
178	C6	完	形	安山	岩	7.5	6.0	2.4	166	
179	B6	完	形	多孔質安山	岩	10.5	9.7	5.3	749	
180	B14	完	形	安山	岩	9.9	5.4	3.9	323	
181	B20	2/3	欠	損	安山	岩	(8.5)	(12.3)	(4.4)	(649)
182	C6	完	形	砂	岩	12.8	10.7	5.0	982	
183	A20	完	形	多孔質安山	岩	7.2	6.7	2.5	157	同3
184	B19	完	形	砂	岩	16.9	9.9	4.0	1001	
185	表採	完	形	多孔質安山	岩	16.4	12.6	6.4	1740	
186	C6	一部	欠	損	砂	岩	10.3	8.3	4.1	(482)
187	C7	完	形	砂	岩	12.7	7.7	6.7	861	
188	B15	完	形	安山	岩	12.5	6.8	3.7	470	
189	A14	完	形	濃飛流紋	岩	7.4	6.5	5.6	415	
190	C4	完	形	安山	岩	7.5	6.1	3.9	249	
191	C22	一部	欠	損	安山	岩	10.3	7.8	3.9	(391)

192	C 16	1/2	欠	損	多孔質安山岩	(5.8)	(9.1)	(6.6)	(532)		
193	A 20	完		形	安山岩	14.1	9.0	6.8	1200		
194	B 16	1/3	欠	損	安山岩	(11.1)	(5.4)	(2.4)	(243)		
195	B 15	完		形	濃飛流紋岩	14.0	5.2	2.7	324	同9	
196	C 22	1/3	欠	損	安山岩	(10.5)	(4.2)	(2.9)	(189)		
197	C 21	完		形	安山岩	9.4	4.7	2.0	134		
198	B 11	完		形	砂岩	11.3	4.6	3.7	285		
199	C 13	一	部	欠	損	多孔質安山岩	11.8	11.6	6.9	(1320)	
200	B 18	完		形	安山岩	11.8	6.4	2.8	306		
201	C 22	完		形	多孔質安山岩	5.6	5.1	4.5	157	同2	
202	C 12	完		形	砂岩	17.4	8.1	3.2	653		
203	A 11第7層	完		形	安山岩	13.7	10.0	5.0	1054		
204	B 14	完		形	安山岩	15.4	6.2	4.1	619		
205	A 17	完		形	濃飛流紋岩	16.4	6.1	4.2	644		
206	A 24	完		形	安山岩	7.5	5.9	5.4	338		
207	A 6	完		形	砂岩	10.3	5.0	2.9	222		
208	C 5第7層	破		片	安山岩	(6.6)	(7.2)	(3.8)	(234)		
209	表採	完		形	安山岩	10.0	9.0	5.2	682		
210	C 9第5層	1/3	欠	損	多孔質安山岩	(10.5)	6.9	5.1	(555)		
211	表採	完		形	安山岩	8.8	7.2	5.8	537		
212	B 19	完		形	閃綠岩	20.5	8.2	7.0	1520		
213	B 4	破		片	安山岩	(7.7)	(5.5)	(2.9)	(144)		
214	C 5	完		形	多孔質安山岩	10.6	8.1	4.7	517		
215	A 6	一	部	欠	損	砂岩	6.7	5.5	2.4	(122)	
216	A 20	破		片	凝灰質流紋岩	(7.1)	(6.8)	(3.2)	(194)		
217	C 6	完		形	砂岩	13.5	8.1	3.9	664		
218	C 5第7層下部	完		形	濃飛流紋岩	11.2	9.6	3.9	622		
219	A 16第7層下部	完		形	砂岩	7.5	7.0	2.6	216		
220	B 20	完		形	砂岩	7.4	5.5	2.4	142		
221	C 18第4層	完		形	砂岩	8.0	6.7	3.5	274	同4	
222	B 8	破		片	多孔質安山岩	(4.3)	(5.9)	(2.0)	(81)		
223	C 6	一	部	欠	損	安山岩	5.0	4.5	3.4	(112)	
224	B 12第7層	一	部	欠	損	砂岩	17.2	8.4	7.3	(1500)	
225	B 5	1/3	欠	損	安山岩	8.8	5.3	3.5	(251)		
226	C 15	完		形	濃飛流紋岩	12.3	9.0	5.5	930		
227	C 4第7層下部	完		形	濃飛流紋岩	16.8	7.8	5.8	1046		
228	B 13第7層	1/2	欠	損	砂岩	(6.0)	(5.8)	(2.0)	(120)		
229	C 21第7層	完		形	砂岩	10.5	5.0	3.2	269		
230	C 23	一	部	欠	損	石英斑岩	(8.0)	7.4	4.5	(390)	
231	B 13	完		形	砂岩	9.2	5.0	2.2	135		
232	C 5	1/2	欠	損	安山岩	(6.9)	(6.2)	(4.3)	(293)		
233	B 4	破		片	安山岩	(8.0)	7.4	(4.2)	(413)		
234	B 20	完		形	石英斑岩	14.2	6.4	5.4	688		
235	表採	1/2	欠	損	石英斑岩	(9.7)	(8.3)	5.4	(561)		
236	C 4第7層下部	1/3	欠	損	濃飛流紋岩	(12.0)	(7.2)	(5.5)	(754)		
237	C 4第7層下部	完		形	安山岩	13.7	6.0	4.4	538		
238	C 23第7層	完		形	安山岩	9.8	7.0	4.7	471		
239	B 6	1/2	欠	損	濃飛流紋岩	(7.9)	(9.3)	(3.9)	(484)		
240	B 6	完		形	砂岩	11.6	6.3	2.5	291		
241	C 4	完		形	安山岩	12.4	6.2	4.7	498		
242	B 20	完		形	安山岩	19.8	6.2	4.8	933	同8	
243	A 20	完		形	砂岩	11.0	8.6	3.7	527		
244	C 17第4層	1/2	欠	損	多孔質安山岩	(6.6)	(11.0)	(5.3)	(509)		



245	A6	完	形	安山岩	8.3	7.4	4.2	347	
246	C20第4層	完	形	濃飛流紋岩	10.3	7.7	4.6	524	
247	表採	完	形	砂岩	6.3	6.2	4.1	238	
248	C14	完	形	濃飛流紋岩	10.0	7.0	4.1	426	
249	C15	完	形	アブライト	8.1	7.6	4.1	386	
250	C4	一部	欠損	砂岩	(4.9)	5.2	1.3	(61)	
251	B13第7層	完	形	凝灰岩	12.8	6.9	3.2	440	
252	B17第3層	完	形	安山岩	8.4	7.6	2.7	249	
253	B9第7層	完	形	砂岩	11.8	10.3	4.3	641	
254	B13第7層	完	形	安山岩	7.3	6.3	4.0	245	
255	A17第3層	完	形	砂岩	13.2	8.6	4.7	783	
256	A11第7層	$\frac{2}{3}$	欠損	砂岩	(7.7)	(6.7)	(4.1)	(251)	
257	B6	$\frac{1}{2}$	欠損	安山岩	(11.1)	(4.8)	(4.0)	(410)	
258	C5	完	形	濃飛流紋岩	16.6	4.8	3.9	589	
259	A12	一部	欠損	安山岩	12.2	7.5	(1.9)	(324)	
260	C14	完	形	安山岩	16.1	7.8	4.0	814	
261	A20第7層	完	形	安山岩	12.7	5.2	2.7	289	
262	C7	$\frac{1}{3}$	欠損	多孔質安山岩	(6.3)	7.1	(2.5)	(188)	
263	B4	完	形	多孔質安山岩	5.2	4.2	1.8	58	
264	B15第7層	完	形	砂岩	11.4	7.7	3.7	438	
265	B4	$\frac{1}{2}$	欠損	砂岩	(9.1)	(6.2)	(3.6)	(270)	
266	A8	一部	欠損	砂岩	6.8	5.9	(2.5)	(140)	
267	C18第7層	完	形	砂岩	4.9	4.4	3.8	110	同1
268	B8	完	形	安山岩	11.5	5.3	3.7	400	
269	C6	$\frac{1}{2}$	欠損	砂岩	10.5	(3.7)	(2.8)	(139)	
270	B14第7層	完	形	安山岩	4.0	3.7	1.3	34	
271	B14第7層	完	形	安山岩	5.5	2.2	2.7	67	
272	B6	完	形	安山岩	12.7	4.0	3.0	231	
273	B14第7層	完	形	安山岩	7.2	5.7	2.2	109	
274	B19	完	形	砂岩	10.2	9.9	2.0	346	
275	B19	完	形	安山岩	13.4	4.6	3.7	334	
276	C20第4層	$\frac{1}{3}$	欠損	濃飛流紋岩	(10.0)	5.3	(4.2)	(352)	
277	B19	完	形	砂岩	9.8	6.1	3.3	271	
278	A14第7層	完	形	安山岩	9.6	5.4	3.4	236	
279	C20第4層	完	形	安山岩	7.6	5.6	4.5	237	
280	B18	完	形	砂岩	11.4	9.0	2.8	406	
281	C7	$\frac{1}{2}$	欠損	砂岩	(8.9)	(7.2)	(3.7)	(305)	
282	A17	完	形	安山岩	15.3	5.6	5.1	557	
283	B6	完	形	安山岩	12.1	6.5	4.1	508	
284	B20	完	形	多孔質安山岩	7.2	6.5	3.4	220	
285	A18	完	形	安山岩	7.0	5.7	3.0	151	
286	表採	完	形	砂岩	5.3	4.0	0.9	31	
287	C15第7層	完	形	安山岩	18.6	7.0	7.2	1340	
288	A11	完	形	安山岩	10.4	9.7	6.3	1029	
289	C5	完	形	安山岩	12.8	7.4	3.3	300	
290	表採	完	形	花崗岩	9.5	7.1	4.1	460	
291	A6	$\frac{2}{3}$	欠損	濃飛流紋岩	(9.3)	4.5	3.6	(261)	
292	B19	$\frac{1}{2}$	欠損	濃飛流紋岩	(7.7)	(4.7)	(3.3)	(187)	
293	B19第7層	完	形	凝灰質流紋岩	12.0	5.9	2.8	288	
294	C12	$\frac{1}{2}$	欠損	安山岩	(7.6)	(8.9)	(4.0)	(420)	
295	B7	完	形	濃飛流紋岩	11.9	9.8	3.7	653	
296	C23	完	形	花崗閃緑岩	9.5	8.1	4.4	547	
297	A21	完	形	花崗岩	11.9	8.3	4.7	665	

298	B 22	1/2	欠	損	砂	岩	(8.0)	(5.3)	(2.3)	(144)
299	B 11	完		形	安	山	9.8	6.0	2.2	230
300	A 21	完		形	凝	灰	13.6	11.0	5.1	1002
301	C 4	完		形	安	山	11.8	9.6	5.2	850
302	A 9	完		形	砂	岩	11.9	5.5	3.2	309
303	C 21	完		形	多	孔	9.1	8.2	4.8	516
304	A 4	完		形	安	山	14.5	11.0	4.2	1080
305	C 20	1/3	欠	損	多	孔	(11.4)	(11.6)	(6.1)	(998)
306	C 22	完		形	安	山	11.7	5.7	4.6	458
307	A 6	完		形	安	山	9.6	7.3	3.1	357
308	B 7	完		形	安	山	10.0	6.5	2.4	287
309	B 4	完		形	安	山	14.8	6.9	5.3	716
310	C 5	完		形	多	孔	10.8	3.4	3.1	175
311	B 5	一	部	欠	損	砂	9.3	(7.1)	3.0	(333)
312	A 4第7層	完		形	多	孔	4.3	4.1	3.3	78
313	C 5	1/3	欠	損	濃	飛	(9.1)	6.3	3.7	(327)
314	C 4	完		形	濃	飛	11.4	4.7	3.3	248
315	C 8	完		形	安	山	11.2	5.1	2.3	253
316	C 21第7層	完		形	閃	綠	11.5	5.5	3.4	337
317	C 4第7層下部	完		形	安	山	10.9	3.7	3.6	249
318	C 21	完		形	砂	岩	6.9	5.9	1.9	112
319	C 19	完		形	多	孔	10.9	9.6	4.7	767
320	C 14	一	部	欠	損	砂	(9.4)	(6.5)	2.6	(248)
321	A 4	一	部	欠	損	砂	(6.3)	(5.9)	(3.9)	(203)
322	表採	完		形	濃	飛	13.3	8.8	4.5	694
323	A 19	一	部	欠	損	砂	(11.0)	(9.9)	5.8	(859)
324	B 11第7層	完		形	安	山	9.2	6.4	2.9	257
325	B 19	完		形	多	孔	11.2	6.7	2.5	289
326	C 15	完		形	砂	岩	5.8	5.0	4.3	151
327	表採	完		形	安	山	16.4	8.7	4.6	999
328	B 11第7層	完		形	凝	灰	13.4	8.0	4.7	737
329	C 17	完		形	砂	岩	14.2	11.7	5.0	1180
330	A 12第7層	完		形	飛	驕	10.3	8.4	5.4	664
331	C 8第7層	一	部	欠	損	安	8.8	7.2	4.2	(389)
332	S K-1	一	部	欠	損	飛	10.5	7.7	4.5	(593)
333	A 15第7層	完		形	濃	飛	7.1	6.6	5.1	322
334	C 4第7層下部	完		形	多	孔	9.8	8.5	5.5	581
335	B 19第7層	完		形	石	英	9.6	8.3	5.6	630
336	C 4第7層下部	完		形	多	孔	10.1	8.6	4.9	550
337	A 14第7層	完		形	多	孔	7.1	5.9	4.8	298
338	B 13第7層	完		形	多	孔	6.9	4.9	4.4	169
339	表採	完		形	多	孔	11.5	8.3	5.6	567
340	C 15第7層	一	部	欠	損	安	(13.0)	9.3	5.8	(1140)
341	C 16	完		形	多	孔	9.1	7.9	4.4	446
342	B 14第7層	1/2	欠	損	多	孔	(9.9)	(7.1)	(6.0)	(482)
343	B 19第7層	完		形	濃	飛	10.8	6.9	3.8	420
344	C 5第7層下部	完		形	多	孔	6.4	6.1	3.3	197
345	C 5第7層	1/3	欠	損	安	山	(8.0)	5.5	(4.0)	(345)
346	C 5第7層下部	完		形	多	孔	10.6	7.5	3.9	415
347	C 14	完		形	砂	岩	13.1	11.7	6.9	1380
348	C 5	2/3	欠	損	砂	岩	(7.6)	(3.8)	(4.2)	(156)
349	A 6	完		形	多	孔	9.6	7.6	4.9	524
350	A 6	完		形	濃	飛	11.9	8.3	6.1	764

同7

351	C7	完	形	飛驒片麻岩	14.1	6.8	4.8	929
352	表採	完	形	安山岩	9.4	6.9	3.7	371
353	B19	完	形	濃飛流紋岩	10.8	6.5	3.8	490
354	B19	完	形	濃飛流紋岩	9.3	7.3	3.1	362
355	B20	完	形	石英斑岩	11.3	7.6	5.4	756
356	C8	完	形	濃飛流紋岩	9.4	8.6	7.5	688
357	C19第7層	一部	欠損	砂岩	12.0	8.0	3.9	(601)
358	B13第7層	一部	欠損	濃飛流紋岩	(10.2)	(5.5)	3.8	(272)
359	B19	完	形	安山岩	13.5	7.3	6.1	869
360	B19	完	形	濃飛流紋岩	18.2	7.7	5.4	1140
361	B11	一部	欠損	濃飛流紋岩	10.6	7.2	6.1	(566)
362	C13	完	形	安山岩	8.4	5.8	5.1	345
363	B4	一部	欠損	安山岩	7.0	6.5	2.4	(170)
364	B5第7層	完	形	多孔質安山岩	8.3	4.5	3.6	214
365	B13第7層	完	形	砂岩	9.3	7.2	2.7	228
366	B10第7層	完	形	濃飛流紋岩	6.2	5.0	4.0	158
367	B18	破	片	砂岩	(6.1)	(5.9)	(3.0)	(146)
368	B5	完	形	安山岩	7.0	6.0	4.2	257
369	C18	完	形	安山岩	12.0	4.5	3.0	250
370	A19	完	形	閃綠岩	11.5	9.0	4.9	712
371	C19	完	形	砂岩	6.1	3.7	2.0	60
372	B18	完	形	砂岩	11.7	9.9	3.3	518
373	B19第7層	破	片	砂岩	(8.3)	(6.2)	(5.0)	(305)
374	C13	完	形	多孔質安山岩	10.3	8.1	4.3	537
375	C15	完	形	石英斑岩	17.0	9.7	3.4	818
376	C16第7層	完	形	砂岩	11.8	9.5	3.1	435
377	SK-1	一部	欠損	砂岩	(8.3)	6.5	2.3	(170)
378	B23第7層	一部	欠損	砂岩	(5.3)	5.4	1.6	(90)
379	B23第7層	完	形	砂岩	5.9	5.4	2.2	103
380	B7	完	形	砂岩	12.9	7.0	2.4	327
381	C16第7層	完	形	多孔質安山岩	7.7	7.2	3.7	291
382	C6	一部	欠損	安山岩	10.4	5.9	4.4	(457)
383	A5第7層下部	完	形	砂岩	5.3	4.0	3.4	93
384	A14第7層	完	形	飛驒片麻岩	11.1	5.2	3.5	355
385	表採	1/2	欠損	多孔質安山岩	(9.8)	(9.5)	(6.0)	(752)
386	C14第7層	完	形	砂岩	9.9	8.1	2.3	283
387	C4第7層下部	2/3	欠損	安山岩	(5.0)	(6.0)	(3.3)	(132)
388	A14第7層	完	形	濃飛流紋岩	8.0	7.2	4.1	308
389	表採	破	片	砂岩	(4.7)	(8.6)	(3.6)	(144)
390	表採	完	形	安山岩	10.4	6.5	3.7	360
391	A14	完	形	多孔質安山岩	10.4	10.4	6.8	866
392	B19	一部	欠損	石英斑岩	10.5	(6.2)	4.9	(451)
393	A14第7層	完	形	飛驒片麻岩	10.7	8.8	5.0	651
394	C7	完	形	多孔質安山岩	9.3	8.1	5.3	574
395	B20第7層	完	形	濃飛流紋岩	13.2	9.4	4.8	915
396	C19	破	片	砂岩	(7.5)	(4.2)	(2.0)	(90)
397	B18	完	形	アブライト	12.4	10.3	7.4	1260
398	B19	完	形	多孔質安山岩	11.8	8.8	7.4	1036
399	B20第7層	完	形	安山岩	5.0	3.8	1.7	43
400	C13	完	形	砂岩	17.4	11.8	5.6	1640
401	C18	完	形	濃飛流紋岩	11.7	5.5	4.9	380
402	A5第7層	1/2	欠損	安山岩	(9.4)	(7.1)	(4.3)	(391)
403	A4第7層	完	形	多孔質安山岩	11.1	6.1	5.8	486

404	B 13第7層	完	形	濃飛流紋岩	12.0	7.9	6.1	860
405	C 22	完	形	濃飛流紋岩	8.3	5.8	4.1	274
406	表採	完	形	砂 岩	10.0	7.4	4.9	478
407	A 18第7層	一	部 欠 損	頁 岩	11.6	5.2	1.7	(172)
408	A 5	完	形	多孔質安山岩	13.1	8.5	2.4	457
409	A 8	完	形	濃飛流紋岩	11.0	8.0	3.0	396
410	表採	破	片	多孔質安山岩	(4.0)	(9.5)	(4.9)	(236)
411	C 13	完	形	安 山 岩	7.1	5.3	2.2	125
412	S K - 1	完	形	濃飛流紋岩	6.0	4.2	2.0	69
413	B 14第7層	完	形	多孔質安山岩	10.2	8.0	4.6	509
414	C 11第7層	一	部 欠 損	砂 岩	(17.0)	9.5	4.8	(1240)
415	C 4	完	形	多孔質安山岩	8.0	6.6	3.1	258
416	B 7	1/2	欠 損	砂 岩	(6.9)	(4.5)	(2.5)	(103)
417	A 6	一	部 欠 損	砂 岩	(9.6)	5.0	2.2	(184)
418	A 6	完	形	砂 岩	13.8	5.2	2.8	187
419	C 11第7層	完	形	砂 岩	15.6	9.5	3.2	684
420	B 6	完	形	飛驒片麻岩	17.9	7.2	4.5	1007
421	A 19	一	部 欠 損	多孔質安山岩	10.6	6.8	2.7	(287)
422	C 6	完	形	多孔質安山岩	10.3	8.1	4.1	480
423	C 10第7層	完	形	凝灰質流紋岩	11.3	8.5	3.6	453
424	C 4第7層	完	形	安 山 岩	9.2	7.9	4.4	440
425	C 5第7層	一	部 欠 損	砂 岩	14.6	6.4	2.4	(266)
426	S K - 1	完	形	砂 岩	11.2	6.7	2.4	284
427	A 22	完	形	砂 岩	12.7	7.1	2.7	365
428	C 18第7層	完	形	安 山 岩	14.3	8.6	4.1	751
429	S K - 1	1/2	欠 損	砂 岩	(5.9)	(9.2)	(3.6)	(305)
430	B 17	破	片	安 山 岩	(8.2)	(9.1)	(3.9)	(332)
431	B 7	1/3	欠 損	安 山 岩	(10.8)	(5.3)	(3.8)	(376)
432	B 14第7層	1/2	欠 損	安 山 岩	(7.4)	(8.0)	(3.9)	(319)
433	C 20	1/2	欠 損	砂 岩	(6.1)	(9.0)	(3.4)	(278)
434	C 16第7層	一	部 欠 損	濃飛流紋岩	(15.5)	(8.5)	6.2	(962)
435	B 19第7層	1/2	欠 損	石 英 斑 岩	(9.0)	(7.1)	5.9	(547)
436	表採	完	形	多孔質安山岩	9.8	8.2	3.6	414
437	B 8	完	形	砂 岩	15.1	10.1	3.6	896
438	B 4	完	形	砂 岩	11.0	5.0	3.9	302
439	C 20第7層	1/3	欠 損	安 山 岩	(12.3)	(7.6)	(6.9)	(678)
440	B 6	完	形	多孔質安山岩	11.2	7.1	4.2	543
441	B 8	完	形	濃飛流紋岩	10.2	7.7	3.8	408
442	B 7	完	形	安 山 岩	6.9	5.6	3.4	200
443	C 14	一	部 欠 損	多孔質安山岩	13.9	10.7	3.2	(610)
444	A 21第7層	完	形	砂 岩	8.8	5.7	2.2	150
445	A 21第7層	完	形	多孔質安山岩	8.9	6.0	3.8	298
446	B 19	完	形	砂 岩	6.8	6.9	4.8	265
447	B 15	完	形	多孔質安山岩	10.3	6.0	2.6	246
448	B 16第7層	完	形	多孔質安山岩	8.2	5.9	4.7	334
449	A 23	一	部 欠 損	安 山 岩	(13.7)	8.2	5.1	(875)
450	C 15	完	形	濃飛流紋岩	11.8	8.0	4.4	705
451	B 13	完	形	多孔質安山岩	11.0	9.5	5.7	831
452	A 15	完	形	砂 岩	12.8	11.5	3.4	707
453	A 17	破	片	飛驒片麻岩	(5.4)	(4.0)	(2.5)	(81)
454	C 24	完	形	安 山 岩	10.3	7.4	1.8	236
455	B 17	完	形	石 英 斑 岩	12.6	8.7	5.6	925
456	B 18	1/2	欠 損	多孔質安山岩	(8.0)	10.4	(6.1)	(601)

457	C4	完	形	砂	岩	14.0	10.4	5.6	1120						
458	C14	完	形	安	山	10.5	8.5	3.6	501						
459	C19	完	形	安	山	6.9	6.6	4.0	257						
460	C20	$\frac{2}{3}$	欠	損	濃	飛	流	紋	岩	(4.5)	(7.6)	(4.2)	(146)		
461	C20	完	形	多	孔	質	安	山	岩	10.6	7.8	5.5	637		
462	表採	完	形	砂	岩	14.0	12.2	4.0	977						
463	B21	完	形	砂	岩	12.3	9.7	4.7	793						
464	C4	完	形	濃	飛	流	紋	岩	9.4	9.0	5.8	666			
465	A17	完	形	砂	岩	14.0	6.9	3.9	586						
466	C11	完	形	安	山	10.0	6.2	6.3	526						
467	C11	完	形	多	孔	質	安	山	岩	10.0	9.7	5.1	615		
468	C16	完	形	石	英	斑	岩	9.3	7.2	3.9	369				
469	C14	完	形	濃	飛	流	紋	岩	10.1	6.6	6.4	733			
470	C22	完	形	凝	灰	質	流	紋	岩	7.4	5.3	4.0	226		
471	C16	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂	岩	(6.7)	5.5	2.1	(128)					
472	C14	完	形	凝	灰	質	流	紋	岩	10.0	5.3	3.3	203		
473	C18	完	形	安	山	12.6	7.4	2.0	239						
474	A11第7層	完	形	濃	飛	流	紋	岩	11.0	7.4	5.0	518			
475	A17	完	形	砂	岩	10.5	6.5	3.9	392						
476	C19	$\frac{1}{3}$	欠	損	濃	飛	流	紋	岩	(5.6)	5.2	3.3	(116)		
477	C23	完	形	凝	灰	質	流	紋	岩	4.9	3.5	1.5	31		
478	B19	完	形	安	山	15.3	6.3	3.1	453						
479	C2	一	部	欠	損	安	山	岩	20.6	6.2	4.9	(1100)			
480	B2	完	形	多	孔	質	安	山	岩	14.8	4.6	3.4	434		
481	B3	破	片	濃	飛	流	紋	岩	(10.1)	(4.2)	(3.4)	(250)			
482	B18	$\frac{1}{2}$	欠	損	多	孔	質	安	山	岩	(6.0)	(7.1)	(4.2)	(232)	
483	A15	完	形	砂	岩	9.5	7.9	4.0	437						
484	A11第7層	完	形	砂	岩	15.4	8.5	4.4	873						
485	B17	完	形	安	山	11.2	5.0	3.7	280						
486	B11第7層	完	形	頁	岩	10.5	5.8	3.3	319						
487	C22	$\frac{2}{3}$	欠	損	砂	岩	(7.5)	(12.3)	4.5	(509)					
488	B12	破	片	砂	岩	(4.4)	(5.6)	(3.0)	(89)						
489	A15	完	形	砂	岩	8.7	6.9	3.4	284						
490	C2	完	形	多	孔	質	安	山	岩	9.9	9.0	3.1	426		
491	C12	完	形	砂	岩	10.8	5.0	3.3	275						
492	C9	完	形	砂	岩	7.5	5.6	1.9	124						
493	C5	$\frac{2}{3}$	欠	損	砂	岩	(7.4)	(7.3)	(3.2)	(332)					
494	A15第7層	$\frac{1}{2}$	欠	損	安	山	岩	(9.0)	(8.5)	(4.0)	(395)				
495	A21	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂	岩	(11.0)	(7.2)	(3.3)	(390)					
496	C22	完	形	安	山	13.6	6.9	3.6	459						
497	C20	完	形	多	孔	質	安	山	岩	8.1	7.2	3.5	280		
498	表採	$\frac{1}{3}$	欠	損	安	山	岩	(7.9)	7.1	(2.5)	(180)				
499	A12	完	形	閃	綠	岩	10.6	7.1	6.1	786					
500	B4	一	部	欠	損	砂	岩	(12.4)	12.3	5.4	(1180)				
501	A20第7層	一	部	欠	損	多	孔	質	安	山	岩	(9.0)	(8.0)	3.8	(355)
502	B17第3層	完	形	安	山	7.0	3.9	1.8	81						
503	C5	一	部	欠	損	砂	岩	(6.6)	5.4	(2.1)	(93)				
504	B14第7層	完	形	多	孔	質	安	山	岩	6.1	4.7	2.2	90		
505	B6	完	形	砂	岩	6.3	4.3	3.6	144						
506	B7	一	部	欠	損	砂	岩	(9.8)	9.7	6.1	(765)				
507	表採	一	部	欠	損	多	孔	質	安	山	岩	(10.0)	5.5	4.5	(351)
508	A12	完	形	砂	岩	10.5	5.1	2.5	191						
509	C13	完	形	砂	岩	6.1	5.5	3.9	172						

510	C9	一部欠損	砂岩	12.4	9.8	3.7	(670)
511	C5	完形	安山岩	12.1	5.5	3.8	356
512	B13	完形	安山岩	10.0	8.2	3.8	411
513	B19	完形	安山岩	12.1	7.9	5.4	773
514	C12	一部欠損	安山岩	8.2	5.5	1.6	(114)
515	表採	一部欠損	多孔質安山岩	(9.7)	7.0	3.2	(307)
516	表採	完形	多孔質安山岩	8.8	4.3	3.3	179
517	C7	1/2欠損	安山岩	(9.0)	(7.4)	(3.3)	(273)
518	B6	完形	濃飛流紋岩	8.2	7.5	2.4	245
519	B21	完形	多孔質安山岩	13.8	9.5	3.6	725
520	A18	一部欠損	多孔質安山岩	(13.2)	10.0	6.1	(1320)
521	C4第7層	1/2欠損	砂岩	(5.5)	(5.7)	(3.0)	(142)
522	B1	完形	安山岩	10.3	4.4	2.3	171
523	A2	完形	安山岩	14.0	7.3	2.3	353
524	C16	完形	濃飛流紋岩	11.3	8.0	6.1	753
525	C20	一部欠損	石英斑岩	12.5	11.5	5.5	(1080)
526	A4	一部欠損	濃飛流紋岩	10.6	8.6	6.9	(1000)
527	表採	一部欠損	安山岩	12.6	8.2	3.3	(441)
528	C15	完形	凝灰質流紋岩	11.8	8.3	6.0	851
529	B3	完形	多孔質安山岩	12.2	9.1	7.3	1080
530	A4第7層	完形	濃飛流紋岩	11.3	8.4	6.4	865
531	C5	破片	砂岩	(7.7)	(12.9)	(5.0)	(651)
532	C4	破片	多孔質安山岩	(4.5)	(6.8)	(4.0)	(149)
533	C15	1/2欠損	砂岩	(6.0)	(6.8)	(3.4)	(182)
534	C4第7層	一部欠損	濃飛流紋岩	13.0	10.6	4.9	(806)
535	表採	1/3欠損	安山岩	(11.4)	(12.5)	(5.7)	(842)
536	C12第7層	完形	砂岩	8.4	6.0	4.1	300
537	表採	完形	多孔質安山岩	9.2	5.4	3.6	286
538	A22	完形	安山岩	7.9	6.9	3.7	285
539	表採	完形	多孔質安山岩	13.6	10.2	6.4	1300
540	B4第7層下部	完形	安山岩	11.1	6.5	3.5	403
541	A6	完形	砂岩	9.8	8.9	2.0	251
542	C17第7層	完形	濃飛流紋岩	8.9	8.5	3.8	395
543	B14第7層	完形	砂岩	10.4	9.0	4.8	587
544	C18	完形	濃飛流紋岩	11.8	9.2	6.8	1053
545	B19	完形	濃飛流紋岩	12.4	10.0	7.4	1240
546	A15第7層	完形	多孔質安山岩	10.8	9.1	5.7	780
547	S K -1	2/3欠損	多孔質安山岩	(6.5)	(8.9)	(7.3)	(549)
548	B19	完形	安山岩	13.8	9.1	8.0	1460
549	A21	完形	多孔質安山岩	11.5	9.3	7.8	1100
550	C8第7層	完形	濃飛流紋岩	16.7	9.2	8.4	1380
551	B17	完形	多孔質安山岩	12.0	9.3	7.5	1100
552	A20	完形	閃綠岩	12.0	11.8	6.8	1360
553	A4第7層	完形	多孔質安山岩	12.5	10.8	9.5	1600
554	B4	完形	多孔質安山岩	15.5	9.4	8.8	1560
555	A11第7層下部	完形	多孔質安山岩	11.5	7.9	6.8	768
556	A19	完形	多孔質安山岩	11.4	9.5	9.5	1360
557	B21	一部欠損	多孔質安山岩	9.2	(7.4)	3.9	(371)
558	B20第7層	2/3欠損	砂岩	(9.0)	(11.6)	(5.5)	(870)
559	B29	完形	閃綠岩	11.9	7.6	7.2	905
560	C14第7層	完形	濃飛流紋岩	14.8	9.8	6.2	1260
561	A18	完形	濃飛流紋岩	20.8	9.7	6.1	2100
562	C5	一部欠損	砂岩	13.5	7.0	2.8	(419)

563	C 14第7層	完	形	濃飛流紋岩	17.0	14.7	4.5	858
564	C 14第7層	一	部欠損	濃飛流紋岩	(15.5)	(7.0)	5.3	(730)
565	B 13	完	形	濃飛流紋岩	13.5	7.8	5.4	859
566	表採	完	形	濃飛流紋岩	7.4	6.9	3.7	296
567	C 12	完	形	花崗閃緑岩	9.7	8.5	4.2	524
568	B 4第7層	完	形	安山岩	9.2	8.7	3.9	449
569	C 10第7層	完	形	濃飛流紋岩	13.1	4.6	4.3	409
570	表採	完	形	多孔質安山岩	7.2	5.7	4.6	208
571	C 9	完	形	多孔質安山岩	5.7	4.2	3.7	131
572	A 11	完	形	多孔質安山岩	11.6	8.1	6.3	802
573	泉付近集石	完	形	閃緑岩	10.2	5.5	5.0	492
574	C 13第7層	完	形	砂岩	12.3	5.8	3.0	316

第66表 うづか地点磨石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	O6	完	形	濃飛流紋岩	9.0	7.6	3.9	329
2	N7	完	形	閃緑岩	10.0	7.4	4.6	613
3	P7	完	形	安山岩	11.4	7.9	3.4	448
4	O6	完	形	閃緑岩	9.6	9.1	6.0	666
5	表採	完	形	安山岩	11.8	7.4	5.1	660
6	R9	完	形	砂岩	15.5	6.0	4.1	552
7	N8	完	形	多孔質安山岩	12.5	10.4	5.9	998
8	N6	完	形	多孔質安山岩	10.1	8.7	5.4	623
9	表採	完	形	安山岩	15.0	8.7	5.0	937
10	O6	完	形	安山岩	13.5	7.9	5.6	924
11	Q7	完	形	安山岩	8.5	3.8	3.0	141
12	N6	完	形	凝灰岩	7.2	4.9	1.9	98
13	N7	完	形	砂岩	3.9	3.5	2.1	40
14	O6	完	形	安山岩	8.6	6.6	2.9	241
15	N8	破	片	砂岩	(6.8)	(4.0)	(2.6)	(100)
16	N7	$\frac{2}{3}$	欠損	砂岩	(8.9)	(5.5)	(3.8)	(192)
17	P6	$\frac{1}{3}$	欠損	安山岩	(7.6)	4.7	2.1	(124)
18	N8	$\frac{1}{2}$	欠損	濃飛流紋岩	(5.2)	5.4	3.6	(134)
19	N6	破	片	砂岩	(4.8)	(4.8)	(2.5)	(42)
20	O6	$\frac{1}{2}$	欠損	濃飛流紋岩	(7.0)	7.6	4.4	(401)
21	N5Ⅱ	$\frac{1}{2}$	欠損	砂岩	(7.5)	(8.6)	4.6	(427)
22	R 11	完	形	花崗閃緑岩	9.9	6.1	4.5	406
23	P 8	完	形	多孔質安山岩	9.7	8.6	4.2	529
24	G 8	$\frac{1}{3}$	欠損	砂岩	(8.6)	7.0	3.6	(309)
25	S 10	$\frac{1}{2}$	欠損	砂岩	(8.3)	(6.9)	(4.6)	(351)
26	N 6	破	片	頁岩	(8.7)	(4.9)	(2.8)	(200)
27	N 7	$\frac{1}{3}$	欠損	砂岩	(7.0)	6.0	3.2	(222)
28	N 7	$\frac{1}{2}$	欠損	石英斑岩	(6.5)	7.7	(6.1)	(339)
29	P 10	完	形	多孔質安山岩	9.7	7.1	2.8	286

第67表 センター地点磨石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B 11	完	形	安山岩	15.2	7.5	4.2	735
2	C 10	完	形	多孔質安山岩	10.9	10.1	4.9	794

3	B8	完	形	多孔質安山岩	8.0	7.4	3.7	276
4	C10	完	形	砂岩	10.5	8.5	5.7	685
5	A10	完	形	石英斑岩	11.3	9.9	5.6	868
6	A9	完	形	凝灰岩	12.6	9.2	5.2	718
7	C11	完	形	安山岩	13.3	7.2	2.6	415
8	A8	完	形	安山岩	10.4	8.4	6.5	756
9	B10	完	形	安山岩	10.9	9.5	4.3	627
10	B10	完	形	安山岩	14.6	7.5	5.0	803
11	B14	完	形	凝灰岩	12.1	9.7	4.2	643
12	B8	完	形	安山岩	12.2	8.4	4.6	608
13	C7	一部	欠損	濃飛流紋岩	12.9	8.4	3.6	(539)
14	C11	完	形	安山岩	11.8	5.1	3.9	358
15	C7	完	形	安山岩	11.9	4.8	2.9	233
16	B13	完	形	安山岩	11.7	5.2	2.9	259
17	C7	完	形	安山岩	8.7	5.6	3.7	236
18	B14	完	形	安山岩	8.5	7.8	3.2	313
19	B12	完	形	安山岩	14.1	13.9	4.8	1360
20	C10	完	形	安山岩	12.0	10.4	3.0	551
21	A12	完	形	安山岩	8.7	6.6	2.9	230
22	C11	完	形	凝灰質流紋岩	9.0	7.5	3.3	275
23	A13	$\frac{2}{3}$	欠損	砂岩	(10.2)	(5.5)	(3.0)	(196)
24	B11	$\frac{1}{3}$	欠損	安山岩	(9.5)	6.9	3.6	(413)
25	C8	完	形	安山岩	9.6	7.0	2.6	268
26	B12	$\frac{1}{3}$	欠損	安山岩	(9.9)	8.9	5.4	(565)
27	C13	完	形	多孔質安山岩	9.7	7.6	2.8	332
28	B10	完	形	多孔質安山岩	9.7	9.2	4.5	552
29	B14	完	形	石英斑岩	12.9	7.0	3.3	432
30	B12	完	形	安山岩	11.2	9.8	4.7	713
31	B12	$\frac{1}{2}$	欠損	安山岩	(7.7)	(6.8)	3.6	(329)
32	B13	完	形	安山岩	8.0	7.2	4.7	355
33	B10	一部	欠損	安山岩	8.3	(6.8)	5.3	(398)
34	A10	完	形	多孔質安山岩	6.8	6.1	4.5	242
35	A11	破	片	安山岩	(7.9)	(7.2)	(2.0)	(167)
36	A9	完	形	安山岩	6.8	6.3	2.4	155
37	A9	完	形	安山岩	7.7	6.3	3.1	213
38	C8	完	形	安山岩	8.4	7.0	3.1	280
39	B10	完	形	濃飛流紋岩	10.0	4.5	3.1	197
40	A13	完	形	安山岩	9.4	5.2	2.4	183
41	A10	完	形	多孔質安山岩	9.3	4.7	2.7	173
42	B7	完	形	多孔質安山岩	12.2	9.2	6.7	971
43	B10	完	形	安山岩	9.5	8.9	7.3	719
44	D10	完	形	安山岩	8.7	6.7	4.3	338
45	A10	完	形	安山岩	6.0	5.7	3.8	186
46	B11	完	形	安山岩	5.8	4.4	2.4	92
47	B10	完	形	安山岩	6.7	3.1	1.8	58
48	C8	$\frac{2}{3}$	欠損	安山岩	(5.1)	6.2	3.3	(167)
49	A8	一部	欠損	安山岩	16.1	8.3	6.6	(1040)
50	C9	完	形	飛驒片麻岩	10.9	10.4	7.4	1160
51	A10	$\frac{2}{3}$	欠損	安山岩	(6.4)	(7.1)	6.0	(429)
52	A8	完	形	安山岩	8.0	6.8	6.3	481



第68表 宮ノ前地点凹石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	23	4層	完形	安山岩	7.8	6.9	5.6	402	
2	41	4層	完形	濃飛流紋岩	13.2	9.4	4.4	997	
3	51	3層	1/2欠損	砂岩	(6.9)	(7.7)	4.4	(385)	
4	11	4層	1/2欠損	濃飛流紋岩	(6.9)	5.9	3.0	(194)	
5	32	4層	完形	砂岩	8.9	8.3	4.1	(430)	
6	3	4層	完形	多孔質安山岩	11.9	8.2	4.2	(557)	
7	3	4層	完形	多孔質安山岩	9.5	7.9	5.2	493	
8	31	3層	完形	砂岩	12.1	5.7	2.9	330	
9	32	3層	完形	多孔質安山岩	13.4	8.0	5.7	886	
10	23	4層	1/3欠損	砂岩	(9.3)	7.4	5.4	(565)	
11	26	4層	1/2欠損	濃飛流紋岩	(9.0)	(10.1)	(4.2)	(536)	
12	31	3層	完形	砂岩	11.2	10.4	6.5	1060	
13	31	3層	完形	安山岩	11.9	9.0	5.8	832	
14	32	3層	完形	多孔質安山岩	9.3	12.8	7.0	378	
15	26	4層	完形	多孔質安山岩	9.9	8.1	4.1	479	
16	24	4層	完形	安山岩	10.0	6.0	3.5	365	
17	3	3層	1/3欠損	砂岩	(9.1)	5.6	3.7	(302)	
18	27	3層	完形	凝灰質流紋岩	11.9	8.9	4.0	594	
19	13	4層	完形	多孔質安山岩	13.7	9.0	3.7	631	
20	23	4層	完形	多孔質安山岩	10.5	8.8	5.7	670	
21	32	3層	完形	多孔質安山岩	11.4	8.8	4.6	551	
22	22	3層	完形	多孔質安山岩	10.5	8.9	5.6	647	
23	25	4層	完形	多孔質安山岩	9.8	7.0	3.8	402	
24	32	4層	完形	多孔質安山岩	11.0	7.1	5.7	522	
25	31	3層	完形	多孔質安山岩	9.8	8.2	5.4	554	
26	26	4層	完形	多孔質安山岩	14.0	6.8	3.2	449	
27	24・23	4層	一部欠損	砂岩	(12.3)	6.1	4.1	(410)	
28	23	4層	1/2欠損	凝灰岩	(12.3)	(6.4)	4.1	(487)	
29	23	4層	一部欠損	砂岩	11.0	8.2	5.0	(681)	
30	38	3・4層	1/3欠損	安山岩	(8.6)	(4.4)	3.5	(231)	
31	22・23	4層	一部欠損	砂岩	11.6	4.9	3.3	(279)	
32	32	3層	1/2欠損	砂岩	(12.3)	(6.2)	(3.3)	(310)	
33	22	4層	完形	安山岩	16.4	6.6	3.9	733	
34	14	2層	1/2欠損	飛驒片麻岩	(9.8)	8.3	4.8	(627)	
35	27	4層	完形	多孔質安山岩	8.9	6.3	3.3	234	
36	32	4層	完形	安山岩	14.1	5.9	4.2	543	
37	24	4層	完形	多孔質安山岩	19.7	7.1	3.2	353	
38	3	4層	完形	安山岩	13.9	6.6	2.9	424	

第69表 前田地点上層凹石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C12第7層	完形	砂岩	11.0	9.3	5.0	679	
2	C8	完形	安山岩	7.7	7.4	4.7	409	第88図9
3	B13第7層	完形	安山岩	12.2	6.1	4.2	431	
4	C5	完形	多孔質安山岩	7.9	7.8	4.1	339	
5	A12	完形	砂岩	8.7	7.5	3.7	348	
6	C14	完形	石英斑岩	8.3	8.1	3.1	325	
7	C4第7層	完形	多孔質安山岩	8.3	7.0	4.2	333	

8	C4第7層	完	形	多孔質安山岩	7.1	5.2	3.3	146
9	C7	完	形	多孔質安山岩	9.9	7.3	4.3	327
10	C16第4層	一	部欠損	多孔質安山岩	9.9	5.7	4.5	(324)
11	B20	完	形	花崗岩	10.6	7.9	3.7	440
12	B5	完	形	砂岩	11.5	6.4	3.0	312
13	A12第7層	完	形	多孔質安山岩	14.9	9.9	4.5	831
14	B14第7層	完	形	安山岩	13.7	6.1	3.7	452
15	A20	完	形	砂岩	13.5	7.9	4.0	633
16	C23第7層	完	形	多孔質安山岩	9.7	6.5	4.0	391
17	A16第3層	一	部欠損	安山岩	(15.3)	6.2	4.7	(648)
18	B7	1/3	欠損	安山岩	(9.0)	5.7	2.8	(215)
19	A20	1/3	欠損	安山岩	9.6	(5.9)	4.1	(252)
20	C4第7層	完	形	安山岩	13.2	5.9	3.2	340
21	C4第7層	1/3	欠損	安山岩	(9.7)	5.4	(3.5)	(293)
22	C5	完	形	多孔質安山岩	8.3	6.5	3.2	277
23	C4	1/3	欠損	安山岩	(9.7)	(8.9)	4.1	(510)
24	A19	完	形	砂岩	11.9	3.8	3.2	193
25	A6	完	形	凝灰質流紋岩	10.7	8.0	4.7	460
26	B17第3層	完	形	多孔質安山岩	12.0	8.1	5.0	717
27	S K - 1	完	形	砂岩	14.0	7.3	4.2	635
28	C5	完	形	濃飛流紋岩	14.4	8.3	4.8	759
29	A13第7層下部	完	形	砂岩	12.2	10.5	4.9	849
30	B18第7層	完	形	安山岩	10.2	8.7	5.0	636
31	B4	完	形	石英斑岩	10.5	7.6	3.4	406
32	B13	完	形	砂岩	9.0	7.9	4.6	463
33	B14第7層	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(5.3)	(5.8)	(2.9)	(134)
34	C18	完	形	砂岩	10.2	8.8	3.7	529
35	C18	完	形	砂岩	11.5	8.9	4.6	543
36	B16第3層	完	形	多孔質安山岩	9.1	8.6	4.1	452
37	B4	完	形	多孔質安山岩	9.1	7.7	4.0	353
38	C18	完	形	多孔質安山岩	9.7	8.7	5.0	556
39	B4	1/3	欠損	多孔質安山岩	(6.7)	8.6	5.3	(414)
40	B4	完	形	安山岩	9.9	5.7	3.9	298
41	B4	完	形	安山岩	9.5	6.9	3.6	269
42	C10第7層	完	形	多孔質安山岩	6.8	5.3	4.2	174
43	C12	完	形	砂岩	8.0	7.0	5.3	440
44	B4第7層下部	完	形	砂岩	10.4	7.9	3.2	377
45	C6	破	片	砂岩	(5.3)	(6.1)	(3.9)	(215)
46	B4	完	形	飛驒片麻岩	17.8	13.6	4.9	1540
47	B4第7層下部	完	形	砂岩	10.8	5.3	3.9	308
48	B8	完	形	石英斑岩	11.1	7.0	3.4	369
49	B8	完	形	砂岩	9.3	6.7	2.7	262
50	A4	完	形	砂岩	12.4	7.0	2.9	400
51	C15第7層	完	形	閃綠岩	9.7	3.1	3.1	135
52	C15第7層	完	形	砂岩	15.2	10.1	3.5	940
53	A7	1/3	欠損	石英斑岩	(13.9)	9.0	6.3	(1420)
54	B20	完	形	砂岩	9.4	6.7	3.6	311
55	C15	完	形	砂岩	11.9	6.8	3.4	392
56	C15	完	形	砂岩	12.2	7.5	3.9	492
57	C16	完	形	砂岩	14.0	4.8	3.9	389
58	C4	完	形	石英斑岩	10.4	8.6	4.2	573
59	B7	完	形	石英斑岩	11.2	6.3	3.7	386
60	B20	1/2	欠損	砂岩	(6.2)	(6.5)	(4.0)	(236)

61	B7	1/2	欠	損	安山岩	(9.2)	(8.9)	(3.2)	(435)	
62	C9	1/2	欠	損	多孔質安山岩	(5.6)	(8.8)	(2.9)	(207)	
63	B7	1/2	欠	損	多孔質安山岩	(5.1)	(7.4)	(3.7)	(199)	
64	B18第7層	一部	欠	損	多孔質安山岩	10.2	8.9	(6.4)	(662)	
65	B18第7層	完		形	多孔質安山岩	12.3	8.8	6.5	946	
66	B5	1/2	欠	損	飛驒片麻岩	(6.4)	(8.6)	(4.8)	(391)	
67	A11	完		形	多孔質安山岩	9.9	9.4	5.5	676	
68	B13	完		形	多孔質安山岩	10.8	8.6	3.8	423	
69	C16	完		形	多孔質安山岩	12.7	9.4	5.6	720	
70	C14	完		形	不明	11.6	6.9	5.1	683	
71	C12	完		形	安山岩	13.7	6.5	4.9	615	
72	C16	完		形	多孔質安山岩	8.0	7.7	4.0	310	
73	B5第1層	1/3	欠	損	砂岩	(7.7)	6.2	2.5	(182)	
74	B23	完		形	安山岩	11.2	8.1	4.2	531	
75	A11	完		形	砂岩	10.5	8.2	4.2	620	
76	C16	完		形	石英斑岩	15.6	7.2	3.5	529	
77	C20	完		形	多孔質安山岩	11.8	9.5	3.4	474	
78	C17	1/3	欠	損	安山岩	(7.2)	8.9	4.3	(400)	
79	C22	完		形	砂岩	14.9	5.6	3.7	436	
80	B16	2/3	欠	損	砂岩	(7.7)	(5.6)	(2.0)	(114)	
81	C12	完		形	多孔質安山岩	15.7	10.1	6.8	1540	
82	C10	完		形	多孔質安山岩	11.5	6.0	4.2	341	
83	C13	完		形	濃飛流紋岩	11.0	7.5	4.5	472	
84	A11	完		形	多孔質安山岩	12.4	10.4	6.2	865	
85	A11	完		形	砂岩	13.4	9.3	4.6	863	
86	C10	完		形	砂岩	9.9	10.5	3.0	444	
87	A11第7層	完		形	砂岩	13.7	7.7	2.8	390	
88	C9	完		形	安山岩	17.5	5.7	4.8	690	
89	A11第7層	完		形	濃飛流紋岩	16.5	5.2	2.3	328	
90	表採	1/3	欠	損	多孔質安山岩	(6.9)	5.3	3.0	(167)	
91	C5	1/3	欠	損	濃飛流紋岩	(10.1)	6.5	3.9	(373)	
92	C10	完		形	安山岩	12.5	5.1	3.5	344	
93	C7	完		形	安山岩	14.3	8.4	4.6	771	
94	表採	完		形	濃飛流紋岩	17.6	11.0	5.8	1740	同14
95	B6	1/2	欠	損	多孔質安山岩	8.6	(5.2)	(3.6)	(193)	
96	C20	完		形	多孔質安山岩	8.2	5.3	2.3	134	同5
97	A12	完		形	安山岩	9.5	7.4	3.5	338	
98	B10	完		形	多孔質安山岩	10.0	9.8	4.9	630	
99	B9第7層	完		形	安山岩	11.3	8.3	4.5	491	
100	C19	完		形	多孔質安山岩	10.7	7.0	4.6	436	
101	B10第7層	1/2	欠	損	多孔質安山岩	9.2	(5.9)	3.0	(242)	
102	B6	完		形	多孔質安山岩	10.1	7.8	3.5	347	
103	B13第7層	完		形	多孔質安山岩	12.3	7.7	4.2	506	
104	A12	完		形	石英斑岩	13.0	9.6	5.2	998	
105	B19	完		形	飛驒片麻岩	8.1	6.5	4.6	338	
106	C9第7層	完		形	石英斑岩	17.3	5.5	3.3	465	同13
107	C5第7層下部	完		形	多孔質安山岩	8.3	6.5	3.8	245	
108	A24	完		形	安山岩	12.7	8.6	3.8	704	
109	C9第7層	1/3	欠	損	砂岩	(7.4)	(8.1)	(4.6)	(391)	
110	B20	完		形	砂岩	11.5	4.1	3.0	210	同10
111	C18第4層	完		形	砂岩	13.8	9.0	6.7	984	
112	C20第4層	完		形	砂岩	11.5	9.0	6.3	893	
113	C15	完		形	濃飛流紋岩	13.8	7.8	4.2	605	

114	A11第7層下部	1/2	欠	損	濃飛流紋岩	(12.2)	(5.7)	(4.8)	(426)		
115	C 18第4層	完		形	濃飛流紋岩	13.1	9.7	5.4	997		
116	C 14第7層	完		形	砂 岩	11.7	8.2	2.9	423		
117	B 18	完		形	安 山 岩	11.9	8.7	4.7	707		
118	C 10第7層	完		形	砂 岩	11.4	6.9	3.5	380		
119	B 20第7層	1/3	欠	損	砂 岩	(13.5)	(8.7)	(4.5)	(672)		
120	C 7	1/3	欠	損	閃 綠 岩	(8.7)	5.8	(3.6)	(237)		
121	B 15第7層	1/3	欠	損	安 山 岩	(7.0)	4.8	(2.7)	(138)		
122	B 9第7層	破		片	砂 岩	(8.0)	(6.5)	(3.6)	(236)		
123	B 5	完		形	砂 岩	11.8	5.2	2.5	223	同12	
124	B 7	一	部	欠	損	濃飛流紋岩	13.9	8.5	5.0	(812)	
125	C 14第7層	完		形	飛驒片麻岩	14.6	5.8	4.2	526		
126	A 20	一	部	欠	損	濃飛流紋岩	11.5	4.5	3.3	(263)	
127	C 4	完		形	安 山 岩	11.1	7.0	4.0	419		
128	B 5	完		形	多孔質安山岩	8.5	8.0	5.5	502		
129	B 16第7層下部	完		形	濃飛流紋岩	15.1	5.2	2.7	323		
130	B 7	完		形	砂 岩	13.2	5.4	3.2	342		
131	C 17第7層	完		形	砂 岩	9.3	7.5	4.9	490	同7	
132	C 18第7層	完		形	安 山 岩	11.8	10.1	4.5	712		
133	C 20第7層	完		形	砂 岩	15.6	5.6	3.5	431		
134	C 6	完		形	濃飛流紋岩	8.8	6.8	4.1	312		
135	C 17第4層	完		形	濃飛流紋岩	13.0	7.6	5.0	755		
136	B 21第7層	完		形	多孔質安山岩	11.4	7.8	4.1	509		
137	B 5	完		形	多孔質安山岩	10.9	5.7	2.6	253		
138	B 20第7層	完		形	多孔質安山岩	10.1	5.7	3.9	298		
139	C 5	1/3	欠	損	安 山 岩	(9.4)	8.1	3.4	(402)		
140	C 7	1/3	欠	損	砂 岩	(7.0)	6.5	(4.0)	(222)		
141	B 8	完		形	凝灰質流紋岩	9.8	7.7	5.3	453		
142	A 8	完		形	安 山 岩	11.2	10.2	4.7	802		
143	C 5	完		形	砂 岩	9.7	5.7	4.1	296		
144	C 10第7層	1/3	欠	損	安 山 岩	(9.4)	(6.4)	3.3	(324)		
145	B 7	完		形	多孔質安山岩	9.7	5.6	3.6	246		
146	B 6	完		形	多孔質安山岩	9.5	7.8	3.8	397		
147	A 14第7層	一	部	欠	損	凝 灰 岩	(12.7)	7.6	4.0	(494)	
148	B 7	一	部	欠	損	凝灰質流紋岩	(14.8)	8.5	5.2	(808)	
149	A 10第7層	1/3	欠	損	濃飛流紋岩	(9.2)	6.4	5.5	(581)		
150	C 3第7層	完		形	濃飛流紋岩	14.1	6.2	4.2	543		
151	C 18第7層	完		形	飛驒片麻岩	11.4	6.2	3.9	412		
152	A 19	完		形	砂 岩	11.2	8.0	3.2	392		
153	C 8	完		形	閃 綠 岩	12.5	7.3	4.2	616		
154	B 7	完		形	多孔質安山岩	8.5	7.8	3.3	338		
155	B 20	完		形	安 山 岩	13.4	5.9	5.8	591		
156	A 4	完		形	石 英 斑 岩	15.8	8.1	4.1	916		
157	C 8	1/3	欠	損	砂 岩	(6.9)	4.7	3.5	(181)		
158	B 6	完		形	飛驒片麻岩	11.9	5.5	3.6	390		
159	A 14第7層	完		形	砂 岩	12.3	9.1	5.0	735		
160	B 14第7層	完		形	安 山 岩	8.7	8.1	4.5	397		
161	A 21	完		形	安 山 岩	9.3	8.6	3.9	565		
162	C 22	完		形	砂 岩	12.3	6.0	5.0	568		
163	表採	一	部	欠	損	砂 岩	(10.4)	6.2	4.1	(351)	
164	A 4第7層	完		形	安 山 岩	7.2	6.0	4.2	231		
165	表採	完		形	安 山 岩	10.0	6.8	3.8	338		
166	A 21第7層	完		形	濃飛流紋岩	17.2	6.7	6.1	928		

167	B19	1/2	欠	損	石 英 斑 岩	(7.3)	9.1	4.5	(472)	
168	C22	完		形	多 孔 質 安 山 岩	8.8	7.6	6.3	482	
169	B19	完		形	飛 驒 片 麻 岩	11.5	5.7	4.2	463	
170	B6	完		形	安 山 岩	9.3	7.4	4.2	493	
171	A4	1/3	欠	損	飛 驒 片 麻 岩	(8.0)	5.7	2.3	(199)	
172	A8	完		形	砂 岩	12.0	10.3	5.8	1050	
173	C6	完		形	多 孔 質 安 山 岩	8.0	7.1	2.2	169	
174	C22	1/3	欠	損	砂 岩	(8.4)	(4.2)	2.1	(160)	
175	表採	完		形	砂 岩	14.6	7.5	5.2	905	
176	B7	完		形	安 山 岩	10.2	8.5	5.9	714	
177	C4第7層	一	部	欠	損	多 孔 質 安 山 岩	12.5	9.1	(5.5)	(746)
178	B6	破		片	多 孔 質 安 山 岩	(7.8)	(8.4)	(3.7)	(266)	
179	C5	完		形	安 山 岩	9.1	7.5	2.9	307	
180	B6	完		形	安 山 岩	11.3	6.8	4.8	475	
181	C4第7層	完		形	安 山 岩	11.2	9.1	4.3	610	
182	A22第7層	1/3	欠	損	砂 岩	(8.3)	5.5	3.9	(292)	
183	B8	完		形	砂 岩	11.6	9.5	3.6	609	
184	C6	完		形	多 孔 質 安 山 岩	15.2	7.2	4.0	665	
185	C3	一	部	欠	損	安 山 岩	8.5	6.9	3.9	(288)
186	C4第7層下部	完		形	濃 飛 流 紋 岩	9.8	7.0	3.8	348	
187	B19	完		形	多 孔 質 安 山 岩	10.0	7.1	3.7	375	
188	A20	完		形	多 孔 質 安 山 岩	11.5	7.1	3.8	379	同11
189	C19第7層	完		形	多 孔 質 安 山 岩	10.4	9.3	4.9	586	
190	C8	完		形	多 孔 質 安 山 岩	10.3	6.0	3.9	334	
191	A9	完		形	多 孔 質 安 山 岩	9.7	8.2	5.2	441	
192	C9	完		形	多 孔 質 安 山 岩	10.5	7.4	4.7	473	
193	C6	完		形	安 山 岩	8.8	7.0	5.8	506	
194	B4第7層下部	完		形	多 孔 質 安 山 岩	9.0	8.2	4.7	364	
195	C24	1/3	欠	損	石 英 斑 岩	(12.1)	10.4	5.5	(1160)	
196	A21	完		形	多 孔 質 安 山 岩	12.3	9.2	4.6	781	
197	C4	完		形	安 山 岩	8.6	6.3	3.4	247	
198	B7	完		形	濃 飛 流 紋 岩	17.3	7.7	3.9	737	
199	B4	一	部	欠	損	閃 綠 岩	(12.0)	8.2	5.2	(818)
200	C18第4層	一	部	欠	損	多 孔 質 安 山 岩	(14.4)	5.4	3.3	(451)
201	B6	完		形	多 孔 質 安 山 岩	10.6	8.3	5.3	576	
202	C21	完		形	飛 驒 片 麻 岩	12.6	6.1	4.1	436	
203	C18第4層	完		形	砂 岩	9.3	7.9	7.1	695	
204	B20	完		形	多 孔 質 安 山 岩	9.4	7.2	5.0	406	
205	C19	完		形	多 孔 質 安 山 岩	8.8	5.7	5.3	309	
206	C5	1/3	欠	損	濃 飛 流 紋 岩	(5.7)	(4.9)	(3.2)	(140)	
207	A18	完		形	安 山 岩	11.9	6.7	3.7	457	
208	B19第7層	完		形	砂 岩	7.5	6.0	3.7	211	
209	B19	一	部	欠	損	飛 驒 片 麻 岩	(9.8)	6.5	4.9	(430)
210	A6	完		形	多 孔 質 安 山 岩	10.5	7.8	2.3	227	
211	表採	完		形	砂 岩	11.6	9.4	5.8	895	
212	表採	完		形	砂 岩	9.9	5.5	2.8	211	
213	B18	完		形	砂 岩	7.5	7.1	3.9	384	
214	表採	一	部	欠	損	濃 飛 流 紋 岩	(10.8)	(6.4)	(2.7)	(256)
215	A16	完		形	飛 驒 片 麻 岩	7.0	6.7	3.6	448	
216	A4	1/2	欠	損	砂 岩	(8.3)	(5.5)	(3.7)	(234)	
217	C4	完		形	多 孔 質 安 山 岩	14.0	7.5	3.9	538	
218	B6	完		形	多 孔 質 安 山 岩	11.9	8.9	3.9	570	
219	B19	完		形	砂 岩	10.5	5.7	3.6	340	

220	A 16	完	形	濃飛流紋岩	10.4	10.1	4.3	558		
221	C 7	一	部	欠	損	多孔質安山岩	8.1	6.3	4.0	(278)
222	B 18	1/3	欠	損	砂 岩	(8.0)	(7.7)	7.2	(508)	
223	C 23第7層	完	形	多孔質安山岩	10.8	8.7	4.5	560		
224	B 20	完	形	閃 綠 岩	12.7	7.3	3.1	377		
225	B 9第7層	完	形	濃飛流紋岩	12.4	5.5	4.3	351		
226	C 23第7層	完	形	多孔質安山岩	7.5	7.3	4.0	274		
227	B 4	1/3	欠	損	石 英 斑 岩	(10.1)	(5.5)	(4.8)	(376)	
228	B 4	完	形	濃飛流紋岩	13.1	5.7	2.7	360		
229	A 6	破	片	砂 岩	(5.6)	(4.1)	(3.5)	(134)		
230	C 5	1/3	欠	損	濃飛流紋岩	(7.3)	(5.7)	(3.7)	(249)	
231	C 23第7層	完	形	砂 岩	11.0	8.5	3.6	488		
232	B 5第7層下部	一	部	欠	損	閃 綠 岩	12.9	8.0	4.0	(665)
233	C 8	完	形	多孔質安山岩	9.0	7.5	4.3	377		
234	A 8	完	形	濃飛流紋岩	8.3	8.0	5.5	495		
235	B 7	完	形	砂 岩	10.1	9.7	4.6	704		
236	B 7	完	形	濃飛流紋岩	7.1	6.5	4.9	271		
237	表採	完	形	多孔質安山岩	9.7	7.8	5.1	509		
238	B 7	完	形	多孔質安山岩	9.9	6.7	3.4	340		
239	C 8	完	形	多孔質安山岩	9.9	8.5	4.3	507		
240	B 8	完	形	安 山 岩	11.5	7.0	4.9	460		
241	C 9	破	片	凝 灰 岩	(10.1)	(4.2)	(2.5)	(135)		
242	C 24第7層	1/2	欠	損	砂 岩	(4.0)	4.5	2.1	(55)	同6
243	A 4第7層	完	形	頁 岩	5.9	4.6	2.1	86		
244	C 8	1/3	欠	損	濃飛流紋岩	(12.0)	(9.7)	(4.8)	(637)	
245	C 7	完	形	安 山 岩	9.9	8.7	6.4	678		
246	C 22	完	形	多孔質安山岩	10.7	7.8	6.5	649		
247	A 19	完	形	砂 岩	8.9	8.1	5.3	492		
248	表採	一	部	欠	損	濃飛流紋岩	(11.8)	(9.2)	5.5	(765)
249	C 5	完	形	多孔質安山岩	8.0	6.5	4.2	248		
250	表採	1/3	欠	損	安 山 岩	(7.3)	4.3	2.8	(142)	
251	A 12	1/2	欠	損	砂 岩	(9.8)	(6.9)	(6.2)	(584)	
252	B 20	完	形	多孔質安山岩	12.5	9.7	5.9	1100		
253	C 16	完	形	安 山 岩	9.0	6.6	4.1	359		
254	A 14	完	形	砂 岩	12.7	7.7	2.3	388		
255	A 11	完	形	安 山 岩	11.5	6.9	2.5	327		
256	C 8	完	形	多孔質安山岩	8.2	7.2	4.5	325		
257	C 9	完	形	安 山 岩	10.9	5.7	4.7	382		
258	A 4第7層	1/2	欠	損	安 山 岩	(6.1)	(4.2)	(2.3)	(72)	
259	C 8	完	形	多孔質安山岩	7.6	6.9	4.2	248		
260	B 21	破	片	多孔質安山岩	(10.8)	(9.9)	(5.5)	(763)		
261	表採	完	形	多孔質安山岩	10.8	7.8	5.6	626		
262	C 13	完	形	濃飛流紋岩	10.6	5.9	3.0	252		
263	A 18第7層	完	形	閃 綠 岩	15.0	5.2	3.4	385		
264	B 12	完	形	安 山 岩	10.4	5.2	2.3	186		
265	C 24	完	形	砂 岩	9.2	6.3	3.2	344		
266	C 18	完	形	砂 岩	10.5	5.9	2.7	255		
267	C 9	完	形	安 山 岩	10.3	7.7	4.3	459		
268	C 7	完	形	安 山 岩	12.8	7.2	3.2	474		
269	C 19	完	形	安 山 岩	19.7	5.1	4.1	632		
270	C 9	完	形	安 山 岩	8.6	7.2	2.3	228		
271	B 11	完	形	砂 岩	8.5	7.2	2.3	179		
272	表採	完	形	多孔質安山岩	7.9	7.2	4.3	300		

273	C4	完	形	安山岩	11.7	5.9	3.2	356	
274	A8	完	形	安山岩	7.4	6.2	4.5	288	
275	B16	完	形	多孔質安山岩	9.0	8.2	3.1	257	
276	B4	完	形	多孔質安山岩	10.4	8.2	3.6	397	
277	C21第7層	1/2	欠損	安山岩	(6.5)	(5.8)	(3.4)	(153)	
278	C21第7層	完	形	安山岩	10.7	5.8	3.3	292	
279	C4	完	形	濃飛流紋岩	10.6	6.5	3.3	302	
280	B8	完	形	多孔質安山岩	10.7	9.8	3.9	559	同8
281	C9	破	片	砂岩	(5.8)	(4.7)	(2.1)	(82)	
282	A15	1/2	欠損	砂岩	(7.1)	(5.8)	3.0	(205)	
283	表採	一部	欠損	砂岩	(8.7)	(5.6)	4.0	(255)	
284	B2	一部	欠損	濃飛流紋岩	(11.3)	5.4	3.9	(377)	
285	B11第7層	完	形	砂岩	12.8	10.0	5.5	1038	
286	A11第7層	1/3	欠損	多孔質安山岩	(7.1)	(9.1)	(6.1)	(695)	
287	A18	1/2	欠損	安山岩	(5.6)	(5.9)	(3.5)	(155)	
288	B3	完	形	安山岩	17.2	6.7	3.5	564	
289	A20	完	形	多孔質安山岩	9.7	6.5	4.6	448	
290	B18	完	形	濃飛流紋岩	8.5	6.2	4.5	324	
291	C5	完	形	砂岩	16.0	5.6	3.2	477	
292	C20	完	形	砂岩	9.9	7.6	3.4	370	
293	B11第7層	完	形	砂岩	11.7	6.8	3.5	436	
294	表採	1/3	欠損	安山岩	(9.1)	6.1	3.9	(293)	
295	B7	1/2	欠損	砂岩	(4.3)	6.1	4.2	(163)	
296	C2	完	形	多孔質安山岩	10.1	6.9	4.6	378	
297	A20	1/3	欠損	凝灰質流紋岩	(5.9)	(8.3)	(3.6)	(259)	
298	B7	破	片	安山岩	(7.3)	(6.0)	(4.6)	(278)	
299	A4第7層	一部	欠損	砂岩	8.9	(7.1)	3.1	(294)	
300	B13第7層	完	形	濃飛流紋岩	13.2	9.2	6.1	1100	
301	表採	一部	欠損	凝灰岩	12.1	11.9	(4.5)	(520)	
302	C6	一部	欠損	濃飛流紋岩	(10.0)	6.1	3.7	(338)	
303	C4第7層	完	形	多孔質安山岩	9.5	7.6	5.7	475	
304	C8	完	形	砂岩	8.4	6.5	2.5	204	
305	C16第7層	完	形	砂岩	15.7	8.5	5.3	870	
306	B18第7層	完	形	石英斑岩	11.1	8.7	4.7	662	
307	B19	1/2	欠損	多孔質安山岩	(5.9)	(8.1)	(4.2)	(215)	
308	B21第7層	完	形	多孔質安山岩	9.8	9.2	5.4	384	
309	C9	完	形	安山岩	9.0	8.7	4.6	513	
310	C13第7層	1/3	欠損	凝灰質流紋岩	(7.4)	10.7	5.5	(555)	
311	B6	完	形	多孔質安山岩	9.0	8.3	3.9	398	
312	C16第7層	一部	欠損	濃飛流紋岩	10.6	9.1	3.6	(561)	
313	B19	完	形	飛驒片麻岩	10.8	5.2	3.9	326	
314	B23第7層	完	形	多孔質安山岩	7.0	6.4	4.2	221	
315	B15	完	形	多孔質安山岩	10.2	8.1	4.0	423	
316	C21第7層	完	形	砂岩	12.6	6.7	3.1	395	
317	B19	1/3	欠損	閃綠岩	8.1	(6.3)	(2.0)	(182)	
318	C11第7層	完	形	砂岩	10.1	5.4	4.3	283	
319	C14第7層	完	形	濃飛流紋岩	9.6	9.4	5.6	699	
320	C18	1/2	欠損	多孔質安山岩	(7.6)	(8.1)	(3.3)	(312)	
321	表採	1/2	欠損	凝灰岩	(5.8)	(9.2)	(4.5)	(326)	
322	C14	完	形	多孔質安山岩	10.7	9.3	5.2	627	
323	A9第7層	完	形	安山岩	12.2	4.7	2.3	198	
324	B4	一部	欠損	多孔質安山岩	11.8	(8.5)	4.5	(568)	
325	B5第7層	完	形	砂岩	10.9	7.3	4.4	486	

326	B5第7層	一部	欠損	安山岩	(14.4)	10.6	3.2	(765)
327	C5	完	形	多孔質安山岩	10.1	7.7	3.8	356
328	C3	完	形	多孔質安山岩	7.9	6.5	3.2	206
329	C5	完	形	多孔質安山岩	11.6	8.0	3.9	474
330	C5第7層下部	完	形	多孔質安山岩	11.0	7.6	4.8	525
331	C7	完	形	多孔質安山岩	11.8	9.0	4.3	696
332	A6	完	形	多孔質安山岩	12.4	7.8	6.6	864
333	B18	完	形	砂岩	13.5	8.7	7.5	1140
334	C4	完	形	砂岩	8.5	4.6	3.6	176
335	C5	完	形	砂岩	8.8	5.3	3.6	258
336	A5第7層	完	形	多孔質安山岩	11.6	9.1	4.3	506
337	A21	完	形	砂岩	12.0	6.1	3.5	391
338	A17第3層	完	形	多孔質安山岩	8.2	6.1	3.2	171
339	表採	完	形	多孔質安山岩	9.5	9.1	5.1	590
340	B6	完	形	多孔質安山岩	9.0	7.2	4.5	366
341	A12第7層下部	完	形	飛驒片麻岩	9.4	8.5	4.5	593
342	C5	完	形	多孔質安山岩	11.4	7.6	3.8	416
343	表採	完	形	安山岩	11.4	7.0	4.3	564
344	C13第7層	1/2	欠損	砂岩	(6.7)	(5.5)	2.6	(152)
345	C18第7層	1/3	欠損	凝灰岩	(8.8)	(6.7)	(3.3)	(242)
346	B4	一部	欠損	多孔質安山岩	(9.3)	(7.1)	4.1	(372)
347	C17第4層	完	形	多孔質安山岩	9.0	7.2	4.0	355
348	B21	一部	欠損	多孔質安山岩	(12.8)	9.3	5.3	(826)
349	C5	完	形	砂岩	11.0	7.5	2.8	341
350	C5	完	形	多孔質安山岩	9.5	7.2	3.2	260
351	C9第7層	完	形	砂岩	9.4	5.8	2.5	224
352	C18第7層	完	形	砂岩	9.2	7.9	4.1	436
353	C9第7層	1/3	欠損	安山岩	(8.8)	(5.4)	(3.7)	(295)
354	C17第7層	完	形	多孔質安山岩	6.6	6.4	4.1	201
355	表採	一部	欠損	多孔質安山岩	9.8	8.5	3.6	(413)
356	A20	1/2	欠損	多孔質安山岩	(7.3)	(5.8)	(2.4)	(156)
357	A20	1/2	欠損	砂岩	(8.5)	(9.0)	(4.3)	(472)
358	B20	完	形	閃綠岩	10.0	5.7	3.0	274
359	B5	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(7.5)	(8.3)	(4.6)	(449)
360	B20	完	形	多孔質安山岩	9.6	7.7	4.6	380
361	C13第7層	一部	欠損	砂岩	(12.5)	(6.0)	4.0	(480)
362	A20	完	形	安山岩	13.8	6.7	3.8	552
363	C13第7層	一部	欠損	安山岩	10.8	(5.2)	(3.2)	(221)
364	B19第7層	完	形	濃飛流紋岩	14.0	5.1	4.4	443
365	C5	1/2	欠損	安山岩	(7.2)	(8.5)	4.5	(429)
366	A17	完	形	砂岩	13.3	10.1	5.5	1100
367	表採	完	形	砂岩	9.6	6.5	4.8	413
368	A15第7層	完	形	多孔質安山岩	9.6	7.2	5.4	422
369	B4第7層	1/3	欠損	安山岩	(11.3)	(5.7)	3.7	(382)
370	A17	一部	欠損	安山岩	(12.7)	11.1	2.8	(557)
371	表採	一部	欠損	安山岩	(12.5)	6.4	3.7	(351)
372	B14第7層	完	形	砂岩	11.3	6.2	4.4	441
373	C15	完	形	砂岩	18.6	9.5	5.2	1340
374	C12第7層	一部	欠損	濃飛流紋岩	(9.9)	(6.7)	3.3	(294)
375	B5	完	形	多孔質安山岩	9.4	7.5	4.0	391
376	C15第7層	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(7.3)	(6.0)	(3.8)	(283)
377	B5	完	形	砂岩	10.8	5.9	2.6	245
378	A20	完	形	石英斑岩	12.5	9.7	4.2	734



379	B4	一部欠損	多孔質安山岩	(7.7)	8.3	5.3	(384)
380	C20	完形	飛驒片麻岩	11.3	5.7	3.0	321
381	B18	完形	飛驒片麻岩	11.5	8.0	4.6	606
382	B21	一部欠損	飛驒片麻岩	12.1	10.4	3.4	(625)
383	C18第4層	1/2欠損	多孔質安山岩	(6.8)	(9.0)	5.4	(397)
384	A4	完形	多孔質安山岩	10.4	6.3	5.4	395
385	B5	1/2欠損	砂岩	(6.2)	(6.5)	(3.1)	(203)
386	B14第7層	完形	砂岩	11.1	5.6	4.2	376
387	C23	一部欠損	多孔質安山岩	(9.3)	8.3	3.6	(401)
388	C18	完形	砂岩	8.9	6.0	2.9	229
389	C12	完形	砂岩	9.2	7.6	2.8	283
390	A13	1/3欠損	安山岩	(11.8)	(6.5)	4.6	(559)
391	表採	一部欠損	砂岩	(15.2)	7.4	3.9	(662)
392	C21	完形	砂岩	20.3	7.8	5.1	1140
393	A18	一部欠損	濃飛流紋岩	(15.0)	10.8	(5.1)	(1200)
394	A11	完形	濃飛流紋岩	14.8	8.3	5.9	1120
395	B17	完形	多孔質安山岩	15.5	8.9	4.3	785
396	A12第7層下部	完形	安山岩	14.9	4.9	4.0	478
397	B13	一部欠損	砂岩	(12.8)	7.3	4.3	(647)
398	表採	完形	濃飛流紋岩	14.6	7.8	5.0	883
399	C5第7層下部	完形	砂岩	13.2	7.5	2.8	442
400	C15第7層	完形	安山岩	13.0	8.4	3.5	533
401	C16	完形	砂岩	9.1	6.6	4.4	358
402	A11	完形	安山岩	9.8	7.1	3.6	356
403	C24	完形	石英斑岩	12.3	6.6	4.0	483
404	C15	一部欠損	多孔質安山岩	8.3	7.5	5.7	(470)
405	C14	完形	多孔質安山岩	9.6	7.4	3.7	381
406	A4第7層	完形	多孔質安山岩	9.9	7.6	4.8	464
407	C15	完形	濃飛流紋岩	13.8	8.6	5.6	1029
408	A20	完形	砂岩	12.6	8.0	3.5	496
409	B11第7層	1/2欠損	砂岩	(8.0)	(8.1)	4.1	(399)
410	A20	完形	安山岩	13.5	6.3	3.3	396
411	A5	完形	多孔質安山岩	12.3	9.8	6.0	1080
412	表採	完形	濃飛流紋岩	9.2	7.9	4.2	408
413	B12第7層	一部欠損	濃飛流紋岩	11.3	(9.0)	5.4	(682)
414	B21	完形	多孔質安山岩	12.8	9.9	5.8	914
415	表採	完形	安山岩	15.5	5.7	5.0	654
416	表採	一部欠損	砂岩	7.9	7.2	2.5	(196)
417	表採	完形	安山岩	14.9	7.2	3.7	602
418	A5	完形	多孔質安山岩	8.3	6.5	3.2	224
419	B5第7層	1/2欠損	多孔質安山岩	(7.3)	(10.2)	5.4	(565)
420	A13	2/3欠損	安山岩	(5.7)	(10.0)	(5.0)	(436)
421	B5	完形	多孔質安山岩	9.4	6.7	4.4	382
422	B5	一部欠損	砂岩	13.7	7.3	2.8	(437)
423	B5第7層	一部欠損	多孔質安山岩	9.2	9.2	3.3	(350)
424	C5	完形	安山岩	10.2	7.2	6.9	746
425	表採	完形	石英斑岩	10.3	8.4	5.7	662
426	B18	1/2欠損	石英斑岩	(5.6)	10.7	4.3	(361)
427	C18	完形	濃飛流紋岩	8.6	7.3	5.5	447
428	C18	完形	濃飛流紋岩	12.0	8.0	3.6	523
429	B5	完形	多孔質安山岩	15.0	10.6	5.5	1000
430	B7	完形	砂岩	11.3	8.0	3.9	592
431	B20	完形	安山岩	14.7	10.2	7.9	1500

432	C 5第7層	完	形	多孔質安山岩	6.5	5.6	4.5	227
433	B 6	破	片	多孔質安山岩	(5.0)	(9.0)	(4.8)	(251)
434	C 14	完	形	安 山 岩	18.0	9.0	4.2	911
435	C 7	完	形	多孔質安山岩	12.7	7.8	6.4	868
436	C 6	完	形	多孔質安山岩	19.5	9.0	4.1	475
437	C 4	完	形	濃飛流紋岩	21.1	18.7	4.6	599
438	B 7	完	形	多孔質安山岩	24.0	8.4	5.4	740
439	C 5第7層下部	完	形	多孔質安山岩	19.0	18.7	6.3	597
440	C 4	一 部 欠	損	濃飛流紋岩	16.7	10.3	7.7	(1940)
441	C 14第7層	一 部 欠	損	多孔質安山岩	13.0	6.8	3.8	(520)
442	C 14第7層	完	形	多孔質安山岩	14.6	7.9	4.2	733
443	C 18第7層	完	形	飛驒片麻岩	16.6	7.6	5.7	1140
444	B 7	一 部 欠	損	砂 岩	16.5	6.9	3.9	(759)
445	表採	一 部 欠	損	砂 岩	11.9	7.4	3.5	(385)
446	表採	完	形	砂 岩	10.1	5.6	2.9	256
447	C 23	完	形	多孔質安山岩	8.7	8.9	6.7	1040
448	C 23	完	形	濃飛流紋岩	13.6	6.4	5.1	579
449	表採	完	形	安 山 岩	8.7	7.2	4.3	386
450	C 23	一 部 欠	損	ヒ ン 岩	10.6	(7.0)	4.6	(475)
451	C 20第7層	完	形	閃 綠 岩	10.3	8.9	4.7	600
452	B 8	完	形	多孔質安山岩	8.9	8.6	4.7	499
453	C 28	完	形	濃飛流紋岩	13.8	6.7	4.3	485
454	表採	完	形	砂 岩	8.0	6.1	5.2	329
455	C 12第7層	完	形	砂 岩	10.0	7.6	3.0	329
456	B 21	完	形	飛驒片麻岩	9.3	7.5	3.4	408
457	B 17第3層	1/2 欠	損	頁 岩	(6.4)	(5.1)	(2.2)	(115)
458	B 4第7層	破	片	砂 岩	(9.0)	(8.3)	(3.2)	(314)
459	B 24	完	形	多孔質安山岩	10.2	9.3	4.9	551
460	B 19	完	形	凝灰質流紋岩	10.5	8.4	5.5	604
461	A 4第7層	完	形	多孔質安山岩	10.2	8.4	5.0	603
462	B 14第7層	完	形	多孔質安山岩	13.7	6.2	4.0	524
463	B 5	完	形	砂 岩	11.2	8.7	4.7	709
464	B 4	完	形	砂 岩	13.5	6.4	3.2	395
465	B 14第7層	完	形	砂 岩	10.8	9.7	4.2	531
466	C 4第7層	一 部 欠	損	砂 岩	(12.5)	4.9	3.0	(303)
467	C 4	完	形	流 紋 岩	8.0	7.7	4.9	381
468	C 4第7層下部	一 部 欠	損	多孔質安山岩	(11.1)	8.7	5.5	(834)
469	S K - 1	完	形	多孔質安山岩	10.6	8.5	4.7	599
470	C 17	完	形	多孔質安山岩	9.7	6.7	3.3	288
471	C 1	完	形	砂 岩	8.3	8.1	4.5	431
472	表採	完	形	多孔質安山岩	10.9	7.8	4.4	535
473	B 15	完	形	石 英 斑 岩	10.7	5.5	4.5	377
474	B 6第7層下部	完	形	多孔質安山岩	6.8	6.3	2.4	137
475	B 13	完	形	多孔質安山岩	6.3	5.6	3.7	182
476	泉付近集石	完	形	綠 泥 片 岩	12.6	5.5	2.8	277
477	B 5	一 部 欠	損	多孔質安山岩	10.5	(6.6)	6.3	(473)
478	B 14第7層	一 部 欠	損	砂 岩	(10.8)	6.5	2.8	(292)
479	C 15第7層	完	形	飛驒片麻岩	13.8	5.9	4.0	468
480	C 16	完	形	多孔質安山岩	11.0	8.3	5.4	600
481	S K - 1	完	形	閃 綠 岩	10.8	6.1	4.0	440
482	B 5	完	形	多孔質安山岩	7.0	6.9	3.0	183
483	C 5	完	形	多孔質安山岩	9.2	8.1	4.9	443
484	C 5	1/2 欠	損	多孔質安山岩	(6.1)	(8.9)	5.7	(428)

485	B5	完	形	多孔質安山岩	8.9	6.5	2.9	235
486	B5	完	形	多孔質安山岩	9.4	8.5	3.5	395
487	表採	完	形	凝 灰 岩	11.2	9.9	5.6	744
488	B19	完	形	多孔質安山岩	10.5	6.1	4.4	361
489	B18	破	片	砂 岩	(8.1)	(8.0)	(2.6)	(203)
490	A5第7層	完	形	凝 灰 岩	14.3	6.4	2.6	325
491	C18	完	形	砂 岩	14.7	6.6	4.4	629
492	A5	½	欠 損	多孔質安山岩	(8.1)	6.9	3.7	(303)
493	B4	完	形	濃飛流紋岩	11.9	5.5	3.0	313
494	C4	一 部	欠 損	多孔質安山岩	6.0	(5.4)	3.7	(161)
495	B19	完	形	砂 岩	13.8	8.7	5.9	1040
496	B4	完	形	飛驒片麻岩	8.3	7.5	4.0	384
497	C5	⅔	欠 損	砂 岩	(9.7)	(5.0)	(2.6)	(153)
498	B23第7層	完	形	砂 岩	10.4	8.3	3.1	376
499	C19第7層	完	形	飛驒片麻岩	13.4	5.6	4.2	448
500	B4	⅔	欠 損	多孔質安山岩	(7.7)	(8.8)	(3.4)	(330)
501	B18第7層	完	形	安 山 岩	10.6	7.5	3.8	353
502	A18	⅓	欠 損	多孔質安山岩	6.5	(12.0)	(5.5)	(468)
503	A11第7層	完	形	多孔質安山岩	9.6	5.8	4.1	279
504	表採	一 部	欠 損	砂 岩	12.7	5.9	3.7	(378)
505	A11第7層	完	形	安 山 岩	10.2	6.8	4.5	438
506	C19	一 部	欠 損	濃飛流紋岩	18.8	9.9	5.2	(1520)
507	C20	完	形	濃飛流紋岩	11.7	8.4	3.3	478
508	C17	完	形	濃飛流紋岩	9.3	9.2	3.8	469
509	C13	完	形	流 紋 岩	9.2	7.0	4.1	342
510	B19	一 部	欠 損	凝 灰 岩	11.4	6.0	2.4	(211)
511	表採	完	形	多孔質安山岩	8.8	5.0	5.2	914
512	C19	完	形	砂 岩	9.6	7.7	5.7	600
513	C14	一 部	欠 損	濃飛流紋岩	8.9	6.2	3.4	(251)
514	C16	完	形	安 山 岩	8.6	6.9	3.8	371
515	C12	完	形	砂 岩	12.0	9.2	4.9	801
516	A19	完	形	安 山 岩	12.2	8.3	4.6	813
517	表採	一 部	欠 損	安 山 岩	16.2	7.5	3.9	(822)
518	A16	一 部	欠 損	石 英 斑 岩	16.2	8.1	5.2	(1019)
519	C13	完	形	砂 岩	11.4	8.1	5.6	709
520	B16	一 部	欠 損	砂 岩	14.2	7.0	3.3	(481)
521	A13	完	形	安 山 岩	7.1	6.3	4.7	270
522	A12	完	形	安 山 岩	11.5	7.7	6.0	755
523	C2	完	形	多孔質安山岩	10.8	8.6	4.7	640
524	B10	一 部	欠 損	安 山 岩	(12.2)	7.2	5.1	(684)
525	A4第7層	½	欠 損	多孔質安山岩	(7.0)	10.6	2.5	(264)
526	C2	一 部	欠 損	多孔質安山岩	11.2	8.3	4.6	(624)
527	A20第7層	一 部	欠 損	安 山 岩	12.5	(7.0)	6.5	(828)
528	C3	完	形	多孔質安山岩	12.0	8.3	5.0	599
529	B2	完	形	砂 岩	8.4	8.4	4.2	429
530	B19	½	欠 損	砂 岩	(7.0)	(7.7)	(4.7)	(264)
531	C4第7層	完	形	飛驒片麻岩	9.5	7.3	3.0	255
532	C16	完	形	飛驒片麻岩	10.0	7.8	5.2	754
533	C17	完	形	多孔質安山岩	9.5	7.6	4.2	437
534	B13	一 部	欠 損	安 山 岩	8.5	6.5	3.6	(246)
535	A16	完	形	砂 岩	11.0	4.2	4.1	289
536	A21	完	形	石 英 斑 岩	11.2	8.7	3.8	528
537	C5	½	欠 損	砂 岩	(8.0)	(5.8)	(3.6)	(271)

538	A16	完	形	多孔質安山岩	8.6	7.0	4.4	297
539	A20	完	形	安山岩	16.1	6.3	4.2	700
540	C21	完	形	安山岩	14.6	4.3	3.1	279
541	B9	完	形	飛驒片麻岩	11.2	4.5	2.9	281
542	C9	1/2	欠損	凝灰岩	(8.8)	(6.0)	(3.2)	(273)
543	C15	完	形	凝灰岩	14.3	5.8	3.0	349
544	表採	完	形	砂岩	12.2	6.0	4.3	454
545	A12第7層	完	形	濃飛流紋岩	11.5	7.3	2.8	301
546	C3	完	形	多孔質安山岩	8.8	7.4	3.9	291
547	C2	完	形	多孔質安山岩	10.8	8.4	4.9	492
548	B3	完	形	多孔質安山岩	10.3	7.9	6.4	621
549	A2	完	形	多孔質安山岩	11.4	8.2	3.8	511
550	C18	完	形	飛驒片麻岩	11.0	7.5	4.1	446
551	A14	一部	欠損	砂岩	(11.5)	7.1	2.6	(326)
552	C22	一部	欠損	アプライト	(10.7)	8.3	6.1	(659)
553	C1	完	形	多孔質安山岩	9.5	8.9	5.0	554
554	B5	破	片	砂岩	(8.8)	(6.7)	(5.4)	(340)
555	A12第7層	完	形	砂岩	16.1	7.9	4.3	814
556	表採	一部	欠損	安山岩	12.0	10.5	4.7	(803)
557	表採	完	形	濃飛流紋岩	11.9	5.1	3.1	263
558	C15	完	形	濃飛流紋岩	9.5	8.3	5.6	571
559	B5	完	形	砂岩	11.2	7.0	5.1	517
560	B1	完	形	多孔質安山岩	10.5	8.4	5.4	613
561	C2	一部	欠損	砂岩	7.2	6.2	3.9	(238)
562	C3	完	形	多孔質安山岩	8.1	6.9	2.6	183
563	B11	1/2	欠損	砂岩	(7.1)	(5.7)	5.1	(239)
564	B18	完	形	濃飛流紋岩	9.0	7.3	5.5	498
565	C20	一部	欠損	安山岩	(6.6)	4.5	3.0	(108)
566	C19第7層	1/2	欠損	凝灰岩	(7.5)	(7.2)	(3.7)	(228)
567	B19第7層	1/3	欠損	濃飛流紋岩	(12.9)	8.7	5.2	(816)
568	表採	完	形	安山岩	10.1	7.8	5.0	535
569	表採	完	形	多孔質安山岩	13.3	10.4	6.6	1220
570	A9第7層	完	形	多孔質安山岩	11.2	6.6	4.9	443
571	S K-1	完	形	砂岩	10.2	9.1	4.7	500
572	C13第7層	完	形	砂岩	14.4	6.0	5.1	648
573	B10	完	形	濃飛流紋岩	11.3	8.5	4.6	588
574	泉付近集石	完	形	多孔質安山岩	14.4	7.0	2.7	486
575	C12	完	形	多孔質安山岩	10.6	5.5	3.8	295

第70表 うづか地点凹石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	N5Ⅱ	1/2 欠損	砂岩	(7.2)	(7.7)	2.8	(224)	
2	L7Ⅱ	1/2 欠損	砂岩	(6.9)	(8.4)	4.0	(382)	
3	F7Ⅱ	1/2 欠損	安山岩	(8.8)	(6.1)	4.4	(280)	
4	N5Ⅱ	完形	濃飛流紋岩	10.1	7.7	4.4	458	
5	B1Ⅱ	1/2 欠損	多孔質安山岩	(7.9)	(8.4)	(5.4)	(522)	
6	表採	完形	安山岩	11.3	8.0	4.8	580	
7	貯No.2	完形	安山岩	10.4	8.8	5.0	763	
8	F7Ⅱ	2/3 欠損	砂岩	(8.6)	(5.2)	(3.1)	(216)	
9	L8Ⅱ	一部欠損	砂岩	10.4	(9.0)	3.7	(478)	
10	O6	完形	多孔質安山岩	7.3	6.8	3.5	226	

11	V11	完	形	飛驒片麻岩	11.9	5.8	2.6	290
12	表採	完	形	安山岩	13.0	6.6	4.8	638
13	P10	完	形	多孔質安山岩	12.1	7.2	4.3	622
14	N6	$\frac{2}{3}$	欠損	砂岩	(6.4)	(7.2)	(3.4)	(200)

第71表 センター地点凹石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A10	完	形	濃飛流紋岩	12.0	5.7	4.3	423
2	B12	完	形	濃飛流紋岩	12.1	5.8	2.5	280
3	C9	完	形	安山岩	11.2	4.0	3.7	257
4	C10	完	形	多孔質安山岩	10.9	8.1	2.6	251
5	A7	完	形	砂岩	10.1	4.8	3.9	251
6	C11	一部	欠損	濃飛流紋岩	(10.5)	(7.2)	4.9	(561)
7	B13	$\frac{1}{3}$	欠損	濃飛流紋岩	(6.7)	(6.7)	3.4	(227)
8	B11	完	形	砂岩	9.4	9.0	4.0	470
9	B13	完	形	砂岩	9.3	6.3	3.6	304
10	A14	完	形	多孔質安山岩	9.1	7.6	5.0	433
11	C11	完	形	砂岩	9.0	8.0	5.2	520
12	B12	完	形	砂岩	14.7	10.4	5.0	1060
13	B12	完	形	安山岩	18.9	8.2	6.3	1460
14	A12	完	形	砂岩	11.6	10.4	4.1	691
15	A9	完	形	多孔質安山岩	9.3	6.3	3.4	217
16	A10	完	形	濃飛流紋岩	8.9	8.5	4.8	520
17	C8	一部	欠損	砂岩	10.9	8.3	4.8	(639)
18	A12	完	形	多孔質安山岩	10.6	8.4	5.0	586
19	B10	$\frac{1}{2}$	欠損	多孔質安山岩	(11.7)	(8.0)	6.3	(704)
20	C11	$\frac{1}{3}$	欠損	砂岩	(11.7)	9.1	3.7	(611)
21	A11	一部	欠損	砂岩	(16.3)	9.3	3.4	(728)
22	B14	完	形	多孔質安山岩	10.0	9.8	3.8	510
23	A13	完	形	砂岩	10.8	9.1	5.9	782
24	B14	完	形	飛驒片麻岩	11.5	7.5	5.2	681
25	B13	$\frac{1}{2}$	欠損	多孔質安山岩	(11.9)	(6.2)	5.1	(464)
26	C12	完	形	砂岩	14.0	5.4	2.8	350
27	B12	完	形	多孔質安山岩	11.0	8.9	4.4	593
28	B11	完	形	砂岩	10.6	10.0	5.1	735
29	C12	$\frac{1}{2}$	欠損	安山岩	(11.5)	(9.3)	4.9	(905)
30	C12	一部	欠損	安山岩	(9.8)	(6.6)	4.2	(375)
31	A9	完	形	飛驒片麻岩	9.9	8.8	5.0	649
32	C13	一部	欠損	砂岩	(12.5)	(6.4)	2.0	(200)
33	C10	完	形	砂岩	14.0	7.2	3.4	493
34	B11	完	形	多孔質安山岩	11.6	7.5	3.9	440
35	B12	完	形	安山岩	15.1	7.1	3.8	567
36	A13	一部	欠損	飛驒片麻岩	(15.4)	6.6	4.2	(530)
37	B12	完	形	安山岩	14.5	6.0	4.4	600
38	A11	完	形	多孔質安山岩	7.4	7.4	5.8	392
39	B10	$\frac{1}{3}$	欠損	多孔質安山岩	(6.6)	6.7	4.6	(246)
40	A11	完	形	飛驒片麻岩	8.5	6.4	7.3	474
41	C8	破	片	多孔質安山岩	(7.3)	(3.5)	(2.8)	(110)
42	C7	$\frac{2}{3}$	欠損	頁岩	(7.5)	(4.6)	(3.5)	(169)
43	A10	完	形	安山岩	12.6	4.5	2.0	158
44	B10	完	形	多孔質安山岩	11.2	8.2	3.6	448

45	B7	完	形	多孔質安山岩	10.0	9.3	4.5	520
46	B10	完	形	砂岩	8.2	8.0	3.7	331
47	B11	⅔	欠損	砂岩	(6.7)	(6.6)	(3.4)	(194)
48	B11	完	形	砂岩	10.2	6.2	3.8	328
49	C7	½	欠損	花崗岩	(7.5)	(8.6)	4.2	(407)
50	B12	⅓	欠損	石英斑岩	(8.8)	7.0	3.8	(399)
51	A12	完	形	多孔質安山岩	11.8	6.0	4.2	422
52	C7	完	形	砂岩	9.8	5.2	4.0	301
53	C7	完	形	多孔質安山岩	11.8	6.9	3.5	428
54	C7	⅓	欠損	飛驒片麻岩	(14.0)	7.6	5.2	(685)
55	C13	⅓	欠損	飛驒片麻岩	(9.4)	6.1	3.9	(395)
56	B10	完	形	多孔質安山岩	10.2	8.0	3.4	346
57	C13	完	形	砂岩	11.9	7.0	4.5	503
58	B10	完	形	砂岩	10.7	7.2	3.2	344
59	A12	一部	欠損	安山岩	7.7	5.8	5.0	(265)

第72表 宮ノ前地点敲石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	21	3層	完形	ホルンフェルス	6.8	8.6	4.6	297	
2	28~30	2層	完形	砂岩	10.9	18.9	3.4	814	
3	31	4層	完形	安山岩	9.5	7.5	5.6	788	
4	45	3層	完形	安山岩	14.6	4.0	2.6	232	
5	41	3・4層	完形	砂岩	9.3	8.7	2.6	240	第89図8
6	4	3層	一部欠損	砂岩	(7.8)	9.7	1.9	(221)	
7	32	4層	⅓欠損	安山岩	(7.6)	5.8	3.1	(246)	
8	32	4層	完形	飛驒片麻岩	11.7	13.8	5.0	1120	
9	表採	—	完形	砂岩	11.3	9.3	4.3	640	
10	11	4層	完形	チャート	11.6	8.6	3.2	349	
11	24	4層	完形	安山岩	10.8	5.2	3.4	325	
12	19・20	2層	完形	砂岩	19.3	9.5	4.0	127	
13	22・23拵	4層	完形	砂岩	8.5	12.1	4.5	556	
14	12	4層	完形	砂岩	9.5	13.0	5.7	1020	
15	21	4層	完形	石英	10.0	12.1	6.7	897	
16	22・23拵	4層	一部欠損	安山岩	(9.2)	(6.6)	3.8	(318)	
17	22	4層	完形	安山岩	7.7	9.8	2.8	290	
18	37	3・4層	完形	安山岩	13.0	6.3	3.6	460	
19	24拵	4層	一部欠損	砂岩	(11.3)	10.4	5.2	(904)	
20	1	4層	完形	石英	7.7	5.3	4.7	276	
21	11	4層	完形	安山岩	10.5	12.6	3.4	611	
22	5	3層	完形	輝緑凝灰岩	13.6	7.9	5.1	626	
23	18	2層	½欠損	砂岩	(6.4)	(10.1)	(2.6)	(187)	
24	9・10	3層	完形	頁岩	7.9	11.1	3.9	397	
25	12	3層	完形	安山岩	8.3	17.0	3.4	429	
26	31	3層	一部欠損	凝灰岩	9.6	(12.0)	3.3	(484)	
27	3	3層	完形	頁岩	9.8	14.6	3.9	573	

第73表 前田地点上層敲石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C22	½欠損	砂岩	(8.5)	(5.9)	(2.9)	(202)	

2	C23	完	形	濃飛流紋岩	11.8	8.1	4.8	667
3	C16	完	形	濃飛流紋岩	10.0	9.6	5.3	663
4	B6	完	形	砂岩	14.0	4.5	3.3	307
5	A20	完	形	安山岩	12.4	5.9	3.2	338
6	C11	完	形	砂岩	8.4	7.8	4.4	334
7	C5	完	形	濃飛流紋岩	10.9	5.4	2.8	260
8	C22	完	形	砂岩	9.1	5.4	3.4	235
9	C4	完	形	輝綠凝灰岩	9.0	6.5	4.5	343
10	B7	完	形	砂岩	12.0	6.2	4.0	426
11	C4	完	形	安山岩	16.6	6.3	5.6	741
12	C14第7層	完	形	飛驒片麻岩	11.0	7.9	4.5	446
13	C5	完	形	砂岩	13.5	5.9	3.2	427
14	B5	完	形	安山岩	12.9	5.9	2.6	246
15	C5第7層	完	形	安山岩	8.1	6.7	3.3	251
16	C21第7層	完	形	安山岩	21.6	8.0	4.7	1360
17	A12	完	形	飛驒片麻岩	12.2	7.3	5.7	818
18	B5第7層	完	形	砂岩	11.0	15.2	5.3	1100
19	A4第7層	一部	欠損	砂岩	(12.1)	(5.6)	3.3	(282)
20	C17	完	形	砂岩	9.7	6.9	2.8	215
21	B4第7層	完	形	砂岩	7.9	4.5	1.9	96
22	A4第7層	完	形	砂岩	10.7	5.2	3.5	251
23	C15第7層	完	形	砂岩	7.2	3.5	2.2	73
24	A5第7層下部	完	形	安山岩	8.1	4.9	2.6	158
25	B13第7層	1/3	欠損	濃飛流紋岩	(11.2)	6.1	4.5	(507)
26	A14第7層	完	形	砂岩	12.6	5.4	4.7	600
27	A4	完	形	砂岩	10.4	4.5	3.5	210
28	B6	完	形	安山岩	18.1	13.6	3.7	1180
29	B19	完	形	砂岩	9.9	5.4	3.8	272
30	C5	完	形	濃飛流紋岩	13.8	6.0	4.3	422
31	B23第7層	完	形	濃飛流紋岩	15.3	12.0	5.7	1360
32	表採	完	形	頁岩	11.6	8.9	3.8	535
33	A13	完	形	安山岩	9.6	5.0	2.3	174
34	C9	完	形	砂岩	17.6	10.7	5.0	1220
35	C21	完	形	砂岩	10.4	7.8	3.2	339
36	A18	完	形	砂岩	14.2	9.1	4.6	918
37	C6	完	形	安山岩	9.1	7.8	3.7	363
38	A16第7層下部	一部	欠損	砂岩	(13.1)	9.2	4.4	(691)
39	A6	完	形	安山岩	13.8	9.2	5.2	786
40	A7	完	形	安山岩	12.5	8.2	3.4	358
41	C5	完	形	砂岩	14.3	6.0	4.6	594
42	B5	完	形	頁岩	14.4	11.7	2.5	585
43	A14第7層	完	形	頁岩	12.8	6.8	5.0	628
44	C12	完	形	砂岩	16.7	10.9	4.9	1180
45	B4第7層下部	完	形	砂岩	19.1	13.5	4.8	1780
46	C18第4層	完	形	砂岩	15.1	14.7	5.4	1480
47	B4第7層	完	形	濃飛流紋岩	14.4	11.8	5.4	1320
48	B4	1/2	欠損	砂岩	(5.9)	6.8	4.2	(229)
49	B10第7層	完	形	濃飛流紋岩	7.1	6.1	4.5	253
50	B18第7層	完	形	砂岩	10.8	7.8	3.1	376
51	C18第7層	一部	欠損	凝灰質流紋岩	(13.9)	13.0	2.8	(528)
52	C5	完	形	凝灰岩	8.3	7.7	2.9	289
53	B4	1/2	欠損	安山岩	(6.3)	6.5	1.8	(141)
54	C17第7層	完	形	砂岩	9.2	8.1	4.5	360

第89図3

同1

55	B6	完	形	飛驒片麻岩	10.3	8.7	3.8	378
56	B6	完	形	安山岩	10.1	10.0	3.5	477
57	B4	完	形	安山岩	9.6	4.7	2.0	128
58	A4	完	形	砂岩	13.0	7.5	3.3	355
59	C20	完	形	安山岩	13.4	9.1	3.9	647
60	B19	完	形	安山岩	7.3	6.5	2.5	160
61	C15第7層	一部	欠損	砂岩	9.7	7.5	2.3	(218)
62	C16	1/3	欠損	砂岩	(7.3)	(6.9)	(6.4)	(368)
63	C21	完	形	砂岩	11.0	4.8	2.7	215
64	B12	完	形	砂岩	15.3	6.0	4.3	495
65	B5	完	形	安山岩	18.2	10.4	4.6	1040
66	C5	完	形	砂岩	10.6	6.6	4.1	402
67	C16	一部	欠損	安山岩	(14.2)	5.8	3.4	(348)
68	C12	完	形	安山岩	10.5	4.7	2.1	123
69	B9	完	形	安山岩	10.7	5.8	3.0	202
70	C14	1/3	欠損	濃飛流紋岩	(8.0)	5.4	3.4	(231)
71	A12	完	形	頁岩	8.6	5.1	2.9	168
72	表採	一部	欠損	頁岩	6.9	6.2	1.8	(122)
73	A3	完	形	安山岩	10.2	4.2	3.7	236
74	B2	完	形	砂岩	7.4	6.4	3.0	209
75	B3	完	形	安山岩	12.0	6.6	3.8	479
76	A4第7層	完	形	濃飛流紋岩	12.7	5.0	4.4	429
77	B2	完	形	砂岩	13.0	5.0	2.9	248
78	C2	完	形	濃飛流紋岩	12.7	6.6	2.9	361
79	C11	完	形	頁岩	11.2	4.8	3.0	238
80	A7	完	形	頁岩	18.1	4.9	2.4	279
81	A4第7層	完	形	安山岩	19.6	11.8	4.2	1100
82	B9第7層	完	形	砂岩	11.6	6.9	5.6	479
83	B18	完	形	砂岩	8.6	8.0	3.8	327
84	表採	完	形	凝灰質流紋岩	10.2	6.2	2.4	160
85	C4	完	形	多孔質安山岩	9.3	8.7	3.8	400
86	C4第7層	完	形	輝綠凝灰岩	8.2	5.2	4.6	263
87	C4第7層	完	形	頁岩	11.8	6.1	3.1	327
88	表採	完	形	砂岩	13.0	12.6	7.1	1620
89	C4	完	形	砂岩	8.2	6.9	2.1	174
90	C4	完	形	頁岩	9.0	7.4	2.5	265
91	C5	完	形	砂岩	8.3	5.0	2.4	132
92	B4	1/2	欠損	砂岩	(4.7)	5.1	2.1	(78)
93	B17	完	形	砂岩	8.1	6.9	2.1	166
94	A4	完	形	砂岩	9.4	4.5	3.2	179
95	表採	完	形	安山岩	11.4	11.3	5.3	932
96	C17第7層	2/3	欠損	砂岩	(7.9)	(5.5)	(4.2)	(152)
97	C20	完	形	輝綠凝灰岩	11.9	5.9	5.8	537
98	B4	完	形	濃飛流紋岩	13.7	4.9	5.2	450
99	C17第4層	1/3	欠損	砂岩	(9.7)	6.5	5.0	(406)
100	B7	完	形	砂岩	13.1	3.2	3.0	155
101	A7	完	形	砂岩	8.0	4.4	3.2	176
102	C22	1/3	欠損	安山岩	(6.7)	6.6	3.8	(254)
103	表採	完	形	安山岩	17.2	10.5	4.1	1140
104	B8	完	形	安山岩	12.9	5.7	2.7	295
105	C18	完	形	頁岩	7.3	7.2	3.3	285
106	A13	完	形	凝灰岩	14.3	9.7	3.9	603
107	C5第7層	1/3	欠損	安山岩	(9.6)	5.2	3.0	(244)

同5



108	C8	完	形	頁	岩	12.0	3.2	2.6	156	
109	A7	完	形	砂	岩	10.4	5.8	2.3	201	
110	C19第7層	完	形	輝綠凝灰岩		10.8	7.5	3.1	346	
111	A22	完	形	砂	岩	13.2	5.3	2.7	267	
112	B19	完	形	砂	岩	11.9	5.6	5.0	404	
113	C5第7層	一	部	欠	損	安山岩	(16.4)	6.4	2.8	(451)
114	C7	完	形	砂	岩	14.7	8.8	4.6	548	
115	A7	完	形	安山岩		11.7	7.4	4.3	507	
116	B20第7層	完	形	濃飛流紋岩		25.3	10.7	3.5	1180	
117	A7	完	形	頁	岩	16.8	7.3	2.7	359	
118	C5	完	形	濃飛流紋岩		12.2	7.5	4.3	569	
119	B20第7層	完	形	輝綠凝灰岩		8.8	6.9	3.0	281	
120	C18	完	形	砂	岩	16.8	11.9	6.5	1380	
121	C5	完	形	頁	岩	17.6	9.8	5.8	1160	
122	B7	一	部	欠	損	凝灰質流紋岩	(13.5)	9.5	4.4	(601)
123	A6	完	形	濃飛流紋岩		12.1	8.2	3.7	554	
124	B7	一	部	欠	損	凝灰質流紋岩	13.7	(13.8)	5.0	(916)
125	C4第7層	完	形	砂	岩	9.7	6.0	4.0	344	
126	C15	一	部	欠	損	安山岩	(16.2)	(5.2)	2.9	(294)
127	B7	完	形	砂	岩	12.8	5.2	3.8	390	
128	C22	完	形	砂	岩	12.5	5.6	2.7	219	
129	B18	完	形	アブライト		8.5	8.0	3.6	258	
130	B19	完	形	頁	岩	9.3	3.6	3.0	154	
131	C5	完	形	輝綠凝灰岩		10.0	9.6	6.3	782	
132	B10第7層	完	形	砂	岩	8.7	7.8	3.1	212	
133	表採	完	形	安山岩		9.2	6.6	2.7	229	
134	C4第7層	完	形	頁	岩	7.4	4.7	10.7	78	
135	C17第4層	一	部	欠	損	砂岩	(8.9)	3.6	2.7	(147)
136	C17第4層	完	形	砂	岩	9.4	4.3	2.7	161	
137	C9第7層	完	形	凝灰岩		13.3	6.5	4.2	485	
138	C14第7層	完	形	安山岩		13.9	6.5	2.7	335	
139	B10第7層	完	形	安山岩		13.8	7.8	5.3	603	
140	C19	一	部	欠	損	頁岩	(20.3)	5.9	4.8	(736)
141	B10第7層	完	形	砂	岩	8.6	7.1	3.5	307	
142	A18	一	部	欠	損	安山岩	(18.0)	(11.1)	5.3	(1260)
143	表採	完	形	砂	岩	16.3	10.0	4.5	1180	
144	A11	完	形	安山岩		11.9	6.8	2.6	298	
145	C23	完	形	安山岩		11.3	7.9	4.5	423	
146	表採	完	形	輝綠凝灰岩		13.0	9.1	4.2	535	
147	B19	完	形	輝綠凝灰岩		15.0	7.9	3.3	483	
148	C10	一	部	欠	損	砂岩	(7.3)	(5.6)	(3.7)	(173)
149	C9	完	形	砂	岩	10.0	7.3	3.7	396	
150	B14	完	形	流紋岩		9.2	7.2	5.3	412	
151	A21	完	形	砂	岩	18.4	11.0	4.4	1320	
152	A16第3層	1/3	欠	損	砂岩	(9.3)	6.2	5.3	(378)	
153	B24	完	形	安山岩		10.3	5.4	3.4	294	
154	表採	完	形	安山岩		15.3	8.2	3.6	653	
155	A14第7層	完	形	安山岩		17.3	12.6	3.6	1120	
156	A11	完	形	濃飛流紋岩		19.6	8.7	5.5	1300	
157	A5第7層	完	形	安山岩		9.7	4.8	4.3	316	
158	B12第7層	完	形	安山岩		8.4	7.3	2.3	195	
159	A17	完	形	飛驒片麻岩		13.9	6.9	3.2	471	
160	表採	完	形	砂	岩	11.2	4.8	2.8	183	

161	表採	完	形	砂	岩	11.2	5.2	3.0	249					
162	B5	完	形	砂	岩	10.3	5.7	3.6	275					
163	表採	完	形	砂	岩	12.3	10.6	3.7	671					
164	C20	完	形	安	山	岩	10.4	7.1	3.7	378				
165	B11	一	部	欠	損	安	山	岩	12.4	4.5	3.3	(296)		
166	C24	完	形	凝	灰	岩	14.0	8.4	3.6	568				
167	C14	完	形	濃	飛	流	紋	岩	13.0	7.5	4.7	597		
168	B15第7層	1/3	欠	損	濃	飛	流	紋	岩	(25.4)	13.9	4.0	(1880)	
169	C18第7層	完	形	砂	岩	14.0	5.9	2.7	319					
170	B17第3層	完	形	砂	岩	7.0	6.4	4.1	224					
171	B11第7層	完	形	砂	岩	10.2	6.8	4.7	462					
172	B11第7層	完	形	安	山	岩	10.0	5.2	2.5	172				
173	C5	完	形	安	山	岩	10.3	7.4	2.4	254				
174	A18	完	形	飛	驃	片	麻	岩	14.7	6.2	4.3	502		
175	A17	完	形	安	山	岩	13.2	8.4	3.6	599				
176	B21	完	形	多	孔	質	安	山	岩	12.7	10.3	4.1	739	
177	A16第3層	完	形	頁	岩	8.4	7.2	4.0	332					
178	C5第7層	完	形	濃	飛	流	紋	岩	12.2	9.7	2.4	523		
179	A4	完	形	飛	驃	片	麻	岩	10.3	9.8	2.3	504		
180	C4	完	形	頁	岩	7.5	5.9	4.3	236					
181	C5	完	形	輝	綠	凝	灰	岩	9.5	6.7	5.3	444		
182	B5	完	形	安	山	岩	14.1	8.2	4.8	811				
183	C11	完	形	頁	岩	11.7	6.6	3.4	399					
184	A11	1/2	欠	損	砂	岩	(6.5)	(8.7)	(5.2)	(299)				
185	B10	完	形	頁	岩	9.3	7.0	2.7	229					
186	表採	完	形	砂	岩	8.8	6.4	2.8	237					
187	A14	完	形	頁	岩	9.3	4.7	3.4	194					
188	A11	完	形	砂	岩	9.0	5.9	2.1	176					
189	B11	完	形	多	孔	質	安	山	岩	12.2	10.3	2.9	459	
190	C19	完	形	頁	岩	8.7	5.7	2.6	135					
191	C11	完	形	頁	岩	7.2	6.1	2.3	121					
192	B11	完	形	砂	岩	7.2	5.3	2.7	150					
193	B21	完	形	安	山	岩	8.0	4.1	2.1	81				
194	表採	完	形	頁	岩	14.5	3.1	2.4	147					
195	B11	完	形	砂	岩	11.1	8.6	6.7	839					
196	C12	完	形	頁	岩	8.3	8.0	3.5	287					
197	A21	完	形	砂	岩	10.0	7.8	5.7	695					
198	表採	完	形	砂	岩	12.5	6.0	5.8	679					
199	表採	1/2	欠	損	多	孔	質	安	山	岩	(10.0)	(6.2)	(4.8)	(379)
200	表採	完	形	安	山	岩	8.0	7.0	2.7	228				
201	表採	完	形	飛	驃	片	麻	岩	9.0	6.3	2.7	184		
202	A7第7層	完	形	安	山	岩	9.4	7.3	4.2	482				
203	C5第7層下部	完	形	砂	岩	8.6	6.6	4.9	306					
204	B14第7層	完	形	砂	岩	10.9	9.1	4.6	565					
205	C10第7層	完	形	多	孔	質	安	山	岩	9.1	9.1	4.8	491	
206	B14第7層	完	形	濃	飛	流	紋	岩	18.6	10.1	4.9	1120		
207	C4第7層下部	1/2	欠	損	砂	岩	8.4	(4.0)	2.7	(117)				
208	表採	1/3	欠	損	砂	岩	(11.7)	(6.1)	(4.2)	(272)				
209	C21第7層	完	形	砂	岩	14.1	8.2	5.5	773					
210	C7	完	形	頁	岩	8.8	5.6	2.9	367					
211	B5	完	形	安	山	岩	7.5	4.5	2.8	125				
212	B4	完	形	砂	岩	10.5	8.5	5.9	563					
213	表採	完	形	多	孔	質	安	山	岩	11.3	6.5	5.5	509	

214	C5	完	形	砂	岩	10.9	6.5	4.8	477				
215	B8	一	部	欠	損	安	山	岩	(7.5)	7.0	3.2	(249)	
216	B18	完	形	砂	岩	12.0	8.3	3.1	361				
217	B11	1/3	欠	損	輝	綠	凝	灰	岩	(11.3)	9.0	4.8	(579)
218	C4	完	形	濃	飛	流	紋	岩	12.5	8.3	4.3	587	
219	B4	完	形	輝	綠	凝	灰	岩	8.7	6.4	3.8	337	
220	A5第7層	1/3	欠	損	安	山	岩	(11.9)	(9.3)	(5.2)	(726)		
221	B4	完	形	砂	岩	10.7	4.5	2.5	172				
222	B12第7層	1/2	欠	損	濃	飛	流	紋	岩	(9.1)	(7.1)	(5.1)	(467)
223	B13第7層	完	形	砂	岩	13.0	5.0	3.8	393				
224	A16	完	形	飛	驕	片	麻	岩	12.7	6.0	4.2	426	
225	B14第7層	完	形	砂	岩	8.7	3.0	3.0	102				
226	B5	完	形	凝	灰	岩	9.1	4.6	2.2	127			
227	B7	完	形	輝	綠	凝	灰	岩	14.8	14.2	4.7	1240	
228	A5	完	形	砂	岩	10.3	4.9	3.1	212				
229	B4第7層	完	形	安	山	岩	10.0	7.3	3.5	382			
230	B23第7層	完	形	砂	岩	10.7	6.5	3.9	355				
231	C11第7層	完	形	砂	岩	13.9	6.5	4.1	549				
232	B5	一	部	欠	損	砂	岩	14.0	(6.3)	3.6	(459)		
233	B4	完	形	凝	灰	質	流	紋	岩	19.6	16.7	5.2	1260
234	B6	完	形	砂	岩	10.4	3.8	2.5	134				
235	B21	完	形	砂	岩	12.5	7.0	5.2	714				
236	A4	完	形	砂	岩	12.7	10.0	5.1	980				
237	C5	完	形	チ	ャ	ー	ト	11.2	8.5	5.2	595		
238	A17	完	形	安	山	岩	12.7	6.5	3.8	454			
239	A21	完	形	砂	岩	11.6	9.5	5.6	883				
240	B16	完	形	安	山	岩	9.0	4.3	2.7	164			
241	A21	完	形	砂	岩	11.1	7.6	4.2	385				
242	B21	完	形	砂	岩	9.9	5.9	3.8	330	同9			
243	C15	完	形	安	山	岩	13.2	5.7	4.0	375			
244	B13	完	形	安	山	岩	11.0	4.0	2.7	194			
245	B12	完	形	砂	岩	9.7	4.2	3.7	226				
246	A5第7層	完	形	砂	岩	9.4	8.9	3.5	454				
247	C3	完	形	多	孔	質	安	山	岩	9.0	6.3	3.9	277
248	B2	完	形	砂	岩	16.9	7.3	4.8	840	同11			
249	B14第7層	完	形	輝	綠	凝	灰	岩	10.7	8.6	6.1	795	
250	A4	完	形	砂	岩	11.9	9.2	4.6	688				
251	B8	完	形	閃	綠	岩	11.4	6.6	2.8	329			
252	C15	完	形	砂	岩	8.6	8.0	2.4	203				
253	B6	完	形	砂	岩	11.8	6.2	3.5	304				
254	B6	完	形	凝	灰	岩	15.8	7.6	4.0	375			
255	C7	完	形	安	山	岩	8.5	6.4	2.9	335			
256	C4第7層下部	完	形	砂	岩	12.1	10.1	3.0	436				
257	B11	完	形	安	山	岩	10.8	9.8	5.1	778			
258	B6	完	形	安	山	岩	15.9	7.8	4.2	579			
259	B19	1/3	欠	損	砂	岩	(13.4)	(7.6)	3.8	(496)			
260	B4	完	形	砂	岩	10.8	4.5	3.0	196				
261	A14第7層	1/3	欠	損	砂	岩	14.2	(7.4)	3.6	(434)			
262	表採	完	形	砂	岩	10.7	5.1	3.5	268				
263	B19	完	形	閃	綠	岩	11.8	7.0	5.9	593			
264	C5	完	形	飛	驕	片	麻	岩	12.4	6.3	2.9	363	
265	表採	完	形	濃	飛	流	紋	岩	10.8	10.6	5.7	681	
266	B4	完	形	砂	岩	7.3	5.4	4.1	194				

267	B19	完	形	砂岩	11.7	11.0	6.2	936
268	B13第7層	1/3	欠損	安山岩	(10.2)	5.6	3.4	(350)
269	A5第7層	完	形	砂岩	10.5	6.9	5.7	436
270	C15第7層	完	形	砂岩	14.7	13.6	4.3	1340
271	C14第7層	完	形	頁岩	11.1	9.9	3.7	489
272	B4	完	形	飛驒片麻岩	9.1	7.3	2.6	203
273	B12第3層	完	形	砂岩	9.7	5.7	3.2	254
274	A21	完	形	輝綠凝灰岩	11.8	10.9	5.9	1120
275	A22第7層	完	形	安山岩	12.5	6.7	3.3	393
276	B20	完	形	多孔質安山岩	14.0	7.6	5.1	739
277	C15第7層	一部	欠損	砂岩	(12.7)	8.8	5.3	(688)
278	B21	一部	欠損	安山岩	(11.7)	8.6	4.8	(548)
279	A21	完	形	砂岩	12.7	9.8	5.3	1020
280	C23第7層	完	形	砂岩	10.3	9.5	4.3	557
281	A18	完	形	砂岩	12.3	7.0	3.5	381
282	A4	1/2	欠損	砂岩	(13.0)	(6.9)	(4.6)	(518)
283	A12第7層	完	形	砂岩	7.0	6.3	3.2	194
284	A4	完	形	砂岩	10.5	5.1	4.0	301
285	表採	完	形	頁岩	13.0	6.6	4.0	418
286	B23	完	形	砂岩	12.5	4.7	2.9	230
287	A13	完	形	安山岩	9.1	6.0	3.3	255
288	C7	完	形	砂岩	12.0	6.5	3.6	439
289	C12	完	形	砂岩	10.9	5.7	2.8	254
290	B8	完	形	濃飛流紋岩	17.4	10.5	3.9	991
291	B7	完	形	多孔質安山岩	9.8	8.2	4.1	512
292	表採	完	形	砂岩	13.0	10.9	4.1	717
293	A13	完	形	砂岩	9.0	8.3	3.2	373
294	C15	完	形	砂岩	8.8	7.3	3.9	273
295	B4第7層	完	形	輝綠凝灰岩	11.4	7.3	3.3	497
296	B5	完	形	砂岩	13.8	11.5	5.1	1080
297	C18	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(9.4)	(6.8)	2.7	(193)
298	B5	完	形	濃飛流紋岩	8.1	6.9	2.2	214
299	C5第7層	完	形	凝灰岩	15.9	10.0	7.2	1140
300	C22第7層	完	形	飛驒片麻岩	18.1	9.7	7.5	1160
301	B5	完	形	安山岩	12.8	6.8	3.2	387
302	C5	完	形	安山岩	15.0	5.7	4.2	420
303	C4	完	形	濃飛流紋岩	13.4	8.0	5.8	763
304	A19第7層	完	形	頁岩	8.6	3.4	2.2	113
305	B4第7層	1/3	欠損	頁岩	(8.0)	4.6	2.8	(112)
306	C5	1/2	欠損	安山岩	(11.2)	9.0	4.9	(637)
307	A14	完	形	濃飛流紋岩	13.5	11.4	5.2	1080
308	B5	完	形	安山岩	7.8	4.9	2.1	149
309	A21	完	形	飛驒片麻岩	9.9	4.2	3.6	211
310	C4	完	形	飛驒片麻岩	14.3	6.2	4.4	610
311	C16	完	形	砂岩	9.7	4.1	3.9	223
312	B5	完	形	頁岩	15.9	8.8	4.8	938
313	A4第7層	完	形	砂岩	18.4	10.9	4.4	1120
314	C12	完	形	濃飛流紋岩	9.8	5.9	2.5	230
315	B4	完	形	濃飛流紋岩	10.1	8.3	4.5	463
316	表採	完	形	砂岩	11.0	10.0	7.6	1046
317	C15	完	形	砂岩	12.9	10.5	5.5	1064
318	A12	完	形	砂岩	15.7	9.0	5.3	951
319	C5	完	形	安山岩	23.2	13.0	6.7	1880

同2

320	B 12第7層	完	形	濃飛流紋岩	12.4	8.5	8.6	1320	
321	表採	完	形	流紋岩	9.2	6.5	3.8	373	
322	B 4	完	形	頁岩	19.5	6.2	4.4	763	
323	C 13	完	形	凝灰岩	13.4	11.4	3.2	583	
324	B 3	完	形	濃飛流紋岩	13.6	8.4	2.5	767	
325	表採	完	形	安山岩	13.6	6.8	5.6	719	同12
326	表採	完	形	頁岩	17.2	13.0	3.5	1008	
327	B 18	完	形	輝綠凝灰岩	16.4	10.5	4.4	1005	
328	B 14	完	形	砂岩	13.7	10.7	4.0	534	
329	C 5第7層下部	完	形	安山岩	7.5	5.3	2.3	115	
330	C 3	完	形	頁岩	7.0	6.7	2.9	172	同6
331	B 4	1/3	欠損	輝綠凝灰岩	(6.2)	5.6	(3.8)	(187)	
332	C 19	完	形	砂岩	21.8	11.2	6.1	1600	
333	A 4	完	形	凝灰岩	10.7	5.8	3.5	279	
334	C 20第4層	完	形	濃飛流紋岩	9.3	6.1	5.0	397	
335	C 18	完	形	多孔質安山岩	8.5	8.0	5.3	516	
336	C 22	完	形	砂岩	13.3	5.3	5.4	488	
337	A 14	1/3	欠損	濃飛流紋岩	(11.4)	13.6	7.6	(1380)	
338	C 11	完	形	砂岩	16.0	9.9	7.2	1520	
339	C 5	完	形	安山岩	14.5	8.1	3.4	573	
340	C 19	完	形	砂岩	8.9	7.7	2.9	247	
341	表採	完	形	砂岩	17.2	12.5	5.8	1560	
342	C 6	完	形	飛驒片麻岩	21.5	13.5	4.9	1800	
343	A 6	完	形	安山岩	22.1	5.9	5.2	910	
344	C 5	完	形	砂岩	13.0	5.6	2.6	246	
345	B 6	完	形	砂岩	9.0	7.1	2.2	180	
346	B 5	完	形	頁岩	8.6	5.0	2.3	134	
347	C 8	一部	欠損	砂岩	(6.6)	3.2	3.1	(92)	
348	C 15	完	形	頁岩	12.7	5.8	2.7	335	
349	A 5	完	形	砂岩	13.4	4.9	4.2	367	
350	A 4	完	形	頁岩	10.1	4.1	3.5	190	
351	A 20	完	形	濃飛流紋岩	10.1	5.4	3.0	255	
352	C 6	完	形	頁岩	15.6	3.8	4.3	389	
353	C 6	完	形	砂岩	8.3	6.2	4.0	289	
354	C 13	完	形	飛驒片麻岩	10.7	4.2	2.6	215	
355	A 9	完	形	砂岩	12.3	5.9	4.5	395	
356	C 6	完	形	凝灰岩	9.3	5.0	2.1	154	
357	C 11	完	形	凝灰岩	12.1	7.6	3.3	400	
358	B 20	完	形	砂岩	9.0	8.6	2.5	277	
359	C 9	完	形	砂岩	9.6	6.8	2.0	173	
360	B 14	完	形	飛驒片麻岩	8.2	7.5	5.2	304	
361	B 4	完	形	多孔質安山岩	11.0	9.8	4.3	661	
362	A 5	完	形	多孔質安山岩	8.0	7.8	5.0	435	
363	A 13	完	形	砂岩	10.3	7.1	4.0	311	
364	C 18	1/3	欠損	安山岩	(11.8)	12.6	6.1	(1200)	
365	C 5	完	形	安山岩	14.7	7.5	6.0	750	
366	A 7	完	形	砂岩	9.9	8.3	2.6	334	
367	B 4	1/3	欠損	砂岩	(8.3)	(8.0)	4.3	(280)	
368	B 12	完	形	砂岩	7.7	4.7	3.4	142	
369	B 19	完	形	凝灰質流紋岩	12.2	8.7	6.3	858	
370	C 5	1/2	欠損	頁岩	(7.2)	(3.3)	(3.2)	(99)	
371	A 14第7層	一部	欠損	濃飛流紋岩	11.5	5.9	(3.3)	(258)	
372	表採	1/3	欠損	安山岩	(5.9)	6.2	4.0	(223)	

373	C14第7層	完	形	安山岩	16.3	9.8	7.4	1500	同10
374	B2	完	形	頁岩	11.2	5.6	1.6	160	
375	B13	完	形	石英斑岩	12.9	11.1	4.5	980	同4
376	C18	完	形	閃緑岩	10.7	8.5	3.7	308	
377	SK-1	1/3	欠損	砂岩	(11.3)	4.9	3.5	(325)	
378	SK-1	1/3	欠損	安山岩	(7.6)	7.1	2.8	(156)	
379	C13第7層	完	形	濃飛流紋岩	12.0	90.1	70.8	1240	
380	表採	完	形	チャート	6.8	5.7	4.3	175	

第74表 うづか地点敲石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	完	形	砂岩	12.5	4.5	3.4	308
2	G4II	完	形	砂岩	13.8	8.4	5.4	909
3	表採	完	形	飛驒片麻岩	14.4	11.8	4.2	1340
4	N8	完	形	花崗岩	13.2	6.9	5.7	781
5	N7	一部欠損	形	砂岩	11.0	4.6	3.0	(233)
6	W11	1/2	欠損	輝緑凝灰岩	(8.5)	(8.6)	3.4	(381)
7	R11	完	形	砂岩	11.9	10.1	4.5	701
8	表採	一部欠損	形	濃飛流紋岩	11.6	(27.1)	3.6	(1520)
9	P7	1/2	欠損	砂岩	(5.6)	(5.5)	(3.3)	(155)
10	N7	完	形	安山岩	8.9	7.7	3.5	370

第75表 センター地点敲石一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	A8	完	形	安山岩	13.8	8.5	3.3	572	
2	C7	完	形	安山岩	9.9	4.9	2.8	195	
3	A9	完	形	安山岩	17.4	6.5	4.6	594	
4	A8	1/2	欠損	砂岩	(7.4)	7.0	3.7	(334)	
5	A8	完	形	安山岩	13.3	8.6	4.4	711	
6	C7	完	形	砂岩	6.8	7.9	3.4	238	
7	B12	完	形	安山岩	9.1	8.4	6.5	1120	第89図13
8	A10	一部欠損	形	砂岩	(8.1)	9.0	2.7	(281)	
9	C7	完	形	安山岩	11.0	8.1	4.1	557	
10	表採	完	形	安山岩	13.1	6.7	4.7	529	
11	C7	完	形	砂岩	11.8	11.1	4.1	697	
12	A9	1/3	欠損	砂岩	8.9	(4.5)	2.3	(116)	
13	B8	完	形	砂岩	6.3	6.4	2.8	157	
14	D10	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(8.1)	(8.9)	(5.7)	(393)	
15	A12	1/3	欠損	安山岩	(6.3)	6.3	4.1	(260)	
16	C12	完	形	安山岩	8.1	6.9	2.3	207	
17	表採	完	形	砂岩	11.9	8.8	5.9	836	
18	C8	一部欠損	形	頁岩	(8.0)	(5.5)	2.4	(165)	
19	A9	完	形	安山岩	14.7	12.0	5.3	1140	
20	A9	完	形	安山岩	12.2	8.2	4.2	643	
21	B13	完	形	安山岩	9.0	17.5	3.1	855	同7
22	C7	完	形	砂岩	10.1	13.3	3.8	530	
23	C11	完	形	頁岩	6.2	9.9	2.8	238	

第76表 前田地点上層皿状凹石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	L	W	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	a	重さ	挿図番号
1	C1	完形	安山岩	8.7	6.3	4.6	3.0	4.1	298	第88図3
2	表採	完形	安山岩	10.3	9.4	5.8	5.1	5.5	713	同4
3	B14第7層	完形	多孔質安山岩	8.9	7.2	3.1	1.3	4.6	238	同2
4	B6	一部欠損	多孔質安山岩	6.5	(6.2)	3.1	2.5	4.8	(125)	同1
5	C5	½欠損	安山岩	(8.1)	(4.6)	(3.6)	(3.4)	—	(189)	

第77表 宮ノ前地点有縁石皿一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	31	3層	¼欠損	多孔質安山岩	(25.5)	19.1	7.4	(5.54)	第90図3

第78表 前田地点上層有縁石皿一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	完形	多孔質安山岩	46.0	43.0	14.8	38.64	第90図4
2	C18第7層	⅔欠損	多孔質安山岩	(11.5)	(18.9)	(4.6)	(1.26)	
3	表採	⅔欠損	多孔質安山岩	(10.0)	(17.6)	(6.9)	(1.88)	
4	B5	破片	安山岩	(10.2)	(10.1)	(6.8)	(1.44)	
5	B21	½欠損	多孔質安山岩	(19.4)	(27.1)	8.5	(6.46)	
6	C15第7層	⅔欠損	多孔質安山岩	(20.1)	(19.8)	(7.0)	(4.48)	
7	B19	½欠損	飛驒片麻岩	(15.7)	(27.2)	(4.6)	(3.28)	
8	C19第7層	⅓欠損	多孔質安山岩	(27.3)	(19.6)	(7.3)	(3.90)	
9	B9	⅔欠損	安山岩	(19.2)	(14.1)	(9.3)	(4.14)	
10	C21第7層	⅔欠損	多孔質安山岩	(16.8)	(16.9)	(8.6)	(3.02)	
11	C15第7層	⅔欠損	濃飛流紋岩	(23.3)	(13.5)	(8.6)	(4.48)	

第79表 うづか地点有縁石皿一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	O6	⅓欠損	多孔質安山岩	21.5	(17.9)	4.6	(1.92)	
2	N7II	½欠損	多孔質安山岩	(18.9)	25.2	6.7	(5.00)	
3	表採	完形	多孔質安山岩	24.8	28.7	7.8	7.22	第90図2

第80表 センター地点有縁石皿一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C14	完形	砂岩	42.1	20.0	9.8	12.26	第90図1
2	C14	完形	多孔質安山岩	22.1	14.6	6.6	2.96	
3	C10	⅔欠損	多孔質安山岩	(11.6)	(17.2)	(6.8)	(1.42)	

第81表 宮ノ前地点台石一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	7	4層	⅓欠損	砂岩	(15.5)	14.9	5.4	(1.92)	

第82表 前田地点上層台石一覽表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	泉付近集石	1/4 欠損	安山岩	27.0	(21.9)	9.0	(7.56)	第91図1
2	泉付近集石	完形	安山岩	34.1	21.2	8.7	8.18	
3	A11	完形	多孔質安山岩	16.1	14.0	3.5	1.28	
4	C5第7層	1/4 欠損	砂岩	(20.6)	(12.2)	6.3	(2.24)	
5	C11	1/2 欠損	砂岩	(15.5)	(15.1)	(7.0)	(2.72)	
6	C21	2/3 欠損	砂岩	(19.7)	(17.6)	(6.7)	(2.64)	
7	A13	1/2 欠損	砂岩	(19.6)	(16.5)	(6.9)	(2.88)	
8	A9	1/3 欠損	安山岩	(16.6)	(7.7)	4.7	(0.92)	
9	B18第7層	完形	多孔質安山岩	16.9	16.0	4.1	1.82	
10	B19	完形	飛驒片麻岩	19.7	16.2	4.9	2.80	
11	A6	1/3 欠損	砂岩	(18.3)	(12.2)	3.8	(1.30)	
12	C18第7層	2/3 欠損	濃飛流紋岩	(21.1)	(14.8)	(6.3)	(2.72)	
13	C14	2/3 欠損	飛驒片麻岩	(24.9)	(15.7)	(5.7)	(3.42)	
14	B19第7層	破片	閃緑岩	(11.6)	(7.7)	(3.4)	(0.50)	
15	B14第7層	完形	砂岩	28.1	16.6	9.3	6.12	
16	C13第7層	1/3 欠損	砂岩	(22.8)	(14.3)	8.6	(4.18)	
17	B21第7層	1/3 欠損	砂岩	(17.8)	15.0	7.4	(2.74)	
18	B21	2/3 欠損	安山岩	(26.9)	(19.8)	(8.0)	(3.38)	
19	C20	完形	凝灰質流紋岩	18.8	15.3	4.2	1.78	
20	B21	2/3 欠損	安山岩	(12.0)	(12.7)	(6.7)	(1.30)	
21	A5	1/2 欠損	砂岩	(19.1)	(15.4)	6.2	(2.34)	
22	C4第7層	2/3 欠損	砂岩	(13.3)	(14.7)	(6.5)	(1.60)	
23	C4	2/3 欠損	砂岩	(14.5)	(13.3)	(7.8)	(1.80)	
24	C15第7層	2/3 欠損	安山岩	(13.3)	(11.1)	(9.0)	(1.86)	
25	A19	2/3 欠損	安山岩	(14.0)	(12.0)	(8.4)	(1.78)	
26	C20第7層	完形	砂岩	18.0	13.7	4.7	1.62	
27	A15	2/3 欠損	安山岩	(15.9)	(13.6)	(4.1)	(1.20)	
28	C14	完形	濃飛流紋岩	18.7	17.7	5.0	2.74	
29	A12第7層	2/3 欠損	砂岩	(12.0)	(10.2)	(7.7)	(1.06)	
30	B21	1/3 欠損	砂岩	(23.4)	(15.1)	12.8	(6.00)	
31	A5第7層下部	1/3 欠損	濃飛流紋岩	(17.0)	(14.5)	5.5	(2.10)	
32	C22	1/3 欠損	安山岩	(11.7)	10.6	6.5	(1.16)	
33	C14	2/3 欠損	砂岩	(13.2)	(11.4)	(5.2)	(1.14)	
34	C14	1/3 欠損	砂岩	(15.0)	10.6	3.5	(0.84)	
35	C5	完形	砂岩	15.7	10.2	5.1	1.14	
36	C5	破片	砂岩	(15.1)	(10.2)	(3.5)	(0.50)	
37	C14第7層	1/3 欠損	飛驒片麻岩	(21.5)	14.1	4.7	(2.38)	
38	C20	1/3 欠損	砂岩	24.9	14.1	(5.7)	(2.96)	
39	B13	一部欠損	砂岩	27.7	18.9	10.0	(6.00)	同4
40	C24第7層	1/3 欠損	砂岩	(34.5)	(24.6)	11.3	(10.06)	
41	C18	完形	濃飛流紋岩	20.9	15.3	5.4	2.62	
42	C14第7層下部	破片	安山岩	(11.5)	(7.0)	(5.0)	(0.48)	
43	C21第7層	一部欠損	安山岩	(20.6)	6.5	5.4	(1.20)	
44	C9	1/3 欠損	安山岩	(19.1)	20.2	7.8	(4.50)	
45	表採	一部欠損	砂岩	28.5	19.3	6.3	(4.08)	同5
46	C15	完形	砂岩	19.5	15.6	8.1	4.00	
47	B19	一部欠損	濃飛流紋岩	21.0	12.7	10.9	(4.10)	
48	A15	完形	濃飛流紋岩	18.7	11.3	6.6	2.00	
49	B17	2/3 欠損	多孔質安山岩	(19.3)	(16.8)	(8.8)	(3.14)	
50	B14	1/2 欠損	多孔質安山岩	25.4	(8.7)	6.7	(1.90)	



51	C20第7層	完	形	砂岩	23.2	16.3	5.9	3.46	
52	C5	完	形	濃飛流紋岩	19.6	13.3	4.3	1.74	
53	B21第7層	完	形	飛驒片麻岩	20.2	10.3	3.6	1.26	
54	A19	1/2	欠損	砂岩	(17.2)	(14.9)	5.8	(1.72)	
55	表採	1/3	欠損	安山岩	(18.0)	9.2	4.6	(1.24)	
56	C15	完	形	飛驒片麻岩	18.8	10.8	6.0	1.58	
57	A21	完	形	飛驒片麻岩	28.5	22.1	6.4	6.60	
58	C4第7層下部	完	形	砂岩	18.8	15.6	3.6	1.66	
59	C14	破	片	砂岩	(14.6)	(11.5)	(5.4)	(1.10)	
60	C20	1/3	欠損	花崗岩	(23.3)	(19.2)	5.6	(3.58)	
61	表採	完	形	多孔質安山岩	18.5	15.6	4.8	2.26	
62	A21	1/3	欠損	飛驒片麻岩	(19.4)	16.0	7.7	(3.68)	
63	B19	完	形	花崗閃綠岩	29.0	23.3	5.7	5.92	
64	A24	完	形	石英斑岩	18.3	15.6	4.7	2.10	
65	B4	完	形	砂岩	17.0	15.2	4.5	1.76	
66	C18	2/3	欠損	石英斑岩	(22.8)	(12.0)	(5.7)	(2.40)	
67	A14第7層	完	形	砂岩	19.5	16.1	5.0	2.40	同2
68	A7	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(17.5)	(14.5)	5.9	(2.96)	
69	B14	一部	欠損	安山岩	(22.1)	22.2	9.8	(6.58)	
70	C1	2/3	欠損	砂岩	(17.9)	(16.8)	(9.7)	(4.26)	
71	C24	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(27.5)	12.2	(11.6)	(4.82)	
72	A23	一部	欠損	濃飛流紋岩	20.6	18.8	6.6	(3.94)	同3
73	C21	完	形	濃飛流紋岩	28.2	26.4	6.8	7.32	
74	B19	完	形	凝灰質流紋岩	18.5	16.7	6.1	3.58	
75	A19	完	形	多孔質安山岩	20.6	19.6	5.3	3.16	
76	B19	完	形	濃飛流紋岩	28.3	21.9	5.3	5.26	
77	C6	完	形	安山岩	18.5	16.9	4.9	2.48	
78	C20第7層	一部	欠損	多孔質安山岩	23.6	16.2	7.3	(4.64)	
79	A7	1/3	欠損	濃飛流紋岩	(19.1)	(14.3)	6.2	(3.26)	
80	B5	一部	欠損	砂岩	(16.5)	(14.5)	4.0	(1.54)	
81	B21	一部	欠損	多孔質安山岩	26.9	26.5	8.0	(8.04)	
82	B18	一部	欠損	石英斑岩	21.2	(20.5)	6.7	(4.44)	
83	B19	完	形	石英斑岩	35.2	26.8	9.2	12.36	
84	B13	完	形	飛驒片麻岩	26.8	20.6	6.2	5.46	
85	C21	破	片	飛驒片麻岩	(16.7)	(16.1)	(8.8)	(3.68)	
86	B4	完	形	花崗閃綠岩	19.3	16.7	5.9	3.54	
87	表採	完	形	多孔質安山岩	21.2	19.9	6.7	4.60	
88	A20	2/3	欠損	多孔質安山岩	(18.1)	(14.6)	(7.0)	(2.46)	
89	B14	2/3	欠損	砂岩	(24.7)	(14.3)	(10.9)	(6.30)	
90	C12	1/2	欠損	砂岩	(17.3)	(11.2)	8.2	(2.14)	
91	泉付近集石	1/2	欠損	アプライト	(31.8)	(22.2)	(7.6)	(5.78)	
92	C5	完	形	濃飛流紋岩	38.2	25.8	8.0	12.22	
93	C10第7層	完	形	多孔質安山岩	31.2	18.5	8.3	7.18	
94	C19第7層	1/2	欠損	多孔質安山岩	(17.5)	(10.8)	(6.6)	(1.78)	
95	C14	一部	欠損	頁岩	17.2	(16.0)	6.4	(3.40)	
96	A19	完	形	安山岩	34.9	9.6	8.2	4.26	同6
97	C15	1/2	欠損	飛驒片麻岩	(24.5)	(23.0)	(6.7)	(5.98)	
98	B13	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(31.8)	(20.1)	9.9	(10.02)	
99	B12	一部	欠損	砂岩	(21.0)	15.0	8.9	(3.68)	
100	B13	1/2	欠損	濃飛流紋岩	(26.0)	(14.7)	(7.6)	(3.76)	
101	A11	1/2	欠損	砂岩	(25.2)	(15.3)	(7.4)	(3.08)	
102	B18	完	形	石英斑岩	36.8	24.2	11.1	14.42	
103	A18	完	形	石英斑岩	25.4	19.1	6.0	5.04	

104	B 19	$\frac{2}{3}$	欠	損	飛驒片麻岩	(27.7)	(12.9)	(7.6)	(4.26)
105	B 19	$\frac{2}{3}$	欠	損	飛驒片麻岩	(21.8)	(16.0)	(8.8)	(5.02)
106	A 18	完		形	石 英 斑 岩	31.2	22.7	6.8	7.36
107	B 18	一	部	欠	安 山 岩	(25.2)	22.8	11.9	(8.62)
108	B 11	完		形	濃飛流紋岩	20.3	16.0	7.4	3.00
109	A 4第7層	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂 岩	(14.9)	(8.5)	(6.2)	(1.08)
110	A 19第7層	$\frac{1}{3}$	欠	損	砂 岩	(24.5)	(10.4)	6.2	(2.96)
111	A 5第7層	$\frac{2}{3}$	欠	損	安 山 岩	(17.0)	(10.9)	(10.0)	(2.42)
112	表採	$\frac{1}{2}$	欠	損	濃飛流紋岩	(12.8)	(15.5)	(6.0)	(2.76)
113	C 11	完		形	砂 岩	24.3	17.5	13.3	7.60
114	B 4	完		形	凝灰質流紋岩	23.0	12.8	5.3	2.10
115	表採	一	部	欠	砂 岩	(22.8)	21.2	4.5	(3.24)
116	B 19	完		形	閃 綠 岩	43.1	26.9	8.9	15.52
117	表採	完		形	砂 岩	33.0	21.5	13.8	13.44
118	C 14	$\frac{1}{2}$	欠	損	濃飛流紋岩	(19.6)	(13.4)	(7.9)	(2.44)
119	C 15	完		形	濃飛流紋岩	22.3	17.5	6.1	3.68
120	表採	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂 岩	(25.7)	(13.5)	(8.2)	(3.98)
121	A 18	完		形	安 山 岩	33.4	26.0	14.9	14.98
122	B 13	完		形	安 山 岩	17.7	16.5	6.2	3.04
123	C 15	$\frac{1}{3}$	欠	損	濃飛流紋岩	34.0	(26.8)	10.2	(13.08)
124	C 19	完		形	安 山 岩	20.5	22.0	6.7	4.88
125	B 21	完		形	濃飛流紋岩	36.8	24.1	8.1	11.00
126	C 15	一	部	欠	花崗閃綠岩	(25.2)	16.1	8.3	(5.82)
127	B 19	完		形	飛驒片麻岩	30.8	27.2	7.6	9.80
128	B 5	破		片	砂 岩	(17.1)	(11.0)	(8.2)	(2.54)
129	A 19	完		形	安 山 岩	16.2	12.9	6.4	1.76
130	C 11第7層	破		片	濃飛流紋岩	(17.1)	(9.2)	(8.2)	(2.44)
131	B 13	完		形	飛驒片麻岩	24.4	9.6	6.1	2.20
132	S K - 1	破		片	砂 岩	(13.8)	(10.9)	(7.3)	(1.20)
133	C 4第7層	$\frac{2}{3}$	欠	損	石 英 斑 岩	(15.7)	(11.2)	(7.3)	(1.58)
134	A 4	完		形	飛驒片麻岩	22.6	14.2	8.2	3.82
135	B 23	完		形	安 山 岩	26.8	13.8	6.4	3.30
136	C 14	$\frac{1}{3}$	欠	損	濃飛流紋岩	(26.9)	(21.5)	7.3	(5.44)
137	C 15第7層	完		形	花崗閃綠岩	34.3	28.0	9.3	13.18
138	C 19第7層	破		片	安 山 岩	(15.0)	(9.8)	(6.3)	(1.04)
139	B 8	$\frac{1}{2}$	欠	損	安 山 岩	(15.5)	(15.7)	11.2	(4.62)
140	B 20	完		形	凝灰質流紋岩	35.1	18.0	13.1	9.82
141	B 13	完		形	飛驒片麻岩	25.8	21.4	15.0	11.98
142	C 15	$\frac{1}{2}$	欠	損	濃飛流紋岩	(26.5)	(25.5)	8.9	(9.60)
143	B 14	完		形	濃飛流紋岩	25.1	23.1	6.0	5.30
144	B 13	$\frac{1}{3}$	欠	損	安 山 岩	23.1	(14.7)	7.3	(3.30)
145	C 14	$\frac{1}{3}$	欠	損	濃飛流紋岩	(29.9)	(26.3)	(10.5)	(8.44)
146	A 18	完		形	濃飛流紋岩	28.5	26.6	10.9	12.60
147	C 14	$\frac{1}{2}$	欠	損	濃飛流紋岩	(24.7)	(17.1)	(6.6)	(4.94)
148	C 6	破		片	砂 岩	(10.4)	(8.6)	(8.1)	(0.90)
149	B 15第7層	$\frac{2}{3}$	欠	損	砂 岩	(14.9)	(13.2)	10.0	(2.66)
150	B 5	$\frac{1}{2}$	欠	損	濃飛流紋岩	(13.2)	(11.6)	5.7	(1.46)
151	A 5	$\frac{2}{3}$	欠	損	濃飛流紋岩	(17.3)	(15.2)	(9.3)	(3.62)
152	A 21	$\frac{1}{2}$	欠	損	濃飛流紋岩	(15.3)	(12.8)	(8.4)	(2.12)
153	B 4	完		形	安 山 岩	30.1	12.3	6.0	3.76
154	A 18	完		形	安 山 岩	45.5	18.0	14.3	(18.90) 同7
155	B 20	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂 岩	(21.2)	(10.5)	(7.2)	(2.46)
156	C 5	$\frac{1}{2}$	欠	損	砂 岩	15.2	(12.1)	3.5	(1.00)

157	A13第7層	完	形	濃飛流紋岩	18.1	9.5	6.7	1.96
158	C18	$\frac{2}{3}$	欠損	濃飛流紋岩	(18.1)	(9.3)	(9.2)	(1.86)
159	A21	完	形	飛驒片麻岩	16.6	12.5	9.9	4.16
160	C17第7層	$\frac{1}{3}$	欠損	花崗岩	(36.8)	29.7	9.9	(19.25)
161	C23第7層	完	形	濃飛流紋岩	18.3	18.3	4.9	2.54
162	C14	$\frac{1}{2}$	欠損	安山岩	(15.1)	(14.7)	(9.9)	(3.38)
163	C5	$\frac{1}{2}$	欠損	アプライト	(31.5)	(23.6)	(8.3)	(7.54)
164	A21	完	形	濃飛流紋岩	36.8	22.2	12.8	19.15
165	B19	完	形	飛驒片麻岩	24.5	19.0	6.4	4.46
166	A19	完	形	濃飛流紋岩	25.6	16.7	9.0	4.92
167	A11	$\frac{1}{2}$	欠損	砂岩	27.3	(16.1)	8.4	(5.10)
168	B20	完	形	濃飛流紋岩	40.2	34.4	10.9	22.24
169	B19	$\frac{1}{3}$	欠損	多孔質安山岩	20.8	(11.0)	6.8	(1.92)
170	A22	完	形	濃飛流紋岩	24.9	16.8	7.3	4.28
171	A22	$\frac{1}{3}$	欠損	砂岩	22.8	(19.6)	5.9	(4.04)
172	C23第7層	完	形	石英斑岩	22.4	16.3	6.7	3.74
173	B21	完	形	濃飛流紋岩	23.2	15.8	4.2	2.46
174	B18	完	形	濃飛流紋岩	18.3	12.6	7.1	2.48
175	C15	完	形	閃緑岩	18.6	16.1	5.8	2.60
176	C16第7層	完	形	濃飛流紋岩	24.8	18.3	6.3	3.78
177	C4第7層	破	片	濃飛流紋岩	(20.0)	(13.1)	(9.8)	(3.42)
178	B4	一部	欠損	濃飛流紋岩	25.2	(19.1)	7.2	(4.80)
179	A9	$\frac{1}{3}$	欠損	安山岩	(37.2)	22.9	5.7	(8.28)
180	A19	完	形	飛驒片麻岩	36.8	26.5	9.0	11.22
181	C21	完	形	安山岩	45.8	23.7	12.4	19.40
182	泉付近集石	完	形	多孔質安山岩	32.0	29.7	10.0	12.62
183	泉付近集石	完	形	濃飛流紋岩	23.6	15.8	10.4	5.76
184	B20	完	形	濃飛流紋岩	39.2	20.2	13.7	17.90
185	B13	完	形	安山岩	64.7	21.2	15.8	37.64
186	B19	完	形	多孔質安山岩	41.9	37.0	10.2	21.12

第83表 うづか地点台石一覽表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	完形	飛驒片麻岩	18.8	19.2	5.4	2.98	
2	表採	$\frac{1}{2}$ 欠損	濃飛流紋岩	(17.8)	16.8	6.8	(4.02)	
3	表採	$\frac{1}{2}$ 欠損	飛驒片麻岩	(14.6)	(21.3)	7.2	(3.60)	

第84表 センター地点台石一覽表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C12	一部欠損	砂岩	(21.5)	18.1	5.7	(3.38)	
2	C10	完形	砂岩	25.1	23.5	7.9	7.12	
3	C8	$\frac{2}{3}$ 欠損	砂岩	(18.6)	(8.3)	(6.6)	(1.46)	
4	表採	一部欠損	濃飛流紋岩	(25.3)	23.0	7.3	(7.14)	
5	A13	$\frac{1}{3}$ 欠損	安山岩	(21.5)	(11.5)	(5.0)	(1.94)	
6	B10	破片	濃飛流紋岩	(10.6)	(8.5)	(7.0)	(0.86)	

第85表 宮ノ前地点石鏃一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	12	4層	I	完形	下呂石	2.6	1.9	0.5	1.8	第92図26
2	22	3層	I	完形	下呂石	2.0	1.3	0.2	0.4	同3
3	4	3層	I	先端部欠損	下呂石	(3.0)	1.1	0.4	(1.1)	同23
4	34	3層	I	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.0	0.5	(0.8)	
5	31	3層	I	先端部欠損	下呂石	(2.9)	1.1	0.4	(1.2)	
6	37	3・4層	I	片脚部欠損	下呂石	(1.5)	(1.0)	0.3	(0.5)	
7	27	4層	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(3.0)	(2.0)	0.7	(4.0)	
8	32	3層	I	完形	チャート	2.1	1.6	0.6	2.2	
9	5	3層	I	先端部欠損	チャート	(1.7)	1.5	0.3	(0.7)	
10	24	4層	I	先端部欠損	チャート	(1.5)	1.1	0.3	(0.4)	
11	26	4層	I	先端部欠損	チャート	(1.7)	1.6	0.5	(1.1)	同25
12	32	3層	I	先端部欠損	チャート	(1.9)	1.9	1.5	(0.4)	
13	12	4層	I	片脚部欠損	チャート	(2.0)	(1.4)	0.2	(0.4)	同24
14	31	3層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.1)	(1.3)	0.3	(0.8)	
15	51	3層	I	完形	黒曜石	1.7	1.0	0.2	0.4	
16	47	3層	I	片脚部欠損	黒曜石	(2.1)	(1.6)	0.3	(0.8)	
17	1	4層	II	先端部欠損	チャート	(2.8)	1.5	0.3	(1.3)	同33
18	46	3層	III	完形	下呂石	1.8	1.1	0.4	0.7	同37
19	38	3・4層	III	先端部欠損	下呂石	(3.3)	1.5	0.5	(1.9)	同41
20	2	3層	III	先端・基部欠損	流紋岩	(3.8)	(1.8)	0.6	(4.1)	
21	26	4層	IV	先端・基部欠損	チャート	(3.4)	1.2	0.4	(2.1)	同46
22	3	3層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(1.7)	(1.2)	0.4	(0.8)	
23	22・23拵	4層	I	脚部欠損	チャート	(2.1)	(1.1)	0.3	(0.5)	
24	12	3層	III	基部欠損	下呂石	(2.5)	1.0	0.3	(0.6)	
25	41	4層	I	片脚部欠損	下呂石	(2.3)	(1.1)	0.3	(0.5)	
26	32	3層	I	先端部欠損	黒曜石	(1.1)	1.3	0.3	(0.4)	
27	51	3層	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.5)	(1.6)	0.4	(1.3)	
28	6	3層	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(3.5)	(2.1)	0.7	(4.3)	
29	38	3・4層	I	片脚部欠損	下呂石	(2.6)	(1.3)	0.5	(1.0)	
30	12	3層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.4)	(1.0)	0.4	(1.2)	
31	4	3層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.6)	(1.6)	0.6	(1.9)	
32	6	3層	I	先端部欠損	チャート	(1.6)	1.8	0.5	(1.3)	
33	3	3層	III	完形	下呂石	2.0	1.7	0.7	2.9	
34	8	3層	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.2)	(1.5)	0.4	(1.3)	
35	4	3層	I	先端部欠損	下呂石	(2.2)	1.5	0.8	(2.1)	
36	6	3層	I	先端部欠損	珪質頁岩	(1.5)	1.3	0.3	(0.5)	
37	26	4層	III	片脚部欠損	チャート	2.5	(1.3)	0.5	(1.1)	
38	12	4層	I	片脚部欠損	チャート	(1.6)	(1.0)	0.2	(0.2)	
39	24	4層	I	脚部破片	チャート	(1.6)	(1.1)	(0.3)	(0.6)	
40	3	3層	—	基部欠損	下呂石	(2.1)	(1.3)	(0.5)	(1.0)	
41	5	4層	III	先端部欠損	玉髓	(2.3)	2.0	0.6	(2.0)	
42	4	4層	I	脚部欠損	下呂石	(1.5)	(0.9)	0.3	(0.4)	
43	24拵	4層	I	先端部欠損	チャート	(2.0)	1.3	0.3	(0.7)	
44	12	3層	III	基部欠損	下呂石	(1.5)	1.4	0.3	(0.6)	
45	51	3層	—	先端・基部欠損	下呂石	(1.7)	(1.4)	0.5	(0.9)	
46	32	3層	II	先端部欠損	チャート	(3.0)	2.3	0.7	(4.2)	
47	41	4層	I	脚部欠損	下呂石	(1.2)	(1.1)	0.3	(0.3)	
48	22	4層	III	先端部欠損	下呂石	(2.3)	1.3	0.5	(0.9)	
49	4	3層	I	脚部破片	下呂石	(2.2)	(1.2)	(0.3)	(0.6)	
50	7	3層	I	片脚部欠損	チャート	(1.1)	(0.9)	0.2	(0.3)	

51	22	3層	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.7)	(1.2)	0.4	(0.7)
52	13	4層	I	先端部欠損	チャート	(2.4)	2.0	0.5	(1.6)
53	22	4層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.0)	(1.1)	0.4	(0.7)
54	23	3層	II	先端部欠損	チャート	(2.3)	1.7	0.4	(2.0)
55	31	3層	III	完形	下呂石	2.1	1.4	0.6	1.2
56	24	4層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.2)	(0.9)	0.3	(0.5)
57	23	3層	III	茎部欠損	下呂石	(2.0)	1.1	0.3	(0.6)
58	24	4層	一	先端部破片	下呂石	(1.3)	(1.1)	(0.3)	(0.3)
59	31	3層	IV	完形	チャート	2.3	1.1	0.4	0.7
60	25	4層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.1)	(1.6)	0.5	(1.9)
61	24	4層	I	完形	チャート	2.4	1.6	0.5	1.1
62	1	3層	I	先端部欠損	チャート	(1.5)	1.2	0.3	(0.6)
63	22	4層	I	片脚部欠損	チャート	(1.9)	(1.5)	0.4	(0.9)
64	24	4層	III	先端・茎部欠損	下呂石	(2.0)	1.3	0.5	(1.0)
65	13	4層	I	脚部破片	チャート	(1.5)	(0.7)	(0.3)	(0.3)

第86表 前田地点上層石鏃一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C12第7層	I	完形	チャート	1.9	1.3	0.3	0.7	第92図10
2	A15	I	完形	チャート	1.5	1.4	0.3	0.7	同21
3	A17	I	完形	チャート	2.1	1.5	0.5	1.1	同11
4	B19第7層	I	完形	チャート	1.9	1.4	1.2	0.5	同9
5	A21	I	完形	珪質頁岩	1.9	1.2	0.2	0.4	同4
6	表採	I	先端部欠損	珪質頁岩	(2.6)	1.5	0.4	(1.2)	
7	B21	I	完形	チャート	1.8	1.6	1.3	0.8	
8	表採	I	先端部欠損	チャート	(1.5)	1.8	0.5	(1.0)	同2
9	A16	I	片脚部欠損	チャート	(1.8)	(1.1)	0.3	(0.4)	
10	B18	I	完形	下呂石	2.5	1.5	0.5	1.0	同8
11	B22	I	完形	下呂石	2.1	1.1	0.4	0.5	同7
12	B13	I	完形	下呂石	2.3	1.4	0.5	1.2	同22
13	C12	I	完形	下呂石	1.9	1.2	0.5	0.8	
14	B19第7層	I	完形	下呂石	3.6	1.8	0.5	1.8	同15
15	C12	I	完形	下呂石	1.6	1.2	0.3	0.3	
16	A24	I	完形	下呂石	1.9	1.2	1.3	0.3	同5
17	A9	I	完形	下呂石	3.0	1.5	0.4	1.7	
18	A23	I	完形	下呂石	2.0	0.9	0.2	0.3	同6
19	表採	I	完形	下呂石	1.3	1.4	0.3	0.3	
20	A5	I	片脚部欠損	下呂石	(2.6)	(1.3)	0.4	(1.0)	同16
21	A12	I	先端部欠損	下呂石	(1.7)	1.8	0.3	(0.6)	同1
22	C12	I	先端部欠損	下呂石	(2.2)	1.7	0.4	(1.1)	
23	C23	I	先端部欠損	下呂石	(3.2)	1.4	0.4	(1.2)	同27
24	B13	I	完形	黒曜石	2.0	1.6	0.5	1.0	
25	C24	I	完形	黒曜石	1.5	1.1	0.3	0.5	同17
26	A7	I	先端部欠損	黒曜石	(1.2)	1.4	1.2	(0.3)	
27	C15	I	先端部欠損	水晶	(1.3)	1.4	0.5	(0.7)	
28	A13	I	先端部欠損	輝石安山岩	(3.0)	2.2	0.5	(2.1)	同28
29	B12	II	完形	下呂石	2.3	1.2	0.6	1.3	同32
30	表採	II	完形	下呂石	2.0	1.4	0.4	0.8	同30
31	C23	II	先端部欠損	チャート	(1.6)	1.2	0.4	(0.8)	
32	表採	II	先端部欠損	チャート	(2.1)	1.5	0.5	(1.4)	同31
33	C19	III	茎部欠損	下呂石	(2.3)	(1.1)	0.5	(0.9)	同38

34	C15	Ⅲ	完形	下呂石	2.6	1.5	0.6	1.6	
35	A4	Ⅲ	完形	下呂石	3.7	1.3	0.5	2.1	同42
36	C24	Ⅲ	莖部欠損	下呂石	(3.7)	(1.9)	0.6	(3.4)	
37	B12	Ⅲ	完形	チャート	2.8	1.4	0.6	1.6	同36
38	B21	Ⅲ	完形	チャート	3.0	1.3	0.4	1.4	
39	B16	Ⅲ	完形	チャート	1.7	1.1	0.5	1.2	
40	A21	Ⅲ	完形	チャート	2.5	1.0	0.5	1.2	同35
41	A16	Ⅲ	先端部欠損	チャート	(2.2)	1.2	0.4	(1.0)	
42	A13	Ⅲ	莖部欠損	チャート	(2.7)	(1.3)	0.4	(1.2)	同34
43	表採	Ⅲ	先端部欠損	チャート	(1.6)	1.1	0.5	(1.0)	
44	A17	Ⅲ	先端部欠損	チャート	(2.4)	1.6	0.4	(1.3)	
45	B5	Ⅲ	完形	メノウ	3.7	1.5	0.3	1.8	同40
46	C18	Ⅲ	完形	メノウ	4.1	2.2	0.5	3.0	同39
47	B18	Ⅳ	先端・莖部欠損	チャート	(2.0)	(1.0)	0.5	(0.9)	同43
48	C9	Ⅱ	完形	流紋岩	2.1	1.9	0.5	1.6	
49	C18	Ⅲ	莖部欠損	黒曜石	(1.6)	(1.3)	0.4	(0.7)	
50	B11	Ⅰ	先端・脚部欠損	下呂石	(2.4)	(1.3)	0.3	(0.6)	
51	C13	Ⅰ	片脚部欠損	黒曜石	(1.8)	(1.4)	0.2	(0.4)	
52	A24	Ⅰ	完形	下呂石	2.6	1.8	0.5	1.6	
53	SK-2	Ⅰ	片脚部欠損	下呂石	(1.7)	(1.4)	0.3	(0.4)	
54	A12第7層	Ⅰ	先端・片脚部欠損	黒曜石	(1.7)	(1.6)	0.4	(1.0)	
55	B5	Ⅰ	先端部欠損	黒曜石	(1.5)	1.2	0.4	(0.4)	
56	B11第7層	Ⅰ	先端・片脚部欠損	下呂石	(3.9)	(1.7)	0.5	(2.9)	
57	B11第7層	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(3.4)	1.4	0.5	(1.0)	
58	A24	Ⅰ	完形	下呂石	1.7	1.4	0.4	0.7	
59	C5第7層下部	Ⅰ	脚部破片	チャート	(1.9)	(1.9)	(0.4)	(1.6)	
60	A23	Ⅱ	先端部欠損	下呂石	(2.1)	(1.5)	0.4	(1.4)	
61	表採	Ⅰ	先端部欠損	チャート	(1.9)	1.4	0.3	(0.9)	
62	C21	Ⅰ	片脚部欠損	チャート	(2.9)	(2.0)	0.8	(3.2)	
63	C24	Ⅱ	先端部欠損	黒曜石	(1.6)	1.4	0.5	(1.0)	
64	B15	Ⅲ	先端・莖部欠損	下呂石	(1.9)	(1.4)	0.4	(1.4)	
65	SK-2	Ⅰ	片脚部欠損	黒曜石	(2.5)	(1.3)	0.3	(0.6)	
66	C19	Ⅰ	片脚部欠損	チャート	(1.4)	(1.1)	0.3	(0.5)	
67	C21	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(2.0)	1.5	0.5	(1.1)	
68	A13	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(1.4)	(1.2)	0.4	(0.6)	
69	C4	Ⅱ	先端部欠損	チャート	(1.1)	1.3	0.3	(1.1)	
70	B16	Ⅰ	先端・片脚部欠損	チャート	(2.2)	(1.6)	0.3	(1.3)	
71	C21	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(1.6)	(1.6)	0.8	(1.8)	
72	C22	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.5	0.3	(0.7)	
73	C16	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.0	0.5	(0.9)	
74	C10	一	胴部破片	チャート	(1.2)	(1.4)	(0.4)	(0.8)	
75	B9	Ⅱ	先端部欠損	流紋岩	(1.8)	1.3	0.3	(1.0)	
76	B21	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(1.3)	1.4	0.3	(0.6)	
77	B21	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(1.2)	1.6	0.3	(0.5)	
78	表採	Ⅱ	片脚部欠損	チャート	2.7	(2.1)	0.6	(3.1)	
79	B4	Ⅰ	先端部欠損	流紋岩	(1.3)	1.1	0.4	(0.7)	
80	B22	一	先端・脚部欠損	珪質頁岩	(2.2)	(1.2)	0.4	(0.9)	
81	A19	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(2.0)	1.9	0.4	(0.7)	
82	B24	Ⅰ	先端部欠損	チャート	(1.7)	1.1	0.5	(1.1)	
83	C20	Ⅲ	完形	下呂石	2.7	1.3	0.7	2.0	
84	B14第7層	Ⅱ	先端・脚部欠損	チャート	(2.4)	(1.7)	0.5	(2.3)	
85	B12	Ⅰ	先端部欠損	下呂石	(1.7)	1.2	0.4	(0.4)	
86	B4	Ⅳ	基部欠損	チャート	(1.8)	(0.9)	0.3	(0.5)	

87	C22	I	先端部欠損	下呂石	(2.2)	1.3	0.5	(1.4)
88	C18	Ⅲ	先端・莖部欠損	チャート	(2.2)	(1.4)	0.5	(1.7)
89	B20	Ⅲ	莖部欠損	チャート	(2.4)	(1.3)	0.4	(1.4)
90	A21	I	完形	チャート	1.8	1.3	0.6	0.9
91	C20	Ⅲ	莖部欠損	チャート	(1.9)	(1.3)	0.3	(0.9)
92	B16	I	先端・脚部欠損	チャート	(1.8)	(1.2)	0.5	(1.2)
93	A21	Ⅲ	先端・莖部欠損	輝石安山岩	(2.1)	(1.3)	0.4	(0.9)
94	B20	I	先端・片脚部欠損	黒曜石	(2.3)	(1.8)	0.6	(2.2)
95	B4	Ⅲ	先端・莖部欠損	下呂石	(1.8)	(1.3)	0.4	(0.8)
96	B20	Ⅳ	基部欠損	下呂石	(2.8)	(1.3)	0.6	(1.9)
97	C5	I	先端部欠損	下呂石	(1.7)	1.6	0.4	(0.9)
98	表採	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.2)	(1.2)	0.3	(0.5)
99	B11第7層	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.4)	(1.5)	0.5	(1.8)
100	C20	Ⅲ	莖部欠損	下呂石	(2.2)	(1.4)	0.5	(1.5)
101	B18	I	片脚部欠損	下呂石	(2.1)	(1.2)	0.4	(0.8)
102	A16	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.1)	(1.3)	0.4	(0.6)
103	C17	Ⅱ	先端部欠損	下呂石	(1.4)	1.3	0.3	(0.6)
104	C20	I	片脚部欠損	下呂石	(2.6)	(2.0)	0.7	(3.5)
105	C13	I	片脚部欠損	黒曜石	(1.6)	(1.3)	0.4	(0.6)
106	B18	I	片脚部欠損	下呂石	(1.9)	(1.2)	0.4	(0.8)
107	B21	Ⅲ	莖部欠損	チャート	(2.2)	(2.1)	0.3	(0.5)
108	C11	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.2)	(1.4)	0.5	(0.9)
109	C24	—	脚部欠損	下呂石	(3.2)	(1.7)	0.5	(2.0)
110	B21	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.8)	(1.2)	0.3	(0.6)
111	B12	—	脚部欠損	下呂石	(2.3)	(1.0)	0.3	(0.7)
112	C1	I	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.6	0.4	(1.1)
113	A1	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(3.0)	(1.7)	0.4	(1.1)
114	C13	I	先端部欠損	チャート	(1.4)	1.4	0.3	(0.5)
115	表採	I	先端部欠損	下呂石	(3.1)	1.5	0.6	(2.0)
116	C9	—	先端部破片	下呂石	(1.8)	(0.9)	0.3	(0.3)
117	C9	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.8)	(0.9)	0.3	(0.8)
118	B16	I	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.3	0.4	(1.1)
119	表採	I	先端部欠損	下呂石	(2.6)	1.8	0.5	(2.1)
120	C17	I	先端・片脚部欠損	黒曜石	(2.2)	(1.2)	0.4	(0.9)
121	B19	Ⅱ	先端部欠損	下呂石	(2.0)	1.4	0.5	(1.0)
122	B20	Ⅲ	先端・莖部欠損	下呂石	(2.3)	(1.0)	0.5	(0.9)
123	C13	Ⅱ	完形	下呂石	1.8	1.2	0.5	0.7
124	B12	I	完形	下呂石	2.9	1.4	0.7	2.2
125	B15	I	先端・片脚部欠損	チャート	(1.7)	(1.2)	0.4	(0.7)
126	A16	—	脚部欠損	下呂石	(1.6)	(0.9)	(0.5)	(0.7)
127	C13	Ⅱ	完形	下呂石	1.4	1.5	0.4	1.0
128	C15	I	片脚部欠損	下呂石	(2.2)	(1.6)	0.5	(1.0)
129	C12	Ⅲ	胴部破片	下呂石	(2.5)	(1.3)	0.6	(2.2)
130	A12	Ⅲ	先端部欠損	下呂石	(3.0)	1.2	0.5	(1.3)
131	表採	I	先端・脚部欠損	下呂石	(2.7)	(1.5)	0.4	(1.1)
132	B17	Ⅱ	先端部欠損	下呂石	(1.4)	1.4	0.2	(0.4)
133	B17	I	完形	下呂石	1.8	1.3	0.4	0.6
134	表採	Ⅱ	片脚部欠損	チャート	(1.5)	(1.5)	0.6	(1.2)
135	C11	Ⅱ	先端部欠損	下呂石	(1.7)	0.2	0.4	(0.7)
136	B18	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.4)	(1.6)	0.5	(1.1)
137	C13	Ⅱ	先端部欠損	チャート	(1.7)	1.2	0.3	(0.6)
138	B18	I	完形	下呂石	2.2	1.4	0.5	1.0
139	B15	Ⅲ	先端・莖部欠損	下呂石	(2.2)	(1.3)	0.5	(1.3)

140	C10	I	片脚部欠損	下 呂 石	(2.0)	(1.3)	0.4	(0.7)
141	表採	I	完 形	下 呂 石	1.6	1.7	0.4	0.9
142	B11	I	先端・片脚部欠損	チャート	(1.3)	(1.2)	0.3	(0.6)
143	C16	Ⅲ	先端・莖部欠損	下 呂 石	(1.8)	(1.1)	0.3	(0.6)
144	C15第7層	I	片脚部欠損	チャート	(1.9)	(1.4)	0.3	(0.6)
145	B13	I	先端・片脚部欠損	チャート	(1.5)	(1.3)	0.4	(0.7)
146	C13	I	片脚部欠損	下 呂 石	(1.7)	(1.4)	0.4	(0.6)
147	B6	I	片脚部欠損	チャート	(1.1)	(1.3)	0.5	(1.1)
148	C15	Ⅱ	完 形	下 呂 石	2.2	1.3	0.4	0.9
149	C11	I	片脚部欠損	下 呂 石	(1.6)	(1.5)	0.3	(0.5)
150	C13	Ⅲ	先端部欠損	下 呂 石	(2.6)	1.4	0.5	(1.9)
151	A19	Ⅲ	莖 部 欠 損	下 呂 石	(2.7)	(1.7)	0.4	(1.4)
152	A18	I	片脚部欠損	下 呂 石	(2.5)	(1.1)	0.4	(0.5)
153	C12	Ⅲ	先端・莖部欠損	下 呂 石	(3.0)	(1.2)	0.4	(0.9)
154	B18	I	脚 部 欠 損	下 呂 石	(1.2)	1.0	0.2	(0.2)
155	B18	I	片脚部欠損	下 呂 石	(2.4)	(1.1)	0.4	(0.8)
156	C18	I	片脚部欠損	下 呂 石	(1.3)	(1.1)	0.2	(0.3)
157	C7	I	完 形	下 呂 石	1.8	0.9	0.3	0.5
158	B12	I	胴 部 破 片	チャート	(2.2)	(1.2)	0.4	(1.4)
159	B21第7層	—	脚 部 欠 損	下 呂 石	(1.6)	1.0	0.4	(0.6)
160	B13	I	完 形	下 呂 石	2.0	1.2	0.6	0.6
161	B17	I	片脚部欠損	黒 曜 石	(1.7)	(1.0)	0.4	(0.5)
162	C16	Ⅱ	脚 部 破 片	下 呂 石	(1.0)	(1.2)	0.3	(0.6)
163	C20	I	胴 部 破 片	下 呂 石	(1.6)	(0.9)	0.3	(0.6)
164	C15	I	片脚部欠損	下 呂 石	(1.7)	(0.9)	0.4	(0.7)
165	C12	I	完 形	下 呂 石	2.0	1.1	0.4	1.1
166	B12第7層下部	Ⅱ	先端部欠損	下 呂 石	(1.7)	1.2	0.4	(1.2)
167	B12	I	先端部欠損	下 呂 石	(1.4)	0.3	0.3	(0.7)
168	C9	Ⅲ	先端・莖部欠損	下 呂 石	(1.9)	(1.3)	0.4	(1.0)
169	A12	I	片脚部欠損	チャート	(1.7)	(0.9)	0.3	(0.7)
170	C17	Ⅲ	先端部欠損	下 呂 石	(2.6)	1.1	0.5	(1.4)
171	A12	Ⅱ	片脚部欠損	下 呂 石	(2.7)	(1.2)	0.2	(1.0)
172	A11	I	先端・脚部欠損	下 呂 石	(1.9)	(1.1)	0.3	(0.7)
173	A8	I	先端部欠損	下 呂 石	(1.6)	1.2	0.4	(0.7)
174	表採	Ⅲ	莖 部 欠 損	チャート	(2.1)	(1.0)	0.4	(1.1)
175	表採	I	先端・片脚部欠損	下 呂 石	(1.6)	(1.1)	0.3	(0.8)
176	B15	Ⅲ	先端部欠損	下 呂 石	(2.1)	(1.5)	0.6	(2.1)
177	表採	Ⅲ	先端・莖部欠損	下 呂 石	(2.5)	(1.4)	0.5	(1.7)
178	C21	Ⅱ	完 形	チャート	1.0	1.2	0.3	0.5
179	B17	I	完 形	下 呂 石	1.9	1.2	0.5	1.1
180	B9	Ⅱ	先端部欠損	輝石安山岩	(2.2)	1.2	0.3	(1.1)
181	C16	Ⅱ	先端部欠損	輝石安山岩	(2.6)	1.5	0.4	(1.9)
182	A21	Ⅲ	先端部欠損	チャート	(2.0)	1.9	0.3	(0.6)
183	A5	Ⅲ	先端・莖部欠損	下 呂 石	(2.4)	(1.5)	0.5	(1.8)
184	B17	—	莖 部 欠 損	下 呂 石	(2.5)	(1.5)	0.3	(1.0)
185	C9	Ⅲ	完 形	下 呂 石	2.1	1.2	0.3	0.9
186	表採	I	先端・脚部欠損	下 呂 石	(2.4)	(1.0)	0.4	(0.8)
187	C16	Ⅲ	先端・莖部欠損	下 呂 石	(2.1)	(0.3)	0.5	(1.6)
188	C18	I	先端部欠損	下 呂 石	(1.1)	1.4	0.4	(0.7)
189	C24	Ⅲ	完 形	下 呂 石	2.9	1.3	0.4	1.1
190	C20	Ⅱ	先端部欠損	下 呂 石	(3.4)	1.2	0.4	(1.9)
191	C24	Ⅲ	胴部一部欠損	チャート	2.3	(1.1)	0.5	(1.3)
192	B16	Ⅲ	先端部欠損	チャート	(1.9)	1.2	0.4	(0.8)



193	B22	I	先端部欠損	下呂石	(1.4)	1.3	0.3	(0.9)
194	A24	I	片脚部欠損	下呂石	(1.4)	(0.8)	0.3	(0.4)
195	B22	—	基部欠損	下呂石	(1.3)	(0.9)	0.3	(0.3)
196	C23	—	基部欠損	珪質頁岩	(3.0)	(1.5)	0.4	(2.3)
197	表採	I	片脚部欠損	下呂石	(1.8)	1.2	0.5	(0.7)
198	B13	I	完形	下呂石	1.5	0.8	0.4	0.5
199	B17	II	完形	下呂石	2.1	1.3	0.3	0.3
200	C21	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.7)	(0.9)	0.2	(1.2)
201	B23	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.2)	(1.0)	0.3	(0.7)
202	表採	III	基部欠損	下呂石	(2.2)	(1.4)	1.3	(1.3)
203	B16	I	先端部欠損	下呂石	(1.8)	1.2	0.6	(1.3)
204	C20	I	完形	下呂石	1.8	1.5	0.4	0.8
205	C21	I	胴部一部欠損	下呂石	2.5	1.5	0.5	(1.9)
206	B24	I	片脚部欠損	黒曜石	(1.6)	(1.0)	0.3	(0.4)
207	B24	I	片脚部欠損	下呂石	(2.0)	(1.0)	0.3	(0.6)
208	C15	I	片脚部欠損	メノウ	(1.8)	(0.8)	0.2	(0.4)
209	C24	I	先端部欠損	珪質頁岩	(0.9)	1.1	0.2	(0.4)
210	B18	II	完形	下呂石	1.5	1.0	0.3	0.6
211	C20	III	完形	チャート	2.1	1.4	0.5	1.4
212	C2	II	先端部欠損	チャート	(2.6)	1.4	0.4	(1.5)
213	A17	II	脚部欠損	チャート	(1.8)	(1.0)	0.3	(0.5)
214	C17	I	完形	輝石安山岩	2.0	1.2	0.5	1.3
215	C16	I	完形	下呂石	1.6	1.3	0.5	0.7
216	C15	I	先端部欠損	下呂石	(1.7)	1.1	0.4	(0.8)
217	C17	I	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.2	0.4	(1.0)
218	C20	I	先端部欠損	下呂石	(2.2)	0.8	0.4	(0.9)
219	A5	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.8)	(1.0)	0.3	(0.5)
220	A7	I	片脚部欠損	下呂石	(1.8)	(1.2)	0.3	(0.5)
221	B21	II	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.1)	(1.6)	0.6	(2.0)
222	C13第7層	II	先端・片脚部欠損	チャート	(1.4)	(1.2)	0.3	(0.6)
223	B17	I	完形	下呂石	2.7	1.5	0.6	2.0
224	B6	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.5)	(1.2)	0.4	(0.5)
225	B16	I	完形	下呂石	1.7	0.8	0.3	0.3
226	B23	I	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.0	0.3	(0.6)
227	B21	I	先端部欠損	下呂石	(2.0)	1.0	0.3	(0.5)
228	A11	I	片脚部欠損	下呂石	(1.2)	(1.1)	0.4	(0.5)
229	B23	I	先端部欠損	下呂石	(2.0)	1.4	0.3	(0.9)
230	C16	I	完形	下呂石	1.8	1.4	0.4	0.7
231	B17第3層	I	先端・片脚部欠損	珪質頁岩	(2.0)	(0.8)	0.3	(0.7)
232	C21	I	完形	下呂石	2.5	1.6	0.4	1.3
233	B11	I	先端部欠損	下呂石	(2.8)	1.4	0.6	(1.2)
234	SK-1	I	先端部欠損	下呂石	(1.8)	1.5	0.4	(0.8)
235	C17第7層	I	脚部破片	チャート	(1.4)	(1.3)	(0.3)	(0.5)

第87表 うづか地点石鏃一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	M7II	I	完形	チャート	2.2	1.6	0.5	1.3	第92図18
2	N6	I	完形	チャート	1.7	1.4	0.5	0.7	
3	G8III	I	完形	チャート	2.6	1.7	0.4	1.5	同12
4	K7II	I	完形	チャート	2.3	1.6	0.4	0.9	同14
5	L8II	I	完形	チャート	1.9	1.5	0.5	1.0	同19

6	G8	I	完形	チャー ト	1.7	1.3	0.2	0.4	
7	H9Ⅱ	I	先端・片脚部欠損	チャー ト	(1.6)	(1.5)	0.3	(0.5)	
8	W12 I	I	片脚部欠損	チャー ト	(1.8)	1.3	0.2	(0.5)	
9	J7Ⅱ	I	先端部欠損	チャー ト	(1.7)	1.5	0.5	(0.8)	
10	M8Ⅱ	I	先端部欠損	チャー ト	(2.1)	1.8	0.5	(1.2)	
11	表土	I	完形	チャー ト	1.3	1.4	0.3	0.4	
12	H8Ⅱ	Ⅱ	先端部欠損	チャー ト	(2.0)	1.7	0.7	(2.0)	
13	F7	Ⅳ	先端部欠損	メノウ	(2.1)	1.0	0.3	(0.8)	
14	K7Ⅱ	I	片脚部欠損	下呂石	(2.9)	(1.4)	0.4	(0.7)	
15	M7Ⅱ	I	完形	下呂石	2.3	2.0	0.4	1.3	同13
16	表採	I	先端部欠損	下呂石	(2.1)	(1.6)	0.5	(1.2)	
17	J8Ⅱ	Ⅱ	基部一部欠損	下呂石	1.9	(2.0)	0.3	(0.9)	同29
18	I8	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.9)	(1.0)	0.2	(0.5)	
19	L9Ⅱ	I	先端・片脚部欠損	黒曜石	(1.6)	(1.4)	0.2	(0.4)	
20	H9Ⅱ	I	先端・片脚部欠損	チャー ト	(1.5)	(1.0)	0.3	(0.4)	
21	F6Ⅱ	I	脚部欠損	下呂石	(1.6)	1.4	0.2	(0.5)	
22	H9Ⅱ	I	先端・脚部欠損	チャー ト	(2.0)	(0.7)	(0.2)	(0.4)	
23	G9	I	先端・片脚部欠損	黒曜石	(2.1)	(1.2)	0.5	(1.3)	
24	H7	I	片脚部欠損	下呂石	(2.0)	(1.3)	0.3	(0.8)	
25	G8	I	脚部破片	黒曜石	(1.9)	(0.7)	(0.2)	(0.4)	
26	H9	I	片脚部欠損	チャー ト	(1.7)	(0.7)	0.4	(0.5)	
27	表採	I	脚部欠損	流紋岩	(2.2)	(1.1)	0.5	(1.5)	
28	表採	I	片脚部欠損	チャー ト	(2.1)	(1.4)	0.5	(1.7)	
29	F8Ⅱ	I	胴部破片	黒曜石	(1.7)	(0.7)	(0.3)	(0.4)	
30	G8Ⅱ	Ⅱ	先端・片脚部欠損	チャー ト	(1.7)	(1.2)	0.4	(1.0)	
31	I8	I	片脚部欠損	チャー ト	(1.5)	(1.1)	0.3	(0.4)	
32	G9Ⅲ	I	脚部欠損	チャー ト	(1.8)	(1.2)	0.3	(0.6)	
33	W11 I	I	先端・片脚部欠損	チャー ト	(2.0)	(1.4)	0.3	(0.7)	
34	G8Ⅲ	I	先端部欠損	チャー ト	(1.5)	(1.9)	0.3	(0.8)	
35	G8Ⅲ	I	先端・片脚部欠損	チャー ト	(2.0)	(1.9)	0.2	(0.9)	
36	表採	I	先端・片脚部欠損	チャー ト	(1.4)	(1.7)	0.3	(0.6)	
37	N7	I	先端部欠損	チャー ト	(1.6)	1.4	0.4	(0.6)	
38	表採	I	片脚部欠損	チャー ト	(1.8)	(1.5)	0.2	(0.5)	
39	J8Ⅱ	Ⅱ	先端部欠損	チャー ト	(1.4)	2.3	0.5	(1.7)	
40	J8Ⅱ	I	先端・片脚部欠損	チャー ト	(1.6)	(1.7)	0.4	(1.1)	
41	F7	I	脚部欠損	チャー ト	(2.2)	(1.6)	0.4	(1.3)	
42	L7Ⅱ	I	片脚部欠損	チャー ト	(1.5)	(1.0)	0.3	(0.4)	
43	L7Ⅱ	I	脚部破片	チャー ト	(1.9)	(1.4)	(0.2)	(0.5)	
44	表採	Ⅱ	基部一部欠損	チャー ト	2.0	(1.8)	(0.4)	(1.2)	
45	G7Ⅱ	I	脚部破片	下呂石	(1.1)	(0.9)	(0.2)	(0.2)	
46	表採	I	先端部欠損	下呂石	(1.4)	1.2	0.3	(0.4)	
47	G7Ⅱ	I	片脚部欠損	下呂石	(2.1)	(1.7)	0.5	(0.8)	
48	S B - 1	I	片脚部欠損	下呂石	(2.0)	(1.6)	0.3	(0.7)	
49	O6	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.6)	(1.6)	0.3	(0.5)	
50	O11	I	完形	下呂石	1.5	1.3	0.5	0.8	
51	O6	Ⅱ	完形	下呂石	1.6	1.4	0.4	0.7	
52	O6	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.2)	(1.3)	0.3	(0.9)	
53	O6	I	完形	下呂石	2.3	1.8	0.3	0.7	
54	L7Ⅱ	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(1.4)	(0.8)	0.3	(0.3)	
55	J8Ⅱ	I	脚部欠損	下呂石	(1.6)	(1.6)	0.2	(0.4)	
56	表採	Ⅱ	基部一部欠損	下呂石	1.6	(1.1)	0.5	(0.6)	
57	S B - 1	-	基部欠損	下呂石	(2.2)	(1.0)	(0.3)	(0.4)	
58	L6Ⅱ	I	先端・片脚部欠損	下呂石	(2.1)	(1.4)	0.5	(1.0)	

59	M8Ⅱ	I	片脚部欠損	下呂石	(2.3)	(1.5)	0.3	(0.6)	
60	L6Ⅱ	Ⅱ	先端部欠損	下呂石	(1.6)	1.4	0.4	(0.8)	
61	M6Ⅱ	I	片脚部欠損	下呂石	(2.4)	(1.5)	0.3	(0.8)	
62	L10Ⅱ	I	片脚部欠損	下呂石	(3.2)	(1.8)	0.3	(1.1)	
63	表採	I	完形	チャート	2.1	1.7	0.5	1.2	
64	表採	I	脚部欠損	チャート	(1.9)	(1.4)	0.3	(0.6)	
65	表採	I	完形	下呂石	1.9	1.3	0.3	0.5	
66	表採	I	片脚部欠損	チャート	(2.1)	(1.4)	0.4	(0.8)	
67	表採	—	脚部破片	チャート	(1.6)	(1.3)	(0.3)	(0.7)	
68	表採	I	脚部破片	チャート	(0.9)	(0.9)	(0.3)	(0.2)	

第88表 センター地点石鏃一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B7	I	先端部欠損	チャート	(1.6)	2.0	0.3	(1.0)	
2	表土	I	先端部欠損	チャート	(1.9)	1.6	0.4	(1.0)	
3	B1	I	片脚部欠損	流紋岩	(1.7)	(1.6)	0.3	(0.6)	
4	SB-1	I	先端部欠損	チャート	(2.0)	1.4	0.4	(1.4)	
5	SB-1	I	片脚部欠損	チャート	(1.7)	(1.3)	0.2	(0.4)	
6	表土	I	完形	下呂石	1.4	1.3	0.3	0.4	第92図20
7	C5	I	完形	下呂石	1.8	1.3	0.2	0.4	
8	B4	I	片脚部欠損	下呂石	(1.6)	(1.0)	0.2	(0.3)	
9	B6	Ⅱ	先端部欠損	チャート	(1.5)	1.4	0.4	(0.8)	
10	C5	Ⅱ	先端部欠損	チャート	(2.2)	1.6	0.4	(1.7)	
11	C5	—	基部欠損	下呂石	(3.2)	1.2	0.6	(2.3)	
12	集石2	Ⅳ	先端部欠損	下呂石	(2.7)	1.2	0.4	(1.2)	同45
13	B9	Ⅳ	先端部欠損	下呂石	(2.2)	1.1	0.4	(1.0)	同44
14	C7	I	胴部破片	下呂石	(2.2)	(1.3)	(0.3)	(0.8)	
15	C5Ⅱ	I	脚部破片	チャート	(1.0)	(0.8)	(0.2)	(0.3)	
16	B4Ⅱb	I	片脚部欠損	チャート	(2.1)	(0.9)	0.3	(0.8)	
17	B4	I	先端部欠損	下呂石	(1.4)	1.0	0.4	(0.7)	
18	B8	Ⅱ	先端部欠損	チャート	(1.8)	1.4	0.5	(1.8)	
19	C5Ⅱb	I	片脚部欠損	チャート	(2.1)	(0.7)	0.1	(0.4)	
20	B1Ⅱa	Ⅱ	基部一部欠損	チャート	1.7	(1.4)	0.4	(0.8)	
21	C6	—	脚部欠損	下呂石	(1.6)	(1.0)	0.3	(0.5)	
22	表採	Ⅱ	完形	チャート	1.6	1.4	0.3	0.9	
23	C6	I	脚部破片	チャート	(2.2)	(1.1)	(0.3)	(0.8)	
24	C6Ⅱb	I	片脚部欠損	黒曜石	(1.6)	(1.2)	0.5	(0.8)	
25	C5	I	先端・片脚部欠損	チャート	(2.2)	(1.1)	0.4	(0.7)	

第89表 宮ノ前地点石槍一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	1	4層	先端部欠損	チャート	(3.5)	2.0	0.9	(6.5)	

第90表 前田地点上層石槍一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C3	1/3欠損	凝灰岩	(4.7)	1.5	0.6	(5.4)	第92図47

第91表 宮ノ前地点石匙一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	c	d	厚さ	重さ	挿図番号
1	442	刃部一部欠損	硬質頁岩	0.8	2.0	1.2	(3.6)	0.7	(6.0)	

第92表 前田地点上層石匙一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	c	d	厚さ	重さ	挿図番号
1	B24	完形	チャート	0.8	2.4	1.3	4.6	0.9	11.2	第93図1
2	C21	完形	チャート	0.9	2.9	1.0	4.4	1.0	14.7	同7
3	C18第4層	完形	チャート	1.2	1.5	1.2	2.6	0.4	2.9	同8
4	A8	つまみ部欠損	チャート	(0.6)	5.2	(0.8)	2.2	0.8	(10.9)	同11
5	表採	つまみ部欠損	下呂石	(0.9)	1.8	(1.2)	5.1	0.8	(9.2)	同3
6	A24	完形	下呂石	1.3	6.2	3.2	4.0	0.9	19.1	同10
7	C18	胴部1/3欠損	黒曜石	1.0	0.7	0.6	(2.0)	0.4	(0.9)	同4
8	C24	完形	チャート	0.8	1.8	2.3	2.9	0.6	6.1	
9	C11	完形	下呂石	0.9	1.8	1.4	3.7	0.7	6.0	
10	B22	胴部破片	下呂石	—	2.1	—	(3.8)	0.9	(8.6)	

第93表 うづか地点石匙一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	c	d	厚さ	重さ	挿図番号
1	N7	一部欠損	下呂石	0.8	2.6	0.7	(4.8)	0.7	(9.2)	第93図6
2	M7Ⅱ	完形	流紋岩	1.0	7.4	1.3	4.9	0.9	43.0	同12
3	N6	完形	チャート	0.8	2.3	2.4	4.2	0.4	6.1	同9
4	K7Ⅱ	完形	輝石安山岩	1.2	2.5	1.8	3.3	0.7	9.1	同5

第94表 センター地点石匙一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	c	d	厚さ	重さ	挿図番号
1	B11	完形	下呂石	1.3	3.6	1.5	7.3	1.2	40.1	第93図2

第95表 宮ノ前地点筥状石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	12	4層	完形	下呂石	4.8	3.5	0.9	11.6	

第96表 前田地点上層筥状石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A21	一部欠損	下呂石	(6.6)	(4.3)	1.0	(30.4)	第93図15
2	C13第7層	一部欠損	流紋岩	(6.1)	3.4	0.7	(21.5)	同14
3	B19	完形	下呂石	4.7	2.7	0.8	10.7	同13
4	表採	一部欠損	珪質頁岩	(2.6)	2.2	0.5	(3.3)	

第97表 宮ノ前地点スクレイパー I 類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	45	3層	完形	チャート	3.7	3.4	1.1	14.8	第94図13
2	12	4層	完形	チャート	4.5	3.2	0.8	13.9	同16
3	12	4層	完形	珪質頁岩	3.2	3.0	0.7	8.1	同7
4	12	3層	完形	下呂石	6.0	3.8	1.2	37.5	
5	27	4層	完形	下呂石	4.6	3.7	1.0	21.8	同6
6	2	3層	完形	下呂石	2.6	2.3	0.7	4.5	
7	7・8	3層	1/2 欠損	チャート	(2.2)	(1.2)	0.3	(0.9)	
8	25	4層	一部欠損	チャート	(1.7)	1.8	0.5	(1.6)	
9	12	4層	完形	チャート	3.3	2.4	0.7	4.3	
10	12	3層	完形	チャート	3.6	2.2	1.0	7.7	
11	7	4層	1/3 欠損	チャート	(2.1)	1.2	0.5	(1.9)	
12	34	3層	完形	チャート	2.7	2.0	0.6	5.7	
13	13	4層	完形	チャート	3.1	4.1	3.2	0.8	
14	41	3・4層	完形	チャート	3.6	1.9	0.5	5.1	
15	1	4層	完形	チャート	2.9	2.2	0.4	3.0	
16	4	4層	1/2 欠損	チャート	(3.0)	(2.9)	(0.4)	(4.3)	
17	46	3層	2/3 欠損	チャート	(2.5)	(1.5)	(0.5)	(2.1)	
18	25	3層	完形	チャート	2.5	1.7	0.5	2.9	
19	14	3層	完形	チャート	3.4	2.9	1.1	10.1	
20	7	3層	1/2 欠損	チャート	(2.0)	(1.8)	(0.4)	(1.3)	
21	24抃	4層	完形	チャート	4.0	3.0	1.7	17.7	
22	46	3層	完形	ホルンフェルス	3.3	2.0	0.6	5.2	
23	45	3層	刃部一部欠損	チャート	(6.1)	3.3	1.4	(27.5)	
24	31	3層	完形	チャート	3.5	1.2	0.7	5.0	
25	28	3層	完形	下呂石	4.8	3.3	1.0	12.7	
26	48	3層	完形	チャート	2.8	2.0	0.9	4.5	
27	44	3層	完形	下呂石	3.6	3.0	0.6	9.4	
28	32	3層	完形	チャート	5.2	2.8	1.1	13.6	
29	27	4層	完形	チャート	5.2	4.1	1.2	41.1	
30	24	4層	完形	チャート	2.7	2.7	0.6	4.0	
31	31	4層	完形	チャート	6.1	3.9	1.0	21.0	
32	32	3層	刃部一部欠損	チャート	(2.2)	1.8	0.5	(2.8)	
33	51	3層	1/3 欠損	チャート	(2.4)	(2.0)	0.7	(3.4)	
34	22・23抃	4層	完形	チャート	3.5	3.0	1.2	12.2	
35	4	4層	完形	チャート	4.9	2.2	1.0	12.2	
36	35	3層	完形	下呂石	6.0	2.2	0.8	10.0	
37	41	4層	完形	チャート	3.5	3.5	0.7	11.9	
38	21	4層	完形	チャート	6.4	2.9	1.6	34.3	
39	26	3層	完形	チャート	2.9	1.3	0.5	2.3	
40	42	4層	1/2 欠損	チャート	(4.0)	(2.0)	0.4	(4.9)	
41	3	3層	完形	下呂石	8.0	5.6	1.1	44.2	
42	23	4層	完形	輝石安山岩	9.0	6.7	1.2	72.6	
43	28~30	2層	完形	チャート	5.4	4.4	1.5	42.6	
44	21	3層	完形	下呂石	5.7	5.6	1.0	17.3	
45	11	3層	1/2 欠損	下呂石	(4.1)	(2.6)	(1.1)	(11.9)	
46	25	3層	完形	チャート	3.2	2.3	0.8	6.7	
47	8	3層	一部欠損	下呂石	(2.7)	2.6	0.7	(5.2)	
48	7	3層	完形	流紋岩	4.4	3.0	0.7	14.3	
49	6	3層	完形	チャート	3.6	2.6	1.1	14.4	
50	13	4層	完形	下呂石	3.6	2.1	0.5	5.7	

51	22	4層	一部欠損	チャート	2.6	(2.1)	0.5	(4.1)
52	31	3層	1/3 欠損	下呂石	(2.3)	1.6	0.6	(2.6)
53	22・23抔	4層	完形	下呂石	3.3	2.4	0.6	3.3
54	32	4層	刃部破片	下呂石	(2.6)	(1.1)	(0.4)	(1.5)
55	27	4層	刃部破片	下呂石	(2.5)	(1.0)	(0.6)	(1.5)
56	22	4層	完形	チャート	3.0	2.4	0.8	7.7
57	13	4層	完形	チャート	5.1	2.9	0.8	11.9
58	31	3層	刃部一部欠損	チャート	(3.0)	2.5	0.6	(5.4)
59	9・10	3層	完形	チャート	2.0	1.8	0.5	1.6
60	3	4層	刃部破片	流紋岩	(3.1)	(2.0)	(0.3)	(2.6)
61	46	3層	刃部一部欠損	チャート	(2.5)	2.4	0.6	(3.8)
62	45	3層	完形	チャート	2.6	2.2	0.5	3.2
63	22	4層	1/2 欠損	チャート	(1.6)	(1.0)	(0.3)	(1.0)
64	22・23抔	4層	完形	下呂石	1.7	1.7	0.4	1.5
65	1	4層	刃部一部欠損	チャート	3.0	(2.4)	0.5	(4.1)
66	4	3層	1/3 欠損	チャート	(2.0)	1.7	0.6	(2.1)
67	25	4層	完形	チャート	2.9	2.0	0.7	4.8
68	32	3層	完形	チャート	2.8	2.6	0.3	3.9
69	12	4層	完形	チャート	3.8	3.3	0.9	15.4
70	52	3層	刃部破片	チャート	(2.4)	(1.2)	(0.6)	(1.7)
71	41	3・4層	刃部破片	チャート	(2.1)	(1.0)	(0.4)	(0.8)
72	7	3層	刃部破片	チャート	(2.2)	(1.0)	(0.4)	(0.8)
73	41	4層	完形	チャート	2.4	1.8	0.3	1.8
74	6	3層	完形	チャート	3.0	2.2	0.6	3.8
75	12	4層	1/2 欠損	チャート	(2.1)	(2.0)	0.5	(2.3)
76	38	3・4層	完形	チャート	2.5	2.0	0.7	3.7
77	7・8	3層	1/3 欠損	チャート	(2.2)	1.8	0.7	(3.9)
78	25	3層	完形	チャート	2.1	1.5	0.6	1.5
79	12	3層	1/3 欠損	下呂石	(1.8)	1.7	0.5	(1.8)
80	22	3層	刃部破片	チャート	(1.6)	(1.5)	(0.6)	(1.6)
81	32	3層	2/3 欠損	チャート	(1.9)	(1.8)	(0.8)	(2.1)

第98表 前田地点上層スクレイパー I 類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C16	完形	チャート	2.8	1.7	0.7	3.6	第94図4
2	B5	完形	チャート	4.8	4.4	1.0	18.8	同17
3	B23	完形	チャート	3.5	4.4	1.0	18.0	
4	表採	完形	チャート	4.6	2.6	0.8	10.0	同15
5	A20	完形	チャート	2.7	2.9	0.5	5.3	
6	C17	完形	チャート	3.2	2.6	0.7	6.5	
7	C18第7層	完形	チャート	3.3	3.4	0.9	6.8	同18
8	B9第7層	完形	下呂石	4.8	6.5	1.0	33.3	
9	B24	一部欠損	下呂石	(7.0)	3.5	1.3	(25.7)	
10	B12第7層	完形	下呂石	3.5	2.9	0.9	8.7	
11	C9	完形	下呂石	3.5	2.1	0.8	6.6	同19
12	B6第7層	一部欠損	流紋岩	(6.0)	5.4	0.8	(21.8)	
13	B18第7層	完形	流紋岩	5.5	4.5	1.0	23.0	
14	B23	一部欠損	チャート	3.8	(1.1)	0.5	(3.3)	
15	C6	完形	下呂石	6.7	4.3	1.5	43.2	
16	C23第7層	完形	下呂石	2.7	2.1	0.4	3.3	
17	C5	完形	安山岩	6.5	3.9	0.8	30.0	

18	A8	完	形	チャート	3.7	3.1	1.1	16.4
19	B14第7層	完	形	チャート	3.4	2.1	0.8	7.0
20	C9	一部	欠損	チャート	(2.2)	(1.5)	0.4	(1.9)
21	B21	完	形	チャート	3.0	1.6	0.8	4.4
22	C24	一部	欠損	チャート	2.4	(2.0)	0.5	(3.8)
23	C21	完	形	チャート	3.1	1.5	1.0	4.5
24	B15	完	形	チャート	3.8	1.3	0.5	3.0
25	A11	完	形	チャート	2.0	1.4	0.8	3.3
26	C21	完	形	チャート	2.1	1.9	0.6	2.7
27	C13	完	形	チャート	4.6	2.3	0.7	14.7
28	C10	一部	欠損	チャート	2.4	1.7	0.7	(3.9)
29	A5	完	形	チャート	4.6	2.6	0.4	8.1
30	A4	一部	欠損	チャート	(2.9)	(1.3)	0.5	(4.5)
31	C12	完	形	チャート	4.8	3.3	1.2	20.9
32	A24	完	形	チャート	3.0	2.6	0.5	8.4
33	B18	完	形	チャート	2.7	1.5	0.4	2.2
34	C10第7層	一部	欠損	チャート	(2.2)	(1.5)	0.5	(3.7)
35	B6	完	形	チャート	3.7	2.5	1.1	13.4
36	B6	完	形	チャート	1.8	1.3	0.4	1.4
37	B19第7層	一部	欠損	下呂石	3.0	(1.6)	0.7	(3.7)
38	C23	完	形	チャート	2.0	1.0	0.3	0.8
39	C12	完	形	チャート	2.2	1.4	0.4	1.2
40	B24	一部	欠損	チャート	1.5	(1.5)	0.5	(1.4)
41	A18	完	形	チャート	2.1	1.8	0.5	3.0
42	表採	完	形	チャート	2.6	1.9	0.9	4.5
43	C18	完	形	チャート	2.2	1.8	0.5	3.3
44	C19	完	形	チャート	2.1	1.4	0.5	2.0
45	B20第7層	一部	欠損	チャート	(4.4)	(3.6)	0.8	(14.2)
46	C12	完	形	チャート	5.6	3.0	1.7	31.3
47	B16	一部	欠損	チャート	(2.3)	(1.5)	0.4	(2.5)
48	C13	完	形	チャート	1.8	1.9	0.2	1.7
49	B18	一部	欠損	チャート	(3.9)	2.1	0.5	(5.2)
50	B16	完	形	珪質頁岩	1.8	1.5	0.4	2.0
51	B12	完	形	下呂石	2.3	1.5	0.5	1.7
52	A13	完	形	下呂石	3.6	1.5	0.5	3.4
53	表採	完	形	下呂石	3.8	2.0	1.3	7.8
54	B14	完	形	下呂石	2.0	1.4	0.4	1.3
55	C5	一部	欠損	下呂石	(4.0)	(1.3)	0.4	(3.0)
56	C16	完	形	下呂石	8.1	4.1	1.2	38.1
57	C24	完	形	下呂石	3.8	3.6	0.8	11.8
58	B22	1/2	欠損	下呂石	(2.6)	3.0	1.2	(10.0)
59	表採	完	形	下呂石	2.6	2.4	0.7	5.3
60	表採	完	形	下呂石	4.6	3.2	0.8	12.3
61	A14	完	形	下呂石	3.4	2.5	0.5	3.0
62	B20	完	形	下呂石	2.0	1.8	0.4	2.4
63	C13	完	形	下呂石	2.6	1.3	0.6	3.4
64	C7	一部	欠損	下呂石	(3.1)	2.0	1.8	(5.9)
65	C5第7層	完	形	下呂石	2.7	2.3	0.9	4.5
66	C22	完	形	下呂石	3.1	1.3	0.3	1.6
67	A16	一部	欠損	黒曜石	(3.0)	(2.0)	0.5	(4.3)
68	A20	一部	欠損	黒曜石	1.3	1.1	0.4	(0.7)
69	C24	一部	欠損	黒曜石	2.8	1.8	0.6	(1.9)
70	C24	完	形	珪質頁岩	1.8	1.7	0.6	2.2

71	B8	完	形	チャート	2.8	1.6	0.9	4.3	
72	B6	一部	欠損	珪質頁岩	(4.0)	(3.0)	0.6	(10.5)	
73	B18	完	形	チャート	2.7	1.3	0.8	4.1	
74	A16	一部	欠損	チャート	2.9	(1.9)	0.6	(3.6)	
75	A8第7層	一部	欠損	下呂石	3.6	(3.3)	0.7	(10.3)	
76	C8	完	形	チャート	4.0	2.3	0.9	10.9	
77	B23	一部	欠損	下呂石	(8.0)	(2.0)	0.9	(15.8)	
78	B16	完	形	下呂石	1.8	1.3	0.3	0.8	
79	C9	完	形	チャート	3.5	2.5	1.7	8.1	
80	A14第7層下部	完	形	下呂石	7.5	4.1	0.7	34.1	
81	B6	完	形	輝石安山岩	7.4	5.1	1.1	47.4	
82	B4	完	形	輝石安山岩	2.4	1.7	0.7	37.6	
83	C8	1/2	欠損	下呂石	(2.6)	(2.4)	(0.6)	(3.4)	
84	C2第7層	1/3	欠損	チャート	(1.7)	1.1	0.2	(0.8)	
85	表採	一部	欠損	チャート	(2.0)	1.3	0.5	(1.4)	
86	B8	一部	欠損	チャート	2.0	(1.3)	0.4	(1.5)	
87	C7	完	形	下呂石	7.6	1.2	1.2	48.9	
88	B17	一部	欠損	チャート	(2.5)	1.6	0.5	(2.9)	
89	C2	完	形	チャート	3.4	2.8	1.0	12.6	
90	B1	完	形	流紋岩	3.0	2.2	0.6	6.3	
91	C4	一部	欠損	チャート	(1.7)	(1.0)	0.3	(0.9)	
92	B13第7層	完	形	珪質凝灰岩	5.7	3.0	0.6	11.8	

第99表 うづか地点スクレイパー I 類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	N6II	完	形	チャート	3.1	1.4	0.4	7.2	第94図1
2	N6	完	形	チャート	2.6	2.2	0.7	4.3	
3	K7II	完	形	玉髓	2.6	2.3	0.8	6.3	同10
4	M8II	完	形	チャート	3.4	1.7	1.6	3.5	同12
5	W11II	完	形	チャート	4.8	3.5	1.3	22.3	同20
6	L9II	完	形	チャート	3.6	2.0	0.7	4.9	同14
7	I9	完	形	チャート	2.6	2.1	0.5	2.4	同3
8	R10	完	形	チャート	2.0	1.8	0.6	2.3	同8
9	N6II	完	形	チャート	2.3	1.3	0.4	1.1	同2
10	表採	完	形	チャート	4.3	2.8	1.1	15.4	
11	I7	完	形	チャート	2.7	2.4	1.3	12.0	同9
12	G7	完	形	輝石安山岩	3.1	2.2	0.8	5.2	同11
13	L8II	完	形	チャート	6.5	3.8	1.3	41.0	
14	O6	完	形	チャート	4.0	3.2	0.9	15.5	
15	表採	1/3	欠損	チャート	(3.1)	2.5	1.6	(5.6)	
16	N8	完	形	チャート	3.5	2.8	0.8	10.8	
17	J7II	刃部	破片	チャート	(1.7)	(0.8)	(0.6)	(1.2)	
18	K8II	完	形	チャート	2.2	2.0	0.5	2.9	
19	SB-1	完	形	チャート	3.8	2.3	0.7	8.0	
20	N6II	一部	欠損	チャート	(2.1)	1.5	0.6	(2.0)	
21	L7II	完	形	チャート	2.5	1.8	0.7	4.1	
22	L6II	一部	欠損	チャート	(2.2)	1.2	0.4	(2.2)	
23	SB-1	刃部	一部欠損	チャート	3.0	1.3	0.4	(3.7)	
24	表採	完	形	チャート	2.5	1.3	0.5	2.6	
25	表採	完	形	チャート	3.1	2.2	0.7	5.2	
26	L7II	完	形	チャート	3.0	2.2	0.5	3.3	



27	F8 I	刃部破片	チャート	(1.5)	(1.0)	(0.3)	(0.7)
28	L7 II	刃部破片	チャート	(1.5)	(1.4)	(0.6)	(1.6)
29	L7 II	刃部一部欠損	チャート	2.9	2.8	0.6	(5.6)
30	F7 II	完形	チャート	1.8	1.4	0.4	1.5
31	L9 II	完形	チャート	2.5	1.4	0.6	3.2
32	K7 II	1/3 欠損	チャート	(2.1)	1.6	0.8	(3.9)
33	L7 II	完形	チャート	3.4	2.3	0.8	9.1
34	V12 I	1/2 欠損	チャート	(2.9)	(2.1)	(0.4)	(3.1)
35	L8 II	刃部破片	チャート	(1.5)	(1.5)	(0.4)	(1.3)
36	表採	完形	チャート	3.1	1.8	0.8	5.0
37	Q7	完形	チャート	4.0	3.1	0.7	10.2
38	G8	完形	チャート	2.5	2.1	0.5	3.3
39	V11	完形	チャート	4.1	2.0	0.4	5.6
40	O7	刃部破片	チャート	(2.1)	(1.1)	(0.7)	(2.0)
41	L8 II	完形	チャート	1.7	1.2	0.2	0.9
42	O6	一部欠損	チャート	(2.8)	2.6	0.8	(6.5)
43	T11	完形	チャート	1.8	1.5	0.3	1.3
44	F7 II	完形	チャート	2.4	1.1	0.4	2.2
45	SB-1	刃部破片	チャート	(1.7)	(1.6)	(0.6)	(1.9)
46	N8	完形	チャート	2.8	2.0	0.7	3.4
47	T8 II	完形	チャート	3.0	2.2	1.0	6.3
48	O6	完形	チャート	3.6	3.0	1.0	13.3
49	表採	1/3 欠損	チャート	2.4	(1.2)	0.2	(1.1)
50	M6 II	完形	チャート	3.9	2.4	0.7	6.8
51	U13	完形	チャート	3.5	1.7	0.6	6.8
52	J8 II	一部欠損	下呂石	(2.5)	2.5	0.6	(4.3)
53	M5 II	一部欠損	下呂石	(2.0)	1.8	0.8	(4.2)
54	M6 II	完形	チャート	3.8	1.5	0.9	7.0
55	I7	一部欠損	下呂石	2.3	(1.5)	0.6	(2.1)
56	N7	1/2 欠損	流紋岩	(3.5)	(3.0)	(0.6)	(6.3)
57	L9 II	完形	玉髓	2.5	2.1	0.6	2.8
58	表土	1/3 欠損	チャート	(2.3)	1.6	0.5	(2.7)
59	SB-3床直	完形	玉髓	2.7	2.1	0.7	4.0
60	表採	完形	チャート	3.6	3.1	0.5	6.0
61	F7 II	完形	チャート	2.8	1.6	0.5	4.9
62	H7	完形	チャート	3.2	2.7	0.7	7.0
63	B2 II	刃部一部欠損	チャート	(3.3)	2.7	1.0	(11.6)
64	I8	完形	玉髓	2.8	2.5	0.7	5.8

第100表 センター地点スクレイパー I 類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C11	完形	チャート	2.6	2.1	0.9	4.4	第94図5
2	B6	完形	チャート	3.1	2.5	1.1	9.0	
3	B3	完形	チャート	2.7	2.7	0.6	5.4	
4	C9	1/3 欠損	チャート	2.5	(2.0)	0.8	(5.1)	
5	A8	完形	チャート	2.4	2.0	0.5	2.4	
6	B1 II b	完形	珪質頁岩	3.5	2.6	1.1	12.0	
7	住居内	1/3 欠損	下呂石	2.2	(1.0)	0.3	(0.9)	
8	C5 II b	刃部破片	チャート	(2.5)	(0.9)	(0.6)	(1.6)	
9	B5 II b	完形	チャート	2.3	1.8	0.7	3.1	
10	C6	完形	下呂石	3.9	3.1	0.6	7.7	

11	B5II b	完	形	チャート	2.1	1.9	0.6	2.4
12	C11	完	形	チャート	2.8	1.8	0.8	5.8
13	A11	1/2	欠損	下呂石	(2.3)	(1.3)	0.5	(1.7)
14	B14	完	形	チャート	6.0	2.2	1.7	17.9
15	C7	1/2	欠損	チャート	(1.9)	(1.5)	(0.5)	(1.5)
16	A10	刃部	破片	下呂石	(2.1)	(1.4)	(0.3)	(1.1)
17	C9	1/3	欠損	チャート	(2.1)	1.3	0.5	(1.2)
18	C8	1/3	欠損	玉髓	2.3	(2.0)	0.6	(3.4)
19	C5	完	形	珪質頁岩	2.0	1.6	1.5	4.2

第101表 宮ノ前地点スクレイパーⅡ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	7	3層	完形	下呂石	5.2	2.8	0.6	9.5	
2	5	3層	2/3欠損	チャート	(2.9)	(1.6)	(0.6)	(3.2)	
3	5	3層	完形	チャート	5.2	4.8	1.7	41.7	
4	8	3層	1/3欠損	チャート	(2.7)	(1.9)	0.7	(4.2)	
5	1	4層	完形	チャート	4.5	3.0	1.6	16.8	
6	32	3層	1/3欠損	チャート	(2.1)	1.7	0.7	(3.1)	
7	18	2層	完形	チャート	3.7	3.0	1.5	19.0	
8	24	4層	完形	下呂石	3.1	2.4	0.8	6.3	
9	27	4層	完形	チャート	3.5	2.8	0.6	8.7	
10	22・23拵	4層	完形	チャート	3.3	2.6	1.6	17.0	
11	26	3層	完形	チャート	2.8	2.0	0.8	6.7	
12	4	4層	完形	チャート	3.0	2.8	0.7	6.7	
13	31	4層	完形	黒曜石	3.5	2.6	1.4	10.6	
14	22・23拵	4層	完形	チャート	3.6	2.6	0.7	8.2	
15	26	4層	完形	チャート	4.0	2.1	0.8	11.8	
16	7・8	3層	一部欠損	下呂石	3.6	(1.4)	0.6	(7.1)	
17	38	3・4層	1/3欠損	チャート	(3.3)	2.6	1.3	(12.4)	第95図3
18	51	3・4層	完形	珪質頁岩	2.2	2.1	1.6	5.6	
19	26	4層	完形	下呂石	4.5	3.0	1.2	20.0	
20	11	3層	完形	チャート	3.7	2.0	1.0	7.0	
21	35	3層	完形	チャート	3.5	2.5	0.8	6.7	
22	1	4層	一部欠損	チャート	(3.6)	3.0	0.8	(11.0)	
23	11	3層	1/2欠損	チャート	(2.3)	(2.1)	(0.9)	(6.0)	
24	31	3層	1/3欠損	チャート	(2.6)	2.2	1.3	(7.5)	
25	表採	—	完形	流紋岩	6.3	5.8	2.0	109.6	同8

第102表 前田地点上層スクレイパーⅡ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C8	完形	下呂石	4.7	3.5	1.0	17.1	第95図5
2	C13	完形	下呂石	7.0	4.0	1.7	46.0	同9
3	C11	完形	チャート	4.9	3.0	1.7	27.0	同6
4	C4第7層	完形	チャート	6.4	5.0	1.8	65.6	
5	A9	完形	チャート	4.9	2.9	1.3	24.5	同7
6	表採	完形	チャート	5.0	4.7	2.1	68.7	
7	C21	完形	チャート	2.7	2.1	0.7	5.1	
8	A18	完形	チャート	3.0	2.1	0.7	4.2	
9	B11	完形	チャート	3.5	2.5	0.9	8.4	

10	C20	完	形	チャート	2.6	2.1	0.9	6.2
11	C11	完	形	チャート	5.8	3.5	1.0	29.4
12	B17	完	形	チャート	1.6	1.4	0.4	1.6
13	C12	完	形	チャート	2.1	1.8	0.6	2.7
14	C11	完	形	チャート	2.9	1.7	0.6	3.5
15	C9	完	形	チャート	3.7	3.5	2.2	35.1
16	A17	1/3	欠	チャート	3.1	(2.7)	1.3	(18.4)
17	B20	一部	欠	チャート	1.7	(1.4)	0.4	(1.5)
18	C11	完	形	メノウ	3.0	2.4	1.1	9.1
19	B13	完	形	チャート	2.7	2.6	1.0	8.2
20	表採	完	形	チャート	2.0	1.6	0.7	2.5
21	C24	完	形	チャート	4.2	2.2	1.1	11.6
22	B9	1/3	欠	チャート	(5.0)	2.8	1.1	(17.7)
23	C16	1/2	欠	チャート	(3.5)	(3.3)	(1.2)	(12.8)
24	B24	完	形	チャート	3.5	1.6	0.7	3.9
25	C21	1/3	欠	チャート	(2.3)	2.1	0.8	(4.9)
26	C22	完	形	チャート	4.4	3.1	1.1	17.4
27	B20	1/2	欠	チャート	3.1	(1.0)	(0.6)	(1.5)
28	A14	一部	欠	チャート	(3.8)	3.0	0.7	(9.4)
29	C19	刃部	破	チャート	(1.6)	(1.4)	(1.0)	(3.3)
30	A19	完	形	チャート	4.0	3.9	2.2	36.4
31	A15	1/2	欠	チャート	(2.6)	(2.2)	(1.3)	(6.6)
32	A5	1/2	欠	チャート	(2.1)	1.9	0.7	(3.5)
33	B17	完	形	チャート	2.1	1.4	0.3	1.1
34	A17	1/2	欠	チャート	(3.1)	(2.8)	(0.7)	(8.1)
35	A15	完	形	チャート	3.4	2.2	0.9	5.1
36	A5	完	形	チャート	2.5	1.8	0.6	2.5
37	B17	一部	欠	チャート	(2.5)	2.3	0.5	(2.5)
38	B9	完	形	チャート	3.6	2.7	1.3	14.7
39	C22	1/3	欠	珪質頁岩	3.1	(2.3)	0.9	(8.8)
40	A17	完	形	チャート	2.9	1.9	0.7	5.0
41	C21	完	形	チャート	2.9	2.0	0.7	3.9
42	C22	1/2	欠	流紋岩	(3.2)	(2.9)	(0.7)	(4.4)
43	C14	完	形	チャート	2.1	1.9	0.6	2.2
44	B11	完	形	チャート	2.6	1.8	0.4	1.6
45	表採	完	形	チャート	2.5	1.9	0.6	3.8
46	B22	一部	欠	チャート	(2.8)	2.4	0.6	(4.3)
47	C7	完	形	チャート	3.8	3.8	1.4	22.2
48	B10	完	形	チャート	3.3	3.0	0.9	10.1
49	表採	完	形	チャート	2.4	2.0	0.6	3.3
50	C15	完	形	チャート	2.7	1.5	1.0	3.9
51	B24	完	形	流紋岩	3.2	1.3	1.0	3.5
52	A18	完	形	チャート	4.8	2.3	0.8	12.0
53	表採	完	形	チャート	2.2	2.0	0.9	4.7
54	表採	完	形	チャート	5.3	3.5	1.5	26.1
55	C17	完	形	チャート	5.6	3.5	1.6	37.2
56	A15	一部	欠	チャート	3.5	(3.1)	1.0	(12.7)
57	C24	完	形	チャート	3.5	2.1	0.8	12.0
58	B9	一部	欠	チャート	3.0	(3.0)	0.7	(7.1)
59	C17第7層	一部	欠	流紋岩	(5.3)	(3.4)	1.5	(23.7)
60	B18	完	形	チャート	1.8	0.9	0.5	2.0
61	A7	完	形	チャート	5.0	4.5	1.2	35.0
62	A11	完	形	チャート	4.2	3.1	1.1	18.0

63	C13第7層	一部欠損	チャート	3.9	(2.4)	0.5	(8.0)
64	C9	一部欠損	チャート	3.0	1.7	1.1	(7.1)
65	C24	一部欠損	チャート	(2.0)	1.5	0.5	(1.8)
66	B9	完形	チャート	3.3	1.9	1.2	5.3
67	C9第7層	完形	チャート	3.0	2.2	0.8	6.6
68	B13	完形	チャート	3.1	1.7	0.7	5.0
69	B8	完形	チャート	4.9	3.1	1.5	36.5
70	B22第7層	完形	チャート	2.4	2.0	1.0	5.3
71	C7	完形	チャート	4.7	4.3	2.6	52.6
72	C7	完形	チャート	3.4	2.7	0.7	7.0
73	C6	完形	チャート	3.0	2.4	1.4	8.9
74	B9第7層	完形	チャート	3.8	3.0	1.0	13.3
75	A11	完形	チャート	3.6	3.3	0.9	12.4
76	A5	一部欠損	チャート	(2.7)	2.4	0.9	(5.8)
77	A6	一部欠損	チャート	(3.8)	(3.0)	1.2	(13.9)
78	B7	完形	チャート	4.2	3.1	0.6	23.5
79	C11	完形	チャート	3.6	2.3	0.4	15.0
80	C22	完形	チャート	4.1	2.1	0.9	8.8
81	B6第7層	一部欠損	下呂石	(4.2)	3.2	1.0	(12.6)
82	B6	完形	チャート	2.4	0.9	0.6	3.9
83	C22第7層	完形	チャート	2.0	1.3	0.5	1.7
84	A17	完形	チャート	2.6	1.8	0.7	3.8
85	C10	一部欠損	チャート	(2.3)	(1.9)	0.7	(3.5)
86	C24	一部欠損	チャート	4.5	(3.5)	1.5	(26.0)
87	C9	完形	チャート	3.3	3.1	1.0	16.5
88	C17	一部欠損	チャート	3.4	(2.5)	0.6	(6.5)
89	B19	完形	チャート	4.0	1.4	0.7	4.2
90	C4	完形	チャート	2.4	2.0	0.8	4.2
91	C7	完形	チャート	2.5	2.3	1.1	7.4
92	C23	完形	チャート	3.5	1.3	0.9	5.0
93	C4	完形	チャート	3.7	3.5	1.9	43.9
94	C7	完形	チャート	3.3	3.0	0.8	8.6
95	C4	完形	チャート	2.6	1.5	1.0	3.9
96	C6	完形	チャート	3.1	1.0	1.0	3.2
97	C9	完形	チャート	4.9	2.0	1.1	14.2
98	A14	完形	チャート	3.0	2.3	1.3	8.3
99	B6	完形	チャート	3.7	3.6	1.1	17.6
100	A6	完形	チャート	3.2	2.6	1.1	36.6
101	C19	完形	チャート	2.6	2.4	0.9	6.6
102	C6	完形	チャート	3.7	1.7	1.1	11.7
103	B4	完形	チャート	4.0	2.1	0.9	10.8
104	A9	1/3欠損	チャート	(2.0)	2.0	1.0	(5.6)
105	B6	一部欠損	チャート	3.3	(1.9)	0.7	(7.3)
106	A16	完形	チャート	2.0	1.8	1.0	3.4
107	A2	完形	チャート	3.3	3.2	1.4	17.2
108	A13第7層下部	完形	チャート	4.1	2.5	1.0	13.8
109	B6	完形	チャート	3.9	2.3	0.9	10.7
110	B10	完形	チャート	6.9	4.8	1.6	68.7
111	C20	完形	チャート	5.1	4.5	1.5	35.5
112	C24	完形	チャート	3.0	2.7	1.0	7.6
113	A17第7層下部	一部欠損	チャート	5.1	(3.2)	0.9	(19.4)
114	A18	完形	チャート	2.4	1.2	0.5	1.7
115	A9	2/3欠損	チャート	(2.1)	(1.0)	0.8	(1.7)

116	C20第7層	完	形	チヤート	2.0	1.2	0.3	1.2
117	C6	完	形	チヤート	5.4	4.4	2.0	46.2
118	C8	完	形	チヤート	2.2	2.0	0.7	5.7
119	C23	完	形	チヤート	4.1	2.9	1.3	19.6
120	B21	完	形	チヤート	1.7	0.5	0.3	0.4
121	C20	完	形	チヤート	3.6	1.9	0.5	4.8
122	B18	完	形	チヤート	2.2	1.0	0.4	0.8
123	表採	一部欠	損	チヤート	2.0	(1.5)	0.5	(2.2)
124	B12	完	形	チヤート	2.2	1.8	0.6	3.7
125	A11	完	形	チヤート	2.5	1.5	0.8	4.2
126	B19	完	形	チヤート	2.8	1.5	0.8	3.8
127	C10	完	形	チヤート	2.0	1.7	0.5	2.6
128	表採	完	形	チヤート	6.2	4.2	2.3	82.3
129	B21	完	形	チヤート	2.4	1.5	0.5	3.0
130	C12	完	形	チヤート	1.7	0.4	0.7	2.3
131	A20	完	形	チヤート	3.7	2.7	0.8	12.9
132	C17	完	形	流紋岩	3.0	1.8	0.6	4.4
133	B7	完	形	珪質頁岩	3.4	1.7	1.2	7.2
134	B4	完	形	チヤート	3.8	2.7	0.8	11.3
135	C4	完	形	チヤート	1.8	1.7	0.7	2.9
136	A20	完	形	チヤート	4.3	2.2	0.9	8.4
137	A22	完	形	チヤート	3.1	1.1	0.7	4.3
138	C11	完	形	チヤート	2.5	1.3	0.2	1.6
139	C9	完	形	チヤート	2.3	1.1	0.8	2.7
140	C5	一部欠	損	チヤート	(4.0)	(3.6)	1.5	(22.3)
141	C10第7層	1/3欠	損	チヤート	3.0	(2.2)	1.0	(7.1)
142	A4第7層	完	形	チヤート	3.0	3.0	1.0	6.1
143	B6	完	形	チヤート	3.9	3.2	1.3	23.6
144	B16	一部欠	損	チヤート	(2.5)	1.8	0.6	(3.8)
145	A4	完	形	チヤート	6.3	4.2	1.6	47.2
146	C20	完	形	チヤート	2.9	2.7	0.7	7.1
147	A21	刃部破	片	チヤート	(3.5)	(1.3)	(0.8)	(3.8)
148	C8	完	形	チヤート	4.7	1.6	1.2	9.0
149	B13	完	形	チヤート	27	1.5	0.8	3.1
150	A18	完	形	チヤート	3.1	2.4	0.8	7.3
151	C7	完	形	チヤート	3.7	2.4	1.1	9.5
152	A24	完	形	チヤート	4.6	2.8	1.1	27.5
153	表採	1/2欠	損	チヤート	(4.0)	3.8	0.7	(13.3)
154	B4	完	形	チヤート	4.1	2.4	1.5	14.5
155	C20	一部欠	損	チヤート	(4.9)	(3.6)	1.7	(25.0)
156	C8	一部欠	損	チヤート	3.8	(2.7)	0.6	(12.5)
157	C5	一部欠	損	チヤート	5.3	(3.1)	2.0	(33.2)
158	C14	完	形	チヤート	2.6	2.2	0.8	3.9
159	C10	完	形	チヤート	3.0	2.4	0.7	7.6
160	A6	1/2欠	損	チヤート	(3.3)	(1.5)	0.8	(6.3)
161	表採	完	形	チヤート	2.5	1.8	1.2	4.1
162	C8	完	形	チヤート	3.7	3.1	1.2	17.3
163	B19	完	形	チヤート	3.6	2.8	0.7	10.5
164	B12	完	形	チヤート	1.9	1.4	0.5	1.2
165	C18	完	形	流紋岩	3.2	3.0	0.8	10.8
166	A21	完	形	チヤート	2.5	2.0	0.6	4.2
167	B24	完	形	チヤート	3.7	2.6	0.6	8.7
168	A16	一部欠	損	チヤート	(3.7)	(3.5)	2.0	(23.4)

169	C7	完	形	チ	ヤ	ー	ト	2.6	1.9	0.7	5.4	
170	C6	完	形	チ	ヤ	ー	ト	3.5	2.7	0.7	8.3	
171	A13	完	形	チ	ヤ	ー	ト	1.9	1.9	0.5	1.5	
172	B20	完	形	チ	ヤ	ー	ト	3.2	2.1	0.8	6.2	
173	B6	完	形	チ	ヤ	ー	ト	5.0	3.8	1.1	13.2	
174	B17第3層	完	形	珪	質	頁	岩	3.3	2.3	1.0	7.9	
175	表採	完	形	チ	ヤ	ー	ト	2.3	2.2	0.6	4.3	
176	表採	完	形	下	呂	石		5.5	2.0	0.7	9.8	
177	B17	完	形	下	呂	石		4.2	3.1	1.1	14.4	
178	A22	完	形	下	呂	石		3.8	2.3	0.8	8.1	
179	C5	完	形	下	流	紋	岩	3.3	2.7	1.0	10.6	
180	A19	完	形	下	呂	石		4.0	3.2	1.1	15.4	
181	B11第7層	完	形	下	呂	石		3.6	2.5	1.5	11.6	
182	B9	一	部	欠	損	下	呂	石	(4.1)	(2.2)	0.6	(7.6)
183	C8	完	形	下	呂	石		3.1	1.6	0.7	4.2	
184	C8	完	形	下	呂	石		3.1	2.7	0.9	7.5	
185	B17	完	形	下	呂	石		2.6	2.1	0.8	4.7	
186	表採	完	形	下	呂	石		5.1	2.6	0.7	9.5	
187	A8	完	形	下	呂	石		4.4	3.4	1.2	15.0	
188	B24	完	形	下	呂	石		3.5	0.9	1.1	3.5	
189	A13	完	形	下	呂	石		3.6	2.0	1.1	7.6	
190	A15	完	形	下	呂	石		3.7	2.6	0.4	6.2	
191	B24	完	形	下	呂	石		2.7	0.9	0.4	1.9	
192	B18	完	形	下	呂	石		2.5	1.2	0.5	1.5	
193	A14	完	形	下	呂	石		2.5	2.0	0.6	2.6	
194	B23	完	形	下	呂	石		3.6	3.5	1.0	11.9	
195	B24	完	形	下	呂	石		3.2	0.9	0.9	3.4	
196	A22第7層	一	部	欠	損	下	呂	石	3.9	(2.5)	(1.5)	(13.6)
197	C6	完	形	下	呂	石		4.0	3.1	0.9	10.7	
198	A5	完	形	下	呂	石		3.7	3.6	0.7	13.1	
199	B24	½	欠	損	下	呂	石	(2.5)	(1.7)	0.6	(3.3)	
200	A20	完	形	下	呂	石		3.0	2.6	1.7	5.8	
201	B12	完	形	下	呂	石		2.6	1.3	1.5	2.3	
202	表採	完	形	下	呂	石		3.5	3.3	0.8	9.1	
203	C9	完	形	下	呂	石		3.9	2.6	1.6	14.1	
204	C4	完	形	下	呂	石		2.0	1.1	0.4	1.0	
205	表採	完	形	下	呂	石		2.1	2.1	1.6	3.3	
206	C7	完	形	下	呂	石		4.5	2.2	1.4	15.5	
207	C16	完	形	下	呂	石		2.8	1.5	0.9	5.5	
208	A5	完	形	下	呂	石		4.4	4.1	1.5	26.2	
209	B5	完	形	下	呂	石		3.4	1.8	0.7	4.1	
210	A7	完	形	下	呂	石		4.0	2.0	0.4	12.5	
211	B18	完	形	下	呂	石		3.7	2.0	0.8	5.8	
212	B15	完	形	下	呂	石		3.5	1.7	1.0	5.2	
213	B20第7層	一	部	欠	損	下	呂	石	3.3	(1.3)	0.3	(1.6)
214	B22	完	形	下	呂	石		1.9	1.5	0.5	2.1	
215	C24	一	部	欠	損	下	呂	石	(2.2)	2.1	0.9	(4.0)
216	C28	完	形	下	呂	石		2.8	1.5	0.5	2.8	
217	C15	完	形	下	呂	石		4.5	3.8	1.6	32.1	
218	A12第7層	完	形	下	呂	石		4.2	3.6	0.9	15.5	
219	表採	完	形	下	呂	石		4.9	2.8	0.5	7.5	
220	A11	完	形	下	呂	石		4.1	3.6	1.3	20.3	
221	C22	完	形	下	呂	石		3.2	1.7	0.8	3.1	

222	表採	完	形	下	呂	石	4.1	2.4	1.4	10.9		
223	B6	完	形	下	呂	石	4.4	3.0	0.9	10.9		
224	表採	一	部	欠	損	下	呂	石	(4.1)	3.5	1.0	(17.3)
225	B5	完	形	下	呂	石	4.4	4.2	1.1	20.9		
226	A21第7層	完	形	下	呂	石	3.6	2.6	1.3	7.1		
227	C12	完	形	下	呂	石	2.5	2.2	1.1	6.3		
228	B9	完	形	下	呂	石	3.1	2.6	1.4	8.4		
229	B14	$\frac{2}{3}$	欠	損	下	呂	石	(1.8)	(2.0)	(0.6)	(2.0)	
230	B5	完	形	下	呂	石	5.1	4.6	0.9	19.4		
231	A21	完	形	下	呂	石	3.6	2.8	1.2	8.5		
232	B13	完	形	下	呂	石	5.0	2.9	1.1	14.0		
233	B16	完	形	下	呂	石	2.8	1.9	0.8	3.8		
234	C12	$\frac{1}{2}$	欠	損	下	呂	石	(2.9)	(1.6)	(0.4)	(2.1)	
235	B20	完	形	下	呂	石	2.5	1.7	0.6	2.3		
236	表採	$\frac{1}{2}$	欠	損	下	呂	石	(2.1)	(2.6)	(0.7)	(3.9)	
237	C16	$\frac{1}{3}$	欠	損	下	呂	石	(3.2)	(2.2)	0.6	(3.5)	
238	B7	$\frac{1}{2}$	欠	損	下	呂	石	(2.9)	(2.4)	(0.8)	(6.7)	
239	C22	刃	部	破	片	下	呂	石	(1.9)	(0.7)	(0.8)	(1.1)
240	B11	完	形	下	呂	石	2.9	2.1	0.7	5.6		
241	B23	完	形	下	呂	石	3.3	1.7	0.6	3.0		
242	A18	完	形	下	呂	石	3.0	1.8	0.8	3.6		
243	A18	一	部	欠	損	下	呂	石	(4.2)	3.9	1.2	(22.0)
244	C19	完	形	下	呂	石	4.1	2.7	1.2	14.5		
245	B12	$\frac{1}{2}$	欠	損	下	呂	石	(2.5)	(2.5)	(0.5)	(3.6)	
246	A11	完	形	下	呂	石	4.0	3.3	0.7	7.4		
247	B16	完	形	下	呂	石	2.6	2.0	0.6	3.4		
248	C8	完	形	下	呂	石	2.1	1.7	0.5	2.0		
249	B18	完	形	下	呂	石	3.6	1.8	0.8	3.1		
250	C4	完	形	下	呂	石	4.6	4.0	1.2	17.6		
251	A20	$\frac{1}{3}$	欠	損	下	呂	石	(3.4)	3.4	0.9	(7.7)	
252	A16	完	形	下	呂	石	3.0	2.5	0.7	4.6		
253	C13	完	形	下	呂	石	2.5	1.7	0.6	2.3		
254	A23	完	形	下	呂	石	2.8	2.2	0.8	5.3		
255	B9	完	形	下	呂	石	3.7	3.7	0.8	9.6		
256	B24	完	形	下	呂	石	2.9	1.9	0.9	4.6		
257	A12	刃	部	破	片	下	呂	石	(1.8)	(1.5)	(0.6)	(1.0)
258	B20	完	形	下	呂	石	2.6	1.7	0.6	2.2		
259	C20第7層	完	形	輝	石	安山岩	3.2	2.7	0.8	7.7		
260	B22	完	形	安	山	岩	6.4	5.7	1.8	72.7		
261	C24第7層	$\frac{1}{3}$	欠	損	輝	石	安山岩	(4.0)	4.0	1.2	(29.1)	
262	A8	完	形	黑	曜	石	2.8	1.9	0.5	3.2		
263	C14	完	形	黑	曜	石	1.9	1.9	0.7	2.5		
264	表採	完	形	黑	曜	石	1.9	1.6	0.8	2.4		
265	C20	完	形	黑	曜	石	3.7	2.6	1.0	8.6		
266	B14	完	形	黑	曜	石	2.4	2.3	0.8	4.1		
267	A16	完	形	黑	曜	石	3.3	2.2	0.6	4.7		
268	C13	刃	部	破	片	黑	曜	石	(1.6)	(1.2)	(0.3)	(0.5)
269	C17	完	形	黑	曜	石	2.5	2.1	0.6	2.9		
270	B4第7層	完	形	黑	曜	石	2.1	1.7	0.4	1.2		
271	C12	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.6	3.1	0.7	9.1	
272	C9	$\frac{1}{2}$	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(2.5)	(1.1)	(0.6)	(2.1)
273	C9	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.6	2.0	0.7	4.1	
274	C3	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.0	1.6	0.7	4.6	

275	A1	完	形	チャート	3.8	3.1	1.0	11.6	
276	A2	完	形	チャート	3.8	2.8	0.8	8.6	
277	C9	1/2	欠損	チャート	(2.8)	(1.9)	(0.9)	(5.4)	
278	C1	完	形	チャート	2.3	2.0	0.8	3.7	
279	A7	一部	欠損	チャート	(6.7)	5.5	2.0	(68.6)	
280	A18	完	形	チャート	2.3	2.0	1.1	6.1	
281	C18	1/3	欠損	チャート	(3.6)	2.4	1.4	(9.5)	
282	C18	完	形	チャート	3.8	3.1	1.1	12.4	
283	C1	1/2	欠損	チャート	(2.3)	(1.9)	(0.7)	(3.5)	
284	C15	完	形	チャート	3.9	2.9	1.2	16.5	同1
285	C16	完	形	チャート	4.6	4.2	0.8	16.3	
286	C16	完	形	流紋岩	4.9	3.1	1.2	17.0	
287	C1	完	形	チャート	3.3	2.8	1.0	10.1	
288	表採	完	形	チャート	3.7	3.4	0.6	10.5	
289	A3	完	形	下呂石	3.8	2.9	1.2	10.7	
290	C8	1/2	欠損	チャート	(2.9)	(1.8)	(0.6)	(3.2)	
291	表採	1/3	欠損	下呂石	(2.3)	2.2	0.8	(3.5)	
292	表採	完	形	下呂石	3.0	1.7	0.5	2.2	
293	B21	刃部	破片	下呂石	(2.3)	(1.5)	0.3	(1.1)	
294	B17	1/3	欠損	下呂石	(4.0)	(2.7)	(0.9)	(8.1)	
295	C1	完	形	下呂石	4.5	2.8	1.0	13.0	
296	A18	完	形	下呂石	2.3	1.4	0.4	1.2	
297	B2	完	形	玉髓	4.7	3.1	1.2	17.2	
298	B2	完	形	珪質頁岩	5.1	2.7	1.0	18.1	
299	A18	完	形	珪質頁岩	3.4	1.7	0.8	4.2	
300	A18	完	形	黒曜石	3.5	2.8	1.2	11.3	
301	表採	完	形	下呂石	3.8	2.9	0.9	10.5	
302	B16	完	形	流紋岩	2.0	1.9	0.4	2.3	
303	A20	完	形	珪質頁岩	5.6	5.3	1.6	46.0	
304	C9	完	形	珪質頁岩	5.1	2.9	1.8	23.7	
305	A16	完	形	珪質頁岩	3.9	3.0	0.9	12.6	
306	A18	完	形	珪質頁岩	3.5	2.6	0.8	7.8	
307	A2	完	形	チャート	7.4	3.7	2.2	80.1	
308	A17	1/3	欠損	メノウ	(4.9)	4.7	1.0	(43.8)	
309	C19	完	形	流紋岩	6.0	4.9	1.4	29.6	
310	C14第7層	完	形	チャート	4.4	2.8	1.1	12.9	
311	C23	完	形	珪質頁岩	3.2	2.4	0.9	8.1	
312	C1	完	形	チャート	4.3	2.8	1.8	24.5	
313	C7	1/2	欠損	チャート	(2.7)	(1.3)	(0.6)	(2.0)	
314	A20	完	形	メノウ	4.9	3.3	1.4	16.5	
315	A7第7層下部	完	形	流紋岩	4.5	2.8	0.8	7.5	
316	C8	完	形	チャート	20.8	5.4	3.0	138.7	
317	C23	完	形	ホルンフェルス	3.9	2.6	0.8	10.5	同2
318	A12	完	形	珪質頁岩	3.2	2.0	1.3	6.5	
319	C22	1/3	欠損	珪質頁岩	(3.0)	(2.0)	(0.7)	(3.4)	
320	B11	完	形	珪質頁岩	4.0	2.8	0.9	11.8	

第103表 うづか地点スクレイパーⅡ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	N7	完形	玉髓	4.1	3.7	1.2	21.8	第95図4
2	N7	1/2欠損	珪質頁岩	(3.3)	(2.1)	(1.0)	(9.0)	



3	N8	完	形	珪質頁岩	2.3	1.8	0.8	3.5
4	R9	刃部破片		輝石安山岩	(3.7)	(2.5)	(0.9)	(12.0)
5	J8Ⅱ	完	形	チャート	4.6	3.8	3.2	76.9
6	表採	完	形	玉髓	4.7	4.3	1.7	45.2
7	O7	完	形	チャート	7.0	5.2	2.5	50.9
8	M7Ⅱ	完	形	チャート	4.0	3.2	1.2	18.6
9	L7Ⅱ	½欠損		チャート	(3.5)	(2.6)	(1.1)	(14.7)
10	表採	完	形	チャート	2.3	2.2	0.6	4.1
11	L9Ⅱ	½欠損		チャート	(2.0)	(1.5)	(0.8)	(3.0)
12	Q12	刃部破片		チャート	(1.8)	(1.0)	(0.7)	(1.8)
13	P6	完	形	チャート	4.1	3.0	1.2	13.3
14	表採	完	形	チャート	3.3	2.3	0.9	9.4
15	L7Ⅱ	⅓欠損		チャート	(3.1)	2.4	1.0	(9.1)
16	L7Ⅱ	完	形	チャート	2.8	2.4	0.8	9.6
17	P6	完	形	チャート	2.5	1.8	0.6	3.1
18	N5Ⅱ	⅓欠損		下呂石	(2.8)	(2.0)	0.7	(4.3)
19	O6	⅓欠損		流紋岩	(3.1)	(2.4)	0.8	(6.5)
20	O7	完	形	チャート	5.3	3.2	1.2	24.5
21	L7Ⅱ	刃部破片		チャート	(2.5)	(1.1)	(0.6)	(2.1)
22	表採	刃部破片		下呂石	(3.2)	(1.2)	(0.7)	(3.4)
23	F8	完	形	チャート	2.5	2.0	0.8	4.9
24	F6Ⅱ	½欠損		チャート	(2.9)	(1.6)	0.6	(3.5)
25	H7	完	形	チャート	3.7	1.3	0.6	4.1
26	I8Ⅲ	刃部破片		チャート	(3.5)	(1.4)	(1.0)	(6.8)
27	F6Ⅱ	刃部破片		チャート	(2.3)	(1.3)	(0.7)	(2.5)
28	H9	刃部破片		チャート	(1.9)	(1.0)	(0.5)	(1.2)
29	表採	完	形	チャート	4.5	2.7	1.0	12.4
30	表採	刃部破片		チャート	(2.1)	(2.0)	(1.2)	(6.1)
31	H9Ⅱ	完	形	チャート	3.8	2.1	1.3	14.0
32	H9Ⅱ	完	形	チャート	3.6	2.7	1.3	12.3
33	H6Ⅱ	⅓欠損		チャート	2.3	(1.7)	0.6	(3.6)
34	I7	完	形	チャート	3.2	1.6	0.9	5.9
35	表採	完	形	玉髓	3.2	2.3	1.6	14.0

第104表 センター地点スクレイパーⅡ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C8	完形	チャート	2.7	1.8	0.6	3.0	
2	B6	½欠損	チャート	(1.7)	(1.6)	0.7	(3.0)	
3	B7Ⅱ b	完形	チャート	2.5	2.2	1.0	6.8	
4	住居内	完形	下呂石	3.7	3.2	0.5	9.4	
5	B11	刃部破片	黒曜石	(2.2)	(1.1)	(0.7)	(1.4)	
6	C7	刃部破片	チャート	(1.4)	(1.3)	(0.7)	(1.5)	
7	C7	刃部破片	チャート	(1.7)	(1.6)	(0.5)	(1.8)	
8	B11	⅓欠損	チャート	(2.5)	2.1	0.7	(5.0)	
9	A11	完形	チャート	4.1	3.1	0.8	9.9	
10	C9	⅓欠損	チャート	2.3	(1.7)	0.5	(2.1)	
11	C7	完形	チャート	2.6	2.0	0.6	2.7	
12	B5Ⅱ b	完形	下呂石	4.0	3.2	1.4	14.4	

第105表 宮ノ前地点スクレイパーⅢ類一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	7・8	3層	完形	下呂石	3.6	1.3	0.5	2.3	
2	27	4層	完形	チャート	3.4	2.1	0.7	4.3	
3	7	4層	完形	下呂石	3.5	3.2	0.9	11.3	
4	27	3層	完形	チャート	3.2	2.0	0.6	3.0	
5	3	4層	完形	チャート	3.0	2.6	0.7	5.9	
6	3	4層	完形	黒曜石	3.0	1.6	1.1	3.3	
7	26	4層	完形	チャート	2.9	2.2	0.7	3.8	
8	27	4層	完形	チャート	3.3	2.8	0.4	3.8	
9	7	4層	完形	チャート	4.0	2.0	0.7	5.9	
10	7	3層	完形	下呂石	2.5	1.5	0.5	1.7	
11	22	4層	完形	チャート	3.6	1.3	0.7	3.0	
12	25	3層	完形	チャート	2.3	1.6	0.3	1.9	
13	31	3層	完形	珪質頁岩	5.0	2.0	0.7	6.3	
14	26	3層	完形	チャート	4.0	2.4	0.8	6.1	
15	22	4層	完形	チャート	3.5	3.0	0.5	6.8	
16	26	4層	完形	チャート	3.5	2.4	0.9	7.4	
17	38	3・4層	完形	チャート	3.8	1.5	0.4	2.5	
18	1	3層	完形	チャート	2.8	2.3	0.8	6.8	
19	3	4層	完形	チャート	3.7	2.8	0.6	5.6	
20	3	4層	完形	黒曜石	2.3	1.7	0.8	3.2	
21	3	4層	1/3欠損	下呂石	(3.3)	2.2	0.5	(3.3)	
22	38	3・4層	完形	チャート	4.5	3.9	1.5	25.4	
23	12	4層	完形	下呂石	4.1	4.5	1.0	10.4	
24	22	3層	完形	黒曜石	2.5	1.5	0.7	1.5	
25	22	4層	1/2欠損	チャート	(3.4)	(1.9)	(0.5)	(3.2)	
26	23	4層	完形	チャート	3.9	3.3	1.1	12.2	
27	23	4層	完形	下呂石	2.2	2.0	0.6	2.7	
28	22・23拵	4層	完形	下呂石	2.9	2.2	0.4	3.4	
29	26	4層	完形	珪質凝灰岩	3.7	2.9	1.0	10.0	
30	52	3層	完形	チャート	3.0	2.2	0.9	5.6	
31	25	4層	完形	チャート	3.0	2.1	0.8	5.8	
32	23	4層	完形	下呂石	3.1	2.2	0.8	4.2	
33	22・23拵	4層	完形	下呂石	5.5	3.9	1.3	23.3	
34	52	3層	1/2欠損	チャート	2.5	(1.8)	0.6	(2.9)	
35	41	4層	刃部一部欠損	チャート	(2.1)	2.0	0.3	(1.8)	
36	24	4層	刃部一部欠損	チャート	(2.5)	1.7	0.5	(2.2)	
37	52	3層	完形	チャート	4.1	2.2	0.7	7.1	
38	22・23拵	4層	完形	下呂石	2.7	1.9	0.5	2.3	
39	23	4層	完形	チャート	4.1	2.5	1.1	8.1	
40	52	3層	完形	チャート	3.4	1.8	0.7	3.1	
41	23	4層	完形	チャート	5.5	3.3	0.6	12.3	
42	45	3層	1/3欠損	チャート	(4.6)	(2.4)	(1.1)	(10.0)	
43	4	4層	2/3欠損	チャート	(2.4)	(1.6)	(1.0)	(2.6)	
44	23	4層	一部欠損	チャート	(2.6)	2.4	1.0	(7.1)	
45	38	3・4層	完形	下呂石	2.7	2.2	0.7	4.3	
46	22・23拵	4層	完形	チャート	3.0	2.2	0.6	4.2	
47	8	3層	完形	下呂石	3.7	2.2	0.7	4.7	
48	31	3層	完形	チャート	3.1	2.8	1.2	11.1	
49	26	3層	完形	下呂石	2.7	2.0	1.0	3.3	
50	12	4層	刃部破片	チャート	(2.6)	(1.6)	(0.3)	(1.6)	

51	26	4層	完	形	チャート	3.2	2.2	0.5	5.4
52	31	3層	完	形	下呂石	3.5	1.3	1.2	4.8
53	11	3層	完	形	チャート	3.6	3.2	1.0	12.9
54	42	4層	完	形	チャート	2.2	2.0	0.4	1.7
55	11	3層	完	形	チャート	4.4	2.5	1.2	13.2
56	24	4層	完	形	下呂石	2.8	2.8	1.0	7.0
57	41	3・4層	完	形	下呂石	6.4	2.8	1.7	29.4
58	23	4層	完	形	下呂石	3.0	2.6	0.9	7.2
59	51	3層	完	形	チャート	2.8	2.5	0.3	5.9
60	26	4層	完	形	チャート	3.6	2.2	0.9	8.2
61	32	3層	完	形	下呂石	4.5	3.2	1.1	13.9
62	42	4層	完	形	チャート	2.8	1.9	0.3	3.2
63	24	4層	完	形	下呂石	2.4	1.7	0.5	2.0
64	42	4層	完	形	チャート	3.8	3.3	0.6	8.9
65	31	3層	完	形	チャート	3.5	3.2	1.2	16.0
66	34	3層	一部欠	損	チャート	(3.0)	1.6	0.4	(2.3)
67	31	3層	完	形	チャート	3.3	2.7	0.7	7.0
68	31	3層	刃部破	片	チャート	(2.9)	(1.2)	(0.6)	(2.0)
69	24	4層	完	形	下呂石	2.7	2.2	0.5	1.8
70	26	4層	完	形	下呂石	2.7	1.7	0.5	2.1
71	42	4層	完	形	チャート	3.3	2.5	1.0	9.3
72	26	4層	完	形	下呂石	4.0	2.3	0.7	6.1
73	26	4層	完	形	下呂石	5.2	3.7	1.0	21.4
74	26	4層	完	形	下呂石	4.8	3.5	1.4	28.4
75	24拵	4層	完	形	下呂石	3.0	2.1	0.3	2.7
76	24	4層	完	形	下呂石	3.2	1.2	0.4	2.2
77	27	4層	一部欠	損	チャート	(2.8)	1.5	0.9	(3.2)
78	26	4層	完	形	チャート	3.0	2.7	0.6	5.6
79	32	3層	完	形	チャート	4.6	3.5	0.8	11.7
80	11	3層	完	形	チャート	4.2	1.9	0.7	6.8
81	21	3層	完	形	チャート	3.4	2.6	1.2	7.5
82	24	4層	完	形	チャート	2.8	2.0	0.4	2.5
83	12	4層	完	形	チャート	3.2	1.7	0.6	2.9
84	26	4層	完	形	チャート	2.9	2.3	0.5	4.2
85	24	4層	完	形	チャート	3.4	1.7	0.7	4.0
86	12	4層	完	形	チャート	1.7	1.4	0.3	0.7
87	31	3層	刃部破	片	チャート	(1.8)	(1.6)	(0.5)	(1.0)
88	26	4層	完	形	チャート	3.6	3.3	0.9	9.9
89	24	4層	刃部一部欠	損	チャート	4.5	2.5	1.1	(16.2)
90	23	4層	完	形	チャート	5.6	4.6	1.2	28.8
91	31	3層	完	形	チャート	2.8	1.8	0.6	3.2
92	22・23拵	4層	1/3欠	損	チャート	(3.2)	3.1	0.6	(8.2)
93	27	4層	完	形	下呂石	4.2	2.2	1.0	6.8
94	25	4層	完	形	下呂石	4.2	3.1	0.7	6.7
95	22・23拵	4層	完	形	下呂石	3.1	2.6	1.2	6.0
96	23	3層	完	形	下呂石	3.1	2.5	0.6	5.3
97	3	4層	完	形	下呂石	3.9	2.5	1.2	9.2
98	22・23拵	4層	刃部一部欠	損	下呂石	4.0	(2.2)	0.5	(4.7)
99	7	3層	完	形	下呂石	3.6	2.4	1.1	9.2
100	7	3層	完	形	下呂石	2.8	2.2	0.7	4.0
101	22	4層	一部欠	損	下呂石	(2.5)	2.4	0.6	(3.8)
102	31	3層	完	形	下呂石	4.7	2.6	0.6	5.4
103	22	4層	一部欠	損	チャート	(3.0)	2.1	0.8	(7.0)

104	35	3層	完	形	チャー卜	3.3	2.8	0.6	7.5
105	22	3層	完	形	チャー卜	2.3	2.0	0.5	2.3
106	34	3層	刃部一部欠損		チャー卜	(2.4)	2.0	0.5	(2.0)
107	31	3層	完	形	チャー卜	2.2	2.2	0.5	3.2
108	27	4層	完	形	玉 髓	3.3	1.6	0.5	3.6
109	11	3層	刃部	破片	チャー卜	(2.6)	(1.5)	(0.5)	(2.0)
110	31	3層	完	形	チャー卜	1.7	1.6	0.4	0.9
111	12	4層	完	形	チャー卜	6.4	5.0	1.4	5.6
112	22・23抃	4層	完	形	チャー卜	3.3	2.5	0.7	6.8
113	22・23抃	4層	完	形	チャー卜	3.5	2.1	0.5	3.5
114	22	4層	完	形	珪質頁岩	5.3	2.6	1.5	15.9
115	7	3層	完	形	チャー卜	3.1	2.8	0.7	5.7
116	34	3層	完	形	チャー卜	2.4	2.1	0.5	2.9
117	22	3層	完	形	チャー卜	4.9	2.0	0.7	8.0
118	7	3層	完	形	チャー卜	4.6	2.2	0.5	4.5
119	25	4層	刃部一部欠損		チャー卜	(4.8)	3.2	1.0	(14.8)
120	32	4層	完	形	チャー卜	3.1	3.0	1.6	8.0
121	32	4層	完	形	珪質頁岩	5.2	2.2	0.5	6.9
122	19・20	2層	刃部一部欠損		下呂石	(4.6)	2.7	0.8	(9.8)
123	32	3層	完	形	下呂石	4.7	3.9	0.8	12.9
124	3	4層	完	形	チャー卜	4.2	3.4	1.2	16.4
125	23	3層	完	形	下呂石	3.6	2.9	1.2	5.7
126	31	3層	完	形	下呂石	3.4	2.8	1.5	9.2
127	25	4層	完	形	下呂石	3.4	1.7	0.7	2.3
128	7	3層	完	形	下呂石	2.6	2.4	0.7	3.8
129	31	3層	完	形	下呂石	2.1	2.0	0.3	1.3
130	7	3層	刃部一部欠損		下呂石	(2.5)	2.2	1.0	(3.8)
131	8	4層	完	形	下呂石	4.9	4.8	1.4	21.1
132	8	3層	完	形	下呂石	3.9	2.7	0.7	6.9
133	23	3層	完	形	下呂石	3.2	1.7	0.7	3.4
134	7	3層	完	形	チャー卜	2.5	2.0	0.7	3.5
135	24	4層	完	形	チャー卜	3.2	2.4	0.7	5.8
136	32	4層	完	形	チャー卜	4.1	2.7	1.2	12.6
137	表探	—	完	形	チャー卜	3.5	2.7	1.0	8.8
138	31	3層	完	形	チャー卜	3.2	2.0	0.5	3.7
139	12	3層	完	形	チャー卜	3.9	1.4	0.4	2.3
140	23	3層	完	形	チャー卜	2.9	1.3	0.4	2.0
141	5	3層	完	形	チャー卜	4.6	2.2	0.8	11.0
142	4	4層	刃部一部欠損		チャー卜	(3.3)	2.2	0.7	(5.1)
143	22	4層	完	形	チャー卜	3.1	1.9	0.8	5.0
144	8	3層	完	形	チャー卜	2.5	2.0	0.7	4.6
145	21	4層	完	形	チャー卜	3.0	3.0	0.8	7.3
146	31	3層	1/3 欠	損	チャー卜	(3.8)	(3.1)	0.9	(9.9)
147	31	3層	完	形	チャー卜	4.0	3.0	1.0	10.1
148	2	3層	完	形	チャー卜	3.1	2.5	0.6	4.2
149	34	3層	完	形	チャー卜	3.3	2.6	0.5	6.4
150	25	4層	完	形	チャー卜	3.6	1.8	0.5	3.7
151	42	4層	完	形	チャー卜	4.7	3.7	1.3	18.7
152	11	3層	完	形	チャー卜	4.9	3.6	0.8	15.8
153	4	4層	一部欠損		チャー卜	(2.6)	1.9	0.7	(3.2)
154	32	3層	完	形	チャー卜	3.4	2.6	1.0	8.1
155	6	3層	刃部一部欠損		チャー卜	2.1	2.1	0.7	(3.5)
156	11	3層	完	形	チャー卜	2.5	2.4	1.0	7.1

157	22	4層	刃部一部欠損	チャート	(2.4)	2.3	0.8	(3.8)
158	12	3層	完形	チャート	3.0	2.0	1.0	5.9
159	34	3層	完形	下呂石	3.0	2.0	0.6	2.9
160	2	3層	完形	玉髓	3.0	2.0	0.6	3.7
161	32	3層	完形	珪質頁岩	3.3	1.8	0.4	3.1
162	2	4層	完形	チャート	3.6	2.0	0.5	4.3
163	7	3層	完形	黒曜石	2.1	1.8	0.5	1.5
164	12	3層	完形	下呂石	4.2	3.0	0.8	10.0
165	12	3層	1/3欠損	チャート	(3.0)	2.0	0.6	(3.7)
166	6	4層	完形	下呂石	3.9	3.6	0.6	10.7
167	27	3層	完形	チャート	3.1	2.1	0.8	5.7
168	31	4層	完形	チャート	3.6	2.1	0.7	5.2
169	2	3層	完形	チャート	3.1	2.1	0.8	4.8
170	27	3層	完形	下呂石	3.6	2.0	1.0	5.6
171	7	4層	完形	下呂石	5.2	2.1	1.4	13.3
172	23	4層	完形	チャート	4.7	2.7	0.9	10.0
173	27	3層	完形	チャート	3.1	2.2	0.6	5.8
174	11	3層	完形	下呂石	2.6	2.5	0.6	3.5
175	45	3層	完形	チャート	2.5	2.3	0.7	4.3
176	7・8	3層	完形	チャート	2.4	2.4	1.1	8.8
177	2	4層	完形	黒曜石	3.3	1.8	0.9	3.3
178	7・8	3層	完形	チャート	3.0	2.0	1.0	6.6
179	2	4層	完形	下呂石	3.1	1.4	0.2	1.4
180	11	4層	刃部一部欠損	チャート	(2.6)	2.5	0.7	(4.6)
181	41	4層	完形	下呂石	5.2	2.5	0.5	4.8
182	5	3層	完形	下呂石	2.0	1.6	0.8	2.2
183	12	4層	完形	チャート	2.7	2.2	0.9	4.2
184	23	3層	完形	チャート	3.0	2.1	0.5	3.1
185	1	3層	完形	チャート	3.0	1.6	0.5	2.7
186	12	4層	完形	珪質頁岩	2.7	1.9	1.0	4.3
187	45	3層	完形	チャート	4.5	2.5	0.6	8.7
188	12	4層	完形	チャート	4.1	3.0	0.9	12.2
189	4	4層	完形	流紋岩	3.0	0.9	0.5	1.2
190	22	3層	完形	下呂石	3.0	1.3	0.4	1.8
191	7	4層	完形	チャート	4.1	3.3	1.5	16.5
192	22・23拡	4層	完形	下呂石	2.7	2.1	0.7	3.1
193	9	3層	刃部破片	チャート	(1.8)	(1.6)	(0.4)	(1.5)
194	27	3層	完形	チャート	3.8	1.6	1.1	5.4
195	1	3層	完形	チャート	3.6	2.0	0.6	3.6
196	7・8	3層	完形	下呂石	2.7	1.5	0.7	2.6
197	1	4層	完形	下呂石	3.1	2.8	0.7	6.5
198	1	4層	完形	流紋岩	5.6	3.0	1.0	19.5

第106表 前田地点上層スクレイパーⅢ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A19第7層	完形	下呂石	5.2	1.9	0.5	4.3	
2	B17	一部欠損	下呂石	(3.8)	3.4	0.7	(11.2)	
3	A4	完形	下呂石	4.4	3.1	0.7	12.2	
4	B17	完形	下呂石	5.5	2.8	0.6	9.5	第95図17
5	C9	完形	チャート	3.6	3.2	0.9	9.7	同16
6	B8	完形	チャート	4.8	2.7	0.6	8.5	同15

7	A13	完	形	チャート	3.3	1.7	0.5	3.1	同11
8	C9	完	形	チャート	3.3	2.5	0.6	5.8	同14
9	C9	完	形	チャート	4.2	3.5	1.0	20.5	
10	A4	完	形	チャート	4.7	3.2	1.2	15.7	
11	B23	完	形	下呂石	5.0	4.4	1.0	18.2	
12	C19	完	形	チャート	3.7	2.4	1.0	9.0	
13	B4	完	形	チャート	2.9	2.0	0.6	4.3	
14	C23	完	形	チャート	4.7	3.2	1.0	12.3	
15	A5	一部欠損	形	チャート	(3.0)	2.5	0.5	(4.1)	
16	C4	完	形	チャート	3.8	2.4	0.9	8.7	
17	C5	完	形	チャート	4.6	3.6	1.2	24.3	
18	C4	刃部破片	下呂石	(2.0)	(1.4)	(0.4)	(1.3)		
19	B14第7層	完	形	チャート	3.8	3.3	0.8	9.9	
20	C6	完	形	チャート	4.0	3.6	0.8	9.6	
21	B11	完	形	チャート	3.1	2.2	0.8	5.8	
22	B5	完	形	チャート	2.8	1.8	0.4	2.2	
23	A21	完	形	チャート	2.1	1.7	0.6	2.2	
24	A5第7層	完	形	チャート	1.8	1.3	0.4	1.3	
25	B15	完	形	チャート	2.5	2.2	1.1	6.2	
26	B5	完	形	チャート	2.4	2.1	0.5	1.1	
27	C20	完	形	チャート	4.2	2.7	0.7	7.9	
28	C19	完	形	チャート	2.9	2.3	0.9	5.8	
29	A5第7層	完	形	チャート	3.4	2.9	1.7	16.8	
30	B21	刃部破片	チャート	(3.1)	(1.2)	(0.7)	(2.1)		
31	C9	完	形	チャート	2.5	1.0	0.7	1.4	
32	A14	完	形	チャート	3.8	1.9	0.9	6.2	
33	C10	完	形	チャート	2.6	2.7	3.2	3.2	
34	A21	完	形	チャート	4.4	3.0	1.8	17.7	
35	B11	完	形	チャート	3.5	3.1	0.9	5.8	
36	A6	完	形	チャート	4.4	2.7	1.1	10.3	
37	A6	完	形	チャート	3.1	2.6	1.3	12.8	
38	A14	完	形	チャート	3.4	1.5	0.7	4.0	
39	C10	完	形	チャート	1.8	1.2	0.3	0.8	
40	B4	完	形	チャート	1.9	1.8	1.7	2.5	
41	A21	完	形	チャート	3.9	2.7	1.4	12.8	
42	A5	完	形	チャート	2.6	2.5	0.9	5.9	
43	B14	完	形	チャート	2.7	2.0	1.2	4.2	
44	A11	完	形	チャート	3.2	2.1	0.5	4.6	
45	B17	完	形	チャート	3.2	2.8	0.8	4.6	
46	A5	完	形	チャート	2.8	2.1	0.6	2.7	
47	A6	完	形	珪質頁岩	2.6	1.1	0.9	3.0	
48	C17	完	形	チャート	2.0	1.3	0.5	1.0	
49	A17	完	形	チャート	2.5	2.2	0.5	2.6	
50	B22	完	形	チャート	3.1	1.9	0.6	5.2	
51	B16	一部欠損	チャート	2.8	2.0	0.4	(3.4)		
52	C20	完	形	チャート	2.9	2.2	1.2	7.5	
53	B15	完	形	チャート	4.5	2.5	0.5	9.6	
54	B14	完	形	チャート	3.3	3.2	1.0	11.5	
55	表採	完	形	チャート	2.1	2.1	1.0	5.5	
56	表採	完	形	チャート	3.5	2.1	1.7	6.3	
57	C21	一部欠損	チャート	(2.1)	1.6	0.6	(2.5)		
58	B12	完	形	チャート	3.3	1.5	1.3	7.7	
59	B10	完	形	チャート	2.5	1.9	0.6	2.6	

60	B18	完	形	チャート	2.1	1.6	0.6	2.0
61	B21	完	形	チャート	1.6	1.0	0.5	0.9
62	A12	一部欠損	形	チャート	2.3	(1.6)	0.4	(1.7)
63	A24	完	形	チャート	3.7	1.2	1.1	4.5
64	C14	完	形	チャート	2.2	1.5	0.7	2.4
65	B13	完	形	チャート	3.2	3.1	0.8	10.5
66	C12	一部欠損	形	チャート	(2.4)	2.1	1.1	(7.4)
67	A10	完	形	チャート	2.3	1.4	0.4	2.1
68	B21	完	形	チャート	3.3	1.1	1.2	6.7
69	B10	完	形	チャート	3.7	2.0	1.8	7.1
70	C20	完	形	チャート	4.1	1.6	1.1	8.5
71	B23	完	形	チャート	1.9	1.2	0.5	2.0
72	C9	完	形	チャート	1.8	1.6	0.8	2.5
73	B16	完	形	チャート	2.1	1.5	0.6	2.2
74	B17	完	形	チャート	2.2	1.0	0.4	0.9
75	B16	完	形	チャート	3.0	2.0	1.7	3.4
76	B10	一部欠損	形	チャート	(3.3)	1.9	0.3	(6.5)
77	B15	完	形	チャート	1.8	1.2	0.5	1.2
78	B17	完	形	チャート	2.7	1.7	0.8	4.5
79	B21	完	形	チャート	2.1	1.0	0.9	1.5
80	B18	完	形	チャート	2.5	1.5	0.6	2.7
81	A21	完	形	チャート	2.3	2.0	0.7	4.3
82	表採	完	形	チャート	2.3	1.6	0.4	2.0
83	A4	完	形	チャート	2.5	1.3	0.7	2.5
84	C9	完	形	チャート	2.1	2.0	0.5	1.9
85	B24	完	形	チャート	1.9	1.3	0.4	1.1
86	B13	完	形	チャート	2.1	1.4	0.4	1.5
87	C12第7層	完	形	珪質頁岩	3.7	2.9	1.2	11.7
88	C11	完	形	チャート	2.5	2.7	0.9	13.0
89	B11	完	形	チャート	5.9	3.1	0.7	12.8
90	B23	完	形	チャート	4.2	3.0	1.1	12.5
91	C8	完	形	チャート	4.1	2.3	1.0	9.7
92	C7	完	形	チャート	3.3	1.8	0.9	4.1
93	B12第7層下部	完	形	チャート	3.4	2.5	0.5	5.1
94	C10	一部欠損	形	チャート	(4.0)	2.8	0.8	(8.2)
95	C6	完	形	チャート	3.8	2.5	1.1	10.8
96	B23	完	形	チャート	2.4	2.3	0.7	4.4
97	C7	完	形	チャート	3.2	3.2	0.9	16.9
98	B4	完	形	チャート	2.2	1.9	0.7	3.4
99	B6	完	形	チャート	5.4	3.8	1.6	32.8
100	A7	完	形	チャート	3.1	2.5	0.5	5.1
101	A4第7層	完	形	チャート	3.4	1.4	0.8	8.2
102	B6	完	形	チャート	4.7	3.3	1.5	16.5
103	B7	完	形	チャート	4.7	2.2	0.7	5.6
104	A4第7層	完	形	チャート	3.2	2.8	1.0	7.4
105	A17	完	形	チャート	1.1	1.3	0.5	1.2
106	B12	完	形	チャート	3.3	2.4	0.6	6.5
107	C9	完	形	チャート	2.0	1.9	0.7	1.7
108	B19	完	形	チャート	3.1	1.5	0.7	3.1
109	B14	完	形	チャート	3.3	3.2	1.3	11.4
110	C18	完	形	チャート	4.0	3.4	0.9	13.9
111	C5	完	形	チャート	5.2	3.3	1.2	20.1
112	C10	一部欠損	形	チャート	(3.8)	2.4	0.9	(9.2)

113	B22	完	形	チャート	2.0	1.5	0.3	1.0
114	C22	完	形	チャート	1.7	1.6	0.6	2.8
115	A20	完	形	チャート	2.3	2.1	0.9	3.3
116	B6	完	形	チャート	2.1	2.1	0.6	4.6
117	B17	完	形	チャート	2.7	1.7	0.6	3.3
118	C7	完	形	チャート	3.2	2.1	1.0	6.3
119	B18	完	形	チャート	3.1	1.7	0.7	5.2
120	C16第7層	完	形	チャート	3.3	2.0	0.7	5.5
121	C5	完	形	チャート	2.9	2.0	0.6	4.6
122	C14	完	形	チャート	2.5	1.4	0.6	3.1
123	表採	完	形	チャート	2.3	2.5	1.0	7.1
124	B19	完	形	チャート	3.2	2.3	0.7	5.3
125	C6	一部欠	損	チャート	3.6	2.8	0.3	(9.7)
126	B6	完	形	チャート	3.0	2.9	1.0	8.0
127	C18	完	形	チャート	3.5	1.9	0.9	6.8
128	C4	完	形	チャート	2.8	1.8	0.6	4.4
129	C2	完	形	チャート	4.1	3.1	0.8	11.8
130	C33	1/3欠	損	チャート	2.0	(0.9)	0.3	(0.7)
131	B2	完	形	チャート	3.4	3.5	0.6	8.3
132	A9	完	形	チャート	2.9	1.7	0.5	5.4
133	C8	完	形	チャート	2.5	1.1	0.5	1.8
134	A17	完	形	下呂石	3.1	2.5	0.6	4.9
135	C18	完	形	チャート	2.0	1.5	0.4	17.1
136	C4	完	形	チャート	2.0	1.5	0.4	1.6
137	C4	完	形	チャート	2.5	1.5	0.9	3.9
138	B4第7層	一部欠	損	チャート	(2.9)	1.7	0.5	(3.2)
139	A12	完	形	チャート	4.2	2.3	1.1	11.3
140	C12	完	形	チャート	2.7	1.7	0.6	2.0
141	A22	完	形	硬質頁岩	3.5	3.2	1.0	11.8
142	表採	一部欠	損	チャート	1.8	(0.7)	0.6	(2.3)
143	A13	完	形	チャート	2.0	2.0	0.6	2.3
144	C4	完	形	チャート	2.6	2.6	0.7	6.6
145	C9	完	形	チャート	3.0	2.0	0.3	2.8
146	C13第7層	完	形	チャート	1.5	1.3	0.3	0.7
147	B7	完	形	チャート	4.2	2.2	1.1	13.3
148	B6	完	形	チャート	2.6	1.7	1.0	4.6
149	B4	完	形	チャート	2.0	1.9	0.7	2.2
150	表採	完	形	チャート	3.7	1.5	0.9	6.2
151	A7	完	形	チャート	3.2	1.9	1.0	6.2
152	C7	完	形	チャート	2.5	1.0	0.6	1.6
153	C11	完	形	チャート	3.5	2.8	0.5	7.0
154	A13	完	形	チャート	2.4	2.4	0.3	2.9
155	B12第7層	一部欠	損	チャート	3.8	2.5	0.5	(5.4)
156	表採	完	形	チャート	4.6	2.4	1.5	15.2
157	A8第7層	完	形	チャート	3.6	1.9	1.0	7.1
158	B6	完	形	チャート	3.2	2.0	0.9	6.8
159	A2	完	形	下呂石	4.4	3.2	0.9	12.6
160	表採	一部欠	損	チャート	3.0	(2.3)	0.8	(6.8)
161	C13	完	形	チャート	3.0	1.7	1.1	4.6
162	B12	完	形	チャート	2.2	1.7	0.5	2.8
163	A5	完	形	チャート	3.1	2.2	0.9	5.9
164	A19第7層	一部欠	損	チャート	3.9	(2.8)	0.9	(9.2)
165	C4第7層下部	完	形	輝石安山岩	3.3	1.7	0.5	3.2



166	B16	完	形	チャート	1.5	0.8	0.4	0.5
167	B5	完	形	チャート	2.0	1.4	0.3	1.7
168	C4第7層	完	形	チャート	2.0	1.4	0.6	2.2
169	C15	完	形	チャート	2.0	1.4	0.2	0.8
170	C1	完	形	チャート	3.0	2.9	1.0	10.2
171	C10	完	形	チャート	2.4	1.6	0.6	2.9
172	B12	完	形	チャート	1.9	1.5	0.4	1.3
173	表採	完	形	チャート	2.8	1.4	0.7	2.5
174	C4第7層	完	形	チャート	2.8	1.7	0.6	3.5
175	B20	完	形	チャート	2.7	2.2	0.5	2.9
176	C12	完	形	チャート	2.8	2.3	0.8	6.8
177	B4	完	形	チャート	2.0	0.9	0.3	0.6
178	B21	完	形	チャート	2.0	1.0	0.3	0.8
179	C17第7層	完	形	チャート	2.6	2.0	0.6	3.7
180	B3	完	形	下呂石	2.7	1.9	0.5	3.9
181	C6	完	形	チャート	3.3	2.4	1.2	8.9
182	B8	完	形	チャート	3.6	2.7	0.7	7.7
183	B7	完	形	輝石安山岩	3.8	2.9	1.1	14.7
184	B5	完	形	チャート	3.9	3.5	1.3	19.5
185	C4	完	形	チャート	1.5	1.4	0.4	1.1
186	C10	完	形	チャート	2.4	1.6	0.9	3.5
187	B23	完	形	チャート	3.5	3.4	0.9	15.7
188	B6	完	形	チャート	3.3	2.2	1.5	16.6
189	A7	完	形	チャート	2.9	1.3	0.5	2.4
190	B8	完	形	チャート	4.0	2.5	1.2	18.4
191	A6	完	形	下呂石	2.4	1.9	0.6	3.0
192	B19	一部欠損	形	チャート	4.0	(2.3)	0.8	(8.4)
193	A21	完	形	チャート	2.2	1.1	0.4	1.2
194	C5	完	形	下呂石	3.8	2.1	0.8	7.2
195	C23	完	形	下呂石	3.8	3.5	1.1	15.3
196	C9	完	形	下呂石	5.5	4.1	1.1	30.6
197	C13	完	形	下呂石	2.7	1.7	0.5	2.1
198	表採	一部欠損	形	下呂石	3.1	(2.3)	0.9	(7.0)
199	C4	完	形	下呂石	2.8	1.2	0.8	2.4
200	B23	完	形	下呂石	3.7	1.6	1.1	4.6
201	A19第7層	完	形	下呂石	3.7	2.5	0.7	8.7
202	C5	完	形	下呂石	3.5	2.6	0.6	6.5
203	C15	一部欠損	形	下呂石	4.9	(4.4)	0.6	(14.1)
204	C9	完	形	下呂石	3.5	2.0	0.7	4.7
205	B7	一部欠損	形	下呂石	3.6	3.0	0.5	(7.2)
206	B21	完	形	下呂石	3.4	1.2	0.7	4.0
207	B18	完	形	チャート	2.1	1.3	0.6	1.5
208	A5	一部欠損	形	下呂石	4.5	(4.2)	1.0	(13.6)
209	C5	一部欠損	形	下呂石	3.0	(2.4)	0.7	(5.4)
210	B21	完	形	下呂石	2.5	1.4	0.4	1.3
211	C17	完	形	下呂石	3.7	2.3	0.6	5.0
212	C1	完	形	チャート	4.1	2.5	0.7	8.1
213	C24	完	形	下呂石	4.5	2.4	0.6	5.9
214	表採	一部欠損	形	下呂石	4.8	(2.6)	0.7	(8.7)
215	A20	完	形	下呂石	4.1	1.5	1.1	7.5
216	C5	完	形	下呂石	2.7	1.5	0.6	2.3
217	B5	完	形	下呂石	2.3	2.2	0.4	2.6
218	表採	完	形	下呂石	3.1	2.5	0.7	5.1

219	C18	完	形	下	呂	石	3.6	2.7	1.0	7.8
220	B16	一部	欠損	下	呂	石	2.6	(1.3)	0.4	(1.7)
221	A11	完	形	下	呂	石	5.3	1.9	0.7	8.6
222	A15	完	形	下	呂	石	4.8	4.1	0.8	17.7
223	C11第7層	一部	欠損	下	呂	石	4.3	(2.7)	1.0	(12.7)
224	B19	完	形	下	呂	石	3.0	1.5	0.8	5.5
225	B4	完	形	下	呂	石	4.5	3.9	0.9	13.8
226	A15	一部	欠損	下	呂	石	(3.6)	1.5	0.5	(4.0)
227	C5	完	形	下	呂	石	2.8	1.7	0.5	2.4
228	C11	完	形	下	呂	石	2.3	1.5	1.0	2.9
229	C15	完	形	下	呂	石	4.4	2.5	0.7	4.7
230	表採	完	形	下	呂	石	4.4	1.6	0.6	4.7
231	C15	完	形	下	呂	石	3.3	2.0	1.1	7.8
232	C16	一部	欠損	下	呂	石	2.4	1.6	0.5	(1.5)
233	B13	完	形	下	呂	石	2.7	1.1	0.4	1.8
234	C9	完	形	下	呂	石	3.6	2.0	1.0	5.5
235	B23	完	形	下	呂	石	2.2	1.2	0.4	1.1
236	B12	完	形	下	呂	石	4.5	2.9	1.3	14.5
237	B24	完	形	下	呂	石	1.6	1.4	0.5	1.7
238	C19	完	形	下	呂	石	4.8	2.5	0.8	11.9
239	C4	完	形	チャート			2.7	1.7	0.7	5.3
240	C8	一部	欠損	チャート			2.2	(2.1)	0.7	(4.4)
241	B17	一部	欠損	下	呂	石	2.4	(2.2)	0.4	(2.1)
242	B5	一部	欠損	下	呂	石	(5.4)	4.8	0.8	(23.7)
243	B14	完	形	下	呂	石	4.3	2.9	0.9	12.8
244	A4第7層	完	形	下	呂	石	3.7	3.4	1.1	12.1
245	B4	一部	欠損	下	呂	石	(5.3)	4.1	1.1	(23.3)
246	C7	一部	欠損	下	呂	石	3.8	(2.5)	1.1	(7.4)
247	B16	完	形	下	呂	石	4.3	3.2	0.7	11.4
248	B5	完	形	下	呂	石	7.1	5.4	1.7	55.0
249	C23	一部	欠損	下	呂	石	3.6	2.9	0.7	(10.0)
250	C16	一部	欠損	下	呂	石	(2.5)	2.6	0.6	(4.3)
251	B17	完	形	下	呂	石	2.5	1.8	0.7	2.7
252	C15第7層	完	形	下	呂	石	3.1	2.1	0.3	4.4
253	B23	完	形	下	呂	石	2.1	0.9	0.6	1.0
254	C9	完	形	下	呂	石	2.3	1.5	0.7	1.8
255	A18	完	形	黒曜	石		1.7	1.1	0.5	0.9
256	A11	完	形	黒曜	石		2.7	2.0	0.9	5.3
257	A15	完	形	黒曜	石		2.5	1.3	0.7	2.2
258	A12	完	形	黒曜	石		3.2	1.7	0.6	3.3
259	B15	完	形	黒曜	石		0.9	1.5	0.5	1.2
260	C20	完	形	黒曜	石		3.0	2.9	0.6	4.9
261	B8	完	形	黒曜	石		3.6	2.0	0.9	5.9
262	C20第4層	完	形	黒曜	石		2.5	1.1	0.4	0.7
263	B17	完	形	黒曜	石		1.8	1.2	0.6	2.0
264	C24	完	形	黒曜	石		2.4	1.2	0.4	1.4
265	B16	完	形	黒曜	石		2.5	1.4	0.4	1.2
266	A16	完	形	黒曜	石		1.6	1.0	0.2	0.3
267	B14	完	形	黒曜	石		1.7	1.0	0.2	0.4
268	C4	完	形	黒曜	石		1.5	1.4	0.3	0.5
269	C16第7層下部	完	形	黒曜	石		2.8	2.0	0.3	2.5
270	A1	完	形	チャート			2.3	2.2	0.4	2.6
271	B18	完	形	黒曜	石		2.3	1.2	0.6	1.7

272	B4第7層	完	形	黒	曜	石	2.7	1.0	0.7	3.4			
273	C2	完	形	黒	曜	石	3.5	2.0	1.0	6.7			
274	C6	完	形	黒	曜	石	2.9	1.0	0.2	1.1			
275	B8	完	形	黒	曜	石	1.9	1.4	0.3	0.7			
276	B4第7層	完	形	黒	曜	石	3.5	1.7	1.0	5.3			
277	A3	完	形	下	呂	石	4.1	3.1	0.8	10.2			
278	B2	完	形	下	呂	石	5.1	4.0	1.1	18.4			
279	B3	完	形	下	呂	石	3.7	2.1	0.6	6.2			
280	B3	完	形	下	呂	石	3.3	2.7	0.9	8.1			
281	B15	完	形	下	呂	石	2.5	2.3	0.8	5.3			
282	B2	完	形	下	呂	石	5.3	2.8	1.1	15.3			
283	C1	完	形	下	呂	石	5.2	3.4	0.9	16.6			
284	C10	完	形	下	呂	石	3.3	3.1	0.8	8.1			
285	C1	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.9	1.5	0.3	1.0		
286	B11	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.9	2.0	0.5	3.4		
287	A3	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.5	3.3	1.0	14.1		
288	表採	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.0	3.6	0.3	15.4		
289	C1	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.4	2.5	0.7	7.9		
290	B10	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.4	1.8	0.6	4.7		
291	A12	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.1	1.1	1.0	5.1		
292	C14	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.5	2.2	0.7	3.5		
293	B19	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.4	1.1	0.5	1.6		
294	A13	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(4.1)	(2.4)	0.7	(8.5)
295	C2	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.6	2.9	0.9	7.7		
296	C2	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.4	2.9	0.4	15.6		
297	B2	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.0	3.2	1.0	12.7		
298	C2	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.8	2.9	0.3	9.4		
299	A1	完	形	チ	ャ	ー	ト	4.0	2.9	0.7	9.6		
300	C9	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	2.3	1.7	0.3	(1.6)
301	A3	完	形	珪	質	頁	岩	4.5	2.3	0.5	6.3		
302	A4	完	形	チ	ャ	ー	ト	1.9	1.5	0.3	1.4		
303	C2	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	6.4	(4.4)	1.6	(36.1)
304	A11	完	形	下	呂	石	4.5	2.5	0.4	6.4			
305	A17	完	形	珪	質	頁	岩	4.0	3.1	0.8	11.1		
306	B19	完	形	珪	質	頁	岩	2.8	2.5	0.5	36.3		
307	C15	完	形	珪	質	頁	岩	2.3	2.2	0.4	2.5		
308	A20第7層	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	3.0	(2.4)	0.5	(3.7)
309	C9	完	形	珪	質	頁	岩	2.2	1.1	0.5	2.1		
310	C8	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.4	1.8	0.9	4.4		
311	C17	完	形	珪	質	頁	岩	8.5	4.2	1.6	58.6		
312	C15	一	部	欠	損	珪	質	頁	岩	5.3	(2.8)	1.1	(20.0)
313	C11第7層	完	形	珪	質	頁	岩	7.0	5.5	1.5	54.8		
314	A6	一	部	欠	損	下	呂	石	3.1	(2.5)	0.9	(7.6)	
315	B4	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.5	3.0	1.0	11.2		
316	C6	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(2.8)	(1.9)	0.5	(3.3)
317	表採	完	形	黒	曜	石	3.0	1.7	0.6	3.7			
318	A6	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	4.3	(2.1)	0.7	(7.5)
319	C8	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.2	2.1	0.7	6.3		
320	C7	完	形	黒	曜	石	2.6	1.2	0.2	0.8			
321	C15	一	部	欠	損	珪	質	頁	岩	(1.8)	1.0	0.2	(0.3)
322	C5	完	形	珪	質	頁	岩	2.4	1.5	0.3	1.2		
323	A4	完	形	珪	質	頁	岩	2.2	2.2	0.5	2.1		
324	A16	完	形	珪	質	頁	岩	3.0	2.5	0.7	5.6		

325	B17	完	形	珪質頁岩	3.6	1.5	0.5	2.4
326	B23	完	形	流紋岩	2.2	1.8	0.3	1.2
327	C17	完	形	珪質頁岩	3.1	2.4	0.9	5.5
328	C17	完	形	珪質頁岩	3.0	2.4	0.9	6.7
329	C9	完	形	珪質頁岩	2.4	2.1	0.6	2.7
330	A23	完	形	珪質頁岩	3.4	1.9	0.5	3.3
331	A11	完	形	玉髓	3.2	2.0	0.7	4.6

第107表 うづか地点スクレイパーⅢ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	Q7	完	形	チャート	4.9	3.0	0.9	13.7	第95図18
2	F7Ⅱ	完	形	輝石安山岩	3.7	3.1	1.0	10.8	
3	O7	完	形	チャート	4.1	2.7	0.8	9.5	
4	FBⅡ	1/3 欠	損	チャート	(3.2)	3.0	0.7	(11.5)	
5	N7	1/3 欠	損	チャート	(2.9)	2.2	0.9	(5.3)	
6	N8	完	形	チャート	3.7	2.5	1.0	11.9	
7	F8Ⅱ	完	形	チャート	4.0	2.3	0.9	7.4	
8	表採	完	形	チャート	2.8	2.4	0.6	4.8	
9	N8	完	形	チャート	3.3	2.6	1.1	10.7	
10	G4Ⅱ	刃部破	片	チャート	(2.3)	(1.4)	(0.3)	(1.2)	
11	K7Ⅱ	完	形	チャート	2.5	1.7	0.3	1.8	
12	H7Ⅱ	刃部一部欠	損	チャート	3.0	(2.3)	0.9	(4.6)	
13	M7Ⅱ	完	形	チャート	2.8	1.8	0.7	3.4	
14	M7Ⅱ	一部欠	損	チャート	2.5	(1.6)	0.4	(2.0)	
15	Q11	完	形	チャート	3.0	1.9	0.7	4.7	
16	I5Ⅱ	完	形	チャート	3.4	2.9	0.9	10.3	
17	G2	完	形	珪質頁岩	4.0	2.3	0.6	6.8	
18	V11	完	形	チャート	2.8	1.9	0.6	3.8	
19	O6	完	形	チャート	4.3	3.8	0.7	16.5	
20	N6	完	形	チャート	2.4	1.7	0.5	2.7	
21	SB-1	完	形	チャート	5.7	4.2	1.5	32.4	
22	V11	完	形	チャート	3.0	2.9	1.4	12.3	
23	L7Ⅱ	完	形	チャート	3.2	1.9	0.6	4.4	
24	F7Ⅱ	完	形	チャート	1.8	1.8	0.2	1.1	
25	M9	完	形	チャート	2.1	2.1	0.5	2.8	
26	M6Ⅱ	刃部一部欠	損	チャート	2.4	(1.9)	0.3	(2.0)	
27	M9Ⅱ	完	形	チャート	2.8	2.6	1.0	6.0	
28	F8Ⅱ	完	形	チャート	3.7	1.6	0.3	2.4	
29	M6Ⅱ	完	形	チャート	2.7	2.7	0.9	7.6	
30	J7Ⅱ	完	形	珪質頁岩	3.6	2.0	0.6	4.3	
31	表採	完	形	チャート	2.9	1.5	1.0	5.1	
32	RF	完	形	チャート	1.2	1.1	0.5	1.5	
33	L8Ⅱ	刃部破	片	チャート	(2.5)	(1.5)	(0.9)	(3.3)	
34	N7	完	形	下呂石	5.7	3.4	1.0	17.5	
35	N5Ⅱ	完	形	下呂石	4.1	3.2	1.4	15.1	
36	MP6	1/3 欠	損	下呂石	(3.2)	(1.4)	0.8	(3.0)	
37	F7Ⅱ	完	形	下呂石	2.8	1.5	0.6	2.4	
38	O10Ⅱ	完	形	下呂石	3.1	1.8	0.4	1.9	
39	V11	完	形	下呂石	3.7	2.8	0.6	6.6	
40	J8Ⅱ	1/2 欠	損	下呂石	(2.9)	(2.1)	0.6	(4.1)	
41	J7Ⅲ	1/2 欠	損	下呂石	(2.1)	(1.1)	0.7	(3.2)	

42	M6Ⅱ	完	形	黒曜石	2.5	1.5	0.6	1.7
43	L9Ⅱ	完	形	黒曜石	3.1	1.9	0.9	4.0
44	I7Ⅱ	完	形	黒曜石	2.5	1.2	0.5	1.6
45	N7	完	形	黒曜石	3.1	1.5	0.6	2.7
46	L6Ⅱ	完	形	黒曜石	2.4	1.1	0.2	0.8
47	SB-1	完	形	黒曜石	1.8	1.2	0.3	0.7
48	G9Ⅲ	完	形	黒曜石	1.8	1.1	0.4	1.1
49	L8Ⅱ	刃部破	形	黒曜石	(2.9)	(0.9)	(0.7)	(1.6)
50	M7Ⅰ	完	形	黒曜石	1.5	1.4	0.3	0.4
51	表土	刃部破	片	黒曜石	(1.7)	(0.5)	(0.3)	(0.3)
52	F7Ⅱ	完	形	輝石安山岩	4.0	3.7	1.0	17.6
53	表採	完	形	珪質頁岩	2.9	2.0	0.5	4.2
54	表採	完	形	チャート	2.3	1.0	0.7	1.6
55	L7	刃部破	片	チャート	(2.0)	(0.8)	(0.3)	(0.5)
56	I7	完	形	黒曜石	2.0	0.7	0.4	0.9
57	H8Ⅱ	完	形	チャート	2.5	2.2	0.7	6.3
58	I7Ⅱ	完	形	下呂石	2.2	1.2	0.4	1.0
59	H9	完	形	チャート	5.0	2.1	0.6	9.1
60	H7Ⅱ	完	形	黒曜石	1.6	1.0	0.2	0.6
61	H7	完	形	チャート	4.0	2.7	0.8	8.7
62	H7Ⅱ	1/3欠	損	チャート	3.1	(2.0)	0.6	(4.2)
63	G7Ⅱ	完	形	珪質凝灰岩	3.1	1.8	0.4	2.7
64	H7Ⅲ上面	完	形	下呂石	3.1	1.7	0.5	2.6
65	H7Ⅲ上面	完	形	チャート	4.7	2.0	1.0	7.4
66	I9	完	形	チャート	3.6	3.3	0.8	13.8
67	H7	完	形	チャート	5.5	2.2	0.8	14.3
68	N5Ⅱ層	完	形	玉髓	3.1	2.7	0.8	8.4

第108表 センター地点スクレイパーⅢ類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	A11	完	形	チャート	3.0	2.2	0.5	4.0	第95図13
2	B13	完	形	チャート	3.2	2.1	0.6	4.6	同12
3	C6Ⅱb	完	形	珪質頁岩	3.3	1.2	0.4	1.1	同10
4	B4Ⅱb	完	形	チャート	2.3	0.6	0.2	0.4	
5	B13	完	形	チャート	3.2	1.3	0.5	2.1	
6	C13	完	形	チャート	2.7	2.7	1.5	8.9	
7	B10	1/3欠	損	チャート	(3.1)	2.5	0.8	(6.5)	
8	B13	完	形	チャート	5.0	2.8	1.3	17.1	
9	B13	完	形	チャート	3.2	1.9	0.4	4.3	
10	B8	刃部破	片	チャート	(1.7)	(1.3)	(0.4)	(1.1)	
11	C8	完	形	下呂石	2.5	1.6	0.9	3.4	
12	A13	完	形	玉髓	6.0	1.7	1.6	12.5	
13	B11	完	形	チャート	2.7	2.3	0.8	9.3	
14	表採	完	形	チャート	3.7	3.1	0.3	5.3	
15	C6Ⅱb	完	形	チャート	2.5	1.7	0.7	3.7	
16	C5Ⅱb	完	形	チャート	1.9	1.4	0.4	1.4	
17	B6Ⅱb	完	形	チャート	4.7	0.9	0.6	6.7	
18	B5Ⅱb	完	形	チャート	3.4	2.7	0.6	6.0	
19	C5Ⅱb	完	形	下呂石	3.3	1.8	0.4	1.7	
20	C6Ⅱb	完	形	チャート	3.1	1.7	1.0	4.7	
21	C6Ⅱb	完	形	チャート	2.5	2.0	0.7	4.0	

22	B2	完	形	チャート	3.1	1.9	0.8	3.6
23	B6Ⅱ b	完	形	チャート	3.5	1.5	0.5	2.9
24	C4	完	形	チャート	3.4	1.9	0.8	4.3
25	B2	完	形	チャート	2.6	1.9	1.0	5.1
26	B3Ⅱ b	完	形	黒曜石	2.2	0.7	0.3	0.2
27	B6	完	形	チャート	2.3	1.7	0.3	1.7
28	C6	完	形	下呂石	5.0	2.8	0.9	9.7
29	B6	完	形	下呂石	3.0	1.3	0.4	1.5
30	C2	完	形	チャート	1.9	1.3	0.5	1.1
31	C5	完	形	下呂石	3.3	2.1	0.7	3.5

第109表 宮ノ前地点石錐一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	12	4層	Ⅱ	完	形	チャート	2.3	2.0	0.5	2.3
2	1	4層	Ⅲ	完	形	チャート	2.5	1.0	0.7	2.0
3	27	4層	Ⅰ	完	形	チャート	3.3	1.4	0.7	3.2
4	12	4層	Ⅰ	完	形	流紋岩	2.4	1.0	0.8	2.0
5	4	4層	Ⅱ	完	形	チャート	3.3	1.2	0.5	2.6
6	51	3層	Ⅱ	完	形	チャート	2.5	1.8	0.6	2.5
7	45	3層	Ⅱ	完	形	メノウ	2.7	2.0	0.5	3.0
8	12	4層	Ⅱ	完	形	チャート	2.9	1.6	0.7	3.2
9	24	4層	Ⅱ	完	形	下呂石	2.9	2.5	0.6	4.3
10	22	3層	Ⅱ	完	形	下呂石	2.8	1.1	0.5	1.4
11	38	3・4層	Ⅲ	両端欠損	形	下呂石	(3.5)	1.0	0.6	(2.3)
12	表採	—	Ⅲ	完	形	チャート	3.9	0.9	0.4	2.0
13	22	3層	Ⅰ	先端部欠損	形	チャート	(2.1)	1.1	0.9	(2.3)
14	42	4層	Ⅱ	先端部欠損	形	チャート	(2.7)	1.6	0.7	(3.0)
15	24	3層	Ⅰ	完	形	下呂石	3.3	1.8	0.9	4.3
16	32	4層	Ⅱ	完	形	チャート	2.6	1.9	0.6	4.0
17	7	3層	Ⅱ	完	形	メノウ	2.6	0.9	0.7	1.8
18	7	3層	Ⅱ	先端部欠損	形	チャート	(2.6)	1.4	0.8	(2.4)
19	1	4層	Ⅱ	完	形	珪質頁岩	2.5	1.3	0.5	1.2
20	22	4層	Ⅰ	完	形	下呂石	2.3	1.3	0.5	1.0
21	7	3層	Ⅱ	完	形	チャート	3.8	2.7	0.7	6.1
22	22	3層	Ⅱ	先端部欠損	形	チャート	(2.7)	1.5	0.4	(1.8)
23	31	3層	Ⅲ	完	形	チャート	1.7	0.6	0.5	0.6
24	7・8	3層	Ⅱ	完	形	チャート	2.6	2.1	0.6	3.4
25	3	3層	Ⅱ	先端部欠損	形	チャート	(2.4)	1.7	1.0	(4.2)
26	31	3層	Ⅱ	先端・つまみ部欠損	形	チャート	(2.2)	(1.6)	0.4	(1.8)
27	34	3層	Ⅰ	先端部欠損	形	チャート	(3.6)	2.3	0.9	(5.2)
28	45	3層	Ⅱ	先端部欠損	形	チャート	(2.0)	2.0	0.4	(2.2)
29	14	2層	Ⅱ	先端部欠損	形	チャート	(3.2)	1.8	0.8	(4.3)

第110表 前田地点上層石錐一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C21	Ⅲ	完	形	チャート	2.0	0.9	0.4	0.7
2	B15	Ⅲ	完	形	チャート	3.1	0.9	0.7	2.1
3	C15	Ⅲ	完	形	チャート	2.5	0.7	0.4	0.8
4	C18	Ⅲ	完	形	チャート	2.2	0.8	0.7	1.3

5	C8	Ⅲ	完	形	チャート	2.5	1.0	0.7	1.6
6	C17	I	完	形	チャート	3.1	2.0	0.6	3.2
7	B12	Ⅱ	完	形	チャート	2.3	1.2	0.6	1.4
8	C17	Ⅱ	完	形	チャート	2.6	1.7	0.5	1.7
9	C11	Ⅱ	完	形	チャート	3.8	1.4	0.9	4.8
10	C19	Ⅱ	完	形	チャート	2.8	1.7	0.6	1.9
11	A5	Ⅱ	完	形	チャート	4.0	1.8	0.9	3.8
12	B16	Ⅱ	完	形	チャート	2.4	1.1	1.0	1.9
13	C16	Ⅱ	完	形	チャート	2.1	1.1	0.5	1.4
14	B13	Ⅱ	完	形	チャート	2.2	1.1	0.6	1.7
15	A4	I	先端部欠損		チャート	(2.5)	1.8	1.0	(3.6)
16	C23	Ⅲ	完	形	下呂石	2.1	0.6	0.5	0.7
17	C12	Ⅲ	完	形	下呂石	1.8	0.7	0.3	0.4
18	表採	Ⅲ	先端部欠損		下呂石	(3.8)	1.1	0.6	(2.9)
19	C18第7層	Ⅲ	完	形	下呂石	3.3	1.0	1.0	3.4
20	C13	Ⅲ	完	形	下呂石	1.6	1.0	0.7	1.4
21	B11	Ⅱ	完	形	下呂石	2.7	1.1	0.7	1.4
22	B11	Ⅱ	完	形	下呂石	4.4	1.9	1.0	7.6
23	C9	Ⅱ	完	形	下呂石	3.4	2.0	0.6	4.2
24	B16	I	一端欠損		下呂石	(5.1)	1.7	1.1	(5.5)
25	A9	Ⅱ	先端部欠損		下呂石	(3.0)	1.6	0.7	(3.0)
26	B23	Ⅲ	完	形	黒曜石	3.9	1.0	0.7	2.9
27	A12	Ⅱ	完	形	輝石安山岩	3.7	1.5	0.8	3.8
28	C20	Ⅱ	完	形	流紋石	2.2	1.4	0.6	1.8
29	表採	Ⅱ	完	形	チャート	1.7	0.7	0.4	0.6
30	C22	Ⅱ	完	形	チャート	2.3	1.5	0.6	1.9
31	C17	I	完	形	黒曜石	2.1	1.6	0.7	1.9
32	B21	Ⅱ	先端部欠損		下呂石	(2.0)	2.0	0.7	(2.2)
33	A14	Ⅲ	完	形	下呂石	2.3	0.9	0.5	1.3
34	C14	Ⅲ	先端部欠損		チャート	(2.6)	1.0	0.4	(1.7)
35	C16	Ⅱ	先端部欠損		チャート	(1.4)	1.4	0.4	(1.0)
36	C24	Ⅱ	完	形	チャート	2.8	1.1	0.5	1.5
37	B8	Ⅱ	先端部欠損		チャート	(2.6)	1.5	0.9	(3.6)
38	C23	Ⅲ	先端部欠損		下呂石	(2.4)	1.0	0.2	(1.7)
39	A5第7層	—	先端部欠損		チャート	(1.8)	1.5	0.6	(2.4)
40	B17	Ⅱ	先端部欠損		チャート	(1.9)	1.1	0.5	(1.2)
41	A13	—	基部欠損		下呂石	(1.3)	0.5	0.4	(0.3)
42	B18	Ⅱ	先端部欠損		チャート	(2.2)	1.8	0.8	(3.8)
43	表採	Ⅱ	先端部欠損		チャート	(2.1)	1.3	0.7	(1.6)
44	A4	Ⅱ	完	形	チャート	2.2	1.0	0.6	1.2
45	B20	Ⅲ	先端部欠損		チャート	(2.3)	0.9	0.6	(1.3)
46	C12	I	完	形	下呂石	2.0	1.4	0.7	1.5
47	A23	Ⅲ	基部欠損		チャート	(2.0)	0.4	0.5	(0.7)
48	B23	Ⅲ	先端部欠損		チャート	(1.7)	0.6	0.5	(0.8)
49	B22	Ⅱ	先端部欠損		チャート	(2.3)	1.7	0.7	(3.5)
50	C9第7層	Ⅱ	完	形	チャート	3.0	1.8	0.5	3.0
51	A11	Ⅱ	完	形	チャート	2.5	1.3	0.8	2.8
52	C8	Ⅲ	完	形	下呂石	2.2	0.7	0.5	1.0
53	B18	Ⅱ	完	形	下呂石	3.4	1.4	0.7	3.1
54	C9	I	先端部欠損		下呂石	(1.5)	1.8	0.5	(1.3)
55	C12	Ⅲ	完	形	下呂石	2.1	0.7	0.7	1.2
56	A2	Ⅲ	完	形	下呂石	2.5	0.9	0.8	2.2
57	C18	Ⅱ	完	形	下呂石	2.5	1.1	0.5	1.5

58	C24	Ⅲ	完	形	下 呂 石	2.0	0.8	0.4	0.8
59	B4	Ⅱ	完	形	チャート	2.4	1.2	0.7	1.4
60	B17	Ⅰ	完	形	チャート	2.2	1.5	1.0	3.4
61	B22	Ⅲ	つまみ部欠損		下 呂 石	(2.0)	0.8	0.5	(1.0)
62	表採	Ⅱ	先端部欠損		下 呂 石	(3.4)	1.9	0.7	(3.8)
63	B21	Ⅲ	完	形	下 呂 石	1.6	1.7	0.3	0.4
64	C18	Ⅰ	先端部欠損		下 呂 石	(2.6)	1.4	1.0	(4.1)
65	A12	Ⅱ	先端部欠損		下 呂 石	(2.3)	1.3	0.7	(2.2)
66	表採	Ⅰ	先端・つまみ部欠損		下 呂 石	(4.4)	(1.2)	0.6	(4.2)
67	B17	Ⅱ	完	形	チャート	2.0	1.1	0.4	1.0
68	B17	Ⅲ	先端部欠損		チャート	(2.2)	1.0	0.6	(1.6)
69	C11	Ⅱ	先端部欠損		下 呂 石	(1.7)	0.9	0.4	(0.7)
70	B15	Ⅱ	完	形	硬質頁岩	2.8	1.1	0.4	1.6
71	B18	Ⅲ	完	形	チャート	3.0	0.6	0.5	1.3
72	B9	Ⅱ	完	形	チャート	2.0	0.8	0.6	1.1
73	C22	Ⅱ	つまみ部欠損		チャート	(1.7)	(0.7)	1.5	(0.9)
74	B15	Ⅲ	先端部欠損		チャート	(2.6)	1.0	0.6	(2.0)
75	B16	Ⅰ	完	形	チャート	3.9	2.0	1.0	6.3
76	C9	Ⅱ	完	形	チャート	1.3	0.7	0.4	0.4
77	A11	Ⅱ	完	形	チャート	1.2	0.7	0.2	0.3
78	C19	Ⅲ	先端部欠損		下 呂 石	(2.0)	1.8	0.5	(0.7)
79	B16	Ⅱ	完	形	チャート	2.2	1.0	0.4	1.1
80	表採	Ⅲ	完	形	チャート	2.2	0.5	0.5	0.7
81	C19	Ⅱ	完	形	下 呂 石	2.5	1.5	0.9	3.3
82	C17	Ⅲ	先端部欠損		下 呂 石	(2.6)	0.7	0.7	(1.5)
83	A21	Ⅲ	完	形	下 呂 石	3.0	0.8	0.6	1.2
84	A21	Ⅲ	完	形	チャート	2.9	0.8	0.5	1.9
85	C21	Ⅲ	完	形	チャート	2.4	0.9	0.7	1.3
86	B20	Ⅱ	完	形	下 呂 石	2.5	1.3	0.4	1.1
87	C20	Ⅲ	完	形	チャート	2.6	0.9	0.4	1.0
88	C6	Ⅱ	完	形	チャート	2.3	2.0	0.8	2.9
89	C18	Ⅰ	完	形	下 呂 石	1.8	1.9	0.7	2.1
90	C17	Ⅲ	完	形	チャート	2.1	1.0	0.6	1.2
91	B16	Ⅱ	完	形	チャート	2.8	2.1	0.6	3.8
92	B22	—	つまみ部欠損		チャート	(1.1)	(1.1)	(0.5)	(0.5)
93	A5第7層下部	—	つまみ部欠損		下 呂 石	(2.0)	(0.8)	(0.7)	(0.7)
94	B16	Ⅲ	完	形	メノウ	2.6	0.6	0.4	0.6
95	C15第7層	—	一端欠損		下 呂 石	(2.2)	1.0	0.6	(1.5)
96	C20	Ⅱ	先端部欠損		硬質頁岩	(2.5)	2.4	0.8	(4.5)

第111表 うづか地点石錐一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	I8Ⅲ	Ⅱ	完	形	チャート	2.7	1.1	0.6	2.0
2	L8Ⅱ	Ⅰ	完	形	チャート	2.5	1.5	0.7	2.6
3	L6Ⅱ	Ⅱ	完	形	チャート	2.0	1.2	0.5	1.2
4	表採	Ⅰ	先端部欠損		チャート	(4.1)	1.5	0.8	(4.4)
5	R10	Ⅱ	完	形	チャート	3.1	1.7	1.1	5.2
6	表採	Ⅰ	先端部欠損		チャート	(2.2)	1.6	0.4	(1.2)
7	M7Ⅱ	Ⅱ	完	形	チャート	3.3	1.7	1.1	6.0
8	表採	Ⅰ	完	形	チャート	2.5	1.7	0.7	2.7
9	表土	Ⅱ	完	形	チャート	2.1	1.9	0.7	2.0



10	G7	I	完形	チャート	1.9	1.3	0.5	1.1
11	L7II	I	完形	輝石安山岩	2.5	1.2	0.6	1.6
12	L8II	I	先端部欠損	メノウ	(2.0)	1.6	0.3	(0.8)
13	SB-1	II	完形	流紋岩	4.3	1.5	0.8	4.8
14	M7II	II	完形	流紋岩	2.2	1.4	0.4	1.4
15	M6II	II	完形	下呂石	2.3	1.3	0.7	2.3
16	SB-1	II	先端部欠損	下呂石	(3.4)	1.2	0.6	(3.7)
17	F4II	II	完形	チャート	3.2	1.2	0.4	2.2
18	LB2II	II	先端部欠損	チャート	(5.0)	3.2	0.8	(14.5)
19	L8II	I	完形	チャート	3.1	1.8	0.7	4.6
20	L7II	II	先端部欠損	チャート	(2.5)	(1.5)	0.6	(2.5)
21	L7II	I	完形	チャート	2.9	2.3	1.0	4.6
22	N5II	I	先端部欠損	チャート	(2.3)	2.2	0.5	(3.7)
23	L8II	III	完形	チャート	1.8	0.7	0.4	0.7
24	M6II	II	完形	チャート	2.9	1.5	0.8	3.3
25	R9	I	完形	チャート	4.5	2.7	1.3	10.3
26	表採	II	完形	チャート	4.0	2.1	0.8	8.4
27	I7II	I	先端部欠損	チャート	(1.8)	1.1	0.4	(1.4)
28	Q7	II	先端部欠損	チャート	(1.5)	0.7	0.3	(0.4)
29	L8II	II	完形	チャート	2.5	1.9	0.5	1.7
30	表採	II	先端部欠損	チャート	(2.0)	1.5	0.7	(2.5)
31	表採	II	先端部欠損	チャート	(2.2)	1.5	0.6	(2.6)
32	V11	II	先端部欠損	チャート	(3.3)	0.9	0.7	(4.5)
33	表採	II	完形	チャート	2.3	1.2	0.5	1.7
34	L9II	II	先端部欠損	チャート	(2.3)	1.1	0.7	(2.8)
35	SB-1	II	先端部欠損	チャート	(1.4)	1.3	0.5	(1.2)
36	表採	II	先端部欠損	下呂石	(2.1)	1.3	0.6	(1.9)
37	M6II	II	先端部欠損	チャート	(2.0)	1.5	0.5	(2.2)
38	N8	III	一端欠損	チャート	(2.0)	(1.2)	(0.4)	(1.5)
39	L6II	II	完形	輝石安山岩	2.6	1.4	0.9	4.4
40	表採	II	先端部欠損	チャート	(2.1)	1.3	0.6	(3.3)
41	O7	I	先端部欠損	チャート	(3.5)	2.6	0.5	(5.4)
42	M6II	II	完形	チャート	2.7	1.1	0.7	2.7
43	J8II	II	完形	チャート	2.1	1.3	0.5	1.6
44	M9II	II	完形	チャート	2.0	1.4	0.5	2.0
45	K7II	II	完形	チャート	2.7	1.5	0.8	3.0
46	I5II	III	完形	チャート	2.1	0.8	0.3	0.9
47	I8	-	先端部破片	チャート	(1.5)	0.9	0.6	(1.5)
48	P6	I	先端部欠損	チャート	(3.0)	1.1	0.4	(2.1)
49	L7II	II	完形	チャート	2.1	1.9	0.8	3.6
50	Q7	I	完形	チャート	2.0	1.0	0.5	1.2
51	P6	I	完形	チャート	6.3	4.0	2.0	56.5
52	G8	II	先端部欠損	チャート	(0.3)	1.5	0.9	(2.3)
53	F7II	II	先端部欠損	チャート	(1.7)	1.3	0.4	(1.7)
54	I8	I	完形	下呂石	2.5	1.2	0.6	1.6
55	H7II上面	II	完形	下呂石	2.0	1.4	0.5	1.6
56	F7	II	先端部欠損	チャート	(1.5)	1.1	0.3	(0.7)
57	表採	II	完形	チャート	2.3	1.5	0.5	1.7

第112表 センター地点石錐一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B8	I	完形	チャート	1.9	1.4	0.5	1.1	
2	B6	I	完形	チャート	1.8	1.2	0.4	0.7	
3	B5Ⅱb	Ⅱ	完形	玉髓	3.8	2.5	1.2	9.7	
4	B5Ⅱb	Ⅱ	完形	チャート	2.6	1.5	0.5	1.9	
5	C7	Ⅲ	完形	チャート	3.5	1.1	0.4	1.8	
6	C9	Ⅲ	完形	チャート	2.4	0.8	0.3	0.7	
7	B5Ⅱb	Ⅱ	完形	チャート	2.3	1.4	0.6	2.2	
8	B6	Ⅱ	つまみ部欠損	チャート	(1.4)	(1.1)	(0.3)	(0.4)	
9	B2	Ⅱ	完形	チャート	1.8	1.5	0.7	3.1	
10	C6	Ⅱ	つまみ部欠損	チャート	2.8	(1.5)	0.9	(3.1)	
11	C5	Ⅱ	完形	チャート	2.7	1.1	0.7	2.6	
12	B8	Ⅲ	一端欠損	チャート	(2.4)	0.9	0.4	(1.3)	
13	B4Ⅰ	Ⅱ	つまみ部欠損	チャート	2.4	(1.1)	0.3	(1.1)	
14	C5Ⅱb	Ⅱ	完形	チャート	2.0	1.4	0.3	0.7	
15	V12Ⅰ	Ⅱ	完形	チャート	2.0	1.2	0.5	1.6	
16	C8	Ⅱ	先端部欠損	チャート	(3.3)	1.8	0.7	(4.8)	
17	B11	I	完形	黒曜石	2.5	1.4	0.7	2.0	
18	C8	I	完形	チャート	1.4	1.2	0.6	1.4	
19	C5Ⅱb	Ⅱ	つまみ部欠損	チャート	2.7	(1.7)	0.5	(3.4)	
20	B5Ⅱb	I	完形	下呂石	2.7	1.8	0.4	1.8	

第113表 宮ノ前地点磨製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	31	3層	基部欠損	蛇紋岩	(2.4)	1.3	0.5	(3)	
2	22	3層	刃部欠損	蛇紋岩	(6.2)	1.7	0.7	(17)	
3	23	4層	基部欠損	蛇紋岩	(6.0)	1.8	1.1	(23)	
4	2	3層	刃部破片	蛇紋岩	(3.2)	(2.1)	(0.7)	(10)	
5	38	3・4層	基部欠損	蛇紋岩	(3.5)	(3.2)	(0.8)	(10)	
6	11	3層	完形	蛇紋岩	5.3	2.9	1.0	24	
7	42	3層	刃部一部欠損	蛇紋岩	6.0	2.8	0.9	(31)	
8	表採	—	基部欠損	安山岩	(5.7)	3.2	1.4	(40)	
9	35	3層	完形	蛇紋岩	5.0	3.4	0.9	32	
10	3	4層	基部一部欠損	蛇紋岩	4.9	3.6	1.1	(30)	第97図8
11	32	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(6.5)	3.2	1.2	(37)	
12	25	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(4.4)	(3.5)	1.5	(29)	
13	26	4層	基部破片	蛇紋岩	(3.1)	(4.1)	(1.9)	(33)	
14	38	3・4層	基部破片	蛇紋岩	(4.4)	(3.6)	(1.8)	(55)	
15	22	4層	基部欠損	蛇紋岩	(3.9)	2.9	1.0	(22)	
16	1	3層	刃部欠損	蛇紋岩	(5.5)	(3.2)	1.0	(27)	
17	11	4層	基部破片	安山岩	(4.5)	(2.8)	(2.8)	(56)	
18	38	3・4層	刃部欠損	蛇紋岩	(8.0)	4.4	2.3	(139)	
19	35	3層	基部破片	蛇紋岩	(5.6)	(4.0)	(2.0)	(75)	
20	31	4層	刃部・基部欠損	蛇紋岩	(7.8)	(4.3)	1.7	(116)	
21	28~30	3層	基部破片	安山岩	(5.3)	(4.8)	(2.8)	(111)	
22	42	3層	基部破片	硬質砂岩	(5.9)	(5.3)	(2.3)	(151)	
23	32	4層	基部破片	蛇紋岩	(8.2)	(5.2)	(2.6)	(221)	
24	38	3・4層	基部破片	蛇紋岩	(5.7)	(4.5)	(1.8)	(106)	
25	45	3層	破片	蛇紋岩	(4.4)	(3.2)	(0.8)	(12)	

26	31	4層	刃部破片	蛇紋岩	(2.2)	(5.0)	(1.5)	(18)	
27	22	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(8.0)	(5.1)	2.6	(165)	
28	23	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(8.0)	4.9	2.1	(140)	
29	表採	—	刃部欠損	安山岩	(7.0)	(3.6)	2.5	(106)	
30	36	4層	ほぼ完形	蛇紋岩	13.0	4.6	2.4	(267)	
31	5	4層	胴部一部欠損	凝灰岩	11.5	(4.5)	2.2	(204)	
32	12	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(10.9)	5.0	2.0	(218)	
33	5	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(10.5)	(4.6)	2.0	(194)	
34	11	3層	基部欠損	蛇紋岩	(7.8)	5.5	2.4	(214)	
35	4	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(11.3)	4.8	2.2	(250)	
36	24	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(9.0)	5.7	1.8	(141)	
37	22・23拵	4層	刃部欠損	安山岩	(8.9)	(5.4)	2.2	(182)	
38	31	3・4層	刃部欠損	蛇紋岩	(10.2)	(5.3)	2.2	(259)	
39	44	3層	刃部欠損	蛇紋岩	(9.1)	(5.7)	2.2	(240)	
40	表採	—	胴部破片	蛇紋岩	(9.6)	(6.0)	(2.5)	(169)	
41	26	4層	刃部破片	蛇紋岩	(5.0)	(6.4)	(2.0)	(70)	
42	3	4層	刃部破片	蛇紋岩	(9.0)	(6.2)	(2.2)	(200)	
43	32	3層	刃部欠損	蛇紋岩	(10.1)	(4.8)	2.0	(187)	
44	12	4層	基部破片	蛇紋岩	(8.3)	(5.5)	(2.8)	(211)	
45	3	4層	基部破片	蛇紋岩	(7.6)	(6.5)	(2.8)	(246)	
46	41	3・4層	胴部破片	蛇紋岩	(11.0)	(5.1)	(2.4)	(236)	
47	31	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(10.0)	(5.5)	(2.4)	(222)	
48	42	4層	完形	安山岩	13.6	6.2	2.5	397	同15
49	12	4層	胴部破片	蛇紋岩	(3.5)	(2.7)	(0.9)	(13)	
50	42	3層	刃部破片	蛇紋岩	(2.5)	(5.4)	(1.5)	(24)	
51	26	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(11.5)	(6.1)	2.3	(286)	
52	21	3層	刃部・基部欠損	蛇紋岩	(11.4)	(6.2)	2.9	(276)	
53	22	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(14.0)	(6.4)	2.5	(436)	
54	34	3層	基部破片	蛇紋岩	(5.5)	(4.6)	(1.7)	(75)	
55	26	4層	破片	蛇紋岩	(3.6)	(3.1)	(0.6)	(6)	
56	表採	—	破片	蛇紋岩	(6.8)	(2.6)	(0.8)	(21)	
57	22・23拵	4層	刃部欠損	蛇紋岩	(9.1)	(5.9)	2.5	(220)	
58	11	4層	刃部欠損	安山岩	(9.7)	(6.0)	(3.0)	(285)	
59	44	3層	完形	硬質流紋岩	12.1	5.7	2.6	259	同19

第114表 前田地点上層磨製石斧一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B14第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(12.7)	(6.0)	2.4	(344)	
2	C12	刃部欠損	流紋岩	(10.1)	(5.6)	2.6	(263)	
3	B17第3層	刃部欠損	硬質砂岩	(13.6)	(7.8)	3.5	(581)	
4	B6	刃部欠損	硬質砂岩	(12.7)	(8.1)	2.9	(589)	
5	B1	刃部欠損	硬質砂岩	(10.6)	(6.2)	2.6	(269)	
6	A22第7層	刃部欠損	流紋岩	(11.5)	(6.4)	3.5	(426)	
7	C19	刃部欠損	蛇紋岩	(11.8)	(6.5)	3.3	(446)	
8	C12	刃部欠損	硬質砂岩	(13.5)	(6.2)	3.1	(397)	第97図16
9	表採	刃部欠損	蛇紋岩	(11.6)	(5.2)	2.2	(205)	
10	A18	刃部欠損	蛇紋岩	(13.0)	(5.4)	2.7	(296)	
11	B18	刃部欠損	蛇紋岩	(12.2)	(5.5)	2.8	(321)	
12	B6	刃部欠損	蛇紋岩	(13.5)	(6.2)	2.6	(321)	
13	C4第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(15.9)	(6.0)	3.0	(257)	
14	A21	1/2欠損	安山岩	(15.7)	(4.7)	2.9	(343)	

15	C8	刃部欠損	蛇紋岩	(8.3)	5.8	(2.9)	(264)
16	B4	刃部欠損	蛇紋岩	(9.4)	6.5	(2.7)	(318)
17	表採	刃部欠損	安山岩	(12.5)	7.2	4.1	(660)
18	C9第7層	胴部破片	安山岩	(7.4)	5.8	(3.2)	(213)
19	A18	刃部破片	安山岩	(6.2)	(6.1)	(3.0)	(183)
20	C9第7層	刃部破片	安山岩	(11.3)	(7.7)	(2.6)	(254)
21	C6	刃部破片	蛇紋岩	(6.6)	5.0	2.2	(123)
22	C6	完形	安山岩	11.8	6.5	2.4	234
23	A4第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(9.0)	5.1	1.8	(140)
24	C9第7層	刃部破片	蛇紋岩	(4.8)	(5.0)	(2.2)	(79)
25	B6	胴部破片	蛇紋岩	(5.1)	(4.6)	(1.8)	(90)
26	B19	刃部欠損	蛇紋岩	(8.0)	6.2	2.4	(186)
27	C3	刃部欠損	蛇紋岩	(10.3)	6.3	2.0	(259)
28	B6	基部破片	硬質砂岩	(5.5)	(5.0)	(2.7)	(131)
29	C6	刃部欠損	蛇紋岩	(7.6)	5.2	2.9	(204)
30	C19	基部破片	硬質砂岩	(4.7)	(5.1)	(2.4)	(60)
31	B6	胴部破片	蛇紋岩	(9.6)	4.7	2.4	(213)
32	A7	胴部破片	蛇紋岩	(7.3)	6.8	(2.8)	(235)
33	C8	基部欠損	安山岩	(10.0)	(6.2)	(2.6)	(250)
34	A5	基部・刃部欠損	蛇紋岩	(14.7)	7.8	(2.8)	(490)
35	A7	刃部欠損	安山岩	(9.5)	(4.6)	(2.5)	(163)
36	B2	基部欠損	硬質砂岩	(8.6)	5.9	2.3	(194)
37	C19第7層	刃部破片	硬質砂岩	(5.5)	(6.8)	(2.3)	(81)
38	A19第7層	基部・刃部欠損	蛇紋岩	(6.7)	4.7	2.9	(154)
39	B14第7層	基部欠損	蛇紋岩	(6.6)	3.8	(2.3)	(87)
40	C13	胴部破片	凝灰質流紋岩	(7.1)	(7.4)	(3.8)	(313)
41	A6	基部欠損	蛇紋岩	(9.3)	5.8	2.8	(258)
42	A7	刃部欠損	安山岩	(10.2)	(5.1)	2.6	(194)
43	A23	刃部欠損	蛇紋岩	(8.5)	(6.0)	(2.5)	(188)
44	B5	胴部破片	蛇紋岩	(9.4)	(6.8)	(2.1)	(200)
45	A15	刃部欠損	蛇紋岩	(9.2)	(5.2)	2.3	(174)
46	B5	刃部破片	蛇紋岩	(6.9)	6.0	(2.5)	(178)
47	C12	刃部欠損	硬質砂岩	(9.0)	(4.2)	2.6	(154)
48	C4	基部・刃部欠損	凝灰岩	(10.8)	(5.5)	(2.5)	(202)
49	C8	基部・刃部欠損	安山岩	(7.0)	5.6	2.0	(114)
50	A7	基部・刃部欠損	蛇紋岩	(7.6)	(5.7)	(2.5)	(147)
51	C7	基部破片	安山岩	(5.7)	(5.3)	(2.4)	(136)
52	B7	刃部欠損	蛇紋岩	(9.4)	(4.8)	2.3	(160)
53	C12	刃部破片	蛇紋岩	(4.8)	(7.0)	(2.1)	(87)
54	C8	基部・刃部欠損	蛇紋岩	(7.0)	4.0	(2.3)	(98)
55	B8	基部破片	蛇紋岩	(6.9)	(5.0)	(2.4)	(125)
56	C20	刃部欠損	蛇紋岩	(9.3)	(5.3)	(2.8)	(196)
57	C12	刃部欠損	硬質砂岩	(9.1)	(5.4)	(2.5)	(210)
58	C12	ほぼ完形	安山岩	11.1	(5.7)	2.2	(216)
59	B21	完形	蛇紋岩	10.8	4.8	2.3	149
60	C5	刃部欠損	蛇紋岩	(8.9)	(5.9)	(2.7)	(223)
61	B6	完形	硬質砂岩	11.8	5.5	2.4	238
62	C9第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(10.0)	(5.2)	(2.1)	(176)
63	A5	刃部欠損	蛇紋岩	(8.3)	(5.3)	(3.0)	(192)
64	B6	刃部破片	蛇紋岩	(8.3)	6.6	(2.5)	(186)
65	C5	基部破片	蛇紋岩	8.0	5.4	(2.2)	(152)
66	C4第7層	基部欠損	蛇紋岩	(8.1)	(4.4)	2.0	(103)
67	C10	刃部欠損	安山岩	(8.7)	4.9	(2.7)	(169)

同12

68	A2	基部欠損	硬質砂岩	(8.0)	5.1	(3.1)	(192)	
69	C4	刃部欠損	流紋岩	(8.9)	(4.4)	2.6	(153)	
70	B5	基部欠損	蛇紋岩	(7.2)	4.6	(2.4)	(164)	
71	B14第7層	完形	蛇紋岩	8.4	2.9	1.2	53	
72	A4	刃部破片	安山岩	(5.7)	(6.4)	(3.3)	(171)	
73	B5	刃部破片	蛇紋岩	(6.2)	(5.5)	(2.0)	(99)	
74	C4第7層	刃部破片	蛇紋岩	(5.0)	(5.0)	(2.7)	(91)	
75	C11	刃部破片	凝灰岩	(5.7)	(7.9)	(2.6)	(159)	
76	B3	基部欠損	蛇紋岩	(9.4)	4.6	(2.7)	(196)	
77	C11	刃部破片	蛇紋岩	(3.8)	(4.1)	(1.8)	(41)	
78	B10	刃部破片	蛇紋岩	(3.5)	(7.0)	(1.9)	(55)	
79	A17	刃部破片	蛇紋岩	(3.6)	(4.3)	(1.0)	(20)	
80	B5	刃部破片	蛇紋岩	(5.2)	(5.1)	(1.8)	(65)	
81	C4第7層	基部破片	蛇紋岩	(6.8)	(4.9)	(2.5)	(131)	
82	B13	基部破片	蛇紋岩	(4.1)	(4.0)	(2.5)	(47)	
83	C17第4層	基部破片	閃綠岩	(4.3)	(3.9)	(2.8)	(61)	
84	A4	基部破片	蛇紋岩	(4.6)	(3.9)	(2.7)	(58)	
85	A22第7層	基部破片	安山岩	(4.7)	(4.7)	(2.5)	(61)	
86	B8	基部破片	蛇紋岩	(3.3)	(2.9)	(1.7)	(23)	
87	B16	刃部欠損	蛇紋岩	(8.0)	(4.6)	2.7	(152)	
88	C17	基部破片	蛇紋岩	(5.8)	(5.0)	(2.2)	(96)	
89	A12第7層	完形	蛇紋岩	7.2	4.7	1.7	90	同6
90	C5	刃部破片	安山岩	(7.3)	(5.1)	(3.2)	(142)	
91	C21	刃部破片	蛇紋岩	(7.8)	7.5	(2.7)	(246)	
92	B10第7層	完形	蛇紋岩	7.0	3.8	1.1	58	同4
93	C4第7層	刃部欠損	安山岩	(8.0)	(4.0)	(1.8)	(82)	
94	C1	ほほ完形	安山岩	11.2	3.9	2.4	(158)	
95	表採	刃部欠損	蛇紋岩	(6.9)	(4.8)	1.8	(105)	
96	C16	刃部破片	蛇紋岩	(8.8)	(6.4)	(2.8)	(168)	
97	C4第7層	刃部破片	安山岩	(7.0)	6.2	(3.0)	(229)	
98	A6	完形	蛇紋岩	6.0	3.4	1.3	46	同7
99	C1	基部破片	安山岩	(8.8)	(4.5)	(3.7)	(206)	
100	B12	破片	蛇紋岩	(3.2)	(2.5)	(0.4)	(5)	
101	C1	刃部欠損	蛇紋岩	(9.5)	(5.1)	2.0	(183)	
102	C1	胴部破片	蛇紋岩	(9.3)	4.6	2.0	(159)	
103	C3	基部破片	凝灰岩	(5.6)	(5.3)	(3.1)	(127)	
104	C2	胴部破片	凝灰岩	(9.0)	(6.3)	3.5	(333)	
105	C3	基部欠損	蛇紋岩	(10.2)	5.7	3.2	(302)	
106	C1	刃部欠損	蛇紋岩	(7.5)	(4.5)	1.8	(124)	
107	B23第7層	刃部破片	蛇紋岩	(1.5)	(3.3)	(0.6)	(5)	
108	A11	基部破片	蛇紋岩	(7.0)	(3.7)	(2.3)	(102)	
109	表採	刃部欠損	蛇紋岩	(8.3)	(4.7)	1.7	(112)	
110	B5	刃部破片	安山岩	(4.4)	(6.4)	(2.4)	(96)	
111	B3	胴部破片	安山岩	(6.0)	(5.7)	(2.4)	(145)	
112	C1	胴部破片	蛇紋岩	(7.6)	(5.4)	(2.3)	(145)	
113	B14	基部破片	安山岩	(6.9)	(5.0)	(2.9)	(138)	
114	C5	完形	蛇紋岩	10.2	4.3	2.3	175	同21
115	表採	刃部破片	安山岩	(6.5)	4.4	1.8	(82)	
116	B15	基部欠損	蛇紋岩	(7.2)	(4.8)	(2.4)	(123)	
117	C22	ほほ完形	安山岩	7.5	4.5	2.5	(130)	
118	C19	基部破片	流紋岩	(5.5)	(4.2)	(2.4)	(84)	
119	C14第7層	胴部破片	安山岩	(2.7)	(4.8)	(2.4)	(75)	
120	A22第7層	基部破片	砂岩	(3.8)	(4.4)	(2.3)	(53)	

121	B2第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(8.7)	(5.4)	(2.4)	(176)	同11
122	C1	刃部欠損	蛇紋岩	(8.0)	(5.1)	2.0	(175)	
123	C10	破片	蛇紋岩	(3.8)	(3.8)	(0.8)	(18)	
124	C5	刃部欠損	蛇紋岩	(6.7)	(4.6)	2.1	(87)	
125	C6	刃部破片	硬質砂岩	(5.5)	6.2	(2.2)	(95)	
126	C5	基部破片	凝灰岩	(5.0)	(4.8)	(2.1)	(89)	
127	B6	刃部欠損	蛇紋岩	(7.3)	4.0	1.6	(80)	
128	表採	刃部欠損	蛇紋岩	(6.9)	(3.9)	1.5	(68)	
129	B4第7層	刃部欠損	安山岩	(7.8)	(5.1)	(2.4)	(168)	
130	A7	刃部欠損	蛇紋岩	(8.5)	(4.9)	2.3	(154)	
131	A6	刃部破片	蛇紋岩	(4.0)	(5.4)	(1.4)	(28)	
132	表採	基部欠損	蛇紋岩	(7.5)	(5.1)	(1.9)	(105)	
133	A4第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(7.6)	(4.9)	2.2	(114)	
134	A5	胴部破片	安山岩	(3.6)	(4.8)	(2.4)	(87)	
135	C14	基部欠損	蛇紋岩	(6.5)	4.7	2.2	(78)	
136	C9	刃部欠損	蛇紋岩	(3.9)	(2.8)	(2.3)	(44)	
137	C4	基部破片	蛇紋岩	(4.5)	(3.9)	(1.6)	(32)	
138	A7	刃部破片	蛇紋岩	(2.0)	(4.4)	(1.1)	(10)	
139	B9	刃部破片	蛇紋岩	(2.3)	(4.4)	(1.1)	(17)	
140	C18	破片	蛇紋岩	(3.0)	(4.3)	(0.8)	(14)	
141	C4	胴部破片	蛇紋岩	(6.0)	(4.5)	1.6	(78)	
142	C21	刃部破片	蛇紋岩	(5.3)	4.5	(1.2)	(43)	
143	A4	胴部破片	蛇紋岩	(5.6)	(4.0)	(1.6)	(83)	
144	A15	完形	安山岩	7.0	3.9	1.6	63	
145	C6	基部欠損	蛇紋岩	(5.7)	(3.2)	(1.4)	(52)	
146	C20	刃部欠損	蛇紋岩	(6.1)	(3.6)	1.1	(48)	
147	C2	基部欠損	蛇紋岩	(4.7)	3.9	(1.3)	(45)	
148	B13第7層	刃部破片	蛇紋岩	(4.8)	4.2	(1.7)	(53)	
149	C1	刃部破片	蛇紋岩	(5.0)	3.7	(1.6)	(56)	
150	B17	基部欠損	蛇紋岩	(5.6)	4.3	(1.4)	(43)	
151	表採	完形	蛇紋岩	4.7	2.9	0.9	26	
152	C21	ほほ完形	蛇紋岩	6.0	3.8	0.9	(40)	同3
153	C3	刃部欠損	蛇紋岩	(7.2)	(3.4)	1.3	(61)	
154	C13	完形	蛇紋岩	6.5	3.6	1.3	53	
155	C11	完形	蛇紋岩	6.1	2.5	0.9	36	同10
156	C5	完形	蛇紋岩	8.0	2.5	1.0	40	同9
157	C22	基部欠損	蛇紋岩	(6.3)	2.5	1.6	(47)	
158	C19	刃部欠損	蛇紋岩	(5.7)	(3.5)	1.0	(36)	
159	表採	完形	蛇紋岩	6.1	3.6	1.1	41	同5
160	A11第7層	刃部欠損	蛇紋岩	(5.9)	(3.7)	(1.1)	(29)	
161	C7	刃部破片	蛇紋岩	(3.6)	2.8	(1.2)	(23)	
162	A6	刃部破片	蛇紋岩	(3.5)	3.6	(1.3)	(28)	
163	A16	刃部破片	蛇紋岩	(2.7)	(3.2)	1.0	(13)	
164	C17	刃部欠損	蛇紋岩	(6.8)	(2.5)	(1.5)	(36)	
165	表採	刃部欠損	蛇紋岩	(5.8)	3.2	1.7	(42)	
166	B6	刃部破片	蛇紋岩	(4.2)	2.5	(1.0)	(22)	
167	B8	刃部欠損	蛇紋岩	(6.4)	(3.5)	1.8	(65)	
168	A11	胴部破片	蛇紋岩	(2.2)	(3.4)	(1.4)	(18)	
169	A18	刃部欠損	蛇紋岩	(4.7)	(3.2)	(1.1)	(29)	
170	B2	基部破片	蛇紋岩	(3.2)	(2.6)	(1.8)	(29)	
171	A2	基部破片	蛇紋岩	(4.1)	(3.7)	(2.6)	(46)	
172	C19	破片	蛇紋岩	(2.8)	(2.0)	(0.6)	(4)	
173	C10	ほほ完形	蛇紋岩	5.6	2.9	1.1	(31)	

174	A12	基部欠損	蛇紋岩	(4.7)	(3.2)	(0.9)	(27)	
175	B5	ほぼ完形	蛇紋岩	5.2	3.0	1.1	(31)	
176	B14	刃部破片	蛇紋岩	(3.6)	3.6	(1.0)	(20)	
177	B1	胴部破片	蛇紋岩	(5.2)	(2.9)	(1.2)	(28)	
178	C10	刃部破片	蛇紋岩	(3.9)	3.2	(1.0)	(17)	
179	B20第7層	刃部破片	蛇紋岩	(1.5)	(4.1)	(1.2)	(9)	
180	A11	基部欠損	蛇紋岩	(3.5)	2.4	(0.7)	(11)	
181	A9	刃部破片	蛇紋岩	(3.3)	(3.0)	(1.7)	(24)	
182	B21第7層	破片	粘板岩	(5.6)	(1.7)	(0.6)	(6)	
183	C14	完形	蛇紋岩	5.0	3.3	0.8	17	同17
184	表採	刃部一部欠損	蛇紋岩	5.4	(2.8)	1.0	(28)	
185	A8	基部破片	蛇紋岩	(3.7)	(3.6)	(1.3)	(25)	
186	C4	基部破片	蛇紋岩	(1.6)	(1.8)	(0.9)	(4)	
187	B13	刃部欠損	蛇紋岩	(4.8)	(2.9)	(0.9)	(20)	
188	C12	完形	砂岩	3.0	1.7	0.4	3	同1
189	C9	完形	蛇紋岩	3.8	1.8	0.8	10	
190	B15	基部破片	蛇紋岩	(1.7)	(2.2)	(0.8)	(6)	
191	C17	刃部欠損	蛇紋岩	(3.1)	(1.6)	(1.0)	(8)	
192	B14	基部欠損	蛇紋岩	(4.3)	(1.7)	0.8	(10)	同2
193	A18	胴部破片	蛇紋岩	(5.8)	(3.3)	(1.5)	(46)	
194	A20	胴部破片	流紋岩	(4.5)	(3.3)	(1.3)	(28)	
195	C6	胴部破片	蛇紋岩	(5.3)	(3.0)	(1.8)	(51)	
196	B10	刃部破片	蛇紋岩	(3.5)	(5.3)	(1.5)	(41)	
197	A10第7層	刃部破片	蛇紋岩	(5.5)	(3.2)	(2.1)	(43)	
198	B5	刃部破片	安山岩	(5.0)	(3.4)	(1.2)	(25)	
199	C14	胴部破片	蛇紋岩	(6.1)	(3.4)	(1.4)	(28)	
200	B18	胴部破片	蛇紋岩	(2.9)	(4.5)	(2.1)	(30)	
201	C11	破片	蛇紋岩	(2.5)	(1.7)	(0.7)	(3)	
202	C9	破片	粘板岩	(1.7)	(1.4)	(0.4)	(1)	
203	B15	破片	蛇紋岩	(3.8)	(2.9)	(1.1)	(13)	
204	B9第7層	破片	蛇紋岩	(3.0)	(2.9)	(1.3)	(13)	
205	C9	胴部破片	蛇紋岩	(2.2)	(1.7)	(0.3)	(2)	
206	A12	破片	蛇紋岩	(3.0)	(2.5)	(0.8)	(7)	
207	B7	完形	蛇紋岩	13.5	5.6	2.2	302	
208	B17	一部欠損	蛇紋岩	(9.8)	2.7	2.2	(94)	同18
209	表採	基部破片	濃飛流紋岩	(5.6)	(4.3)	(2.9)	(92)	
210	B13	刃部破片	蛇紋岩	(3.4)	(3.7)	(1.1)	(14)	
211	C14第7層	完形	安山岩	11.4	5.4	2.1	175	同20

第115表 うづか地点磨製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	H9ミゾ	完形	砂岩	9.7	3.7	2.5	140	
2	K7II	基部欠損	蛇紋岩	(7.4)	4.4	2.1	(122)	
3	G7III	基部欠損	蛇紋岩	(8.0)	4.9	(2.7)	(119)	
4	J7II	胴部破片	蛇紋岩	(8.6)	(5.2)	2.1	(160)	
5	F7II	刃部破片	硬質頁岩	(3.6)	(5.5)	(2.0)	(55)	
6	No.E土坂	基部欠損	蛇紋岩	(5.2)	3.0	1.3	(32)	
7	表採	刃部破片	蛇紋岩	(2.5)	(4.0)	(1.0)	(12)	
8	S9	刃部破片	蛇紋岩	(1.4)	(2.1)	(0.2)	(1)	

第116表 センター地点磨製石斧一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B10	基部破片	蛇紋岩	(9.6)	(5.5)	(2.3)	(149)	
2	B12	基部欠損	蛇紋岩	(8.3)	4.7	(3.2)	(190)	
3	B12	完形	安山岩	9.2	4.6	1.3	91	
4	C12	完形	安山岩	10.3	5.2	1.8	177	第97図22
5	B5Ⅱ b	完形	蛇紋岩	10.1	5.4	2.4	241	
6	A12	刃部欠損	蛇紋岩	(9.3)	(5.7)	(2.6)	(239)	
7	B12	刃部破片	蛇紋岩	(7.4)	7.1	(2.6)	(275)	
8	A10	完形	蛇紋岩	10.0	4.8	2.4	181	同13
9	A12	刃部欠損	蛇紋岩	(10.5)	(5.6)	2.5	(234)	
10	C7	完形	蛇紋岩	10.0	4.5	2.1	155	
11	B10	刃部欠損	蛇紋岩	(9.8)	5.1	2.3	(176)	
12	B14	刃部欠損	安山岩	(7.7)	(5.9)	2.3	(182)	
13	B12	刃部一部欠損	安山岩	14.5	6.0	3.2	(423)	
14	C13	刃部一部欠損	蛇紋岩	11.9	5.5	2.7	(342)	同14
15	B5	刃部一部欠損	蛇紋岩	(12.5)	5.9	2.3	(328)	
16	B13	刃部欠損	蛇紋岩	(13.1)	6.1	2.7	(299)	
17	B11	刃部・基部欠損	蛇紋岩	(5.3)	3.2	1.2	(35)	
18	表土	基部欠損	蛇紋岩	(5.8)	3.4	1.3	(50)	
19	A11	破片	蛇紋岩	(4.0)	(2.3)	(1.0)	(15)	
20	B6Ⅱ b	刃部欠損	蛇紋岩	(6.6)	5.2	1.5	(64)	
21	C7	刃部破片	蛇紋岩	(7.1)	(5.1)	(1.9)	(109)	
22	C6Ⅱ b	破片	蛇紋岩	(4.5)	(3.0)	(0.8)	(15)	
23	C12	刃部欠損	安山岩	(5.4)	(4.2)	(2.9)	(98)	
24	A10	刃部破片	安山岩	(5.6)	(4.9)	(2.4)	(77)	

第117表 宮ノ前地点砥石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	34	3層	1/3 欠損	砂岩	(5.0)	(2.8)	0.6	(17)	
2	27	3層	1/2 欠損	砂岩	(5.4)	(5.3)	0.9	(44)	
3	23	4層	完形	砂岩	7.2	4.7	1.0	58	第98図8
4	32	4層	1/3 欠損	砂岩	(6.9)	4.3	0.7	(46)	同6
5	26	4層	1/3 欠損	安山岩	(5.4)	(4.5)	(1.2)	(49)	
6	13	3層	完形	頁岩	6.4	9.1	1.5	112	
7	1	3層	2/3 欠損	砂岩	(5.1)	(7.6)	(1.5)	(88)	

第118表 前田地点上層砥石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B21第7層	一部欠損	砂岩	(10.3)	6.5	3.7	(276)	第98図16
2	B11第7層	一部欠損	凝灰岩	(4.6)	2.8	1.1	(19)	
3	B8	1/2 欠損	砂岩	5.6	(4.4)	(0.6)	(24)	
4	A21	完形	砂岩	12.0	8.6	3.6	553	同17
5	A11第7層	完形	砂岩	10.3	6.4	1.0	119	同11
6	B13	1/2 欠損	砂岩	(5.6)	(4.2)	2.0	(68)	
7	B19	完形	砂岩	6.2	4.0	1.1	43	
8	C5	完形	砂岩	7.3	5.0	1.1	69	
9	B5第7層	完形	砂岩	9.5	4.6	1.3	70	



10	C13第7層	1/2	欠損	砂岩	(7.0)	(4.7)	1.5	(69)	
11	B12第7層	完	形	砂岩	5.9	5.7	2.3	102	
12	C13第7層	完	形	砂岩	14.5	5.9	1.5	172	
13	B18	一部	欠損	砂岩	8.7	7.1	2.8	(211)	
14	B20	一部	欠損	凝灰岩	8.6	6.6	1.2	(80)	
15	B12	1/2	欠損	砂岩	(5.2)	(4.3)	1.9	(58)	
16	C4	1/3	欠損	砂岩	(8.4)	7.0	3.5	(287)	
17	B23	完	形	砂岩	9.3	5.7	1.6	131	同13
18	A14第7層	1/3	欠損	砂岩	7.0	(5.5)	1.8	(90)	
19	C21第7層	一部	欠損	砂岩	(10.0)	4.1	1.4	(113)	同10
20	表採	1/2	欠損	砂岩	(5.6)	(5.3)	2.7	(103)	
21	表採	1/2	欠損	砂岩	(4.1)	3.2	0.6	(14)	
22	B4	1/3	欠損	砂岩	(10.3)	5.8	2.4	(164)	
23	C5	1/3	欠損	砂岩	(5.2)	(5.1)	1.4	(59)	
24	B10	完	形	砂岩	6.4	3.6	1.1	35	同7
25	C12	一部	欠損	砂岩	(7.8)	(6.7)	1.3	(103)	同9
26	A18	一部	欠損	砂岩	(8.7)	7.2	1.2	(106)	同12
27	C21第7層	1/2	欠損	砂岩	(4.6)	4.2	1.3	(41)	
28	C16	破	片	砂岩	(5.1)	(4.1)	0.6	(22)	

第119表 センター地点砥石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A8	完形	砂岩	10.9	6.6	2.1	218	第98図15
2	A10	完形	砂岩	10.3	5.5	1.6	147	同14
3	A9	1/3欠損	砂岩	(5.2)	4.5	1.3	(51)	
4	B7	破片	砂岩	(4.5)	(2.0)	(1.0)	(23)	
5	A9	破片	砂岩	(7.0)	(6.0)	(2.2)	(96)	

第120表 宮ノ前地点据置砥石一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	14	2層	1/2欠損	砂岩	(12)	14.4	4.1	(1.26)	

第121表 前田地点上層据置砥石一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B17	完形	砂岩	15.8	10.7	5.0	1.20	
2	表採	1/2欠損	砂岩	(12.8)	(10.5)	(5.2)	(1.10)	
3	C17	完形	砂岩	15.9	9.2	3.6	0.74	第99図5
4	C14	1/2欠損	砂岩	(18.3)	(16.1)	4.9	(1.32)	同1
5	A10	完形	砂岩	24.3	17.5	6.1	3.58	同2
6	B4	破片	多孔質安山岩	(14.8)	(13.5)	(8.3)	(2.18)	
7	表採	完形	砂岩	23.2	14.2	10.5	4.22	同4
8	B20	完形	砂岩	27.7	12.1	11.1	5.26	同3
9	C12第7層	完形	砂岩	29.3	9.5	7.1	2.78	同7
10	C13	1/2欠損	砂岩	(11.0)	(13.9)	(9.8)	(1.82)	
11	A6	破片	砂岩	(10.4)	(7.9)	(4.6)	(0.38)	
12	A18	1/3欠損	砂岩	(23.6)	(14.8)	(7.1)	(3.22)	
13	B17	完形	砂岩	20.8	11.1	6.6	2.16	

14	C8	完	形	砂	岩	24.9	14.6	8.3	3.56	
15	A19	1/3	欠損	砂	岩	(25.2)	(22.7)	(8.0)	(5.88)	
16	表採	1/2	欠損	飛驒片麻	岩	(16.2)	(11.3)	(8.7)	(2.22)	
17	C21	一部	欠損	砂	岩	(22.7)	(17.8)	6.9	(6.08)	
18	B15第7層	1/2	欠損	砂	岩	(24.9)	(22.2)	(9.1)	(7.86)	
19	C15	完	形	砂	岩	31.4	22.1	9.8	9.80	
20	C17第7層	完	形	砂	岩	27.2	17.6	9.5	6.36	
21	C22第7層	破	片	砂	岩	(20.8)	(12.8)	(9.3)	(2.84)	
22	A8	完	形	多孔質安山	岩	33.4	19.3	14.3	14.36	同8

第122表 センター地点据置砥石一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C12	一部欠損	砂岩	28.9	(22.8)	6.7	(7.76)	
2	A10	完形	砂岩	25.2	11.6	7.1	2.94	第99図6

第123表 宮ノ前地点擦切石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	9	3層	完形	凝灰岩	5.0	8.3	1.5	71	
2	32	3層	1/2欠損	安山岩	(4.0)	(3.9)	(0.7)	(15)	
3	24	4層	1/3欠損	砂岩	7.9	(7.0)	2.5	(166)	
4	27	4層	完形	凝灰岩	5.5	10.0	1.5	96	
5	17・18	2層	1/3欠損	頁岩	7.2	(7.1)	1.2	(98)	

第124表 前田地点上層擦切石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C18	1/3欠損	濃飛流紋岩	5.9	(8.6)	2.7	(180)	
2	B17第3層	1/2欠損	砂岩	(8.2)	(7.1)	2.0	(112)	
3	A14	一部欠損	閃緑岩	5.9	(10.1)	2.4	(184)	
4	A21	完形	頁岩	6.5	10.6	1.0	81	第98図3
5	A21	一部欠損	砂岩	3.3	(7.2)	0.8	(26)	
6	C4第7層	完形	安山岩	6.6	5.3	1.2	50	
7	C5	完形	砂岩	5.9	7.8	2.3	132	
8	B5	1/3欠損	頁岩	6.1	(7.3)	1.1	(68)	
9	C15	1/2欠損	砂岩	(5.5)	(5.9)	1.4	(51)	
10	C22	一部欠損	砂岩	7.7	10.4	1.7	(148)	
11	表採	1/3欠損	砂岩	7.3	(8.8)	2.0	(135)	
12	C5	完形	砂岩	6.1	6.7	1.1	55	同1
13	B7	1/2欠損	頁岩	(5.2)	(5.6)	1.7	(53)	
14	C23	一部欠損	安山岩	4.7	12.3	1.6	(101)	
15	C8	完形	砂岩	7.5	11.8	2.5	295	
16	B10	一部欠損	砂岩	5.0	(6.9)	2.1	(81)	
17	A20	1/2欠損	砂岩	6.5	(5.2)	1.7	(85)	
18	B12	完形	安山岩	8.4	9.4	1.8	165	同5
19	表採	1/2欠損	凝灰質流紋岩	(6.3)	(6.9)	(2.0)	(73)	
20	C19	一部欠損	砂岩	5.4	(8.5)	2.1	(105)	
21	B16	一部欠損	頁岩	6.5	(8.6)	1.9	(129)	
22	表採	1/3欠損	砂岩	(5.8)	(7.1)	1.3	(78)	同2

23 表採 1/2 欠損 砂 岩 (5.1) (6.9) (1.4) (64)

第125表 センター地点擦切石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石 質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B13	一部欠損	砂 岩	7.1	(9.0)	2.1	(147)	第98図4
2	C12	完 形	砂 岩	7.3	10.1	1.7	131	
3	B10	完 形	安 山 岩	5.7	8.9	1.9	107	

第126表 宮ノ前地点礫石錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石 質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	38	3・4層	完 形	石 英 斑 岩	1.3	1.8	7.2	6.5	5.9	2.2	140	第100図11
2	25	4層	完 形	安 山 岩	0.9	1.1	7.6	7.4	6.0	2.7	201	
3	25	4層	完 形	濃飛流紋岩	1.2	1.1	7.9	7.5	4.5	2.3	126	
4	13	4層	一部欠損	砂 岩	1.0	—	(6.9)	—	(4.1)	1.9	(82)	
5	31	3層	完 形	砂 岩	1.1	1.5	7.5	7.1	5.1	2.0	127	
6	44	3層	完 形	飛驒片麻岩	1.1	1.2	6.6	6.4	4.7	2.2	118	
7	38	3・4層	完 形	砂 岩	1.1	1.2	6.1	5.7	4.0	2.5	89	
8	15	2層	1/3 欠損	多孔質安山岩	1.3	1.0	5.4	5.1	(4.3)	2.6	(61)	
9	24	4層	完 形	頁 岩	0.8	1.4	5.7	5.4	4.0	2.0	83	
10	41	3・4層	完 形	安 山 岩	1.1	1.2	9.5	9.4	3.7	2.3	122	
11	47	3層	完 形	頁 岩	1.5	2.3	10.0	9.3	6.4	3.0	287	
12	44	3層	完 形	砂 岩	2.2	1.3	9.0	7.9	6.8	2.0	191	
13	48	3層	完 形	多孔質安山岩	1.9	1.6	8.5	7.7	6.0	2.4	189	
14	31	3層	完 形	多孔質安山岩	1.8	2.9	7.5	6.5	6.4	3.3	222	
15	23	4層	完 形	凝 灰 岩	2.0	2.1	9.6	9.1	6.7	2.8	294	
16	38	3・4層	完 形	多孔質安山岩	1.7	1.8	10.1	9.7	5.0	3.0	253	
17	表採	—	完 形	砂 岩	2.0	3.2	12.0	11.7	7.5	2.8	430	
18	32	3層	完 形	多孔質安山岩	1.2	2.3	9.5	8.8	7.4	4.8	413	
19	3	4層	完 形	濃飛流紋岩	1.7	2.5	9.9	9.3	6.5	2.6	278	
20	11	3層	完 形	濃飛流紋岩	2.3	2.5	8.8	8.3	7.6	2.9	333	
21	表採	—	完 形	飛驒片麻岩	2.2	3.9	10.5	9.5	7.7	1.8	205	
22	3	4層	完 形	多孔質安山岩	1.3	1.5	8.4	7.8	7.6	4.5	389	

第127表 前田地点上層礫石錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石 質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	B11第7層	完 形	砂 岩	1.0	1.2	4.0	3.8	3.0	1.5	27	第100図17
2	B7	完 形	砂 岩	1.2	1.5	5.9	5.6	3.7	1.8	65	
3	C9	完 形	安 山 岩	1.1	1.4	4.6	4.0	4.2	1.4	39	
4	C13	完 形	砂 岩	0.8	1.2	3.8	3.6	3.0	1.6	25	
5	C15第7層	完 形	頁 岩	0.9	1.2	4.9	4.7	4.8	1.5	37	
6	B17	完 形	飛驒片麻岩	1.5	1.6	5.7	5.3	5.1	1.7	69	
7	C5	完 形	頁 岩	1.3	1.5	6.5	5.9	4.5	2.1	87	
8	B6	完 形	濃飛流紋岩	0.8	1.2	7.1	6.8	4.1	2.5	112	
9	C10	完 形	頁 岩	0.8	1.5	5.7	5.5	3.9	1.7	51	
10	C6	一部欠損	安 山 岩	1.0	—	(7.1)	—	4.6	2.5	(100)	
11	C16第7層	完 形	飛驒片麻岩	1.2	1.3	7.5	7.1	4.4	1.8	83	
12	C7	完 形	砂 岩	1.2	1.6	6.0	5.6	4.5	1.7	73	

13	C11第7層	一部欠損	安山岩	1.3	—	6.8	6.4	4.0	3.2	(129)	
14	B19第7層	完形	砂岩	0.8	0.9	4.5	4.2	2.8	0.9	21	
15	C21第7層	完形	頁岩	0.7	0.7	5.1	4.8	4.6	1.2	24	同2
16	A8	完形	頁岩	0.9	1.3	5.4	5.3	3.5	1.3	41	
17	C24第7層	完形	安山岩	1.2	1.0	5.0	4.8	4.8	1.8	65	
18	A20	完形	砂岩	0.7	1.1	5.0	4.8	2.6	1.2	23	同3
19	B4	完形	輝綠凝灰岩	0.9	1.0	5.4	5.1	3.8	1.3	35	
20	B19	完形	飛驒片麻岩	0.7	0.8	8.2	7.9	3.4	1.4	66	
21	B6	完形	多孔質安山岩	1.0	1.5	6.7	5.8	5.2	1.9	81	
22	A15第7層	完形	濃飛流紋岩	1.1	1.5	7.8	7.5	4.9	1.8	106	
23	C5	完形	砂岩	1.0	1.3	6.5	6.3	4.0	1.9	75	
24	B13第7層	完形	安山岩	0.7	1.0	6.3	6.0	4.2	1.6	56	
25	A14第7層	完形	砂岩	1.1	1.1	5.4	5.0	3.7	1.8	56	
26	C6	完形	濃飛流紋岩	1.4	1.5	6.7	6.1	6.2	2.4	148	
27	A4	完形	安山岩	0.6	0.6	3.3	3.2	3.0	1.3	19	同1
28	C14	完形	頁岩	0.8	0.8	4.4	4.2	3.0	1.4	27	
29	C9第7層	完形	濃飛流紋岩	1.4	1.4	5.1	4.6	4.3	1.0	35	
30	C5	完形	頁岩	0.9	1.1	5.1	4.3	3.4	1.3	36	
31	B6	完形	安山岩	0.8	0.9	6.3	5.9	4.3	1.7	72	
32	C11第7層	完形	砂岩	1.2	1.2	6.2	5.8	4.8	2.0	88	
33	B4第7層	完形	砂岩	1.2	1.3	6.9	6.7	4.6	2.0	92	
34	C5	完形	頁岩	1.3	1.4	5.6	5.0	4.7	2.3	90	
35	A24	1/3欠損	砂岩	2.2	—	(7.2)	—	(6.8)	(2.6)	(194)	
36	B4	完形	砂岩	1.1	1.2	6.6	6.4	4.8	2.1	106	
37	C5	完形	安山岩	1.1	1.3	6.2	5.8	4.4	2.0	89	
38	A4	完形	頁岩	1.3	1.4	6.7	6.5	4.2	2.0	88	
39	B21	完形	安山岩	2.2	3.3	9.1	8.8	7.6	2.5	309	
40	C18第7層	完形	飛驒片麻岩	1.5	1.1	5.3	5.7	4.1	1.5	65	
41	B20第7層	完形	頁岩	2.1	1.3	7.9	7.7	4.1	2.0	99	
42	C6	完形	濃飛流紋岩	1.1	1.2	6.9	6.8	5.3	1.9	111	
43	B18	完形	濃飛流紋岩	1.4	1.1	7.2	5.7	4.8	2.0	88	
44	B23第7層	完形	安山岩	1.6	1.2	5.5	5.2	4.8	1.8	66	
45	表採	完形	砂岩	1.4	2.1	5.6	5.3	4.1	1.3	55	
46	C10	完形	多孔質安山岩	0.8	0.9	6.3	6.0	3.4	1.9	57	
47	B7	完形	濃飛流紋岩	1.6	1.2	6.7	6.4	5.6	2.1	163	
48	C15第7層	完形	安山岩	1.0	1.3	8.6	8.3	4.1	2.0	96	
49	B12第7層	完形	安山岩	1.3	1.7	5.4	5.0	3.7	1.4	43	
50	A2	完形	濃飛流紋岩	1.6	2.0	5.5	5.2	4.6	2.4	98	
51	A5	完形	凝灰質流紋岩	0.9	1.2	6.4	6.2	3.9	2.2	87	
52	B7	完形	飛驒片麻岩	1.6	2.1	7.1	6.5	4.9	2.7	140	
53	A6	一部欠損	多孔質安山岩	—	1.3	7.3	—	5.5	2.6	(162)	
54	C22	完形	多孔質安山岩	1.4	1.3	6.0	5.9	4.7	2.5	116	
55	B7	完形	多孔質安山岩	1.0	1.1	6.0	5.7	4.8	1.8	85	
56	C6	一部欠損	安山岩	—	1.6	6.3	—	5.1	2.5	(129)	
57	B18	完形	安山岩	1.2	1.6	6.5	6.1	4.4	1.9	80	
58	S K-2	一部欠損	砂岩	1.2	—	5.5	—	5.1	2.0	(84)	
59	C13	完形	安山岩	1.1	1.4	6.0	5.6	4.8	2.1	85	
60	B7	完形	安山岩	1.9	2.2	7.3	6.7	4.8	3.2	145	
61	C19	完形	多孔質安山岩	1.8	1.7	6.9	6.4	6.0	2.5	163	
62	C9	完形	安山岩	1.3	1.6	7.6	7.2	5.3	2.8	174	
63	A3	完形	安山岩	1.6	1.6	6.2	5.9	4.9	2.6	136	
64	C23	完形	砂岩	1.6	1.5	5.9	5.5	4.8	1.6	73	
65	C7	完形	砂岩	1.9	1.8	7.0	6.6	4.5	2.2	121	

66	B20第7層	完	形	砂	岩	1.0	0.9	8.9	8.4	4.9	1.5	108		
67	B15	完	形	砂	岩	1.5	2.1	6.3	5.8	6.2	2.3	130		
68	C22	完	形	砂	岩	1.6	2.1	6.1	6.0	4.9	2.8	128		
69	C21	完	形	砂	岩	1.2	1.6	5.4	4.9	5.4	2.1	96		
70	表採	完	形	安	山	岩	1.2	1.4	6.7	6.4	3.9	2.0	81	同4
71	表採	完	形	砂	岩	1.7	1.9	6.4	6.1	5.6	1.8	109		
72	B9	完	形	安	山	岩	1.5	1.6	7.0	6.6	4.8	2.4	111	
73	C12	完	形	安	山	岩	1.2	1.3	6.5	6.3	4.6	2.5	101	
74	C19	完	形	砂	岩	1.0	1.2	7.3	7.0	3.6	2.0	84		
75	表採	完	形	濃飛流紋	岩	2.5	2.1	7.7	7.0	5.6	2.1	136		
76	表採	完	形	凝	灰	岩	0.7	2.5	6.8	6.4	5.1	1.6	81	
77	表採	一部欠	損	砂	岩	1.1	—	6.6	—	5.1	2.1	(92)		
78	B5	完	形	安	山	岩	1.4	1.7	7.7	7.5	5.4	2.2	156	
79	表採	一部欠	損	安	山	岩	—	1.6	7.6	—	4.8	2.8	(149)	
80	B4	完	形	頁	岩	1.1	1.3	8.6	8.4	3.3	2.1	102		
81	表採	完	形	飛驒片麻	岩	1.9	1.6	6.5	6.2	4.8	1.5	67		
82	C6	完	形	多孔質安	山岩	1.4	1.5	5.9	5.4	5.3	2.7	118		
83	C8	完	形	砂	岩	1.7	1.5	6.4	6.2	3.9	1.7	72		
84	B19第7層	完	形	飛驒片麻	岩	1.7	2.0	5.9	5.5	4.6	1.7	83		
85	C5	1/3欠	損	多孔質安	山岩	1.2	—	(5.0)	—	4.9	2.3	(85)		
86	C4第7層	完	形	濃飛流紋	岩	1.1	1.4	7.3	6.9	3.9	2.3	103		
87	B4	完	形	多孔質安	山岩	1.2	1.3	6.7	6.3	4.8	2.4	119		
88	C23第7層	1/2欠	損	濃飛流紋	岩	2.0	—	(5.0)	—	(6.3)	(2.7)	(128)		
89	表採	完	形	濃飛流紋	岩	2.0	2.5	8.3	7.5	6.1	2.1	185		
90	B8	完	形	頁	岩	1.6	1.5	7.6	7.3	3.6	2.2	94		
91	C9	完	形	安	山	岩	1.6	1.4	7.0	6.6	5.3	2.0	108	
92	C4	完	形	安	山	岩	1.9	1.3	7.3	6.9	5.6	2.3	128	
93	B5	完	形	安	山	岩	1.5	1.7	8.2	7.7	4.7	2.1	125	
94	C21第7層	完	形	安	山	岩	2.0	1.9	6.8	6.2	5.6	2.0	117	
95	A2	完	形	安	山	岩	1.6	1.7	7.2	6.6	6.4	2.4	166	
96	B20	完	形	砂	岩	1.4	1.3	7.1	6.6	4.7	2.1	109		
97	C8	完	形	飛驒片麻	岩	1.3	2.8	8.1	7.4	4.8	1.7	117		
98	C21第7層	完	形	安	山	岩	2.0	1.7	8.1	7.8	5.6	2.4	169	同6
99	C8	完	形	頁	岩	1.9	1.6	6.7	6.1	4.5	2.4	118		
100	B8	完	形	安	山	岩	1.4	1.2	7.1	6.6	4.5	1.9	99	
101	C22	完	形	安	山	岩	1.7	2.0	7.4	6.7	5.9	2.4	139	
102	B18	完	形	多孔質安	山岩	1.1	1.4	6.3	6.1	5.4	2.3	118		
103	C4	完	形	多孔質安	山岩	1.3	1.5	7.9	7.7	4.8	1.8	104		
104	B11	完	形	多孔質安	山岩	1.2	1.7	7.5	7.2	5.8	2.2	149		
105	C5	完	形	飛驒片麻	岩	1.7	2.2	7.3	6.6	6.1	1.9	144	同5	
106	表採	完	形	多孔質安	山岩	2.1	2.4	7.3	6.8	5.9	2.2	147		
107	A6	完	形	砂	岩	1.1	1.0	7.0	6.9	3.8	1.7	73		
108	B7	完	形	砂	岩	0.8	1.3	7.3	7.1	4.8	2.0	116		
109	C5	完	形	安	山	岩	1.9	1.6	6.6	6.1	6.4	2.0	132	
110	B7	完	形	多孔質安	山岩	1.3	1.5	8.2	7.4	5.6	2.6	182		
111	B13	2/3欠	損	安	山	岩	1.7	—	(7.6)	—	(6.2)	(1.5)	(74)	
112	B9	2/3欠	損	凝	灰	岩	2.1	—	(5.7)	—	(5.7)	(1.3)	(54)	
113	B9	2/3欠	損	頁	岩	2.7	—	(4.4)	—	(4.2)	(2.2)	(43)		
114	C21	1/2欠	損	砂	岩	2.2	—	(5.1)	—	(5.5)	(1.6)	(70)		
115	B2	完	形	安	山	岩	1.0	1.2	6.8	6.4	4.9	1.4	76	
116	A5	完	形	安	山	岩	1.9	1.5	7.3	7.0	4.5	1.6	89	
117	C5	完	形	濃飛流紋	岩	2.3	3.2	7.6	6.2	6.4	2.3	147		
118	C4第7層	1/3欠	損	安	山	岩	1.4	—	(4.6)	—	(3.6)	(2.0)	(58)	

119	B5	完	形	濃飛流紋岩	1.2	1.7	8.0	7.6	6.1	1.8	146	
120	A5第7層	完	形	多孔質安山岩	1.2	1.4	8.0	7.6	6.2	1.9	156	
121	A2	完	形	石英斑岩	2.5	3.3	10.6	9.6	7.0	4.2	447	同9
122	C2	完	形	凝灰岩	2.6	2.1	10.1	9.8	6.8	2.8	258	
123	A5	完	形	安山岩	1.5	2.3	9.2	8.8	6.9	3.4	305	
124	C3	完	形	濃飛流紋岩	2.1	2.6	10.6	10.0	8.5	3.2	456	
125	C24	完	形	濃飛流紋岩	2.4	2.2	9.6	8.9	6.8	2.4	256	
126	C5	完	形	濃飛流紋岩	2.6	2.3	9.1	8.1	7.5	3.6	369	
127	B5	完	形	濃飛流紋岩	2.0	3.4	9.2	8.8	8.0	2.3	268	
128	C5	一部欠損		濃飛流紋岩	—	1.5	(9.1)	8.8	5.7	2.8	(220)	
129	A2	完	形	石英斑岩	2.0	3.4	7.9	6.5	8.2	3.0	253	
130	B6	完	形	安山岩	1.5	1.7	8.4	7.6	7.2	2.5	257	
131	C6	完	形	安山岩	1.8	1.7	8.3	7.3	8.0	3.3	303	
132	C5	完	形	砂岩	1.7	1.6	8.6	8.3	6.7	2.8	248	
133	B6	完	形	頁岩	1.8	1.6	9.1	8.4	5.4	2.3	191	
134	C22	一部欠損		飛驒片麻岩	1.8	—	10.2	—	5.9	2.2	(208)	
135	A9	完	形	安山岩	2.0	2.0	8.6	7.5	6.2	3.0	217	
136	C5第7層	完	形	安山岩	2.4	2.4	10.2	9.8	7.0	3.0	339	
137	B6	完	形	安山岩	2.5	2.2	11.2	10.1	7.0	3.1	448	
138	C6	一部欠損		凝灰質流紋岩	2.4	—	(10.6)	10.1	6.8	3.5	(353)	
139	A4	完	形	濃飛流紋岩	2.0	2.2	11.5	11.0	8.4	2.6	377	
140	C23第7層	完	形	濃飛流紋岩	4.5	2.7	11.1	9.3	8.3	3.0	454	
141	C8	完	形	濃飛流紋岩	2.5	1.9	9.6	9.2	6.2	3.3	277	
142	A6	一部欠損		濃飛流紋岩	—	—	(10.2)	9.0	8.2	3.9	(432)	
143	C8	完	形	多孔質安山岩	1.7	1.6	12.3	11.8	10.7	3.7	674	
144	B4	完	形	安山岩	1.8	1.8	12.8	12.3	5.5	2.8	301	
145	C24第7層	完	形	多孔質安山岩	2.0	2.0	9.4	8.6	6.6	4.1	334	
146	B6	完	形	閃綠岩	2.8	2.3	9.7	9.3	8.4	3.0	456	
147	B5	完	形	濃飛流紋岩	2.9	3.0	9.0	8.1	7.5	2.5	239	
148	表採	完	形	石英斑岩	2.0	2.5	10.5	9.9	8.6	2.5	358	
149	B5	完	形	安山岩	2.8	2.6	9.2	8.3	6.2	3.3	274	
150	B11	完	形	頁岩	2.7	2.8	7.7	7.2	6.3	3.0	196	
151	B9	完	形	濃飛流紋岩	2.0	2.5	9.0	8.0	6.8	2.7	232	
152	C21	完	形	安山岩	2.0	1.7	9.3	8.6	6.2	3.5	287	
153	B20	完	形	安山岩	1.2	2.6	11.0	10.0	7.1	2.6	299	
154	C4	一部欠損		濃飛流紋岩	2.4	2.8	8.8	8.2	5.6	2.3	(204)	
155	B7	完	形	砂岩	2.5	1.8	8.1	6.9	6.9	2.6	198	
156	C15	完	形	安山岩	1.3	1.4	5.9	5.3	4.9	1.3	60	
157	B3	完	形	濃飛流紋岩	2.3	2.8	10.5	9.7	8.3	3.4	449	
158	A4第7層	完	形	飛驒片麻岩	3.3	3.2	10.8	9.9	7.4	2.8	324	
159	B16第3層	完	形	安山岩	1.5	2.3	9.8	9.0	7.7	3.0	276	
160	B17	完	形	飛驒片麻岩	1.5	2.3	10.1	9.6	7.0	3.0	376	
161	A4第7層	完	形	濃飛流紋岩	2.5	3.0	8.2	7.4	7.0	2.5	235	
162	C16第4層	1/2欠損		濃飛流紋岩	2.2	3.2	9.2	8.3	8.0	(2.0)	(197)	
163	C12第7層	完	形	飛驒片麻岩	1.6	1.5	9.2	8.6	7.5	2.3	242	
164	B5	完	形	濃飛流紋岩	3.2	2.4	9.5	8.7	7.1	2.0	230	
165	A20	完	形	多孔質安山岩	2.2	2.5	8.2	7.8	6.4	3.0	245	
166	C5	完	形	飛驒片麻岩	1.4	1.4	7.7	7.2	6.0	2.8	180	
167	A6	一部欠損		砂岩	—	1.3	7.3	6.7	7.3	2.1	(181)	
168	B6	完	形	頁岩	2.7	3.6	7.8	6.6	7.5	2.1	152	
169	C14	1/3欠損		閃綠岩	1.3	—	(7.3)	—	(6.0)	(3.7)	(252)	
170	表採	一部欠損		飛驒片麻岩	3.0	3.1	(7.3)	6.8	7.2	2.9	(256)	
171	B2	完	形	安山岩	1.2	2.4	7.5	6.5	7.3	2.2	164	

172	B20	完	形	石英斑岩	2.0	2.1	7.5	7.4	7.0	2.9	216	
173	C5	完	形	濃飛流紋岩	1.9	2.1	8.3	7.9	6.5	2.3	197	
174	C20第4層	完	形	多孔質安山岩	2.1	2.3	8.4	7.6	6.6	2.2	198	
175	表採	1/3	欠損	飛驒片麻岩	—	2.1	(7.7)	—	(7.4)	3.2	(229)	
176	B7	完	形	濃飛流紋岩	2.2	2.3	8.3	7.5	7.2	2.5	198	
177	A4	完	形	安山岩	1.8	1.8	8.8	7.1	5.3	2.5	168	
178	A16	完	形	安山岩	1.2	1.4	7.5	7.0	6.5	2.0	138	
179	B17第3層	完	形	濃飛流紋岩	2.0	2.2	8.5	7.5	6.5	1.8	145	
180	A13第7層	完	形	飛驒片麻岩	2.7	3.3	8.0	7.1	6.8	2.2	177	同10
181	A17第3層	完	形	多孔質安山岩	1.6	1.9	8.0	7.4	6.6	3.3	210	
182	C2	完	形	濃飛流紋岩	2.8	3.2	7.4	6.7	7.2	2.8	215	
183	B18	完	形	安山岩	2.0	1.9	12.4	11.9	8.7	3.5	566	同7
184	A12	完	形	凝灰岩	2.6	2.2	10.3	9.4	8.0	2.5	300	
185	A4第7層	完	形	濃飛流紋岩	2.9	2.1	9.9	8.8	8.1	3.2	363	
186	SK1巨木ノ下	完	形	砂岩	2.0	2.3	11.6	10.8	5.9	2.6	294	同8
187	C19第7層	完	形	濃飛流紋岩	2.0	2.2	9.6	8.6	7.9	2.5	297	
188	A4	完	形	閃緑岩	2.0	2.3	9.4	9.0	6.9	2.8	311	
189	B5第7層	一部	欠損	砂岩	2.1	—	(10.5)	8.5	7.6	2.4	(241)	
190	表採	完	形	濃飛流紋岩	1.4	1.8	10.1	9.9	5.6	2.9	251	
191	C5第7層下部	完	形	安山岩	1.2	1.5	8.8	8.2	6.3	1.7	147	
192	A4第7層	完	形	濃飛流紋岩	1.9	1.3	8.2	7.6	7.3	2.7	251	
193	C7	完	形	安山岩	1.7	1.9	7.7	7.3	5.0	2.5	133	
194	C9第7層	完	形	凝灰岩	1.8	1.8	8.2	7.4	5.5	2.3	108	
195	A6第7層	完	形	安山岩	1.1	1.4	7.2	6.8	4.1	2.1	98	
196	A7	完	形	濃飛流紋岩	0.9	0.8	6.7	6.3	5.2	1.7	85	
197	A7	完	形	安山岩	2.2	2.7	7.3	6.1	6.4	2.2	137	
198	C7	完	形	安山岩	1.3	1.3	7.0	6.5	4.1	2.4	102	
199	A6	一部	欠損	飛驒片麻岩	—	1.4	(5.8)	5.2	5.4	2.5	(115)	
200	A7	完	形	濃飛流紋岩	1.6	2.4	5.5	4.9	5.7	1.8	90	
201	A6	完	形	砂岩	1.6	1.4	7.0	6.6	4.6	2.2	127	
202	C19第7層	完	形	凝灰岩	1.7	1.8	6.5	6.0	4.0	1.9	78	
203	B6	一部	欠損	砂岩	1.6	—	(6.3)	—	4.7	2.3	(113)	
204	A14第7層	完	形	閃緑岩	1.4	1.9	6.2	5.9	4.7	1.5	93	
205	A4第7層	完	形	濃飛流紋岩	1.2	1.1	6.4	6.2	3.7	2.0	69	
206	C14	完	形	砂岩	1.3	1.6	5.3	4.8	4.2	1.7	55	
207	B6	完	形	飛驒片麻岩	1.3	1.4	5.4	5.1	4.5	2.3	85	
208	SK-1	完	形	安山岩	1.3	1.3	4.4	4.2	3.6	1.7	37	
209	A5第7層	2/3	欠損	安山岩	1.1	—	(3.0)	—	(3.3)	(1.4)	(16)	
210	A11第7層	完	形	濃飛流紋岩	1.6	1.8	6.6	6.3	5.0	1.8	88	
211	SK-2	完	形	濃飛流紋岩	1.8	2.3	7.2	6.6	5.7	2.7	165	
212	SK-1	完	形	安山岩	2.3	2.3	10.0	9.0	6.3	3.5	323	
213	SK-1	完	形	安山岩	1.7	2.2	7.4	6.9	4.6	2.0	107	
214	B13	完	形	安山岩	1.3	2.0	8.2	8.0	5.1	2.0	121	
215	C12	完	形	砂岩	1.8	2.4	7.8	7.6	6.9	2.1	190	

第128表 うづか地点礫石錘一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	表採	一部欠損	安山岩	1.4	—	(8.6)	—	6.5	2.8	(235)	
2	L7II	完形	多孔質安山岩	1.1	1.5	7.8	7.8	5.0	2.2	117	
3	O6	完形	砂岩	1.7	1.0	6.8	6.4	4.9	2.2	109	
4	5II	完形	砂岩	1.7	1.3	7.0	6.1	5.3	2.1	91	

5	L8Ⅱ	完形	安山岩	1.4	1.0	6.3	5.1	5.5	2.4	118
6	表採	完形	閃緑岩	1.1	0.9	5.6	5.5	4.0	3.1	105
7	O6	完形	安山岩	1.0	1.1	7.0	6.6	3.2	1.6	69

第129表 センター地点礫石錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	B12	完形	安山岩	0.8	1.0	3.8	3.6	3.3	1.5	27	
2	A11	完形	安山岩	1.1	1.1	5.3	4.8	4.2	2.4	68	
3	C9	完形	安山岩	0.9	1.0	5.3	4.9	3.6	1.6	40	
4	B5	完形	砂岩	1.1	1.2	5.3	5.2	3.1	1.4	40	
5	B8	完形	安山岩	1.0	1.2	6.4	6.2	3.8	1.8	62	
6	C7	完形	安山岩	1.8	0.9	6.7	6.2	3.6	1.8	78	
7	D13	完形	安山岩	0.8	0.6	6.9	6.8	2.6	1.7	50	
8	B13	完形	安山岩	1.8	1.7	5.1	4.6	4.3	2.6	84	
9	B12	完形	安山岩	1.2	0.8	6.0	5.3	5.0	1.5	62	
10	A9	完形	安山岩	1.8	1.7	6.9	6.5	4.2	2.1	99	
11	B14	一部欠損	飛驒片麻岩	—	1.8	(6.0)	—	5.1	2.2	(89)	
12	B12	完形	濃飛流紋岩	1.0	1.1	5.5	5.1	4.1	3.0	94	
13	A10	完形	砂岩	1.3	1.1	6.0	5.8	4.0	1.9	68	
14	C7	完形	安山岩	1.0	0.8	6.7	6.6	4.3	1.9	76	
15	C10	完形	安山岩	1.4	1.3	6.7	6.3	4.4	1.9	84	
16	A11	完形	安山岩	1.2	1.6	6.5	6.1	4.3	2.1	77	
17	B10	完形	濃飛流紋岩	1.3	1.4	6.6	6.2	3.6	2.0	69	
18	C7	完形	安山岩	0.8	1.0	6.6	6.4	5.2	2.0	95	
19	C12	完形	多孔質安山岩	1.4	1.2	6.8	6.6	4.9	2.2	103	
20	C11	完形	砂岩	1.7	1.7	6.2	5.7	5.1	2.0	96	
21	A9	完形	多孔質安山岩	1.0	1.9	6.4	6.0	4.7	2.6	105	
22	B13	完形	安山岩	0.9	0.8	7.8	7.4	4.3	2.0	93	
23	拡SB3Ⅱa	完形	安山岩	1.0	1.1	7.1	6.8	4.8	1.9	96	
24	表採	完形	安山岩	1.4	1.1	6.2	6.0	4.3	1.5	62	
25	A10	一部欠損	安山岩	1.4	0.8	8.4	7.8	6.4	1.5	(117)	
26	A10	完形	安山岩	1.3	1.7	8.5	8.3	5.9	2.8	198	
27	A11	完形	安山岩	1.2	2.0	8.3	7.9	5.9	1.9	107	
28	C10	完形	飛驒片麻岩	2.2	1.7	8.8	8.5	6.1	2.3	171	
29	X12 I	完形	安山岩	1.1	1.1	7.4	7.4	4.9	2.4	133	
30	C9	完形	安山岩	2.1	2.5	9.0	7.8	7.9	2.2	228	第100図12
31	B11	一部欠損	濃飛流紋岩	1.6	1.5	7.9	7.4	(8.0)	2.6	(226)	
32	C11	完形	飛驒片麻岩	1.9	2.5	8.7	7.9	6.9	2.3	193	

第130表 前田地点上層切目石錘一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	C5	完形	頁岩	0.3	0.3	4.5	4.3	2.6	1.4	27	第100図13
2	B8	完形	砂岩	0.4	0.3	6.8	6.5	3.7	2.0	63	同14
3	C17第7層	完形	砂岩	0.3	0.3	4.0	3.8	2.6	1.6	20	
4	B7	一部欠損	頁岩	0.3	0.3	3.7	3.5	(2.8)	1.4	(21)	
5	C9	1/2欠損	頁岩	0.6	—	(5.2)	—	(4.2)	(2.5)	(67)	



第131表 宮ノ前地点有溝石錘一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	3	4層	完形	花崗片麻岩	3.0	3.7	6.8	5.2	8.9	5.4	434	第100図15

第132表 前田地点上層有溝石錘一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	a	b	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	w	s	重さ	挿図番号
1	B3	一部欠損	安山岩	2.7	2.5	6.5	4.9	7.3	5.2	(306)	第100図16
2	B10	完形	安山岩	2.6	3.1	10.4	9.5	8.5	5.1	700	同18
3	B4	1/3欠損	安山岩	3.2	3.1	8.2	7.7	9.3	(6.9)	(646)	
4	表採	1/2欠損	安山岩	2.6	2.4	7.5	6.3	(7.4)	(4.2)	(251)	

第133表 宮ノ前地点楔形石器一覽表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	22・23抔	4層	完形	チャート	3.6	2.4	0.9	6.7	
2	38	3・4層	完形	チャート	2.4	1.9	0.7	2.4	
3	23	4層	完形	下呂石	2.5	1.6	0.6	2.6	
4	25	4層	一端欠損	下呂石	(4.0)	(3.1)	(1.4)	(14.4)	
5	42	4層	完形	チャート	2.1	1.8	0.6	2.6	
6	31	3層	完形	チャート	2.8	1.8	0.6	3.2	
7	12	4層	完形	チャート	2.9	1.8	0.5	3.4	
8	52	3層	一部欠損	チャート	2.5	(2.0)	0.6	(2.8)	
9	31	3層	完形	下呂石	2.2	1.5	0.6	1.8	
10	52	3層	完形	チャート	1.8	1.1	1.1	1.8	
11	22・23抔	4層	一端欠損	流紋岩	(5.3)	5.3	1.9	(56.7)	
12	31	3層	完形	チャート	2.2	1.9	1.0	3.6	
13	22・23抔	4層	一端欠損	チャート	(2.1)	(1.8)	(0.8)	(1.5)	
14	25	4層	完形	下呂石	3.0	2.2	1.0	6.6	
15	38	3・4層	一端欠損	チャート	(3.3)	2.8	0.7	(8.9)	
16	26	4層	一端欠損	チャート	(4.2)	2.6	1.6	(20.6)	
17	38	3・4層	一端欠損	下呂石	(2.2)	1.5	0.8	(3.2)	
18	34	3層	一端欠損	下呂石	(1.8)	1.5	0.5	(2.0)	
19	22・23抔	4層	完形	チャート	2.1	1.7	1.2	5.7	
20	22・23抔	4層	一部欠損	下呂石	2.8	2.6	1.0	(6.3)	
21	23	4層	完形	下呂石	2.9	2.2	0.9	6.0	
22	24	4層	完形	下呂石	2.1	2.0	0.6	2.7	
23	38	3・4層	一端欠損	下呂石	(3.0)	(2.1)	0.8	(4.2)	
24	28~30	2層	完形	チャート	3.0	2.1	0.8	4.5	
25	24	4層	完形	チャート	1.8	1.5	0.7	2.6	
26	31	3層	完形	下呂石	2.4	2.0	1.2	5.0	
27	38	3・4層	完形	チャート	2.2	1.7	0.4	1.7	
28	31	3層	一端欠損	チャート	(1.9)	1.2	0.6	(1.5)	
29	24	4層	完形	下呂石	2.1	1.3	0.7	1.9	
30	24	4層	一端欠損	下呂石	(2.7)	2.0	1.0	(4.2)	
31	24	4層	一端欠損	下呂石	(3.4)	2.5	1.4	(9.2)	
32	24	4層	完形	チャート	4.0	1.5	0.6	4.8	
33	31	3層	一端欠損	チャート	(3.3)	2.1	0.7	(4.9)	
34	24	4層	完形	下呂石	2.2	2.1	0.9	4.8	
35	4	3層	完形	チャート	5.0	2.0	1.3	17.9	

36	23	4層	完	形	チャー ト	2.8	2.5	0.6	6.0
37	4	3層	完	形	チャー ト	2.8	1.6	0.7	4.5
38	24	4層	一部	欠損	チャー ト	3.3	(1.9)	0.7	(4.7)
39	24	4層	完	形	チャー ト	2.0	1.9	0.5	2.5
40	41	3・4層	一端	欠損	下呂石	(2.5)	1.7	0.5	(2.2)
41	12	4層	完	形	チャー ト	3.5	1.1	0.6	2.9
42	37	3・4層	完	形	チャー ト	2.3	2.1	0.8	4.6
43	12	4層	完	形	チャー ト	2.1	1.9	0.5	2.1
44	24	4層	完	形	下呂石	2.0	1.7	0.7	2.6
45	31	3層	完	形	下呂石	1.4	1.0	0.4	0.6
46	24	4層	完	形	下呂石	2.4	1.9	0.8	3.8
47	31	3層	完	形	チャー ト	2.1	1.3	1.2	4.0
48	24	4層	完	形	下呂石	2.6	1.5	0.7	3.2
49	24	4層	完	形	下呂石	3.0	2.0	0.7	4.8
50	31	3層	完	形	チャー ト	2.0	2.0	0.8	4.0
51	42	4層	完	形	下呂石	1.8	1.8	0.6	2.6
52	24	4層	完	形	チャー ト	2.5	2.3	0.9	4.5
53	23	4層	完	形	下呂石	2.0	1.5	0.4	1.6
54	38	3・4層	一部	欠損	チャー ト	1.8	(1.7)	0.5	(1.7)
55	2	4層	完	形	チャー ト	2.5	1.6	0.5	2.6
56	28~30	2層	完	形	下呂石	2.4	1.8	0.7	2.6
57	23	4層	完	形	下呂石	3.2	1.6	0.8	4.6
58	23	4層	完	形	チャー ト	5.0	3.3	1.3	31.2
59	23	4層	完	形	チャー ト	2.9	2.2	1.1	7.9
60	4	3層	一端	欠損	下呂石	(3.4)	3.3	0.8	(9.7)
61	23	4層	完	形	下呂石	1.8	1.6	0.6	1.6
62	23	4層	完	形	チャー ト	3.2	3.0	1.0	9.5
63	45	3層	完	形	チャー ト	4.5	3.5	2.0	41.5
64	12	3層	完	形	チャー ト	2.1	1.7	0.6	2.2
65	23	4層	完	形	チャー ト	2.3	1.7	0.8	4.1
66	12	3層	完	形	下呂石	2.2	1.8	0.8	3.3
67	22	4層	一端	欠損	メノウ	(2.3)	2.0	0.8	(4.6)
68	23	4層	完	形	下呂石	3.2	2.0	0.7	5.2
69	42	4層	完	形	チャー ト	2.5	2.0	0.7	4.0
70	38	3・4層	完	形	チャー ト	2.7	1.9	1.2	7.9
71	38	3・4層	完	形	下呂石	2.7	2.0	0.8	4.8
72	11	3層	一端	欠損	チャー ト	(2.1)	1.8	1.0	(3.7)
73	45	3層	完	形	チャー ト	4.2	2.7	1.1	13.4
74	45	3層	完	形	チャー ト	2.6	2.0	0.6	3.2
75	23	4層	完	形	下呂石	2.8	2.6	0.6	4.3
76	13	4層	一端	欠損	チャー ト	(3.1)	2.0	0.5	(4.9)
77	45	3層	完	形	チャー ト	2.7	1.5	0.7	2.9
78	41	4層	一端	欠損	チャー ト	(1.9)	(1.3)	(0.9)	(2.1)
79	31	3層	完	形	下呂石	2.1	1.1	0.7	1.9
80	45	3層	完	形	下呂石	2.4	2.1	0.6	3.1
81	31	3層	完	形	下呂石	2.6	1.7	1.0	3.8
82	22	4層	完	形	下呂石	2.9	1.8	1.2	5.9
83	34	3層	完	形	チャー ト	1.5	1.5	0.5	1.2
84	22	4層	完	形	チャー ト	1.7	1.1	0.5	1.2
85	34	3層	完	形	チャー ト	2.2	2.0	0.6	3.1
86	22	3層	一部	欠損	下呂石	2.2	1.7	0.5	(1.4)
87	31	3層	完	形	下呂石	2.7	2.1	0.8	4.2
88	3	4層	完	形	下呂石	3.8	2.8	0.7	3.8

89	37	3層	完	形	下	呂	石	2.5	1.5	1.4	4.0				
90	23	3層	完	形	下	呂	石	2.4	1.7	0.6	2.8				
91	51	3・4層	完	形	下	呂	石	3.5	2.8	1.0	9.9	第101図21			
92	22	4層	完	形	下	呂	石	2.1	1.2	0.6	1.8				
93	7	3層	完	形	下	呂	石	1.7	1.7	0.5	1.9				
94	11	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.0	1.9	0.5	1.9			
95	37	4層	完	形	下	呂	石	3.0	1.5	0.7	3.6				
96	34	3層	一	端	欠	損	下	呂	石	(3.1)	2.2	1.3	(6.1)		
97	25	4層	完	形	下	呂	石	2.5	2.0	0.7	4.1				
98	11	3層	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	2.7	(2.0)	0.6	(3.5)	
99	11	3層	一	部	欠	損	下	呂	石	2.0	(1.7)	0.5	(1.8)		
100	34	3層	完	形	下	呂	石	1.9	1.4	0.5	1.5				
101	22・23	4層	完	形	下	呂	石	3.3	2.1	0.5	4.9				
102	31	3層	完	形	下	呂	石	4.2	2.3	0.8	7.1				
103	3	3層	完	形	下	呂	石	3.2	2.0	0.6	2.9				
104	31	3層	完	形	下	呂	石	2.4	2.0	0.9	3.1				
105	34	3層	完	形	下	呂	石	3.7	1.7	1.0	5.9				
106	31	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	1.9	1.2	1.9	2.0			
107	11	4層	一	端	欠	損	下	呂	石	(3.7)	1.6	0.7	(5.1)		
108	3	4層	一	端	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(2.3)	(1.7)	0.5	(2.3)	
109	22	4層	一	部	欠	損	玉	髓	1.6	1.5	0.4	(0.9)			
110	31	3層	完	形	下	呂	石	3.7	1.3	1.4	10.2				
111	31	3層	完	形	下	呂	石	1.6	1.6	0.5	1.5				
112	34	3層	完	形	下	呂	石	3.6	2.7	0.7	5.7				
113	18	2層	一	端	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(1.9)	1.0	0.7	(1.6)	
114	11	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.1	1.9	1.1	7.3	同16		
115	32	4層	一	端	欠	損	下	呂	石	(3.0)	2.1	1.0	(7.4)		
116	7	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.8	2.0	0.9	5.8			
117	4	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.9	2.9	1.5	17.7			
118	4	3層	完	形	流	紋	岩	2.5	2.5	0.5	3.2				
119	11	4層	一	部	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(3.3)	(2.7)	0.9	(6.3)	
120	11	3層	完	形	下	呂	石	3.3	2.0	1.1	7.0				
121	7	4層	完	形	下	呂	石	2.2	1.4	0.9	2.9				
122	21	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.7	2.4	1.2	7.0			
123	35	3層	一	部	欠	損	下	呂	石	4.2	(2.6)	1.0	(12.4)		
124	24	4層	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.3	2.5	0.7	6.2			
125	34	3層	完	形	下	呂	石	2.2	1.5	0.7	2.2				
126	11	3層	一	端	欠	損	下	呂	石	(3.1)	(1.7)	(1.1)	(3.7)		
127	37	4層	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.1	2.5	1.1	8.9			
128	41	4層	完	形	下	呂	石	2.9	2.2	1.1	8.0				
129	6	4層	完	形	下	呂	石	2.5	1.7	0.7	3.6	同10			
130	3	3層	完	形	下	呂	石	1.9	1.5	0.6	1.2				
131	31	4層	一	端	欠	損	チ	ャ	ー	ト	(1.8)	1.8	0.7	(2.5)	
132	37	4層	一	端	欠	損	下	呂	石	(3.0)	2.0	0.7	(3.1)		
133	4	3層	完	形	下	呂	石	1.9	1.5	0.6	1.7				
134	5	4層	完	形	下	呂	石	3.5	1.6	1.0	5.8				
135	4	3層	一	部	欠	損	下	呂	石	(2.5)	2.0	1.0	(4.4)		
136	27	4層	完	形	下	呂	石	2.6	2.0	1.3	6.5				
137	7	4層	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.0	2.5	1.7	19.2			
138	6	3層	完	形	チ	ャ	ー	ト	2.0	1.8	0.7	2.7			
139	21	4層	完	形	チ	ャ	ー	ト	3.1	2.2	0.7	5.4			
140	34	3層	一	端	欠	損	下	呂	石	(2.3)	1.2	0.7	(2.3)		
141	37	4層	完	形	下	呂	石	1.7	1.5	0.5	1.6				

142	44	3層	完	形	チャート	2.3	1.9	0.6	3.3	
143	22	3層	完	形	下呂石	1.7	1.4	0.5	1.0	
144	41	4層	一部	欠損	チャート	(4.5)	3.5	(1.2)	(19.4)	
145	22	3層	一端	欠損	下呂石	(4.0)	3.1	2.0	(22.0)	
146	6	3層	完	形	下呂石	2.2	1.3	0.8	1.8	
147	25	4層	完	形	チャート	3.0	2.3	0.7	6.9	
148	9・10	3層	完	形	チャート	2.5	1.2	0.8	2.9	
149	9・10	3層	一端	欠損	下呂石	(2.5)	(2.5)	0.7	(4.0)	
150	4	3層	一端	欠損	チャート	(3.2)	2.3	1.3	(11.3)	
151	31	3層	完	形	下呂石	1.8	1.5	0.6	1.7	同2
152	31	3層	完	形	下呂石	2.7	1.5	1.0	3.4	
153	22	3層	一端	欠損	下呂石	(3.8)	2.0	1.1	(7.1)	
154	22	4層	一部	欠損	チャート	(2.5)	1.9	0.8	(3.1)	
155	31	4層	完	形	チャート	4.0	2.8	1.2	15.6	
156	32	4層	一端	欠損	チャート	(4.9)	2.5	1.6	(22.7)	
157	1	4層	完	形	下呂石	2.0	1.5	0.7	2.0	
158	1	4層	完	形	玉髓	2.8	2.6	1.0	6.8	
159	3	4層	完	形	チャート	3.5	1.1	0.5	2.0	
160	4	3層	完	形	チャート	2.5	2.5	1.4	7.2	
161	4	3層	一端	欠損	チャート	(2.2)	1.3	0.7	(1.8)	
162	6	3層	完	形	チャート	4.2	2.0	1.4	14.4	
163	6	3層	完	形	チャート	3.0	2.5	0.9	8.9	
164	32	3層	完	形	チャート	3.1	1.7	1.5	9.7	
165	6	3層	一部	欠損	下呂石	3.4	(2.1)	0.6	(5.8)	
166	18	2層	一部	欠損	チャート	2.9	(2.4)	0.5	(4.9)	
167	35	3層	完	形	チャート	3.2	1.9	1.3	9.2	
168	4	4層	完	形	チャート	2.9	2.3	1.0	8.4	
169	35	3層	一端	欠損	チャート	(3.1)	1.5	1.6	(7.4)	
170	2	3層	完	形	下呂石	1.9	1.3	0.4	1.3	
171	1	3層	一端	欠損	チャート	(2.5)	(2.0)	(1.0)	(6.0)	
172	1	3層	完	形	下呂石	2.3	1.5	0.4	1.7	
173	3	4層	一部	欠損	チャート	(3.9)	2.1	0.9	(8.3)	
174	11	3層	完	形	下呂石	2.2	1.2	0.7	1.5	
175	4	4層	完	形	下呂石	2.3	1.5	0.7	3.0	
176	22・23抜	4層	完	形	チャート	2.9	2.0	1.1	8.2	
177	6	4層	完	形	下呂石	3.0	2.0	0.7	3.5	
178	2	3層	完	形	チャート	3.0	2.5	1.2	9.8	
179	4	3層	完	形	チャート	2.2	1.5	0.5	2.0	
180	25	4層	一端	欠損	下呂石	(2.0)	1.8	0.5	(2.0)	
181	4	3層	完	形	下呂石	3.5	2.2	0.5	4.0	
182	4	3層	完	形	チャート	2.8	1.2	0.6	2.6	
183	7	3層	完	形	下呂石	2.0	0.9	0.6	1.4	
184	21	4層	完	形	下呂石	2.1	2.0	0.7	2.8	同4
185	26	3層	一部	欠損	下呂石	2.6	(1.8)	1.0	(5.6)	
186	5	4層	完	形	下呂石	4.0	2.0	1.4	13.2	
187	17・18	2層	完	形	チャート	3.2	2.8	1.3	12.1	
188	9・10	3層	一端	欠損	チャート	(1.9)	1.4	0.9	(2.6)	
189	2	3層	一端	欠損	下呂石	(2.5)	(1.4)	(0.8)	(2.6)	
190	12	3層	完	形	チャート	3.2	1.6	1.2	5.1	
191	1	4層	完	形	チャート	2.9	2.5	0.9	7.7	
192	25	4層	完	形	チャート	2.7	2.5	0.7	6.3	
193	2	3層	完	形	下呂石	2.3	1.4	0.7	1.6	
194	2	3層	一部	欠損	下呂石	(3.5)	2.7	1.2	(9.2)	

195	32	3層	完	形	下呂石	2.6	2.0	0.6	3.2	
196	18	2層	完	形	チャート	3.0	2.3	0.6	5.7	
197	6	3層	一端欠損	形	チャート	(2.7)	(1.7)	1.0	(4.5)	
198	22	4層	完	形	下呂石	2.0	1.7	0.6	1.9	
199	7	3層	完	形	チャート	1.8	1.0	0.6	1.6	
200	25	4層	完	形	下呂石	3.0	2.5	1.0	7.8	
201	31	3層	一部欠損	形	下呂石	(3.1)	(1.8)	0.6	(2.8)	同6
202	18	2層	完	形	下呂石	2.0	1.5	0.6	1.9	
203	4	3層	一端欠損	形	チャート	(2.9)	1.8	0.8	(4.2)	
204	16	2層	一端欠損	形	チャート	(2.8)	(1.6)	0.7	(3.0)	
205	22	4層	完	形	下呂石	3.5	2.8	1.0	7.5	
206	2	3層	完	形	チャート	3.0	2.7	1.0	5.9	
207	25	3層	一部欠損	形	チャート	2.0	(1.4)	0.5	(1.5)	
208	6	3層	完	形	下呂石	3.1	1.5	1.0	5.4	
209	4	3層	完	形	下呂石	3.0	1.9	0.9	5.1	
210	22	4層	一端欠損	形	チャート	(2.2)	1.6	0.5	(1.7)	

第134表 前田地点上層楔形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	B14第7層	完	形	チャート	3.0	4.0	1.3	24.1	第101図22
2	A15	完	形	下呂石	3.2	1.6	1.2	7.1	同17
3	C9	完	形	チャート	2.7	1.7	0.6	3.0	同9
4	B9	完	形	チャート	4.4	3.8	1.7	37.7	同27
5	A12	完	形	下呂石	2.3	1.8	0.9	2.9	同7
6	表採	完	形	下呂石	2.4	2.4	0.7	4.1	
7	C15	完	形	下呂石	3.1	1.5	1.0	4.9	同11
8	C11	完	形	下呂石	1.7	1.6	0.7	1.0	同1
9	A10	完	形	チャート	2.2	2.3	0.7	3.8	同24
10	表採	完	形	珪質頁岩	3.3	2.3	0.8	5.6	同25
11	B4	完	形	下呂石	2.2	1.2	0.7	2.0	同19
12	B14	完	形	チャート	3.5	2.5	0.8	9.2	
13	A6	完	形	輝石安山岩	3.5	1.2	1.2	6.5	同12
14	B14	完	形	下呂石	2.4	1.1	0.7	2.0	同8
15	B11第7層	完	形	チャート	2.0	2.2	0.8	4.5	
16	C16	完	形	下呂石	3.2	1.6	1.4	5.2	
17	B8	完	形	チャート	1.6	1.4	0.9	3.5	
18	C22	完	形	下呂石	3.9	2.1	1.0	6.5	
19	表採	完	形	下呂石	3.0	2.3	1.0	6.9	
20	B17	完	形	下呂石	1.5	1.2	0.6	1.2	
21	表採	完	形	下呂石	2.9	1.8	0.5	2.5	
22	B10	完	形	下呂石	3.2	1.4	1.0	3.3	
23	C14	完	形	下呂石	2.2	1.1	0.7	1.8	
24	C13	完	形	下呂石	3.5	2.7	1.3	10.2	
25	B17	一端欠損	形	下呂石	(1.4)	2.0	0.7	(1.5)	
26	B23	一端欠損	形	下呂石	(2.2)	(1.8)	0.7	(2.5)	
27	C19	完	形	下呂石	1.8	1.5	0.5	1.5	
28	表採	一端欠損	形	下呂石	(1.4)	(1.6)	0.9	(3.9)	
29	A5第7層	完	形	下呂石	2.7	2.3	0.9	6.4	
30	B7	完	形	下呂石	3.3	2.4	1.2	9.6	
31	A21	完	形	下呂石	2.8	2.4	1.5	9.8	
32	表採	完	形	下呂石	2.0	2.7	0.4	3.1	

33	B24	完	形	下	呂	石	4.2	3.6	2.3	35.0	
34	A17	完	形	下	呂	石	2.2	2.3	0.8	2.8	
35	B18	完	形	下	呂	石	4.2	2.9	1.7	20.3	
36	B7	一	端欠損	下	呂	石	3.0	(2.6)	2.2	(14.9)	
37	C4	一	端欠損	下	呂	石	2.2	(1.3)	0.9	(3.3)	
38	B4	完	形	下	呂	石	4.2	2.1	1.1	9.9	
39	A16	完	形	下	呂	石	2.9	1.3	0.9	3.6	
40	A12	完	形	下	呂	石	2.4	2.7	3.7	3.7	
41	C6	完	形	下	呂	石	3.2	2.9	1.0	6.0	
42	B7	完	形	下	呂	石	1.6	1.6	1.0	5.4	
43	C4	一	端欠損	下	呂	石	(3.0)	(1.2)	(1.5)	(5.6)	
44	C13	完	形	下	呂	石	2.2	2.6	0.9	4.0	
45	A4	一	端欠損	下	呂	石	(2.7)	1.7	0.6	(2.9)	
46	B13第7層	完	形	下	呂	石	2.4	2.2	0.8	4.2	
47	B19	一	端欠損	下	呂	石	(4.5)	1.4	0.9	(6.9)	
48	表採	完	形	下	呂	石	3.5	1.1	0.8	3.1	
49	A5	一	端欠損	下	呂	石	3.0	(1.2)	(0.9)	(2.5)	
50	C14	完	形	下	呂	石	3.3	1.6	0.9	5.5	
51	B7	完	形	下	呂	石	3.5	2.0	1.2	12.1	
52	C12	完	形	下	呂	石	1.8	2.0	0.7	2.1	
53	B18	完	形	下	呂	石	3.2	2.4	1.1	6.6	
54	C15	完	形	下	呂	石	2.8	2.3	1.4	11.5	
55	C22	一	端欠損	下	呂	石	(2.4)	2.0	0.6	(4.5)	
56	A5	完	形	下	呂	石	2.6	1.9	0.7	4.7	
57	C12第7層	完	形	下	呂	石	2.9	0.9	0.8	2.7	
58	A20	完	形	下	呂	石	1.8	1.7	0.5	1.7	
59	A16	完	形	下	呂	石	1.8	1.4	0.6	1.3	
60	C11	一	端欠損	下	呂	石	(2.4)	(1.9)	0.9	(2.1)	
61	C13	完	形	下	呂	石	2.1	1.5	0.7	2.5	
62	C19第7層	一	端欠損	下	玉	髓	(3.4)	2.2	1.1	(12.8)	
63	B28	完	形	下	呂	石	3.2	1.9	0.7	4.4	
64	B15	完	形	下	呂	石	2.5	1.7	0.7	3.9	
65	B4	完	形	下	呂	石	2.2	1.5	1.0	7.6	
66	B4	完	形	下	呂	石	3.0	1.9	0.7	4.5	
67	C24第7層	完	形	下	呂	石	1.7	1.3	1.1	3.5	
68	C14	完	形	下	呂	石	3.3	2.3	1.0	8.0	
69	A5	完	形	下	呂	石	2.9	2.3	2.3	19.3	
70	C8	完	形	下	呂	石	2.7	2.0	0.5	4.1	
71	表採	完	形	下	呂	石	2.4	1.3	0.8	1.9	
72	A20	完	形	下	呂	石	3.1	2.0	1.2	9.5	
73	A11	完	形	下	呂	石	2.1	1.2	0.7	1.7	
74	C18	完	形	下	呂	石	2.9	2.3	0.9	5.7	
75	B13	完	形	下	呂	石	3.1	2.3	0.8	5.7	
76	C23	完	形	下	呂	石	2.9	2.2	0.8	6.7	
77	A17	完	形	下	呂	石	2.2	1.6	0.7	2.4	
78	C18	完	形	下	呂	石	1.8	3.1	0.9	3.4	
79	C12	完	形	下	呂	石	2.3	2.0	0.9	3.3	
80	B11第7層	完	形	下	呂	石	2.0	2.0	0.5	2.0	
81	C22	完	形	下	呂	石	2.0	3.3	1.0	7.1	
82	C23第7層	完	形	下	チャ	ー	ト	3.8	2.4	0.9	9.6
83	C17	一	端欠損	下	呂	石	(2.5)	1.2	1.1	(2.4)	
84	A13	一	端欠損	下	呂	石	(2.2)	(1.3)	(1.0)	(4.8)	
85	B12	完	形	下	呂	石	2.7	1.8	0.8	3.2	

86	A19	一端欠損	下	呂	石	(2.4)	(0.8)	(0.9)	(1.5)
87	B16	一端欠損	下	呂	石	(2.5)	(2.1)	1.1	(8.0)
88	A16	完形	下	呂	石	1.3	1.7	0.5	1.4
89	B15	完形	下	呂	石	2.4	2.0	0.5	3.2
90	C23	完形	下	呂	石	1.7	1.5	0.6	1.6
91	C12	一端欠損	下	呂	石	(3.3)	2.1	0.8	(9.9)
92	B20	完形	下	呂	石	2.3	2.6	0.4	3.4
93	B20	完形	下	呂	石	2.0	1.5	0.4	1.7
94	B4	完形	下	呂	石	1.8	1.5	0.6	2.3
95	C24	完形	下	呂	石	2.1	1.5	0.9	3.1
96	表採	完形	下	呂	石	2.5	1.3	0.6	1.7
97	C12	完形	下	呂	石	1.4	1.4	0.4	1.2
98	A10	完形	下	呂	石	1.2	1.0	0.4	0.5
99	A4	完形	下	呂	石	2.0	0.9	0.5	0.8
100	表採	完形	下	呂	石	1.7	0.8	0.4	0.7
101	C20	完形	下	呂	石	2.8	1.5	0.5	2.5
102	C12	完形	下	呂	石	1.6	1.6	0.6	1.9
103	A16	完形	下	呂	石	2.9	1.9	0.9	6.7
104	A12	完形	下	呂	石	1.6	2.7	0.4	1.9
105	B4	完形	下	呂	石	2.2	1.8	0.8	3.7
106	A15	完形	下	呂	石	1.5	1.7	0.5	2.0
107	B17	完形	下	呂	石	2.5	1.9	0.6	4.1
108	B13第7層	完形	下	呂	石	2.8	1.3	0.9	3.1
109	A12	一端欠損	下	呂	石	(0.9)	(0.7)	0.4	(0.9)
110	C9	一端欠損	下	呂	石	(2.3)	(1.2)	0.7	(1.7)
111	C11	完形	下	呂	石	2.9	2.3	0.6	5.5
112	C10	完形	下	呂	石	1.7	1.6	0.8	2.4
113	B21	一端欠損	下	呂	石	(3.2)	(3.0)	0.8	(10.3)
114	B20	一端欠損	下	呂	石	(2.2)	(1.2)	(0.9)	(2.0)
115	B21	完形	下	呂	石	1.8	1.1	0.4	0.8
116	B16	完形	下	呂	石	2.3	1.2	0.6	2.1
117	B13第7層	完形	下	呂	石	4.0	2.6	1.0	10.5
118	B13	一端欠損	下	呂	石	(2.4)	(1.3)	(0.7)	(2.7)
119	C16	一端欠損	下	呂	石	3.0	(1.0)	(0.4)	(1.1)
120	A18	完形	下	呂	石	2.0	2.1	0.5	2.1
121	B10	完形	下	呂	石	2.7	2.0	1.5	6.4
122	C4	完形	下	呂	石	3.0	2.3	1.4	9.5
123	C23第7層	完形	下	呂	石	3.5	4.0	0.9	14.0
124	C23	完形	下	呂	石	2.7	2.5	1.0	5.5
125	B23	一端欠損	下	呂	石	(1.9)	1.3	0.7	(2.1)
126	C17	完形	下	呂	石	2.8	2.5	1.4	8.9
127	A5第7層	完形	下	呂	石	4.1	1.2	1.0	5.8
128	C3	完形	下	呂	石	3.9	1.1	2.2	13.8
129	C9	完形	下	呂	石	2.0	2.2	1.1	4.7
130	C14	一端欠損	下	呂	石	(1.5)	(2.0)	(0.6)	(2.4)
131	A13	完形	下	呂	石	2.4	1.8	1.1	5.2
132	表採	完形	下	呂	石	3.0	2.3	1.6	16.0
133	C12	完形	下	呂	石	4.3	3.5	1.0	13.9
134	B4	完形	下	呂	石	3.0	1.1	0.8	5.8
135	C13	完形	下	呂	石	3.6	2.2	1.3	13.0
136	C4	完形	下	呂	石	2.5	2.0	1.0	4.7
137	C6	完形	下	呂	石	2.4	2.1	1.5	8.4
138	B4	完形	下	呂	石	2.1	2.7	0.4	8.2

139	B6	完	形	下	呂	石	3.4	3.4	1.6	18.9
140	A5第7層	完	形	下	チャ	ー	3.7	2.5	1.3	9.0
141	B18	完	形	下	呂	石	2.7	2.0	0.7	3.2
142	A17	完	形	下	呂	石	5.3	4.8	2.4	61.2
143	C12	完	形	下	呂	石	2.1	2.3	0.6	4.3
144	C13	完	形	下	呂	石	2.0	2.1	0.6	4.6
145	B5	一	端	欠	損	下	(0.9)	0.8	0.4	(1.5)
146	C11	完	形	下	呂	石	1.8	0.7	0.5	0.6
147	C8	完	形	下	呂	石	3.4	2.0	0.8	5.5
148	A5	完	形	下	呂	石	3.2	2.2	0.9	8.5
149	B11	完	形	下	呂	石	2.3	2.3	0.8	4.9
150	C20	完	形	下	呂	石	1.8	1.6	0.7	2.4
151	表採	一	端	欠	損	下	(3.3)	(1.7)	0.9	(4.5)
152	B4	完	形	下	呂	石	2.5	2.5	1.0	5.9
153	A13	一	端	欠	損	下	(2.7)	(1.5)	(0.7)	(2.5)
154	C17	完	形	下	呂	石	2.1	1.5	1.1	3.7
155	C12	一	端	欠	損	下	(2.4)	1.5	(0.4)	(1.7)
156	表採	一	端	欠	損	下	(2.8)	1.3	0.9	(2.9)
157	C10	完	形	下	呂	石	1.5	0.8	0.5	0.7
158	C19	完	形	下	呂	石	1.1	1.9	0.6	1.3
159	C5第7層	完	形	下	呂	石	3.1	1.6	1.3	9.4
160	A20	完	形	下	呂	石	3.2	2.8	0.8	6.8
161	B15	完	形	下	呂	石	2.1	2.0	1.1	4.0
162	A8	完	形	下	呂	石	1.6	1.5	0.6	1.7
163	B19	一	端	欠	損	下	(2.3)	(1.2)	0.8	(2.1)
164	A16	完	形	下	呂	石	2.9	2.8	1.3	10.2
165	C12	完	形	下	呂	石	2.1	2.0	1.0	5.1
166	C9	一	端	欠	損	下	(3.0)	(1.2)	1.2	(5.0)
167	A5第7層	一	端	欠	損	下	(3.5)	1.2	1.5	(5.4)
168	C21	完	形	下	呂	石	2.0	2.3	0.5	3.8
169	C4第7層	一	端	欠	損	下	(3.0)	(1.8)	(0.5)	(2.6)
170	B20	完	形	下	呂	石	1.9	1.8	0.7	2.9
171	B17	一	端	欠	損	下	(1.7)	(1.8)	0.6	(2.0)
172	C19	完	形	下	呂	石	3.4	2.4	1.0	7.6
173	C17	完	形	下	呂	石	1.5	0.6	0.5	0.5
174	B15	完	形	下	呂	石	1.0	1.2	0.3	0.5
175	C9	完	形	下	呂	石	3.3	2.5	1.0	7.6
176	B18	一	端	欠	損	下	(1.6)	(1.4)	(0.7)	(1.7)
177	B21	一	端	欠	損	下	(2.1)	(1.0)	(0.3)	(1.1)
178	B4	完	形	下	呂	石	1.4	1.5	0.3	0.9
179	B21	完	形	下	呂	石	3.4	2.0	1.2	8.4
180	B18	完	形	下	呂	石	3.0	2.8	1.2	10.8
181	B20	完	形	下	呂	石	2.7	2.7	0.9	8.0
182	B4	完	形	下	呂	石	5.2	4.2	2.1	44.0
183	C11	完	形	下	呂	石	1.5	1.7	0.4	1.4
184	C19	一	端	欠	損	下	(2.8)	(0.8)	(0.6)	(2.0)
185	A20	一	端	欠	損	下	(1.5)	(1.0)	(0.4)	(1.0)
186	C17	一	端	欠	損	下	(2.6)	(0.9)	(0.9)	(1.6)
187	C20第7層	完	形	下	呂	石	3.1	2.0	0.6	4.5
188	B13	一	端	欠	損	下	(2.4)	(2.0)	1.1	(4.5)
189	B11	完	形	下	呂	石	2.0	0.8	0.6	1.1
190	A20	完	形	下	呂	石	3.0	4.0	1.8	17.6
191	A5	一	端	欠	損	下	(2.2)	(1.7)	(0.8)	(4.4)



192	A15	一端欠損	下呂石	(1.8)	(1.7)	(0.3)	(1.3)
193	B8	完形	チャート	1.9	1.3	0.8	2.8
194	B8	完形	チャート	3.1	4.4	2.1	32.0
195	C5	完形	チャート	2.9	2.4	0.7	6.2
196	C4	完形	チャート	2.4	1.2	1.7	3.3
197	B7	完形	チャート	3.2	2.8	1.1	11.0
198	A20	完形	チャート	3.2	2.5	0.6	6.1
199	C22	完形	チャート	2.1	1.9	1.0	4.2
200	B7	完形	チャート	3.2	1.8	1.6	12.2
201	C4第7層	完形	チャート	4.8	3.7	1.2	17.4
202	C5	完形	チャート	4.1	2.7	1.5	19.1
203	A5	完形	チャート	5.4	2.1	2.1	37.8
204	B7	完形	チャート	3.5	2.0	1.0	9.2
205	B6	一端欠損	チャート	(3.0)	(1.7)	(1.0)	(5.8)
206	B4第7層	完形	チャート	2.1	2.4	1.9	5.5
207	C4第7層	一端欠損	チャート	(3.5)	2.8	1.6	(13.1)
208	B17	完形	チャート	3.3	4.1	2.2	32.8
209	B20	完形	チャート	2.4	1.9	0.5	3.5
210	A19	完形	チャート	4.9	2.4	1.8	14.4
211	C9	一端欠損	チャート	(3.8)	2.2	2.1	(19.1)
212	B6	一端欠損	チャート	(3.8)	(2.8)	(1.8)	(25.4)
213	B4	完形	チャート	3.5	3.8	1.7	25.9
214	C5	完形	チャート	3.8	2.4	1.8	37.6
215	C17第4層	完形	チャート	5.1	3.8	2.0	39.1
216	B16	一端欠損	チャート	(4.5)	(2.1)	(2.0)	(24.7)
217	C4第7層	完形	チャート	2.7	1.5	0.8	5.4
218	C4	完形	チャート	2.4	1.9	1.8	7.6
219	表採	一端欠損	チャート	(4.2)	1.9	1.2	(9.7)
220	C8	完形	チャート	4.0	2.5	2.0	22.4
221	C7	完形	チャート	3.3	2.1	1.6	10.3
222	B7	完形	チャート	3.8	2.7	1.2	12.5
223	B7	一端欠損	チャート	(4.2)	2.1	(1.1)	(11.4)
224	C7	一端欠損	チャート	(2.1)	(1.6)	(1.0)	(4.6)
225	C7	一端欠損	チャート	(1.9)	(1.6)	(0.3)	(1.4)
226	B16第7層下部	完形	チャート	3.0	1.2	1.1	5.2
227	C6	完形	チャート	3.2	2.7	0.9	10.9
228	A8	完形	チャート	3.2	5.3	1.4	24.5
229	A20	完形	チャート	1.2	1.2	0.4	1.5
230	C19	完形	チャート	2.5	1.5	0.7	3.6
231	C7	完形	チャート	4.8	2.1	1.7	26.0
232	A12第7層下部	完形	チャート	3.7	2.6	1.5	14.1
233	B8	一端欠損	チャート	(3.5)	1.8	0.9	(8.3)
234	C7	完形	チャート	2.4	1.9	0.6	5.5
235	C4	完形	チャート	2.9	1.8	1.0	5.9
236	C4第7層	完形	チャート	2.6	2.0	1.2	8.7
237	C15第7層	一端欠損	チャート	(3.7)	(1.8)	1.8	(6.1)
238	B5	一端欠損	チャート	(2.2)	(1.4)	(0.7)	(2.8)
239	B8	完形	チャート	3.0	4.1	2.2	31.7
240	C6	一端欠損	チャート	(2.4)	2.3	1.0	(5.8)
241	A20	完形	チャート	3.0	2.3	1.5	10.1
242	A9	完形	チャート	3.1	2.4	0.8	11.6
243	B17	完形	チャート	3.8	2.1	1.1	9.4
244	A9第7層	完形	チャート	2.3	2.3	1.1	8.3

245	B6	完	形	チャート	4.5	3.7	1.2	24.6
246	B7	一端	欠損	チャート	(4.0)	3.0	1.4	(20.5)
247	C9第7層	完	形	チャート	2.5	2.1	1.0	6.7
248	B7	一端	欠損	チャート	(3.5)	1.8	(1.1)	(7.1)
249	A4	完	形	チャート	2.1	1.1	0.4	1.6
250	C18	一端	欠損	チャート	(3.6)	1.4	1.1	(4.2)
251	C9第7層	完	形	チャート	2.3	1.1	1.0	3.7
252	C11第4層	一端	欠損	チャート	(4.3)	2.4	1.2	(13.3)
253	A11第7層下部	完	形	下呂石	3.1	3.5	1.2	15.5
254	B20第7層	完	形	チャート	2.0	2.1	1.0	4.6
255	C5	完	形	チャート	3.7	2.3	1.0	12.0
256	B7	一端	欠損	チャート	(3.3)	(1.4)	(1.2)	(7.0)
257	C2第7層	一端	欠損	チャート	(2.3)	1.0	0.5	(1.7)
258	C8	一端	欠損	チャート	(0.9)	(1.2)	(0.9)	(2.2)
259	C8	完	形	下呂石	2.5	2.3	1.0	6.8
260	C4第7層	一端	欠損	チャート	(2.5)	(2.3)	0.8	(5.7)
261	C4	一端	欠損	チャート	(2.5)	0.9	1.0	(3.0)
262	B8	一端	欠損	チャート	(2.9)	(2.4)	0.9	(7.6)
263	表採	完	形	チャート	2.7	2.8	1.4	13.3
264	表採	完	形	チャート	2.9	3.1	1.2	14.0
265	C9第7層	完	形	チャート	2.5	0.9	0.8	2.5
266	B6	一端	欠損	チャート	(1.8)	1.3	1.1	(4.3)
267	A4	完	形	チャート	3.2	1.3	1.1	6.7
268	C24	一端	欠損	チャート	(2.0)	1.1	0.6	(1.5)
269	C8	完	形	下呂石	1.3	2.6	0.8	3.4
270	B23	完	形	チャート	3.3	1.4	1.0	5.5
271	C7	完	形	チャート	1.8	2.2	1.3	7.0
272	表採	一端	欠損	チャート	(3.1)	1.3	0.9	(4.9)
273	A15	完	形	チャート	2.2	1.4	1.1	5.6
274	C9	完	形	チャート	3.9	2.7	1.5	20.8
275	B6	一端	欠損	チャート	(3.2)	1.8	0.7	(6.0)
276	C19	完	形	チャート	2.0	3.3	0.8	6.6
277	C9	完	形	チャート	4.9	2.3	1.5	26.9
278	C11第7層	完	形	チャート	3.3	2.0	1.2	15.2
279	A4	完	形	チャート	2.8	3.0	1.3	15.6
280	A6	一端	欠損	チャート	(2.1)	1.3	0.9	(3.6)
281	B17第3層	一端	欠損	チャート	(2.2)	3.1	0.7	(10.1)
282	A13	完	形	チャート	4.0	3.3	1.9	23.5
283	A5	完	形	チャート	2.5	2.0	1.2	9.9
284	A5	完	形	チャート	3.0	3.2	1.4	18.6
285	C19第7層	完	形	チャート	4.0	3.4	1.5	30.8
286	B5	完	形	チャート	5.0	3.7	1.4	34.2
287	C8	一端	欠損	下呂石	(2.3)	1.7	0.6	(2.5)
288	C18第7層	完	形	チャート	3.3	2.4	0.7	7.8
289	B4	一端	欠損	チャート	(2.2)	2.1	(0.9)	(5.1)
290	C4	完	形	チャート	2.0	1.8	0.9	3.1
291	C5	一端	欠損	チャート	(1.9)	1.0	0.6	(1.7)
292	B12第7層	完	形	チャート	2.4	3.5	0.8	8.1
293	C20	完	形	チャート	2.0	1.1	0.7	3.9
294	B8	一端	欠損	チャート	(2.0)	(1.5)	0.7	(5.0)
295	B8	完	形	チャート	1.5	1.0	0.6	1.4
296	B4	一端	欠損	チャート	(1.5)	(0.7)	(0.4)	(0.8)
297	C7	完	形	チャート	1.7	1.3	0.4	1.2

298	C5	一端欠損	チャート	(2.1)	(1.0)	(0.9)	(2.0)
299	A21	完形	チャート	1.7	1.7	0.4	1.8
300	C5	完形	チャート	1.7	0.7	0.8	1.1
301	C19	完形	玉髓	2.1	2.5	1.1	7.4
302	B4	一端欠損	チャート	(1.6)	1.4	1.3	(2.8)
303	C8	完形	下呂石	2.7	1.0	0.9	2.9
304	B19	完形	下呂石	2.0	1.4	0.6	3.3
305	C4第7層	完形	チャート	2.2	3.0	1.2	13.4
306	C5	完形	チャート	3.5	2.7	1.0	15.0
307	B8	一端欠損	チャート	(3.8)	2.7	1.4	(13.2)
308	C6	完形	チャート	3.8	4.0	2.3	37.3
309	B7	完形	チャート	4.4	4.1	1.8	41.8
310	C18	完形	チャート	5.5	3.5	1.4	37.1
311	B6	完形	チャート	4.6	3.2	2.3	35.7
312	C12	完形	チャート	3.2	2.5	1.5	17.2
313	C12	完形	チャート	6.5	5.6	3.7	162.7
314	C19	完形	チャート	4.2	4.4	2.7	52.0
315	B18	完形	チャート	4.0	2.7	2.7	42.3
316	A9	完形	チャート	4.0	2.7	1.5	20.0
317	A5	完形	チャート	5.4	4.7	2.4	66.0
318	C19	完形	チャート	4.6	2.3	1.6	21.1
319	C23	一端欠損	チャート	(2.7)	1.2	1.0	(5.4)
320	C11	完形	チャート	3.6	2.1	1.4	10.4
321	B24	完形	チャート	2.3	2.0	1.3	5.9
322	C14	完形	チャート	1.9	2.9	0.5	5.2
323	A5	完形	チャート	4.7	2.7	1.2	24.3
324	A15	完形	チャート	2.6	1.1	1.3	5.6
325	C22	完形	チャート	3.0	1.4	1.5	8.2
326	A21	完形	チャート	2.4	1.4	0.4	4.7
327	B11第7層	完形	チャート	3.2	2.3	1.4	15.1
328	A4	一端欠損	チャート	(3.6)	1.7	1.3	(8.2)
329	C12	完形	チャート	2.5	2.3	1.2	9.8
330	A4	一端欠損	チャート	(2.1)	(2.1)	(1.5)	(8.3)
331	B14	一端欠損	チャート	(2.3)	(0.9)	(0.9)	(2.6)
332	C11	完形	チャート	1.5	1.7	0.8	1.9
333	B10	完形	チャート	4.3	3.0	1.3	24.6
334	B21	一端欠損	チャート	(2.0)	(1.4)	(1.3)	(3.0)
335	C12	完形	チャート	1.5	1.5	0.9	3.2
336	表採	完形	チャート	3.9	2.6	1.4	18.7
337	A18	一端欠損	チャート	(2.0)	1.2	0.6	(2.3)
338	B20	一端欠損	チャート	(2.7)	0.7	0.7	(2.3)
339	A16	完形	チャート	2.3	1.5	0.4	2.4
340	B11	一端欠損	チャート	(1.1)	(2.0)	0.9	(2.8)
341	B21	完形	チャート	2.3	1.2	1.0	4.1
342	B21	一端欠損	チャート	(2.1)	(1.7)	1.2	(7.3)
343	A4	完形	チャート	2.0	1.0	0.7	1.6
344	A19	完形	チャート	2.4	2.3	1.4	7.5
345	B23	一端欠損	チャート	(4.0)	(1.0)	1.0	(8.1)
346	A15	完形	チャート	2.0	2.0	0.9	3.7
347	B10	完形	チャート	2.5	2.6	0.7	5.6
348	B24	完形	チャート	2.6	1.3	0.7	3.2
349	C11	完形	チャート	1.9	1.2	0.7	2.3
350	A14	完形	チャート	1.2	2.3	0.5	1.6

351	C16	完	形	チヤート	2.5	1.6	0.5	2.9
352	B20	一端	欠損	チヤート	(2.4)	1.5	0.8	(3.2)
353	B4	完	形	チヤート	1.8	1.5	0.7	2.1
354	B17	完	形	チヤート	3.4	2.6	1.5	1.9
355	B20	完	形	チヤート	2.2	1.4	0.8	3.4
356	C21	完	形	チヤート	2.1	1.9	0.6	3.2
357	B20	完	形	チヤート	2.5	1.6	1.0	5.6
358	B14	完	形	チヤート	1.5	1.5	0.5	2.0
359	C10	一端	欠損	チヤート	(2.7)	(0.9)	(0.7)	(1.7)
360	B18	完	形	チヤート	1.4	1.1	0.5	1.4
361	A11	一端	欠損	チヤート	(2.7)	(0.9)	(0.7)	(1.9)
362	B18	完	形	チヤート	2.4	1.6	1.0	3.7
363	A18	一端	欠損	チヤート	(1.5)	(1.7)	0.6	(1.6)
364	B14	完	形	チヤート	4.1	2.0	1.3	13.3
365	C11	一端	欠損	チヤート	(2.9)	1.5	1.0	(6.2)
366	C14	完	形	チヤート	2.3	2.0	0.8	4.1
367	B20	完	形	チヤート	2.9	1.7	0.9	4.8
368	B21	一端	欠損	チヤート	(2.0)	(2.0)	0.9	(4.4)
369	B20	完	形	チヤート	3.1	2.4	0.8	10.1
370	B19	完	形	チヤート	2.2	1.8	0.9	4.1
371	B15	完	形	チヤート	2.2	1.3	0.9	3.8
372	C21	完	形	チヤート	3.0	1.1	1.0	3.2
373	B18	完	形	チヤート	3.2	2.2	1.0	9.3
374	A21	完	形	チヤート	2.5	1.1	0.9	3.4
375	C20	完	形	チヤート	2.9	2.3	1.1	11.2
376	C16	完	形	チヤート	3.9	1.8	1.5	12.1
377	C21	完	形	チヤート	3.2	1.2	1.3	7.5
378	C16	完	形	チヤート	1.9	1.5	2.3	2.3
379	B21	一端	欠損	チヤート	(2.1)	1.5	1.0	(3.7)
380	B9	完	形	チヤート	2.6	1.4	0.5	2.2
381	C17	完	形	チヤート	2.3	1.0	0.5	2.0
382	表採	完	形	チヤート	1.5	1.3	0.8	2.4
383	A14	一端	欠損	チヤート	(2.5)	1.3	0.8	(2.5)
384	B16	一端	欠損	チヤート	(1.9)	(1.6)	(1.0)	(3.0)
385	C17第4層	一端	欠損	チヤート	(3.7)	(2.1)	(0.4)	(4.3)
386	C18	完	形	チヤート	3.0	2.0	1.2	8.3
387	B16	完	形	チヤート	2.5	4.1	1.4	17.1
388	C13	完	形	チヤート	2.4	2.3	1.0	6.4
389	B20	完	形	チヤート	2.0	3.0	1.2	9.0
390	C14	完	形	チヤート	3.4	2.3	0.7	6.1
391	B15	完	形	チヤート	2.9	2.2	1.0	7.0
392	A16	完	形	チヤート	2.0	1.1	0.7	2.2
393	A19	完	形	チヤート	2.0	2.2	0.9	5.2
394	B20	完	形	チヤート	2.2	2.1	0.8	4.4
395	C9	完	形	チヤート	2.3	1.3	1.5	5.6
396	B17	完	形	チヤート	1.4	2.3	0.7	3.8
397	表採	完	形	チヤート	2.8	3.0	0.9	8.6
398	B20	完	形	チヤート	2.4	1.6	0.9	3.2
399	B13	一端	欠損	チヤート	(3.0)	(2.5)	1.4	(15.1)
400	C8	一端	欠損	チヤート	(2.3)	(1.8)	(1.0)	(9.1)
401	C10	一端	欠損	下呂石	(3.1)	2.5	1.0	(8.8)
402	表採	完	形	チヤート	5.1	3.6	1.8	41.4
403	C11	完	形	チヤート	4.9	3.6	2.0	42.8

404	B14	完	形	チャート	5.0	3.0	1.7	41.3
405	B12	完	形	チャート	6.1	3.8	1.7	53.2
406	B15	完	形	チャート	4.1	3.8	1.8	27.4
407	表採	完	形	チャート	3.0	2.5	1.5	9.1
408	B13	完	形	チャート	5.0	2.3	1.0	15.0
409	B20第7層	完	形	チャート	2.7	2.4	0.9	8.9
410	B20	完	形	チャート	2.5	1.0	0.9	2.4
411	B24	完	形	チャート	2.7	2.5	0.6	5.5
412	C24	一端欠	損	チャート	(2.9)	(3.4)	(1.4)	(16.4)
413	C12	完	形	チャート	2.0	1.3	0.8	3.9
414	A21第7層	完	形	下呂石	4.3	1.5	0.6	3.3
415	C12	完	形	チャート	2.1	1.8	0.8	3.9
416	B16	一端欠	損	チャート	(2.4)	(1.1)	(1.1)	(3.4)
417	B16	完	形	チャート	1.9	1.5	0.7	2.6
418	B19	完	形	チャート	2.4	1.3	1.2	3.8
419	B15	完	形	チャート	0.3	1.7	0.6	2.3
420	C21	完	形	チャート	5.4	2.1	1.1	18.1
421	A5	完	形	玉髓	2.5	2.1	0.9	4.6
422	B11	一端欠	損	チャート	(1.1)	(1.5)	(1.2)	(3.2)
423	B16	完	形	チャート	2.4	1.5	1.7	3.1
424	C23	完	形	チャート	2.2	2.5	0.7	5.4
425	A11	一端欠	損	チャート	1.5	(1.3)	(1.0)	(3.1)
426	B26	完	形	チャート	2.2	1.8	1.0	4.3
427	C17	完	形	チャート	2.2	1.6	0.8	3.7
428	C18	一端欠	損	チャート	(1.7)	1.3	0.9	(2.2)
429	B15	完	形	チャート	3.7	2.3	1.7	16.1
430	A19	完	形	チャート	1.9	1.8	0.6	2.7
431	A17	完	形	チャート	1.9	2.3	0.8	3.3
432	C5	完	形	珪質頁岩	2.0	2.2	1.2	3.2
433	B4	完	形	チャート	2.3	1.5	0.9	3.5
434	A11	一端欠	損	チャート	(2.1)	(1.5)	1.0	(3.9)
435	B23	完	形	チャート	1.6	2.3	0.5	2.7
436	B15	完	形	チャート	2.3	1.1	0.7	2.5
437	C21	完	形	チャート	2.5	1.4	0.7	3.1
438	B17	完	形	チャート	2.4	1.1	1.1	3.6
439	B21第7層	完	形	珪質頁岩	3.4	3.1	1.5	15.6
440	C15	完	形	チャート	3.2	3.2	1.0	13.7
441	B20	完	形	チャート	2.5	1.0	0.7	2.1
442	B16	完	形	チャート	2.7	1.6	1.8	5.0
443	C19	完	形	チャート	2.4	1.5	1.0	3.6
444	B12第7層	完	形	チャート	4.9	2.5	1.5	3.0
445	C16	完	形	チャート	2.5	2.9	1.1	9.9
446	C13	完	形	チャート	2.9	2.1	2.2	14.8
447	A9	完	形	メノウ	1.7	1.5	0.8	2.4
448	B15	完	形	チャート	2.3	3.0	1.0	8.7
449	B20	完	形	チャート	3.5	2.3	0.3	7.7
450	C18	完	形	チャート	3.0	1.3	1.4	6.8
451	B16	完	形	チャート	2.3	1.8	0.6	4.1
452	C9第7層	完	形	チャート	4.2	3.2	1.0	28.0
453	A4	一端欠	損	チャート	(2.1)	(1.8)	(0.1)	(2.4)
454	A13	完	形	チャート	2.7	1.8	1.3	7.1
455	表採	完	形	チャート	1.4	1.1	0.5	9.1
456	A16	完	形	チャート	1.3	1.9	0.4	1.3

457	C19	一端欠損	チャー ト	(1.7)	(0.7)	0.6	(1.1)	
458	A13	完形	チャー ト	2.6	2.8	1.2	11.2	
459	B18	完形	チャー ト	2.5	1.8	1.0	4.6	
460	B7	完形	チャー ト	2.0	3.2	0.7	8.1	
461	A13	完形	チャー ト	2.9	2.5	0.6	5.9	
462	C12	完形	チャー ト	3.1	2.3	1.4	11.9	
463	B11	完形	チャー ト	2.3	2.0	1.0	5.4	
464	C23	一端欠損	チャー ト	(3.0)	1.4	1.0	(4.4)	
465	C16	完形	チャー ト	2.3	1.9	1.4	4.4	
466	C17	完形	チャー ト	1.9	2.2	0.9	5.6	
467	A15	完形	チャー ト	2.0	1.3	0.8	3.4	
468	A15	完形	珪質頁岩	2.5	3.7	0.9	9.0	
469	C14	一端欠損	チャー ト	(2.1)	1.6	0.8	(3.1)	
470	A17	完形	チャー ト	3.3	3.3	2.1	28.1	
471	C21	完形	チャー ト	2.5	2.8	1.0	9.3	
472	C19	完形	チャー ト	2.1	1.1	1.0	4.6	
473	A4	完形	チャー ト	3.1	1.4	1.3	6.5	
474	B17	完形	チャー ト	3.0	1.7	1.2	6.4	
475	A16	一端欠損	チャー ト	(3.2)	1.9	1.0	(6.4)	
476	C13	完形	チャー ト	4.3	2.1	1.5	16.3	
477	A15	完形	黒曜石	2.3	1.2	0.8	3.0	同3
478	C16	完形	黒曜石	2.3	1.3	1.2	4.1	
479	A16	完形	黒曜石	2.2	1.2	1.0	2.9	
480	B19	完形	黒曜石	2.2	1.4	0.8	2.5	
481	C24	完形	黒曜石	2.3	0.8	0.5	0.8	
482	C4	完形	下呂石	1.1	0.6	0.4	0.4	
483	B11	完形	下呂石	1.5	1.6	0.4	1.4	
484	C9	完形	下呂石	2.2	1.4	0.5	1.9	
485	C13	完形	下呂石	2.0	2.0	0.9	4.3	
486	C19	完形	下呂石	1.8	2.6	0.4	2.5	
487	C10	一端欠損	下呂石	(2.6)	2.6	1.3	(10.4)	
488	C3	一端欠損	下呂石	(4.0)	(1.9)	(0.6)	(4.9)	
489	B17	完形	下呂石	1.5	1.4	0.4	0.8	
490	C11	完形	下呂石	2.9	2.1	1.2	6.6	
491	C19	一端欠損	下呂石	(1.5)	(0.3)	(0.6)	(0.7)	
492	表採	完形	下呂石	3.2	2.1	0.8	8.5	
493	C10	完形	下呂石	2.2	1.3	0.9	2.4	
494	C10	完形	下呂石	2.4	2.0	0.8	3.5	
495	B11	完形	下呂石	2.4	1.3	0.5	1.4	
496	A14	完形	下呂石	2.5	1.3	0.4	1.7	
497	B2	一端欠損	下呂石	(1.5)	1.3	0.8	(2.0)	
498	C12	一端欠損	下呂石	(1.5)	0.8	0.4	(0.6)	
499	B32	完形	下呂石	2.5	3.1	1.0	7.3	
500	B13	完形	下呂石	1.8	1.4	0.6	2.1	
501	C9	完形	下呂石	3.4	1.4	1.0	5.9	
502	C13	完形	下呂石	1.6	1.2	0.3	0.8	
503	C19	完形	下呂石	2.3	1.8	0.5	2.8	
504	C3	完形	下呂石	2.7	2.0	0.9	5.0	
505	B15	完形	下呂石	1.3	2.0	0.4	1.5	
506	B9	一端欠損	下呂石	(2.4)	2.2	0.7	(4.9)	
507	B19	完形	下呂石	2.8	2.0	0.5	3.8	
508	B11	完形	下呂石	2.1	3.0	0.7	5.4	
509	C12	完形	下呂石	1.5	1.9	0.4	1.1	

510	C1	完	形	下 呂 石	2.3	2.8	1.0	8.6
511	C18	完	形	下 呂 石	2.1	1.0	0.9	1.6
512	C9	完	形	チ ャ ー ト	2.3	1.6	0.6	2.7
513	B9	完	形	チ ャ ー ト	2.8	1.6	0.9	4.3
514	C19	一 端 欠 損		メ ノ ウ	(2.2)	(1.2)	1.8	(2.0)
515	B17	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.8)	(1.6)	0.7	(4.1)
516	C13	完	形	チ ャ ー ト	2.1	2.6	1.0	7.3
517	C16	完	形	チ ャ ー ト	2.0	3.2	0.5	4.8
518	B32	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.3)	2.2	1.0	(7.9)
519	C2	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.7)	(3.3)	(1.3)	(25.0)
520	B3	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.2)	(2.0)	(0.8)	(6.6)
521	C1	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.0)	2.1	0.8	(4.5)
522	B5	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.1)	(2.2)	0.8	(3.5)
523	表採	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.8)	(2.1)	0.5	(4.0)
524	A24	完	形	玉 髓	2.5	1.6	0.7	3.3
525	B14	完	形	チ ャ ー ト	2.7	1.5	1.0	4.8
526	C1	完	形	チ ャ ー ト	2.4	3.1	1.0	8.1
527	B20	完	形	チ ャ ー ト	2.4	1.8	0.7	3.3
528	C16	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.6)	(1.7)	(1.0)	(5.3)
529	B12	完	形	チ ャ ー ト	2.8	1.7	0.4	3.0
530	B15	完	形	チ ャ ー ト	3.4	1.1	1.4	4.8
531	表採	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.3)	(2.2)	(1.1)	(7.8)
532	C3	完	形	チ ャ ー ト	2.8	1.3	0.9	4.0
533	C2	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.1)	(1.5)	0.8	(4.6)
534	C19	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(1.5)	(0.5)	(0.4)	(0.4)
535	B2	完	形	チ ャ ー ト	2.3	2.0	1.0	5.0
536	A12	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.3)	(1.7)	(0.4)	(2.1)
537	C2	完	形	チ ャ ー ト	3.7	2.0	1.0	4.5
538	C1	完	形	チ ャ ー ト	3.0	2.0	1.1	6.5
539	B12	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	2.9	(2.4)	(1.1)	(8.1)
540	B19	完	形	チ ャ ー ト	4.4	2.9	1.2	14.1
541	A3	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(5.7)	4.6	2.3	(63.0)
542	C12	完	形	チ ャ ー ト	2.2	1.4	0.8	2.2
543	B11	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.4)	(3.2)	(0.6)	(8.5)
544	C12	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(5.0)	(3.8)	2.6	(51.2)
545	C12	一 端 欠 損		輝石安山岩	(2.0)	(1.6)	(0.8)	(3.0)
546	C21	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(6.3)	(4.1)	1.6	(47.4)
547	C9	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.9)	(2.5)	1.8	(15.8)
548	A7	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.4)	(2.2)	(1.5)	(10.3)
549	A15	完	形	チ ャ ー ト	1.8	1.5	0.5	1.8
550	C14	完	形	チ ャ ー ト	2.0	2.2	0.8	4.0
551	C18	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.2)	(1.9)	0.5	(3.5)
552	A16	一 端 欠 損		下 呂 石	(1.7)	0.3	(0.7)	(1.5)
553	表採	完	形	下 呂 石	2.5	4.2	0.7	10.6
554	表採	完	形	下 呂 石	1.9	1.8	0.6	2.3
555	表採	完	形	下 呂 石	2.2	1.0	0.5	1.5
556	表採	一 端 欠 損		下 呂 石	(3.2)	(1.4)	(0.5)	(2.7)
557	表採	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(3.8)	(2.9)	1.4	(17.5)
558	A6	一 端 欠 損		珪質頁岩	(2.5)	(2.2)	0.6	(4.9)
559	A13	一 端 欠 損		流紋岩	(3.4)	(0.5)	0.9	(3.4)
560	A21	一 端 欠 損		下 呂 石	(2.2)	(1.5)	0.7	(3.8)
561	C11	完	形	チ ャ ー ト	2.2	2.5	0.9	7.5
562	C9	一 端 欠 損		チ ャ ー ト	(2.7)	(1.4)	(0.7)	(3.7)

同14

563	B11	完	形	チャート	2.1	1.8	0.6	3.5	
564	C20	完	形	チャート	3.1	1.1	0.4	2.5	
565	C21	完	形	チャート	3.4	1.3	0.7	3.5	
566	B14	一端欠損	形	チャート	(2.3)	(1.5)	0.7	(2.8)	
567	C13	完	形	チャート	2.7	2.9	1.3	14.3	
568	B19	一端欠損	珪質頁岩		(2.1)	1.5	0.6	(2.5)	
569	C21	一端欠損	下呂石		(3.0)	2.2	0.8	(6.4)	
570	A7	一端欠損	下呂石		(3.0)	1.5	1.0	(6.2)	
571	B20	完	形	下呂石	1.5	1.0	0.3	0.9	
572	C15	完	形	下呂石	2.7	2.1	0.9	6.1	
573	A4	完	形	下呂石	3.7	1.5	1.0	7.8	
574	A4	一端欠損	下呂石		(2.2)	1.2	0.4	(1.4)	
575	B15	完	形	下呂石	1.9	2.0	0.6	2.0	
576	C4	一端欠損	珪質頁岩		(5.3)	(3.9)	2.9	(73.0)	
577	A12第7層下部	一端欠損	玉髓		(2.4)	(1.4)	0.4	(2.9)	
578	C5第7層	完	形	玉髓	2.8	1.5	0.5	3.5	
579	B2	一端欠損	チャート		(4.3)	(3.2)	(1.3)	(15.6)	
580	C1	一端欠損	チャート		(2.8)	(2.5)	(0.8)	(7.6)	
581	B2	一端欠損	流紋岩		(3.3)	(2.5)	(1.1)	(0.8)	
582	表採	一端欠損	チャート		(5.0)	(2.5)	(2.7)	(37.8)	
583	B3	一端欠損	チャート		(2.3)	(1.2)	0.7	(2.8)	
584	C1	一端欠損	チャート		(2.4)	(1.4)	(0.6)	(2.9)	
585	B13	完	形	下呂石	1.8	1.0	0.4	1.0	
586	C11	完	形	下呂石	5.6	2.4	2.9	46.9	
587	B13	完	形	チャート	2.0	1.4	0.7	2.2	
588	C11	一端欠損	チャート		(3.6)	2.1	0.6	(6.4)	
589	C10	一端欠損	チャート		(2.7)	(1.9)	0.7	(38.0)	
590	B11	完	形	チャート	3.8	1.5	1.5	10.6	
591	C7	完	形	メノウ	3.1	1.6	1.2	5.3	
592	C10	完	形	珪質頁岩	3.0	3.6	1.4	15.9	
593	表採	完	形	玉髓	2.3	1.8	0.7	3.6	
594	B17	完	形	流紋岩	2.3	1.1	0.8	2.3	
595	C19	完	形	流紋岩	3.2	1.4	0.6	3.0	同15

第135表 うづか地点楔形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	L6Ⅱ	完	形	チャート	3.1	2.0	0.6	4.0	第101図13
2	L7Ⅱ	完	形	チャート	4.7	2.7	1.4	22.7	
3	L6Ⅱ	完	形	チャート	3.3	3.0	1.3	16.5	
4	N6Ⅱ	完	形	チャート	4.7	3.6	1.0	27.4	
5	N7	完	形	チャート	3.7	2.2	1.0	7.7	
6	S10	完	形	チャート	2.9	1.8	1.2	6.3	
7	G8	完	形	チャート	3.6	1.6	0.9	6.3	
8	R10	一端欠損	形	チャート	(2.4)	(1.1)	(0.4)	(1.1)	
9	L8Ⅱ	完	形	チャート	3.5	3.3	1.0	12.5	
10	L8Ⅱ	完	形	チャート	2.7	1.8	0.7	3.7	
11	J8Ⅱ	完	形	チャート	2.4	2.1	1.0	5.1	
12	L7Ⅱ	一端欠損	形	チャート	(3.3)	(2.3)	0.7	(5.2)	
13	F8Ⅱ	完	形	チャート	2.7	2.4	1.3	8.4	
14	K9Ⅱ	完	形	チャート	3.4	2.6	0.9	7.9	
15	M9Ⅱ	完	形	チャート	1.9	1.2	0.5	1.4	



16	L7II	完	形	チャート	3.3	2.1	0.8	8.2
17	I5II	完	形	チャート	2.4	1.7	0.5	2.8
18	W12II	完	形	チャート	2.5	1.8	1.1	5.3
19	H8II	一端欠	損	チャート	(2.7)	2.5	0.9	(6.6)
20	J8II	完	形	チャート	2.8	1.9	0.5	3.3
21	L7II	一端欠	損	チャート	(2.6)	1.4	1.6	(6.2)
22	J8II	完	形	チャート	2.6	2.0	0.8	4.4
23	J8II	完	形	チャート	2.5	2.3	0.7	6.7
24	J8II	一端欠	損	チャート	(1.5)	(1.4)	(0.3)	(1.0)
25	L7II	完	形	チャート	2.4	1.5	0.8	3.0
26	F8	完	形	チャート	2.6	1.9	1.5	7.3
27	M6II	一端欠	損	チャート	(4.0)	(1.2)	(1.0)	(5.5)
28	表採	完	形	チャート	2.5	1.5	0.8	3.2
29	J8II	完	形	チャート	2.3	2.3	0.8	6.4
30	L7II	一端欠	損	チャート	(2.8)	(1.6)	0.5	(2.5)
31	L7II	完	形	チャート	1.9	1.6	0.5	1.8
32	L8II	完	形	チャート	3.5	2.5	0.8	8.7
33	X12 I	完	形	チャート	2.9	1.3	0.7	2.5
34	T12	完	形	チャート	2.1	1.7	0.7	2.7
35	K8II	一端欠	損	チャート	(2.2)	(1.4)	(0.6)	(1.9)
36	M8II	一端欠	損	チャート	(3.0)	1.9	0.9	(5.4)
37	F8II	完	形	チャート	2.3	2.2	1.0	5.4
38	I4II	一端欠	損	チャート	(2.0)	1.5	0.5	(1.7)
39	R10	完	形	チャート	2.2	1.6	0.6	2.3
40	F7II	完	形	チャート	1.1	1.0	0.4	0.5
41	D7	完	形	下呂石	4.7	2.4	1.4	14.5
42	F4II	完	形	下呂石	3.0	3.7	0.6	7.3
43	V11	一端欠	損	下呂石	(2.4)	1.5	0.5	(2.3)
44	L7II	完	形	下呂石	2.3	1.7	0.8	3.0
45	N7	完	形	下呂石	2.3	2.0	0.6	2.7
46	表採	一端欠	損	下呂石	(2.8)	(1.4)	(0.7)	(3.3)
47	H7III	完	形	下呂石	2.2	1.5	0.6	2.3
48	N6II	一端欠	損	下呂石	2.4	(1.4)	0.7	(1.7)
49	V11	一端欠	損	下呂石	(2.0)	(1.2)	(0.6)	(1.1)
50	V11	完	形	輝石安山岩	2.3	2.0	0.9	4.1
51	K8II	完	形	メノウ	1.8	1.8	0.4	2.0
52	L7II	完	形	黒曜石	1.7	1.2	0.9	1.6
53	G7II	完	形	チャート	3.0	1.3	0.7	3.9
54	I7II	一端欠	損	チャート	(2.8)	(1.4)	(0.6)	(1.7)
55	H7	完	形	下呂石	3.0	1.7	0.7	3.9
56	E8	完	形	チャート	4.1	3.0	1.1	13.4
57	H8	完	形	チャート	1.7	1.6	0.5	1.6
58	ミゾ	一端欠	損	チャート	(1.7)	1.2	0.6	(1.4)
59	G8III	完	形	チャート	2.4	1.4	0.7	2.5
60	ミゾ	完	形	チャート	2.9	1.2	0.5	2.9
61	H6II	完	形	チャート	1.8	1.5	0.7	1.9
62	H9II	完	形	下呂石	3.3	2.0	0.9	4.6
63	I7II	完	形	チャート	2.2	1.8	0.7	2.8
64	ミゾ	一端欠	損	下呂石	(2.1)	1.2	1.0	(1.8)
65	G8II	完	形	チャート	2.5	1.3	0.6	2.4
66	G8	完	形	チャート	2.3	1.5	0.7	2.6
67	I9	完	形	チャート	3.1	3.1	1.0	11.6
68	I8III層上面	完	形	チャート	3.5	2.7	1.1	10.0

同5

69	ミゾ	一端欠損	チャート	(3.5)	2.1	1.0	(8.7)
70	表採	一端欠損	チャート	(2.6)	(1.0)	0.9	(2.0)
71	G9Ⅱ	完形	チャート	2.0	1.5	1.4	6.0
72	G9Ⅲ層上面	完形	チャート	5.8	4.4	2.3	69.9

第136表 センター地点楔形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B6	完形	下呂石	2.4	2.3	0.7	4.0	第101図23
2	B6	完形	下呂石	2.9	2.9	0.9	8.4	同18
3	A9	完形	流紋岩	2.8	2.9	0.9	7.1	同20
4	C9	完形	チャート	3.5	1.4	1.0	5.7	
5	A9	完形	チャート	2.9	1.2	0.8	2.5	
6	A12	一端欠損	チャート	(3.0)	2.2	1.0	(7.5)	
7	B10	完形	チャート	2.6	2.6	0.8	6.4	
8	B11	完形	下呂石	3.2	1.2	0.7	2.6	
9	表採	完形	チャート	2.2	3.1	1.0	6.8	
10	C10	一端欠損	下呂石	(1.9)	2.0	0.6	(2.3)	
11	A11	完形	チャート	2.5	2.3	0.8	5.5	
12	C12	一端欠損	下呂石	(3.5)	1.7	0.8	(5.1)	
13	A10	完形	チャート	3.2	3.0	1.7	18.6	
14	B11	完形	チャート	2.2	1.9	0.5	2.2	
15	B11	一端欠損	チャート	(3.8)	2.1	1.1	(9.5)	
16	B12	完形	チャート	3.6	3.1	0.9	8.1	
17	C9	完形	玉髓	3.6	2.0	1.1	6.2	
18	A11	完形	下呂石	3.6	2.0	1.4	7.0	
19	A7	完形	下呂石	3.7	3.2	1.7	16.5	
20	C7	一端欠損	下呂石	(2.4)	1.9	0.6	(2.4)	
21	B9	完形	下呂石	1.9	3.0	0.9	5.5	
22	C8	一端欠損	下呂石	(2.4)	2.7	0.8	(5.4)	
23	C8	完形	下呂石	1.9	1.6	0.6	1.3	
24	C9	完形	下呂石	3.0	2.0	0.8	4.7	
25	A10	一端欠損	下呂石	(3.5)	(1.6)	0.8	(3.4)	
26	C9	完形	下呂石	2.6	1.4	1.3	3.0	
27	C8	完形	下呂石	1.1	2.0	0.7	2.0	
28	C13	完形	下呂石	3.7	1.8	1.2	5.7	
29	A10	完形	チャート	4.0	3.5	1.8	22.4	
30	B13	完形	チャート	2.7	1.8	0.5	3.2	
31	A11	完形	チャート	2.3	2.0	0.7	3.7	同26
32	C6	完形	下呂石	3.3	1.5	1.2	8.4	
33	住居内	完形	チャート	3.3	1.2	0.9	3.7	
34	C5	一端欠損	チャート	(1.6)	(1.2)	(0.3)	(0.7)	
35	A11	一端欠損	チャート	(2.8)	1.8	0.5	(3.2)	
36	C7	完形	チャート	2.4	2.2	0.7	5.8	
37	C6Ⅱb	完形	チャート	2.6	2.2	1.1	8.0	
38	C4	完形	チャート	2.6	2.1	1.1	6.6	
39	C5	完形	チャート	2.5	1.6	0.7	3.8	
40	B4	完形	チャート	2.5	2.2	0.7	6.7	
41	C5	一端欠損	チャート	(2.0)	0.8	1.0	(1.5)	
42	B6	完形	チャート	2.5	2.0	0.9	4.2	
43	B3	完形	チャート	1.7	1.0	0.5	1.1	
44	B2	完形	下呂石	2.0	0.9	0.6	1.2	

45	C5	一端欠損	チャート	(2.3)	1.1	0.7	(1.6)
46	B12	一端欠損	チャート	(2.8)	1.9	0.7	(5.6)
47	D10	完形	玉髓	2.5	1.8	0.7	3.6
48	C5	完形	チャート	2.9	1.3	0.8	3.2
49	C6Ⅱb	一端欠損	チャート	(2.1)	(1.1)	(0.5)	(1.2)
50	C6Ⅱb	完形	チャート	1.6	0.9	0.6	1.2
51	B6	一端欠損	チャート	(2.2)	(1.8)	0.6	(2.4)
52	B5	完形	チャート	2.0	1.9	0.3	1.5
53	B7Ⅱb	一端欠損	チャート	(1.9)	(0.7)	(0.6)	(0.8)
54	C6Ⅱb	完形	チャート	3.5	2.1	0.7	5.4
55	C5Ⅱb	完形	チャート	3.4	1.8	1.0	7.1
56	B7Ⅱb	一端欠損	チャート	(1.8)	1.2	0.8	(3.0)
57	B6	一端欠損	チャート	(2.4)	1.3	0.7	(3.0)

第137表 前田地点上層異形石器一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C23	完形	黒曜石	3.2	1.0	0.3	1.3	第101図28

## 第5節 石製品

### 1. はじめに

本遺跡からは塊状耳飾りや玉類をはじめ、石棒・石剣・石刀・石冠・御物石器・独鈷石など多種多様な石製品が出土している。石棒をはじめとするいくつかの器種では、「塩屋金清神社遺跡」から大量に出土している塩屋石の使用がみられる。

### 2. 石棒（第102・103図、第138～141表）

63点が出土している。4点を除いて、一部欠損もしくは破片である。

石材は出土数の57%にあたる36点が塩屋石で、安山岩8点、粘板岩6点、濃飛流紋岩4点、凝灰岩4点、その他の石材5点となっている。

第102図1は完形である。石材は凝灰岩で、所々に細かな敲打痕が残っているものの、比較的丁寧に研磨されている。全体にやや湾曲していて、頭部に一カ所くびれがある。

軸部を最大径として、端部に移行するにつれて次第に円錐状となる。

同2は粘板岩製の小型品で、端部が欠損している。バナナ状に湾曲は、亀頭状の頭部をもつ。頭部のくびれ部に一条の沈線がめぐっている。断面は隅丸の三角形状である。

塩屋石の石棒は、破片がほとんどで完形品ではないが、柱状節理をもつ塩屋石が、剥離・敲打・研磨の順に加工、整形されていく過程を細かに観察することができる。

第103図4・5は頭部の資料である。断面は円形に近く、丁寧に研磨されている。同9～13は端部の資料で、先端部分が先細りになるもの（同10・13）と、円筒状でやや丸みを帯びたもの（同9・11・12）に分けられる。

### 3. 石剣（第104図1～3、第142～144表）

6点出土している。石材は、粘板岩3点、緑泥片岩3点である。

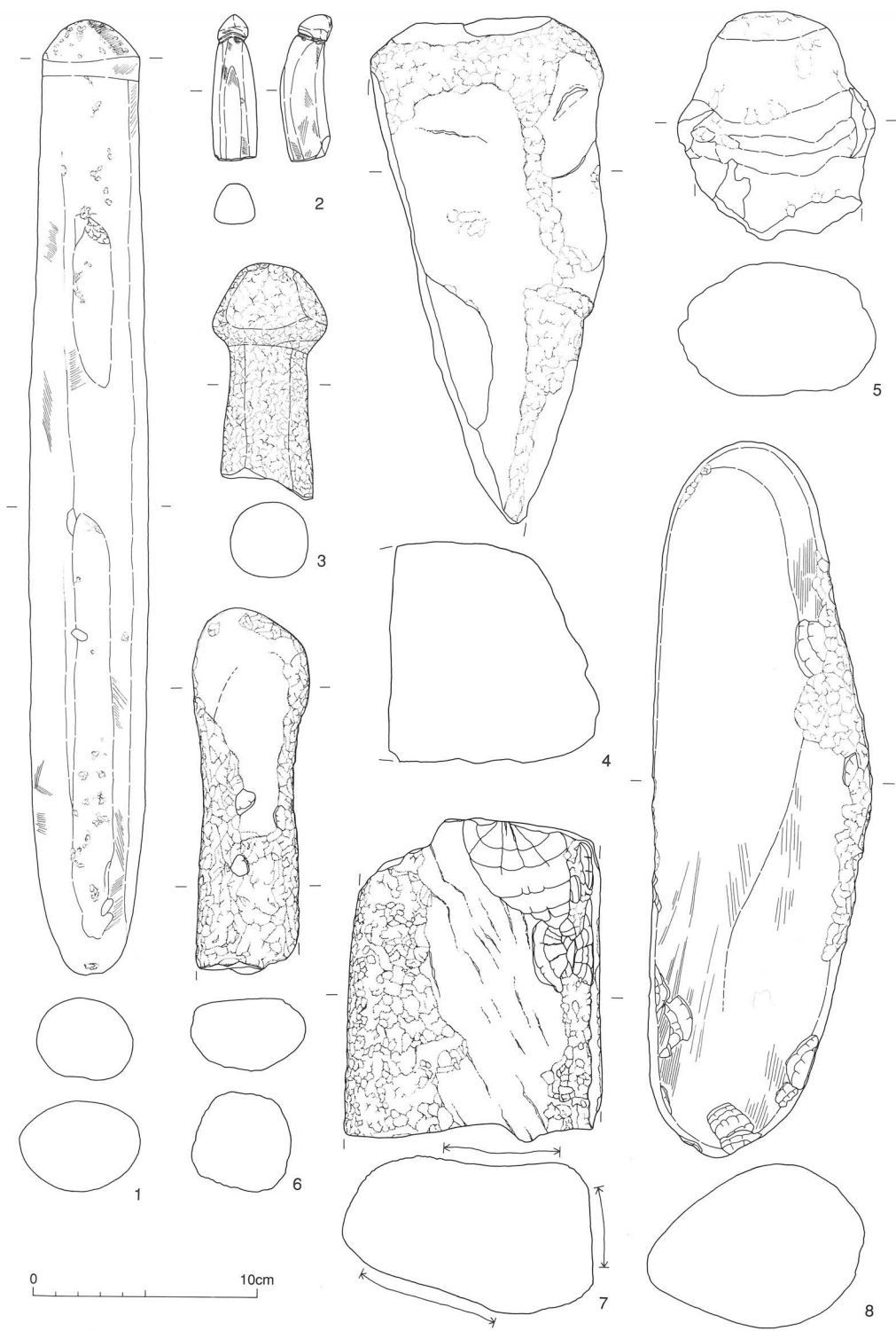
破片がほとんどで、完形品は1点（同1）のみである。1の石材は粘板岩で、全体に表面の剥落が著しい。

### 4. 石刀（第104図4～14、第142～144表）

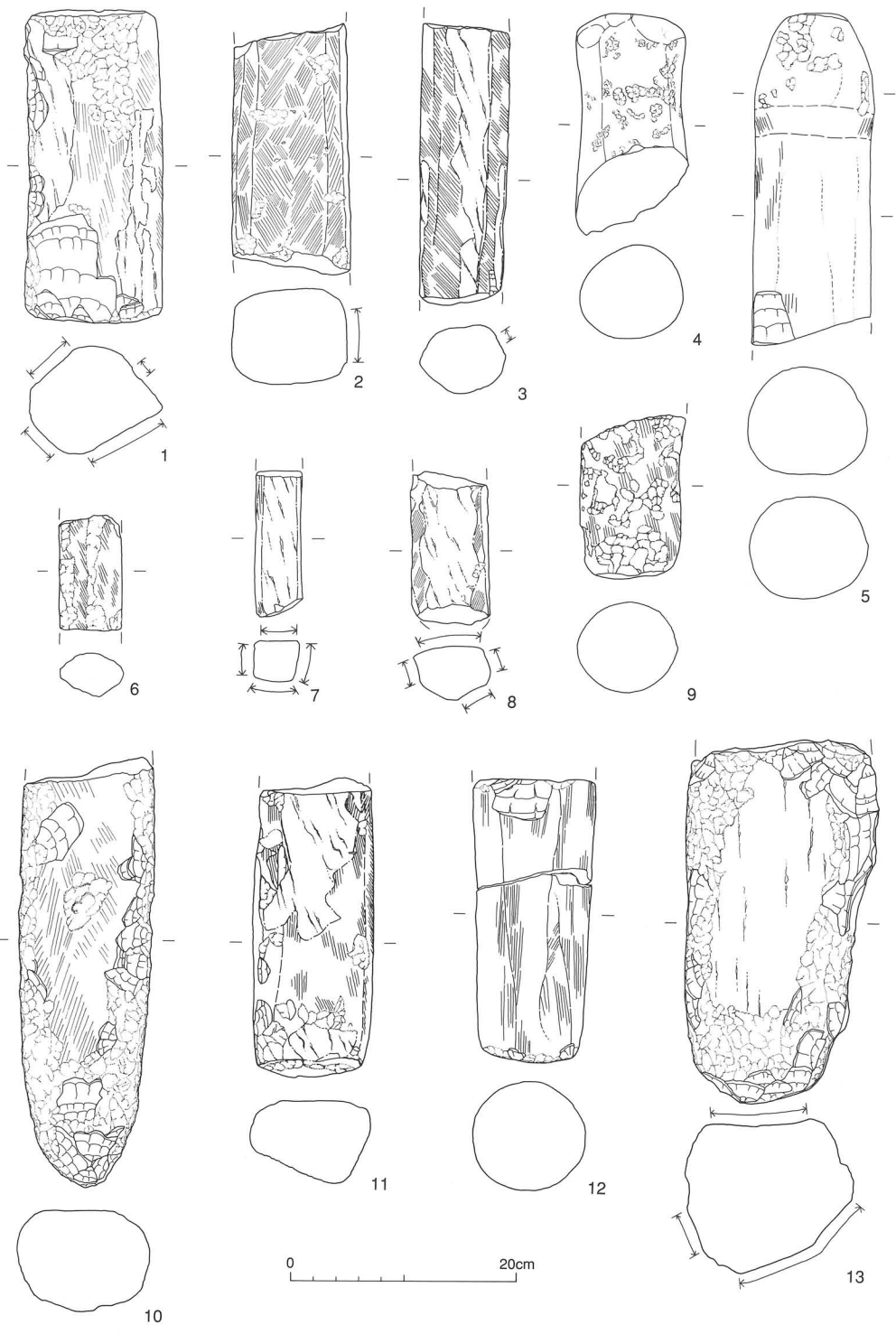
23点出土している。1点を除いて一部欠損または破片である。石材は粘板岩（10点）と緑泥片岩（8点）が多くを占め、塩屋石も3点みられる。刀身が直線的なものと、反りがあるものがある。頭部の形状は円柱状のものと、やや扁平で胴部との区別が付きにくいもの、沈線による文様が施されているもの、無文のものがある。

同13は端部欠損品であるが他の遺存状態は良く、刀身は直線的に伸びるとみられる。石材は粘板岩で丁寧に研磨されている。頭部は円柱状で胴部とほとんど太さが変わらないが、三本の平行してめぐり沈線と、斜めに刻まれた沈線によって施文されている。頭部から少し離れた位置から刃が付けられている。背刃の部分には一条の溝をもつ。

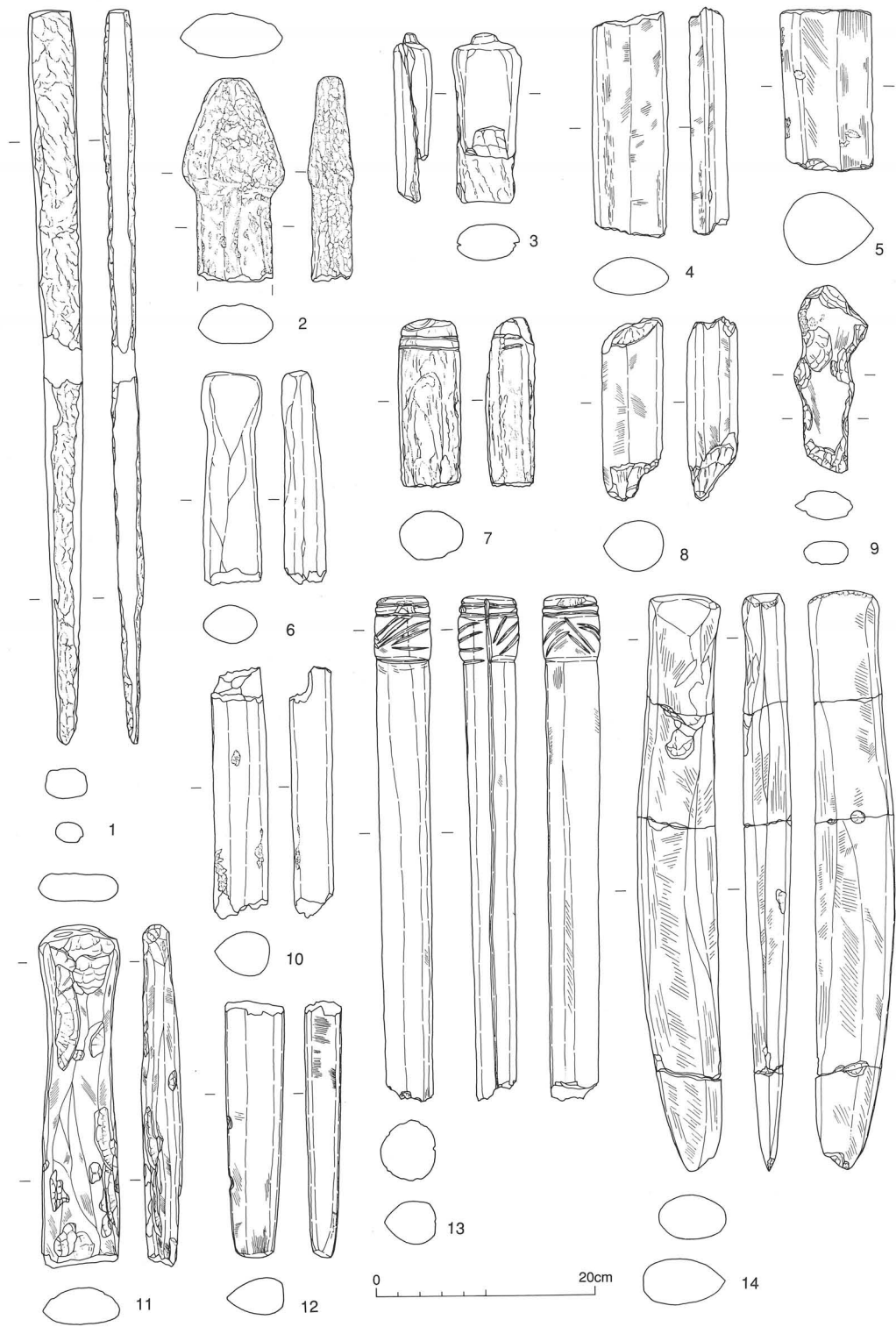
同14は塩屋石製の完形品である。頭部はやや膨らみを帯びるだけで、明瞭に区別できる形態ではない。全体がよく研磨されていて、刃部側にやや湾曲している。頭部付近には刃が付けられて



第102図 石棒実測図(1)



第103図 石棒実測図(2)



第104图 石劍・石刀実測図

いない部分がある。

#### 5. 石冠 (第105図・第106図1～3、第145～147表)

14点出土している。完形品で4点で、一部が欠損したものが多い。石棒に多用されている塩屋石を石材としているものが6点ある。形態からⅠ～Ⅳ類に分類した。

Ⅰ類……球頭状の頭部と長楕円形もしくは円形に近い底部をもつ。頭部と基底部が明瞭に区別できる。

Ⅱ類……斧の刃部状の頭部と長楕円形もしくは隅丸方形の底部をもつ。頭部と基底部が明瞭に区別できる。

Ⅲ類……斧の刃部状の頭部と楕円形の底部をもつ。頭部と基底部が一体化している。

Ⅳ類……丸みを帯びた頭部と長楕円形の底部をもつ。頭部と基底部が一体化している。

不明……遺存状態が良くないため判別が不可能。

(Ⅰ類) 5点、(Ⅱ類) 2点、(Ⅲ類) 4点、(Ⅳ類) 2点、(不明) 1点である。

第105図1～4・7はⅠ類に属す。石棒状の頭部は欠損している。同1・2・3は、底部の中央部分に凹みをもつ。同4は凝灰岩製で、石棒状の頭部をもつが、前者に比べて胴部の横への張りだし部分が少ない。円形に近いよく研磨された凸状の底部は、やや安定性を欠く。頭部の最大径部分と胴部にそれぞれ沈線による文様が施されている。頭部には一条の沈線がめぐり、それに直交する短い沈線が相対する二ヵ所に入る。胴部には一条の沈線がめぐり、3単位の三叉文が施されているとみられる。

同5・6はⅡ類に属す。2点ともに石材は塩屋石である。同5は胴部が一部欠損しているが、特徴である斧の刃部状の頭部は遺存状態が良く、全体が丁寧に研磨されている。頭部と胴部は段をつけることにより明瞭に区別されている。胴部には帯状に、底部には全面に印刻による文様が施されている。胴部では一つの点もしくは沈線を中心に、沈線が弧状に二重または三重に連なる文様と、沈線による円からなる文様が交互に並び、文様間のスペースを埋めるように三叉文が入る。隅丸長方形の底部をもち、平坦な底面には三様の三叉文が各々の対角線上に配されている。

#### 6. 御物石器 (第106図5・6、第148表)

4点出土している。完形品はなく、いずれも一部欠損及び破片である。同5は腹部の破片で断面は三角形を呈している。同6は未製品で、整形のための敲打痕が、底部と上部にみられる。

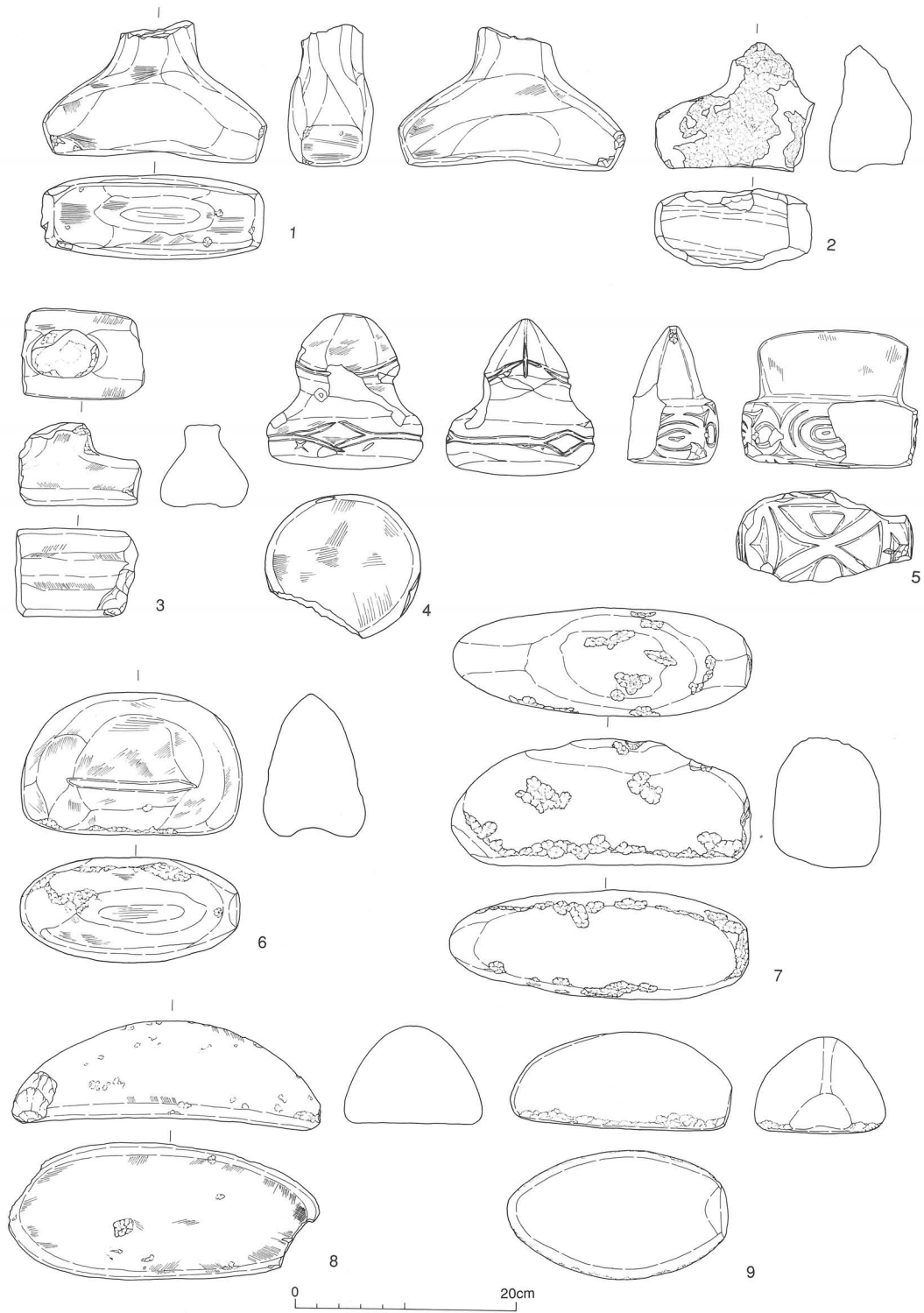
#### 7. 独鈷石 (第106図4、第149表)

1点出土している。完形で石材は蛇紋岩である。中央部がくびれ、帯状にえぐられたようになっている。断面は楕円形で、両頭部はやや角張った半球状を呈している。研磨痕が観察できるが、整形時の敲打痕も多く残っている。

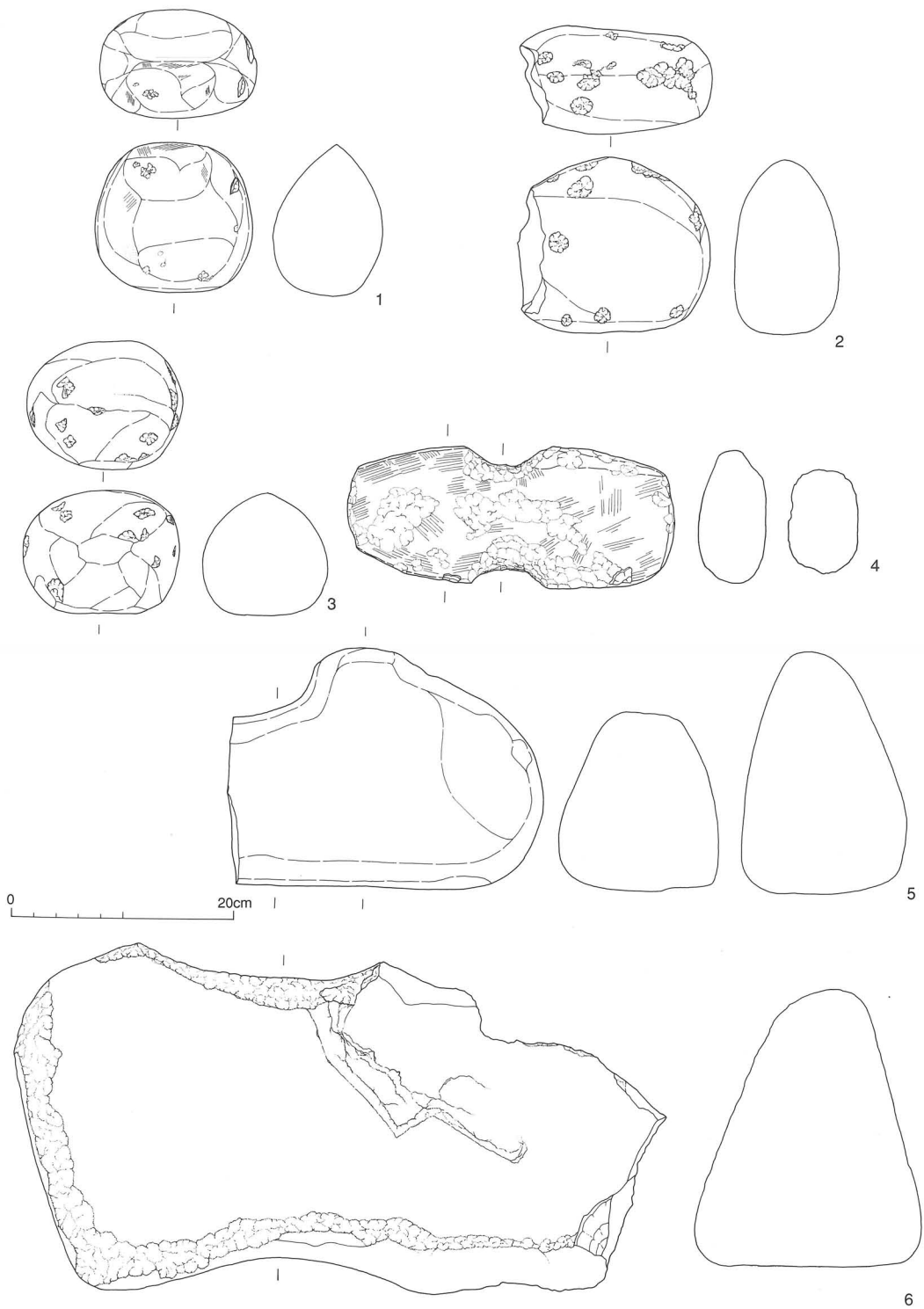
#### 8. 塊状耳飾り (第107図1・2、第150・151表)

3点出土している。1点(同1)は完形である。石材は蛇紋岩で、やや透明感のある乳白色地に鮮やかな透明感のある緑色が混入している。左右に広い楕円形で、中央よりやや上よりの位置に両面から穿孔されている。断面は扁平である。

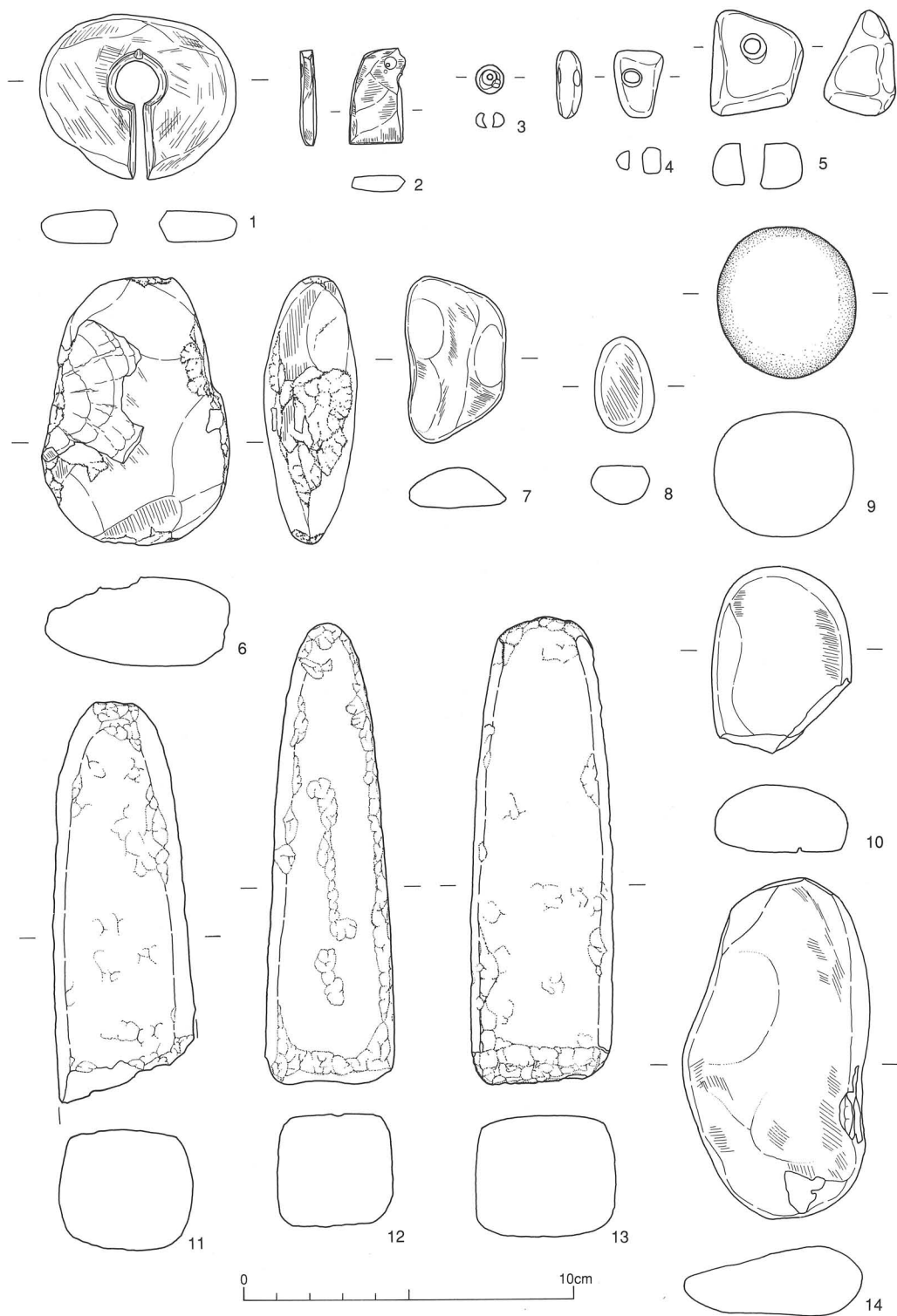




第105图 石冠实测图



第106図 石冠(1~3)・御物石器(5・6)・独鈷石(4) 実測図



第107図 玦状耳飾(1・2)・玉類(3~5)・名称不明石製品(11~13)  
 ・その他の石製品(6~10・14)実測図

同2は $\frac{1}{2}$ 欠損品である。石材は粘板岩で、縦に長く角張っている。中央やや上寄りに両面から穿孔されている。孔の直径が小さく、切り込み部の幅と大差がない。また補修孔とみられる小孔が一つ、片面から穿孔されている。そのすぐ脇には穿孔途中とみられる円形の浅い凹みも観察できる。全体に薄手で周縁部は角を作り出してあり、断面は変形の五角形を呈している。

#### 9. 玉類 (第107図3～5、第152表)

3点出土している。1点(同3)は硬玉製の小玉で、穿孔は上面から一方的に行われている。同4・5は垂玉で、2点共に中央よりやや上部に両面から穿孔してある。同4は滑石製で台形状をしている。同5は硬玉製で、形態は不定であるが意図的に平坦面を作り出している。

#### 10. 名称不明石製品 (第107図11～13、第153表)

4点出土している。完形品は2点ある。四隅が丸みを帯びた角柱状の石製品で、先端部分が先細りになっているものと、やや細くなっているが平坦にちかい部分を作り出しているものの二種類ある。同11・12は前者、同13は後者である。両者とも底部はほぼ平坦であるが、安定性にはやや欠ける。石材は4点ともに砂岩である。

#### 11. その他の石製品 (第107図6～10・14、第154・155表)

8点出土している。同8・9は自然の円礫の一面を磨いて平坦面を作り出している。同7・14は蛇紋岩の原石である。同6は石材は蛇紋岩で一部に研磨痕がみられるが、敲石として使用されている。

#### 12. まとめ

本遺跡からは、玦状耳飾りや小玉などの装飾品的なものから、石棒・石剣・石冠・御物石器などの非実用的なものまでが出土している。前者は出土点数は少ないものの、石材として蛇紋岩や硬玉が使用されている点から、石材産地である北陸地域との関連がうかがえる。後者は石棒を一部除いて縄文後・晩期に多様化する、地域色の濃い特徴的なものである。また在地の石材である塩屋石が、石棒以外にも石刀・石冠にも使用されている点が特徴として挙げられる。

第138表 宮ノ前地点石棒一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	32	4層	軸部破片	頁岩	(7.7)	(2.6)	(1.5)	(42)	
2	22・23抔	4層	軸部破片	粘板岩	(9.3)	(3.4)	(2.4)	(116)	
3	36	4層	軸部破片	塩屋石	(9.6)	(5.6)	(5.1)	(367)	
4	32	3層	軸部破片	塩屋石	(11.0)	(5.1)	(4.4)	(390)	第103図2
5	32	3層	端部破片	塩屋石	(7.9)	(5.2)	(3.2)	(202)	
6	11	3層	端部破片	塩屋石	(13.2)	(4.7)	(4.3)	(385)	
7	31	3層	軸部破片	安山岩	(8.9)	(5.9)	(4.3)	(284)	
8	11	4層	端部破片	濃飛流紋岩	(8.6)	(4.1)	(3.1)	(223)	
9	38	3層	端部破片	濃飛流紋岩	(9.2)	(4.2)	(2.4)	(258)	
10	18	3層	軸部破片	塩屋石	(8.6)	(4.1)	(3.7)	(189)	
11	34	3層	軸部破片	塩屋石	(10.6)	(4.7)	(4.3)	(305)	
12	11	3層	軸部破片	安山岩	(4.4)	(3.5)	(3.3)	(86)	
13	5	4層	軸部破片	塩屋石	(8.6)	(4.9)	(4.0)	(257)	
14	22・23抔	4層	頭部欠損	安山岩	(19.6)	5.5	6.2	(923)	
15	6	4層	頭部破片	安山岩	(16.4)	5.2	(4.5)	(538)	第102図6
16	21	4層	端部破片	塩屋石	(8.6)	(3.7)	(3.3)	(132)	

第139表 前田地点石棒一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C6	端部欠損	粘板岩	(6.4)	2.0	(1.9)	(42)	第102図2
2	B4	頭部破片	安山岩	(9.9)	(5.1)	(3.9)	(230)	同3
3	C19第7層	頭部破片	塩屋石	(9.3)	(4.5)	(4.3)	(191)	第103図4
4	C14	完形	凝灰岩	43.1	5.2	4.0	1480	第102図1
5	表採	軸部破片	凝灰質流紋岩	(14.3)	(11.6)	(7.0)	(1620)	同3
6	C5	端部破片	塩屋石	(7.6)	(7.4)	(6.2)	(427)	
7	A5	端部破片	塩屋石	(15.9)	(6.1)	(5.2)	(601)	
8	C22	端部破片	塩屋石	(15.7)	(8.3)	(6.7)	(1240)	第103図13
9	A2	頭部破片	塩屋石	(14.4)	5.1	4.8	(551)	同5
10	C11	軸部破片	塩屋石	(7.7)	(7.5)	(5.3)	(453)	
11	C5	頭部破片	濃飛流紋岩	(9.8)	(8.9)	(5.9)	(526)	第102図5
12	A20	端部破片	塩屋石	(12.6)	(5.3)	(5.0)	(404)	第103図12
13	C16	端部破片	塩屋石	(18.2)	(5.7)	(4.8)	(654)	同10
14	A20	完形	凝灰岩	32.4	9.5	7.5	2860	第102図8
15	B2	端部破片	濃飛流紋岩	(16.4)	(8.8)	(7.8)	(1520)	
16	表採	端部破片	安山岩	(15.5)	(4.9)	(4.4)	(523)	
17	C15	軸部破片	塩屋石	(10.8)	(4.6)	(3.0)	(204)	
18	C1	頭部破片	凝灰岩	(13.1)	(4.9)	(4.6)	(440)	
19	A22	軸部破片	粘板岩	(6.3)	(2.2)	(0.4)	(14)	
20	C17第4層	軸部破片	粘板岩	(5.3)	(3.3)	(1.3)	(24)	
21	B5	端部破片	塩屋石	(12.7)	(3.4)	(4.1)	(249)	
22	C14	軸部破片	砂岩	(13.1)	(5.0)	(3.7)	(378)	
23	A2	端部破片	塩屋石	(12.6)	(4.0)	(3.0)	(188)	
24	A12第7層下部	軸部破片	粘板岩	(5.9)	(2.5)	(2.1)	(47)	
25	C10	軸部破片	塩屋石	(3.4)	(3.2)	(2.4)	(36)	
26	C1	端部破片	塩屋石	(9.0)	(5.4)	(5.1)	(298)	
27	C16第7層	端部破片	塩屋石	(12.4)	(3.5)	(3.5)	(238)	第103図3
28	B9	端部破片	安山岩	(9.2)	(4.3)	(3.3)	(214)	
29	B5第7層	端部破片	塩屋石	(6.5)	(2.0)	(2.0)	(45)	同7

30	C15	軸部破片	塩屋石	(2.6)	(3.4)	(2.1)	(18)	
31	C2	端部破片	塩屋石	(10.4)	(4.9)	(3.8)	(277)	
32	C20	頭部破片	塩屋石	(7.2)	(4.4)	(4.1)	(175)	同9
33	C19	端部破片	塩屋石	(8.8)	(4.0)	(3.8)	(190)	
34	B13	軸部破片	粘板岩	(12.9)	(4.4)	(2.3)	(214)	
35	C13	軸部破片	塩屋石	(5.1)	(2.6)	(2.1)	(38)	同6
36	C16	軸部破片	塩屋石	(14.4)	(4.8)	(4.4)	(370)	
37	A4	端部破片	塩屋石	(13.2)	(5.3)	(3.7)	(355)	同11
38	A19第7層	軸部破片	塩屋石	(7.6)	(6.5)	(4.9)	(341)	
39	B2	胴部破片	塩屋石	(8.3)	(4.8)	4.1	(214)	
40	B2	胴部破片	塩屋石	(13.7)	(5.6)	(4.3)	(437)	同1
41	B19	胴部破片	塩屋石	(3.2)	(3.5)	(1.4)	(12)	
42	C4第7層	軸部破片	塩屋石	(5.6)	(2.9)	(2.3)	(62)	
43	B9	軸部破片	緑泥片岩	(9.4)	(2.6)	(2.0)	(81)	

第140表 うづか地点石棒一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	H6Ⅱ	端部破片	凝灰岩	(9.8)	(5.1)	(3.8)	(253)	
2	M6Ⅱ	軸部破片	緑泥片岩	(7.9)	(4.5)	(2.9)	(180)	

第141表 センター地点石棒一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	B12	軸部破片	塩屋石	(6.7)	(3.2)	(2.4)	(77)	第103図8
2	A8	頭部破片	安山岩	(22.5)	(9.8)	(9.9)	(2960)	第102図4

第142表 宮ノ前地点石剣・石刀一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	区分	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	31	3層	石刀	頭部破片	緑泥片岩	(9.5)	(2.8)	(1.9)	(81)	第104図6
2	23	4層	石刀	軸部破片	粘板岩	(11.0)	(3.4)	(1.7)	(105)	
3	28~30	3層	石刀	軸部破片	片岩	(10.0)	(2.8)	(1.9)	(93)	
4	38	3層	石刀	軸部破片	珪化木	(10.3)	(2.6)	(1.4)	(44)	
5	1	4層	石刀	軸部破片	粘板岩	(5.5)	(2.0)	(1.2)	(22)	
6	3	4層	石刀	軸部破片	粘板岩	(5.5)	(2.2)	(1.2)	(22)	
7	23	4層	石刀	軸部破片	粘板岩	(5.4)	(1.9)	(1.6)	(30)	
8	23	4層	不明	頭部破片	頁岩	(8.5)	(3.8)	(1.4)	(44)	同9
9	32	3層	不明	軸部破片	粘板岩	(7.4)	(2.5)	(0.9)	(28)	
10	25	4層	不明	軸部破片	頁岩	(5.7)	(2.0)	(1.8)	(28)	
11	23	4層	不明	軸部破片	粘板岩	(2.9)	(1.8)	(0.4)	(3)	

第143表 前田地点石剣・石刀一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	区分	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C5	石剣	表面剥落	粘板岩	(33.7)	2.0	(1.4)	(130)	第104図1
2	C20	石剣	頭部破片	緑泥片岩	(10.3)	(4.6)	(2.0)	(123)	同2
3	A19	石剣	軸部破片	緑泥片岩	(9.8)	(3.5)	(1.6)	(106)	同4
4	B17	石剣	端部破片	粘板岩	(5.4)	(3.2)	(0.8)	(17)	

5	A4、B5	石	劍	頭部破片	緑泥片岩	(7.7)	(3.2)	(1.8)	(49)	同3
6	B19	石	劍	端部破片	粘板岩	(10.0)	(2.0)	(0.7)	(22)	
7	B13	石	刀	完形	塩屋石	26.4	3.6	1.9	338	同14
8	C13	石	刀	端部欠損	粘板岩	(23.0)	2.7	2.7	(229)	同13
9	B21	石	刀	端部破片	緑泥片岩	(11.8)	(2.7)	(1.7)	(93)	同12
10	B8	石	刀	端部破片	緑泥片岩	(9.3)	(2.7)	(1.3)	(64)	
11	B1	石	刀	軸部破片	粘板岩	(8.0)	(1.7)	(1.0)	(25)	
12	B20第7層	石	刀	端部欠損	粘板岩	(15.6)	3.5	1.8	(152)	同11
13	B1	石	刀	頭部破片	粘板岩	(7.7)	(2.9)	(2.1)	(87)	同7
14	C2	石	刀	軸部破片	粘板岩	(8.1)	(2.8)	(2.2)	(81)	同8
15	B11	石	刀	軸部破片	粘板岩	(4.7)	(2.7)	(1.6)	(35)	
16	C11	石	刀	軸部破片	緑泥片岩	(3.6)	(2.8)	(1.3)	(20)	
17	A14	石	刀	軸部破片	緑泥片岩	(2.5)	(2.6)	(1.2)	(11)	
18	C22	石	刀	頭部破片	緑泥片岩	(2.5)	(2.0)	(1.1)	(10)	
19	A3	石	刀	端部破片	塩屋石	(5.8)	(4.8)	(1.8)	(51)	
20	C22	石	刀	軸部破片	塩屋石	(7.3)	(4.0)	(3.5)	(135)	同5
21	表採	不	明	頭部破片	粘板岩	(2.5)	(2.0)	(0.5)	(4)	
22	C4	不	明	軸部破片	緑泥片岩	(3.4)	(3.0)	(0.7)	(11)	
23	表採	不	明	軸部破片	粘板岩	(4.1)	(1.6)	(0.3)	(4)	
24	C15	不	明	軸部破片	緑泥片岩	(2.8)	(1.5)	(1.2)	(10)	
25	B9	不	明	軸部破片	粘板岩	(4.0)	(1.9)	(0.7)	(8.0)	
26	A5	不	明	軸部破片	粘板岩	(3.5)	(2.3)	(1.3)	(17)	
27	B15	不	明	頭部破片	粘板岩	(3.9)	(3.4)	(0.7)	(15)	
28	B9	不	明	軸部破片	粘板岩	(5.0)	(1.1)	(0.7)	(7)	
29	A15	不	明	軸部破片	凝灰岩	(5.3)	(3.6)	(0.9)	(23)	

第144表 うづか地点石剣・石刀一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	区分	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号	
1	表採	石	刀	軸部破片	緑泥片岩	(5.5)	(2.3)	(1.4)	(36)	
2	表採	石	刀	軸部破片	緑泥片岩	(11.1)	(2.5)	(1.8)	(98)	第104図10

第145表 宮ノ前地点石冠一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	高さ	長さ	巾	重さ	挿図番号
1	表採	Ⅱ	一部欠損	塩屋石	6.3	7.9	(4.0)	(225)	第105図5
2	表採	その他	完形	安山岩	4.3	10.1	5.8	290	同9

第146表 前田地点石冠一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	高さ	長さ	巾	重さ	挿図番号
1	C18第4層	I	頭部欠損	凝灰質流紋岩	(5.8)	10.3	(3.8)	(216)	第105図1
2	C12	I	頭部欠損	多孔質安山岩	(5.8)	13.8	(4.7)	(493)	同7
3	B15	I	胴部破片	凝灰岩	(5.8)	(7.1)	(3.5)	(134)	同2
4	C14	I	胴部破片	塩屋石	(3.9)	(5.5)	(4.0)	(84)	同3
5	C13第4層	Ⅱ	完形	塩屋石	6.5	10.1	4.7	357	同6
6	B13	Ⅱ	完形	砂岩	6.7	7.1	4.8	294	第106図1
7	B19	Ⅱ	完形	塩屋石	5.6	6.9	5.7	257	同3
8	B4	Ⅱ	頭部欠損	塩屋石	(7.6)	8.6	7.3	(465)	
9	C5	Ⅱ	1/3欠損	多孔質安山岩	8.1	(8.8)	4.7	(400)	同2

10	C22	IV	破片	塩屋石	(2.7)	(3.3)	(2.8)	(20)	
11	A18	その他	一部欠損	流紋岩	4.8	(14.0)	6.2	(463)	第105図8

第147表 うづか地点石冠一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	形態分類	遺存状態	石質	高さ	長さ	巾	重さ	挿図番号
1	表採	I	一部欠損	凝灰岩	7.2	7.0	(6.5)	(199)	第105図4

第148表 前田地点御物石器一覧表 (単位cm・kg、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	腹部欠損	閃緑岩	(29.4)	15.7	11.0	(6.18)	第106図6
2	表採	頭部破片	安山岩	(22.2)	(11.2)	(11.7)	(3.42)	
3	C20	腹部破片	安山岩	(13.9)	(11.0)	(7.1)	(1.76)	同5
4	B4	胸部破片	濃飛流紋岩	(8.8)	(10.4)	(10.9)	(1.08)	

第149表 前田地点独鈷石一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A21	完形	蛇紋岩	14.8	6.5	3.2	517	第106図4

第150表 前田地点球状耳飾一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C23第7層	1/2欠損	粘板岩	2.8	(1.6)	0.5	(4.0)	第107図2
2	B13	破片	蛇紋岩	(1.3)	(2.1)	(0.3)	(1.1)	

第151表 うづか地点球状耳飾一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	表採	完形	蛇紋岩	5.0	5.9	0.9	42	第107図1

第152表 前田地点玉類一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	C13	完形	硬玉	0.8	0.9	0.4	0.5	第107図3
2	B13	完形	滑石	2.0	1.4	0.7	3.2	同4
3	表採	完形	硬玉	3.1	2.8	2.0	28.6	同5

第153表 前田地点名称不明石製品一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A9	一部欠損	砂岩	(11.9)	(4.1)	(3.9)	(255)	第107図11
2	C3	完形	砂岩	14.1	4.2	3.7	380	同13
3	C18第7層	胴部破片	砂岩	(5.9)	(3.9)	(3.4)	(118)	
4	C4第7層	完形	砂岩	13.9	3.9	3.6	261	同12



第154表 宮ノ前地点その他の石製品一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土区	出土層位	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	13	4層	一部欠損	蛇紋岩	(10.3)	5.4	2.2	(191)	第107図14

第155表 前田地点その他の石製品一覧表 (単位cm・g、カッコ内現存値)

番号	出土位置	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	挿図番号
1	A18	1/3 欠損	メノウ	(5.8)	4.2	2.0	(75)	第107図10
2	C14第7層	完形	蛇紋岩	8.2	5.6	2.8	192	同6
3	A19	完形	珪岩	4.6	4.3	4.1	108	同9
4	A22	完形	蛇紋岩	3.0	3.0	1.1	27	同7
5	C14	破片	蛇紋岩	(2.8)	(3.4)	(2.2)	(30)	
6	B20	完形	流紋岩	3.0	1.8	1.1	10	同8
7	表採	1/2 欠損	蛇紋岩	(4.9)	(2.8)	(1.2)	(15)	



## 第6節 宮ノ前遺跡出土の木質遺物

山田 昌久（東京都立大学人文学部）

宮ノ前遺跡から出土した木質遺物（木製品・加工材・自然木の総称）は、大きく2つの時代のものに分けられる。

まず、後期旧石器時代の資料として、多数の自然木に混じって、しかも石器と隣接して発見された加工材（加工痕と判断できる部分があるもの）がある。出土地点は、移動して集積した堆積層内であるという指摘もあるが、石器と一緒に発見されたものであり、年代測定値と合せて後期旧石器時代末の資料と確定できる。道具にするための加工ではないが、旧石器時代の確実な人為品としては、確証の無かった他の類例とは異なり、はじめての発見であるといえる。

つぎに、縄文時代の資料があるが、これらはいくつかの時期に分類できる。早期に属するものは、加工が観察できず自然木と判断した。中期に属するものは、構造部材・加工材・杭材があるが、杭列には中期後半の土器がともない、ポット内の構造部材・加工材は中期末の資料と共伴した。年代測定結果も200年ほどの差が示された。さらに後期末から晩期に属する層準から、結核が出土している。

以下、それらについて報告する。

### 1、後期旧石器時代の木質遺物

後期旧石器時代末の資料としては、発掘時に加工痕を確認して取り上げた1点（第1図-1、写真図版1）と、取り上げた木材の中から水洗しながら判別した、加工痕の可能性がある部位をもつ材9点（第1図-2、写真図版2-1~9）がある。加工面らしき部位は、材の端部に切削らしい痕跡があるもの、材表面に切削面らしい部位が認められるものに2分できる。そして柁目・板目の割り板様のものもある。

そのなかには前述のように、いったんコンテナに収納した後で摘出したもののため、調査時や収納時のキズと判別が難しい資料も含まれている（写真図版2-2~5・7）。明らかに劣化したあとのキズと判断できるもの（調査道具の削り）は、このなかには含まれていない。また、写真図版2-6・8・9は割板状になっているが、加撃部位・削り面は確認できない。これらは、「加工材の可能性のあるもの」としておく。

加工の可能性が高い資料は、第1図-1・2（写真図版1、2-1）である。1は、A10グリッド第17層出土。残存長12.1cm最大径1.8cmで、材質はトウヒ属。枝分れ部分が節ごと抜け落ちた材で、部分的に黒変している。黒変の状態は2種類あり、光沢のある黒変部分は薄い網掛けで示し、かさついている黒変部分は濃い網掛けで示した。前者は埋没環境による変色、後者は旧石器時代に火を受けて炭化したものと考えられる。本資料が、単なる枝部分の抜け落ちとは言えないのは、こうした表面の状態からも判断できる。

その炭化部にかかる部分も含めて、削り加工の可能性のある面が5つある。その面は、a-a

は段差を持ち、b-bは屈曲線を描き、c-cはほぼ直線的で、d-dは屈曲線を描き、e-eは湾曲している。当時担当者であった林直樹氏によれば、出土時点ですでにこれらの面があったとのことであり、旧石器時代の加工材である可能性が高い。

2は、B9グリッド第17層出土。残存長44.5cm最大径4.5cmで、材質は同じくトウヒ属。枝材の一端に切削面が残っている。加工は連続して加工面を形成している。浅い角度で連続して刃が入り、枝を切り落とした際の加工痕と考えられる。現状は、埋没時点もしくはそれ以降の乾燥により変形し、加工面にひび割れがおこっている。削り加工面の数は、確実に判断できるのは3つであるが、加工幅を考えるとひび割れの部分を境として別の作業での加工であった可能性もある。

1・2ともに、生木の時期に剥片石器の刃で削られたもので、幅の狭いものは削りが長く、幅の広いものは削りが短くなる傾向にある。現在、旧石器時代の加工材の可能性が指摘されているものは、本例を含め、岩手県大渡Ⅱ遺跡・長野県野尻湖遺跡・兵庫県西明石遺跡の4例である。西明石遺跡のものは、板の表面に鱗状の面をつくった「加工」がある。他の3例は棒状材に浅い切削様の「加工」がある。

木材加工時に、形状変更作業以外の製材に面調整の工程をついやすのは石斧の出現後であり、定住度が高い時間経過を技術に組み込める社会でのことと考えられる。ヨーロッパのクラクトン・オー・シー遺跡出土の木槍とされる遺物も、太く長い棒状材の先端を炭化させ尖らせたものである。そういった意味から、現時点では、旧石器時代の木材加工の特徴を、本遺跡出土例のような炭化と切削による単純工程の範囲で理解しておきたい。

また樹種の面からは、この他の8点の資料も、7点がトウヒ属材で1点のみモミ属材があった。これは、自然木の傾向とも類似しており、旧石器時代人が当地に生育していた木を、切り取ったり加工したもので、現地性の高いものと考えられる。

## 2、縄文時代

第2図2～4は結び櫛である。2は、B18グリッド黒色粘土層（第4層）の出土で、現存幅10.4cm、現存高1.6cm、現存厚1.1cmである。櫛の頭部のみが残っている資料である。その上端面には繊維をあてた跡が残る。歯を結び束ねた部分の各所に繊維をあててから塑固め（土でかため）して漆塗りのつくりの櫛の、頭部上端が剥がれたものと思われる。結び束ねた際の糸の形が漆塗りの下に鋸歯状に盛り上がり観察される。櫛頭部は細長い長方形であるが両端が少し高まるように作られている。全面に赤い色の漆が塗られている。断面形は中位が括れる形状である。歯は総てぬけおちている。痕跡からは、歯は断面が円形になる作りで、直径は0.33cm前後、16本あり、まっすぐに平行した形で結び込まれていたことが分かる。

3は、B18グリッド黒色粘土層（第4層）出土で、現存幅4.3cm、現存高1.3cm、現存厚0.9cmである。櫛頭部片である。頭部の平面形状は台形で（上端中央が括れる可能性がある）、断面形は中位が膨らむ。歯を結び束ねたもので、この資料も赤漆塗りの下の結び糸の線が浮き上がり観察できる。頭部は欠損しているが、それは、ほぼあて具と糸綴じの部分と対応していることがわかる。

歯の断面は円形で、直径は0.3cm前後8本確認できる。歯は4本ずつ組になって左右に広がるように束ねられている。

4は、A15グリッド砂礫層出土で、現存幅4.8cm（半分ほど折れる）、現存高2.9cm、現存厚1.0cmである。これも櫛頭部片である。頭部平面形は両端が高まるように湾曲した作りである。歯を結い束ねたものであるが、土で凹凸をつくり、さらに繊維をあてがって形を整えている。頭部の漆は赤と黒に塗り分けられている。また上端部には刻みが付けられている。断面形は中位が括れる形状となる。

歯は断面が円形となる作りで、直径は0.35cm前後、6本が確認できるが、本来はその倍の12本程度あったものと考えられる。頭部が湾曲しているにも関わらず歯は広がらず、総て平行するように束ねられている。また、下面から見ると歯列は櫛の中軸線上から外れるので、この櫛は表裏があったことが分かる。

2～4の櫛は、歯の断面形状が円形であることから、縄文時代後期末～晩期の資料と考えられる。それは、出土層の時期とも一致している。この頃の櫛歯は、一般的に板状から棒状に切り替わるからである。また、歯が総て平行するように結い込まれるものと先端部が開くものがあることも、この時期の他の確認例と共通している。

第3図1～6、写真図版3は湧水ポット内に入っていた角材・板材である（鈴木三男氏の資料番号GIF-254～259）。用材はクリ＝6・7・9・12（GIF-255・256・254・259）、ヒノキ＝8（GIF-257）、スギ＝11（GIF-258）である。クリ材の資料は、ミカン割りした材をさらに年輪に沿って割りとった、断面台形のものや三角形のもので、表面には他の整形加工は無い。縄文時代中期末の資料である。現状長は18～36cmあるが、いずれも欠損部があり、本来の長さは不明である。用途も明らかでないが、明らかに、ミカン割りした材をさらに年輪に沿って割り取り、角材・板材に加工した資料である。

第2図1も湧水ポット出土の資料で、縄文時代中期末の構造部材である。加工は石斧で行なわれていて、やや荒い大工仕事である。現存長122.7cm、現存幅16.3cm、現存厚9.9cmであるが、保存処理前は若干大きかった。樹種は縄文時代中期の建築材に一般的なクリ材である（GIF-253）。加工は、20cm弱の直径の丸木を、石斧で相対する形で2面加工して角材風に仕上げたものである。出土時には明瞭であった加工痕も、保存処理後は部分的に加工痕跡を観察できるが、総ての加工を観察することは出来なくなった。しかし、この資料は、縄文時代の建築物にこの2面を利用して積み重ねるような手法＝ログハウスのような木組みの存在する可能性を示している。本資料によって、従来の柱材と横架材による施設復原以外の縄文建築が想定できるようになった。

また、この資料は、一端は欠損しているが、もう一端は木組みの為の加工がある。大きな括れは直交材を組むための細工で、その脇の浅い溝は材の縛り固定時の縄掛けの補助として作られたものであろう。材の積み重ね（接続）直交組みなどの作りは、方形基調の建築物の部材であることを想定させる。現在判明している構造物のなかで本資料の部位を考えるならば、長方形柱穴列遺構＝6本柱の長方形建物の縁辺部横架材であろう。富山県桜町遺跡の材に類例がある。

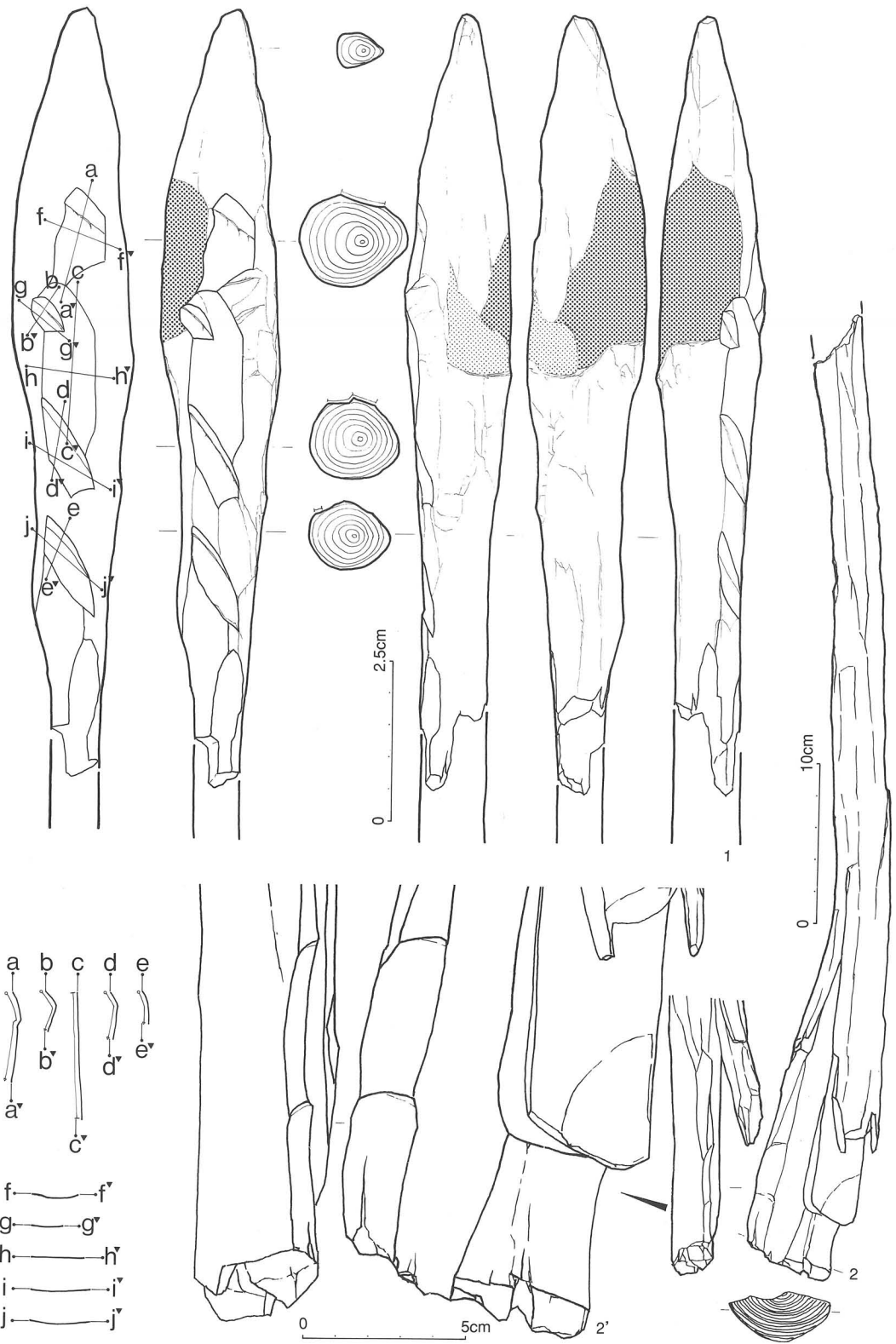
この資料は、縄文時代の施設を神社建築などの木組みづくりの遡源で考えるのみでなく、ロシア極東などの民俗事例にあるような積み木づくりも加えて考える必要を物語っている。

第3図-7 (GIF-260)、第4図1~6 (GIF-261・263・264・266・267・269)、写真図版4~5 (GIF-260~267、269~270) は、B18・19グリッド付近で確認された杭列を構成していた杭である。十分な調査が実施できなかったのが惜しまれるが、湿地部に延びた杭列は縄文時代中期後半の施設で、縄文人のこの地点に対してのはたらきかけを示している。調査時に遺跡を訪れたときには、この杭列の付近に、堅果類の種子集中があった。おそらくこの杭群は、湿地を利用した施設、もしくはそうした施設への通路に関連する施設に用いられたものであったと考えられる。

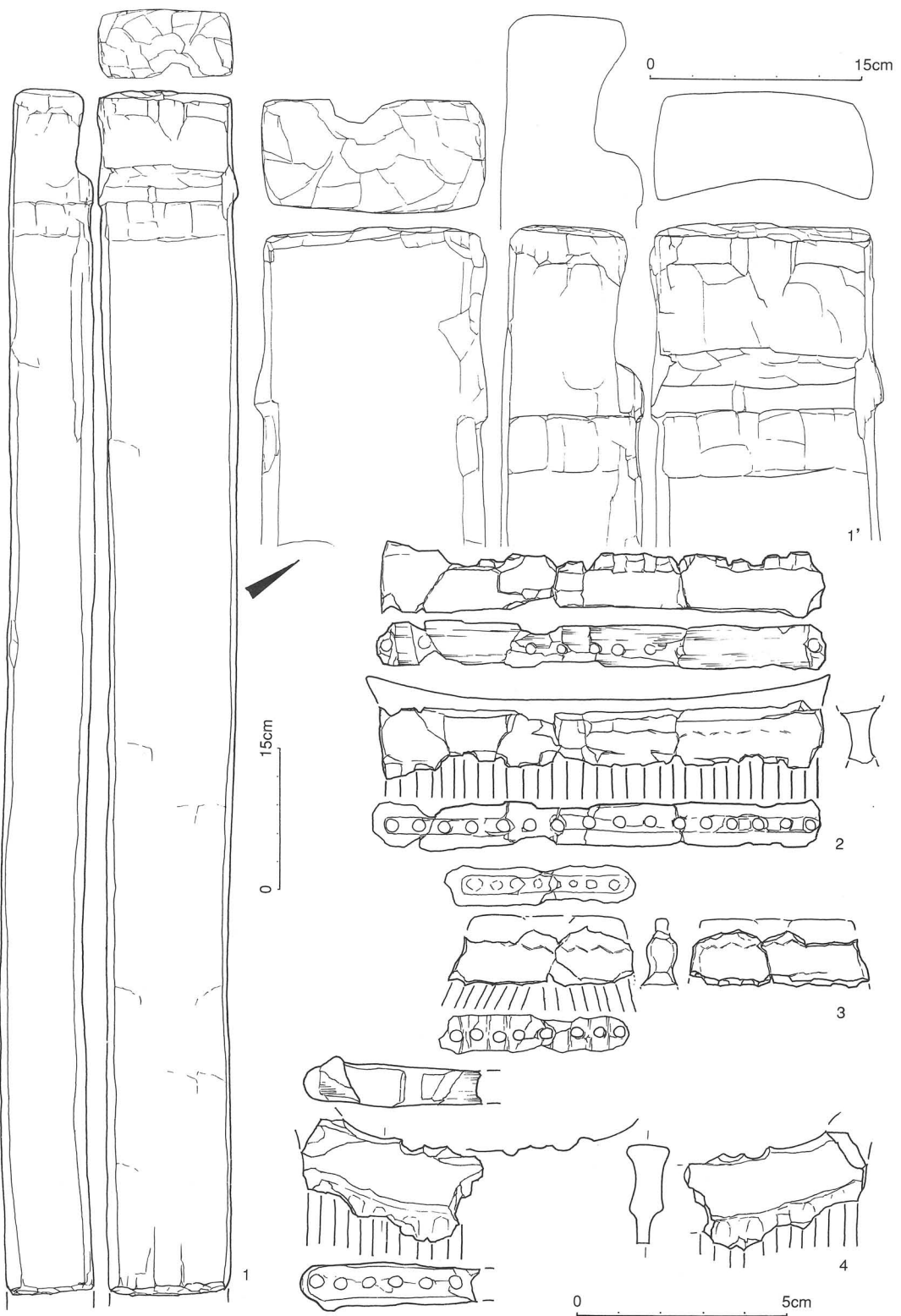
7 (GIF-260) はクリの分割材を素材とした杭で、この資料のみが断面円形にすり減らされ先端が尖っている。杭としての加工であったのか、転用材なのかは断定できないが、現在、縄文時代の杭先端部にこのような加工は類例が無く、本来は別の目的で加工された部分と考えていだろう。

その他の杭のなかでは、4 (GIF-264) のみが丸木で一部炭化している。クリ材である。その他は割杭であるが、1 (GIF-261) は半割り材、3 (GIF-263) は角材で、その他はいわゆるミカン割りと呼ばれている扇形の断面形である。現存長で最も長い資料は、4の50.4cmであるが、取り上げ時に一端あるいは両端が総て欠損している。しかし太さから考えると、最大幅で7.2cm、平均6.0cm内外のもので、縄文時代の杭としてはそれほど大きな部類のものではない。

杭の用材としては、ヤマグワが2点 (GIF-267・268) あるが、その他はクリで、やはり縄文時代の他遺跡の使用木と類似した傾向を示している。

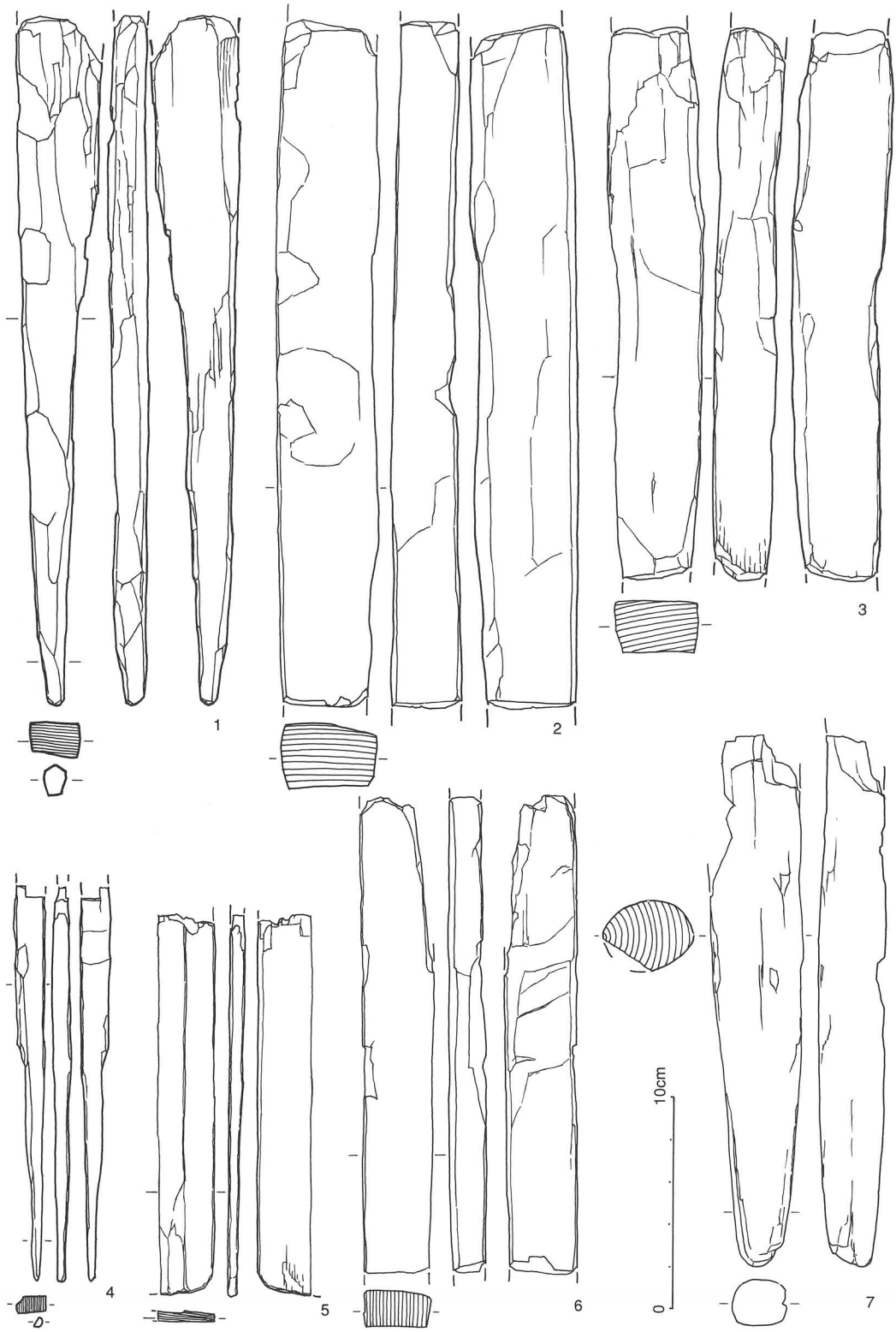


第1図 木質遺物実測図(1)



第2図 木質遺物実測図(2)

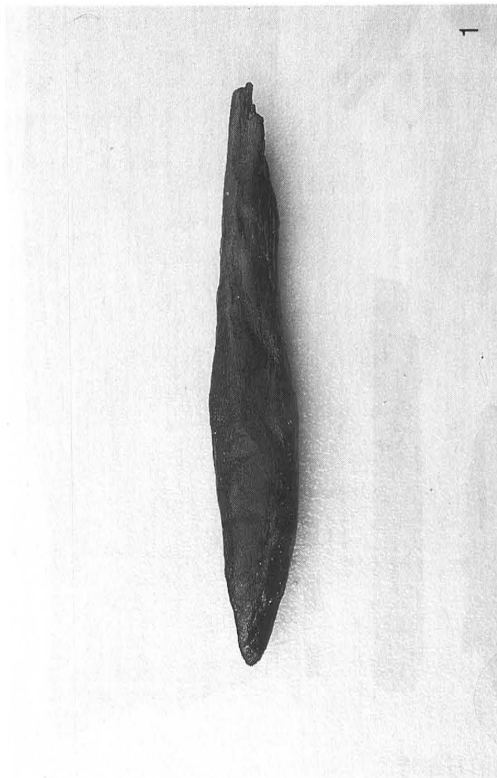




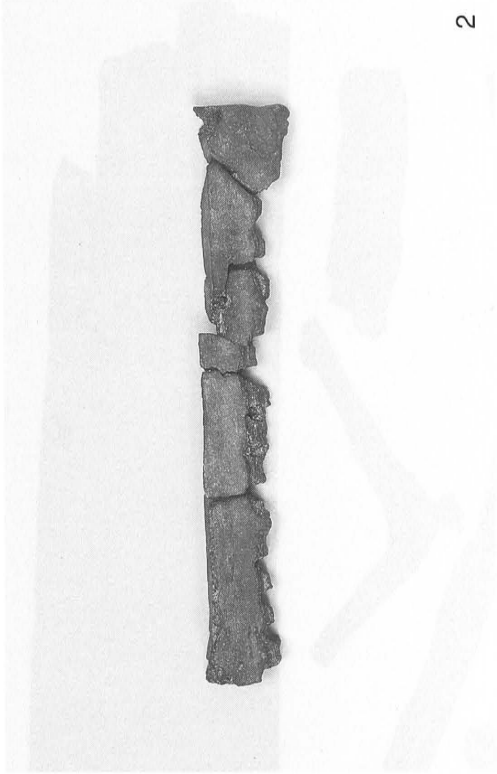
第3図 木質遺物実測図(3)



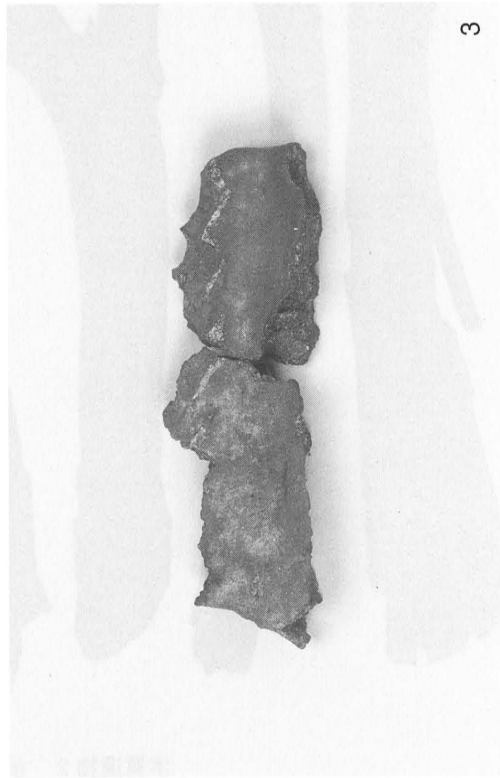
第4図 木質遺物実測図(4)



1



2



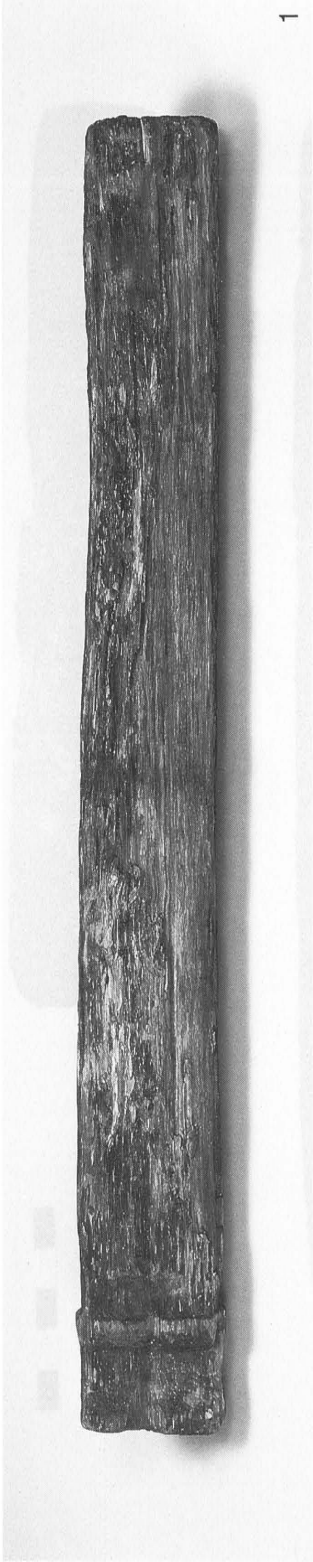
3



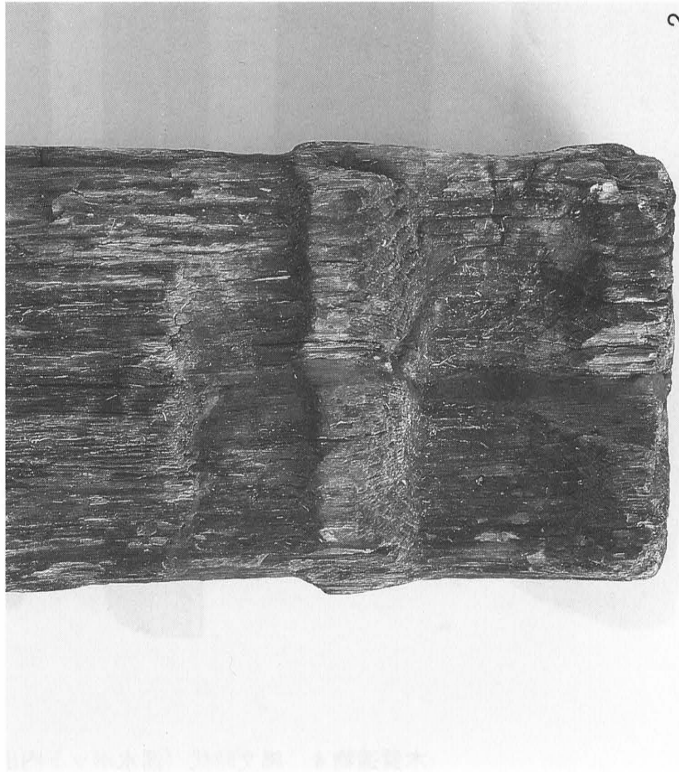
4

木質遺物 1 1：後期旧石器時代、2～4：縄文時代（結い櫛）





1



2



3

木質遺物 3 縄文時代 湧水ポット内出土  
1：全体、2：端部上面、3：端部側面



木質遺物 4 縄文時代（湧水ポット内出土）





木質遺物 5 縄文時代（杭列）

図版  
六



木質遺物 6 縄文時代（杭列）



## 第6章 自然科学的分析

### 第1節 岐阜県吉城郡宮川村宮ノ前遺跡から採取された 植物質試料の加速器<sup>14</sup>C年代

中村 俊夫（名古屋大学年代測定資料研究センター）

#### 1. はじめに

北を富山県に隣接する岐阜県吉城郡宮川村では、村の中央を北に流れる宮川（神通川水系）に沿って多くの考古遺跡が点在している。宮川の上流、すなわち宮川村の南部の西忍地区では、国道360号線改修工事に伴って、宮ノ前遺跡の緊急発掘調査が1989年度から1995年度にかけて実施された。報告者は、1994年の発掘調査に参加して（1994年11月9日）、遺跡の遺構・遺物試料を採取し、名古屋大学に設置されているタンデトロン加速器質量分析計（Tandetron accelerator mass spectrometer、タンデトロンAMS；中村、1995）を用いて放射性炭素（<sup>14</sup>C）年代測定を実施した。その結果をここに報告する。

#### 2. 試料

<sup>14</sup>C年代測定のために採取した試料を第1表に示す。報告者が同遺跡を訪問した際、発掘され地表面にむき出しになっていた樹木化石群やクルミの集合（食糧として貯蔵されていたと思われる）および炭化木片を採取した。さらに既に採取してあったトウヒの毬果を入手した。これらの試料を名古屋大学年代測定資料研究センターへ持ち帰り、<sup>14</sup>C年代測定を実施した。

第1表 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡から採取された考古遺物の<sup>14</sup>C年代測定結果表

試料番号	試料採取地点	試料物質	<sup>14</sup> C年代 (yr BP)	較正された暦年代 (AD, BC, probability)	実験室番号 (NUTA-)
MIYA-1	杭列の割材	樹木幹片	4,390±80	Cal BC 3101-2905 (95%)	3699
MIYA-2	杭列の割材	樹木幹片	4,590±90	Cal BC 3500-3451 (40%) 3445-3427 (12%) 3427-3380 (22%) 3294-3276 (10%) 3268-3239 (15%)	3700
MIYA-3	杭列の割材	樹木幹片	4,200±90	Cal BC 2889-2851 (17%) 2824-2656 (76%)	3668
MIYA-4	湧水ポット	樹木幹片	4,270±100	Cal BC 3029-2973 (15%) 2933-2856 (32%)	3662

				2819-2664 (51%)	
MIYA-5	湧水ポット	加工材 (200× 150×1200mm <sup>3</sup> )	4,010±120	Cal BC 2630-2391 (71%) 2388-2335 (11%)	3663
MIYA-6	杭列より数メ ートル南側	オニグルミ の核	8,110±110	Cal BC 7268-6995 (86%)	3655
MIYA-7	オニグルミ群 の1m西側	木炭片	8,870±100	Cal BC 8025-7882 (68%) 7809-7723 (32%)	3648
MIYA-8	中央部の倒木 の多いところ	樹木幹片	8,470±120	Cal BC 7585-7411 (78%) 7368-7309 (15%)	3649
MIYA-9	中央部の倒木 の多いところ	樹木幹片、 クリ材	8,590±120	Cal BC 7867-7817 (14%) 7707-7490 (86%)	3650
MIYA-10	東部の断面の 第17層	樹木片	12,860±160	Cal BC 13547-12977 (100%)	3644
MIYA-11		トウヒの毬果	14,550±160	Cal BC 15672-15278 (100%)	3637

- 注1) 本報告の試料については、いずれも炭素安定同位体比  $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$  を測定していないため、 $^{14}\text{C}$  年代値の算出にあたって炭素同位体分別の補正は行っていない。
- 注2)  $^{14}\text{C}$  年代値の誤差はone sigmaを示す。
- 注3)  $^{14}\text{C}$  年代から暦年代への較正はCalibration 1993を用いて行った。較正された暦年代範囲で確率が10%以下のものは記載を省略した。

### 3. 実験

#### 3. 1 タンデトロンAMSを用いる $^{14}\text{C}$ 年代測定とその特徴

1947年から1950年にかけて、 $^{14}\text{C}$ 年代測定法の基礎がLibby (1950) により確立された。すなわち、大気中の二酸化炭素と炭素交換を行っている生物などの自然界の炭素含有物質には地球大気中で宇宙線の作用により生成された $^{14}\text{C}$ が極微量ふくまれていること、それらの炭素含有物質の $^{14}\text{C}$ 濃度は地域差がほとんどなく、ほぼ一定の濃度であること、さらに、ある物質に固定された炭素（植物や動物の死骸に含まれる炭素などで、もはや大気中の二酸化炭素と炭素交換をしない閉鎖系にある炭素）を用いて、その炭素に含まれる $^{14}\text{C}$ が放射壊変により減少した割合から年代測定が可能であることが実証された。約50年後の現在では、 $^{14}\text{C}$ 年代測定法の技術は飛躍的に進歩した。今では、数百年前から数万年前までの範囲の年代測定において、 $^{14}\text{C}$ 年代測定法は最も信頼できる年代測定法の一つとされている。

$^{14}\text{C}$ の測定法は、年代測定法が開発された当初用いられたスクリーンウォール・カウンターから、ガス比例計数装置、液体シンチレーション計数装置へと改良されてきた。これらは、いずれ

も<sup>14</sup>Cの放射壊変により放出される放射線（ベータ線）を計数する、いわゆる、放射能測定法である。これに対し、1970年代の後半には、加速器技術を取り入れた新しい<sup>14</sup>C測定法（加速器法）が開発された。この方法は、<sup>14</sup>Cの放射能の測定（ベータ線計測）を行う従来の方法に比較して、<sup>14</sup>C年代測定の応用上の限界を大幅に拡大した。

従来のベータ線計測法では、環境中の炭素試料の<sup>14</sup>C濃度は放射能測定法により測定されている。すなわち、<sup>14</sup>Cが放射壊変して窒素に変わる際に放出されるベータ線を、ガス比例計数装置や液体シンチレーション計数装置などの低バックグラウンド放射能測定装置を用いて計数することにより、<sup>14</sup>C濃度が定量される。しかし、<sup>14</sup>Cの半減期は5730年と比較的長いため、放射能測定法は<sup>14</sup>Cの定量には効率があまり良くない。すなわち、年代測定用の標準体（西暦1950年に相当する高い<sup>14</sup>C濃度をもつ）の炭素1 mgには $6 \times 10^7$ 個もの<sup>14</sup>C原子が含まれているが、<sup>14</sup>Cの半減期は5730年と長いため、1時間当たりに放射壊変する<sup>14</sup>Cの個数は計算上わずかに0.8個にすぎない。このため放射能測定法では、炭素試料の量を約千倍の数グラムに増やして、壊変する<sup>14</sup>Cの個数を、すなわち計数されるベータ線の数を1時間あたり1000個程度にする。そうすると、約10時間の測定で<sup>14</sup>Cが1万個程度計数され、統計誤差は±1%（年代値の誤差にして±80年）が達成される。

これに対して加速器法では、炭素1 mg中に $6 \times 10^7$ 個もある<sup>14</sup>C原子について、それらの壊変を待つのではなく、<sup>14</sup>C原子そのものを直接計数する（中村・中井、1988；中村、1995）。すなわち加速器法とは、加速器科学の技術を駆使して、まずイオン源を用いて試料の炭素を原子ごとにバラバラに分離して負イオンに変え、それをタンデム加速器を用いて高エネルギーに加速し、静電場・磁場を用いてエネルギー・質量の分析を行って目的のイオンを選別したあと、最終的には重イオン粒子検出器を用いて<sup>14</sup>Cイオンを識別しその個数を計数する方法である。通常は、現代の炭素についての<sup>14</sup>Cの計数率は1秒間に4～6個程度である。従って、1時間の測定で約2万個の<sup>14</sup>Cが計数される。炭素の安定同位体である<sup>13</sup>Cのイオンの量は電流強度として定量される。こうして加速器法では、最終的に試料炭素の炭素同位体比、すなわち<sup>14</sup>C/<sup>13</sup>C比が測定される。

本研究において<sup>14</sup>C年代測定に用いた名古屋大学タンデトロンAMSは、次のような特徴を持つ。

まず第一に、炭素試料の量が従来の千分の一以下ですむ。従来の放射能測定法では1～5 gの炭素が必要とされるが、タンデトロンAMSでは0.2～1.5mgの炭素で測定できる（ルーティンの測定では約1.5mg用いている）。例えば、コメ粒1個程度の炭素量で年代測定が可能である。従って、採取できる炭素の量が少なくて従来の方法では測定できない試料や、貴重な文化財などのようにほとんど破壊することが許されないような試料についても、その破片の一部を使用することが許されればこの分析計を用いると年代測定を実施できる可能性がでてくる。

第二には、測定可能な年代の上限があげられる。従来の方法では3万～4万年前までが限界となっているが、タンデトロンAMSでは6万年前に遡って年代測定ができる。

第三に、従来の方法では一試料を約20時間かけて測定している。一方、タンデトロンAMSで

は、一試料の測定時間は2～4時間であり、一日あたり5～6個の試料の測定が可能である。

タンデトロンAMSによる年代測定の精度は、現在のところ、従来の方法と同程度となっている。すなわち、年代値の誤差は、数千年前までの比較的新しい試料で $\pm 60 \sim \pm 80$ 年 (one sigma)、それより古い試料では $\pm 150 \sim \pm 200$ 年である。

タンデトロンAMSによる $^{14}\text{C}$ 年代測定の特徴を、 $\text{CO}_2$ ガス比例計数管を用いた放射能測定法と比較して第2表に示す。

第2表 タンデトロンAMSと放射能測定による $^{14}\text{C}$ 測定の比較

項目	タンデトロンAMS (名古屋大学)	ガス比例計数管 (日本アイソトープ協会)
必要な炭素量	0.2～1.5mg	2.2g
測定可能な 古い年代の限界	約60,000yr BP	35,000～40,000yr BP
測定精度 (1標準偏差： $\pm 1\sigma$ )	$\pm 0.7 \sim \pm 1.0\%$ ( $\pm 60 \sim \pm 80$ yr)	$\pm 1.0\%$ ( $\pm 80$ yr)
計測時間	2～4時間 (標準体と試料)	16～20時間 (試料のみ)

### 3. 2 試料調製

遺跡において採取した試料のうち、樹木材化石は、まずカッターナイフを用いて、土壌などにより汚れている試料表面部分を薄く削り取った。次に、厚さ0.1ミリ程度の削り状の薄片を新鮮な部分から削り取り測定試料とした。炭化した小木片は、周囲の土壌などを除去して用いた。オニグルミの核は、アルミ箔に包んでハンマーでたたいて1ミリ角程度に細かくつぶして10粒程度を次の処理に用いた。また、トウヒの毬果は羽状の種子片を3個分取した。樹木の削り状の薄片、木炭、オニグルミおよびトウヒの毬果の細片を蒸留水で超音波洗浄し、汚れを取り除いた。次に、試料に付着している可能性のある不純物を化学処理により取り除いた。まず、1.2規定塩酸で90℃で2時間の処理を2回行い炭酸塩等を溶解除去した。次に、1.2規定水酸化ナトリウム水溶液を用いて90℃で2時間処理してフミン酸などを溶解除去した。このアルカリ処理は、水溶液がほとんど着色しなくなるまで数回繰り返した。さらに、1.2規定塩酸で90℃で2時間の処理を2回行い、蒸留水でよく洗浄して塩酸分を完全に除去したあと乾燥した。これを、パイレックス管に入れ、真空装置を用いて排気して封管し、500℃で2時間加熱して試料を炭化した。炭化試料をよく乾燥し、その約5mgを銀粉末45mgと混合し、混合物をアルミニウム製の試料台に圧入して、

$^{14}\text{C}$ 年代測定に用いた。

### 3. 3 $^{14}\text{C}$ 年代測定の実際

上述のようにして調製した固形の炭素試料について、タンデトロンAMSを用いて $^{14}\text{C}$ 年代測定を行った。タンデトロンAMSでは、 $^{14}\text{C}$ と $^{13}\text{C}$ との存在比 ( $^{14}\text{C}/^{13}\text{C}$ 比 (=R)) が未知試料 ( $R_{\text{sample}}$ ) と $^{14}\text{C}$ 濃度が既知の標準体 ( $R_{\text{AD1950}}$ ) とについて交互に繰り返して測定され、 $R_{\text{sample}}/R_{\text{AD1950}}$ 比が得られる。この比から試料の $^{14}\text{C}$ 年代値が算出される。 $^{14}\text{C}$ 濃度の標準体としては、国際的な標準体であるNBS-SRM-4990シュウ酸を用いた。また、 $^{14}\text{C}$ の半減期としては、国際的な慣例に従って、Libbyの半減期5,568年を用いた。 $^{14}\text{C}$ 年代値は、西暦1950年を遡った年数として与えられる。

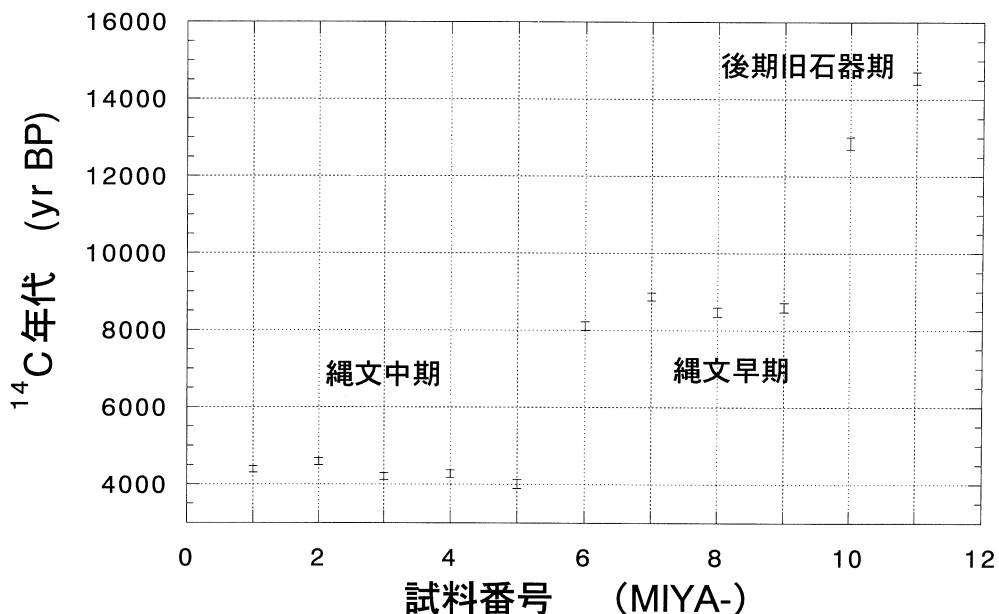
### 4. 結果及び考察

得られた $^{14}\text{C}$ 年代を第1表に示す。年代値の誤差は、1標準偏差 (one sigma) で示してある。これは、同様な条件で年代測定を100回繰り返したと想定したとき、年代値が誤差範囲内に入る割合は68回と予想されることを意味する。第1表の5列目には、樹木年輪年代と $^{14}\text{C}$ 年代との関係について調査された既存のデータ (Stuiver et al, 1993) を用いて $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に較正した結果を示す。 $^{14}\text{C}$ 年代値のone sigmaの誤差範囲に相当する暦年代の範囲が確率と共に示してある (確率が10%以下になる場合には記載を省略した)。

宮ノ前遺跡の基本層序は、最表層の耕作攪乱土から最下層の河川堆積物まで、総数で19の層からなるとされる (宮川村埋蔵文化財調査室、1995)。このうち、今回年代測定のための試料を採取したもので層序がはっきりしているのは、試料番号MIYA-4,-5の樹木や加工木材が採取された第7層 (発掘された土器片から縄文時代中期とされる)、試料番号MIYA-10,-11の樹木片およびトウヒの毬果が採取された第17層 (後期旧石器時代の細石刃を伴う層) である。その他、杭列と思われる、割材がほぼ一定の間隔で地中から垂直に立った遺構から採取されたMIYA-1,-2,-3の木材化石、縄文時代早期の植物遺存体から採取した試料番号MIYA-6,-7,-8,-9のオニグルミ、木炭、樹木材片などである。第1表に示されるように、試料の $^{14}\text{C}$ 年代値は、考古学的な予想とよく一致している。

試料番号MIYA-10,-11が採取された第17層からは、「加工痕を有する木片」の出土が報告されている。この加工が施された年代はおおよそ13,000~15,000yr BPであることが、今回の年代測定で明らかとなった。この年代は、最終氷期最寒期が終わり、完新世に向けて気候が次第に温暖化する時期にあたる。

宮ノ前遺跡からは、縄文時代草創期とされる隆起線文土器、縄文時代草創期末とされる表裏縄文土器、縄文時代早期とされる沢式土器 (押型文土器)、縄文時代後期とされる加曽利B式・曾谷式および井口・八日市新保式を含む地層、後期・晩期とされる井口・八日市新保式・御経塚式、縄文晩期の大洞C2式、6世紀後半から9世紀にかけての須恵器、中・近世時代の陶器・磁器な



第1図 宮ノ前遺跡の遺構・遺物試料の<sup>14</sup>C年代  
縦軸の幅は測定誤差（1標準偏差）の範囲を示す

どが出土している。これらの土器試料と<sup>14</sup>C年代測定結果は、一部不明な点があるものの、ほぼ一致している。出土した土器による編年や火山灰編年と<sup>14</sup>C年代測定による編年との比較は、まだ十分には行なわれていない。それらの考察は次の機会に報告したい。

## 5. 謝辞

考古遺跡から発掘される土器による編年と、材化石試料を用いる<sup>14</sup>C年代測定の比較、<sup>14</sup>C年代の信頼性の総合的な検討のために、本堆積物試料を提供いただいた林・小島氏を始めとする宮川村教育委員会の皆さん、また本遺跡調査への参加をご紹介いただいた愛知県立明和高等学校の森勇一博士、トウヒ毬果試料を提供して頂いた立山博物館の吉井亮一博士に感謝いたします。

## 参考文献

宮川村埋蔵文化財調査室（編）（1995）岐阜県吉城郡宮川村・国道360号線バイパス改修工事に伴う発掘調査概報。pp.37。

中村俊夫・中井信之（1988）放射性炭素年代測定の基礎－加速器質量分析法に重点をおいて－。地質学論集、29、83-106。

中村俊夫（1995）加速器質量分析（AMS）法による<sup>14</sup>C年代測定の高精度化および正確度向上の検討。第四紀研究、34、173-185。

Stuiver, M., Long, A., and Kra, R., (ed.) (1993) Calibration 1993. Radiocarbon, 35 (1), 244p.

## 第2節 岐阜県吉城郡宮川村宮ノ前遺跡の堆積物からわかる 埋積過程と古地理・古環境

鬼頭 剛（愛知県埋蔵文化財センター）

はじめに

近年、遺跡に関わる環境変化について様々な自然科学分野から注目が集まりつつある。特に、全国的な遺跡の発掘件数の増大により、考古学はもとより自然科学的なデータも膨大な量が蓄積されてきている。ところが、旧石器・縄文時代の遺跡の多くが、河川の運ぶ多量な土砂により地下深くに埋没しており、我々が直接目にする機会は少ない。宮ノ前遺跡では旧石器時代終末期、縄文時代草創期、縄文時代早期の遺物が大量にみつかり、情報量の少ない時期を埋める貴重な資料を提供してくれる。本稿では宮ノ前遺跡でみられる堆積物の観察・解析から、遺跡の埋積過程における古地理変遷とその原因について概要を報告する。

分析方法

遺跡を埋積する堆積物の粒度・堆積構造・地層の厚さ・色調等に基づき、発掘調査区北壁で東西方向9m、地表面から深さ1.6m（トレンチ部分は2.4m）のセクション図を作成した（第1図）。また、礫が優勢な堆積物（セクション図の5層）において、50cm×50cmの方形枠中にかかる礫を奥行き50cmまでマトリックスごと採取した。礫は大きいものから順に100個を抽出し、Pettijohn（1975）に従い長軸（a軸）・中軸（b軸）・短軸（c軸）の長さを測定し、それぞれを長径・中径・短径とした。併せて肉眼による礫種の分類、円磨度、衝撃痕などの表面構造の観察を行った。

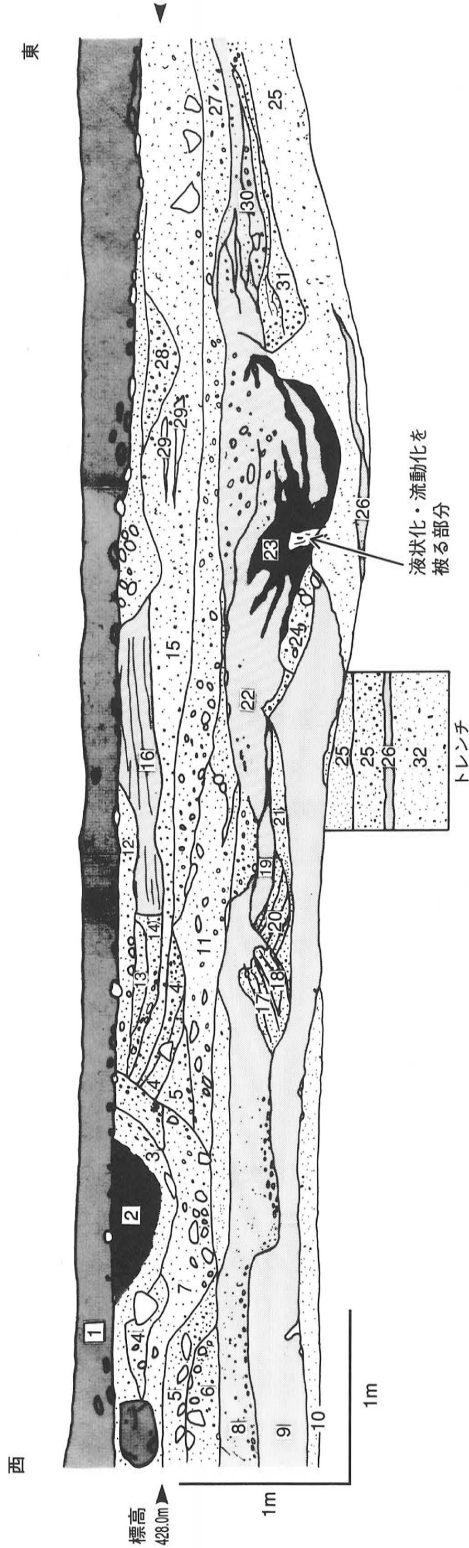
礫の分析結果

礫径分布

理想的な礫の体積を楕円体と仮定し、長径・中径・短径の積の3乗根を礫の径とした。径をファイ・スケール（ $\phi$ ）に換算し、全体の個数に占める割合（個数%）で表わした。結果を第2図に示す。なお、 $-4\phi$ （16mm）以下の礫の計測は事実上困難である。そのため $-4\phi$ よりも小さい粒子はグラフ上に現われないことに注意いただきたい。全体に $-4\sim-6\phi$ （16~64mm）の中礫サイズが88%を占め、 $-6\sim-7\phi$ （64~128mm）の大礫サイズは10数%にすぎない。この結果は、調査区において断面を肉眼観察した結果とほぼ同一である。

形状の分類

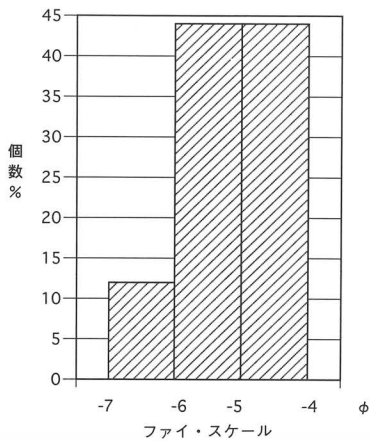
長径・中径・短径をもとに長径と中径の比（ $b/a$ ）、中径と短径の比（ $c/b$ ）を求め、Zingg（1935）の分類図上にプロットしたのが第3図である。長径が長く、中径および短径がほぼ等しい長さを示す棒状礫が最も多い。また、各点は全体にグラフ右上の領域に集中することから、より球



- |                        |                      |                         |
|------------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. 黒色中礫混じり腐植質土層        | 12. 小礫層 (基質は中粒砂)     | 23. 黒色腐植質粘土層 (植物片を多く含む) |
| 2. 淡黒褐色腐植質土層 (中礫を含む)   | 13. 粗粒砂層             | 24. 細礫～小礫層 (液状化を被る)     |
| 3. 灰褐色中粒砂層 (細礫を含む)     | 14. 小礫層 (基質支持)       | 25. シルト質極細粒砂層           |
| 4. 灰色シルト質極細粒砂層 (中礫を含む) | 15. 小礫層 (礫支持)        | 26. シルト層                |
| 5. 大礫層                 | 16. シルト層 (塊状を呈する)    | 27. 大礫層 (礫支持)           |
| 6. 大礫層                 | 17. 黒灰色腐植質粘土層        | 28. 小礫層 (礫支持)           |
| 7. 細礫層                 | 18. 細礫層              | 29. 砂質シルト層              |
| 8. 極細粒砂混じりシルト質粘土層      | 19. シルト質粘土層 (塊状を呈する) | 30. 粘土質シルト層             |
| 9. シルト質粘土層             | 20. 極細粒砂層            | 31. 細礫～小礫層 (基質支持)       |
| 10. 中粒砂層               | 21. 極細粒砂層 (液状化を被る)   | 32. シルト質極細粒砂層           |
| 11. 小礫層 (基質は中粒砂)       | 22. 腐植質砂質シルト層        |                         |

第1図 宮ノ前遺跡調査区北壁セクション図





第2図 宮ノ前遺跡(5層)の礫径分布

形に近い礫であることがわかる。

#### 円磨度・表面構造

Pettijohn (1975) の印象図をもとに、肉眼で見比べながら4つのクラスに分類した。結果を第4図に示す。角礫が多く、亜角礫も合わせると全体の64%が角礫サイズに分類される。また、衝撃痕のある礫の割合を第5図に示す。運搬・堆積過程の粒子どうしの衝突により礫の一部が欠けてしまうことがあるが、得られた礫の75%に衝撃痕がみられることがわかる。

#### 礫種分類

構成礫種を調べるために肉眼観察を行い、個数頻度百分率で表わしたのが第6図である。肉眼では白色～黄褐色を呈し石英粒のめだつ溶結凝灰岩が52%を占め、酸性火山岩類の全体に占める割合が高い。

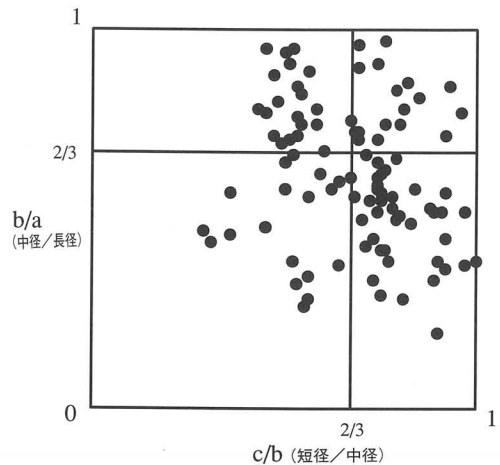
#### 堆積相

セクション図を作成し、それらの記載をもとに層相分類をした。その結果、32の層相を識別することができた。そして、これらの層相の組み合わせから5つの堆積相を設定した。

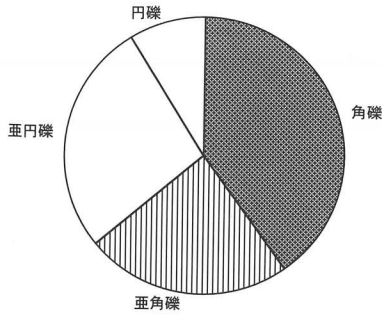
堆積相Aはシルト質極細粒砂層で、層厚10～20cmのシルト層を挟む。全体に塊状・均質で、堆積構造は不明瞭である。層厚は20～40cmである。

堆積相Bは層厚20～60cmのシルト質粘土層ないし粘土質シルト層である。下位の砂層や礫層とは明瞭な境界面をもって接する。塊状・均質で礫等の粗粒な堆積物を含まない部分と、径2～3mm程度の細礫を包含する部分が確認される。

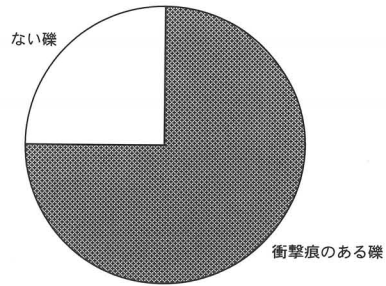
堆積相Cは黒褐色を呈する腐植質粘土層で、葉や茎など植物に由来する細片を多く含む。地震動等の繰り返し応力を受けたと思われる変形構造が著しく、砂質シルト層(22層)の境界面では微小な凹凸がみられる。層厚はもっとも厚い部分で40cmであるが、変形を受けているためもとの層厚は不明である。



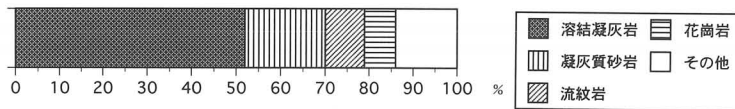
第3図 宮ノ前遺跡(5層)の礫の形状分類



第4図 宮ノ前遺跡（5層）の礫の円磨度



第5図 宮ノ前遺跡（5層）、礫の衝撃痕跡の有無



第6図 宮ノ前遺跡（5層）における個数百分率で表わした礫種組成

堆積相Dは大礫～細礫層からなり、マトリックスは粗粒砂からなる。層厚は10～60cmである。淘汰は悪く、堆積構造や級化構造は全体に不明瞭である。礫層の上面は頻繁に削剥を受けている。部分的に礫のファブリック（空間的配置）が認められるところがあり、インプリケーションから求めた古流向はおおよそ西から東である。また、一部にチャンネル構造をみることができ、チャンネルの側壁から求めたチャンネルの伸びは北-南で、インプリケーションから求めた古流向とは直交する。

堆積相Eは黒褐色を呈する腐植質粘土層で構成され、単層内部に径10数cmの大礫を挟むことで、堆積相Cの粘土層と区別される。層厚は30cm程度である。礫は下位の堆積相Dに由来するもので構成されており、単層の下底面に集中する。本堆積相の上面は現在の水田として利用されている。

### 堆積相の示す堆積環境

発掘調査地点のシーケンスでは、下位から堆積相A、堆積相B、堆積相C、堆積相D、堆積相Eの順序に重なる。これらの堆積相の重なり方や推移関係などを考慮すると、調査地の堆積環境は扇状地先端部における堆積システムにより説明することができる。

堆積相A・B・Cは扇状地先端部の低エネルギー環境で堆積した細粒堆積物である。堆積相Bでみられるシルト質粘土層は、扇状地上面を流下する河川からの洪水流や伏流水の浮遊物質に由来する。また、水生植物等の繁茂する湧水池において植物遺体が集積し、堆積相Cの腐植質粘土層を堆積させたと思われる。礫層が挟まれる部分もあり、粗粒堆積物が運搬される時期を経験したことがわかる。本堆積相中からは石器が検出される。

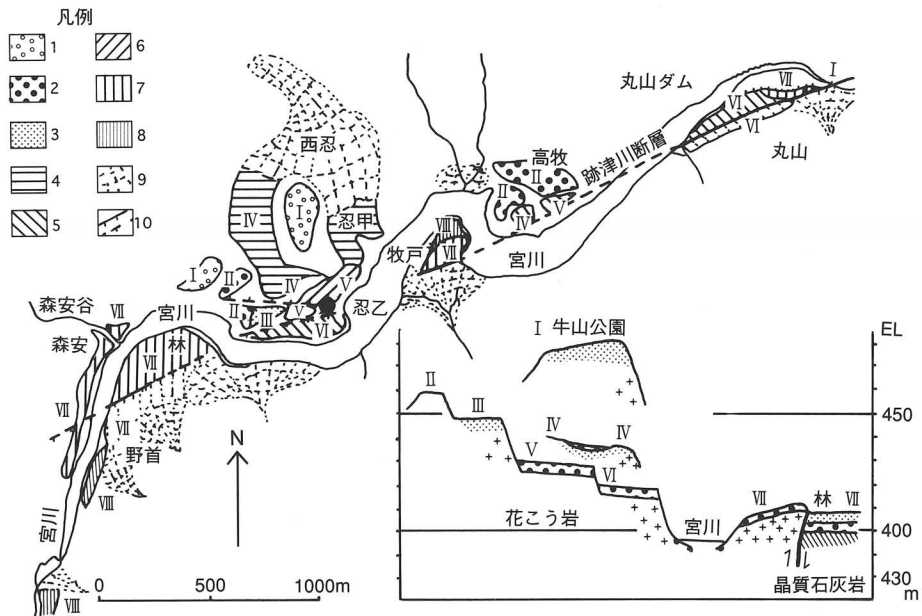
堆積相Dは大礫～細礫層で構成されることから、下位の堆積相A・B・Cに比べ、より高エネルギー環境下で堆積したことがわかる。下位層を削り込み、多くの角・亜角礫を含むこと（第4図）や衝撃痕をもつ礫が多い（第5図）特徴は、土砂と水とが渾然一体となって流下するマス・ム

ーヴメント (mass movement) の形態であり、本堆積相は土石流性堆積物であることを示している。しかし、礫そのものに着目すると、 $-4\sim-6\phi$  の中礫サイズを主体とし、比較的サイズが揃っていること (第2図) や球形に近い領域に集中すること (第3図) から、上流側でいったん堆積を完了させた土石流性堆積物が、土砂流となり二次的に調査地域まで運搬された可能性も考えられる。また、礫のファブリックやチャンネル構造が部分的に確認されることは、一時的に網状流が発達したことを示唆する。本堆積相からは石器が見つかるものの、人の生活に適した場所であったとは言い難い。石器は、おそらく上流からの流れ込み等によるものと考えられる。

堆積相Eは腐植質粘土層からなるが、沖積低地でみられる細粒で均質な塊状粘土ではなく、礫層のマトリックス中に砂を混じえた腐植層が入り込む形態をなす。堆積構造は全く認められない。河川の本流から隔たった微高地上の、耕作などの人為的攪乱を受けた堆積物である。これは現在も水田として利用されてきている事実からも示唆される。

### 堆積環境の変遷

調査地の示す堆積環境は、扇状地先端部に発達する湿地部 (堆積相A・B・C) →扇状地先端部 (堆積相D) →現在の微高地 (堆積相E) へと移り変わり、いわゆる扇状地先端部の前進システムによって形成された。扇状地の先端部では地下水位が高く湧き水が得やすいことから、例え



第7図 宮川流域の段丘面と模式断面図 (岡田・熊木 (1983) をもとに作成)

段丘面分布図。1: I (牛山公園) 面、2: II (高牧) 面、3: III (稲葉遺跡) 面、4: IV (忍) 面、5: V (忍乙I) 面、6: VI (忍乙II) 面、7: VII (林) 面、8: VIII (野首) 面、9: 扇状地・岸錘面、10: 断層線・推定断層線。  
●: 宮ノ前遺跡、右下: 忍～林付近の段丘模式断面図。

ば、岐阜県内の庭田貝塚（縄文時代前期～中期）や羽沢貝塚（縄文時代中期～後期）などでは養老山地東麓に発達する扇状地の先端部に位置しており、古くから居住地として利用されてきたことがわかっている（例えば、岐阜県（1972）、森（1992）など）。石器等の遺物が堆積相A・B・Cより多くみつかるとも、湧水池を求めた当時の人たちの、生活の一端をあらわしているのだろう。

セクション図から確認される各地層の層理面は全体に東傾斜で、特に堆積相Dの礫層の層理面は顕著な東傾斜を示している。また、礫のファブリックも概ね西から東への古流向であった。この事実は、遺跡を埋積する堆積物が主に西側の後背地よりもたらされたことを示す。ところが、現在の宮川は調査地域において屈曲するため、北から南ないしは東から西へ流下しており、宮ノ前遺跡の堆積物が示す古流向とは異なっている。宮ノ前遺跡の位置は、跡津川断層の推定線上であると同時に広域的な隆起域であることが知られており、林～丸山までの宮川流域には8つの段丘面が存在する（岡田・熊木、1983）。このうち宮ノ前遺跡はV面にあたり、調査地の西側には東西方向の断層線が推定されている（第7図）。北落ちの東西断層線と南落ちの跡津川断層とに挟まれるⅡ面およびⅢ面といった段丘面は、宮ノ前遺跡付近を頂点とする地壘構造の上にある。宮ノ前遺跡の堆積相でみられる扇状地先端部の東方向への前進システムは、この地壘の隆起運動が活発化し崖錐礫としてより多くの岩屑が生産され、相対的に低い東側へ堆積域を拡大させたためと推定される。また、地壘の隆起運動は断層運動と密接な関係にある。堆積相A・B・Cでみられる液状化・流動化跡は、断層の活動による繰り返し応力を受けた結果と考えられる。

## 謝辞

本論をまとめるにあたり、元宮川村教育委員会の林 直樹氏、飛騨みやがわ考古民俗館の河野典夫氏、小島 功氏には調査において便宜を図っていただいた。愛知県立明和高等学校の森 勇一博士には粗稿を読んでいただいた。以上の方々に記して厚くお礼申し上げます。

## 文献

岐阜県，1972，岐阜県史，578p.

森 勇一，1992，朝日遺跡およびその周辺地域の地質と古環境，朝日遺跡（自然科学編），愛知県埋蔵文化財センター調査報告書，31，9-40.

岡田篤正・熊木洋太，1983，宮川の段丘と跡津川断層の変位，月刊地球，5，7，411-416.

Pettijohn, F. J., 1975, Sedimentary Rocks (3rd ed). Harper&Row, New York.

Zingg, Th., 1935, Beitrage zur Schotteranalyse, Min., Petrog., Mitt., Schweiz., 15, 39-140.

### 第3節 宮ノ前遺跡から産出した昆虫化石と古環境

森 勇一（愛知県立明和高等学校）

#### 1. はじめに

昆虫はすべての生物群のなかで最も種数が多く、水中（水生昆虫）、地表面上（地表性歩行虫）、植物上（樹上性昆虫）など、多様な生活空間に適応して生活している。食性も食植性から、食肉性・食糞性・食屍性など多岐にわたる。

昆虫の外骨格はキチン質で構成されており、死後土中に埋もれてからも腐ることなく保存される。また、昆虫は移動・跳躍に適した3対の脚と飛翔用の2対のはねを有し、環境変化に対する応答性がきわめて鋭敏な生物化石といえることができる。遺跡をめぐる古環境の復元にあたって、昆虫化石が重要であるのはこのような理由による。

小論では、岐阜県吉城郡宮川村に位置する宮ノ前遺跡の遺物包含層中より得られた昆虫化石の分析結果に、大型植物化石の産出状況、放射性炭素年代値などをふまえ、同遺跡周辺における古環境について述べる。なお、本分析の一部は、森ほか（1997）によりすでに公表されている。

#### 2. 分析試料

宮ノ前遺跡は、西側に険しい山岳地帯、東側に深く切り込んだ宮川が流れ、南北に延びる標高約430mの狭隘な地形面上に立地している。本遺跡は、後期旧石器時代（細石刃文化）・縄文時代早期・縄文時代中期・縄文時代後～晩期の4期にわたる複合遺跡であり、それぞれの時代に対応した土器・石器・木製品など、多くの考古遺物が発見されている（岐阜県・宮川村教育委員会、1995；林、1996）。文化層に関連した年代は、後期旧石器時代では $14,550 \pm 160$ yBP、 $12,860 \pm 160$ yBP、縄文時代早期では $8,870 \pm 100$ yBP、 $8,590 \pm 120$ yBP、 $8,470 \pm 120$ yBP、 $8,110 \pm 110$ yBP、縄文時代中期では $4,590 \pm 90$ yBP、 $4,390 \pm 80$ yBP、 $4,270 \pm 100$ yBP、 $4,200 \pm 90$ yBP、 $4,010 \pm 120$ yBPなどの放射性炭素年代値が得られており、人々の居住が遺跡の西縁を限る跡津川断層の活動周期と密接に関係している可能性が考えられる（森ほか、1997）。

昆虫分析試料は、後期旧石器時代（試料1）、縄文時代早期（試料2）、および縄文時代中期（試料3）の3層準より採取し、分析した。分析試料を採取した地層の層相は、試料1では植物片混じり腐植質シルト層と中～粗粒砂層の互層よりなり、このうち分析試料は腐植質シルト層中より採取した。試料2は、植物片・木炭・土器片などを含有する暗褐色粘土層、試料3は砂混じり腐植質シルト層であった。

昆虫化石の抽出は、主にブロック割り法によって実施されたものである。昆虫化石の同定は、筆者採集の現生標本と実体顕微鏡下で1点ずつ比較のうえ実施した。

第1表 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡から産出した昆虫化石 (森ほか, 1997)

		昆 虫 化 石 名	旧 石 器	縄文早期	縄文中期	計
水	食 肉 性	イトトンボ科 Agrionidae			A1	1
		ゲンゴロウ科 Dytiscidae	W1	P3 W1 A1	W2	8
		シャープゲンゴロウモドキ <i>Dytiscus sharpi</i> Wehncke		W2 P2		4
		ゲンゴロウ <i>Cybister japonicus</i> Sharp		W6 P1 H1		8
		ヒメゲンゴロウ亜科 Colymbetinae		T1		1
		マメゲンゴロウ属 <i>Agabus</i> sp.		W1 P2 T1		5
		クロズマゲンゴロウ <i>Agabus conspicuus</i> Sharp			P1	1
		サワダメゲンゴロウ <i>Platambus sawadai</i> Kamiya	W1 P1		W1	2
		モンキマメゲンゴロウ <i>Platambus pictipennis</i> (Sharp)			W1	1
		ミズスマシ <i>Gyrinus japonicus</i> Sharp		T1		1
コミズスマシ <i>Gyrinus curtus</i> Motschulsky		W1		1		
オナガミズスマシ <i>Orectochilus regimbarti</i> Sharp			W8	8		
生	食 植 性	ガムシ科 Hydrophilidae	W1	W1		2
		ガムシ <i>Hydrophilus acuminatus</i> Motschulsky		W1		1
		セマルガムシ <i>Coelostoma stultum</i> (Walker)		W2	W1	3
		ヒメセマルガムシ <i>Coelostoma orbiculare</i> (Fabricius)	W2 P1	W2	W1	6
		ネクイハムシ亜科 Donaciinae	W2	L1 W5		8
		フトネクイハムシ <i>Donacia clavaeui</i> Jacobson		W7		7
ミズクサハムシ属 <i>Plateumaris</i> sp.		W1		1		
キヌツヤミズクサハムシ <i>Plateumaris sericea</i> Linne		W3		3		
地	食 糞 食 屍 性	シデムシ科 Silphidae		S1		1
		クロシデムシ <i>Nicrophorus concolor</i> Kraatz		P1		1
		エンマムシ科 Histeridae		P1		1
		クロエンマムシ <i>Hister concolor</i> Lewis		P1		1
		エンマコブネ属 <i>Onthophagus</i> sp.		P1		1
ダイコクコガネ <i>Copris ochus</i> Motschulsky		W1		1		
表	食 肉 ・ 雑 食 性	オサムシ科 Carabidae		P1 T1 A2		4
		ゴミムシ科 Harpalidae	A7 W7 T1 P1 H4	P2 W4 H2 T2 A1	A6 P1 L1 W1	40
		ミズギワゴミムシ属 <i>Bembidion</i> sp.	W2			2
		ナガゴミムシ属 <i>Pterostichus</i> sp.	P2	P1		3
		クロオオナガゴミムシ <i>Pterostichus leplis</i> Bates?	P1			1
		ツヤヒラタゴミムシ属 <i>Synuchus</i> sp.	W9	W2	W1	12
		モリヒラタゴミムシ属 <i>Colpodes</i> sp.	W1			1
		オオヒラタトックリゴミムシ <i>Oodes virens</i> Wiedemann		P1		1
		ハンミョウ <i>Cicindela chinensis japonica</i> Thunberg		L1		1
		ハネカクシ科 Staphylinidae	W1 T1 A6 P1	A3 W2 P3	W2 P2 A1	22
キマワリ属 <i>Plesiophthalmus</i> sp.			A1	1		
キマワリ <i>Plesiophthalmus nigrocyaneus</i> Motschulsky			W1	1		
アラメヒゲアトゴミムシダマシ <i>Luprops cribrifrons</i> Marseul	P1			1		
陸 生 の 食 植 生 依 存 性 型 昆 虫	食 植 生 依 存 性 型 昆 虫	コガネムシ科 Scarabaeidae	L1	W7 T1 L3	W1	13
		スジコガネ亜科 Rutelinae		W7 L2	W1	10
		サクラコガネ属 <i>Anomala</i> sp.		W19 P4 L4 H1	W2 P1	31
		ドウガネブイブイ <i>Anomala cuprea</i> Hope		W4 A1	A1	6
		ヒメコガネ <i>Anomala rufocuprea</i> Motschulsky		W11 P6	W6 P1	24
		サクラコガネ <i>Anomala daimiana</i> Harold		W1		1
		ヒラタアオコガネ <i>Anomala Octiescostata</i> Burmeister		W1		1
		コガネムシ <i>Mimela splendens</i> Gyllenhal		W1		1
		マメコガネ <i>Popillia japonica</i> Newmann		L1		1
		ハナムグリ亜科 Cetoniinae		W3 S1	W1	5
		ハナムグリ <i>Eucetonia pilifera</i> (Motschulsky)			W3	3
		アオハナムグリ <i>Eucetonia roelofsi</i> (Harold)		W3 P1	W1	5
		コアオハナムグリ <i>Oxycetonia jucunda</i> (Faldermann)		W5 P1 S1	W11 P2	20
		シロテンハナムグリ <i>Protaetia orientalis</i> (G.et Perc.)		W1		1
		カナブン <i>Rhomborrhina japonica</i> Hope	W1			1
		アオカナブン <i>Rhomborrhina unicolor</i> Motschulsky		W3 H1	W1	5
		カミキリムシ科 Cerambycidae	P1			1
		クロカミキリ <i>Spondylis buprestoidea</i> Linne	H1			1
		クワガタムシ科 Lucanidae		A2		2
		アカアシクワガタ <i>Nipponodorcus rubrofemoratus</i> (Snellen)			W1	1
		チビクワガタ <i>Figulus binodulus</i> Waterhouse			W1	1
		コクワガタ <i>Macrodercas rectus</i> (Motschulsky)			P1	1
		コメツキムシ科 Elateridae	W3 P2	W11 P10 T4 A1	P1	32
		アカアシオクシコメツキ <i>Melanotus cete</i> Candeze		P2		2
		ハネナガクシコメツキ <i>Melanotus matsumurai</i> Schenkling			W1	1
		クロクシコメツキ <i>Melanotus senilis</i> Candeze		P1		1
		ハムシ科 Chrysomelidae	W7	W21 P1	W3 P2	34
アカガネサルハムシ <i>Acrosthinium gaschkevitchii</i> (Mots.)		W1		1		
キムネアオハムシ <i>Cneorane elegans</i> Baly	W1			1		
ハマキチョッキリ属 <i>Byctiscus</i> sp.		T1		1		
ゾウムシ科 Curculionidae	W9	W2 A1	W1	13		
オトシブミ科 Elateridae	P1			1		
サビキコリ <i>Agrypnus binodulus</i> (Motschulsky)		W1 P8		9		
ほ か の 他	そ の 他	テントウムシ科 Coccinellidae		W2		2
		不明甲虫 Coleoptera	O6	W7 H1 T1 O18	W1 A1 O1	36
		カメムシ科 Pentatomidae		P1	P3 S1	4
		ツノアオカメムシ <i>Pentatoma japonica</i> (Distant)			P8 S6	15
		クチアトカメムシ <i>Picromerus lewisi</i> Scott			P1	1
		アカスジキンカメムシ <i>Poecilocoris lewisi</i> (Distant)		S1	S1	2
		ツチカメムシ科 Cydnidae		A1		1
		アリ科 Formicidae	H2		H2 A1	5
		カワゲラ目 Plecoptera			O1	1
		膜翅目 Hymenoptera		A1		1
双翅目 Diptera	A2			2		
		合 計	91	275	103	469

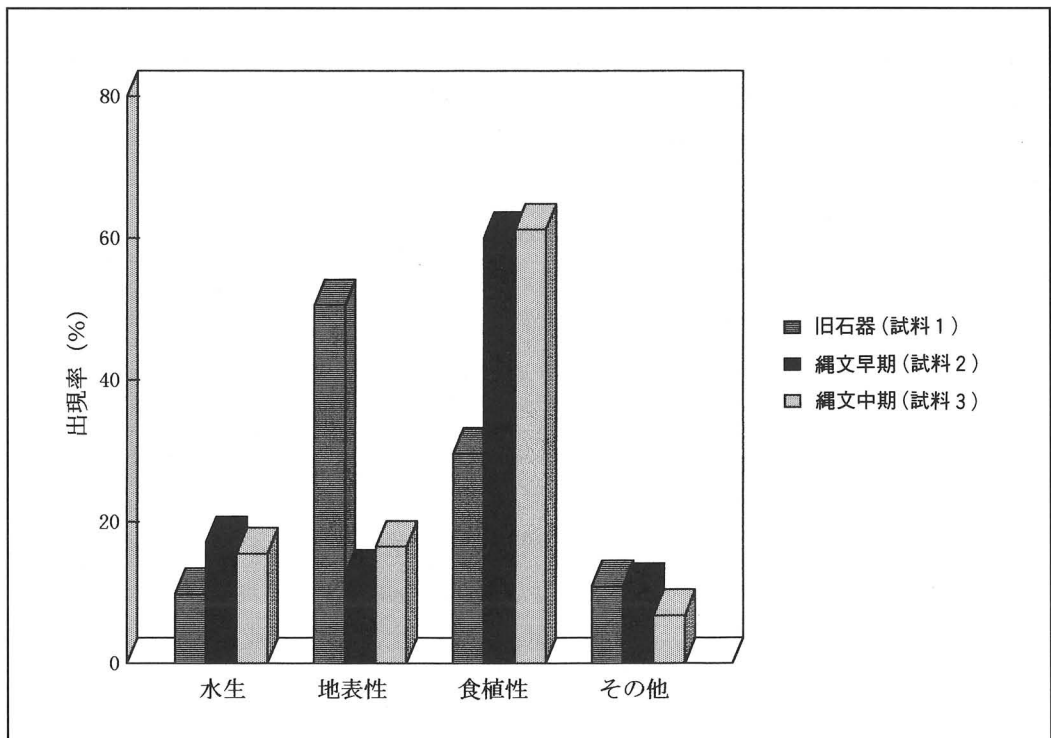
<部位凡例> W;Wing (上翅) H;Head (頭部) P;Pronotum (前胸背板) A;Abdomen (腹部および腹部腹板など)  
T;Thorax (胸部、前胸・中胸および後胸腹板) S;Scutellum (小楯板) L;Leg (腿脛節) O;Others (その他)

### 3. 昆虫化石群集

分析試料より産出した昆虫化石は、現時点での集計で計469点であった（第1表）。層準別では、試料1（後期旧石器時代）が91点、試料2（縄文時代早期）が275点、試料3（縄文時代）が103点であった。なお、この産出点数は、試料1については、宮ノ前遺跡産のほぼすべての昆虫化石を同定・集計したものであるが、試料2および試料3では、それぞれ約1/2程度を計数するにとどまった。産出昆虫のうち、主なものについては、図版1～3に実体顕微鏡写真を掲げた。

昆虫化石群集は、全体に食植性昆虫を中心に構成されるが、これに地表性歩行虫と水生昆虫を随伴する組成であるといえる。試料別では、試料1で地表性歩行虫の出現率が高く、試料2および3では食植性昆虫の出現率が高かった（第1図）。

種組成でみると、後期旧石器時代の分析試料（試料1）からは、水生昆虫では、サワダマメゲンゴロウ *Platambus sawadai*（2点）・ヒメセマルガムシ *Coelostoma orbiculare*（3点）・ネクイハムシ亜科 *Donaciinae*（2点）などが認められた。サワダマメゲンゴロウは、溪流や水深の浅い水たまりなどに生息し、ヒメセマルガムシ・ネクイハムシ亜科の両分類群は、ともにミズゴケやスゲ類などの繁茂する湿地に生息する昆虫として知られる。地表性歩行虫では、クロオオナガゴミムシ *Pterostichus leplis*（1点）・アラメヒゲブトゴミムシ *Luprops cribrifrons*（1点）・ミズギワゴミムシ属 *Bembidion* sp.（2点）・ツヤヒラ



第1図 宮ノ前遺跡における昆虫組成

タゴミムシ属 *Synuchus* sp. (9点) ・ハネカクシ科 Staphylinidae (9点) などを産出した。いずれも水辺に多いが、クロオオナガゴミムシは山地帯に生息し森林内の林床ではなく倒木の下や湿地周辺に見られる(中根、1975)。陸生の食植性昆虫では、ヤマハギに集まる(中根、1984) キムネアオハムシ *Cneorane elegans* (1点)、主に針葉樹を食するクロカミキリ *Spondylis buprestoides* (1点)、クヌギやコナラなどの樹液に集まるカナブン *Rhomborrhina japonica* (1点) などのほか、ハムシ科 Chrysomelidae (7点) ・ゾウムシ科 Curculionidae (9点) などが発見された。

縄文時代早期の地層(試料2)からは、水生昆虫ではゲンゴロウ *Cybister japonicus* (8点) ・シャープゲンゴロウモドキ *Dytiscus sharpi* (4点) ・マメゲンゴロウ属 *Agabus* sp. (4点) ・セマルガムシ *Coelostoma stultum* (2点) ・ミズスマシ *Gyrinus japonicus* (1点) ・コミズスマシ *G. curtus* (1点) などのほか、湿地性で開水面の少ないスゲ群落中に多い(野尻湖昆虫グループ、1985) フトネクイハムシ *Donacia clavareau* (7点)、同じく湿地性で高層湿原や池沼・ため池・小規模な湿地などに生息する(野尻湖昆虫グループ、1985) キヌツヤミズクサハムシ *Plateumaris sericea* (3点) などが発見された。

地表性歩行虫ではゴミムシ科 Harpalidae (11点) ・ハネカクシ科 (8点) のほか、自然度の高い林床内に生息し動物の屍体に集まるクロシテムシ *Nicrophorus concolor* (1点) ・クロエンナムシ *Hister concolor* (1点)、大型草食獣の糞を食べるダイコクコガネ *Copris ochus* (1点) などが見いだされた。食植性昆虫では、樹木や各種草本類の花に集まるコアオハナムグリ *Oxycetonia jucunda* (7点) やアオハナムグリ *Eucetonia roelofsi* (4点)、主に二次林の樹葉を食するドウガネブイブイ *Anomala cuprea* (5点) やヒメコガネ *A. rufocuprea* (17点)、クヌギやコナラなどの樹液に集まるアオカナブン *Rhomborrhina unicolor* (4点) などを多産した。またカメムシ目 Hemiptera では、樹上性で食肉性のツノアオカメムシ *Pentatoma japonica* (1点) ・アカスジキンカメムシ *Poecilocoris lewisi* (1点) などが確認された。なお、前者は山地のハルニレ・シラカンバ・ミズナラなどに多く(友国ほか、1993)、後者は山地の樹林に生活しコナラ・ヒサカキなどに認められる(友国ほか、1993)。このほか、食植性昆虫ではサクラコガネ *Anomala daimiana* (1点) ・ヒラタアオコガネ *A. octiecostata* (1点) ・シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis* (1点) ・アカシオオクシコメツキ *Melanotus cete* (2点) ・クロクシコメツキ *M. senilis* (1点) ・アカガネサルハムシ *Acrosthinium gaschkevitchii* (1点) などを産出した。

縄文時代中期の試料(試料3)からは、水生昆虫ではオナガミズスマシ *Orectochilus regimbarti* (8点) ・モンキマメゲンゴロウ *Platambus pictipennis* (1点) ・クロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus* (1点) など、いずれも流水性で溪流や清流に生息する食肉性の水生昆虫が出現しており、食植性の水生昆虫ではセマルガムシとヒメセマルガムシが各1点ずつ認められた。地表性歩行虫では、ハネカクシ科 (5点) とゴミムシ科 (9点) が比較的多く発見されたが、地表性歩行虫の出現率は全体に低率であった。本試料では、早期



と同様落葉広葉樹林に多い食植性の昆虫化石を多産した。主な食植性昆虫は、ヒメコガネ（7点）・コアオハナムグリ（13点）・サクラコガネ属 *Anomala* sp.（3点）・ハナムグリ *Eucetonia pilifera*（3点）・ツノアオカメムシ（14点）・クチプトカメムシ *Poecilocoris lewisii*（1点）、ハネナガクシコメツキ *Melanotus matsumurai*（1点）などであった。

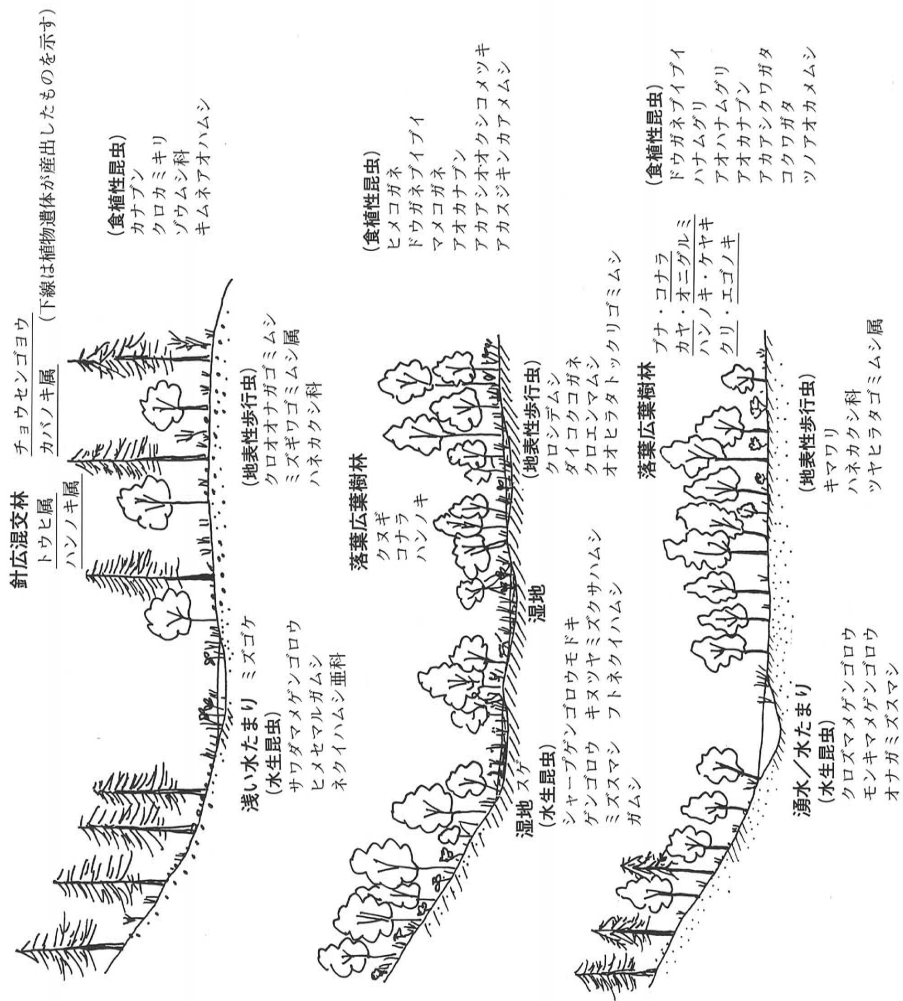
#### 4. 昆虫相から推定される古環境

##### A. 後期旧石器時代（約13,700年前）

後期旧石器時代の地層からは、ヒメセマルガムシ・ネクイハムシ亜科などの水生昆虫を産出し、ミズゴケ・スゲ類などの繁茂する水深の浅い水たまりが存在したことが考えられる（第2図）。サワダマメゲンゴロウの産出からは、この水たまりに溪流性の清澄な水流が注ぎ込んでいたと推定される。ミズギワゴミムシ属・ツヤヒラタゴミムシ属・モリヒラタゴミムシ属 *Colpodes* sp.・ハネカクシ科などの地表性歩行虫の出現からは、遺跡の周囲に湿地や湿潤地表面が存在したことが考えられる。クロオオナガゴミムシ・アラメヒゲプトゴミムシダマシなど多種の地表性歩行虫の産出により、後期旧石器時代の森林は林冠の開けたやや明るい林が展開していたと推定される。カラマツ・アカマツ（中根、1975）に多いクロカミキリの発見から、林内にこれらの針葉樹が存在したことは確実であろう。また、キムネアオハムシの産出からはヤマハギ（中根、1975；中根ほか、1984）、カナブンからはクヌギやコナラなどの落葉広葉樹が生育していたことが推定される。そして、これらの食植性昆虫の産出に加え、同層準より多産したトウヒ（*Picea jezoensis*）を含むトウヒ属の球果、チョウセンゴヨウの種子などの存在から、宮ノ前遺跡一帯には、この時期、第2図に示したような針広混交林が成立していたことが考えられる。

##### B. 縄文時代早期（約8,500年前）

縄文時代早期の地層から、水たまりや池沼に多いゲンゴロウ、山地や平地の池沼に生息するシャープゲンゴロウモドキ、湿地に多いマメゲンゴロウ属、湿地性でスゲ群落に生息するフトネクイハムシ・キヌツヤミズクサハムシなどが発見されたことから、宮ノ前遺跡周辺には、この時期、水深の浅い止水域や湿地が点在していたことが考えられる（第2図）。地表性歩行虫では湿地に多いハネカクシ科やオオヒラタトックリゴミムシ *Oodes virens*などのほか、自然度の高い林内の動物の屍体に集まるクロシデムシや大型草食獣の糞を食べるダイコクコガネなどが確認され、遺跡付近に大型草食獣の跳梁する森林が存在したことが考えられる。また、コアオハナムグリ・アオハナムグリの出現により、花の咲く植物が生えていたことが推定される。ドウガネブイブイやヒメコガネ・マメコガネ *Popillia japonica* などの人里昆虫（森、1995）の多産からは、宮ノ前遺跡周辺に人間の介在した二次林が存在したことが推定されるが、これは、縄文人の森林伐採の結果を示している可能性も考えられる。このほか、植生依存型昆虫では、アオカナブン *Rhomborrhina unicolor*な



旧石器時代  
14,550±120  
12,860±160

縄文時代早期  
8,870±100  
8,590±120  
8,470±120  
8,110±110

縄文時代中期  
4,590±90  
4,390±80  
4,270±100  
4,200±90  
4,010±120

第2図 宮ノ前遺跡における古環境の変遷

などを多産し、また樹上で食肉性のツノアオカメムシ *Pentatoma japonica*・アカスジキンカメムシ *Poecillocoris lewisi* なども確認された。アオカナブンからはクヌギやコナラなどが、また樹上性の2種のカメムシからは、ハルニレ・シラカンバ・ミズナラ・コナラ・ヒサカキなどが林内に生育していたことが考えられる。

これらを総合し、昆虫化石群集から宮ノ前遺跡の周辺環境を推定するとすれば、クヌギやコナラなどを中心とした落葉広葉樹林と大型草食獣が徘徊するような自然度の高い林床があり、所々にスゲ類などの繁茂する湿地が存在したことが考えられる。なお、同層準からは、オニグルミのほか、スゲ属を含むカヤツリグサ科の果実、マタタビ・ブドウ属などの種子、キハダ・ミズキの核・クサギの種子などの大型植物化石が検出されており、昆虫化石の示す森林相と符合している。

### C. 縄文時代中期（約4,300年前）

縄文時代中期では、早期同様落葉広葉樹林に多い昆虫化石を多産した。オナガミズスマシ・モンキマメゲンゴロウ・クロズマメゲンゴロウなどの水生昆虫からは、湧水や清流が流入するような水たまりが存在したことが考えられる（第2図）。そして、本水域にミズゴケなどの水生植物が繁茂していたことは、セマルガムシやヒメセマルガムシなどの食植性の水生昆虫の出現により指摘される。キマワリ属の産出から、落葉広葉樹などの繁茂する林床の存在が推定されるが、全体に地表性歩行虫の出現率は低率であり、林冠が閉ざされ鬱閉した林相であった可能性が考えられる。本試料でも、早期同様、落葉広葉樹に依存する食植性の昆虫化石を多産したが、この中にコクワガタ *Macrodorcas rectus*・アカアシクワガタ *Nipponodorcus rubrofemoratus*・チビクワガタ *Figulus binodulus*・アオカナブン・ハネナガクシコメツキなどの森林性昆虫が多種含有され、宮ノ前遺跡周辺に落葉広葉樹からなる自然林が存在したことが考えられる。これに混じって、ヒメコガネ・サクラコガネ属・コアオハナムグリなどの二次林に多い食葉性昆虫も産出しており、人間が介在した森林も遺跡付近に見られたことであろう。同じ地層から、オニグルミの核、コナラ亜属およびクワの堅果、カヤ、エゴノキ、トチノキの種子化石が多数発見され、大型植物遺体から推定される植物相は昆虫分析によって得られた結果ともよく一致している。

## 5. 考 察

後期旧石器時代の文化層より得られた2点の年代値は、最古ドリラス亜氷期（15,000～12,500年前）に相当し、晩氷期の始まりの時期にあたる。しかるに、種まで同定された昆虫化石では、必ずしも気候が寒冷であったことを示す昆虫化石は産出しなかった（第2図）。これに対して、大型植物遺体では、トウヒ属・チョウセンゴヨウなどの亜寒帯～冷温帯性の球果を多産し、寒冷気候の存在を示唆している。両分析の示す差異については、植物の気候変動に対する応答性に起因する可能性が高く、昆虫化石が花粉化石にくらべ気候の寒



冷化をより鋭敏に反映し花粉化石では検出しえない短期間の寒冷期に応答することや、両者の間にタイムラグを生じることはヨーロッパや北米における晩氷期～後氷期にかけての昆虫および花粉化石の分析結果により示されている (Walker *et al.* 1993; Guiot *et al.* 1993; Elias 1994)。両者のタイムラグは、Walker *et al.* (1993) によれば少なくとも数百年あるとされ、寒冷層準の認定や古気候の推定にあたっては注意が必要である。宮ノ前遺跡から得られた昆虫化石群集によれば、最古ドリラス亜氷期の中でも、気候はすでに寒冷期から温暖化傾向に向かいつつあった時期に相当しているのではないかと考えられる。

また、縄文時代早期～前期にかけての時期は、一般に「クライマチック・オブチマム」と呼ばれ、気候が温暖であったことが知られている。この間、海に面した海岸平野では、海水面が上昇し平野奥深くまで海岸線が入り込んでいた時期（縄文海進）にあたるが、種レベルまで同定された宮ノ前遺跡の縄文時代早期の昆虫化石には暖かい気候を示唆する昆虫が認められず、縄文時代中期の昆虫組成とも明瞭な差異は認められなかった（第2表）。このことは、海津（1994）が、約8,000年前の縄文時代早期頃、現在より気温が1～2℃低い状態だったと述べていることと符合する可能性も考えられる。

跡津川断層の活動周期と文化層との関連については、本遺跡より測定された年代値が、後期旧石器時代 (14,550±160yBP、12,860±160yBP)、縄文時代早期 (8,870 ± 100yBP、8,590 ± 120yBP、8,470 ± 120yBP、8,110 ± 110yBP)、縄文時代中期 (4,590 ± 90yBP、4,390 ± 80yBP、4,270 ± 100yBP、4,200 ± 90yBP、4,010 ± 120yBP) と、ほぼ4,000年間隔を示し、これらの周期性は宮ノ前遺跡の西縁に延びる跡津川断層の活動周期と関連していることが考えられる。跡津川断層は、1万数千年前以降、10回以上の断層活動を繰り返した可能性が指摘され（跡津川断層トレンチ発掘調査団、1989；岡田ほか、1992）、本断層の活動間隔は約1,100年程度とされる（岡田ほか、1992）。その結果、宮ノ前遺跡より求められた文化層に関連した年代値は、跡津川断層の活動史の中でも地形に大きな食い違いができ、遺跡周辺に窪地や湿地などを生じるような大変化が起こった活動と対応していることが考えられる。このことは、跡津川断層の最も新しい活動である1858（安政5）年の飛越地震の際、宮ノ前遺跡北方の谷がせき止められ、水害を生じたとされる（宮川村、1981）ことによっても示される。

## 6. まとめ

A. 宮ノ前遺跡の後期旧石器時代（約13,700年前）・縄文時代早期（約8,500年前）・縄文時代中期（約4,300年前）の3時期の地層中より、計469点の昆虫化石を抽出・同定し、遺跡周辺の古環境を推定した（第3表）。

B. 後期旧石器時代の地層中からは、サワダマメゲンゴロウ・ヒメセマルガムシ・ネクイハムシ亜科などの水生昆虫が発見され、水深の浅い水たまりが存在したことが考えられる。カナブンやクロカミキリなどの食植性昆虫の出現から、遺跡付近に針広混交林が成立

第3表 昆虫および植物化石からみたら宮ノ前遺跡における古環境

	植物化石	昆虫化石	古環境	古気候
<b>旧石器時代</b> 14,550±120 12,860±160  最古ドリアス亜氷期	トウヒ属 チョウセンゴヨウ 亜寒帯性針葉樹	サワダマメゲンゴロウ クロオオナガゴミムシ ヒメセマルガムシ カナブン  冷温帯～中間温帯	針広混交林 浅い水たまり 砂礫質の湿潤地表面	冷温帯～ 中間温帯  現在より少し寒い？
<b>縄文時代早期</b> 8,870±100 8,590±120 8,470±120 8,100±110 ヒブシサマーマル	オニグルミ コナラ亜属 サルナシ属  冷温帯	ゲンゴロウ シャープゲンゴロウモドキ フトネクイハムシ コアオハナムグリ ヒメコガネ・食糞性昆虫類  中間温帯	落葉広葉樹林 湿地 水ぎわの草地 大型草食獣の存在	中間温帯  現在程度か これより幾分温暖
<b>縄文時代中期</b> 4,590±90 4,390±80 4,270±100 4,200±90 4,010±120	オニグルミ カヤ・クリ エゴノキ コナラ  中間温帯	ドウガネブイブイ ハナムグリ アオカナブン アカアシクロガタ ツノアオカメムシ モンキマメゲンゴロウ  中間温帯	落葉広葉樹林 湧水/水たまり 森林内の林床	中間温帯  現在程度

していたことが推定され、また多種の地表性歩行虫の産出から、この時期の林は林冠が開けた明るい森林であったと考えられる。昆虫化石から推定される古気候は、冷温帯から中間温帯程度であり、現在より少し寒かったことが考えられる。

C. 縄文時代早期では、シャープゲンゴロウモドキ・ゲンゴロウ・キヌツヤミズクサハムシ・フトネクイハムシなどの湿地や池沼内に生息する水生昆虫が認められ、遺跡内にスゲ類の繁茂する止水域が点在していたと考えられる。アオカナブン・アカスジキンカメムシ・アカアシオオクシコメツキなどの森林性昆虫や、クロシデムシ・ダイコクコガネ・クロエンマムシなどの食糞ないし食屍性昆虫の出現から、自然度の高い落葉広葉樹林が認められ、林内には大型草食獣が生息していたことが考えられる。また、ヒメコガネ・ドウガネブイブイ・マメコガネなどの人里昆虫から、人間の介在した二次林が存在した可能性も指摘される。昆虫組成から復元される古気候は、現在程度かこれより幾分温暖?であり、中間温帯程度であったと考えられる。

D. 縄文時代中期では、クロズマメゲンゴロウ・モンキマメゲンゴロウ・オナガミズスマシなどの流水や清流を指標する水生昆虫が確認され、遺跡付近に湧水などがあり遺跡内には清流が注ぎ込んでいたことが考えられる。アオカナブン・アカアシクワガタ・コクワガタ・ツノアオカメムシ・クチブトカメムシなどの森林性昆虫の出現から、落葉広葉樹などの繁茂する林床の存在が推定されるが、地表性歩行虫の出現率が低率であることと合わせ、林冠が閉ざされ鬱閉した森林が展開していたと推定される。また、昆虫群集からは、中間温帯程度の現在とほとんど変わらない気候が復元される。

## 謝 辞

小文を草するにあたり、以下の皆さんにお世話になった。林 直樹（前宮川村教育委員会）・小島 功（宮川村教育委員会）・河野典夫（同）・立田佳美（同）・吉井亮一（立山博物館）・中村俊夫（名古屋大学年代測定資料研究センター）・鬼頭 剛（愛知県埋蔵文化財センター）。

## 文 献

跡津川断層トレンチ発掘調査団（1989）岐阜県宮川村野首における跡津川断層トレンチ発掘調査. 地学雑誌、98(4)、62-85.

Elias SA（1994）Quaternary insects and their environments. Smithsonian Institution Press, Washington and London, 284p.

岐阜県・宮川村教育委員会（1995）岐阜県吉城郡宮川村国道360号線バイパス改修工事に伴う発掘調査概報. 37p.

Guiot JL de Beaulieu, R Cheddadi, F David, P Poneil and M Reille（1993）The climate Western Europe during the last Glacial/Interglacial cycle derived from pollen and insect remains.

*Paleogeogr. Palaeoclimatol. Palaeoecol.*, 103:73-93.

- 林 直樹 (1996) 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡の調査－旧石器終末～縄文草創期・早期文化層の調査に関する略報－. 考古学ジャーナル、400、42-45.
- 宮川村誌編纂委員会 (1981) 宮川村誌・通史編 (下). 1196p.
- 森 勇一 (1995) 人里昆虫が語る人工の林－昆虫にみる三内丸山遺跡の謎－. 縄文文明の発見、P H P 研究所、154-181.
- 森 勇一・中村俊夫・吉井亮一 (1997) 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡から得られた昆虫および植物化石群集. 日本第四紀学会講演要旨集、27、130-131.
- 中根猛彦 (1975) 学研中高生図鑑、昆虫Ⅱ. 学習研究社、445p.
- 中根猛彦・大林一夫・野村 鎮・黒沢良彦 (1984) 原色昆虫大図鑑 (Ⅱ)・北隆館、443p.
- 野尻湖昆虫グループ (1985) アトラス・日本のネクイハムシ. 182p.
- 岡田篤正・松山紀香 (1992) 活断層のトレンチ調査－地震断層の活動史を探る－. 断層研究資料センター、28p.
- 友国雅章・安永友秀・高井幹夫・山下 泉・川村 満・川澤哲夫 (1993) 日本原色カメムシ図鑑. 全国農村教育協会、380p.
- 海津正倫 (1994) 沖積低地の古環境学. 古今書院、270p.
- Walker MJC, Coope GR and Lowe JJ (1993) The Devensian (Weichselian) late glacial palaeoenvironmental record from Gransmoor, East Yorkshire, England. *Quaternary Science Reviews*, 12: 659-680.

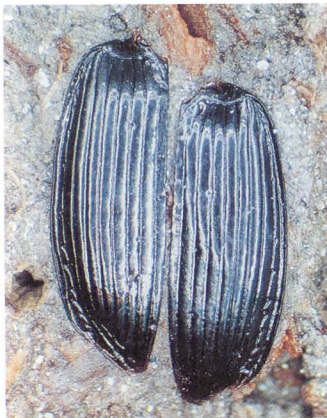




1. サワダマメゲンゴロウ *Platambus sawadai* Kamiya  
左右上翅および前胸背板(長さ7.0mm、後期旧石器時代)



2. クロオオナガゴミムシ *Pterostichus leplis* Bates?  
前胸背板(最大幅4.5mm、後期旧石器時代)



3. ツヤヒラタゴミムシ属 *Synuchus* sp.  
左右上翅(長さ7.2mm、後期旧石器時代)



4. モリヒラタゴミムシ属 *Colpodes* sp.  
左右上翅(長さ10.0mm、後期旧石器時代)



5. ゾウムシ科 Curculionidae  
左右上翅(長さ11.0mm、後期旧石器時代)



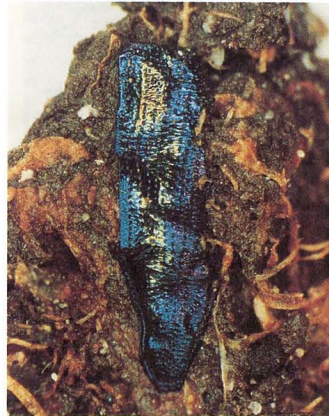
6. キムネアオハムシ *Cneorane elegans* Baly  
左上翅(長さ5.2mm、後期旧石器時代)

産出した昆虫化石 1

図版  
二



1. セマルガムシ *Coelostoma stultum* (Walker)  
右上翅 (長さ4.2mm、縄文時代早期)



2. フトネクイハムシ *Donacia clavaeai* Jacobson  
右上翅 (長さ6.8mm、縄文時代早期)



3. オオヒラタトックリゴミムシ *Oodes virens* Wiedemann  
前胸背板 (最大幅5.5mm、縄文時代早期)



4. アオハナムグリ *Eucetonia roelofsi* (Harold)  
右上翅 (長さ10.0mm、縄文時代早期)



5. コメツキムシ科 Elateridae  
左上翅 (長さ10.2mm、縄文時代早期)



6. アオスジキンカメムシ *Poecilocoris lewisi* (Distant)  
小楯板 (長さ14.0mm、縄文時代早期)

産出した昆虫化石 2





1. ヒメセマルガムシ *Coelostoma orbiculare* (Fabricius)  
右上翅 (長さ2.6mm、縄文時代中期)



2. オナガミズスマシ *Orectochilus regimbarti* Sharp  
右上翅 (長さ7.8mm、縄文時代中期)



3. チビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouse  
右上翅 (長さ10.0mm、縄文時代中期)



4. アカアシクワガタ *Nipponodorcus rubrofemoratus* (Snellen)  
右上翅 (長さ14.8mm、縄文時代中期)



5. ツノアオカメムシ *Pentatoma japonica* (Distant)  
前胸背板片 (長さ3.2mm、縄文時代中期)



6. ツノアオカメムシ *Pentatoma japonica* (Distant)  
小楯板 (長さ8.2mm、縄文時代中期)

産出した昆虫化石 3



## 第4節 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡出土木材の樹種

鈴木 三男（東北大学理学部附属植物園）

岐阜県北端部吉城郡宮川村西忍の宮川の右岸の河岸段丘上の宮ノ前遺跡から出土した木材の樹種を同定した。木材は後期旧石器の細石刃を伴う包含層、縄文時代早期の押型文土器を包含する層および縄文中期の湧水点のピットの3時期から出土している。後期旧石器のもの大部分は自然木であるが、人為による切断の痕跡が認められる加工木数点も含まれる。縄文早期のものは全て自然木であり、縄文中期のものは角材や杭材などの加工木とともに自然木もある。旧石器時代99点、縄文早期86点、縄文中期85点、合計270点について、剃刀刃を用いて徒手切片を作り、ガムクロラールで封入してプレパラートとし、それを光学顕微鏡で観察して樹種を同定した。その結果、同定不能な2点を除く268点から23の樹種が同定された。以下に同定された樹種の同定の根拠となった木材構造の特徴を略記し、それらの代表的な試料の顕微鏡写真を出土木材の顕微鏡写真1から8に示した。なお、同定に用いられたプレパラートはGIF-1～GIF-270の番号を付して東北大学理学部附属植物園に保管されている。

同定された樹種

### 1. カヤ *Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc. イチイ科

写真1a-c (GIF-157)

黄褐色をした出土材で、保存性が大変良く、硬く、年輪があまり目立たない。仮道管と放射柔細胞からなる針葉樹材で、晩材部は狭く、早材から晩材への移行は緩やかである。仮道管の内壁には2-3本がまとまった顕著ならせん肥厚がある。放射組織は単列で1-6細胞高で、柔組織のみからなり、細胞内に樹脂様物質の蓄積はあまり認められない。分野にはスギ型の小壁孔が2-4個ある。以上の形質からカヤの材と同定した。

カヤは東北南部以南の本州、四国、九州の暖地に広く分布し、幹直径1メートル、樹高30メートルに達する。材は木理が通直で、硬く強靱で、しかも加工が容易で保存性に優れているので建築材、器具材、彫刻材（仏像）などに良く使われる。

### 2. イヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight) K.Koch. イヌガヤ科

写真2a-c (GIF-86)

カヤ同様、遺跡出土材で保存性に特に優れている。年輪はほとんど目立たず、早材部仮道管は直径小さくて壁が厚く、晩材部は僅かしかなく、早材から晩材への移行は緩やかである。樹脂細胞が均一に散在するが黒褐色の樹脂様物質は認められ無いので目立たない。水平壁は数珠状に肥厚する特徴がある。仮道管の内壁には顕著ならせん肥厚があるがカヤのように2-3本づつまとまることはない。放射組織は単列で1-4細胞高と背は低く、柔細胞のみからなる。分野壁孔は大変

小さなトウヒ型で、1分野当たり1～数個である。以上の形質からイヌガヤの材と同定した。

イヌガヤは岩手県の海岸部以南西の暖地に生える常緑小高木で、幹直径30センチ、高さ10メートル位になる。本州の日本海側から北海道にかけての多雪地帯には、変種のハイイヌガヤ var. nana (Nakai) Rheder が分布している。これは幹が這うもので、高さ2メートル、幹太さ6センチメートル程度にしかならないが、丸木弓やたも網の枠などの用途には十分使える。

### 3. スギ *Cryptomeria japonica* (Linn.f.) D.Don. スギ科

写真3a-c (GIF-258)

年輪が一般に広い針葉樹材で、広い早材部と狭い晩材部からなり、年輪界は極めて明瞭である。早材部仮道管は断面が放射方向に長い長方形で直径が大きく薄壁で、晩材部仮道管は接線方向に扁平な長方形で壁が大変厚く、早材から晩材への移行はかなり急である。樹脂細胞は主に早晩材の境目付近に散在し、細胞内に黒褐色の樹脂様物質があり、水平壁は平滑である。放射組織は単列で柔細胞のみからなり、背はかなり高くなる。分野壁孔は大型で水平方向に長軸を持つ楕円形で、開孔部も同様で大きく、1分野当たり2個ある。以上の形質によりスギと同定した。

スギは青森県以南の本州、四国、九州の温帯に分布する常緑高木で、最も良く植林、植栽される。我が国で最も大きくなる樹木で、材は辺材は白く、心材は綺麗な赤みを帯び、木理通直、肌は粗く、軽軟強靱で割裂性、加工性がよい。心材には独特の香りがある。建築材、器具材、土木用材等ありとあらゆる用途がある。

### 4. ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* Sieb. et Zucc. ヒノキ科

写真4a-c (GIF-107)

晩材部が極端に狭い針葉樹材で、早材部仮道管は断面方形で薄壁、晩材部では接線方向に扁平、早材から晩材への移行は急である。樹脂細胞は早晩材の境界付近に散在する。樹脂細胞内には黒褐色の樹脂様物質が含まれ、水平壁は数珠状に肥厚する。放射組織は単列で背は低く、柔細胞のみからなる。分野壁孔は中型で輪郭丸く、開孔部は狭いトウヒ型～ヒノキ型で、1分野当たり通常2個ある。以上の形質からヒノキの材と同定した。

ヒノキは関東以西の本州、四国、九州の主に冷温帯に分布する常緑高木で、幹直径1メートル、樹高30メートル以上になる。材は辺材淡黄白色、心材淡黄褐色で香りがあり、木理通直で肌目細かく、木目美しい。緻密でほど良い硬さを持ち強靱で、加工性、保存性に優れ、日本産の針葉樹材ではコウヤマキに次いで良質の材であり、建築材、各種器具材、彫刻材を始め、ありとあらゆる用途がある。遺跡出土材では特に巨大建築の柱、建具材、曲げ物、木簡などで出土例が多い。

### 5. クロベ *Thuja standishii* (Gordon) Carr. ヒノキ科

写真5a-c (GIF-132)

ヒノキによく似た針葉樹だが、晩材部が幅広く、樹脂細胞は主に晩材部に散在するが分布量が

年輪によってかなり変動する。樹脂細胞は黒褐色の樹脂様物質を含み、水平壁は厚く、数珠状に肥厚する。放射組織は柔細胞からなり、背は高くない。分野壁孔は中ないし小型で水平方向にやや長い楕円形でスギ型、1分野に2-4個ある。以上の形質からクロベ（ネズコ）の材と同定した。

クロベ（別名ネズコ）は青森県以南の本州、四国の冷温帯に分布する常緑高木で、直径60センチ、樹高30メートル位になる。材は辺材黄色、心材淡黒褐色で、木理は通直、肌は粗、軽軟で割裂性、加工性は良い。建築材、器具材などに用いる。

## 6. モミ属 *Abies* マツ科

### 写真6a-c (GIF-188)

年輪が幅広い針葉樹で、時に接線方向に並んだ傷害樹脂道を持つ。早材部仮道管はあまり太くなく、早材から晩材への移行は大変緩やかで比較的広い晩材部を持つ。仮道管の側壁の有縁壁孔は一行。放射組織は単列で柔細胞のみからなる。放射柔細胞の垂直・水平壁は厚く、多数の単壁孔があり、いわゆるモミ型壁孔となる。分野壁孔は小さいスギ型で1分野当たり2-4個くらい。以上の形質からモミ属の材と同定した。

現在の日本の亜高山、亜寒帯に分布するモミ属には、北海道にトドマツが、本州北部から主に日本海側の中部地方にかけてアオモリトドマツが、本州中部の主に太平洋側と四国にシラベがある。また冷温帯にはウラジロモミが、暖温帯にはモミがある。これらはいずれも材構造が互によく似ており材構造のみでの種の識別は困難である。

## 7. マツ属五葉松類（単位管束亜属） *Pinus* s. gen. *Haploxyylon* マツ科

### 写真7a-c (GIF-201)

年輪幅が幅広い針葉樹材で、年輪のあちこちに大きめの垂直樹脂道が単独で散在している。早材仮道管はあまり太くなく、晩材部への移行は緩やかで、晩材部は大変狭い。仮道管の放射壁の有縁壁孔は一行に並ぶ。放射組織は水平樹脂道を持つ紡錘状と単列状との2種類があり、柔組織、放射仮道管、エビセリウム細胞からなる。水平樹脂道は比較的大きく、薄壁のエビセリウム細胞を持つが、その細胞は壊れてしまっていることが多い。また、樹脂道それ自身はチロソイドで塞がれていることが多い。放射柔組織の垂直・水平壁はやや厚いが平滑である。放射仮道管内壁も平滑で、鋸歯状にはならない。分野壁孔は大型の窓型で1分野通常1個である。以上の形質からマツ属のうち単維管束亜属（五葉松類）の材と同定した。

現在の日本の亜高山帯や冷温帯にある五葉松類は本州中部、四国の冷温帯から亜高山帯にかけてにわずかに残存するチョウセンゴヨウ、北海道から本州の亜高山帯から冷温帯に広くあるヒメコマツ（キタゴヨウを含む）、それに亜高山帯から高山帯にあるハイマツなどがある。これらを材構造のみで識別するのは困難である。

## 8. トウヒ属 *Picea* マツ科

枝・幹材：写真8a-c (GIF-210)、根材：写真9a-c (GIF-231)

年輪幅が比較的広い針葉樹材で、主に晩材部に1ないし数個集まった小さめの垂直樹脂道が時折分布する。早材部仮道管は細く、放射壁の有縁壁孔は通常1列である。早材部から晩材部への移行は緩やかで晩材部は狭いかやや広い。放射組織は水平樹脂道を持つ紡錘状と単列状とがあり、柔細胞、放射仮道管、エピセリウム細胞からなる。水平樹脂道は小さく、6-9個位のエピセリウム細胞を持つことが多い。柔細胞の垂直・水平壁は厚く、多数の単壁孔があり、モミ型壁孔となる。放射仮道管同士の有縁壁孔は小さく、断面で有縁部が角張ることが多い。分野壁孔は小さいトウヒ型で2-4個ある。以上の形質からトウヒ属の材と同定した。根材は枝・幹材に比べて、同じ年輪の幅がしばしば変動する、早材から晩材への移行は極めて緩やかで晩材部は大変狭い、仮道管の直径が太く薄壁であるが断面輪郭は不正な多角形であることが多い、放射組織の構成細胞は大振りでは壁は薄く、サイズが均一でない、等の点で区別される。

日本の亜寒帯から亜高山帯、冷温帯に分布するトウヒ属は種類が多く、北海道にはエゾマツ、北海道と東北の一部（早池峰山）にアカエゾマツが、本州にはエゾマツの変種のトウヒが広く分布し、本州中部の冷温帯から亜高山帯にかけてハリモミ、イラモミ等が、そして中部山岳地帯の冷温帯に限られた分布をするものとしてヒメバラモミ（アズサバラモミを含む）、ヤツガタケトウヒ、ヒメマツハダなどがある。これらのうちヒメバラモミは仮道管内壁に明瞭ならせん肥厚を持つことにより他のすべての種と区別されるが、他の種は互いによく似ており、互いの識別は困難である。すなわち、本遺跡出土材はすべてヒメバラモミ以外のトウヒ属という事にとどまる。

## 9. ツガ属 *Tsuga* マツ科

写真10a-c (GIF-235)

年輪が比較的明瞭な針葉樹材で、年輪幅は一般に広くなく、早材から晩材への移行は比較的急である。早材部仮道管は断面長方形で薄壁、側壁の有縁壁孔は一列に並ぶ。晩材部仮道管は接線方向に偏平な長方形で壁が厚い。年輪界付近に希に樹脂細胞がある。放射組織は柔細胞と仮道管からなる。分野壁孔は小さなトウヒ〜ヒノキ型で1分野あたり2-4個ある。以上の形質からツガ属の材と同定した。

ツガ属には本州の暖温帯上部から冷温帯にかけて分布するツガと、冷温帯上部から亜高山帯に分布するコメツガがあるが、材構造ではこの両者は区別が困難である。

## 10. ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科

写真11a-c (GIF-185)

小型の楕円形の道管が均一に年輪内に分布する散孔材で、年輪界付近では道管はかなり細く、早材部の比較的大きな道管と明瞭なコントラストを見せる。道管は単独あるいは2-4個放射方向に複合し、道管の穿孔は単一、道管相互の壁孔はやや大きめの小孔紋で交互状に分布する。道管内壁にはらせん肥厚は無い。放射組織は単列異性で、道管-放射組織間壁孔は大振りでは六角形



ないし楕円形で密に集まり、蜂の巣状となる。以上の形質からヤナギ属と同定した。

ヤナギ属は広く全国の山野や水湿地に普通に生える落葉高木～低木で、実に多数の種があり、道管の太さや密度などに変異はあるものの、互いによく似ていて、種を識別するのは困難である。

#### 11. オニグルミ *Julans mandsurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura

クルミ科

写真12a-c (GIF-101)

中型で楕円形の道管が散在状あるいは幅の広い年輪ではルーズな放射状に配列する散孔材で、道管の数は少ない。道管の穿孔は単一で、側壁の壁孔はやや大きめの小孔紋で交互状に密に配列する。木部柔組織は単細胞幅で長く接線方向に並ぶ。放射組織は同性で3-5細胞幅で細長い紡錘形である。これらの形質からオニグルミの材と同定した。

オニグルミは広く全国の冷温帯から暖温帯上部の水湿地に分布する落葉高木で、実が食用となることから縄文時代以来、よく利用されている。材質は軽軟で緻密で粘りがあり、各種器具材、特にラケットなどの運動具、鉄砲の銃床、各種の家具などに用いられる。

#### 12. クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科

写真13a-c (GIF-116)

年輪のはじめに円～楕円形の大道管が一行に並び、そこから順次径を減じ、晩材部では薄壁多角形の小道管が道管状仮道管、周囲状仮道管、木部柔組織とともに火炎状の紋をなす環孔材。大道管にはしばしば薄壁のチロースが顕著である。道管の穿孔は単一、側壁の壁孔はやや大振りの小孔紋で交互状に配列する。らせん肥厚はない。道管の周囲には周囲状仮道管が、また晩材部の小道管に混じって道管状仮道管がある。木部柔組織は周囲状及び単細胞幅の独立帯状で晩材部で目立つ。放射組織は単列同性で背は低い。道管-放射組織間壁孔は不定形の楕円形で大振り、柵状にきちんと並ぶことはない。以上の形質からクリの材と同定した。

クリは北海道南部から本州、四国、九州の冷温帯から暖温帯に広く分布する落葉高木で、幹径1メートル、樹高20メートルほどとなる。辺材は柔らかいが心材は極めて堅く、割裂が容易で耐久力、保存性は大変よい。大型建造物から一般の家屋の柱や土台回り、屋根葺き材、その他あらゆる部分に用いられるほか、家具、農具などあらゆる部分に用いられ、また土木用材、鉄道枕木、下駄、薪炭材などの特用があった。

#### 13. ブナ属 *Fagus* ブナ科

写真14a-c (GIF-53)

薄壁で丸みを帯びた多角形の道管が密に均一に分布する散孔材で、年輪界付近では道管は細くなり、早材部の比較的太い道管と明瞭なコントラストをなす。道管の穿孔は単一及び横棒が数本の階段状の両方があり、道管内壁にらせん肥厚はない。木部柔組織は散在状及び短接線状。放射

組織は1-数細胞幅の狭くて背の低いものから10細胞以上となり肉眼で見えるほど幅広く背の高い大きなものまであり、ほぼ同性である。これらの形質からブナ属の材と同定した。

ブナ属には北海道南部から九州鹿児島県までの冷温帯に広く分布するブナと本州、四国、九州の冷温帯下部から暖温帯上部の太平洋側に分布するイヌブナがある。いずれも幹直径1メートル、樹高30メートルに達する落葉大高木であるが、材構造は互いによく似ていて識別は困難である。ブナの材は堅硬緻密で割裂が容易で保存性は低いが加工性はよく、建築材、家具材、器具材など広く用いられているが、漆器碗の木地などの特用がある。イヌブナの材はブナに比べると脆く、材質は劣るが、ブナ同様の用途がある。

#### 14.コナラ属アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科

写真15a-c (GIF-128)

中型の楕円形の道管が単独で、放射方向にルーズに配列する放射孔材で、道管の穿孔は単一で、道管内壁にらせん肥厚はない。道管の周りには周囲状仮道管があり、道管との間に楕円形の有縁壁孔を持つ。木部柔組織は1-3細胞幅の独立帯状、放射組織には単列同性と大きな複合状の2種があり、道管-放射組織間壁孔は縦長の楕円形で柵状に配列する。これらの形質からブナ科コナラ属のうち、常緑性のカシ類、すなわちアカガシ亜属の材と同定した。

カシ類は照葉樹林を特徴づける種群で、東北地方南部以南にアカガシ、シラカシ、アラカシ、ウラジロカシなど、沢山の種類があり、多くは高木となる。材は堅硬で木理通直、緻密で割裂性よく、弾性がある強靱であり、建築材を始め各種農具類、柄物、木刀など多くの用途がある。

#### 15.コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科

写真16a-c (GIF-13)

年輪のはじめに太い大道管が一行に並び、そこから中型の道管を経て晩材部では薄壁で多角形の小道管が散在状あるいは火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一、道管内壁にらせん肥厚はない。周囲状仮道管と晩材部の小道管に混じって道管状仮道管がある。木部柔組織は周囲状、散在状及び独立帯状で、晩材部でよく目立つ。放射組織は単列同性と極めて大きな複合放射組織で、後者にはしばしば結晶細胞を含む。道管-放射組織間壁孔は縦長の楕円形で柵状に並ぶ。以上の形質から、コナラ属の内、落葉性のコナラ亜属のなかのコナラ節の材と同定した。

コナラ節には北海道南部から九州までの冷温帯下部から暖温帯の二次林に広く分布するコナラ、北海道から九州までの冷温帯から暖温帯上部に広く分布するミズナラ、主に中部地方以西の冷温帯から暖温帯に希に分布するナラガシワ、北海道から九州の冷温帯、暖温帯に分布するカシワなどがあるが、材構造での区分は困難である。本州では平野と丘陵の二次林にはコナラが普通に分布し、それより高いところにミズナラが分布している。コナラは幹径50センチ、樹高20メートルくらいになる落葉高木で、材質はやや堅く、肌目は粗い。建築材、器具材、薪炭材に用いられる。ミズナラは幹径1メートル、樹高30メートルになる落葉大高木で、材質は大変よく、重硬

で緻密なため加工は難しいが木目美しく仕上がりが重厚で家具材としては第1級である。机、テーブル、書庫などの家具材のほか建築材、各種器具材など極めて広い用途がある。ミズナラ、コナラとも薪炭材、椎茸のほだ木に用いられる。

#### 16.ニレ属 *Ulmus* ニレ科

##### 写真17a-c (GIF-28)

年輪のはじめに円形の大道管が1(～3)層並び、晩材部では薄壁多角形の小道管が斜面接線方向に多数集まって波状の紋をなす環孔材。道管の穿孔は単一、側壁の壁孔はやや大振りの小孔紋で交互状に密に分布し、小道管の内壁には顕著ならせん肥厚がある。木部柔組織にしばしば結晶細胞があり、縦に鎖状に連なる。放射組織は同性多列で接戦面できれいな紡錘形に見え、結晶細胞はない。以上の形質からニレ属の材と同定した。

ニレ属には北海道から九州の冷温帯に広く分布するハルニレとオヒョウ(ニレ)、それに西日本の暖温帯に分布するアキニレがあり、アキニレは道管の形態と配列が異なることから区別されるので、本遺跡出土材はハルニレかオヒョウである。いずれも幹径1メートル、樹高30メートルに達する落葉大高木で、材はやや硬く、木理通直で弾性がある割裂困難で加工は難しい。建築材、家具、各種器具材に用いられる。オヒョウの樹皮からアイヌが繊維をとりアツシ布を織る。

#### 17.ヤマグワ *Morus bombycis* Koidz. クワ科

##### 写真18a-c (GIF-52)

大型で楕円形の道管が年輪のはじめに1-3くらい並び、そこから径を減じて晩材部では薄壁多角形の小道管が塊状に集まったものが斜め接戦方向に並んで散在する環孔材。道管の穿孔は単一、側壁の壁孔はやや大振りの小孔紋で交互状に密に分布し、小道管の内壁には顕著ならせん肥厚がある。木部柔組織は周囲状、放射組織は多列の異性で上下端の直立細胞が目立つ。遺跡出土材はしばしば鮮やかな赤褐色に着色する。以上の形質からヤマグワの材と同定した。

ヤマグワは広く全国の冷温帯から暖温帯にかけての沢沿いなどの適潤地に生える落葉高木で、材はやや堅く、靱性があり、光沢あって工作が容易な優秀な材である。耐水性に優れ、建築材、器具材などに用いられる。

#### 18.マタタビ属 *Actinidia* マタタビ科

##### 写真19a-c (GIF-65)

丸いとても大きな道管が年輪はじめに1～3層あり、晩材部では中～小型の丸い道管が少数散在する環孔材。道管の穿孔は単一で、側壁の壁孔は階段状である。放射組織は直立細胞のみからなる単列放射組織と多列部が平伏細胞からなる直立細胞からなる背の高い単列翼部を持つ3-7細胞幅くらいの大きな多列放射組織の2種類がある。これらの形質からマタタビ属の材と同定した。

マタタビ属は落葉性の蔓性木本で、全国の冷温帯から暖温帯上部にかけて分布するサルナシと

マタタビ、それに中部以北の本州、北海道に分布するミヤママタタビがある。いずれも材はよく似ているので区別は困難であるが、サルナシ以外は蔓はさほど太くならず、木材利用はサルナシに限られる。サルナシの材は韌性が強く、柔軟でかすら橋の蔓や、箆編物などによく用いられ、箆編物などはマタタビなども同様に用いられる。いずれも実が食用になる。

#### 19. ツルアジサイ *Hydrangea petiolaris* Seib. et Zucc. ユキノシタ科

写真20a-c (GIF-16)

中型で放射方向にややのびた楕円形の道管孔が単独あるいは2~3個放射方向に複合して放射方向の列をなしてびっしりと集合し、晩材部では直径が小さくなったまるい道管が単独あるいは2~3個放射方向に複合して間隔のあいた放射方向の列をなし、年輪界付近では小型で角張った道管が放射方向に数-10数個複合して配列する散孔材。道管の穿孔は20-40本ほどの横棒からなる階段状で、道管相互の壁孔は階段状。放射組織は異性で、直立細胞からなる単列のものと、3-8細胞幅くらいで不完全な鞘細胞をもつ、非常に大きなものからなる。これらの形質から、ツルアジサイの材と同定した。

ツルアジサイは暖温帯上部から亜高山帯下部に分布する木本性の蔓植物で、特にブナ帯に多い。

#### 20. イヌエンジュ *Maackia amurensis* Rupr. et Maxim. var. *buergeri* (Maxim.) C.K.Schn. マメ科

写真21a-c (GIF-11)

大きな楕円形の道管が年輪のはじめにやや間隔をおいて2-3層に並び、順次径を減じて晩材部では薄壁多角形の小道管が多数集まって接線方向に広がった塊をなす環孔材で、道管の穿孔は単一、側壁の壁孔は小孔紋で交互状、小道管の内壁には顕著ならせん肥厚がある。木部柔組織は量多く、早材部では周囲状、晩材部では翼状となり、層階状に配列する。放射組織は1-6細胞幅の同性で輪郭が不整の紡錘形となる。これらの形質からイヌエンジュの材と同定した。

イヌエンジュは北海道、本州、四国、九州の主に冷温帯に分布する落葉小高木で、幹径30センチ、樹高10メートルくらいになる。材はやや堅硬で重く、木理が美しいが加工性は困難であり、特に心材部は暗黄褐色で特に堅く、極めて保存性がよい。床柱などの建築材、各種家具類、器具類、細工物など広い用途がある。

#### 21. カエデ属 *Acer* カエデ科

写真22a-c (GIF-108)

楕円形の小道管が単独あるいは2個複合してまばらに均一に分布する散孔材。道管の穿孔は単一、側壁の壁孔は小孔紋で交互状、内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は1-6細胞幅の同性で接線面で見ると綺麗な紡錘形をしている。これらの形質からカエデ属の材と同定した。

カエデ属には多数の種があり、多くは冷温帯から暖温帯に分布している落葉小高木~高木である。材は各種器具材、建築材などに用いられる。

## 22. エゴノキ属 *Styrax* エゴノキ科

### 写真23a-c (GIF-109)

丸みを帯びた多角形の小道管が2-6個くらい放射方向に複合して年輪前半に多く分布する散孔材で、年輪後半では道管径は順次小さくなり、また数も少なくなって、接線状の木部柔組織が目立つようになる。道管の穿孔は横棒が10本前後の階段状、放射組織は1-6細胞幅で幅狭く、単列の翼部が背の高い異性放射組織である。これらの形質からエゴノキ属の材と同定した。

エゴノキ属には北海道南部以南の冷温帯下部から暖温帯に広く分布する落葉小高木のエゴノキ、それよりも多少北及び標高の高いところに多いハクウンボクなどがある。エゴノキの材はやや堅く、弾性があり、木目は緻密で、床柱、各種器具材、とくに木製玩具などによく用いられる。ハクウンボクも同様の用途がある。

## 23. トネリコ属 *Fraxinus* モクセイ科

### 写真24a-c (GIF-59)

年輪のはじめに単独あるいは2個放射方向に複合した楕円形の大道管が1-3層並び、順次径を減じて晩材部では厚壁で外形多角形、内腔円形の小道管が単独あるいは数個放射方向に複合したものがまばらに散在する環孔材。道管の穿孔は単一、側壁の壁孔は微細な小孔紋で交互状に密にある。木部柔組織は周囲状、晩材部では量が多くなり翼状、時に連合翼状になる。放射組織は1-4細胞幅くらいの同性で、背は低く、接線断面では比較的綺麗な紡錘形に見える。これらの形質からトネリコ属の材と同定した。トネリコ属の材は一般には放射組織が2細胞幅だが、ヤチダモでは4細胞幅くらいと大きくなることもある。

トネリコ属には北海道から本州の主に冷温帯の水湿地に多いヤチダモ、東北から本州中部の冷温帯にあるトネリコなど多数の種があるが、材構造は互いに似ていて種の識別は困難である。ヤチダモは東北地方、北海道では沢沿いや湿地林に特徴的な樹種で、幹径70センチ、樹高25メートルの大高木となる。材は堅く弾力があり、木理通直で美しく、保存性が高く加工も容易な優秀な広葉樹材である。建築材、各種器具材、特に家具、運動具の用途がある。

### 出土木材の樹種組成の特徴

表1に示すように、旧石器時代、縄文時代早期、縄文時代中期の3つの時期の属する木材の樹種が調査された。合計268点から24の樹種が同定されたが、それらの組成は時期毎に歴然と違っている。

旧石器時代末の木材は99点が調べられた。内9点は両端や枝の付け根の部分などに切削加工の可能性が認められたもので、それを加工木として扱った。残り90点が自然木である。その樹種を見るとトウヒ属が最も多く、自然木75点、加工木8点である。ついでモミ属が自然木8点、加工木1点あり、マツ属の五葉松類5点、それにツガ属およびヤナギ属の各1点はいずれも自然木である。

第1表 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡出土木材の樹種組成

樹種	旧石器末			縄文早期		縄文中期		総計
	自然木	加工木	小計	自然木	自然木	加工木	小計	
トウヒ属	75	8	83					83
モミ属	8	1	9					9
五葉松類	5		5					5
ツガ属	1		1					1
ヤナギ属	1		1					1
トネリコ属				62	5		5	67
ニレ属				9	7		7	16
コナラ節				4	10		10	14
マタタビ属				3				3
ヤマグワ				2	1	2	3	5
イヌエンジュ				1	2		2	3
イヌガヤ				1	2		2	3
ツルアジザイ				1				1
ブナ属				1				1
クリ					15	13	28	28
カエデ属					10		10	10
カヤ					9		9	9
ヒノキ					1	1	2	2
スギ						1	1	1
アカガシ亜属					1		1	1
オニグルミ					1		1	1
クロベ					1		1	1
エゴノキ属					1		1	1
同定不能				2	2		2	4
総計	90	9	99	86	68	17	85	270

第2表 宮ノ前遺跡縄文時代中期の加工木の樹種

標本番号	樹種	製品の種類	出土遺構
GIF-253	クリ	四角柱	ポット
GIF-254	クリ	先端尖杭	ポット
GIF-255	クリ	四角棒状	ポット
GIF-256	クリ	四角棒状	ポット
GIF-257	ヒノキ	細棒状割材	ポット
GIF-258	スギ	細薄板	ポット
GIF-259	クリ	四角棒状	ポット
GIF-260	クリ	先端尖杭	杭列
GIF-261	クリ	割杭	杭列
GIF-262	クリ	1/4割材	杭列
GIF-263	クリ	四角割杭	杭列
GIF-264	クリ	炭化丸木杭	杭列
GIF-265	クリ	ミカン割杭	杭列
GIF-266	クリ	割杭	杭列
GIF-267	ヤマグワ	割杭	杭列
GIF-268	ヤマグワ	割杭	杭列
GIF-269	クリ	ミカン割杭	杭列
GIF-270	クリ	ミカン割杭	杭列

99点中98点が針葉樹で、広葉樹はヤナギ1点のみであり、これはトウヒ属を主体とした典型的な亜寒帯あるいは亜高山帯の針葉樹林に由来する木材といえる。東北地方から中国地方に至る各所で最終氷期最寒冷期と目される約2万年前以降、晩氷期までの堆積層から木材遺体群集が研究されている。それらはいずれも針葉樹が卓越した組成で、特にトウヒ属が大部分を占める。現在の本州中部の冷温帯～亜高山帯の針葉樹林の組成を見るとモミ属のアオモリトドマツ、シラベが卓越し、それにコメツガ、トウヒなどが混じるのが一般的で、富士山麓の青木ヶ原など溶岩性の特殊な立地等を除いては、トウヒ属が特に卓越することはない。特に本州日本海側の多雪環境下にあつてはコメツガやトウヒ属の樹種は僅かしか分布しておらず、湿潤な環境下ではモミ属（アオモリトドマツ）のみが優先している。これに対して最終氷期にトウヒ属が卓越していたことは現在とは全く様相を異にした針葉樹林が日本列島に広がっていたことを示しており、当遺跡出土材はその様な林が現在では多雪環境にある本州中部の日本海側にまでおよんでいたことを明らかにしたことになる。これは晩氷期には現在よりも乾燥した気候が支配していたことを示す証拠といえる。

縄文時代早期の木材は86点が調べられた。これらは全て自然木であり、当時の森林植生を反映していると考えられる。その組成はトネリコ属が62点（72%）と卓越し、それにニレ属（9点）、コナラ節（4点）、マタタビ属（3点）、ヤマグワ（2点）、イヌエンジュ、イヌガヤ、ブナ属、ツルアジサイ（各1点）である。全国の縄文時代の低湿地遺跡からは草創期から晩期まで、トネリコ属を主体とする低湿地林が広く存在していたことが知られている。このトネリコ属は果実化石の同定からヤチダモであることが確かめられている。ヤチダモは現在は本州中部以北の冷温帯の沢沿い、湿地に成育する樹木で、特に北海道に多く分布している。このヤチダモ林は気候の変化と低湿地開発でほとんどの地域で消滅したことが知られているが、ここ宮川村でも同様であったことが今回の結果から明らかになった。また、ここに同定された樹種を現在の森林組成の樹種との比較を行なうと、トネリコ属はヤチダモ、ニレ属はハルニレ又はオヒョウ、コナラ属はミズナラ、マタタビ属はサルナシ、ブナ属はブナであると見なすことが出来る。すなわち、宮ノ前遺跡周辺にはヤチダモ林があり、その中に混じってあるいはその周辺にハルニレ又はオヒョウニレ、それにミズナラ、ヤマグワ、ブナの高木、イヌエンジュなどの小高木があり、それらにサルナシ、ツルアジサイがからみつき、林床にはハイイヌガヤが成育していたという森林風景が復元できよう。

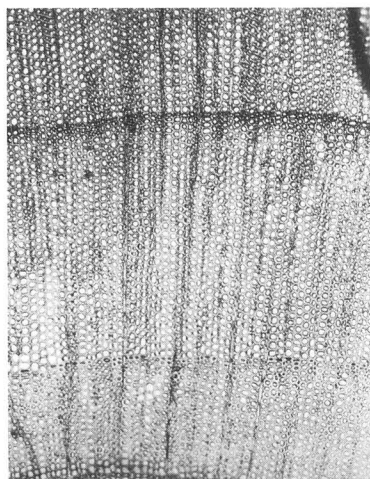
このような、いわば典型的な冷温帯性の自然林が縄文時代早期には想定されたが、それが縄文時代中期ともなると様相が随分と変わってくる。縄文中期では自然木68点、加工木17点が同定されたが、自然木ではクリ（15点、23%）、コナラ節、カエデ属（10点、15%）、カヤ（9点、14%）、ニレ属（7点、11%）、トネリコ属（5点、8%）などの他、イヌガヤ、イヌエンジュ（各2点）、ヒノキ、クロベ、アカガシ亜属、オニグルミ、ヤマグワ（各1点）と大変複雑な組成となる。これらの内、縄文時代早期と共通する樹種はトネリコ属、ニレ属、コナラ節など6種27点と41%を占め、縄文時代中期固有のものは8種39点である。これは冷温帯性の落葉広葉樹林の組成に

暖温帯性の組成ともいえるクリ、カヤ、アカガシ亜属を加え、更に人為的な移入あるいは混入を考えさせるヒノキ、クロベなどの針葉樹が混じっており、冷温帯から暖温帯への移行帯的な複雑な組成といえる。なお、カヤが9点と多いが、これは堆積層のあった直ぐ近くにカヤの大木が生えていて、そこから枝材などが大量に供給されたか、あるいはカヤの大木が堆積層に倒れ込んだかした結果で、ここに見られる比率の大きさで遺跡周辺にカヤが大量に生えていたことではないと考えられる。

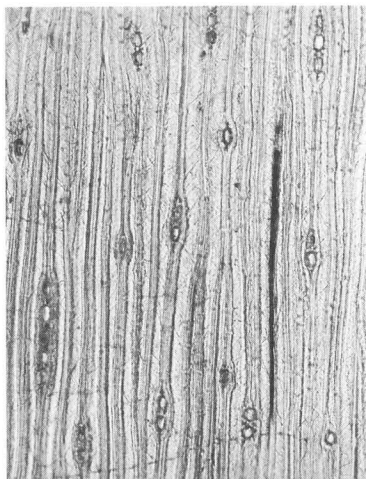
縄文時代の中期の湧水ポット、B18・19グリッド付近の杭群からは杭材などの加工材が出土した。17点を同定したが、そのうち、角材、割杭など13点がクリであり、ヤマグワの割材が2点、それにヒノキとスギの細棒状あるいは細板状の材片が各1点である。試料点数が少ないので詳しい検討は出来ないが、ここでも土木および建築用材としてのクリ材の多用が見て取れる結果となった。なお、スギ、ヒノキ材は自然木とされたヒノキ、クロベと同様、他地域からの持ち込みあるいは遺物の混入と考えることが出来る。

本研究を行うに当たり、(財)高梨学術奨励基金からの「東アジアおよび日本列島における木製品の樹種選択の古民族植物学的研究」(代表 鈴木三男)に対する研究助成金の一部を使った。記して(財)高梨学術奨励基金に謝意を表明する。

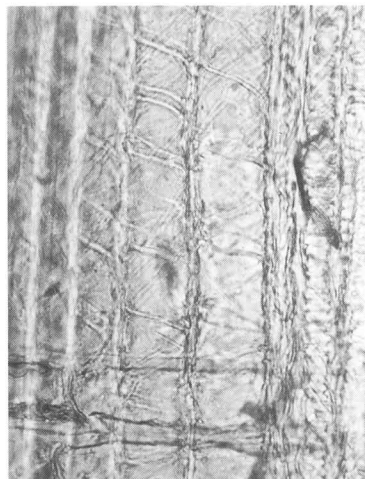




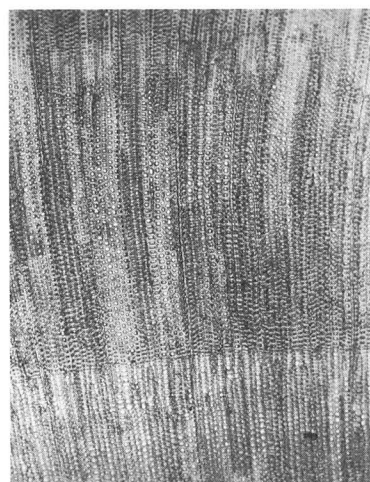
1 a. カヤ (GIF-157) 木口 ×40



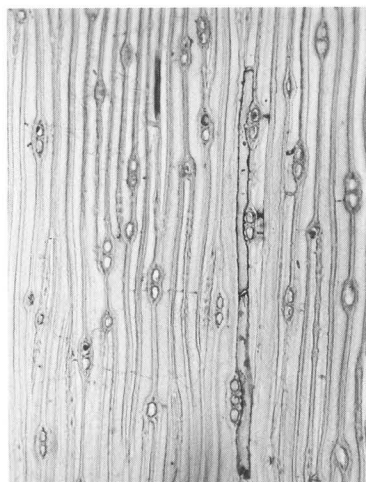
1 b. 同 板目 ×100



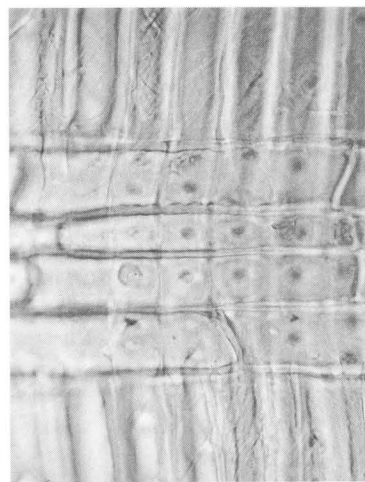
1 c. 同 柁目 ×400



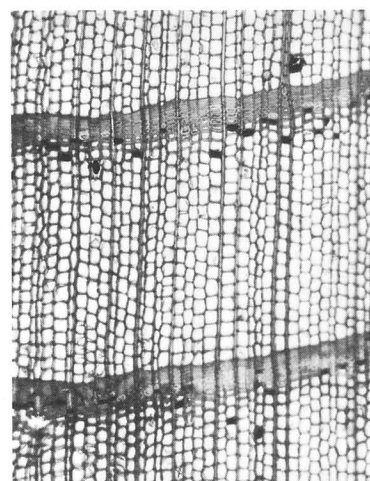
2 a. イヌガヤ (GIF-86) 木口 ×40



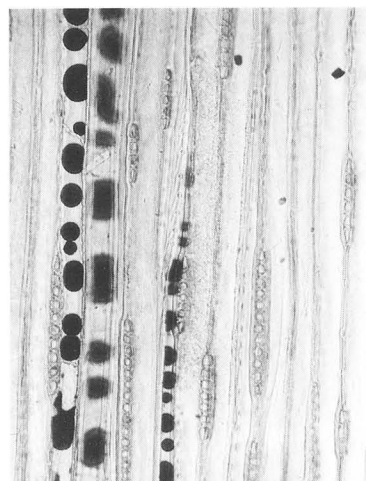
2 b. 同 板目 ×100



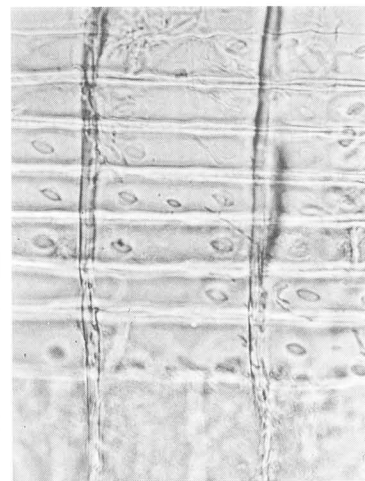
2 c. 同 柁目 ×400



3 a. スギ (GIF-258) 木口 ×40

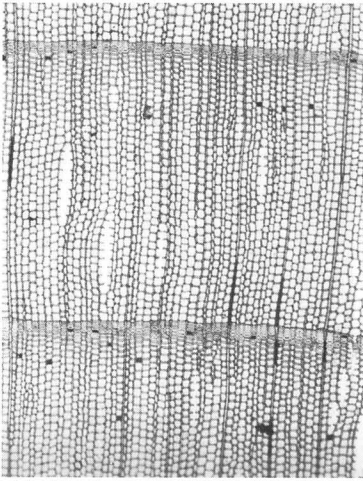


3 b. 同 板目 ×100

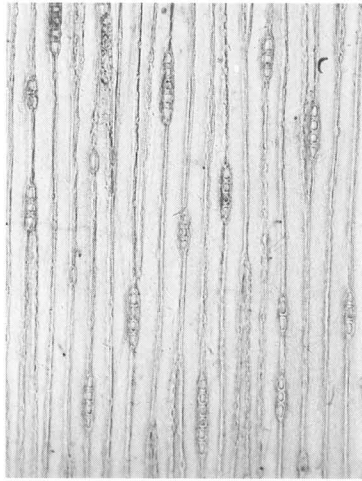


3 c. 同 柁目 ×400

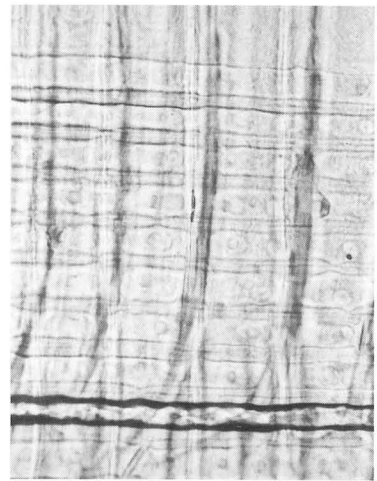
出土木材の顕微鏡写真1



4 a. ヒノキ (GIF-107) 木口 ×40



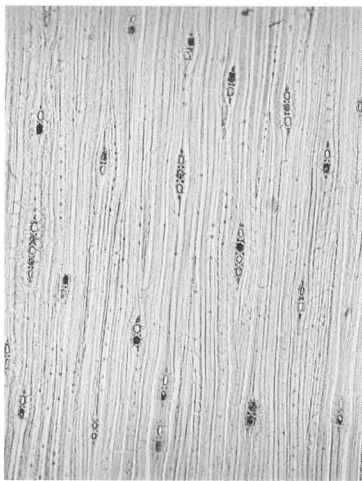
4 b. 同 板目 ×100



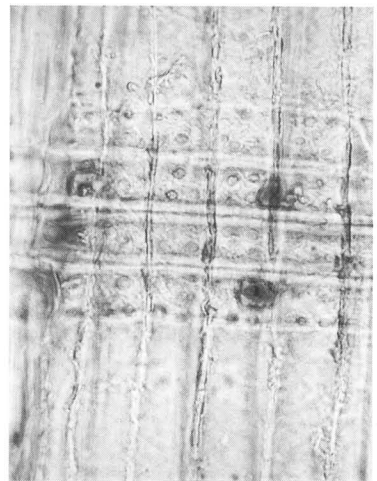
4 c. 同 柁目 ×400



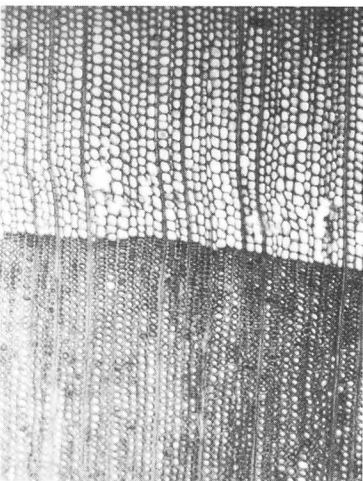
5 a. クロベ (GIF-132) 木口 ×40



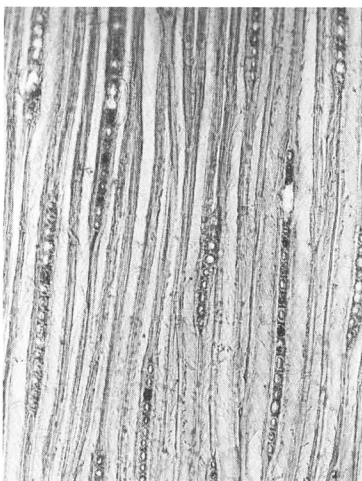
5 b. 同 板目 ×100



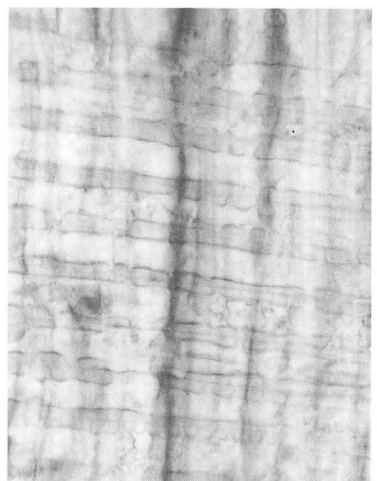
5 c. 同 柁目 ×400



6 a. モミ属 (GIF-188) 木口 ×40

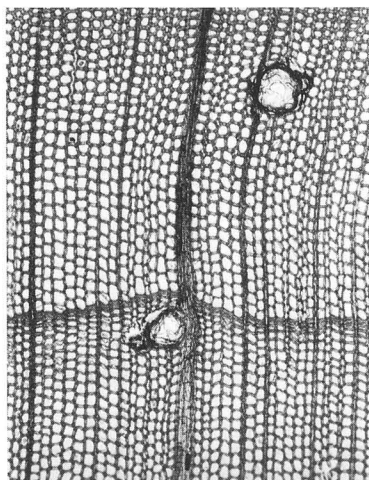


6 b. 同 板目 ×100

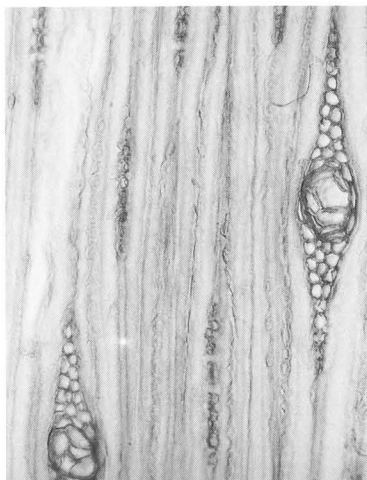


6 c. 同 柁目 ×400

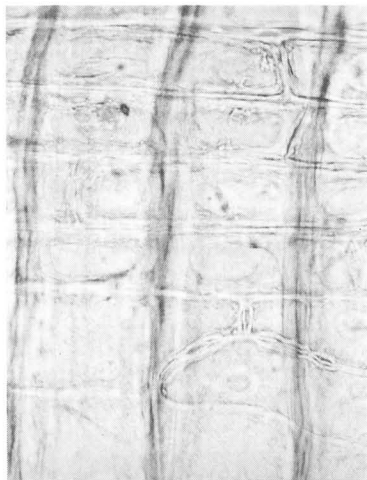
出土木材の顕微鏡写真 2



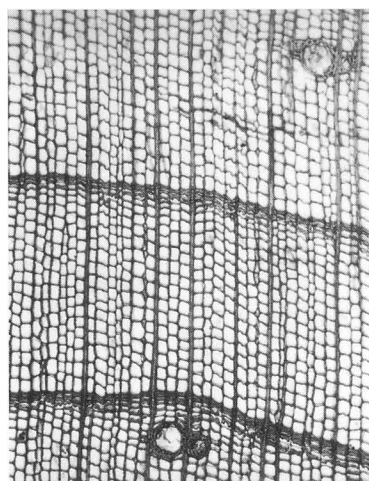
7 a. 五葉松類 (GIF-201) 木口 ×40



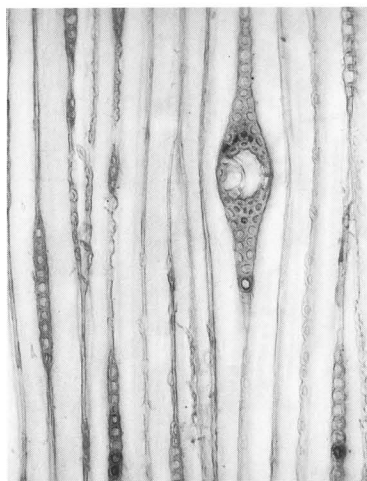
7 b. 同 板目 ×100



7 c. 同 柁目 ×400



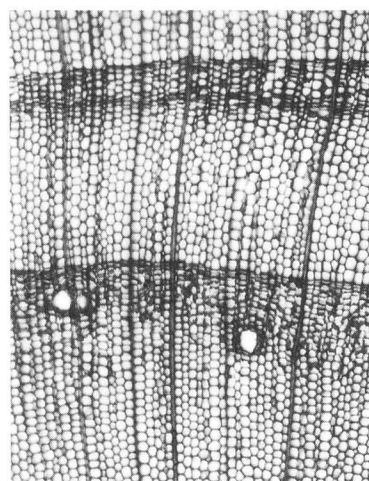
8 a. トウヒ属 (GIF-210) 木口 ×40



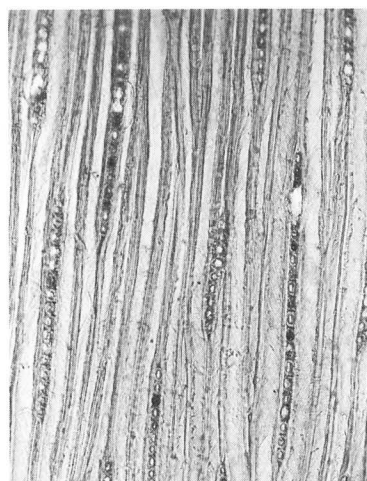
8 b. 同 板目 ×100



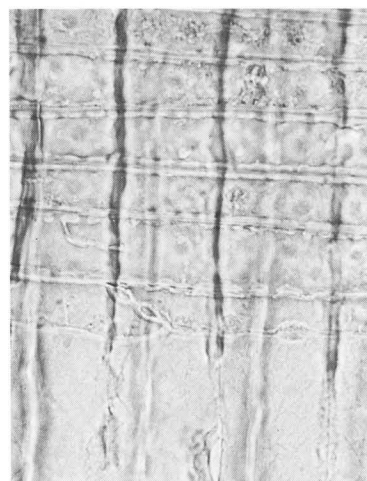
8 c. 同 柁目 ×400



9 a. トウヒ属 (GIF-231) 木口 ×40



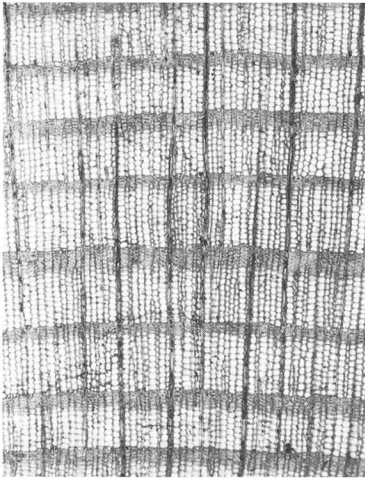
9 b. 同 板目 ×100



9 c. 同 柁目 ×400

出土木材の顕微鏡写真 3

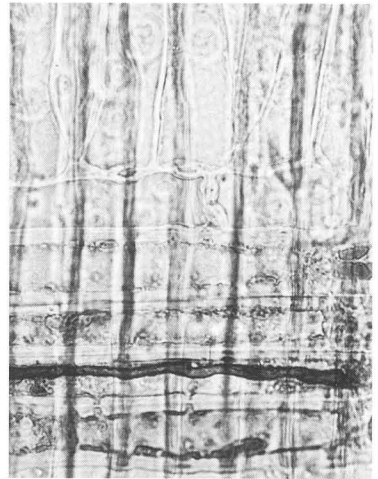




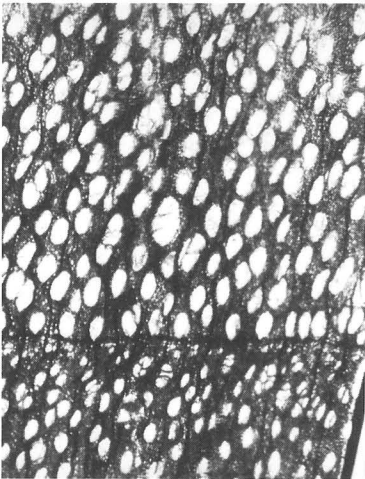
10 a. ツガ属 (GIF-235) 木口 ×40



10 b. 同 板目 ×100



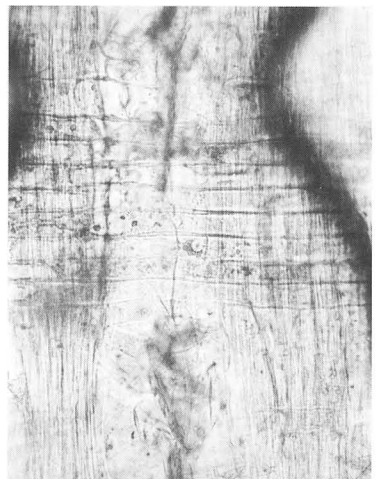
10 c. 同 柁目 ×400



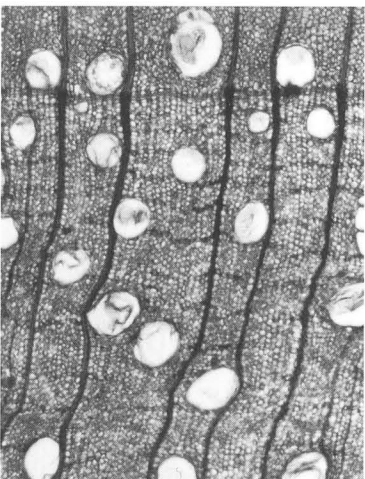
11 a. ヤナギ属 (GIF-185) 木口 ×40



11 b. 同 板目 ×100



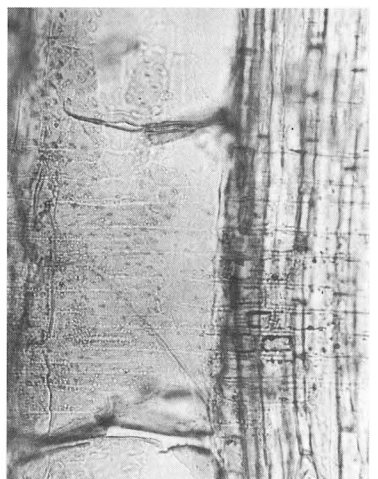
11 c. 同 柁目 ×200



12 a. オニグルミ (GIF-101) 木口 ×40

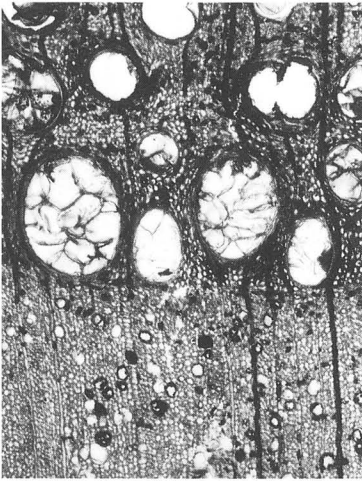


12 b. 同 板目 ×100

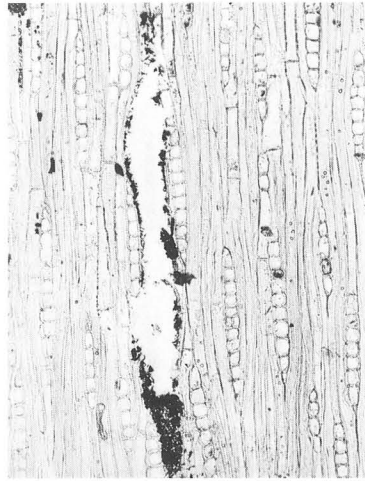


12 c. 同 柁目 ×200

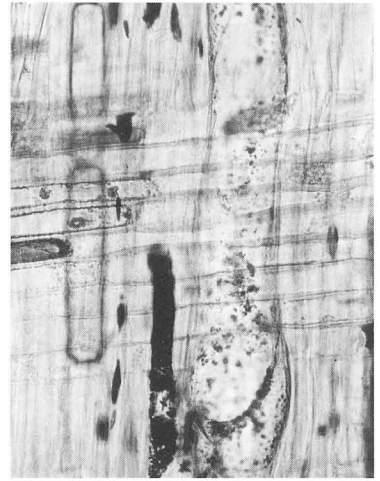
出土木材の顕微鏡写真 4



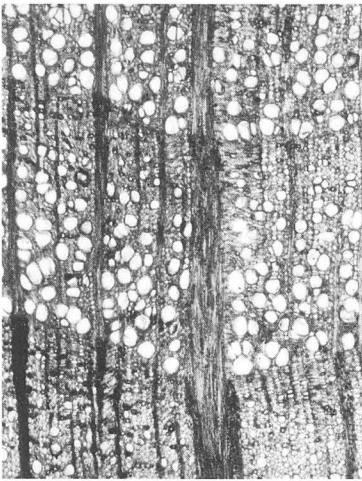
13 a. クリ (GIF-116) 木口 ×40



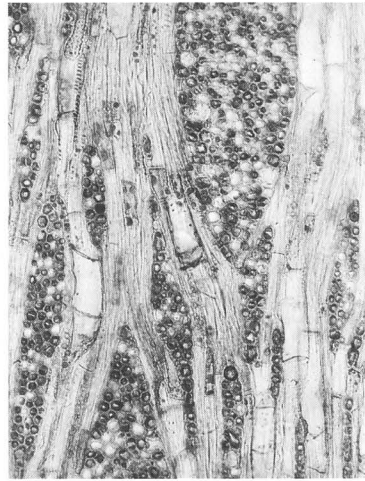
13 b. 同 板目 ×100



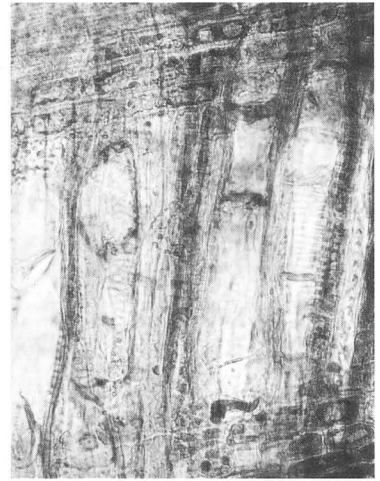
13 c. 同 柁目 ×200



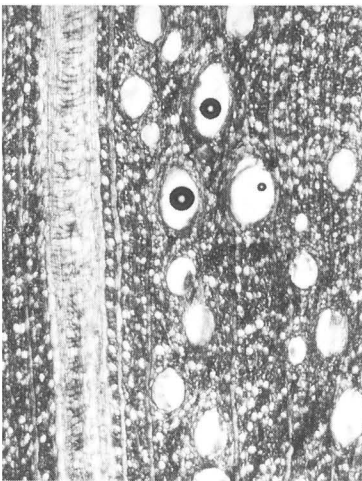
14 a. ブナ属 (GIF-53) 木口 ×40



14 b. 同 板目 ×100



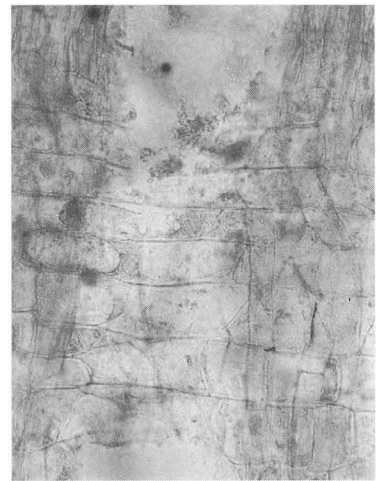
14 c. 同 柁目 ×200



15 a. アカガシ亜属 (GIF-128) 木口 ×40



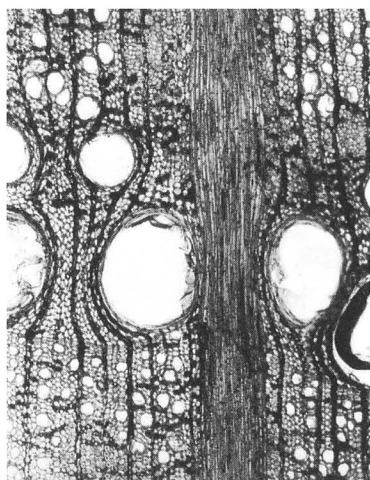
15 b. 同 板目 ×100



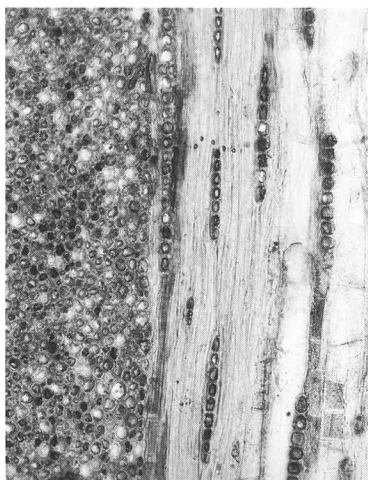
15 c. 同 柁目 ×200

出土木材の顕微鏡写真 5

図版六



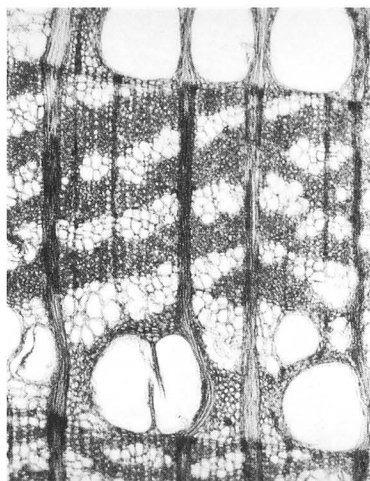
16 a. コナラ節 (GIF-13) 木口 ×40



16 b. 同 板目 ×100



16 c. 同 柁目 ×200



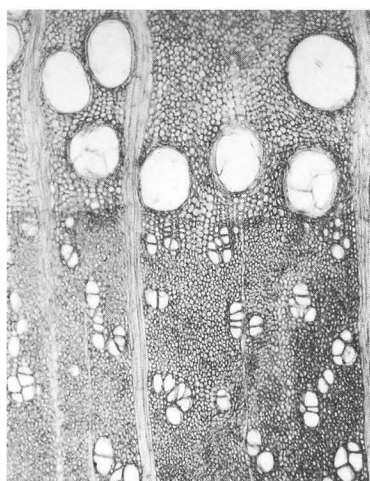
17 a. ニレ属 (GIF-28) 木口 ×40



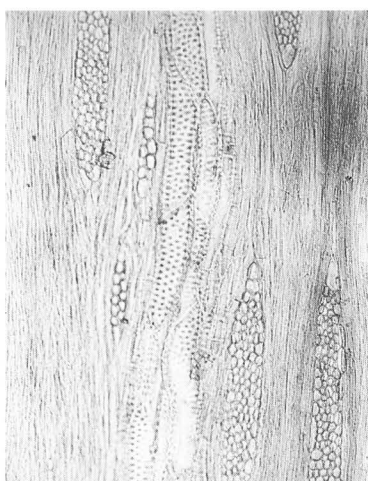
17 b. 同 板目 ×100



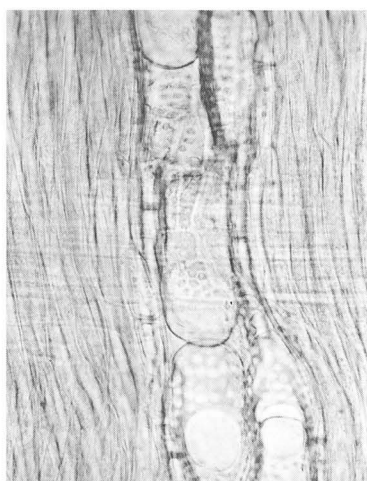
17 c. 同 柁目 ×200



18 a. ヤマグワ (GIF-52) 木口 ×40



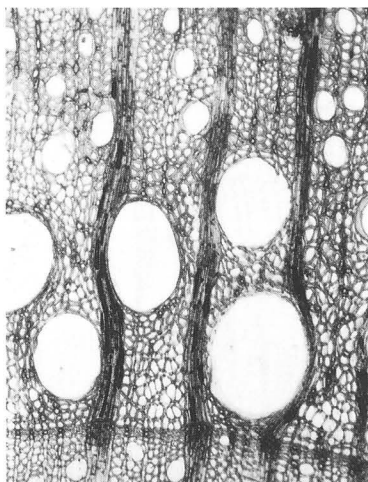
18 b. 同 板目 ×100



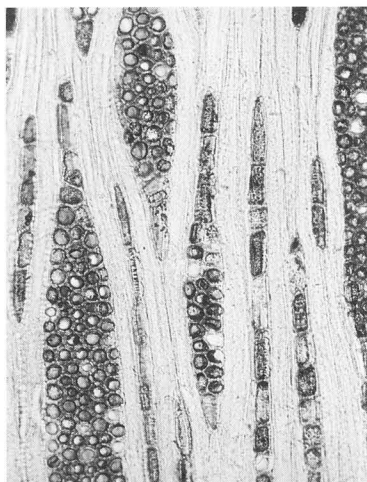
18 c. 同 柁目 ×200

出土木材の顕微鏡写真 6





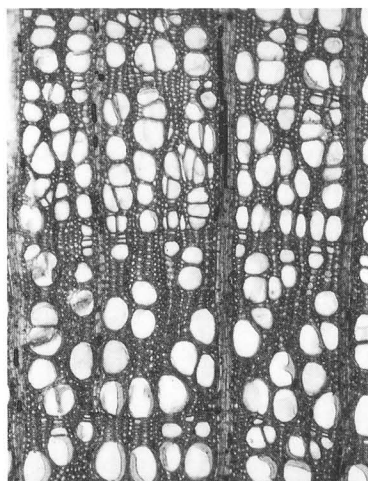
19 a. マタタビ属 (GIF-65) 木口 ×40



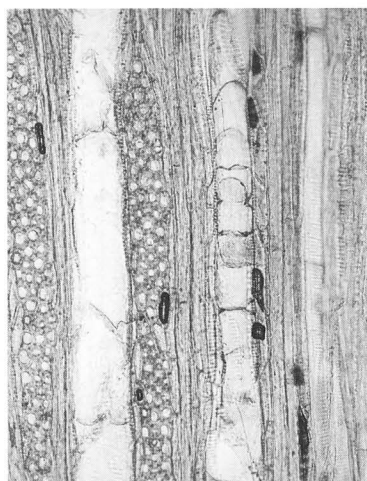
19 b. 同 板目 ×100



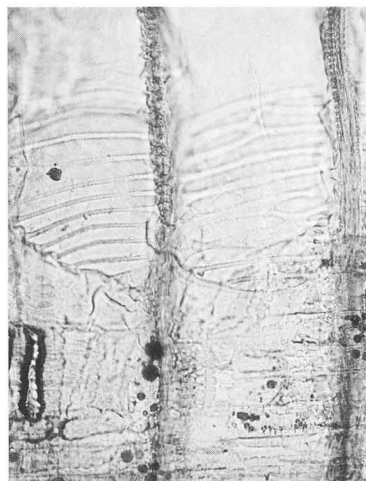
19 c. 同 柁目 ×200



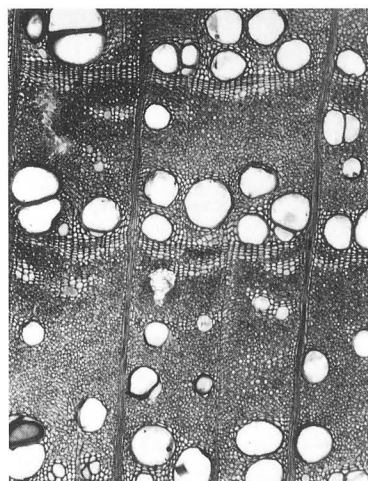
20 a. ツルアジザイ (GIF-16) 木口 ×40



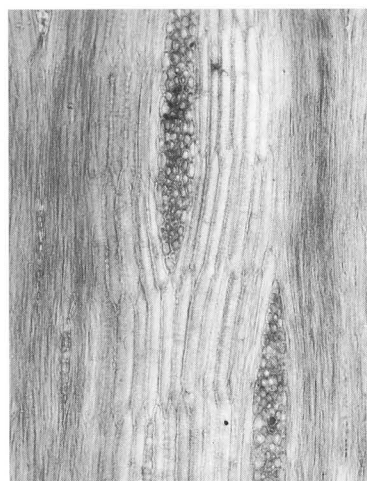
20 b. 同 板目 ×100



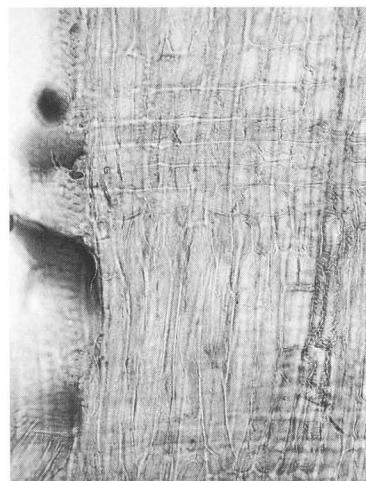
20 c. 同 柁目 ×200



21 a. イヌエンジュ (GIF-11) 木口 ×40



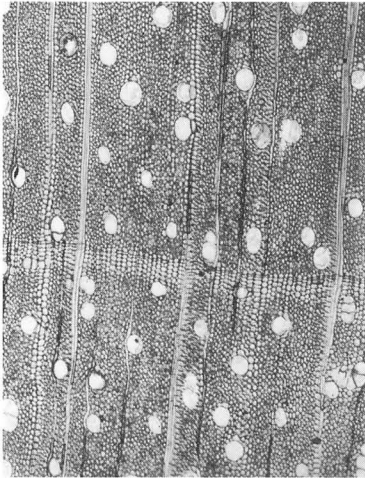
21 b. 同 板目 ×100



21 c. 同 柁目 ×200

出土木材の顕微鏡写真 7

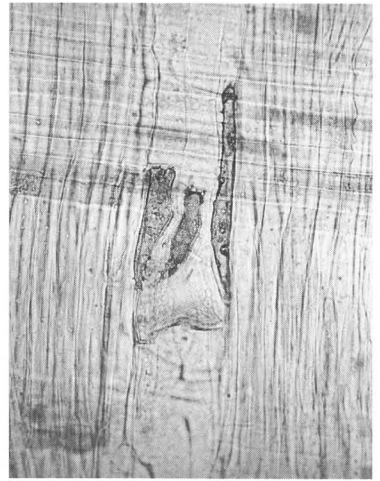
図版八



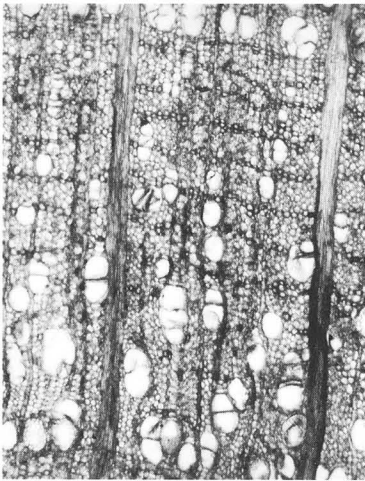
22 a. カエデ属 (GIF-108) 木口 ×40



22 b. 同 板目 ×100



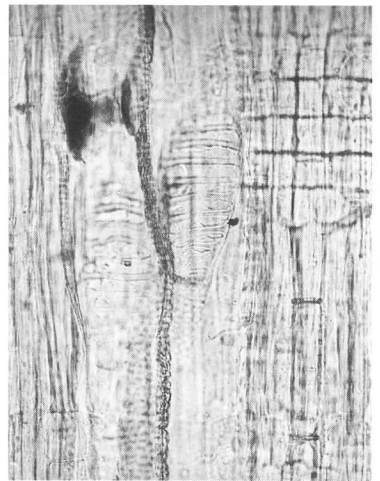
22 c. 同 柁目 ×200



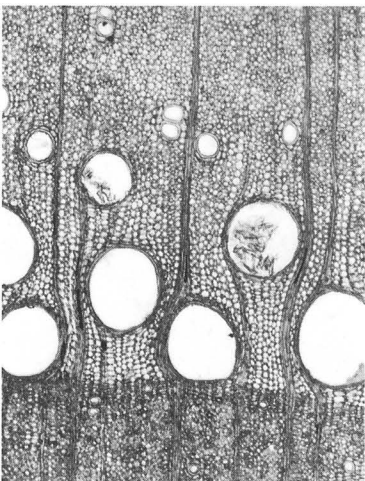
23 a. エゴノキ属 (GIF-109) 木口 ×40



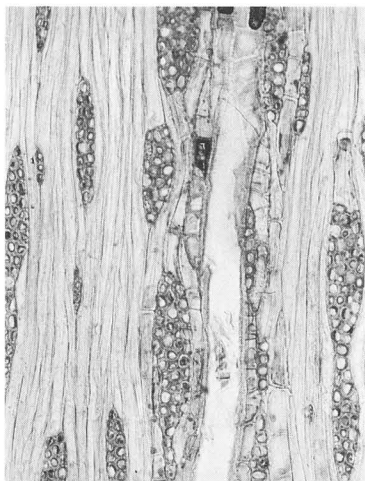
23 b. 同 板目 ×100



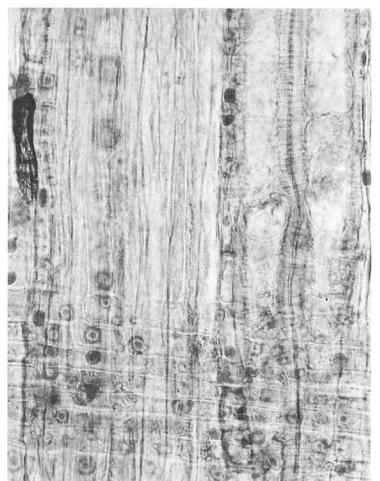
23 c. 同 柁目 ×200



24 a. トネリコ属 (GIF-59) 木口 ×40



24 b. 同 板目 ×100



24 c. 同 柁目 ×200

出土木材の顕微鏡写真 8



## 第5節 岐阜県宮川村宮ノ前遺跡で検出された種実遺体の概要

吉井 亮一（立山博物館）

### 1 はじめに

宮ノ前遺跡は、岐阜県最北部の宮川村西忍に所在し、これまでに旧石器時代後期から歴史時代に至る遺構・遺物が検出されている。

今回の調査によって、当該遺跡からは多量の土器や石器、加工痕を持つ材などが検出された。これら考古遺物とともに昆虫や植物遺存体など、いわゆる自然遺物が出土した。

本報告では、このうちの、特に種実遺体を中心とした植物遺存体（以下、種実遺体）について検討を加え、これまでに得られた知見を報告する。なお、試料は膨大なものであるため、今回はその一部を検討したに留まった。

この報文を作成するに当たって、宮川村教育委員会の小島 功、河野典夫、立田佳美、岐阜県立加茂高等学校の林 直樹、名古屋大学の中村俊夫、愛知県立明和高等学校の森 勇一、東京都立大学の山田昌久、岐阜大学の西條好迪、富山市科学文化センターの太田道人の各氏から幾多の有益な御教示を得た。また、気象観測資料について、関西電力株式会社笹津制御所宮川分室と宮川村建設課から御教示を得た。以上の方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げる。

### 2 遺跡周辺の環境

宮ノ前遺跡は、神通川の二大支流の一つ宮川の左岸、河岸段丘上にあつて、その標高428mを測り、ごく近傍を跡津川断層の主体部が走る。遺跡の載る河岸段丘は、飛騨山地の西部、戸田峰から白木峰・小白木峰を経て金剛堂山へと至る主稜に万波川を挟んで併走する、大高山から唐堀山、万波峠、蕎麦角山を経て水無山へ至る副稜南側の山岳斜面麓部終端域に発達して、遺跡近傍には蕎麦角山から派生する一枝稜が張り出している。

この枝稜の末端を通して、当該段丘をほぼ南北に画するように、跡津川断層が南西―東北方向に延び、現地においてはこれが、ほぼ連続する比高約5mの断層崖となつて認められる。断層崖の北側が高く、南側が低い面を形成している。この断層崖の南側に沿つて、その直下には湧水点が連続的に分布しており、現在では消滅した湧水点も多いが、かつては連続した湧水帯としてこれが認められたという。この湧水帯を挟んで断層崖の南側、低位の面に当該遺跡域が広がっている。遺跡域の南側は数mから10数mで段丘面の縁辺に達し、比高24mで宮川の打保堰堤（通称、丸山ダム）の湖面となる（詳細は、本報告書の第1章を参照されたい）。

現在の、宮川村一帯の気候は、日本海側の多雪地帯のそれに属する。宮川村における年平均気温は11.3℃、年平均降水量は2,173.1mm、うち年平均積雪量雨量換算は426.4mmで、年間降水量のほぼ2割（19.6%）が降雪としてもたらされる。平均最大積雪深は141.7cmを測る。飛騨北部にあつて、その代表とされる高山盆地の気候とは異なり、富山県山間部の気候の延長域にあるといえる。吉野正敏は、中部地方の気候区を6区50亜区に分けているが（吉野、1972）、この区分に依れば、当該地域は、気候区Ⅳ「中央日本多雪気候」の、亜区c2「高山盆地」にではなく、亜区

c1「富山県南西部地域」に含まれる。当該区分のⅣc1は、「冬には雪が多く、春にはフェーン現象を伴う南風による融雪が著しい」地域である。以下に述べる植生の配置もこの気候条件を反映したのとなっており、本質的には富山県南部の山間域とほぼ等質のものとなっている。

なお、上記の年平均気温・年平均降水量・年平均積雪量雨量換算の数値は、宮川村大字丸山の観測点（標高約390m）における1980（昭和55）年から1994（平成6）年までの15年間に観測された最高気温年平均値と最低気温年平均値、同年間降水量と年間積雪換算雨量の資料（関西電力笹津制御所宮川分室）をもとに算出したものである。また、平均最大積雪深の数値は、宮川村大字林の観測点（標高約410m）における1980（昭和55）年から1994（平成6）年までに観測された年最大積雪深の資料（宮川村建設課）から算出した15年間の平均値であり、30年間平均（1967（昭和42）年から1996（平成8）年まで）では146.2cmとなる。

### 3 現存植生

宮川村域は、比高1000m程の山稜と谷底を、比較的急峻な山岳斜面が僅か数kmで接続しているような地勢を擁し、現存植生もこれを反映したものとなっている。また、宮川村から河合村にかけては古くから焼畑（なぎ畑）が盛んな地域で、例えば明治初期には一戸あたりの焼畑面積が1町以上の地区が少なからず認められ（上島、1956）、これ以外の飛騨地域と比較しても焼き畑による山岳斜面の利用面積が広い地域であった。さらに、製炭のための森林伐開による定期的な干渉があり、これらのことが現存植生に大きな影響を与えてきた。

したがって、標高300～1000m（現在は～800m）にわたる集落立地域周辺一帯には、ほとんど天然林は存在しない。これらの地域は現在、クリーコナラ群集の優占する二次林域となって、時にクヌギを伴う場合がある。このほか、常緑針葉樹二次林として、ユキグニミツバツジ・アカマツ群集、ヤマツツジ・アカマツ群集があり、山脚をなす支稜上部に断片的な小林域を形成している。ヤマツツジ・ネジキほかのツツジ科植物、コシアブラ、ヤマウルシ、リョウブ、コナラなどを伴うが、全体にブナ林下層の構成種をふんだんに含んでいる。また、クリーミズナラ群集の断片と推定されるような植分もあるが、人為的影響を強く被っているために詳細は不明である。この領域では、かつて焼畑の休閑期樹種として、カワラハンノキが好んで植栽されたようであるが（宮川村史編纂委員会編、1981）、当該樹種の優占する林域はほとんど認められず谷斜面などに断片が残存するのみである。これらの領域は、本来ブナ林が卓越する場所であったと考えられる。

これら二次林域以高には、ブナ林が広い面積にわたって分布する。植物社会学的には、ヒメアオキーブナ群集のヤマソテツ亜群集、ユキツバキ亜群集が代表的で、稜線部に近い山岳斜面にはツバメオモト亜群集も認められる。また、オオバクロモジ・ミズナラ群集も認められるが、局所的な分布に留まっている。

これらの林域以高では、山岳斜面上部にはチシマザサ・ダケカンバ群集が、稜線部または稜線部直下の緩斜面にはアカミノイヌツゲ・クロベ群集も分布するが、いずれも断片的で、その分布域は限られたものとなっている。

一方、山地溪谷地、宮川の谷斜面下部にはチャボガヤケヤキ群集が断片的に認められ、単木的にアサダを伴う場合がある。また、宮川の小枝谷には溪畔林としてジュウモンジシダーサワグルミ群集が、宮川流域にホツツジクマシデ群集が散点的に立地している。

断片的に、またしばしば単木としてトチノキ（ジュウモンジシダートチノキ群集）やカツラが認められる。

常緑広葉樹では、ウラジログシとシラカシとがあり、少数個体が宮川流域の急斜面に、前者は断続分布、後者は孤立分布するが、林域を形成することはない。

なお宮川村は、岐阜県におけるイヌブナの分布北限域を北に外れており、イヌブナは現在分布していない。飛騨地方北部のイヌブナの分布域は高山市以南となる。

宮ノ前遺跡周辺は、水田を中心とする耕作地となっており、宮川運動公園を載せ、終端に神明神社を置く直近に張り出した枝稜の斜面部分にはクリーコナラ林が立地して、ミズナラを伴う。これ以遠もほとんどがコナラ、ミズナラ、クリなどからなる二次林域である。

#### 4 遺跡および供試料

宮ノ前遺跡は、先に述べたように、旧石器時代後期から歴史時代に至る遺構・遺物が検出される複合遺跡である。遺跡全体では数次にわたる発掘調査が成されているが、今回は、平成2年および平成5～6年に発掘対象となった前田地点出土の種実遺体を検討の対象とした。当該前田地点は、96×12mの矩形を成す領域で、その長軸は南西－北東方向（N46°E）に延びる。詳細は、第2章の第2図を参照されたい。

前田地点では、旧石器時代末期（細石刃包含層：第17層）、縄文時代早期（沢式土器包含層：第12層）、および縄文時代中期（第7層）の堆積物から多量の種実遺体が出土している。これら3層以外の各層においては、当該遺体の出土はわずかであったことから、今回は、当該3層の堆積物から得られた試料を中心に検討を加えた。

旧石器時代末期の試料は、種実遺体とともに出土する考古遺物によって細石刃文化期の古段階のものとして判断されている。遺物包含層は、青灰白色のシルトおよび極細砂、場所によっては細粒砂までの砂粒成分によって構成され、ほとんど礫を含まない。トウヒ属の毬果と材遺体を多く含むが、小型の植物遺体は、多量の材遺体の破片以外に含有量はわずかである。出土地点は発掘域の北東部分に偏在し、発掘域の過半部においては当該層は分布していないことが確認されている。

縄文時代早期の試料は、胎土に黒鉛を多量に含有する沢式土器の破片を包含する層準から検出されている。当該包含層は、発掘域中央部にある程度の広がり（長径約36m）を持って確認されている層厚10～25cmの比較的薄い層で、有機物に富み、黒色の腐泥状の粘土またはシルトから成り、礫を含まず、大量の材遺体（図版12参照）を包含している。また、木炭と黒鉛の微小破片を少なからず含んでいる。オニグルミの核が当該層分布域のほぼ全面にわたって検出され、発掘時に現地ですべて採取されたが、これ以外に現地にて種実遺体として採取された試料はない。大きさが数mm以下の小型の種実遺体は、不均質に分布していると推定され、試料によっては、水洗篩別で容易に検出される場合と否とがあった。

縄文時代中期の考古遺物包含層は、遺跡発掘域の南西部に広く分布するが、今回、検討を加えた試料のほとんどは、平成5～6年の発掘域南西端に検出された湧水ポットの中の堆積物から得られたものである。この湧水ポット（図版11参照）は後述するように、自然の地形構造であるが、その肩部には人為的な改変が加えられた可能性が指摘されている。ポット内の堆積物は、粗粒～中粒の砂粒成分に富む明褐色から明黄褐色の砂層からなり、不明瞭な層構造を成す。部分的にシルト質砂層を認めるが、全体にシルト、粘土など細粒成分の含有量は少ない。

また、これとは別に、平成2年の発掘によってB2区（前田地北東端の調査区）の縄文時代中期後葉層準から、土坑が検出され、その覆土内からオニグルミの核が検出されている。今回、この試料も併せて検討した。

## 5 種実遺体の検出・同定

今回検討の対象となった種実遺体は、遺跡発掘時に、現地で手によって採取された試料と、堆積物試料の水洗篩別とによって検出された試料である。当該検討試料のうち、大型の試料、例えば、オニグルミ核、トチノキ種子、クリ堅果、コナラ属堅果などの多くが、現地における手による採取によってもたらされたものである。

水洗篩別に用いた堆積物試料は、考古遺物の水洗選別による検出を目的に、現地にて、出土区と各層位ごとに採取、袋詰めされたものである。これら堆積物試料の一部を種実遺体の検出に利用した。遺体の検出には、ガーゼを重ね置きした opening ca. 1mm の金属篩による水洗篩別の方法を用いた。今回の一連の作業全体で、20ℓを超える堆積物試料を水洗篩別に供した。得られた砂粒成分を含む篩別残分を、シャーレに移して検鏡し、種実遺体を検出した。被検体は、可能な限り現生標本との比較を加えて、その同定を試みた。

## 6 結果

種実遺体の検出結果を、第1～4表に掲げる。旧石器時代末期（細石刃包含層：第17層）からは3科10分類群を、縄文時代早期（沢式土器包含層：第12層）からは15科18分類群を、縄文時代中期（第7層）からは18科26分類群を、それぞれ検出した。全体では、今後の精査を必要とするものを含めて、23科44分類群が確認された。

旧石器時代末期（細石刃包含層：第17層）では、検出された遺体のほとんどがマツ科植物で、なかでもトウヒ属に含まれる被検体が多数確認されている。マツ科植物以外では、ハンノキ亜属とミツガシワが検出されたのみである。

縄文時代早期（沢式土器包含層：第12層）では、発掘時に現地で採取されたオニグルミを多数確認したが、これ以外に現地で確認採取された試料はなく、オニグルミの核以外はすべて堆積物の水洗篩別によって検出されたものである。植物の組織片、木材の破片などが多量に認められたが、水洗篩別によっても種実遺体の検出量は全体に少ない傾向にある。そのうち、水洗篩別によって普通に認められたものに、コナラ亜属、コブシ、サルナシ属、マタタビ？、キハダ、タラノキ？がある。この層における種実遺体の遺存状態はきわめて悪く、オニグルミも水洗篩別によって検出された遺体も何らかの破損を被っているものが多い。また、水洗篩別によっては木炭の微

第1表 宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 旧石器時代末期、細石刃包含層：第17層

分類群	検出部位	検出量*
<b>Pinaceae</b> マツ科		
<i>Pinus koraiensis</i> Sieb. et Zucc. チョウセンゴヨウ	種子	+
<i>Abies</i> sp. モミ属	針葉	+
<i>A. veitchii</i> Lindley シラビソ	果片	+
<i>Picea</i> sp. トウヒ属	毬果	++
<i>P.</i> (Sect. <i>Eupicea</i> ) sp. ハリモミ節	毬果	++
	針葉	+
<i>P.</i> (Sect. <i>Omorica</i> ) sp. トウヒ節	毬果	++
<i>P. jezoensis</i> (Sieb. et Zucc.) Carr. エゾマツ (トウヒ)	毬果	+
<i>Tsuga</i> sp.? ツガ属?	針葉	+
<b>Betulaceae</b> カバノキ科		
<i>Alnus</i> (Subgen. <i>Alnus</i> ) sp. ハンノキ亜属	果鱗	+
	果実	+
<b>Menyanthaceae</b> ミツガシワ科		
<i>Menyanthes trifoliata</i> L. ミツガシワ	種子	+

\*被検体数（個体数ではない）1～10を+、11～100を++、101～を+++で示す。

第2表 宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 縄文時代早期、沢式土器包含層：第12層

分類群	検出部位	検出量*
<b>Juglandaceae</b> クルミ科		
<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. オニグルミ	核	+++
	核裂片	++
<b>Betulaceae</b> カバノキ科		
<i>Alnus</i> (Subgen. <i>Alnus</i> ) sp. ハンノキ亜属	果実	+
	果鱗	+
<b>Fagaceae</b> ブナ科		
<i>Q.</i> (Subgen. <i>Lepidobalanus</i> ) sp. コナラ亜属	殻斗	++
<b>Moraceae</b> クワ科		
<i>Morus</i> sp.? クワ属?	種子	+
<b>Magnoliaceae</b> モクレン科		
<i>M. plaecocissima</i> Koidz. コブシ	種子	++
<b>Actinidiaceae</b> サルナシ科		
<i>Actinidia</i> sp. サルナシ属 (不明)	種子	++
<i>A. polygama</i> (Sieb. et Zucc.) Planch. et Miq.? マタタビ?	種子	++
<b>Rutaceae</b> ミカン科		
<i>Phellodendron amurense</i> Ruprecht キハダ	種子	++
<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) D.C. サンショウ	種子	+
<b>Hippocastanaceae</b> トチノキ科		
<i>Aesculus turbinata</i> Blume トチノキ	幼種子	+
	越冬芽	+
<b>Rhamnaceae</b> クロウメモドキ科		
<i>Berberchia</i> sp. クマヤナギ属	核	+
<b>Cornaceae</b> ミズキ科		
<i>Cornus controversa</i> Hemsl. ミズキ	核	+
<b>Araliaceae</b> ウコギ科		
<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann? タラノキ?	種子	++
<b>Styracaceae</b> エゴノキ科		
<i>Styrax japonica</i> Seib. et Zucc.? エゴノキ?	種子	+
<b>Caprifoliaceae</b> スイカズラ科		
<i>Sambucus racemosa</i> L. ニワトコ	種子	+
<b>Gramineae</b> イネ科		
Gramineae-indet. イネ科 (不明)	果実	+
<b>Cyperaceae</b> カヤツリグサ科		
Cyperaceae-indet. カヤツリグサ科 (不明)	果実	++
<i>Carex</i> sp.? スゲ属?	果実	+
<i>Scirpus</i> sp.? ホタルイ属?	果実	++

\*被検体数（個体数ではない）1～10を+、11～100を++、101～を+++で示す。

第3表 宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 縄文時代中期、湧水ポット

分類群	検出部位	検出量*
<b>Cephalotaxaceae</b> イヌガヤ科		
<i>Cephalotaxus harringtonia</i> Sieb. et Zucc. イヌガヤ	種子	++
<b>Taxaceae</b> イチイ科		
<i>Torreya nucifera</i> (L.) Sieb. et Zucc. カヤ	種子	++
<b>Juglandaceae</b> クルミ科		
<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. オニグルミ	核	++
	核裂片	++
<i>J. mandshurica</i> var. <i>cordiformis</i> (Makino) Kitamura ヒメグルミ	核	+
<b>Betulaceae</b> カバノキ科		
<i>Corylus</i> sp. ハシバミ属 (ハシバミ?)	堅果	+
<b>Fagaceae</b> ブナ科		
<i>Quercus</i> sp. コナラ属	堅果 (果皮)	++
	越冬芽	++
<i>Q.</i> (Subgen. <i>Lepidobalanus</i> ) sp. コナラ亜属	堅果	+++
	殻斗	++
	幼果	+
<i>Q.</i> (Subgen. <i>L.</i> Sect. <i>Prinus</i> ) sp. コナラ節	堅果	+
<i>Castanea crenata</i> Seib. et Zucc. クリ	堅果	+++
<b>Magnoliaceae</b> モクレン科		
<i>Magnolia obovata</i> Thunb. ホオノキ	種子	++
<i>M. plaecocissima</i> Koidz. コブシ	種子	+++
<b>Rosaceae</b> バラ科		
<i>Prunus</i> sp. サクラ属	核	+
<b>Leguminosae</b> マメ科		
<i>Wisteria</i> sp. フジ属	越冬芽	+
<b>Hippocastanaceae</b> トチノキ科		
<i>Aesculus turbinata</i> Blume トチノキ	種子	++
	幼果	++
	幼種子	+
	外果皮	+
<b>Rhamnaceae</b> クロウメモドキ科		
<i>Berchemia</i> sp. クマヤナギ属	核	+
<b>Vitaceae</b> ブドウ科		
<i>Vitis</i> sp. ブドウ属	種子	+
<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Maxim.) Trautv. ノブドウ	種子	+
<b>Cucurbitaceae</b> ウリ科		
<i>Lagenaria siceraria</i> Standl. ヒョウタン	種子	+
<b>Cornaceae</b> ミズキ科		
<i>Cornus macrophylla</i> Wall. クマノミズキ	核	++
<i>C. controversa</i> Hemsl. ミズキ	核	++
<b>Araliaceae</b> ウコギ科		
<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann? タラノキ?	種子	+
<b>Styracaceae</b> エゴノキ科		
<i>Styrax japonica</i> Seib. et Zucc. エゴノキ	種子	+++
<i>S. japonica</i> Seib. et Zucc.? エゴノキ?	種子	++
<i>S. obassia</i> Seib. et Zucc.? ハクウンボク?	種子	+
<b>Menyanthaceae</b> ミツガシワ科		
<i>Menyanthes trifoliata</i> L. ミツガシワ	種子	+
<b>Caprifoliaceae</b> スイカズラ科		
<i>Sambucus racemosa</i> L. ニワトコ	種子	+
<b>Cyperaceae</b> カヤツリグサ科		
<i>Carex</i> sp.? スゲ属?	果実	+

\*被検体数 (個体数ではない) 1~10を+, 11~100を++, 101~を+++で示す。

第4表 宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成 縄文時代中期、土坑

分類群	検出部位	検出数*	
		第1号土坑	第2号土坑
<b>Juglandaceae</b> クルミ科			
<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. オニグルミ	核	63/-**	262/-**
	核裂片	13/9	48/3
<b>Hippocastanaceae</b> トチノキ科			
<i>Aesculus turbinata</i> Blume トチノキ	種子	0/0	3/0

\*検出数の表記は、「被検体完形と破損の合計数/被検体破片の数」で示す。

\*\*オニグルミの核では、裂片を記載対象としているので、「核の破片」に該当する被検体は存在しない。

小さな破片、黒鉛の微小塊が普通に認められた点には、留意する必要がある。

縄文時代中期（第7層）では、カヤ、オニグルミ、コナラ亜属、クリ、ホオノキ、コブシ、エゴノキ、クマノミズキ、ミズキなどが多出している。特にオニグルミ、コナラ亜属、クリ、コブシ、エゴノキの検出数は100点を超えている。このうちオニグルミの多出は土坑からの検出数が多いことによっている。木本の分類群が多く、草本の分類群は少ない。1点のみであるがヒョウタン（ヒョウタン類）の種子が検出されている点は注目される。遺存状態は概ね良好であった。

以下に、各分類群の検出状況を記述する。

### 1) チョウセンゴヨウ

種子が2点、旧石器時代末期の第17層から検出された。翼は失われている。表面は損耗しており、遺存状態は必ずしも良くはない。同層から水洗篩別された未検討試料中にマツ属の針葉と思われるものが含まれるが、現在まで同定に至ったものはない。縄文時代の堆積物からも一切確認されず、今回この遺跡で検出されたチョウセンゴヨウは、この種子のみである。

これまでに、飛騨北部を含む北陸地方の遺跡からチョウセンゴヨウが検出された事例は筆者の知る限り見あたらない。

現在、チョウセンゴヨウは、岐阜県においては、その分布が東側に偏在し、飛騨北部には稀に分布するというが、宮川村一帯での自生を筆者は確認していない。最も近い自生地は筆者の知る限り、高山市東端の日影平山である（長瀬、1987）。

### 2) モミ属

モミ属では、モミ属（不明）と次に述べるシラビソが検出されている。不明のモミ属遺体としては、針葉1点が旧石器時代末期の第17層から検出されている。遺存状態は良くない。この他にも水洗篩別試料中にモミ属の針葉を疑う試料は存在しているが、同定するに至っていない。

現在、岐阜県北部には、モミ属植物として、モミ、ウラジロモミ、シラビソ、オオシラビソが分布している。宮川村域では、これまでにモミとウラジロモミの分布以外、筆者は確認していない。ウラジロモミは白木峰とニコイ湿原付近の山岳斜面に、モミは社寺林に見た記憶がある。

### 3) シラビソ

果片（包鱗+種鱗）が1点、旧石器時代末期の第17層から検出された。遺存状態は良好である。当該被検体以外にシラビソは検出されていない。これまで飛騨北部を含む北陸地方の遺跡からシ

ラビソが検出された事例はない。

現在、宮川村域にシラビソの自生は確認されていない。万波に自生すると言う情報もあるが確認されていない。飛騨北部においては、西側の両白山地と東側の飛騨山脈西部にその自生が知られており、宮川村に隣接する河合村の初糠山（河合村ー白川村村境）にはシラビソが分布している。

#### 4) トウヒ属

毬果と針葉が、旧石器時代末期の第17層から検出された。特に毬果が多く、トウヒ属全体で100点に近い毬果が検出されている。必ずしも遺存状態は良好とはいえ、毬果表面が損耗しており、多くの被検体では、程度の差はあるものの種鱗縁辺が失われている。時間の制約から十分な精査を成し得ていないが、ハリモミ節の毬果10数点、トウヒ節の毬果20数点を区分した。トウヒ節の毬果のうち、遺存状態のおおむね良好な毬果の果片を現生標本と比較検討したところでは、エゾマツまたはトウヒに区分しうるように見える被検体も認められたが、なお同定には疑問が残るため、これらはエゾマツ（トウヒ）として一括した。トウヒ節としたものは精査を加えていない被検体である。

針葉では、ハリモミ節の針葉を1点検出しているが、トウヒ節の針葉は現在まで検出されていない。ただし、針葉の検討は現時点できわめて不充分であるため、検出されている針葉樹の針葉全体の組成は不明である。

以上述べたとおり、多くの被検体について個々に種を決定するには至っていないが、恐らくは、3種以上のトウヒ属が認められると推定される。トウヒ属の遺体に関する詳細に関しては、今後、更なる検討が必須であると判断される。

現在、飛騨北部にはトウヒが分布し、宮川村域にも自生するというが、筆者はこれを確認していない。

#### 5) ツガ属？

旧石器時代末期の第17層から針葉が1点確認されているが、遺体の状態が悪く断定するに至らなかった。現在までのところ、毬果等は検出されていない。小枝の試料中にツガ属を疑う被検体は存在するが未検討であるため表からは省いた。

現在、ツガ属では、岐阜県内のほぼ全域にツガとコメツガの分布を認める。宮川村域でも、両者を認めるという。宮川村域はほぼツガ分布域の北西限域となっており、村域を迂回するように分布域は北と西に延長している。筆者は宮川村域にツガの自生を確認していない。コメツガはブナ帯上部域から散点的に認められるが、個体数は多くはない。

#### 6) イヌガヤ

縄文時代中期の湧水ポットから、種子10数点が検出されている。遺存状態の良い場合には、種衣を伴うことがあるが、今回検討したいずれの被検体にも種衣の残存は認められなかった。イヌガヤ (*Cephalotaxus harringtonia*) の変種ハイイヌガヤ (*C. harringtonia* var. *nana*) の種子である可能性もあるが、種子の形態から変種を同定するのは困難で、イヌガヤ（種）として記載した。



次に述べるカヤとともに、北陸地方における縄文時代の遺跡からはしばしば検出される種である。

現在、宮川村域一帯にはハイヌガヤが広く自生する。地元ではヒヨビと呼称し、この種子から油を採ることが行われてきた（宮川村史編纂委員会編、1981）。なお、イヌガヤは、宮川村域を含む岐阜県北部には自生しない。

#### 7) カヤ

縄文時代中期の湧水ポットから、種子20数点が検出されている。遺存状態はやや良好で、若干破損の著しい被検体を含み、一部に不自然とも考えられる破断が認められたが、人為による破断と断定は出来ない。

カヤ (*Torreya nucifera*) には、いくつかの変種があり、現在の宮川村域にはチャボガヤ (*T. nucifera* var. *radicans*) が広く分布している。これに対して高山盆地以南に認められるカヤの自生は筆者の知る限り知られていない。植栽されたものはあるようである。

チャボガヤは、カヤに比べて種子が短いといわれる（佐竹、1989）。現生標本の比較によれば、確かにその傾向は認められるようだが、変異は連続的で、種子の大きさをもってカヤとチャボガヤを変種レベルで峻別するのは困難と判断し、カヤ（種）にまとめて記載した。

#### 8) オニグルミ

多数の核及び核裂片が、縄文時代早期の第12層（沢式土器包含層）上部全面、および中期の第7層、土坑と湧水ポットから検出された。早期の第12層と中期の土坑からの出土は特に多く、ともに、検出量は100点を優に超える。中期の第7層と湧水ポット堆積物由来の試料にもオニグルミの核は普通に認められたが、前二者に比して検出量は少ない。この他に、中期の湧水ポットから、核の形態によって、変種ヒメグルミ (*J. mandshurica* var. *cordiformis*) の核1点を記載した。

核は、核完形で出土したものが多く、割れて核裂片で出土したものはオニグルミ核全検出量の30%程度である。早期の被検体は遺存状態が頗る悪く、脆化の進んでいるものが多く認められた。中期の被検体は遺存状態は良好で核頂端をよく残すものが多数認められた。

中期の土坑から検出された試料については、後に記述する。

なお、当該遺跡の発掘調査途上、旧石器時代の出土物の中にオニグルミの核裂片が含まれる旨の報道発表がなされたが、これは、その後の調査の進捗によって、第17層の出土物ではなく、その直上の第16層（縄文時代草創期）のものであることが判明している。当該試料の遺存状態は悪く、脆化が進んでいる。当該層から出土した種実遺体は、これ1点のみである。

オニグルミは現在、宮川の河畔や枝谷の山脚斜面一帯に広く認められ、時に小規模な一斉林を成すが、ヒメグルミの自生は稀である。両者ともに、現在なお伝統的な利用および処理の事例が宮川村には残っているが、近年、次第に失われつつある。

#### 9) ハンノキ亜属

果鱗と果実が、旧石器時代末期の第17層と縄文時代中期の湧水ポットから、ともに数点検出された。果鱗の形態からハンノキ亜属と判断し、果実はこれに密着して検出されたため、同様にハンノキ亜属とした。恐らく果序が分解したものと判断される。

現在の宮川村域に自生するハンノキ亜属には、ハンノキ、ヤマハンノキ、カワラハンノキ、ヤハズハンノキなどが知られる。ハンノキ、ヤハズハンノキの分布は限られるが、これ以外はほぼ普通に認められる。

#### 10) ハシバミ属 (ハシバミ?)

縄文時代中期の湧水ポットから堅果の破片1点が検出された。遺存状態は不良であるが、破片には臍点の一部が残存している。その大きさと形態を現生標本と比較して、ハシバミを推定したが、断定するには至らなかった。

現在、飛騨北部にはハシバミもツノハシバミも分布しているが、宮川村域ではツノハシバミが広く自生し、ハシバミの自生は多くはない。

#### 11) コナラ属

縄文時代早期と中期の堆積物から、堅果、殻斗、幼果、越冬芽が検出されている。早期の堆積物からはコナラ亜属の殻斗10数点を確認しているのみで、これ以外の遺体はすべて縄文時代中期の堆積物から得られた。特に中期の湧水ポットからは多数の堅果と殻斗が検出されている。現時点で十分な検討を加え得ていないため、コナラ亜属としたが、その多くはコナラ節の堅果と殻斗であると思われる。なお、アカガシ亜属は現在まで確認されていない。

現在、宮川村域では、山岳斜面のブナ林内にミズナラが広く自生し、当該斜面下部の人為的な影響を強く受けてきた二次林にはコナラが分布している。コナラの分布は非常に多い。宮川村域では、ミズナラの堅果とともに食用に用いてきた(宮川村史編纂委員会編、1981)。クヌギも自生するが、宮川村域に多くはない。

アカガシ亜属では、ウラジロガシ・シラカシの自生を認めるが分布が局限されることは、先に述べたとおりである。

#### 12) クリ

100点を超える堅果が縄文時代中期の湧水ポットから検出されている。遺存状態は必ずしも良好とはいえないが、完形または軽度に破損した状態で検出されたものも30点を超える。時間の制約から形状は未計測であるが、現生の自生種の堅果と比べて、大きさに差異はないように見うけられた。なお、旧石器時代末期の第17層と縄文時代早期の第12層からはクリは検出されていない。また、炭化した子葉は一切検出されていない。詳細は別稿に譲る。

現在、飛騨地方北部での自生は多く、宮川村域にも普通に認められる。

#### 13) クワ属?

クワ属と推定される種子が1点、縄文時代早期の堆積物から検出された。遺存状態が悪く破損して、表面が若干損耗しており、断定するには至らなかった。

現在、宮川村域にはヤマグワが普通に分布している。

#### 14) ホオノキ

縄文時代中期の湧水ポットの堆積物から種子が30点程度検出された。遺存状態はやや良好で破片として検出された被検体はわずかである。旧石器時代末期と縄文時代早期の堆積物からは未検

出である。

現在、宮川村域に普通に自生が認められる。

#### 15) コブシ

縄文時代早期と中期の堆積物から種子が検出された。特に中期の湧水ポットの堆積物からは150点を超える種子が確認されている。コブシには変種キタコブシ (*M. var. borealis*) があるが、種子の形態からこれを峻別するのは困難で、コブシ (種) として記載した。

キタコブシは宮川流域に自生が認められる。

#### 16) サルナシ属

縄文時代早期の堆積物から種子が確認されている。遺存状態が悪く、破損または種皮の断片として検出されたものが多く、今後に検討を要する。サルナシと同定された被検体はないが、マタタビと判断される被検体が10数点あり、断定するに至らなかったためマタタビ?とした。

マタタビ・サルナシとも宮川村域では普通に認められる。宮川村では若い果実を塩蔵して食用に、サルナシはシラクチフジと称して蔓を、それぞれ利用してきた (宮川村史編纂委員会編、1981)。

#### 17) サクラ属

核が1点のみ、中期の湧水ポットから検出された。

現在、宮川村域には、オオヤマザクラ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ、カスミザクラ、キンキマメザクラ、オクチョジザクラなどの自生が確認されている。イヌザクラ、シウリザクラが自生するとの情報もあるが、筆者は確認していない。

#### 18) フジ属

越冬芽が2点、中期の湧水ポットから検出された。現在、宮川村域にはフジが広く自生しているが、個体数は多くはない。

#### 19) キハダ

縄文時代早期の堆積物から種子が20数点確認された。完形で検出された被検体も多いが、必ずしも遺存状態はよくなく、完形のものもほとんどが表面に損耗を受けている。

個体数は必ずしも多くはないが、飛騨北部では現在、ほぼ全域にわたって自生が認められる。

#### 20) サンショウ

縄文時代早期の堆積物から種子が数点確認された。現在、宮川村域にはサンショウは広く自生しているが、個体数は多くはない。伐開跡地などに多数の若木が生育している事例がある。

#### 21) トチノキ

縄文時代早期の堆積物から幼種子と越冬芽が、中期の湧水ポットの堆積物から種子・幼種子・幼果・外果皮片がそれぞれ検出された。中期からの試料では種子と幼果が多く認められ、種子は、種皮の破片となって検出されたものが多くを占める。割れ方も不自然で、その遺存状況から、中期出土の種皮に関しては人為的な利用に依るのではないかと判断される。早期からの幼種子と越冬芽は僅かな個体が検出されたに過ぎず、成熟した種子や外果皮裂片は検出されていない。

トチノキは現在、宮川村域に普通に認められ、個体数も多い。種子の利用はかつて普通であったというが、現在ではほとんど行われていない。

22) クマヤナギ属

核が縄文時代の早期と中期から、数点ずつ検出された。現在、宮川村域にはミヤマクマヤナギが自生する。

23) ブドウ属

種子が数点、縄文時代中期の湧水ポットから検出された。現在、宮川村域では、ヤマブドウが広く自生する。エビヅルも自生するというが筆者は確認していない。

24) ノブドウ

種子が数点、縄文時代中期の湧水ポットから検出された。現在、宮川村域では、ノブドウが耕作地や河岸縁辺を中心に広く自生している。

25) ヒョウタン

ヒョウタン（ヒョウタン類）の種子が1点、縄文時代中期の湧水ポットから検出された。今回の発掘で確認された唯一の栽培植物である。北陸地方では、縄文時代からの検出例は珍しくなくなったが、恐らく飛騨北部では今回が初例となる。これまで飛騨北部に検出例がなかったのは、植物遺体を検討する必要の生じるような発掘が、これまでになかったためかとも思われ、今後の飛騨北部での縄文時代遺跡の調査においては、留意されるべきであろう。

26) クマノミズキ

核が10数点、縄文時代の湧水ポットから検出されている。クマノミズキは現在、宮川村域に自生しているが、ミズキに比べて個体数は少ない。

27) ミズキ

核が縄文時代中期の湧水ポットから10数点、早期の堆積物から数点、それぞれ検出されている。ミズキは現在、飛騨北部の全域に分布し、宮川村域にはその自生が普通に認められる。

28) タラノキ?

種子が縄文時代早期の沢式土器包含層から10数点、中期の湧水ポットから1点、それぞれ検出されている。破損するなどして被検体が痛んでおり、なお同定に検討の余地を残すことからタラノキ?とした。現在、タラノキは宮川村域に自生し、普通に認められるが、個体数は多くない。

29) エゴノキ・エゴノキ?

100点を超えるエゴノキの種子が縄文時代中期の湧水ポットから検出されている。また、エゴノキと推定される種皮の破片が早期の沢式土器包含層と中期の湧水ポットから確認された。同定の困難な破片が多く、断定するに至っていないので疑問符を付した。

現在、エゴノキは宮川村域に普通に自生が認められ、遺跡周辺にも分布している。

30) ハクウンボク?

種子が10数点、縄文時代中期の湧水ポットから検出されている。エゴノキの種子に比べて大型で、胴部の脹らみが強く、臍点は相対的に小さいが、現生の試料においても峻別し得ない場合が

あるように見え、なお同定に検討の余地を残すことからハクウンボク?とした。

現在ハクウンボクは宮川村域に広く自生するが、個体数は多くはない。

### 31) ミツガシワ

旧石器時代末期と、縄文時代中期の湧水ポットの堆積物から、種子がそれぞれ1点ずつ検出された。ミツガシワは寒冷期層準を指標すると言われ、日本各地の最終氷期の堆積物から報告がなされているが、飛騨地方北部では今回が初例となろう。

現在、宮川村では、ニコイ湿原（標高975m、宮ノ前遺跡との比高547m）にミツガシワの自生があり、大きな群落を形成している。

### 32) ニフトコ

数点の種子が、縄文時代の早期と中期の堆積物から確認されている。早期の被検体は遺存状態が悪く、表面が損耗している。

現在、ニフトコは宮川村域に普通に自生が認められるが、個体数は多くはない。

### 33) イネ科（不明）

果実（小穂）が1点、縄文時代早期の堆積物から検出されている。包穎および護穎縁辺の脈に沿う多数の毛を認める。現時点で詳細を検討しておらず未同定である。

### 34) カヤツリグサ科（不明）・スゲ属?・ホタルイ属?

縄文時代中期の湧水ポットからスゲ属?の果実数点が、早期の沢式土器包含層からスゲ属?の果実数点と、ホタルイ属?と不明のカヤツリグサ科の果実10数点がそれぞれ検出されている。スゲ属?の果実には果胞を伴うものが認められた。現時点で詳細は未検討である。

## 7 種実遺体の性格と遺跡周辺の植生環境について

宮ノ前遺跡における種実遺体の出土状況を第5表にまとめて掲げる。

旧石器時代末期（細石刃包含層：第17層）の種実遺体は、トウヒ属の毬果が多出していることによって特徴付けられるが、種実遺体群集は強く淘汰を受けていると判断され、遺跡周辺の植生環境を推定することは必ずしも容易ではない。随伴する分類群を併せて判断すると、当時、附近には亜寒帯の針葉樹林が成林していたものと推定される。ただし、その規模、落葉広葉樹の混交の度合いなどに関しては不明である。また、ミツガシワの存在を勘案すると、浅い沼沢地的な環境も存在したであろうと判断されるが、わずか1点の検出に留まっており、遺跡の当該地点附近がそのような場所であったとは即断できない。

いずれにせよ、種実遺体群集は寒冷期を指標する典型的な分類群の構成になっている。このような種実遺体の検出は、飛騨北部に於ける、恐らくは最初の事例と考えられる。通常、段丘上の遺跡においては植物遺体が遺存しにくく、削剥期であった旧石器時代では特に植物遺体の検出は困難となる。宮ノ前遺跡において植物遺体が遺存しえた背景には跡津川断層の活動が深く関わっているのではないかと判断される。縄文時代の堆積物も、遺存環境に関して何らかの跡津川断層の影響を被っていると推定される。なお、細石刃包含層の第17層から出土したトウヒ属毬果から、 $14550 \pm 160$ yBPの $^{14}\text{C}$ 年代が得られている（第6章第1節参照）。

第5表 宮ノ前遺跡から検出された種実遺体の分類群組成

分類群	検出部位	出土量*			現在の分布**	
		旧石器末期	縄文早期	縄文中期		
マツ科	チョウセンゴヨウ	種子	+			
	モミ属	針葉	+		○	
	シラビソ	果片	+			
	トウヒ属	毬果	++		○	
	ハリモミ節	毬果	++			
		針葉	+			
	トウヒ節	毬果	++		○	
	エゾマツ (トウヒ)	毬果	+		(○)	
	ツガ属?	針葉	+		○	
	イヌガヤ科	イヌガヤ	種子		++	○
イチイ科	カヤ	種子		++	○	
クルミ科	オニグルミ	核		+++	○	
		核裂片		++		
カバノキ科	ヒメグルミ	核		++	○	
	ハンノキ亜属	果鱗	+	+	○	
		果実	+	+		
ブナ科	ハシバミ属 (ハシバミ?)	堅果		+	○	
	コナラ属	堅果 (果皮)		++	○	
		越冬芽		++		
	コナラ亜属	堅果		+++	○	
		殻斗		++		
	コナラ節	幼果		+		
	クリ	堅果		+	○	
クワ科	クワ属?	種子		+++	○	
モクレン科	ホオノキ	種子	+	++	○	
	コブシ	種子		+++	○	
サルナシ科	サルナシ属 (不明)	種子		++	○	
	マタタビ?	種子		++	○	
バラ科	サクラ属	核		+	○	
マメ科	フジ属	越冬芽		+	○	
ミカン科	キハダ	種子		++	○	
	サンショウ	種子		+	○	
トチノキ科	トチノキ	種子		++	○	
		幼果		++		
		幼種子		+	+	
		外果皮			+	
		越冬芽		+		
クロウメモドキ科	クマヤナギ属	核		+	○	
ブドウ科	ブドウ属	種子		+	○	
	ノブドウ	種子		+	○	
ウリ科	ヒョウタン	種子		+		
ミズキ科	クマノミズキ	核		++	○	
	ミズキ	核	+	++	○	
ウコギ科	タラノキ?	種子		++	○	
エゴノキ科	エゴノキ	種子		+++	○	
	エゴノキ?	種子		++	○	
	ハクウンボク?	種子		+	○	
	ミツガシワ科	ミツガシワ	種子	+	+	○
スイカズラ科	ニワトコ	種子		+	○	
イネ科	イネ科 (不明)	果実		+		
カヤツリグサ科	カヤツリグサ科 (不明)	果実		++		
	スゲ属?	果実		+	○	
	ホタルイ属?	果実		++	○	

\*被検体数 (個体数ではない) 1~10を+, 11~100を++, 101~を+++で示す。

\*\*属以下の分類群で、当該属に属する種、または当該種が宮川村域に自生するものに○を付した。

縄文時代早期（沢式土器包含層：第12層）では、第5表に示すとおり、遺跡周辺の植生環境は、旧石器時代末期とは一変して冷温帯落葉広葉樹の卓越する時代になっていたことが解る。この時代すでに現在の宮川村一帯の植生に近いものが立地していたと考えて問題はないと判断される。第12層出土のオニグルミ核の<sup>14</sup>C年代は、8110±110yBPの値を示す（第6章第1節参照）。

標高を異にするため、単純な比較は難しいが、河合村－白川村村境に位置する天生湿原（標高約1300m）において花粉分析がなされている。この報文（八木、1978）によると、当該地域では晩氷期からすでにブナ林が成林を始めている。飛騨北部における、亜寒帯針葉樹林と冷温帯落葉広葉樹林との交代は、縄文時代早期以前の比較的早い時代に始まり早期までには完了していた可能性がある。

また、伐開跡地や森林のギャップなど、攪乱を受けた環境に進出する分類群が少なからず認められ、遺跡周辺では、人為的な干渉圧が高かったのではないかと判断される。

縄文時代中期（第7層）では、これに引き続いて、遺跡周辺には落葉広葉樹林が立地したようである。推定される植生は、冷温帯のもので、早期に比べても現在の宮川村一帯の植生により近いものとなり、現在とほぼ同様の種組成を持つ林域が立地した、と考えても問題はないと判断される。湧水ポットから出土した加工材の<sup>14</sup>C年代は4010±120yBPの値を示す（第6章第1節参照）。

ただし、縄文時代早期と中期から検出された種実遺体の組成の差異については、局地的な植生の変化が大きく影響している可能性が高く、気候の変動に対応した大地域的な変化とは必ずしもいえない部分がある。

次に、ヒョウタンは栽培植物として注目されるが、先に述べたとおり、飛騨地方での今後の発掘の進捗に待ちたい。

土坑出土のオニグルミ核以外に、何れの分類群の被検体に関しても、人為的に何かの利用に供されたと断定されるような出土状況や痕跡は認められなかった。ただし、カヤの種子、クリの堅果、トチノキの種子、エゴノキの種子の一部には不自然とも考えられるような破断が認められ、オニグルミの核裂片の被検体中に熱を受けて炭化したと判断されるものが認められた。食用ほか、何らかの利用が示唆される。

今回は報告を成し得なかったが、特に、クリやコナラ属堅果の出土状況については今後、その全容を把握しておく必要がある。縄文時代中期の湧水ポットは、多目的に利用されたであろうことは論を待たないが、以下に述べる土坑以上に、水晒し場たりえたのではないかと筆者は考えている。湧水ポットから多量に出土したコナラ属の堅果については、水晒しに供された堅果の一部が脱落したものを含む可能性も考慮する必要がある。このことに関しては、出土部位の検出比率、破損の状況やその割合を検討することによって、遺体群集の堆積が人為的な影響を被ったか否かをある程度推定できるのではないかと考えている。

## 8 土坑から出土したオニグルミ核

平成2年の発掘によって、前田地点北東端の調査区、B2区から土坑が検出された。土坑は2基が検出され、それぞれ第1号土坑、第2号土坑と呼称される。覆土内に確認された考古遺物によっ

て、いずれも縄文時代中期後葉のものと考えられている（第4章第1節を参照）。この土坑内から多量のオニグルミ核と少量のトチノキ種子が出土している。当該遺体の検出数を第4表に示す。なお、筆者が宮ノ前遺跡を初回に訪れた時点で当該遺構は掘り上げられており、筆者は遺構検出の状況を実見していない。以下は残された諸試資料と発掘担当者からの教示による。

第1号土坑は、浅い皿状のくぼみで、平面投影の形状が円状不定形をなす。最大径は約230cm、深さは約36cmを測る。覆土内に散在する土器片、石器とともに、60点を超えるオニグルミの核が検出された。発掘担当者に依れば、当該遺構は縄文中期後半のものとして推定され、土坑の形状は、地山の青灰色粘土層を掘り込んだようにも、自然地形のようにも見えたという。覆土は青灰色のややシルト質の砂で、地山に比べてやや暗色を帯びる。

第2号土坑は、木枠のある筒状の遺構で、平面投影の形状はほぼ円形をなす（図版9上参照）。直径は約70cm、深さ40cmを測る。地山の青灰色粘土層に対する明らかな掘り込みで、やや黒みを帯びた青灰色を呈する細粒から中粒の砂が、300点を超えるオニグルミ核および核裂片、3点のトチノキ種子とともに充填されていた。覆土内から検出された考古遺物は粗製土器片1点のみで、時代の推定は難しく、断定は出来ないものの、第1号土坑と同様に縄文時代中期後半と推定されている。木枠は、矢板状に板材を縦に隙間なく並べた筒状の構造を成す。この「筒」には底を形作るような構造は認められなかったという。板材の樹種は現時点で不明である。

なお、発掘担当者に依れば、両土坑とも、土坑内覆土と遺構検出面を覆う層（砂層）との異同は確認が困難であったという。

検出されたオニグルミ核は、核完形（若干の破損個体を含む）で出土したものが多く、第1号土坑で74%、第2号土坑で84%を占める。核裂片で確認された被検体も、裂片で対を成すと思われるものを含み、取り上げの段階以降で二次的に裂片に分離したものも少なくないことを窺わせる。したがって、当該オニグルミ核遺体は、多くが核完形の状態で埋納されたと判断される。遺存状態は良好で、多くの核が鋭尖な核頂端をよく残している。この部分は、現生のオニグルミ核の果皮（包葉と花皮片が肉質化した部分）の除去過程においても容易に失われ、遺跡から検出されるオニグルミ核ではしばしば損耗欠失する部分である。人為的な割砕の痕跡は認められない。

以上のような出土の状況から、当該オニグルミ核は人為的に土坑に納められたと判断される。第1号土坑については一時的な集積所の可能性が高く、第2号土坑は貯蔵を目的としたものであると判断されるが、断定するには至っていない。

一方、トチノキの種子（種皮）は第2号土坑からのみ3個体分が検出された。破損の状態は不自然で、人為的な利用の残滓と判断される。利用された点はほぼ確実と考えられるが、遺存量が僅少で、土坑との関係については判断が難しい。

オニグルミの核が地中に納められる状況としては、民俗事例などから、通常、次の二つが考えられる。まず、利用の前処理として、核を覆う果皮を除去するために土中に埋める場合である。これは現在でも各地に行われており、宮川村でも果皮を除去する際の一般的な方法である（宮川村自分史をつづる会編、1989）。次に、貯蔵を目的として砂に埋める場合がある。北陸地方の一



部に知られているが、飛騨地方でも類似の事例があり、乾いた砂の中に埋めるという貯蔵法の記載もある（石田編、1976）。ただし、宮川村ではこのような民俗事例の採取は現在のところなされてない。

これまでに飛騨地方北部では貯蔵穴と確認された遺構の検出は少なく、オニグルミを多量に出土した例も、矢板状の木杵を持つ例も知られていない。近傍の調査事例には、岐阜県高山市垣内遺跡と同大野郡丹生川村カクシクレ遺跡のピット群がある。前者では、ピット・土壌群の中に数例、ドングリ片が多量に出土した土壌や炭化したクリの出土したピットが報告されている（田中、1991・渡辺、1991）。後者では239基のピット中4基からクリの出土が確認されているが（上嶋、1997）、出土状態・量ほか遺構の性格に関して当該報告書には言及がない。北陸でも富山県小矢部市の白谷岡村遺跡（伊藤・塚田、1995）で検出された貯蔵穴群（縄文中期か？）をはじめとして、いくつかの遺跡から貯蔵穴が確認されているが、これらについても、包蔵された種実は、コナラ属の堅果やトチノキが主で、オニグルミの核のみが多量に検出された例はない。木杵を持つものも知られていない。富山県の南太閤山 I 遺跡で膨大な量のオニグルミ核が縄文時代前期の層準から検出された例はあるが、これは埋納された完形核が特定の遺構から限定的に出土した事例ではなく、可食部分を取り出した後の核裂片残渣の検出である（吉井、1986）。上記カクシクレ遺跡でも「クルミ集中出土地点」が検出されているが（上嶋、1997）、南太閤山 I 遺跡の場合と同様に遺構を伴うものではないようである。

筆者の知る限り、全国的に見てもオニグルミの核のみが多量に埋納された事例は少なく、近年の事例としては、長野県中野市の栗林遺跡がある（岡村、1995）。堅果類は23基の貯蔵穴から得られ、トチ・ドングリ（種別不明）が出土した1基をのぞいて、すべてクルミで占められる、という。このうち4基の貯蔵穴から多量（個体として数えるもので各297/190/196/334）のクルミが出土している（岡村、1995）。宮ノ前遺跡の事例は、これと類似の事例になると判断される。

次に、種実を多量に出土する遺構を検討する上で考慮すべきものに、最近議論される機会の多い水晒し場遺構がある。飛騨北部においては、近年、上記丹生川村のカクシクレ遺跡で水さらし場遺構（縄文晩期）が確認されている（上嶋、1997）。北陸では石川県金沢市の米泉遺跡に類似の事例がある（西野、1989）。この場合は、河底の砂礫層に掘り込まれた土坑で、トチの実を水にさらすということではなく、トチの皮をとりやすくするための施設、と推定されている（西野、1989）。また、代表的なものとして、北海道小樽市の忍路土場遺跡の事例がある（三浦、1989）。この事例では、多くの遺構と遺物がトチの実のアク抜きを伴う食用化技術と密接な関係を持つものとの解釈が可能、と判断され、その重要性が指摘されている（渡辺、1989）。

今回の事例に関しても遺構の検出が成された当初、水晒し場遺構を疑ったようだが、果皮を除去した後の水洗い以外にオニグルミ核を水にさらす必要性も考えにくく、今回の土坑に関しては、水晒し場とは考えにくい。やはり、貯蔵穴と見るのが妥当であろう。

ただし、先の諸事例においては、遺構に伴う流路や湧水の存在、あるいは導水の可能性を示唆する遺物の出土が認められる点に留意する必要があるだろう。導水の可能性を示唆する遺構・遺

物の出土は判然としないものの、当該事例でも土坑の近傍に流路が確認されていることは無視できない。この流路の時代は不明で、土坑との時代関係は特定できないが、土坑と等質の、恐らくは同一の覆土（遺物包含層）によって埋積されていたと考えられおり、一考を要する。当時の地下水位の深度や湧水の状況、埋納の状態（オニグルミ核を充填する砂の由来）などに関して不明の点が多く、これ以上の議論は成し得ないが、水晒し遺構の可能性を完全に否定することはできない。第2号土坑からは僅かにトチノキの種子（種皮）も検出されているが、先述のとおり出土量が僅少で、土坑の性格を推定する試料にはならない。当該遺構と試料については、あるいは、忍路土場遺跡のように、周辺の遺構・遺物の出土状況を見極めながら、その連関を勘案しつつ発掘調査が進められるべきであったのではないかと、思料される。

## 9 まとめ

- 1) 宮ノ前遺跡は、岐阜県最北部の宮川村西忍（標高428m）に所在する旧石器時代後期から歴史時代に至る複合遺跡で、昆虫や植物遺体など、自然遺物が多く出土した。本報告では、同遺跡前田地点の旧石器時代末期、縄文時代早期および中期から出土した種実遺体を検討した。
- 2) 旧石器時代末期（細石刃包含層：第17層）からは3科11分類群を、縄文時代早期（沢式土器包含層：第12層）からは15科18分類群を、縄文時代中期（第7層）からは18科26分類群を、それぞれ検出した。全体では、23科45分類群が確認された。
- 3) 旧石器時代末期からは、マツ科植物、特にトウヒ属の毬果が多数確認された。遺体群集は寒冷期を指標する典型的な分類群の構成になっている。このような種実遺体の検出は、飛騨北部では初例と考えられる。トウヒ属毬果から14550±160yBPの<sup>14</sup>C年代が得られた。
- 4) 縄文時代早期では、多数のオニグルミ核のほか、少量の、コナラ亜属、コブシ、サルナシ属、キハダ、タラノキ?などを検出した。多量の植物組織片・木材片のほか、木炭・黒鉛の微小塊が普通に認められたが、種実遺体の遺存状態はきわめて悪く、検出量は全体に少ない。冷温帯落葉広葉樹が卓越し、この時代すでに現在と類似の植生が立地したと判断される。第12層出土のオニグルミ核の<sup>14</sup>C年代は、8110±110yBPの値を示す。また、攪乱を受けた環境に進出する分類群が認められ、遺跡周辺では、人為的な干渉圧が高かったと判断される。
- 5) 縄文時代中期からは、カヤ、オニグルミ、コナラ亜属、クリ、ホオノキ、コブシ、エゴノキ、クマノミズキ、ミズキなどが多出した。草本は少ない。ヒョウタン類の種子が1点検出された。早期に引き続いて遺跡周辺には落葉広葉樹林が立地し、現在の宮川村一帯により近い種組成を持つ林域が立地したと判断される。湧水ポット出土の加工材の<sup>14</sup>C年代は4010±120yBPの値を示す。
- 6) カヤの種子、クリの堅果、トチノキの種子、エゴノキの種子の一部に、不自然とも考えられるような破断が、オニグルミの核裂片の被検体中に熱を受けて炭化したと判断されるものが認められた。食用ほかの利用が示唆される。
- 7) 前田地点B2区の土坑2基から多量のオニグルミ核と少量のトチノキ種子が出土した。第1号土坑は皿状の窪み、第2号土坑は木枠を持つ筒状の遺構で、ともに縄文時代中期後半のものと推定されている。第1号土坑は一時的な集積所、第2号土坑は貯蔵を目的としたものと判断される。

## 文 献

- 石田秋雄編（1976）：歴史・伝説の上にもみる飛騨の植物、実利編。国府町・国府町教育委員会。
- 伊藤隆三・塚田一成（1995）：平成6年度富山県内の発掘調査から（2）1. 小矢部市臼谷岡村遺跡。富山県埋蔵文化財センター所報「埋文とやま」第52号、富山県埋蔵文化財センター、2。
- 岡村秀雄（1995）：貯蔵穴と水さらし場ー長野県栗林遺跡ー。季刊考古学、50、43-48。
- 上島正徳（1956）：飛騨における林業に関する若干の地域的考察。岐阜大学学芸学部紀要、4、34-42。
- 佐竹義輔（1989）：イチイ科。日本の野生植物 木本Ⅰ、平凡社、24-25。
- 上嶋善治（1997）：第3章A地点の調査 第3節 遺構。カクシクレ遺跡、丹生川ダム水没地区（五味原遺跡群）埋蔵文化財発掘調査報告書第2集、岐阜県土木部・財団法人岐阜県文化財保護センター。
- 田中 彰（1991）：第3章遺構 第9節ピット群 第10節土壙（SK）。垣内遺跡発掘調査報告書、高山市教育委員会、88-97。
- 長瀬秀夫（1987）：高山市の植物。高山市（建設部景観保全課）。
- 西野秀和（1989）：第3章遺構の配置と層位、第4章検出した遺構 第5節旧河道。金沢米泉遺跡小立野古府線街路改築事業に係る金沢市米泉町二丁目米泉遺跡緊急発掘調査報告、石川県立埋蔵文化財センター、12-42、57-60。
- 三浦正人（1989）：V忍路土場遺跡概説 2. 汜濫原（C地区）の遺構ー低湿部の遺構ー（1）柵状遺構～（3）作業場跡・柵状遺構の小括。小樽市忍路土場遺跡・忍路5遺跡ー北後志東部地区広域営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書一、第1分冊、財団法人北海道埋蔵文化財センター、94-111。
- 宮川村史編纂委員会編（1981）：宮川村史、通史編上。
- 宮川村自分史をつづる会編（1989）：四 自然の恵みから 1木の実はどのようにして食べたか。ふるさとを味わうー宮川村の食文化ー、宮川村教育委員会、85-98。
- 八木美津子（1978）：天生湿原における花粉分析。岐阜大学大学院農学研究科学位論文。
- 吉井亮一（1986）：南太閤山Ⅰ遺跡出土の種実遺体（2）。都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（4）南太閤山Ⅰ遺跡、富山県教育委員会、53-60。
- 吉野正敏（1972）：中部地方総論 Ⅲ自然 2.気候。日本地誌（青野・尾留川編）、第9巻、二宮書店、39-61。
- 渡辺 誠（1989）：トチの実の利用法と関連する遺物について。小樽市忍路土場遺跡・忍路5遺跡ー北後志東部地区広域営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書一、第1分冊、財団法人北海道埋蔵文化財センター、110-110。
- 渡辺 誠（1991）：第5章自然遺物、礫石錘 第1節高山市垣内遺跡出土の大型植物遺体。垣内遺跡発掘調査報告書、高山市教育委員会、239-245。



## 第7章 総括

早川 正一 (南山大学人類学科)

林 直樹 (岐阜県立加茂高等学校  
元宮ノ前遺跡調査主任)

### 1. はじめに

この報告では宮ノ前遺跡として一括して扱ったが、遺跡は宮ノ前・うづか・前田・センターの4地点の総称である。第2章の調査の経緯と経過で詳しく記したが、この4地点の調査は平成元年度から同7年度までにわたって、断続的に実施されたもので、この間、調査団の編成にも異動があった。このことから各地点間の基本層序の対応関係には、不明確な部分を残した。

一方、出土した遺物では、たとえば縄文土器では各地点ごとに帰属時期による分布の状態が捉えられた(第5章第1節末尾)。また石器についても地点毎の組成に特徴のある場合は、逐一、報告の文中で指摘した(第5章第3節)。

### 2. 考古学上の知見と新資料の得られた成果

宮ノ前遺跡は、「道路拡幅」という行政上の整備計画にもとづく発掘調査であったため、道路の範囲内に限定された発掘面積の調査に終始した。道路工事の都合によって発掘を中断する事態があったが、当該の4地点の異なる遺跡が確認され、各々の層位調査を事前に完了することができた。なかでも、前田地点では19にも及ぶ「あわらが池」に起因する水成堆積層が集中的に発掘され、当初は計画できなかった自然科学の側の調査を急いで要請した次第である。積極的に対応された各分野の研究者に分析資料の提供が充分でなかったことを深く反省している。

考古学の側では、4地点の調査結果を総合すると、現代の運動場や田畑の下に、新しくは近世から古くは後期旧石器時代終末に至る人工遺物を含む重複した文化層を検出し、宮川村内では他に類をみない複合遺跡の状態を把握することができた。そうした複合状態の中でも、縄文時代が主要をなしており、縄文時代に関しては合計13期に識別しうる土器型式の上下関係や共伴を確認し、絶対年代までが算定された。つまり、縄文草創期から晩期にいたる継続的な縄文人の生活がこの宮ノ前遺跡の一带に営まれたことを証明している。もちろん、今日のような定着生活ではなく、頻繁に入れ代わってこの地の環境を効果的に利用していたに違いない。しかし、縄文期の中では早期終末から前期中葉にいたる土器の欠如が指摘でき、理由は判然としないが、この一带に縄文人の居住がない。かつて宮川村史を刊行する調査でも、前期に該当する遺物は稀少であり、宮川村ではなぜか早期と中期の間に縄文人の生活の断絶を感ずる。

宮ノ前遺跡の堆積物からみた古地理の調査では、衝撃痕のある中型の角礫が圧倒的に多く、扇状地の先端を示す不安定な地層の状態が指摘され、住居址の残存がむつかしい理由と、その一方で、湧水にかかわる「水場」の遺構が幸運にも保存されていた理由が判明した。出土した杭列の木材・打割・用途、土坑を囲う木枠の構造と中味のオニグルミを入れた目的や効果を研究する好資料が得られた。ここは飲み水や水辺に来る動物の狩猟の場所ではなかった。

遠古の「あわらが池」から流水や湧水に恵まれたこの扇状地は既に旧石器時代終末や縄文草創期の生活者に利用され、当該の石器・剥片・土器片によって証明された。特筆すべき新発見は、細石刃と細石核が伴う第17層から出土した切削面のある棒状の木片である。先端を太く削った木槍か、基部を分厚く削った槍あるいは銛の破片なのか、本邦では稀有の資料に間違いはない。

旧石器時代では、イギリス Essex のクラクトン遺跡や Saxony のレーリングゲン遺跡出土の木槍 (Oakley 1957) があり、新石器時代では、デンマークのホルムガード 遺跡出土の先太な木槍 (Clark 1975) があるが、むしろ旧ソビエトのアジア圏に関連性を求めるべきであろう。殊に Baykal湖西のウスティベラヤ遺跡やベルホレンスク山遺跡出土の骨製尖頭器 (Pigakov 1989)、沿海州のAmur川上流にあるシルカ洞穴出土の骨製の槍 (Okladnikov 1964)、下流域にあったポノマレーボ埋葬墓群やセロボ土坑墓16号出土の骨製尖頭器 (Okladnikov 1974・1976) の類似を検討しなければならない。木製と骨製の相違をどのように考えるかが大きな関心事となろう。

### 3. 植物遺体からみた環境の変遷

前項に記したように、4地点の調査が平成元年から同7年度まで断続的に実施され、その間調査体制に異動があったことから、自然科学的分析を地点毎あるいは時代毎といった総合的に実施する調査計画は策定できなかった。このために今回の調査では、通時的な環境の変遷と空間別の微細な環境の差異を解明するにはいたらなかった。しかしながら前田地点に限っては、後期旧石器時代・縄文時代早期・縄文時代中期の3期の堆積層中や土坑・湧水ポットから得られた自然遺物をもとに、遺跡周辺の環境の変遷が復元された。ここでは第6章第1節の<sup>14</sup>C年代測定結果を基軸に据え、同第4節出土木材の樹種と同第5節の種実遺体の同定結果の分析から、前述の3期の環境の変遷をまとめてみる。

後期旧石器時代の<sup>14</sup>C年代値は、ともに第17層から出土した試料の測定結果から得られたもので、樹木片から12,860±160yr BP、トウヒの毬果から14,550±160yr BPの年代値が示された。第17層からはトウヒ属の毬果が多数出土しており、このトウヒ属を主体とする遺体群集は、寒冷期を示す典型的な構成で、当時の遺跡周辺は現在よりも寒冷な気候下にあったものとみられる。

縄文時代早期の<sup>14</sup>C年代値は、沢式土器を包含する第12層から出土したオニグルミ・木炭・樹木片から測定されたもので、8,110±110yr BPから8,870±100yr BPの幅で年代値が得られた。一方で第12層からは、多量のオニグルミ核のほか、コナラ亜属・コブシ・サルナシ属・キハダなどの種実遺体が出土している。検出量は少ないが、これらの種実遺体から当時すでに現在の環境に近い冷温帯落葉広葉樹が卓越していたものと想定される。

縄文時代中期の<sup>14</sup>C年代値は、杭列の割材と湧水ポットから出土した加工材および樹木幹片から測定されたもので、杭列の割材では4,200±90yr BPから4,590±90yr BP、湧水ポット出土の試料からは4,010±120yr BPと4,270±100yr BPの年代値が得られた。同定された種実遺体はこの湧水ポットから出土したものを主体に、第1・2号土坑から出土したものも含んでいる。カヤ・オニグルミ・コナラ亜属・クリ・ホオノキ・コブシ・エゴノキなどが大量に出土した。これらの種実遺体から、当時、遺跡周辺には落葉広葉樹林が占地し、現在のこの地域により近い植生であっ

たものと想定される。

木材の樹種は、第17層（後期旧石器時代）・第12層（縄文時代早期）・湧水ポットおよび杭列（縄文時代中期）から出土した試料が同定されている。

第17層から出土した樹種の中では、トウヒ属が最も多く同定され、これにモミ属やマツ属が続く。これは亜寒帯や亜高山帯の針葉樹林の典型的な組成である。この針葉樹林は現在の宮川村の森林植生とはまったく異なり、後期旧石器時代のこの地域がより寒冷な気候下にあったものと推定される。またトウヒ属が卓越していたことは、晩水期には現在よりも乾燥した気候下にあったことを示し、<sup>14</sup>C年代の測定値とともに考古学への示唆は大きい。

第12層ではトネリコ属が卓越し、ニレ属・コナラ節・マタタビ属・ヤマグワなども同定されている。この結果は、縄文時代早期のこの地域に典型的な冷温帯の自然林が広がっていたことを示唆し、早期の生活者の生計を考察するうえで有意義といえる。

湧水ポットおよび杭列では、クリ・コナラ節・カエデ属・カヤ・ニレ属・トネリコ属などの樹種が同定されている。縄文時代早期と共通する樹種もあるが、中期固有のものも多く、冷温帯性の落葉広葉樹林に暖温帯性の組成が加わり、冷温帯から暖温帯へ移行する、移行帯的な樹林の存在が想定される。この指摘も考古学にとって有益である。

以上の種実遺体と木材樹種の分析結果から、継続的ではないが、後期旧石器時代の寒冷期から、縄文時代早期を経て、縄文時代中期には現在の宮川村により似通った植生が成立していたこと。換言すれば、時代を経るごとに気候も現在とよく似た状況に変化してきたことがわかる。

#### 4. 昆虫化石からみた環境の変遷

昆虫化石の試料は、植物遺体と同様、後期旧石器時代・縄文時代早期・縄文時代中期の3層準から採取されたものである。この3つの地層から出土した昆虫化石の群集組成から、当時の環境が復元された。詳しい経緯は第6章第3節に記されている。ここでは昆虫化石の分析から得られた環境の変遷と、植物遺体の分析から得られた結果を比較し、まとめてみたい。

後期旧石器時代の層準からは、食植性昆虫のクロカミキリやカナブンが出土し、落葉広葉樹を加えた針広混交林が成立していたと考えられる。当時のこの地域の気候は、現在より少し寒い、冷温帯から中間温帯程度であったと推定され、森林に生息する昆虫から教えられた。

縄文時代早期の層準から出土した昆虫化石からは、クヌギ・コナラなどを中心とした落葉広葉樹林の存在が想定され、現在と同じかやや温暖な気候であったと考えられる。また中期の層準から出土した昆虫化石の分析では、早期と明瞭な差異はなく、遺跡周辺には落葉広葉樹林が広がり、気候は中間温帯程度であったとみられる。この昆虫研究の側の指摘も有意義である。

以上の結果を植物遺体の分析と比較すると、後期旧石器時代は昆虫化石の分析結果ではより温暖な気候を示すこと。縄文時代早期でもやはり昆虫化石の組成がやや温暖な気候を示すこと。植物遺体の分析から得られた早期から中期にかけての温暖化傾向が昆虫化石にはみられないことなど。両者の分析結果は細部において必ずしも一致をみているわけではない。試料の遺存状態やそれぞれの試料の持つ特性にもよるであろうが、この報告では時間的な制約もあり、これらの問題

点を提起するにとどめる。学際的な検討を欲する興味深い課題の一つである。

なお第6章第2節では、堆積相解析から前田地点の古地理・古環境が復元されている。調査地点が扇状地先端部にあり、地下水位が高く湧き水が豊富にあるという環境は、3層準から出土する水生昆虫の存在を裏付けるとともに、植物遺体の遺存を容易にした意義を明記しておきたい。

#### 5. 古環境の復元から明らかになった人為的影響

今回、後期旧石器時代から縄文時代中期に至る環境の変遷が明きらかになる中で、環境に与えた人為的な影響がいくつか指摘されている。この指摘に留意しなければならない。

第6章第3節の昆虫化石の分析結果からは、縄文時代早期の層準からドウガネブイブイ・ヒメコガネ・マメコガネなどといった人里昆虫が確認され、遺跡周辺に人間の介在した二次林の存在が想定された。これは自然に対する人為的な干渉の結果を反映したものと考えられる。同様の事象は、同第5節の毬果・堅果類の分析からも明きらかになっている。縄文時代早期の種実遺体群の集中に伐開などの攪乱を受けた環境に進出する分類群が含まれているのである。また毬果・堅果類の中には、第2号土坑から出土したトチノキの種子や、やはり縄文時代中期の遺物包含層中から出土したカヤ・トチノキ・エゴノキの種子やクリの堅果の一部に不自然な破断が認められたほか、オニグルミの核裂片には、熱を受けて炭化したと判断されるものが認められた。このことから植物性の食糧資源活用的一端をうかがうことができ、考古学にとって有益な指摘である。

第6章第4節の出土木材の樹種同定では、縄文時代中期の樹種組成中に、人為的な移入あるいは混入が考えられるヒノキ・クロベ・スギが含まれているという指摘がある。この時期は遺物量が増大し、遺跡としてのピークを迎えた時期に相当し、有用資源の活用という自然に対する人為的な働きかけも盛んであったことがわかる。また第5章第6節の木質遺物の分析では、湧水ポットから出土した構造部材をはじめ、同所から出土した角材・板材や杭列の杭は、そのほとんどにクリが用いられていることが判明している。このことは、中期の樹種組成でクリが最も高い割合を占めていることと合わせて考えると、当時、クリが食糧として以外にも有用な資材として活用されていたことを裏付けており、遺跡周辺へ人為的に植えられていた可能性が高いものと考えられる。クリの自生・半栽培、あるいは意図的な栽培なのか、今後の課題である。

#### 6. おわりに

埋蔵文化財の発掘調査では、人間の営為の結果として残された遺物や遺構に主眼が置かれ、自然科学的な分析がなおざりにされる傾向が少なからずあると考える。特にこの飛騨地域においては自然科学分野も含めた総合的な発掘調査の事例は少ないと見受ける。この現状の中、今回宮ノ前遺跡発掘調査で自然科学分野も含む総合的な調査が実施されたことは、大いに評価されるべきことと考える。これには遺跡の置かれていた環境が幸いしたこともあるが、それにも増して木質遺物を分析された山田昌久、植物質試料から年代値を求められた中村俊夫、堆積物から埋積過程と古地理・古環境を復元された鬼頭 剛、昆虫化石を分析された森 勇一、木材の樹種同定をされた鈴木三男、種実遺体を分析された吉井亮一の諸先生方のご協力に負うところが大きい。末尾ではあるが、諸先生方のご尽力に対して感謝申し上げる次第である。





上：遺跡全景（南より）

下：うづか地点調査前状態（東より）



上：センター地点調査前状態（北より）

下：うづか地点作業風景



上：センター地点作業風景

下：宮ノ前地点作業風景





上：前田地点作業風景

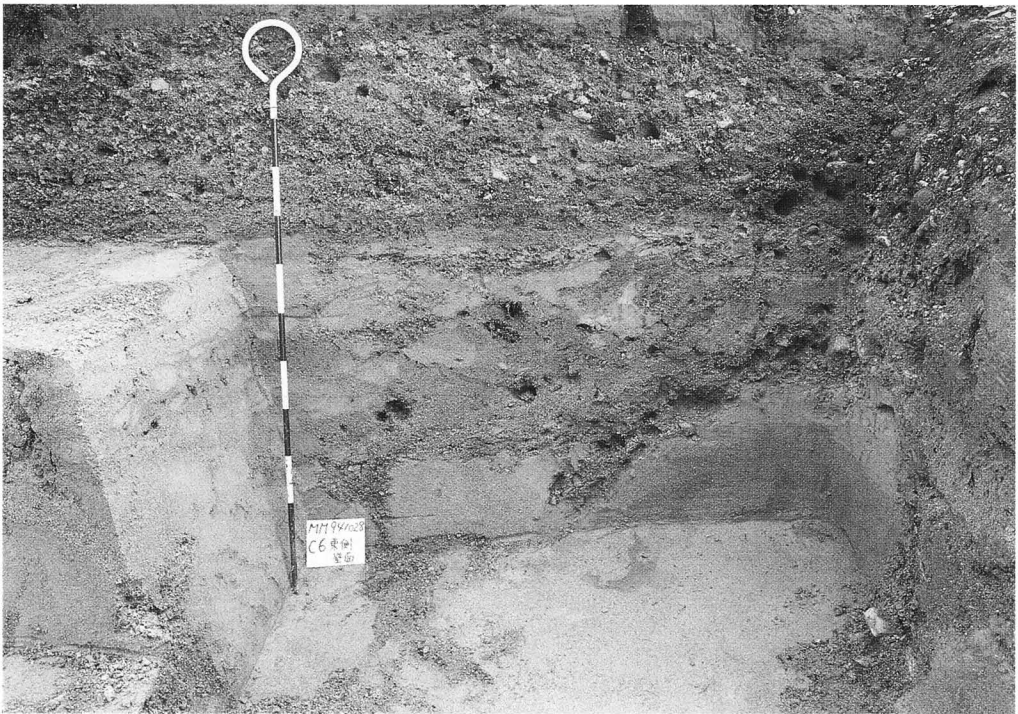
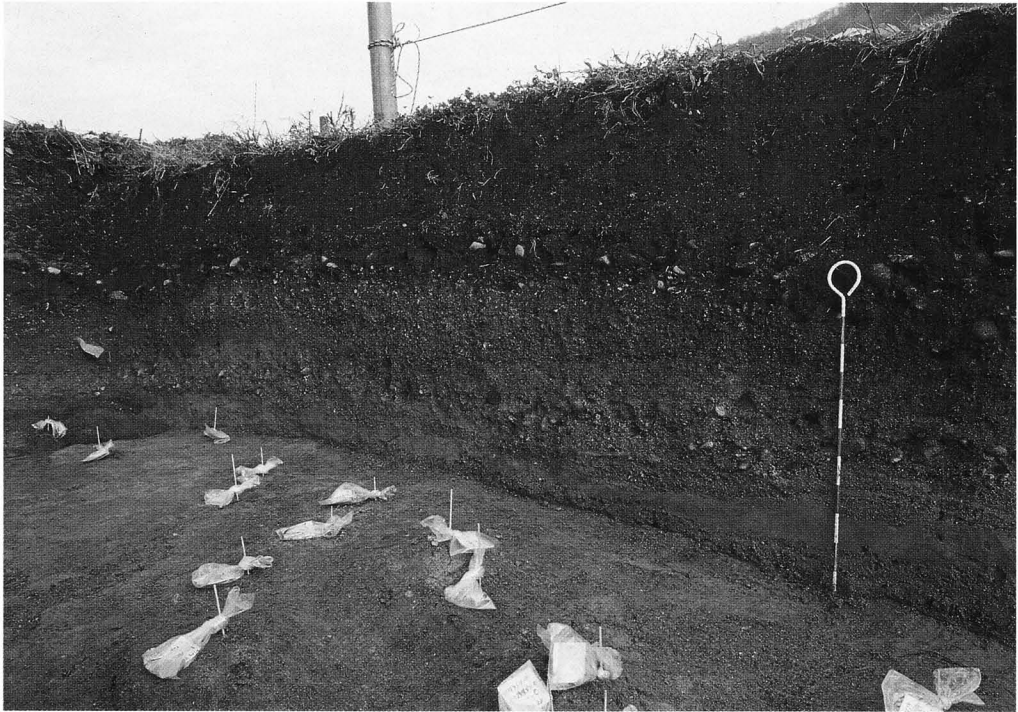
下：うづか地点南壁セクション（北より）



上：センター地点北壁セクション（南より）

下：宮ノ前地点西壁セクション（北より）

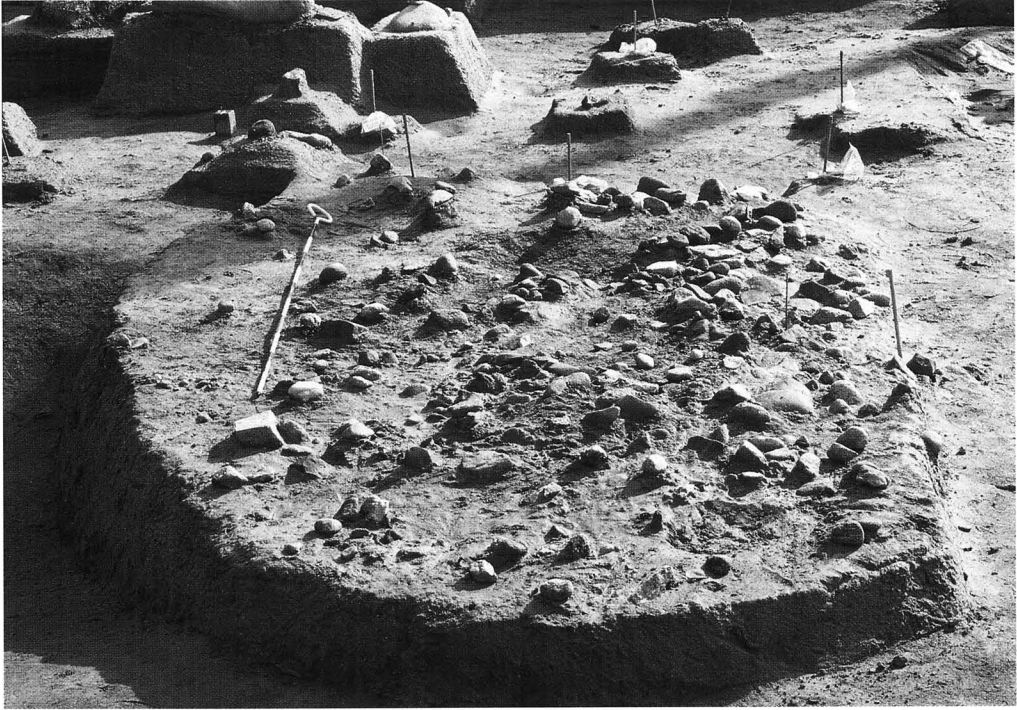
図版六



上：前田地点東壁セクション（西より）

下：前田地点C6東壁噴砂検出状況





上：前田地点第1号礫群完掘状態（北より）

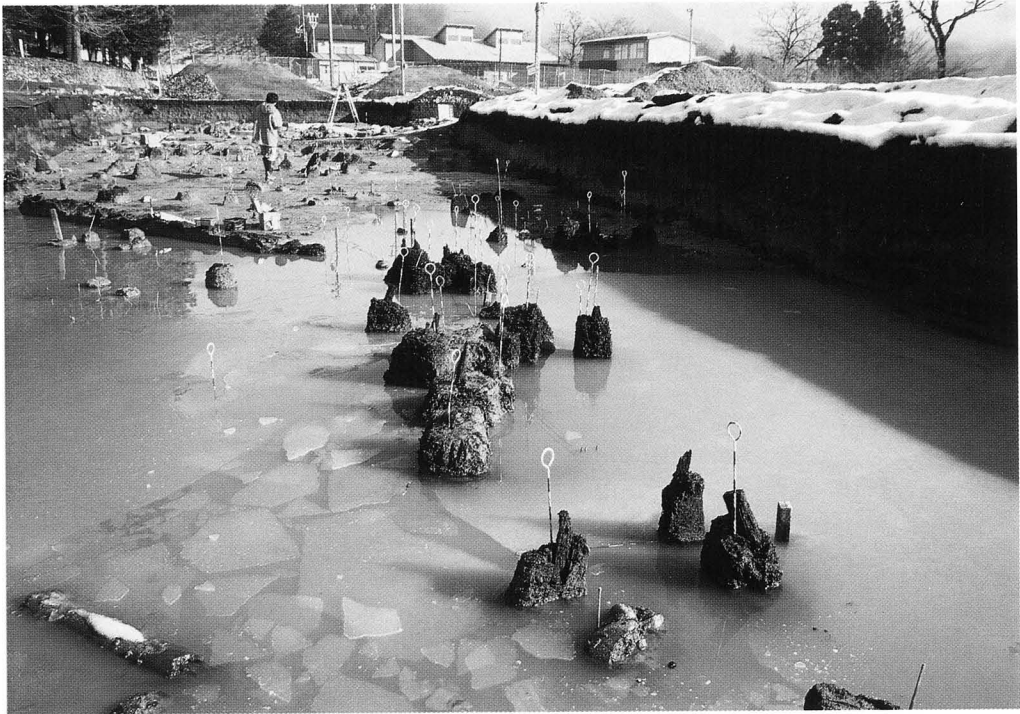
下：前田地点第2号礫群完掘状態（南より）



上：前田地点集石炉完掘状態（南より）

下：前田地点集石炉断面（東より）





上：前田地点第2号土坑断面（南より）

下：前田地点杭列検出状態（西より）



上：前田地点杭列検出状態（南より）

下：前田地点配石検出状態（南より）



上：前田地点湧水ポット土層堆積状態  
下：前田地点湧水ポット木製品出土状態（南より）





上：前田地点中央部自然木検出状態（北より）

下：前田地点中央部自然木検出状態（上空より）



上：うづか地点第1号住居址完掘状態（北より）

下：うづか地点第1号住居址かまど断面（北より）



上：センター地点第2号住居址完掘状態（南より）

下：センター地点第2号住居址炉址完掘状態（南より）

# 報告書抄録

ふりがな	ぎふけんよしきぐんみやがわむら みやのまえいせきはつくつちょうさほうこくしょ
書名	岐阜県古城郡宮川村 宮ノ前遺跡発掘調査報告書
副書名	国道360号線新設改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
編集者名	早川正一、河野典夫、立田佳美、小島 功
編集機関	宮川村教育委員会 埋蔵文化財調査室
所在地	509-4533 岐阜県古城郡宮川村大字塩屋100番地 飛騨みやがわ考古民俗館内 TEL0577-62-3251
発行年月日	西暦1998年3月28日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査 期間	調査 面積	調査原因
みやのまえいせき 宮ノ前遺跡	ぎふけんよしきぐんみやがわむら 岐阜県古城郡宮川村 おおあごにししのびあざみやのまえ 大字西忍字宮ノ前ほか	市町村 624	遺跡 番号 00045	36度 19分 44秒	137度 9分 8秒	89.7.24 ～ 98.3.28	3,486m <sup>2</sup>	国道360号線 新設改良工事 に伴う緊急発 掘調査。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
宮ノ前遺跡	散布地	旧石器 縄文 奈良・平安	礫群遺構2基 集石炉1基 縄文住居址1基 縄文時代の杭列 平安住居址1基	縄文土器（草創期・早期・前期・ 中期・後期・晩期）、石器（旧石 器・縄文）、土製品、石製品、木 製品、須恵器、土師器、灰釉陶器 種実遺体、樹幹遺体、昆虫遺体	低湿地を含む 旧石器時代か ら縄文時代・ 歴史時代に至 る複合遺跡。

---

岐阜県吉城郡宮川村

## 宮ノ前遺跡発掘調査報告書

国道360号線新設改良工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

---

発行者 岐阜県・宮川村教育委員会  
発行日 平成10年3月28日  
印刷者 (有)村坂印刷

---



